若宮大路周辺遺跡群（No.242）

小町一丁目333番2地点

例　言

1．本報告は、鎌倉市小町一丁目 333 番 2 において実施した、若宮大路周辺遺跡群（鎌倉市 No. 242）の発掘調査報告である。

2．発掘調査は平成 19 年 2 月 1 日から同年 6 月 29 日にかけて、個人専用住宅の建設に伴う国庫補助事業として鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。調査の対象面積は、約 180 ㎡である。

3．発掘調査体制は、以下のとおりである。

調査担当者	原　廣志（鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
調　査　員	岡本夏菜、須佐直子、須佐仁和、栂岡ケイト、中川建二、山口正紀 （以上、鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）
作　業　員	赤坂　進、河原龍雄、佐藤美隆、伴　一明、舟田峰夫 （以上、公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター 文化財班）
整理作業参加者	原　廣志、岡本夏菜、須佐直子、須佐仁和、栂岡ケイト、山口正紀、 岩崎卓治、岡田慶子、押木弘己、神田倫子、佐藤千尋、菅野知子、鍋島昌代 （以上、鎌倉市文化財課 臨時的任用職員）

4．本報告の作成は、以下の分担で行った。

執筆	押木（第五章以外）、鈴木　茂・森　将志（第五章、パレオ・ラボ）
編集	押木
遺構挿図作成	岡本、押木
遺物挿図作成	菅野
写真図版作成	押木
遺物観察表・カウント表作成	岡本、押木、神田

5．本調査に係わる出土遺物および各種記録類は、鎌倉市教育委員会が保管している。本調査地の略称は市教育委員会の統一基準に従って「ＷＡ０６２１」とし、出土品への注記などに使用した。

凡　例

1．挿図の縮尺は、遺構・遺物ともに図中に表示している。

2．本書中に記載した国土座標値は、世界測地系（第Ⅸ系：東日本大震災後の補正後）に基づいている。

3．挿図に示した方位標は座標北（Ｙ軸）で、真北はこれより 0°　09′　25″ ほど東に振れている。

4．遺構挿図中の水糸高は、海抜値を示す。

5．出土遺物の年代観は以下の文献を参考としたが、 筆者が各所見を理解し切れていない部分もある。

◆かわらけ・遺物全体の様相：宗臺秀明　2019「鎌倉出土かわらけの系譜と編年―東国社会の変質と中世の成立（後）：かわらけの編年と中世社会」『鶴見大学紀要　第 56 号　第 4 部　人文・社会・自然科学編』鶴見大学

◆瓦質土器：河野眞知郎　1993「中世鎌倉火鉢考」『考古論叢神奈河　第 2 集』神奈川県考古学会

◆輸入陶磁器：太宰府市教育委員会　2000『大宰府条坊跡ＸＶ―陶磁器分類編―』

◆瀬戸窯製品：藤澤良祐　2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院

◆常滑・渥美窯製品：愛知県　2012『愛知県史　別編窯業 3　中世・近世常滑系』

本文目次

第一章　遺跡の位置と周辺の発掘調査成果 ……7
第二章　調査の方法と経過
　第１節　調査の経緯と経過 ……9
　第２節　調査の方法 ……9
第三章　基本土層 ……11
第四章　検出遺構と出土遺物
　第１節　検出遺構 ……12
　第２節　出土遺物 ……34
第五章　若宮大路周辺遺跡群のプラント・オパール分析と花粉分析 ……143
第六章　調査成果のまとめ
　第１節　遺物点数・重量の提示方法について ……146
　第２節　遺構の変遷と遺物様相 ……146
　第３節　「マグソ」の分析結果について ……150

挿図目次

図１　調査地点の位置 ……8
図２　調査区・グリッド配置図 ……10
図３　土層断面図（Ⅱ区南壁）……11
図４　上層遺構面全体図 ……12
図５　Ⅰ・Ⅱ区上層遺構面　遺構断面図
　・土坑 39 遺物出土状況 ……13
図６　Ⅱ区上層遺構面遺構断面図 ……14
図７　下層遺構面　全体図 ……18
図８　Ⅰ区下層遺構面　竪穴建物 2・5……19
図９　Ⅰ区下層遺構面
　竪穴建物 3・4・6・7 ほか ……21
図 10　Ⅰ区下層遺構面　竪穴建物 4・6、
　土坑 20 土層断面図 ……22
図 11　Ⅰ区調査区北壁　土層断面図 ……23
図 12　Ⅱ区下層遺構面
　竪穴建物 A・10・11・12……24
図 13　Ⅱ区下層遺構面
　竪穴建物 10・11・12 土層断面図 ……26
図 14　Ⅱ区下層遺構面
　竪穴建物 14・15・16……27
図 15　Ⅱ区下層遺構面
　竪穴建物 15・17・20・21……29
図 16　Ⅱ区下層遺構面
　竪穴建物 13・18・19・22・24……30
図 17　Ⅱ区下層遺構面
　竪穴建物 23・井戸 4 周辺 ……31
図 18　Ⅱ区下層遺構面　遺構断面図 ……31
図 19　Ⅱ区調査区南壁　土層断面図 ……32
図 20　Ⅰ区　上層遺構面検出
　までの出土遺物（1）……35
図 21　Ⅰ区　上層遺構面検出
　までの出土遺物（2）……36
図 22　Ⅱ区　上層遺構面検出
　までの出土遺物（1）……37
図 23　Ⅱ区　上層遺構面検出までの
　出土遺物（2）・試掘坑・近世土坑 ……38
図 24　Ⅰ区上層遺構面
　竪穴建物 1 出土遺物 ……39
図 25　Ⅰ区上層遺構面
　井戸 1 出土遺物（1）……40
図 26　Ⅰ区上層遺構面
　井戸 1 出土遺物（2）……41
図 27　Ⅱ区上層遺構面　据甕遺構出土遺物 …42

図 28　Ⅱ区上層遺構面
方形竪穴状土坑 1 出土遺物（1）……43
図 29　Ⅱ区上層遺構面
方形竪穴状土坑 1 出土遺物（2）……44
図 30　Ⅱ区上層遺構面　方形竪穴状土坑 2
・井戸状遺構出土遺物……45
図 31　Ⅰ・Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物…46
図 32　Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物（1）…47
図 33　Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物（2）…48
図 34　Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物（3）…49
図 35　Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物（4）…50
図 36　Ⅱ区上層遺構面　ピット出土遺物……51
図 37　Ⅱ区上層遺構面～下層遺構面
掘り下げ時出土遺物（1）……52
図 38　Ⅱ区上層遺構面～下層遺構面
掘り下げ時出土遺物（2）……53
図 39　Ⅰ区下層遺構面
竪穴建物 2 出土遺物……54
図 40　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 3 出土遺物……55
図 41　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 4 出土遺物……56
図 42　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 5･6 出土遺物……57
図 43　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 7 出土遺物……58
図 44　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 9 出土遺物……59
図 45　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 10 出土遺物……60
図 46　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 11 出土遺物（1）……61
図 47　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 11 出土遺物（2）……62
図 48　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 11 出土遺物（3）……63
図 49　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 12･13 出土遺物……64
図 50　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 14 出土遺物……65
図 51　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 15 出土遺物（1）……66
図 52　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 15 出土遺物（2）……67
図 53　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 15 出土遺物（3）……68
図 54　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 16 出土遺物……69
図 55　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 17･18 出土遺物……70
図 56　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 19 出土遺物……71
図 57　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 20 出土遺物……72
図 58　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 21 出土遺物（1）……73
図 59　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 21 出土遺物（2）……74
図 60　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 21 出土遺物（3）……75
図 61　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 21 出土遺物（4）……76
図 62　Ⅱ区下層遺構面
竪穴建物 22･23･24 出土遺物……77
図 63　Ⅱ区下層遺構面　井戸 4 出土遺物……78
図 64　Ⅱ区上層・下層遺構面
土坑・遺構外出土遺物……78
図 65　Ⅰ区下層遺構面
溝 1・井戸 4 出土遺物……79

表目次

表１　周辺の主な調査地点 ……9
表２　上層遺構面　遺構一覧 ……15
表３　下層遺構面　遺構一覧 ……17
表４　建物 11　出土箸の法量（長さ）分布 …64
表５　出土遺物カウント・計量表 ……80 ～ 113
表６　出土遺物観察表 ……114 ～ 142

写真図版目次

図版 1
1.　Ⅰ区上層　西半部（西から）
2.　Ⅰ区上層　井戸 1 埋土上層
礫検出状況（東から）
3.　Ⅰ区上層　井戸 1 埋土上層（東から）
4.　Ⅰ区上層　井戸 1 埋土下層（東から）
5.　Ⅰ区上層　井戸 1 完掘状況（西から）
図版 2
1.　Ⅰ区上層　建物 1（南西から）
2.　Ⅰ区上層　建物 1 遺物出土状況（南から）
3.　Ⅰ区上層　土坑 1（北から）
4.　Ⅰ区上層　面上遺物出土状況（北から）
5.　Ⅰ区下層　建物 2A 西半部（北から）
6.　Ⅰ区下層　建物 2A 遺物出土状況（北から）
7.　Ⅰ区下層　建物 2A 遺物出土状況（東から）
8.　Ⅰ区下層　建物 2A 遺物出土状況（南から）
図版 3
1.　Ⅰ区下層　建物 2A 根太材（南から）
2.　Ⅰ区下層　建物 2A 根太材（東から）
3.　Ⅰ区下層　建物 2A 柱材倒置状況（北から）
4.　Ⅰ区下層　建物 2A 束柱検出状況（東から）
5.　Ⅰ区下層　建物 2A（北から）
6.　Ⅰ区下層　建物 2A 南辺土土台材（東から）
7.　Ⅰ区下層　建物 2A 柱穴ニ（左）・ホ（東から）
図版 4
1.　Ⅰ区下層　建物 2A 柱穴ハ（南西から）
2.　Ⅰ区下層　建物 2A・2B（南から）
3.　Ⅰ区下層　建物 2A・2B（西から）
4.　Ⅰ区下層　建物 2B 南辺壁板（西から）
5.　Ⅰ区下層　建物 2B 東辺土台材（南から）
6.　Ⅰ区下層　建物 2B 南辺土台材（東から）
図版 5
1.　Ⅰ区下層　建物 3・4（西から）
2.　Ⅰ区下層　建物 3
南辺壁板倒潰状況（北から）
3.　Ⅰ区下層　建物 4 土層断面（東から）
4.　Ⅰ区下層　建物 4 土層断面（東から）
5.　Ⅰ区下層　建物 3 土台材（西から）
6.　Ⅰ区下層　建物 3 土層断面（南から）
7.　Ⅰ区下層　建物 3 東辺壁板（西から）
図版 6
1.　Ⅰ区下層　全景（東から）
2.　Ⅰ区下層　全景（西から）
図版 7
1.　Ⅰ区下層　建物 4 土台材（北から）
2.　Ⅰ区下層　建物 5（南から）
3.　Ⅰ区下層　建物 5 壁板（東から）
4.　Ⅰ区下層　建物 5
裏込め土内遺物出土状況（北から）
5.　Ⅰ区下層　建物 6（北西から）
6.　Ⅰ区下層　建物 6（北から）
7.　Ⅰ区下層　建物 7 南辺壁板・柱穴（北から）
図版 8
1.　Ⅰ区下層　建物 4（手前）・建物 7（北から）
2.　Ⅰ区下層　建物 7 底面柱穴列（南から）
3.　Ⅱ区下層　溝 1・南辺道路状遺構（東から）
図版 9
1.　Ⅱ区上層　据甕遺構断面（南から）
2.　Ⅱ区上層　据甕遺構（北から）
3.　Ⅱ区下層　方竪状土坑 2
（下層建物 9・東から）
4.　Ⅱ区上層　方竪状土坑 1
遺物出土状況（北から）
5.　Ⅱ区上層　方竪状土坑 1
遺物出土状況（北から）
6.　同上　アップ（北から）
7.　Ⅱ区上層　方竪状土坑 1
遺物出土状況（北から）
8.　Ⅱ区下層　建物 9 遺物出土状況（東から）
図版 10
1.　Ⅱ区上層　全景（東から）

2. Ⅱ区上層　全景（西から）

図版 11

1. Ⅱ区上層　方竪状土坑 1（北から）
2. Ⅱ区上層　方竪状土坑 2（下層建物 9）
   底面根太痕（南から）
3. Ⅱ区上層　土坑 35 遺物出土状況（北から）
4. Ⅱ区上層　土坑 39 遺物出土状況（北から）
5. Ⅱ区上層　土坑 39 遺物出土状況（北から）
6. Ⅱ区上層　土坑 31 遺物出土状況（北から）
7. 同上　イルカ頭骨アップ（北から）

図版 12

1. Ⅱ区上層　溝状遺構（東から）
2. Ⅱ区下層　建物 10 土層断面（南から）
3. Ⅱ区下層　建物 10 床面炭層（北から）
4. Ⅱ区下層　建物 10（南から）
5. Ⅱ区下層　井戸 2 土層断面（東から）
6. Ⅱ区下層　井戸 3（西から）
7. Ⅱ区下層　井戸 3 土層断面（東から）

図版 13

1. Ⅱ区下層　建物 11 遺物出土状況（西から）
2. Ⅱ区下層　建物 11 遺物出土状況（西から）
3. Ⅱ区下層　建物 11 遺物出土状況（北から）
4. Ⅱ区下層　建物 11 遺物出土状況（東から）
5. Ⅱ区下層　建物 15
   床下遺物出土状況（西から）
6. Ⅱ区下層　建物 15
   床下遺物出土状況（西から）
7. Ⅱ区下層　建物 16（東から）
8. Ⅱ区下層　建物 18 掘り方（南から）

図版 14

1. Ⅱ区下層　建物 11（左）・建物 12（北から）
2. Ⅱ区下層　建物 11（奥）・建物 12（西から）
3. Ⅱ区下層　建物 11 西辺壁板（東から）
4. Ⅱ区下層　建物 12（南から）

図版 15

1. Ⅱ区下層　建物 11（手前）・建物 12（東から）
2. Ⅱ区下層　建物 11・12
   南辺土台材（北東から）
3. Ⅱ区下層　建物 11・12 南辺壁板（北から）
4. Ⅱ区下層　建物 11
   南辺土台材アップ（北から）
5. Ⅱ区下層　建物 11 東辺土台材（西から）
6. Ⅱ区下層　建物 12 西部（北から）
7. Ⅱ区下層　建物 12 西部（南東から）

図版 16

1. Ⅱ区下層　建物 15・20（東から）
2. Ⅱ区下層　建物 15（北から）
3. Ⅱ区下層　建物 15 遺物出土状況（北から）
4. Ⅱ区下層　建物 15 根太材（東から）
5. Ⅱ区下層　建物 15 根太材（北東から）
6. Ⅱ区下層　建物 15 北辺壁板（南から）
7. Ⅱ区下層　建物 15
   掘り方遺物出土状況（南から）

図版 17

1. Ⅱ区下層　建物 19（東から）
2. Ⅱ区下層　建物 19・24（東から）
3. Ⅱ区下層　建物 17・21（南から）
4. Ⅱ区下層　建物 22C（南から）
5. Ⅱ区下層　建物 22C 床板（西から）
6. 同上　アップ（西から）

図版 18

1. Ⅱ区下層　全景（東から）
2. Ⅱ区下層　全景（西から）

図版 19

1. Ⅱ区下層　建物 21
   北辺壁板倒潰状況（南から）
2. Ⅱ区下層　建物 21
   北辺壁板倒潰状況（東から）
3. Ⅱ区下層　建物 21
   壁板下遺物出土状況（東から）

図版 20

1. Ⅱ区下層　建物 21
   壁板下遺物出土状況（南から）
2. 同上　アップ（南から）

図版 21

1. Ⅱ区下層　建物 21 掘り方底面（南から）
2. Ⅱ区下層　建物 21 西側
   遺物出土状況（東から）
3. Ⅱ区下層　竪穴状土坑 3（南から）
4. Ⅱ区下層　井戸 4（東から）
5. 同上（北から）

図版 22

1. Ⅱ区北壁　土層断面
   （建物 11・12 の新旧関係　南から）
2. Ⅱ区南壁　土層断面
   （建物 17・21 の新旧関係　北から）

図版 23 ～ 40　出土遺物

第一章　遺跡の位置と周辺の発掘調査成果

本調査地は鎌倉市小町一丁目 333 番 2 に所在する。若宮大路周辺遺跡群は鎌倉低地の中心部を占め、史跡若宮大路を挟んで東西に展開している。現在の鎌倉でも最も賑わう市街地に占地することから開発行為にともなう発掘調査の件数も多く、現在までに約 190 件が実施されている。それぞれの調査面積は小さなものだが、その積み重ねによって遺跡範囲における地区ごとの土地利用の傾向も掴めるようになってきている。

本地点が所在する若宮大路の東側でも、「二の鳥居」の以南は 13 世紀中頃以降に竪穴建物が繰り返し構築された地区で、特に小町大路に近い地点で良好な検出・報告事例が多い。竪穴建物は居住用よりも収蔵施設としての用途が主体であったと考えられ、小町大路＋滑川という陸・水運機能も組み合わさることで、当地区が中世都市鎌倉における物資流通･集積の中心的役割を果たしていたと想定されている。

近隣の調査では、図 1- 地点❷・❸で竪穴建物が特に多く、その構造や変遷を把握し得る良好な資料が検出されている。その成果からは、大まかな傾向として次の知見が得られている。① 13 世紀後半を中心に木組み構造の竪穴建物が建てられ、②この次段階に切石を土台や壁体として多用した竪穴建物が展開し、概ね 14 世紀半ば頃まで存続する。①は、道路や溝など区画性を持つ施設の整備にともなって進められたようである。

①の 13 世紀中頃～後半は鎌倉時代後期に当たり、これに先行する 13 世紀前半には当地区北方に将軍御所（幕府）が大倉から移転し（1225 年の宇津宮辻子幕府→ 1236 年の若宮大路幕府）、その滅亡まで政治の中心として機能した。竪穴構築以前の遺構は中世基盤層である黒褐色粘質土上で確認され、井戸やピット・土坑が検出されている。①・②段階で竪穴の構築が繰り返されたため遺構の残りは良くないが、地点❸では 3.3 m間隔で若宮大路と平行して連なる大型土坑列が検出されるなど、公権力との関連を想起させる成果も上がっている。画期①・②の年代観については報告書によって多少の違いも見られるが、建物構造の変化は斉一性が高いことから、土地利用形態の転換（再編）は漸移的にではなく一挙に進んだと理解すべきであろう。

小町大路に面した複数の調査地点では、鎌倉時代に遡る同大路の前身道路と側溝が検出され、地点❺では 13 世紀前半～ 15 世紀に至る 7 段階の道路面と西側溝が検出されている。最古段階の道路面は中世基盤層上をそのまま利用し、次段階には泥岩粒や玉石・貝殻を用いた硬化面が構築される。これ以降、当初の側溝を埋め立てた上にも道路面が広がり、最終段階まで泥岩ブロックを敷き詰めた舗装が連綿と施される。側溝は、当初は素掘りであったが拡張後に木組み護岸、次いで切石積み護岸へと造り替えられていた。最古～第 2 段階の側溝は東肩のみの確認にとどまったが、地点❷・❹で西肩と思われる落ち込みが検出されており、これらを総合すると上幅が 7 m近くを測る大規模な溝であったことが推測できる。道路面からの深さは 2 mを超え、現時点では溝底が確認された調査例はない。「河川遺構」と報告されている例もあるが、道路に沿って直線的に延びている点や旧地形を勘案すると自然の流路とは見なし難く、鎌倉初期に開削された人工の流路と理解するのが妥当だろう。前後して開通したであろう若宮大路の側溝とともに、低地開発には不可欠である排水機能の主要な部分を担ったことが推測でき、鎌倉の都市化に大きく寄与した遺構と考えられる。

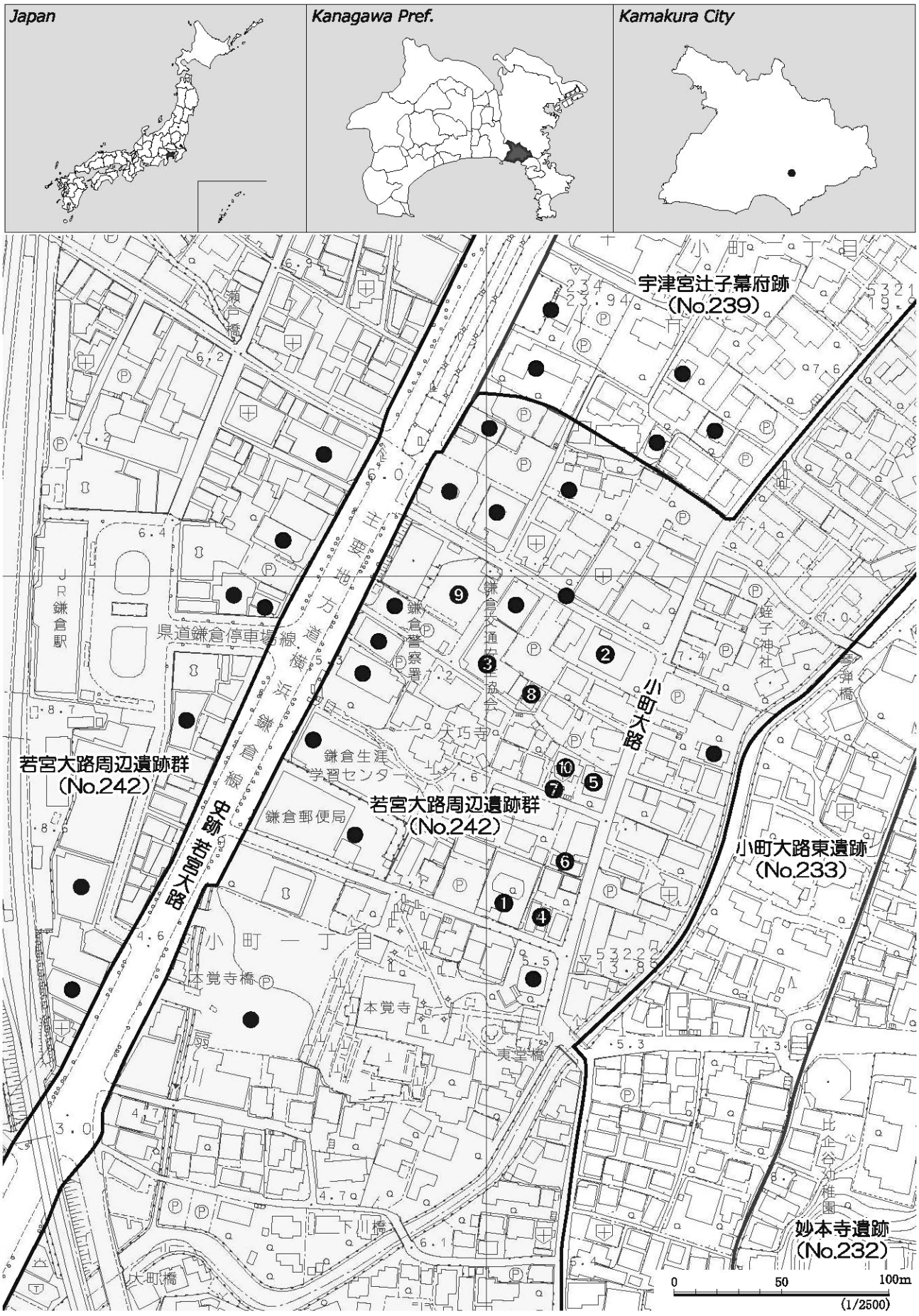


図１　調査地点の位置（鎌倉市発行 1:2,500 都市計画基本図を使用・改変）

表１　周辺の主な調査地点（番号は図１に対応）

No.	地番	調査年度（開始年度）	面積（㎡）	所収文献
❶	**小町一丁目 333 番 2**	**2006 年度**	**180**	**本報告**
❷	小町一丁目 325 番イ外	1992 年度	400	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 10（第 3 分冊）』鎌倉市教育委員会　佐藤仁彦・小林重子 1994
❸	小町一丁目 322 番	1992 年度	685	『若宮大路周辺遺跡群発掘調査報告書』若宮大路周辺遺跡群発掘調査団　宮田 真・森 孝子 1997
❹	小町一丁目 333 番 15	2010 年度	23	『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 31（第 2 分冊）』鎌倉市教育委員会　押木弘己 2015
❺	小町一丁目 329 番 1･10	2010 年度ほか	213	『若宮大路周辺遺跡群（No. 242）発掘調査報告書』（株）博通　宮田 眞・滝澤晶子・安藤龍馬 2014
❻	小町一丁目 331 番 1	2011 年度	62	『第 23 回 鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』NPO 法人鎌倉考古学研究所 山口正紀・松吉里永子 2013
❼	小町一丁目 329 番 7	2013 年度	22	『若宮大路周辺遺跡群（No. 242）発掘調査報告書』（株）博通　宮田 眞・森 健一郎 2016
❽	小町一丁目 324 番 4	2014 年度	67	『第 25 回 鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨』NPO 法人鎌倉考古学研究所　松吉里永子 2015
❾	小町一丁目 319 番 1 外	2017 年度	706	『若宮大路周辺遺跡群（No. 242）発掘調査報告書』（株）斉藤建設　三ッ橋 勝・三ッ橋 正夫 2018
❿	小町一丁目 329 番 1･8	2015 年度	120	『若宮大路周辺遺跡群（No. 242）発掘調査報告書』（株）博通　小野田 宏・森 健一郎 2019

第二章　調査の方法と経過

第１節　調査の経緯と経過

本発掘調査は個人専用住宅の建設工事に先立つ埋蔵文化財の記録保存調査として、鎌倉市教育委員会文化財課（市教委）が実施した。建設計画では基礎工事として鋼管杭を打ち込む設計であったことから、市教委では確認調査を実施し、その結果を受け、建設計画のうち埋蔵文化財に抵触する懸念がある部分については、工事着手前に本格的な発掘調査を行う必要があるという判断に至った。

発掘調査には平成19年2月1日～6月29日の約6ヶ月間を要し､4月中旬までに南側Ⅰ区の調査を終え、残りの日数は北側Ⅱ区の調査に要した。

第２節　調査の方法

今回の発掘調査は鋼管杭の打設範囲を対象としたが、安全面を配慮して隣地や道路との境界から十分な距離を取ったため、最終的な調査面積は 180 ㎡となった。

掘削にともなう発生土置き場を確保するため調査区は分割せざるを得ず、前節で述べたように南側のⅠ区→北側Ⅱ区という順で調査を進めた（図 2)。両調査区は繋がっておらず、南北に 6 ｍほど隔てた位置にある。両区とも表土は重機で掘削し、以下の掘削は人力作業で行った。今回は大きく 2 枚の中世遺構面を把握し、それぞれの面で遺構の確認と掘削作業を行い、写真撮影・測量図作成等の記録作業を進めた。測量には調査区の形状に沿った任意座標軸を設定して用い、調査区全体をカバーする 2 ｍ単位のグリッドを設けた。各グリッドは北西角を起点とし、東西１～11 ラインと南北Ａ～Ｍラインの交点から名称を付けた。

任意基準点に対しては、市道上にある鎌倉市 4 級基準点「U068」・「U069」の二点間関係を基点として開放トラバース測量を行い、国家座標値（旧測地系）を与えた。現地調査が終了した後、本報告の作成にあたり web 版「TKY2JGD」を用いて国家座標値を世界測地系（JGD2011）に変換した。図 2 には、任意座標と JGD2011 双方のメッシュを示した。

標高は、若宮大路「二ノ鳥居」下の鎌倉市 3 級基準点（6.195 ｍ）から直接水準測量によって敷地内の基準点に移設し、調査測量に用いた。

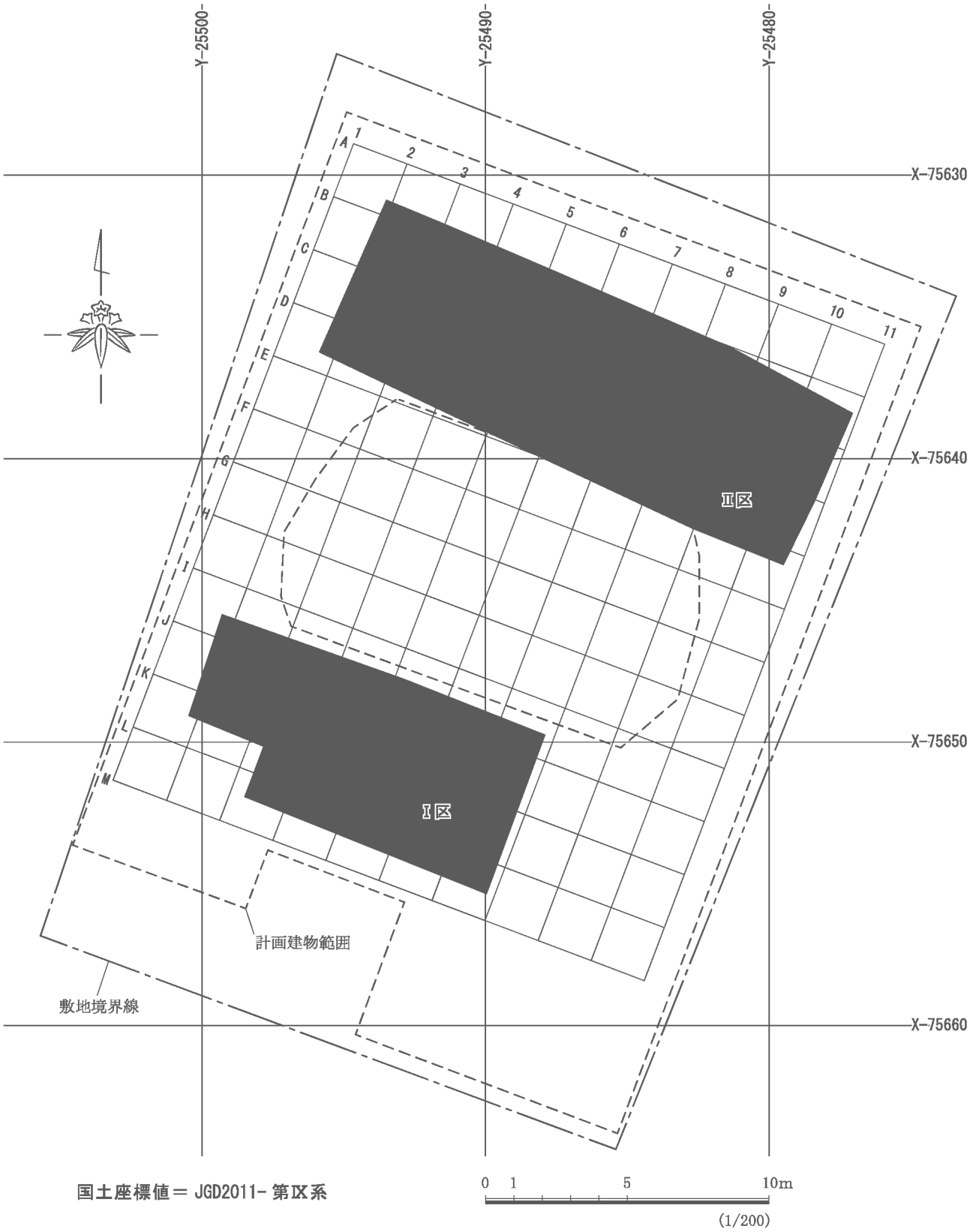


図２　調査区・グリッド配置図

第三章　基本土層

本地点では大別して２枚の遺構面を確認し、 現地調査では上層遺構面・下層遺構面と呼称して作業を進めた。本報告でも、それに従って記述して行く。

現地表面の標高は7.4～7.5ｍを測り、敷地の南側がわずかに低くなっている。

表土下には中世遺物包含層（1層）が堆積し、これを取り除いたところで上層遺構面が確認された。

上層遺構面は、Ⅰ区では6.3～6.5ｍ前後、北側のⅡ区では6.5～6.7ｍ前後で確認された。ただ、調査区壁の土層断面を見るとⅠ区北壁で6.7～6.8ｍ前後、Ⅱ区北壁では6.8ｍ前後が上面となることから、遺構の確認は本来の掘り込み面より低いレベルで実施したことになる。遺構面自体が現代までに削平を受け、中世当時の生活面ではない可能性が高い。このためか、上層遺構面を構築するのは褐色砂質土が主体で、泥岩を多用した整地層は確認できなかった。

下層遺構面は、Ⅰ区北壁で6.3～6.4ｍ前後、Ⅱ区北壁で6.4～6.7ｍ前後が上面となる。後述するようにⅠ・Ⅱ区とも調査区のほぼ全域が竪穴建物の埋土という状況を呈していたため、明確な整地面を把握するに至らなかった。

遺構の埋土（覆土）は褐色～暗褐色系の砂質土または粘質土を主体に構成され、泥岩・炭化物・貝殻など粒子の大小・多寡によって分層できる。現地調査の観察記録は詳細な内容であったが、本報告書の作成に当たってはその全てを採録できず、大幅に省略したものを掲載している（各断面図参照）。

本地点では、特に下層遺構面において竪穴建物を中心とした土地利用がされており、廃絶する竪穴を埋め立てて生活面を更新し、そこに新たな竪穴建物を掘削・建設して行く営為が比較的短期間のうちに繰り返されたものと見られる。その結果、泥岩塊を用いた盛土整地は行われず、簡単な地ならしを繰り返しながら土地利用を続けたことが推察される。

竪穴建物は中世基盤層である黒褐色粘質土層まで掘り込んでいる例が殆どであったため、本来ここに存在したであろう、鎌倉時代前半の遺構は多くが削り取られてしまった可能性が高い。そうした中でも、Ⅱ区南部の中世基盤層上では東西に延びる溝状遺構が検出され、竪穴建物とは主軸ラインや遺物様相が異なることから、第一章で触れた土地利用上の転換期が、本地点でも共通して把握できる可能性がある。

図３には、Ⅱ区南壁の土層断面を示した。この部分の下層遺構面では竪穴建物が繰り返し構築された結果、ほぼ隙間なく遺構の埋土となっている状況が明瞭に看取できる。古い竪穴の方が底面標高が低い傾向にあることから、構築面（生活面）の標高も埋め立て・地ならしを繰り返す過程で次第に高まって行った状況が推察できよう。また、上層遺構面の整地に当たっては、最終段階の竪穴構築面を削平して行われた可能性も考えられる。

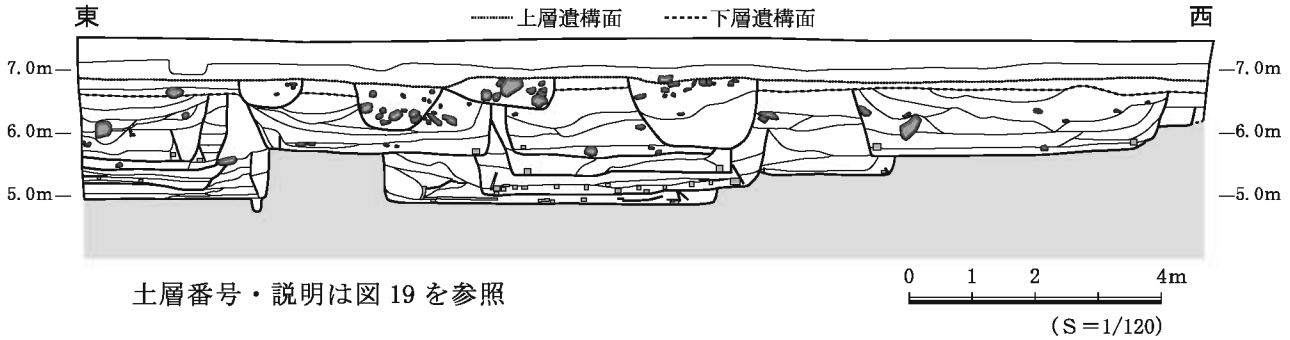


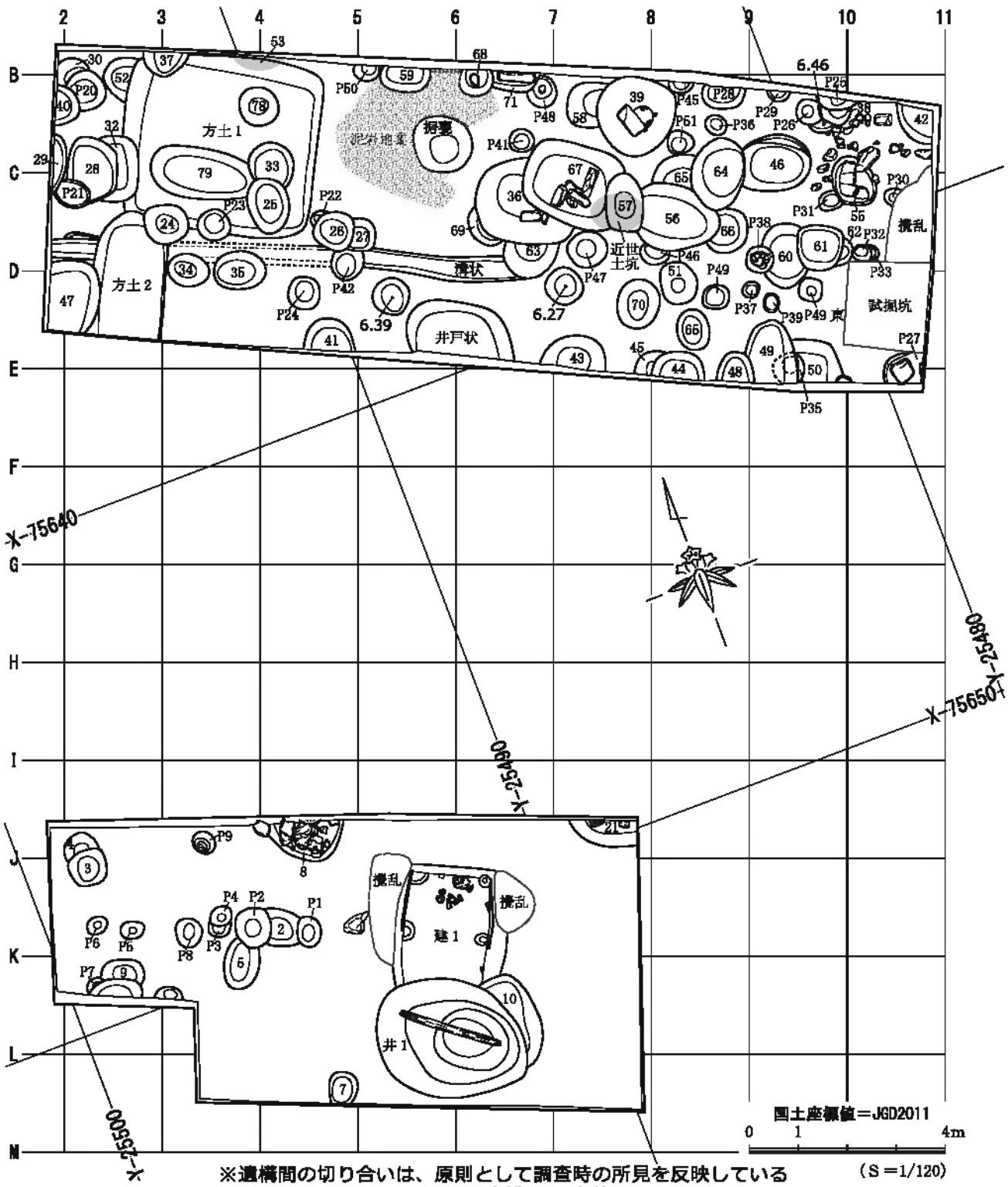
図３　土層断面図（Ⅱ区南壁）

第四章　検出遺構と出土遺物

第１節　検出遺構

（１）上層遺構面の検出遺構

南側のⅠ区で標高 6.3 ～ 6.5 ｍ前後、北側のⅡ区では 6.5 ～ 6.7 ｍ前後で確認された。

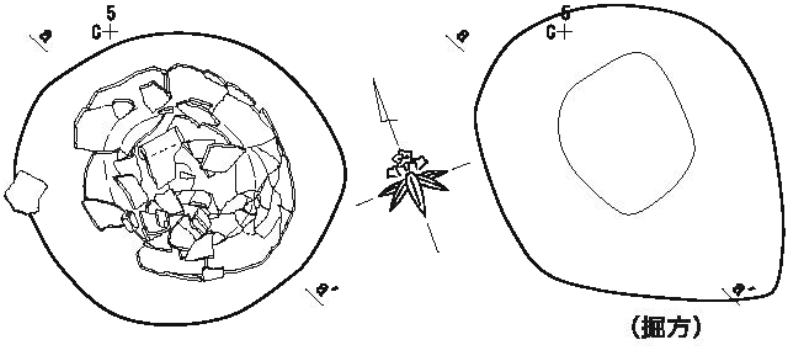


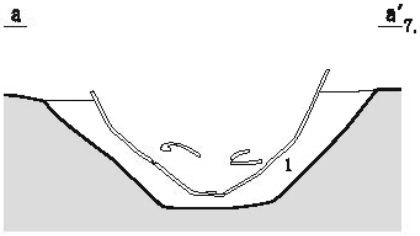
※遺構間の切り合いは、原則として調査時の所見を反映している　（S＝1/120）

図４　上層遺構面　全体図

褐色砂質土をベースとした遺構面で、この面上で土坑・ピットを主体に井戸などの遺構が検出された。特にⅡ区での遺構密度が高く、新旧遺構の重複が顕著であった。

図5・6には、現地で断面図等の個別記録を残した遺構を掲載した。以下、掲図したものを中心に、遺物の出土状況等に特徴のある遺構について説明を加える。文章で触れられなかった遺構については、表2の一覧を参照されたい。





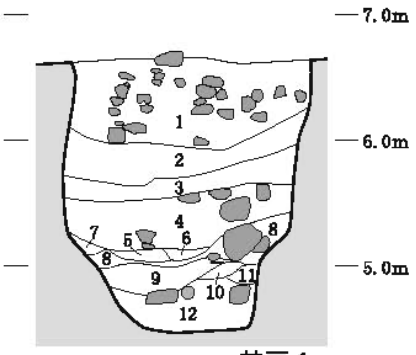
据壺遺構

1. 褐色土　締まり弱く、粘性ややあり。

0　0.5　1m

(1/30)

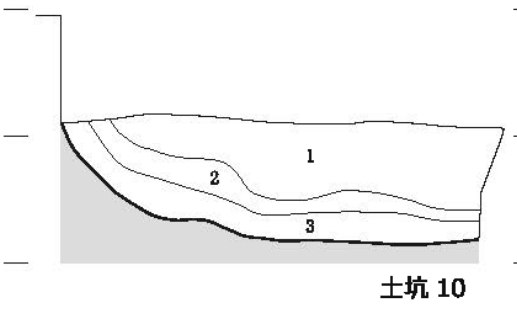
据壺遺構



井戸1

井戸1

1.	褐色土	砂質土。拳大～人頭大の安山岩礫と泥岩粒多量。
2.	暗褐色土	締まり弱い。
3.	暗褐色土	砂質土。
4.	暗褐色土	砂質土。凝灰岩片と安山岩礫多量。
5.	褐色土	砂質土。締まり弱い。
6.	暗褐色土	粘質土。
7.	暗褐色土	砂質土。
8.	褐色土	砂質土。
9.	暗青灰色土	砂質土。
10.	褐色土	粘質土。締まり弱い。
11.	暗青灰色土	砂質土。
12.	黒褐色土	粘質土。



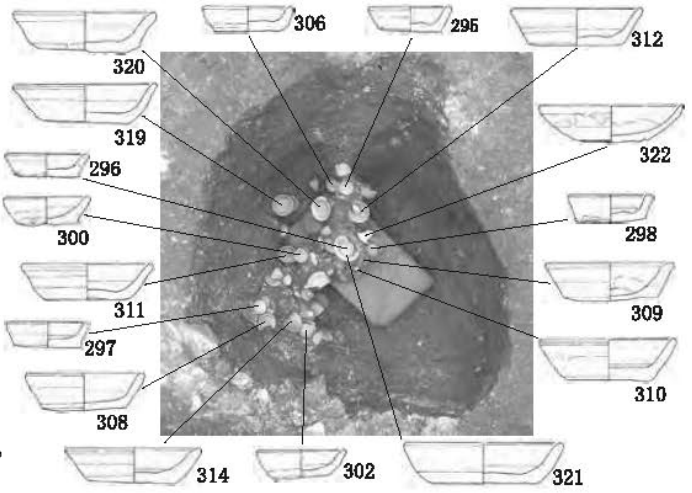
土坑10

土坑10

1.	褐色土	砂質土。拳大～人頭大の泥岩ブロック多量。
2.	褐色土	締まり弱い。
3.	暗黄褐色土	砂質土。

0　1　2m

(1/60)



遺物図縮尺＝1/6、No. は図34に対応

土坑39内遺物出土状況（写真上方が南）

図5　Ⅰ・Ⅱ区上層遺構面　遺構断面図・土坑39遺物出土状況

竪穴建物１（個別遺構図非掲載）

Ⅰ区中央で検出された。南部を井戸１と土坑 10 に切られ、また下層遺構面の竪穴竪物埋土を切っている。東西 2.1 ｍ、南北 2.3 ｍ以上の矩形プランを呈し、主軸方向は N27° E。標高 5.55 ～ 5.64 ｍの平らな床面から垂直に壁が立ち上がり、約 70 ㎝の高さを計測し得た。壁下の床面上では南北 1.2m 間隔で並ぶ深さ 10 ～ 15cm のピット４基が検出され、北半部では東・西・北壁に沿って板材が遺存していた。こうした状況から、柱と壁板を有する建物と判断した。

本遺構の出土遺物は図 24 に掲載し、埋土全体（84 ～ 99）と床面上（100 ～ 107）とに分けて示した。

井戸１（図 5）

Ⅰ区中央部の南寄りで検出された。竪穴建物１と土坑 10 を切って構築される。上場は長径 330 ㎝×短径 240 ㎝の楕円形プランを呈し、確認面からの深さは 216 ㎝、底面の標高は 4.47 ｍを測る。断面は円筒状を呈し、井戸枠は痕跡も含め確認できなかったことから、井戸としても素掘りであった可能性が高い。坑底近くに木材が数本、埋土の上層には礫がまとまって廃棄されていた（図版 1)。

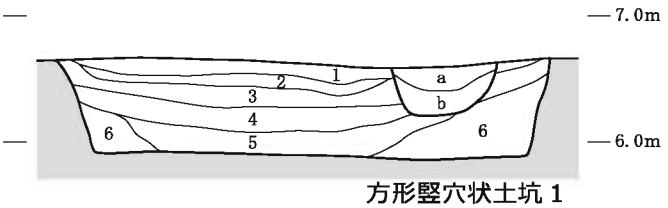
出土遺物は図 25・26 に掲載し、埋土全体（108 ～ 153）と埋土下層（154 ～ 156）とに分けて示した。

土坑 10（図 5）

井戸１に切られ、竪穴建物１を切っている。全体の規模・形状は不明。確認面からの深さは 104 ㎝で、底面標高は 5.14 ｍを測る。埋土中から少量の遺物が出土しているが、図示すべき個体はなかった。

据甕遺構（図 5）

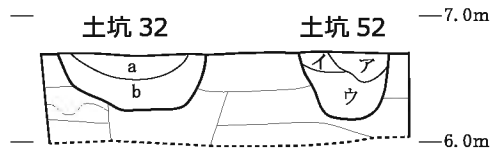
Ⅱ区中央北寄りで検出された。常滑甕を据え置いた土坑で、径 1.1 ～ 1.3 ｍの不正円形の平面プランを有する。甕の上部は破損して口縁は甕内部に落ち込んでいた（図版 9-1・2)。残存する甕胴部の上端



方形竪穴状土坑１

1 ～ 6：方形竪穴状土坑１
1. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
2. 黄褐色土　砂質土。褐鉄分多量。締まり弱い。
3. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
4. 褐色土　粘質土。炭化物やや多量。締まり弱い。
5. 褐色土　砂質土。炭化物多量。締まり弱い。
6. 褐色土　弱粘質土。炭化物多量。締まりややあり。

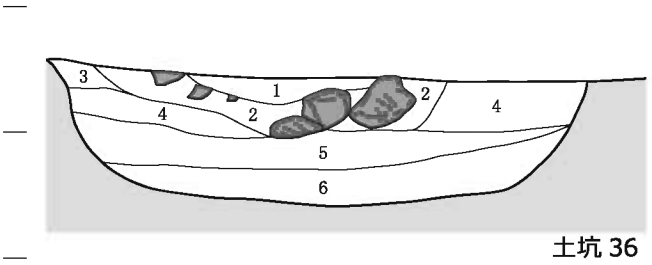
a・b：土坑 25
a. 褐色土　粘質土。締まり弱い。
b. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。



a・b：土坑 32
a. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
b. 褐色土　砂質土。炭化物多量。締まりややあり。

ア～ウ：土坑 52
ア．褐色土　砂質土。炭化物多量。締まりあり。
イ．褐色土　砂質土。締まりややあり。
ウ．暗黄褐色土　砂質土。炭化物やや多量。締まり弱い。

0　1　2m
(1/60)



土坑 36

土坑 36
1. 暗褐色土　粘質土。炭化物多量。
2. 褐色土　粘質土。泥岩・凝灰岩・安山岩礫多量。
3. 褐色土　粘質土。締まり弱い。
4. 明褐色土　粘質土。炭化物やや多量。
5. 明褐色土　締まり弱い。
6. 褐色土　砂質土。炭化物やや多量。

0　0.5　1m
(1/30)

図６　Ⅱ区上層遺構面　遺構断面図

から掘方底面までは55㎝の深さがあり、土坑底面の標高は6.28ｍであった。本遺構の南北と西側には破砕泥岩を多用した比較的丁寧な整地面が遺存していたが、覆屋を復元できそうな遺構の確認には及ばなかった。

本遺構からの出土遺物は、図27に掲載した。

方形竪穴状土坑１（土坑31・図6）

Ⅱ区の北西角付近で検出された。東西400㎝×南北350㎝の方形プランを呈し、直立する壁面と平らな底面を有する。確認面からの深さは80㎝で、底面標高は5.85～6.08ｍを測る。遺構中心軸はN29°Eを。

表２　上層遺構面　遺構一覧

区	遺構No.	底面標高（m）
Ⅰ	竪穴建物１	5.55～5.64
Ⅰ	井戸１	4.47
Ⅰ	土坑２	6.10
Ⅰ	土坑３	6.33
Ⅰ	土坑４	6.36
Ⅰ	土坑５	6.17
Ⅰ	土坑７	6.32
Ⅰ	土坑８	6.15
Ⅰ	土坑９	6.13
Ⅰ	土坑10	5.14
Ⅰ	土坑21	6.41
Ⅰ	ピット１	6.22
Ⅰ	ピット２	6.13
Ⅰ	ピット３	6.17
Ⅰ	ピット４	6.20
Ⅰ	ピット５	6.27
Ⅰ	ピット６	6.37
Ⅰ	ピット７	6.20
Ⅰ	ピット８	6.27
Ⅰ	ピット９	6.40
Ⅱ	近世土坑	6.31
Ⅱ	据甕遺構	6.28
Ⅱ	井戸２（土坑77）	4.89
Ⅱ	井戸状遺構	5.78
Ⅱ	溝状遺構	6.33～6.41（西が低い）
Ⅱ	方竪状土坑１	5.85～6.08
Ⅱ	方竪状土坑２	→竪穴建物９
Ⅱ	土坑24	6.33
Ⅱ	土坑25	6.22
Ⅱ	土坑26	6.30
Ⅱ	土坑27	6.35
Ⅱ	土坑28	6.37
Ⅱ	土坑29	6.45
Ⅱ	土坑30	6.28
Ⅱ	土坑31	→方竪状土坑１

区	遺構No.	底面標高（m）
Ⅱ	土坑32	6.24
Ⅱ	土坑33	6.28
Ⅱ	土坑34	6.27
Ⅱ	土坑35	6.20
Ⅱ	土坑36	5.71
Ⅱ	土坑37	5.82
Ⅱ	土坑39	6.02
Ⅱ	土坑38	6.29
Ⅱ	土坑40	6.41
Ⅱ	土坑41	6.32
Ⅱ	土坑42	6.28
Ⅱ	土坑43	6.16
Ⅱ	土坑44	6.19
Ⅱ	土坑45	6.27
Ⅱ	土坑46	6.07
Ⅱ	土坑47	6.41
Ⅱ	土坑48	6.27
Ⅱ	土坑49	6.33
Ⅱ	土坑50	6.00
Ⅱ	土坑51	6.29
Ⅱ	土坑53	6.02
Ⅱ	土坑55	6.33
Ⅱ	土坑56	6.25
Ⅱ	土坑57	6.33
Ⅱ	土坑58	6.01
Ⅱ	土坑59	6.15
Ⅱ	土坑60	6.02
Ⅱ	土坑61	6.08
Ⅱ	土坑62	6.10
Ⅱ	土坑63	6.24
Ⅱ	土坑64	6.39
Ⅱ	土坑65	6.02
Ⅱ	土坑66	6.24
Ⅱ	土坑67	6.01
Ⅱ	土坑68	6.28
Ⅱ	土坑69	6.16

区	遺構No.	底面標高（m）
Ⅱ	土坑70	6.29
Ⅱ	土坑71	6.31
Ⅱ	土坑78	5.49
Ⅱ	土坑79	5.73～5.69
Ⅱ	ピット20	6.37
Ⅱ	ピット21	6.42
Ⅱ	ピット22	6.39
Ⅱ	ピット23	6.43
Ⅱ	ピット24	6.22
Ⅱ	ピット25	6.47
Ⅱ	ピット26	6.37
Ⅱ	ピット27	6.23
Ⅱ	ピット28	6.39
Ⅱ	ピット29	6.49
Ⅱ	ピット30	6.34
Ⅱ	ピット31	6.40
Ⅱ	ピット32	6.32
Ⅱ	ピット33	6.31
Ⅱ	ピット35	5.93
Ⅱ	ピット36	6.27
Ⅱ	ピット37	6.40
Ⅱ	ピット38	6.04
Ⅱ	ピット39	6.38
Ⅱ	ピット40	6.27
Ⅱ	ピット41	6.25
Ⅱ	ピット42	6.17
Ⅱ	ピット45	6.30
Ⅱ	ピット46	6.11
Ⅱ	ピット47	6.14
Ⅱ	ピット48	6.27
Ⅱ	ピット49東	6.24
Ⅱ	ピット49西	—
Ⅱ	ピット50	6.18
Ⅱ	ピット51	6.26

平面規模は、図4を参照のこと

黒地欄の遺構は、図4に載らず

木材や切石による構造物をともなわず、また底面上では柱穴や根太痕など付帯施設を見出せなかったことから、建物であった可能性は残しつつも、土坑の一類として扱った。

本遺構では多くの遺物が出土しており、図 28 に埋土出土分を、図 29 に床面上出土資料を掲載した。

方形竪穴状土坑 2（下層竪穴建物 9・個別遺構図なし）

Ⅱ区の南西角付近で検出され、南側は調査区の外に続く。土坑 24・47 に切られ、溝状遺構とも重複するが新旧関係は掴めていない。調査を進めるに連れて下層遺構面の竪穴建物 9 にともなう落ち込みと判断されたが、遺物の取り上げも個別に行ったため、同建物の埋土上層に帰属する出土品ということで、図 30-224 ～ 250 に掲載した。

井戸状遺構（個別遺構図なし）

Ⅱ区中央部の南壁際に位置し、北側の約 1/2 程度が検出されたものと見られる。現地では井戸状遺構と名付けたものの、おそらく構築当初から湧水層までは掘削が及んでいなかったものと考えられる。よって正式には土坑と称すべきものであろう。東西径は 207 ㎝、南北は 100 ㎝以上を測る。南壁の土層断面で確認できた深さは 107 ㎝で、底面標高は 5.78 ｍを測る。本遺構は下層遺構面の竪穴建物 19 に重なる位置にあり、これに後続する竪穴建物Ｂ（土層断面でのみ存在を確認）を切っている。

本遺構からの出土遺物は少なく、2 点のみを図化した（図 30-251・252)。

溝状遺構（遺構個別図なし）

Ⅱ区の南寄り、Ｄラインに沿って検出された東西溝で、西は調査区外に続き、東は土坑 63 に切られたところで終わっている。上幅 40 ～ 50 ㎝、底面幅 20 ～ 30㎝ を測り、長さは 9.7 ｍまでを計測できた。底面標高は 6.33 ～ 6.41 ｍで、西側が低い傾向にある。走行軸は、N66° W。

本遺構からの出土遺物は少なく、図化すべきものもなかった。

土坑 36（図 6）

Ⅱ区中央部付近で検出された。土坑 67 に切られ、土坑 69・63 を切って構築される。長径 215 ㎝の大型土坑で、確認面からの深さは 58 ㎝、底面標高は 5.71 ｍを測る。

本遺構からの出土遺物は比較的多く、図 33 に掲載した。

土坑 39（図 5）

Ⅱ区北壁近くの中央部、やや東側で検出された。土坑 58 を切る。坑底付近に凝灰質砂岩の切石（鎌倉石）が投棄され、この上にかわらけの完形品を含む遺物がまとまって廃棄されていた。切石を取り除いた下の底面標高は、6.02 ｍを測る。

出土遺物は図 34-292 ～ 328 に示した。

（2）下層遺構面の検出遺構

Ⅰ区で標高6.3～6.4ｍ前後、Ⅱ区では6.4～6.7ｍ前後で検出された。図7が示すようにⅠ・Ⅱ区とも調査区全域にわたって竪穴建物が展開し、この間に幅1ｍ弱の空閑地が延びている。これを通路と見なせるかは、屋根の葺き下ろし方により評価が分かれるかもしれない。竪穴建物はⅠ・Ⅱ区合わせて23棟を確認し、細かな建て替えや土層断面でしか捉えることができなかった事例を含めると、さらに多数に上る。

検出された竪穴建物の殆どが土台構造を取り、竪穴底面の四周に土台材を巡らせ、そこから枘組みで柱を立てた背後に横板を当てて壁体を構築している。床板が良好に残る事例はなかったが、Ⅱ区の建物22cでは腐朽して掘方底面に落ち込んだ状況が確認されている。基本的には土台材の内区に一定の方向・間隔で根太材を這わせ、その上に直交方向で床板を敷き並べていたものと考えられる。また、青磁碗の一括廃棄状況が確認された建物21などでは根太材の痕跡は確認されず、掘方底面の周縁に柱スパンの短い掘立柱建物を立ち上げる構造を取っていた。

建物のない場所では重複する土坑群が検出され、また建物群が構築される前段階の遺構として東西溝（Ⅰ区溝1）や井戸（Ⅱ区井戸4）などが確認された。

以下、主な遺構について概略を説明するが、遺構間の新旧関係については各遺構図面を、底面標高については表3の一覧を参照されたい。この他、建物の平面規模や主軸方位、柱穴や枘穴の間隔といった図から情報を得られる項目については、記述を省略する。

表３　下層遺構面　遺構一覧

区	遺構No.	底面標高（m）
Ⅰ	竪穴建物2A	5.18～5.25
Ⅰ	竪穴建物2B	5.10～5.19
Ⅰ	竪穴建物3	5.10
Ⅰ	竪穴建物4	4.92～4.98
Ⅰ	竪穴建物5	5.46～5.58
Ⅰ	竪穴建物6	5.28～5.32
Ⅰ	竪穴建物6張り出し	5.48～5.50
Ⅰ	竪穴建物7	4.84～4.89
Ⅰ	溝1	5.24
Ⅰ	土坑14	5.35
Ⅰ	土坑17	5.99
Ⅰ	土坑18	5.32
Ⅰ	土坑19	5.40
Ⅰ	土坑20	5.46
Ⅰ	ピット10	5.79
Ⅰ	ピット11	5.66
Ⅰ	ピット12	5.26
Ⅰ	ピット13	5.85
Ⅰ	ピット14	5.64
Ⅰ	ピット15	5.83
Ⅰ	ピット16	5.28
Ⅰ	ピット17	5.85
Ⅰ	ピット18	5.88
Ⅰ	ピット19	6.10
Ⅱ	竪穴建物9	5.63～5.74
Ⅱ	竪穴建物10	5.60～5.69
Ⅱ	竪穴建物11	5.91～5.96
Ⅱ	竪穴建物12	5.96
Ⅱ	竪穴建物13	5.34～5.40
Ⅱ	竪穴建物14	5.50～5.70
Ⅱ	竪穴建物15	5.23～5.44
Ⅱ	竪穴建物16	5.40～5.48
Ⅱ	竪穴建物17	5.08～5.18
Ⅱ	竪穴建物18	5.64～5.76
Ⅱ	竪穴建物19	5.01～5.12
Ⅱ	竪穴建物20	5.11～5.20
Ⅱ	竪穴建物21	4.92～4.96
Ⅱ	竪穴建物22	5.33～5.38
Ⅱ	竪穴建物24	4.86～4.90
Ⅱ	井戸3（未完掘）	[5.02]
Ⅱ	井戸4（未完掘）	[4.27]
Ⅱ	方竪状土坑3	4.64～4.74
Ⅱ	土坑23	5.30
Ⅱ	土坑75	6.15
Ⅱ	土坑76	6.16
Ⅱ	土坑77（井戸2）	4.89
Ⅱ	土坑82	5.68
Ⅱ	土坑81	5.95
Ⅱ	土坑82	5.68
Ⅱ	土坑83	5.29
Ⅱ	土坑84	5.78
Ⅱ	土坑86	5.03
Ⅱ	ピット52	4.74
Ⅱ	ピット62	5.71

平面規模は、図7を参照のこと

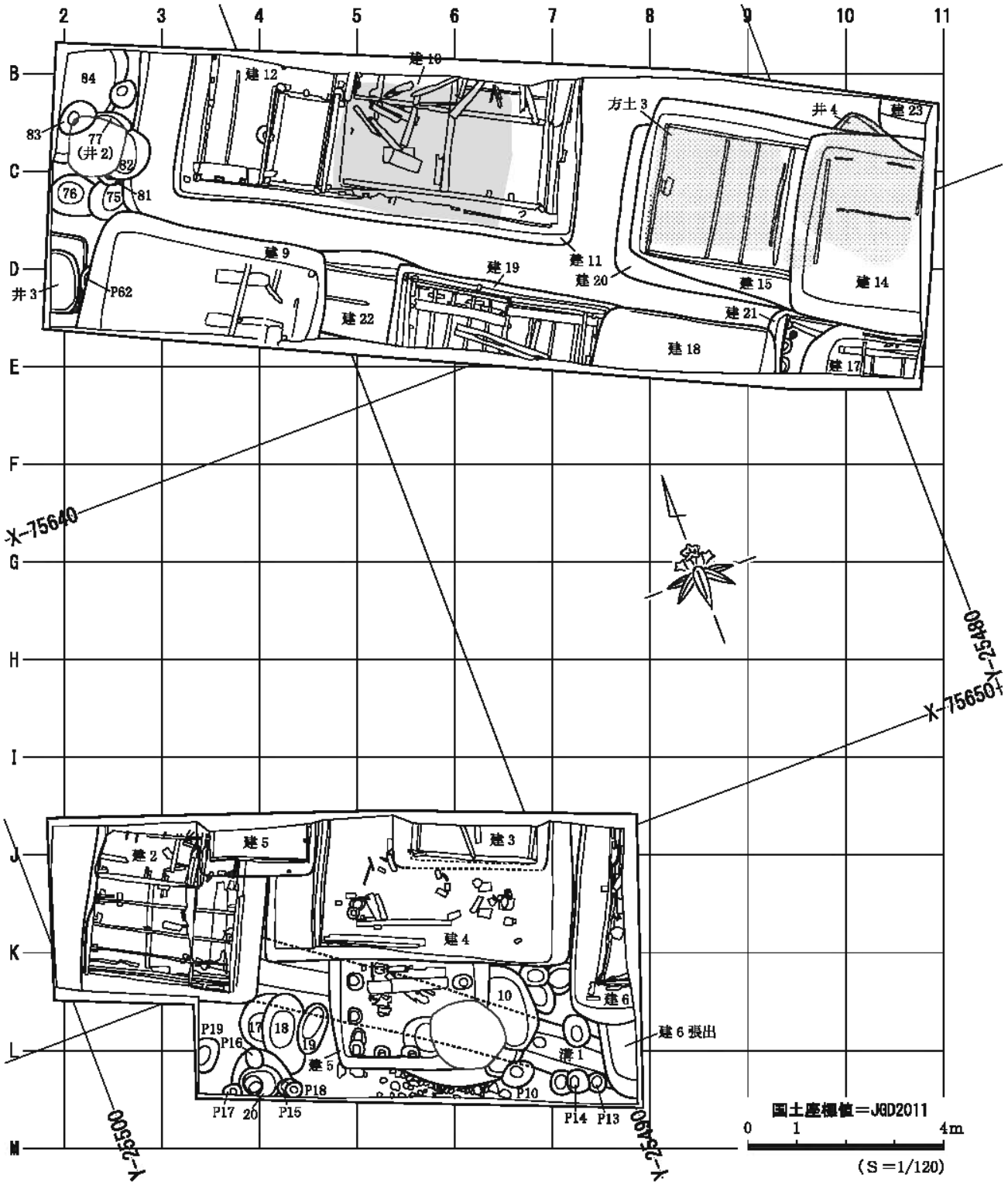
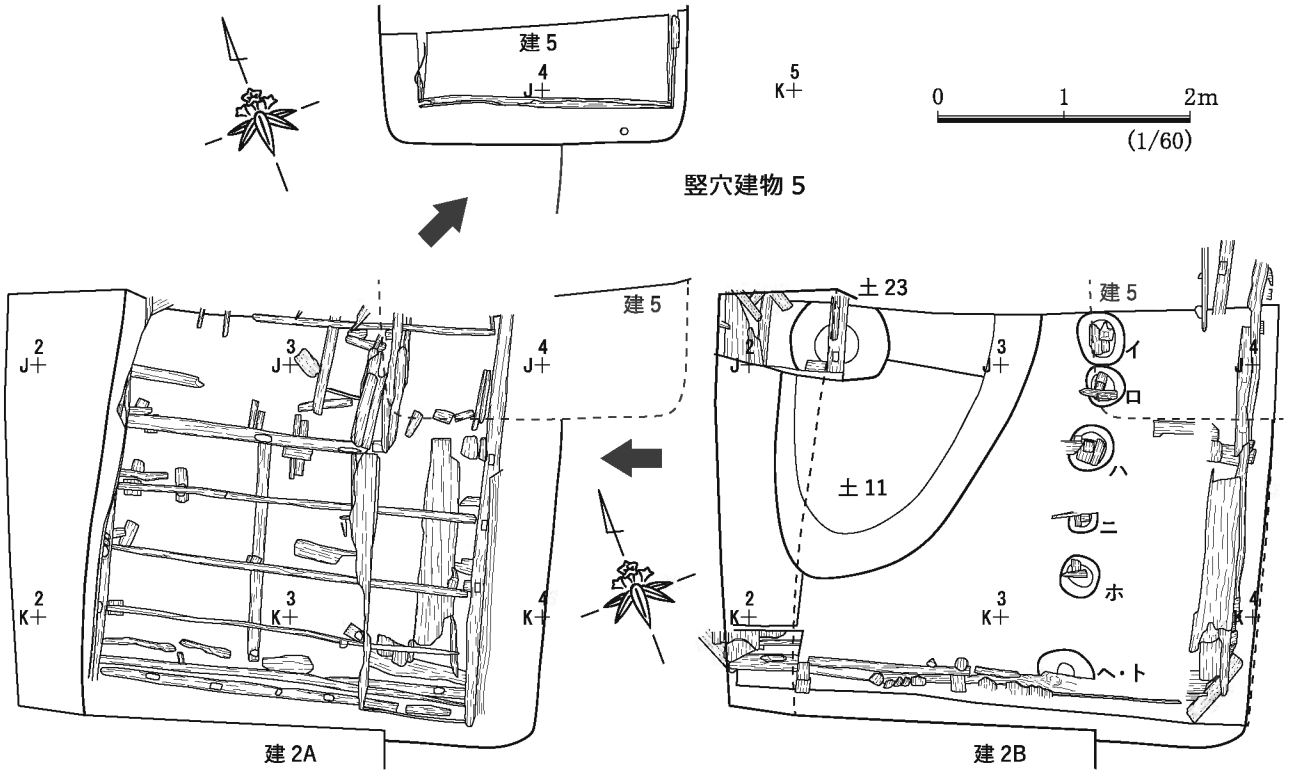

2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
建10
建12
84
83
77
(井2)
82
76
75
81
方土3
井4
建23
建9
井3
P62
建19
建11
建20
建15
建14
建22
建21
建18
建17
X-75640
X-75650
Y-25480
Y-25500
Y-25490
建2
建5
建3
建4
10
建6
建6張出
P19
P16
17
18
19
建5
溝1
P18
P10
P17
20
P15
P14
P13
国土座標値＝JGD2011
0
1
4m
(S＝1/120)

図７　下層遺構面　全体図

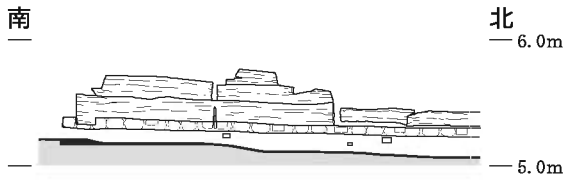
建物 2（図 8）

Ⅰ区北西角付近で検出され、北側は調査区外に続く。造り替えによる、新旧 2 段階の建物が確認され、建物 2B → 2A の順で平面規模を縮小し、床面レベルを上げて構築し直している。ともに土台構造だが、掘方底面では東辺より西側に離れた位置で南北方向の柱穴列が確認され、柱材も立った状態で残存していた（図版 4）。2A 根太材より高いレベルまで立ち上がっていることから、2A 段階での補強や間仕切りなどに関連する痕跡と考えられ、2B 段階から存在していた可能性もある。なお、図 8 に示した土坑 11 については、底面標高などの現地記録の情報を欠いており、性格などの詳細は不明である。写真記録を参照すると、この以西はやや大きな落ち込みとなっている印象を受けた。

本遺構からの出土遺物は、図 39 に掲載した。

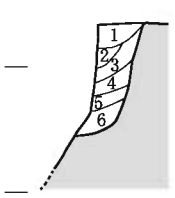


〔古〕土坑 23→建 2B→建 2A→建 5〔新〕



竪穴建物 2 東壁

竪穴建物 2 土層断面



竪穴建物 2 掘方　柱穴一覧

区	遺構 No.	礎板上標高（m）	底面標高（m）
Ⅰ	ピット－イ	5.12	5.02
Ⅰ	ピット－ロ	5.22	5.02
Ⅰ	ピット－ハ	5.21	5.02
Ⅰ	ピット－ニ	5.20	—
Ⅰ	ピット－ホ	5.21	5.12
Ⅰ	ピット－へ・ト	—	5.05

平面規模は図を参照のこと

建物 2

1. 黄褐色土　砂質土。締まり弱い。
2. 灰褐色土　砂質土。泥岩粒多量。締まり弱い。
3. 灰褐色土　砂質土。締まり弱い。
4. 褐色土　砂質土。凝灰岩片と安山岩礫多量。
5. 褐色土　粘質土。灰層と炭層の縞状堆積。締まり弱い。
6. 褐色土　砂質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。

図 8　Ⅰ区下層遺構面　竪穴建物 2・5

建物 3（図 9）

Ⅰ区の北壁際で検出され、大部分が調査区外に続くものと見られる。建物 4 が埋没した後、この上位に構築されている。南辺の壁板が北に倒れ込んだ状態で検出された（図版 5-1・2）。

本遺構からの出土遺物は、図 40 に掲載した。

建物 4（図 9）

Ⅰ区の北壁際で検出され、北半分ほどは調査区外に続くと見られる。他の建物に比べ土台や根太材が残っておらず、建物廃絶に際して取り除かれ、再利用された可能性がある。掘方底面では、西辺より 70 ㎝ほど東で南北方向の小溝が検出され、土台材の据え方痕跡と考えられる。これを西側に拡張する形で建て替えが行われたことを示すものかもしれない。

本遺構からの出土遺物は、図 41 に掲載した。

建物 5（図 8）

Ⅰ区北壁際で検出され、北側は調査区外に続く。建物 2・4 の上位に重複する。東に並ぶ建物 3 とは遺構間の新旧関係や規模、竪穴南辺が揃っている点など共通項が多く見られ、竪穴建物が展開する最終段階において、同時期に存在していた可能性が指摘できる。

本遺構の出土遺物は、図 42-499 ～ 515 に掲載した。

建物 6（図 9）

Ⅰ区東壁際で検出された。部分的な検出にとどまり、大半が東側調査区外に続くものと見られる。他の竪穴建物とは重複しておらず直接の新旧関係は不明だが、配置状況や床面レベルなどの共通性から、建物 2 と同時期に存在していた可能性を指摘できる。竪穴南辺に落ち込みが接しており（土坑 16）、現地調査では建物の張り出し部であったとする所見も残されているが、土層断面からは別遺構となるか、張り出し部であったかは断定が難しい。

出土遺物は、図 42-516 ～ 525 に掲載した。

建物 7（図 9）

Ⅰ区中央で検出され、北半部は竪物 4 に切られ底面の柱穴列しか残っていなかった。南北に長い矩形プランを呈し、掘方底面の四周に短いスパンで柱穴を巡らせている。鎌倉の竪穴建物としては初現期の型式とされ、他遺構との切り合い関係の上でも矛盾はない結果となっている。

本遺構からの出土遺物は少なく、図化できたものは、図 43 に掲載した。

建物 8（欠番）

現地記録に一切の情報がないため、欠番とした。

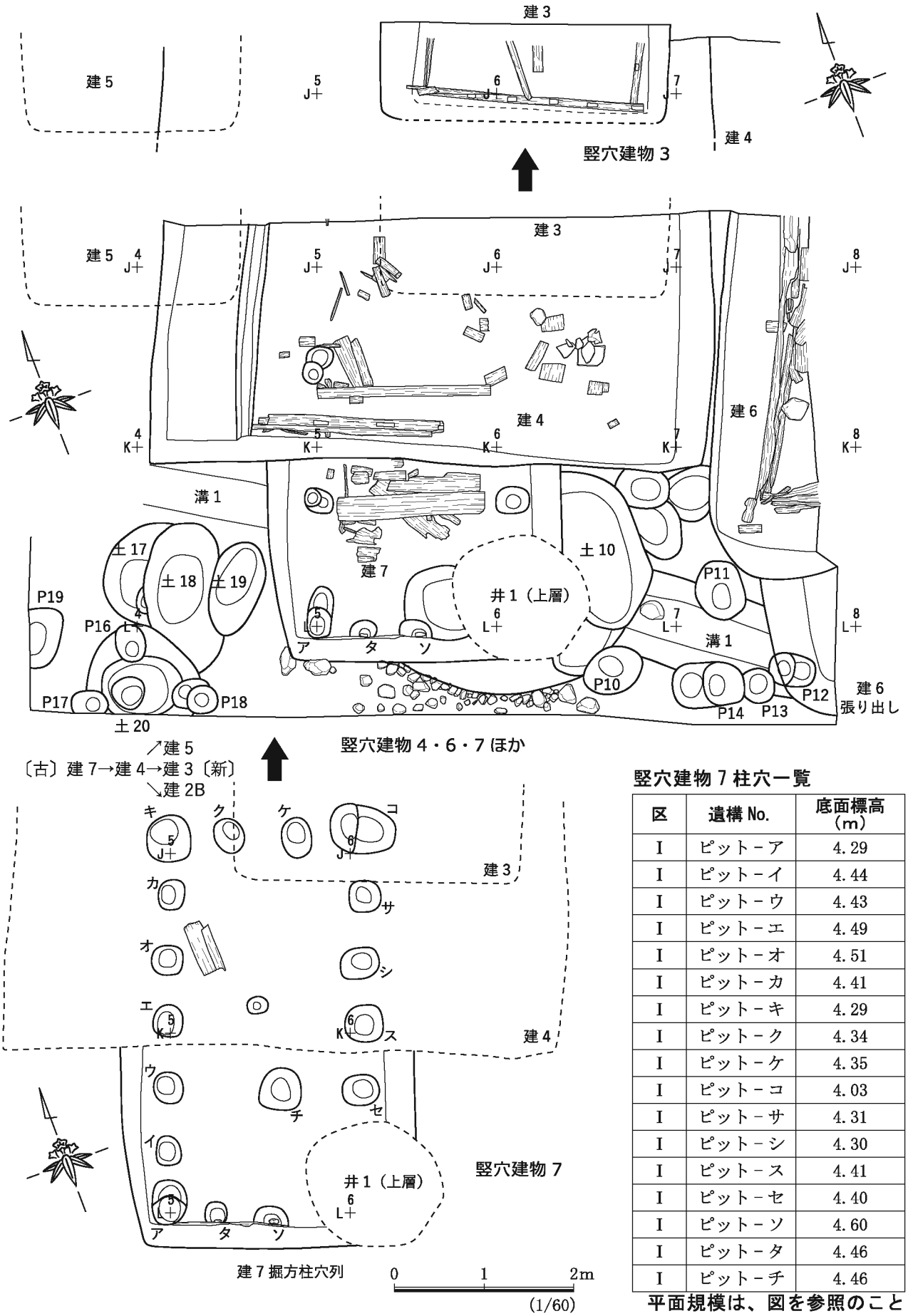
建物 9（上層方形竪穴状土坑 2、個別遺構図なし）

Ⅱ区南西部で検出され、遺構の大半は調査区南外に続く。東側の建物 22 を切る（図 16 参照）。上層遺構面で確認した方形竪穴状土坑 2 の掘削を進めるうち、下層遺構面の竪穴建物となることが判明した。図 19 の断面図からも、下層を掘り込み面としていることが確認できる。図版 11-2 では上層遺構に混在して提示してしまったが、底面上に南北方向の根太材痕跡が残っている様子を確認できる。

本遺構の出土遺物は、図 44 に掲載した。

建物 10（図 12）

Ⅱ区中央部の北壁近くで検出された。北壁際には本遺構に切られる竪穴建物が 1 棟存在していたが、平面的には把握できず、土層断面のみでの確認となった（建物 A：図 13 参照）。建物 11 の上位に重複して構築される。底面上では根太材などの痕跡は確認できなかったが、炭層の堆積が認められた（図版

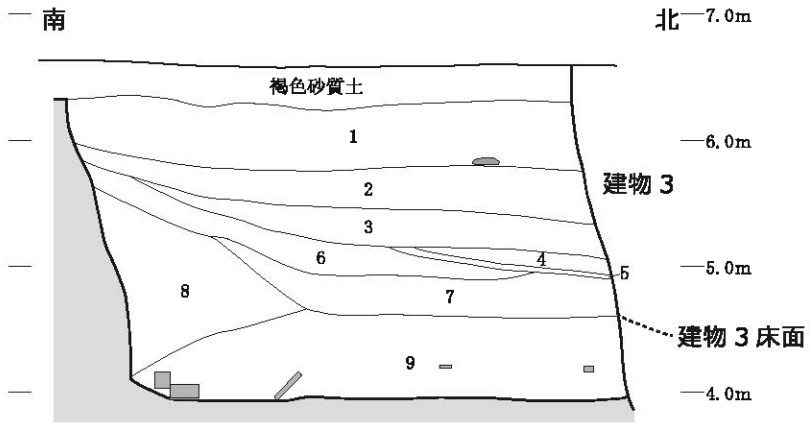


竪穴建物7柱穴一覧

区	遺構No.	底面標高（m）
I	ピット－ア	4.29
I	ピット－イ	4.44
I	ピット－ウ	4.43
I	ピット－エ	4.49
I	ピット－オ	4.51
I	ピット－カ	4.41
I	ピット－キ	4.29
I	ピット－ク	4.34
I	ピット－ケ	4.35
I	ピット－コ	4.03
I	ピット－サ	4.31
I	ピット－シ	4.30
I	ピット－ス	4.41
I	ピット－セ	4.40
I	ピット－ソ	4.60
I	ピット－タ	4.46
I	ピット－チ	4.46

平面規模は、図を参照のこと

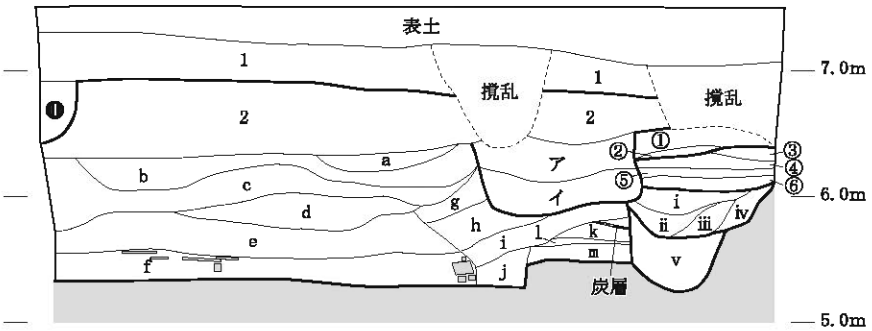
図９　Ｉ区下層遺構面　竪穴建物３・４・６・７ほか



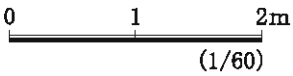
竪穴建物４(南北断面)

建物４

1. 褐色土　砂質土締まり弱い。
2. 暗褐色土　砂質土。締まりややあり。
3. 暗褐色土　粘質土。締まりあり。
4. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
5. 黄褐色土　砂質土。締まり弱い。
6. 暗褐色土　砂質土。黄色砂ブロック多量。締まり弱い。
7. 暗褐色土　締まりややあり。
8. 暗褐色土　締まりあり。
9. 青灰色土 砂質土。床面上埋土。



竪穴建物６（Ⅰ区東壁断面）



a～m：建物６

a．褐色土　砂質土。締まりあり。
b．褐色土　砂質土。締まりあり。
c．褐色土　砂質土。締まりややあり。
d．褐色土　砂質土。締まりややあり。
e．褐色土　砂質土。締まり弱い。
f．褐色土　砂質土。締まりややあり。
g．褐色土　砂質土。締まりややあり。
h．褐色土　砂質土。締まり弱い。
i．褐色土　砂質土。締まり弱い。
j．暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
k．暗褐色土　砂質土。黄灰色砂多量。締まり弱い。
l．黄灰色砂　粘質土ブロック混入。締まり弱い。
m．暗褐色土　砂質土。黄灰色砂多量。締まりややあり。

ア・イ：土坑15

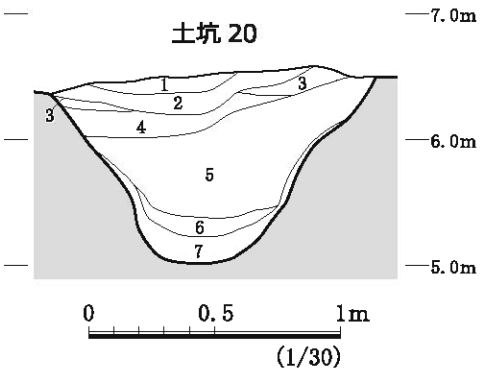
ア．褐色土　砂質土。締まりややあり。
イ．褐色土　砂質土。締まりややあり。

①～⑥：道路

①．暗黄褐色土　砂質土。締まり弱い。
②．暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
③．褐色土　砂質土。泥岩粒の整地土。
④．黄褐色砂　締まり弱い。
⑤．暗褐色土　砂質土。締まりあり。
⑥．褐色土　砂質土。締まりあり。

i～v：溝１

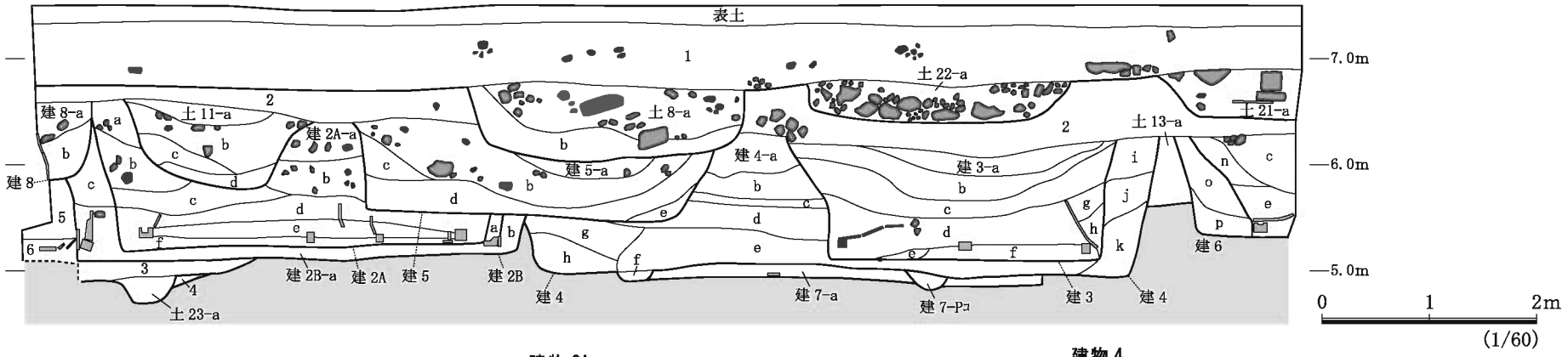
i．暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
ii．暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
iii．褐色土　弱粘質土。
iv．黒褐色土　粘質土。締まり非常に強い。
v．暗褐色土　砂質土。粘性あり。締まりややあり。



土坑 20

1. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
2. 黄灰色土　砂質土。粘質土ブロック少量。
3. 褐色土　砂質土。締まりあり。
4. 褐色土　弱粘質土。締まりあり。
5. 褐色土　粘質土。締まりややあり。
6. 灰褐色土　粘質土。
7. 暗灰褐色土　粘質土。

図 10　Ⅰ区下層遺構面　竪穴建物４・６、土坑 20 土層断面図



1. 褐色土　砂質土。締まり弱い。中世遺物包含層。
1′ 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
2. 褐色土　砂質土。締まりあり。
4. 黄褐色土　弱粘質土。薄い炭層が入る。締まり弱い。
5. 暗褐色土　弱粘質土。締まりあり。
6. 暗褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
7. 暗褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
8. 暗黄褐色土　砂質土。締まり弱い。
9. 褐色土　粘質土。締まりあり。

土坑 8
a. 褐色土　砂質土。炭化物多量。締まり弱い。
b. 褐色土　砂質土。炭化物多量。締まり弱い。

土坑 11
a. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
b. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
c. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
d. 暗灰色土　粘質土。締まりあり。

土坑 21
a. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。

土坑 22
a. 褐色土　砂質土。締まり弱い。

土坑 13
a. 褐色土　砂質土。締まり弱い。

土坑 23
暗青灰色土　砂質土（弱粘質）。締まりややあり。

建物 2A
a. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
b. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
c. 暗褐色土　砂質土。褐色砂ブロック・炭化物多量。締まり弱い。
d. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
e. 暗褐色土　砂質土（弱粘質）。締まり弱い。
f. 暗灰色土　砂質土（弱粘質）。締まりややあり。掘方。

建物 2B
a. 暗灰色土　砂質土（弱粘質）。締まりややあり。掘方
b. 暗褐色土　砂質土。黄色砂ブロック多量。締まりあり。
c. 褐色土　砂質土。締まり弱い。

建物 3
a. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
b. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
c. 暗褐色土　砂質土。黄色砂ブロック多量。締まり弱い。
d. 暗褐色土　粘質土。炭化物多量。締まりややあり。
e. 青灰色砂　締まり弱い。
f. 暗褐色土　砂質土（弱粘質）。締まり弱い。
g. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
h. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。

建物 6：a ～ m は東壁断面（図 10）を参照
n. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
o. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
p. 暗褐色土　砂質土。締まりあり。

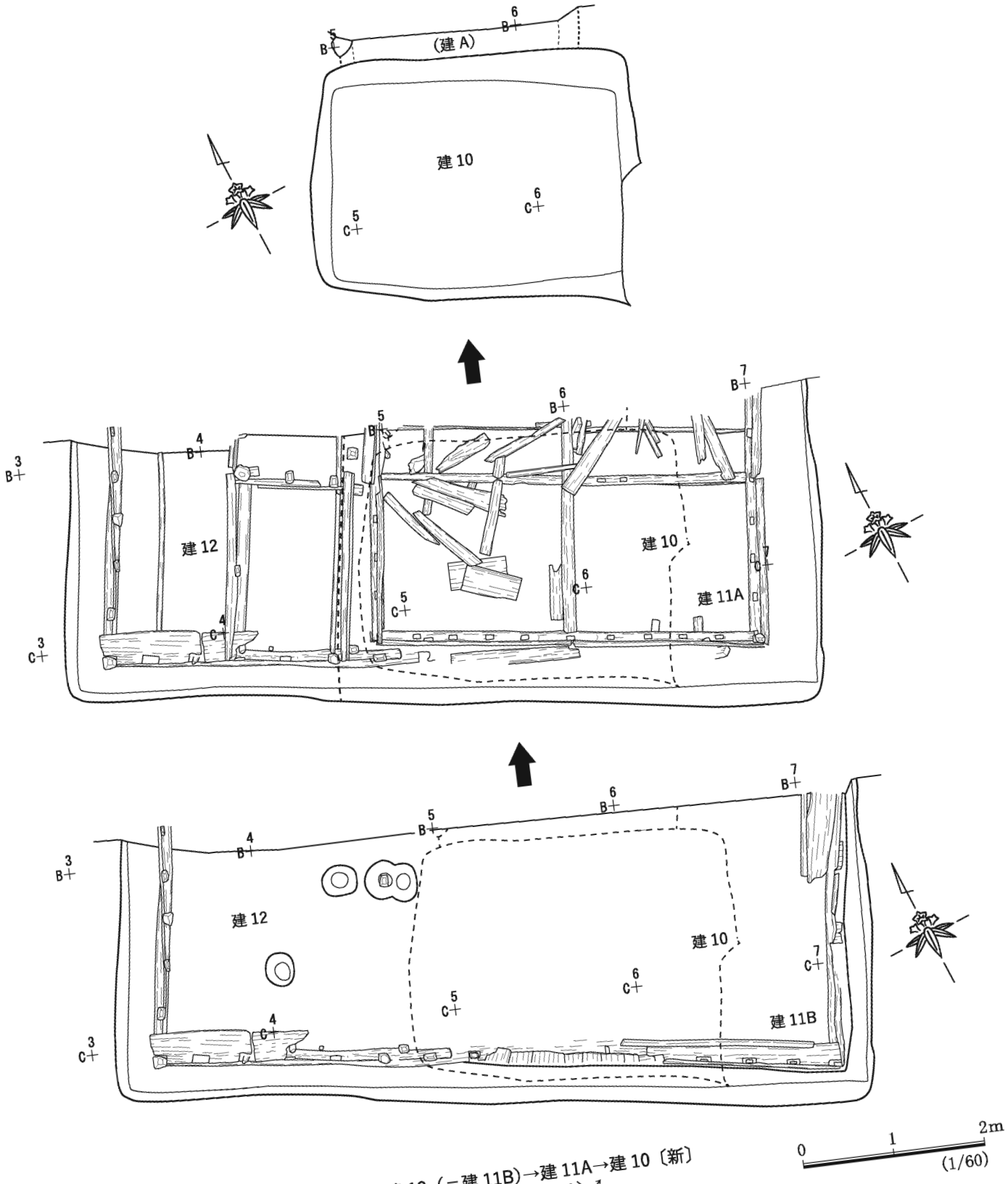
建物 4
a. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
b. 褐色土　砂質土。炭化物多量。締まりややあり。
c. 暗褐色土　弱粘質土。締まりあり。
d. 暗褐色土　砂質土。炭化物多量。締まりややあり。
e. 暗褐色土　砂質土。締まりややあり。
f. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。建物 4 掘方か。
g. 暗褐色土　砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まりややあり。
h. 黄褐色砂　地山近似の粘質土ブロック混入。締まりややあり。
i. 暗褐色土　砂質土。締まりややあり。
j. 暗褐色土　砂質土。炭化物多量。締まりややあり。
k. 暗褐色土　砂質土（弱粘質）。黄色砂ブロック多量。締まりあり。

建物 5
a. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
b. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
c. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
d. 褐色土　砂質土。薄い粘質土層が入る。締まり弱い。

建物 7
a. 暗褐色土　砂質土。黄色砂ブロック多量。締まり強い。
Pコ黄褐色土　砂質土。締まり弱い。

建物 8
a. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
b. 褐色土　砂質土。締まり弱い。

図 11　Ⅰ区調査区北壁　土層断面図



〔古〕建12（＝建11B）→建11A→建10〔新〕
(建A)↗

図12　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物A・10・11・12

12-3)。炭層は断面図にも記載されているが（図 13)、これを見ると掘方底面上に整地を施し、その上面に壁材を立ち上げた様子が推察できる。

本遺構の出土遺物は、図 45 に掲載した。

建物 11・12（図 12・13)

Ⅱ区中央部の北壁際で検出され、遺構の北半部は調査区外に続く。建物 11 では土台材の遺存状態が良好で、この配置状況から建物 11B → 11A という順で建て替えられたことを確認した。現地の所見では、建物 11 が西側に接する建物 12 を切っていると判断されていたが、両者は掘方底面のレベルが殆ど変わらず、また写真記録からは 11B と 12 の南辺壁板がひと続きとなっている様子が見て取れたため、両者を同一建物と判断し、これを東側に縮小する形で 11A に建て替えた、という経過が想定できる。

建物 11 の出土遺物は多く、現地では建物 A・B の区別なく取り上げたが、上記の想定が妥当であれば殆どが 11A の埋没に際して流入した遺物と見なせよう。図 46 ～ 48 に掲載した。

建物 12（＝建物 11B と想定）の出土遺物は、図 49-649 ～ 655 に示した。

建物 13（図 16)

Ⅱ区中央部の南壁際で検出され、南半分ほどは調査区外へ続く。ここでは竪穴建物の重複が著しく、直接の切り合い関係では建物 19 より新しく、土層断面の観察でのみ確認した建物 B より古い（図 19)。現地調査時には建物 13 と 19 とを混同して記録していたようだが、本報告では上記の理解で整理し表記を統一した。東西辺と北辺に壁板など構造材が遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 49-656 ～ 665 に掲載した。

建物 14（図 14)

Ⅱ区東壁際で検出され、東側は調査区外に続く。竪穴建物の重複が著しい中では、最新の遺構である。底面には北・西辺の土台材と、この内区で根太材の一部が残存していた。

本遺構からの出土遺物は、図 50 に掲載した。

建物 15（図 14・15)

Ⅱ区東壁際で検出された。東側は調査区外に続くため全体の規模・形状は確認できなかったが、東西に細長い矩形プランを呈している。底面には南北辺と西辺とに土台材が残り、この内区で根太材が遺存していた。西辺の土台材付近では、かわらけを中心とする比較的多くの遺物が発見された。

本遺構の出土遺物は、図 51 ～ 53 に掲載した。

建物 16（図 14)

Ⅱ区南東角で検出され、遺構の大部分は調査区外に続く。ここも竪穴建物の重複が著しく、ほぼ同じ位置に建物 21 → 17 → 16（本遺構）の順で構築され、本遺構の北辺を建物 14 が切っていた。底面上の西辺と北辺で、構造材がわずかに遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 54 に掲載した。

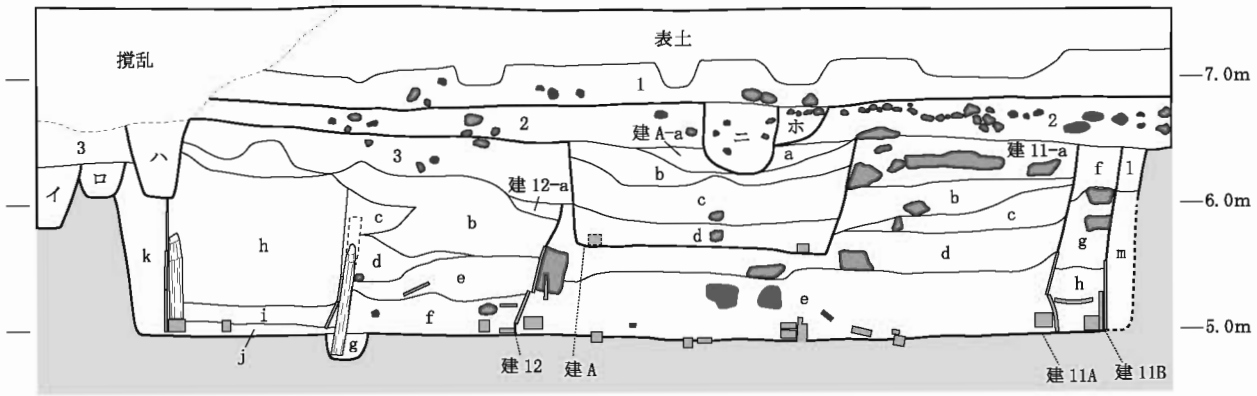
建物 17（図 15)

Ⅱ区の南東角、建物 21・16 とほぼ同位置に重複して検出された。遺構の大部分は調査区外に続く。検出できたのはごく狭い範囲にとどまったが、北辺の土台材をはじめ、構造材が遺存していた。

本遺構の出土遺物は、図 55-793 ～ 804 に掲載した。

建物 18（図 16)

Ⅱ区南東寄りの北壁際で検出され、南側半分ほどは調査区外に続く。この一画では、どの竪穴建物にも切られず最も新しい。北辺のごく一部で、壁板と思しき木材が遺存していた。



竪穴建物 A・11AB・12（Ⅱ区北壁断面）

1. 褐色土　弱粘質土。
2. 褐色土　弱粘質土。
3. 灰褐色土　粘質土ブロックやや多い。締まりあり。
イ. 灰褐色土　砂質土。粘質土ブロック多量。締まりあり。
ロ. 灰褐色土　砂質土。粘質土ブロック少量。締まりあり。
ハ. 褐色土　砂質土。黄色砂ブロックやや多い。
ニ. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
ホ. 褐色土　砂質土。締まり弱い。

建物 A

a. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
b. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
c. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
d. 褐色土　粘質土。炭化物多量。締まりややあり。

建物 11A

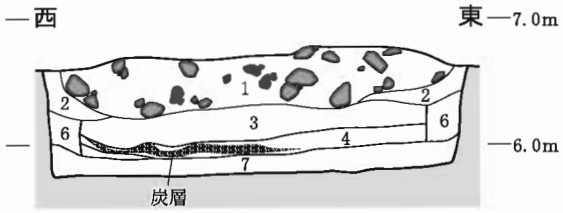
a. 褐色土　弱粘質土。炭化物多量。締まりややあり。
b. 褐色土　弱粘質土。炭化物多量。締まり弱い。。
c. 褐色土　砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まり弱い。
d. 褐色土　砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まり弱い。
e. 褐色土　砂質土。灰白色砂・炭化物多量。締まり弱い。

建物 11B

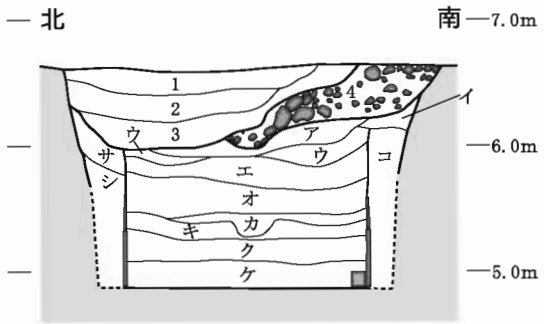
f. 褐色土　砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まりややあり。
g. 褐色土　砂質土。黄色砂多量。締まり弱い。
h. 褐色土　砂質土。黄色砂多量。締まり弱い。
l. 褐色土　砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まりややあり。
m. 暗黄灰色土　砂質土。締まりややあり。

建物 12

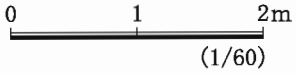
a. 暗黄灰色土　黄色砂ブロック多量。締まり弱い。
b. 黄灰色砂　粘質土ブロック少量。締まり弱い。
c. 暗褐色土　粘質土。炭化物多量。締まり弱い。
d. 褐色土　砂質土。炭化物多量。締まり弱い。
e. 黄灰色砂　締まり弱い。
f. 暗褐色土　砂質土。締まりややあり。
g. 暗黄灰色土　砂質土。締まり弱い。
h. 黄灰色土　砂質土。締まり弱い。
i. 灰褐色土　砂質土。締まりややあり。
j. 灰褐色土　砂質土。上部に黄灰色砂が薄く堆積。締まり強い。床下土。
k. 黄灰色土　砂質土。締まりあり。裏込め。



竪穴建物 10（東西断面）



竪穴建物 12（南北断面）



(1/60)

建物 10

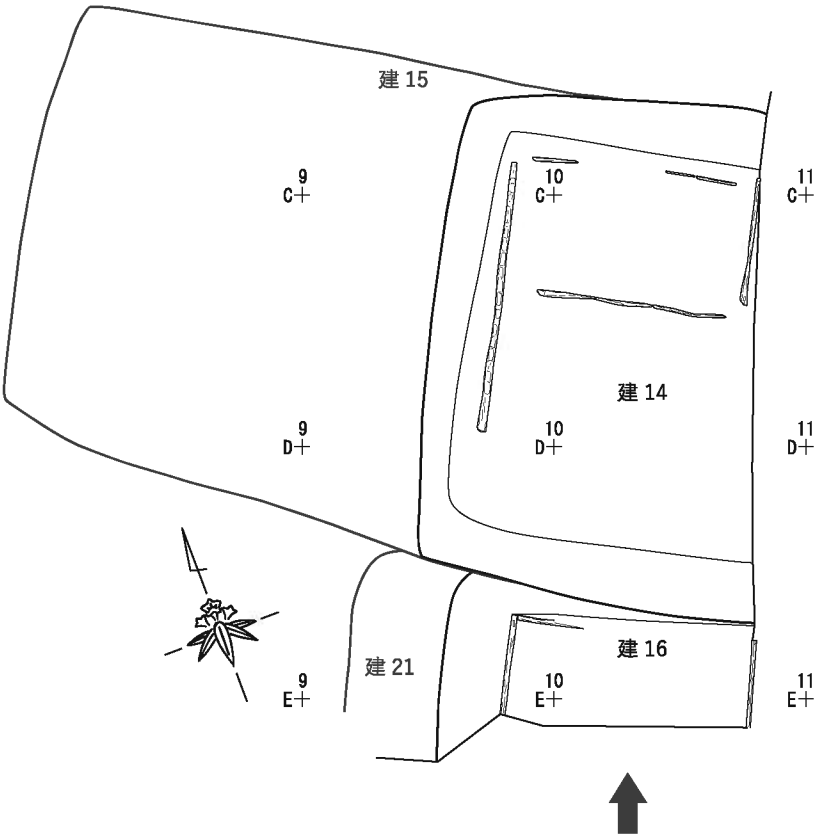
1. 褐色土　粘質土。締まり弱い。
2. 褐色土　粘質土。褐鉄やや多い。締まり弱い。
3. 暗褐色土　砂質土。黄色砂少量。締まり弱い。
4. 暗褐色土　粘質土。炭化物多量。締まり弱い。
5. 褐色土　粘質土。褐鉄やや多い。締まり弱い。
6. 褐色土　粘質土。締まりややあり。裏込め土。
7. 褐色土　粘質土。黄色砂混入。掘方。

建物 12（南北断面）

ア. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
イ. 黄褐色土　砂質土。締まり弱い。
ウ. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
エ. 褐色土　砂質土。ウ層より炭多い。締まり弱い。
オ. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
カ. 褐色土　粘質土。有機物腐植土・炭多量。締まり弱い。
キ. 灰褐色土　砂質土。締まりあり。
ク. 褐色土　砂質土。有機物腐植土やや多い。締まり弱い。
ケ. 青灰色土　砂質土。粘質土ブロック少量。
コ. 黄褐色土　砂質土。黒色土ブロック少量。
サ. 黄褐色土　砂質土。灰白色砂と黄色砂が斑状に混入。
シ. 褐色土　砂質土。黄色砂混入。掘方。
ス. 黄白色砂　粘質土ブロック少量。

図 13　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 10・11・12 土層断面図

〔古〕建 15↘
〔古〕建 21→建 17→建 16→建 14〔新〕
↘建 18〔新〕



建物 14（南北断面）

1. 褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
2. 黄褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
3. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
4. 褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
5. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
6. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
7. 褐色土　粘質土。締まり弱い。
8. 暗褐色土　砂質土。締まりあり。

*. 注記なし

17. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
18. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
19. 褐色土　弱粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。
20. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。

建物 15（南北断面）

9. 暗褐色土　粘質土。黄色砂多量。締まりややあり。
10. 暗褐色土　粘質土。締まり弱い。
11. 白黄色砂　締まりややあり。
12. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
13. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
14. 褐色土　砂質土。黄色砂多量。締まり弱い。
15. 灰褐色土　砂質土。締まりややあり。
16. 暗褐色土　粘質土。締まり弱い。

建物 23 ？

ア．褐色土　砂質土。締まり弱い。
イ．褐色土　砂質土。締まり弱い。

井戸 4 ？

ウ．褐色土　砂質土。締まり弱い。
エ．褐色土　砂質土。締まり弱い。
オ．褐色土　砂質土。締まりややあり。
カ．暗褐色土　粘質土。締まりあり。

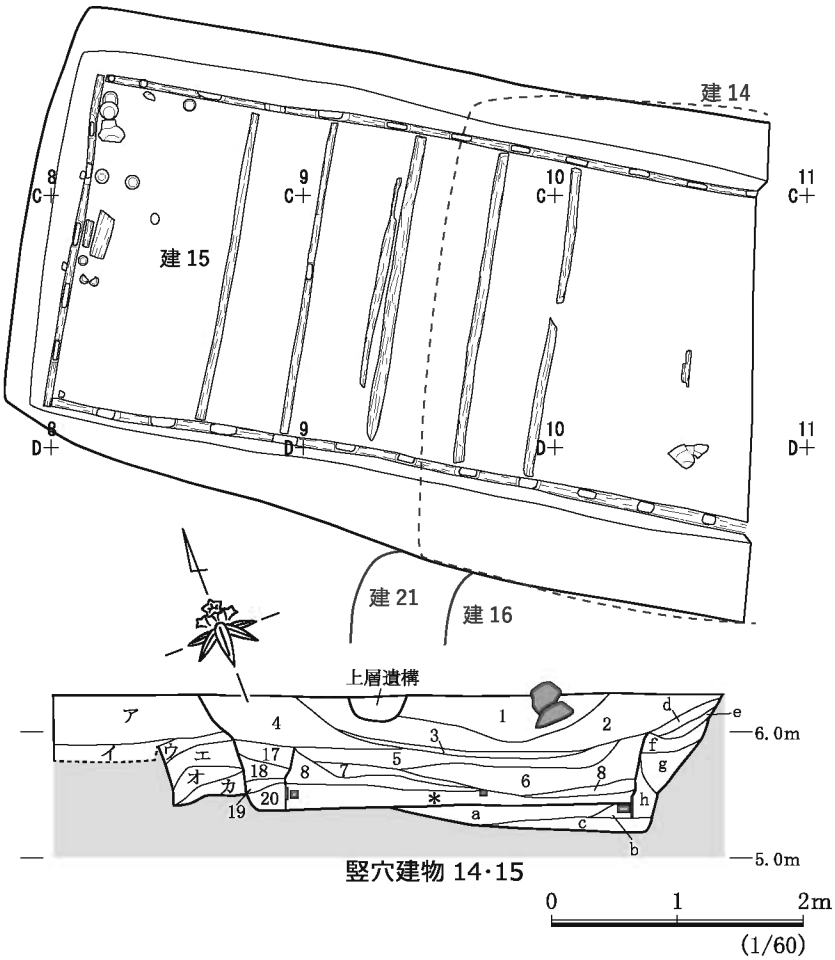


図 14　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 14・15・16

本遺構の出土遺物は、図 55-805 ～ 827 に示した。

建物 19（図 16）

Ⅱ区中央部の南壁際で検出され、南側の多くの部分は調査区外に続く。建物 13 の下位に、ほぼ同じ位置で遺存していた。土台材や根太材の残りが良く、 土台材の枘穴に立てられた柱も遺存していた。根太材も梯子のように一定間隔で配置されており、堅牢な床板張りであったことを窺わせる。

本遺構の出土遺物は、図 56 に掲載した。

建物 20（図 15） Ⅱ区の東部で検出された。ほぼ重なる位置に、建物 15 が新規に構築されている。南東角で建物 21 と接するが､新旧関係は把握できなかった。概ね建物範囲の全体を検出することができ、底面の四周では土台材と壁板の一部が遺存していた。

本遺構の出土遺物は図 57 に掲載した。

建物 21（図 15）

Ⅱ区南東角で検出された。ほぼ同じ位置に建物 17 が重複して構築され、この場所では最も古い竪穴建物であった。遺構の大部分が調査区外に続くが、非常に特徴的な遺物の出土状況が確認できた。北辺の壁板が南側に倒れ込んで遺存し、その下から青磁碗や山茶碗がまとまって出土した。底面では壁際に沿って柱穴が巡り、次段階には土台構造の建物 17 へ移行する状況を把握できた。

本遺構の出土遺物は、図 58 ～ 61 に掲載した。

建物 22（図 16）

Ⅱ区中央部の西よりで検出され、調査区南壁外に続く。現地所見では 3 段階の変遷が追え、古い順に 22C → 22B → 22A へ移行するとしているが、土層断面図（図 19）ではその痕跡を明確には読み取れない。以下、最古段階とされる建物 22C について記述する。

建物 9・19 に東西を挟まれる形で切られ、東側の建物 19 には掘方底面の下位まで削り取られていた。建物 9 の下位では西壁の立ち上がりを確認でき、ここから建物 19 までの狭間に床板が遺存していた。板材の腐朽が激しく撓んでしまっていたが、木目のラインから南北辺に小口を沿わせ敷かれていた状況が見て取れた。床板下では東西方向の根太材 2 本が残っていた。

本遺構の出土遺物は、図 62-933 ～ 942 に掲載した。

建物 23（図 17）

Ⅱ区北東角で検出され、大部分は調査区外に続く。建物 14・15 に切られる。図 14 の断面図からは、井戸 4 土層ウ・エ・オ・カを切っている可能性を指摘できる。検出できた範囲が狭小のため、竪穴建物と断定できる要素は少ない。

本遺構の出土遺物は少なく、図示できたのは図 62-943 ～ 945 の 3 点のみである。

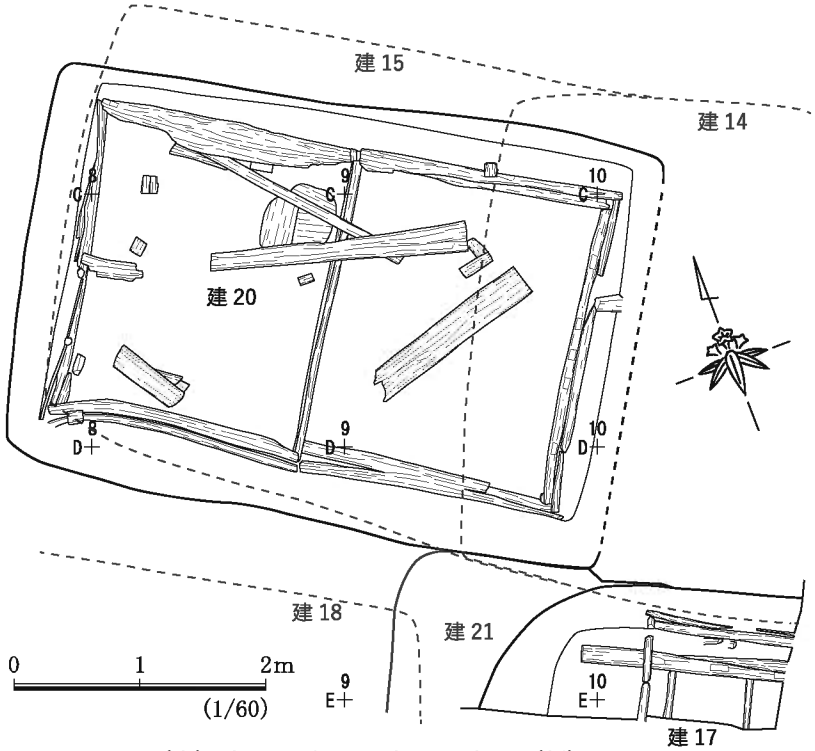
建物 24（図 16）

Ⅱ区中央部の南壁際で検出された。直接の切り合い関係では建物 18・19 よりも古く、この一画では最も古い建物である。遺構の大半は調査区外に続くため部分的な検出にとどまったが、底面上の土台・根太材と東辺の壁板が遺存していた。建物 19 の土台材は、これらの上に据えてある状況が確認されている（図版 17-2)。

本遺構の出土遺物は、図 62-946 ～ 951 に掲載した。

溝 1（図 9）

Ⅰ区南部で検出された東西溝で、重複するいずれの竪穴建物にも切られるため、遺存範囲は限られていた。両端とも別遺構に切られ、7.4 ｍの長さまでを計測できた。走行軸は N75° W



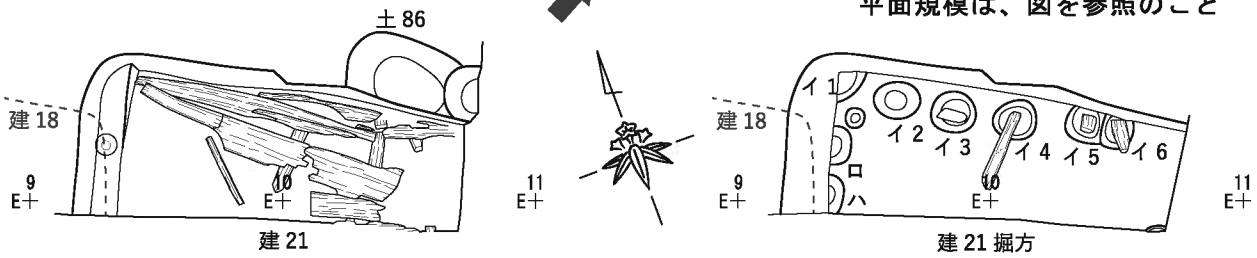
〔古〕建 20→建 15→建 14〔新〕

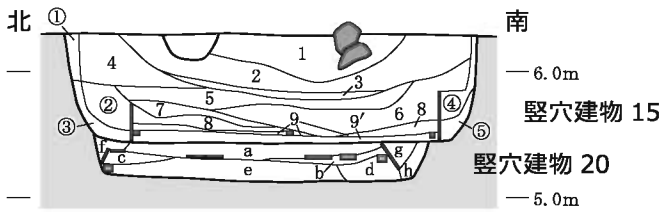
〔古〕建 21→建 17→建 16→建 14〔新〕
↘建 18〔新〕

竪穴建物 21 柱穴一覧

区	遺構 No.	底面標高（m）
I	ピット－イ -1	4.67
I	ピット－ロ	4.75
I	ピット－ハ	4.75
I	ピット－イ -2	4.74
I	ピット－イ -3	4.85
I	ピット－イ -4	4.82
I	ピット－イ -5	4.69
I	ピット－イ -6	4.82

平面規模は、図を参照のこと





建物 20（南北断面）

a. 暗褐色土　砂質土。締まりややあり。
b. 暗褐色土　粘質土。締まり弱い。
c. 暗褐色土　粘質土。締まり弱い。
d. 黄色土　　砂質土。締まり弱い。
e. 青灰色土　砂質土。締まりややあり。
f. 暗褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
g. 暗褐色土　砂質土。黄白色砂ブロック少量。締まりあり。
h. 灰褐色土　砂質土。締まりややあり。

建物 15（南北断面）

1. 褐色土　　弱粘質土。締まりややあり。
2. 黄褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
3. 褐色土　　弱粘質土。締まり弱い。
4. 褐色土　　弱粘質土。締まりややあり。
5. 褐色土　　砂質土。締まりややあり。
6. 褐色土　　砂質土。締まりややあり。
7. 褐色土　　粘質土。締まり弱い。
8. 暗褐色土　砂質土。締まりあり。
9.
9′　　床下土。
①. 暗褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
②. 暗褐色土　弱粘質土。締まりあり。
③. 暗褐色土　弱粘質土。締まりあり。
④. 暗褐色土　弱粘質土。締まりあり。
⑤. 暗褐色土　砂質土。締まりややあり。

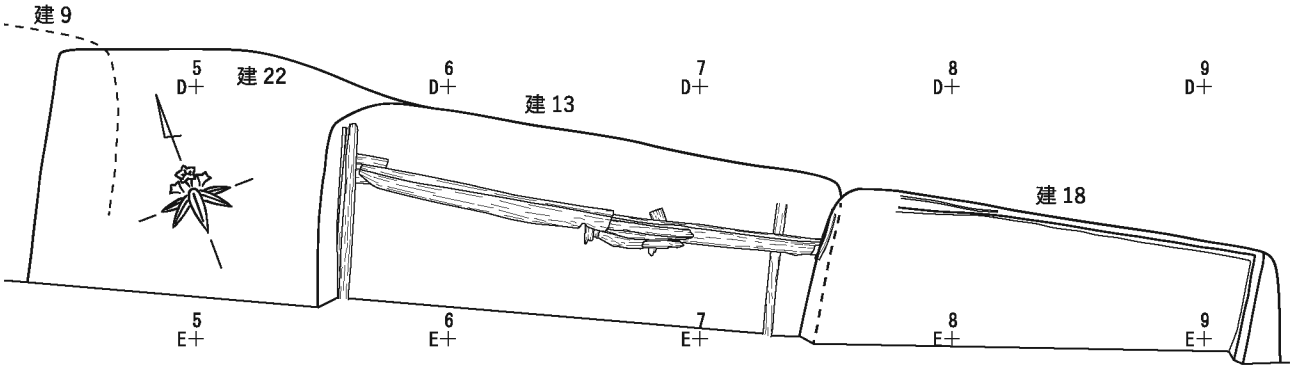
図 15　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 15・17・20・21

で、検出範囲では底面の傾斜具合（流下方向）は把握できなかった。

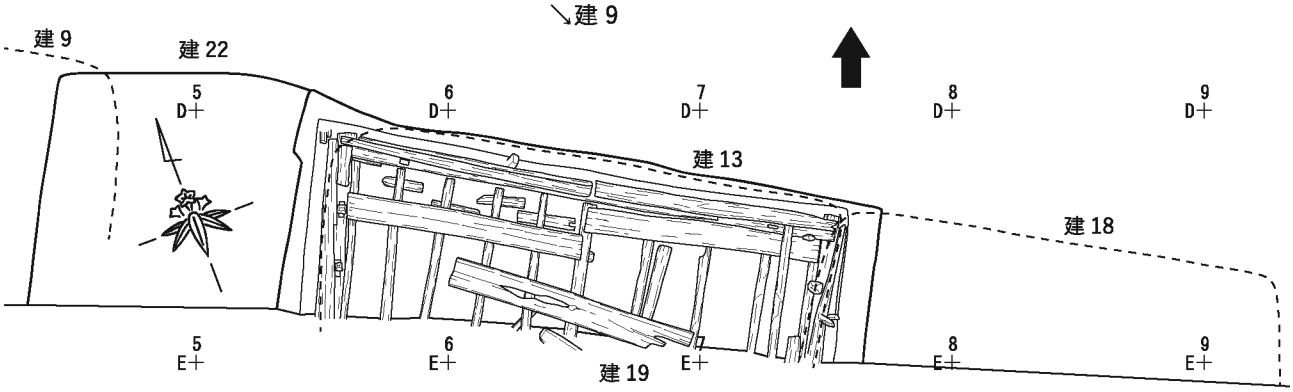
本遺構の出土遺物は、図 65-971 ～ 982 に掲載した。

土坑 18（図 9）

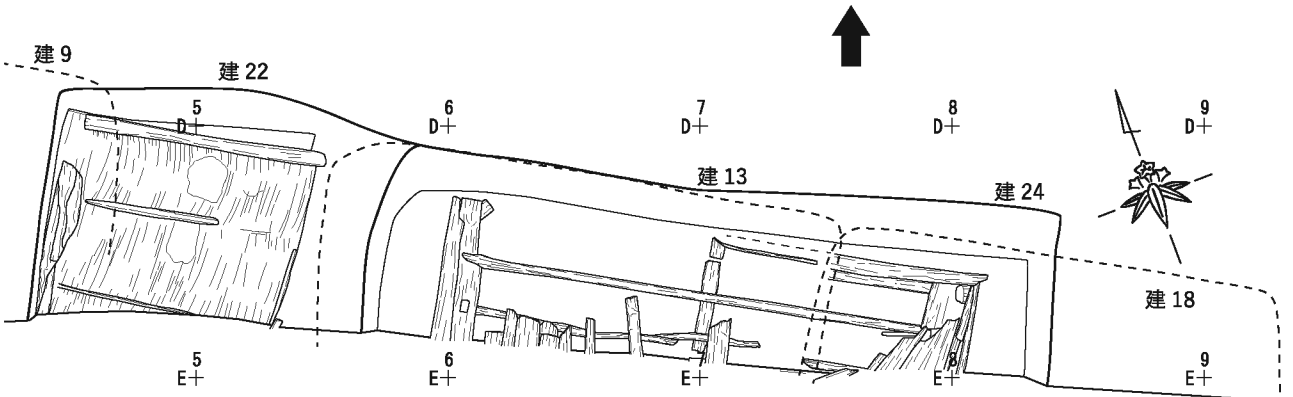
Ⅰ区南西部で検出された。この一帯は土坑の重複が多く、本遺構は土坑 19 を切り、17･20 に切られる。埋土は有機質腐植土（マグソ）が主体で、試料を採取して花粉分析とプラント･オパール分析を行った。その結果、穎片も含めたイネのプラント・オパールが大量に検出され、土坑内に稲藁を廃棄した状況が



建 21 ↘
〔古〕建 22 →建 13 →建 18〔新〕
↘建 9



〔古〕建 22 →建 19 →建 13 →建 18〔新〕
↘建 9



〔古〕建 24 →建 22 →建 19 →建 13 →建 18〔新〕
↘建 9

0 1 2m
(1/60)

図 16　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 13・18・19・22・24

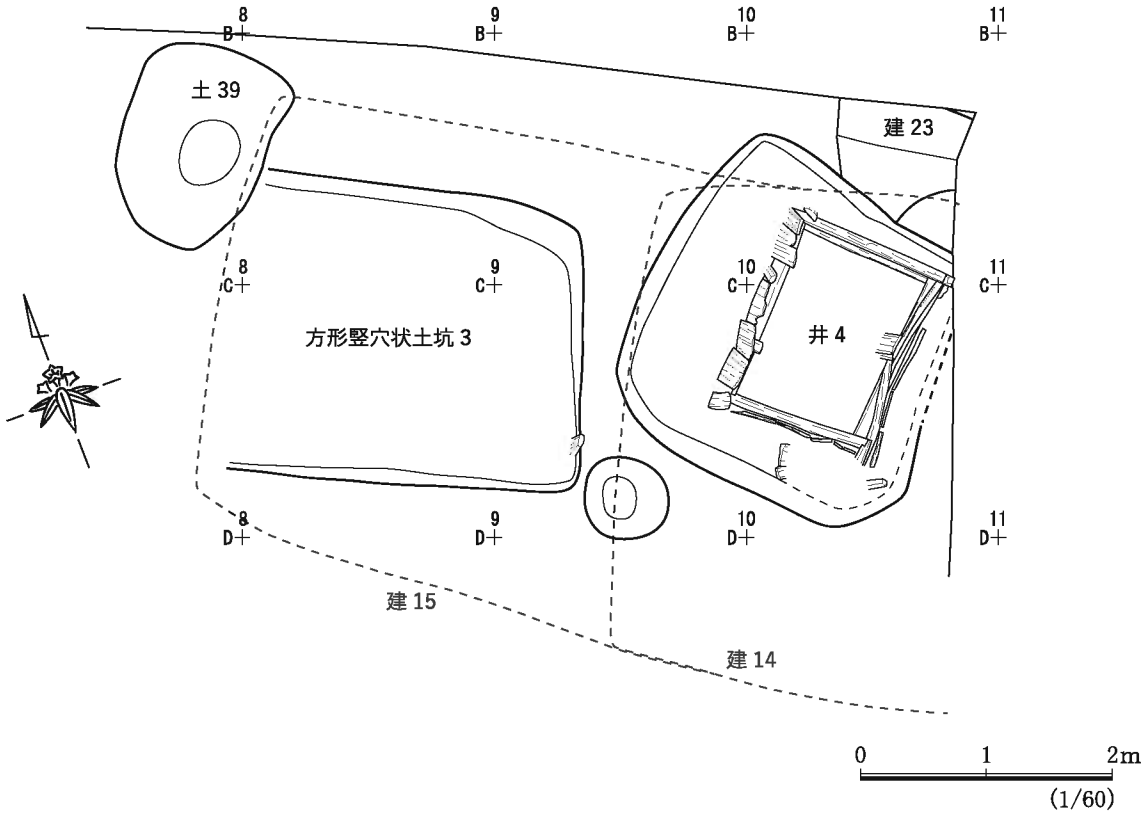
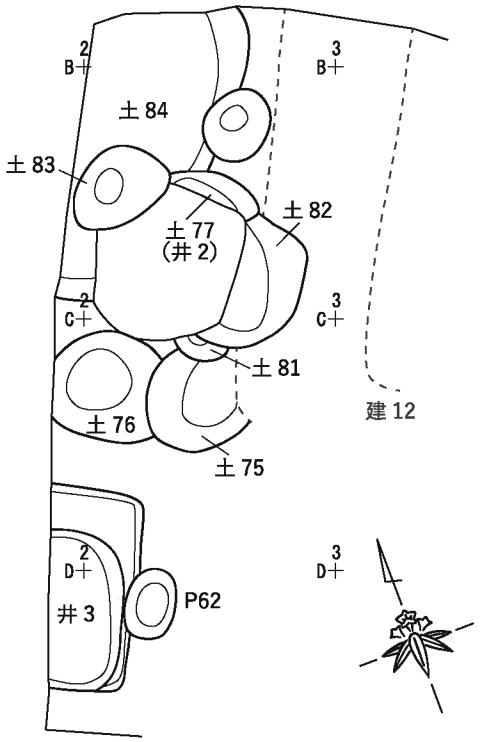
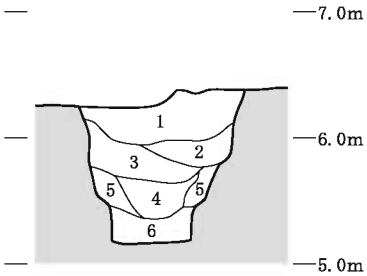


図 17　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 23・井戸 4 周辺

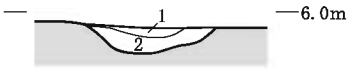




土坑 77（井戸 2・上層で確認）

土坑 77

1. 灰褐色土　砂質土。黄色砂・粘質土ブロック多量。
2. 灰褐色土　砂質土。黄色砂多量、粘質土ブロック少量。
3. 灰褐色土　砂質土。黄色砂多量。
4. 灰褐色土　砂質土。黄色砂・粘質土ブロック多量。
5. 灰褐色土　砂質土。黄色砂非常に多い。
6. 灰褐色土　砂質土。黄色砂非常に多い。



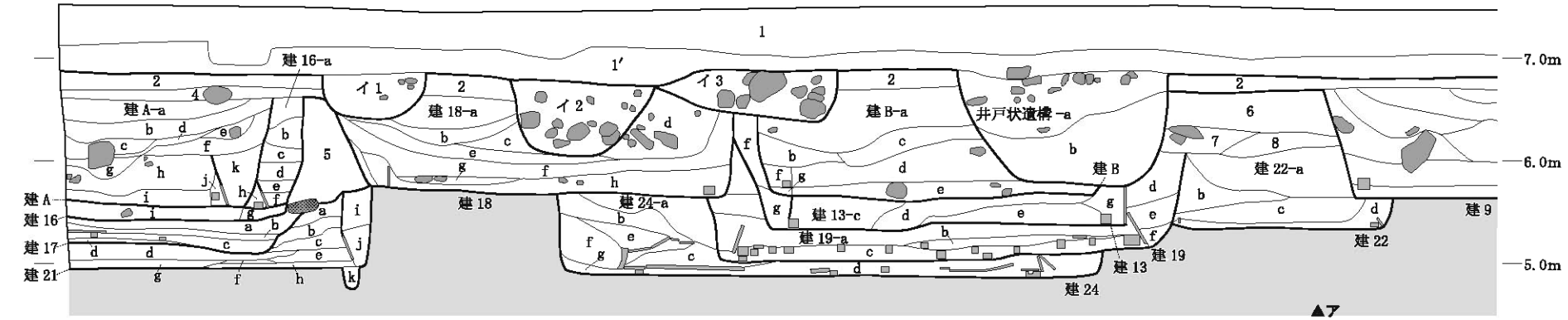
土坑 79

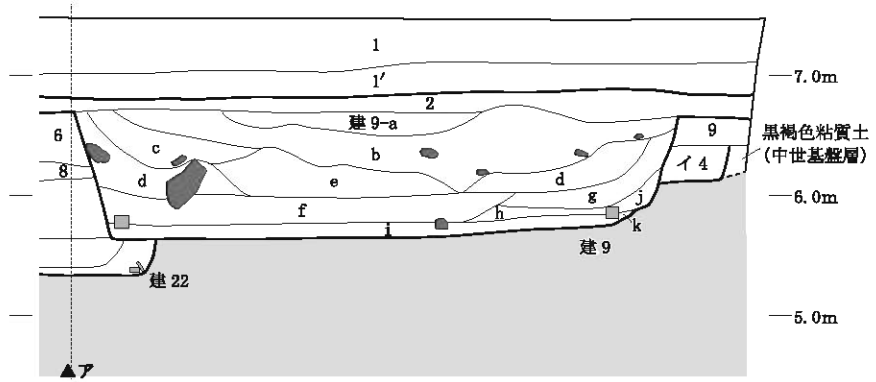
土坑 79

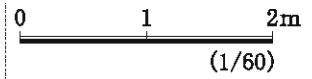
1. 褐色土　粘質土。骨片やや多い。
2. 褐色土　粘質土。黄色砂ブロック多量。締まり弱い。



図 18　Ⅱ区下層遺構面　遺構断面図







1. 褐色土　砂質土。締まり弱い。中世遺物包含層。
1′ 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
2. 褐色土　砂質土。締まりあり。
4. 黄褐色土　弱粘質土。薄い炭層が入る。締まり弱い。
5. 暗褐色土　弱粘質土。締まりあり。
6. 暗褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
7. 暗褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
8. 暗黄褐色土　砂質土。締まり弱い。
9. 褐色土　粘質土。締まりあり。

建物 A

a. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
b. 灰褐色土　粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。
c. 灰褐色土　粘質土。締まりあり。
d. 灰褐色土　砂質土。黄色砂・炭化物多量。締まりややあり。
e. 褐色土　砂質土。炭化物多量。締まりややあり。
f. 褐色土　砂質土。黄色砂ブロック・炭化物多量。締まりややあり。
g. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
h. 褐色土　弱粘質土。炭化物多量。締まりややあり。
i. 褐色土　弱粘質土。締まりあり。
j. 褐色土　粘質土。締まり弱い。
k. 褐色土　弱粘質土。炭化物やや多い。締まりややあり。裏込め土。

建物 16

a. 褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
b. 褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
c. 褐色土　弱粘質土。黄色粘土ブロック多量。締まり弱い。
d. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
e. 灰褐色土　粘質土。締まりあり。
f. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
g. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
h. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
i. 褐色土　弱粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりあり。

建物 17

a. 褐色土　弱粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりややあり。
b. 黄白色土　砂質土。黄色砂やや多い。締まり弱い。床面上。
c. 暗褐色土　砂質土。締まりややあり。
d. 青灰色土　砂質土。締まり弱い。

図 19　Ⅱ区調査区南壁　土層断面図

建物 9

a. 褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
b. 褐色土　弱粘質土。炭化物多量。締まり弱い。
c. 褐色土　砂質土。炭化物やや多い。締まりあり。
d. 褐色土　砂質土。締まり弱い。
e. 暗灰褐色土　砂質土。黄色砂ブロック・炭化物多量。締まり弱い。
f. 暗褐色土　砂質土。褐鉄多量。締まり弱い。
g. 褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
h. 褐色土　砂質土。炭化物やや多い。締まり弱い。
i. 黄褐色土　砂質土。黄色砂ブロックやや多い。締まりあり。床下土。
j. 褐色土　砂質土。黄色砂ブロック多量。締まりあり。
k. 暗褐色土　粘質土。締まりあり。

建物 21

a. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
b. 暗褐色土　砂質土。炭化物多量。締まりややあり。
c. 黄灰色土　砂質土。締まりややあり。
d. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。青磁碗の集中出土層。
e. 黄灰色土　砂質土。締まりややあり。
f. 青灰色土　砂質土。薄い炭層が入る。締まり弱い。
g. 黒褐色土　粘質土。締まりあり。
h. 黄褐色土　砂質土。締まりあり。
i. 暗褐色土　砂質土。黄色砂ブロック・炭化物多量。締まりあり。
j. 黄灰色土　砂質土。締まりややあり。
k. 黄灰色土　砂質土。締まり弱い。

建物 18

a. 褐色土　弱粘質土。締まりあり。
b. 暗褐色土　粘質土。炭化物多量。締まりあり。
c. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
d. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
e. 褐色土　弱粘質土。炭化物やや多い。
f. 褐色土　弱粘質土。締まり弱い。
g. 褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
h. 暗褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
i. 暗褐色土　弱粘質土。炭化物やや多い。締まりややあり。
j. 褐色土　弱粘質土。黄色砂ブロック多量。締まりあり。

建物 B

a. 暗褐色土　弱粘質土。炭化物多量。締まりあり。
b. 褐色土　砂質土。黄色砂ブロック多量。締まり弱い。
c. 褐色土　粘質土。炭化物やや多い。締まりややあり。
d. 褐色土　弱粘質土。炭化物・灰ブロック多量。締まりややあり。
e. 褐色土　砂質土。黄色砂ブロックが斑状に混入。締まり弱い。
f. 暗灰褐色土　砂質土。締まりややあり。
g. 暗灰褐色土　砂質土。締まりあり。

建物 13

c. 暗黄褐色土　砂質土。締まり弱い。
d. 褐色土　粘質土。締まり強い。
e. 暗黄褐色土　砂質土。締まり弱い。
f. 暗灰褐色土　弱粘質土。炭化物やや多い。締まりあり。
g. 黄褐色土　砂質土。締まりややあり。

建物 19

a. 褐色土　砂質土。締まりややあり。
b. 灰褐色土　砂質土。灰色砂多量。締まりややあり。
c. 暗灰色砂　締まり強い。床下堆積土。
d. 灰褐色土　砂質土。締まりあり。
e. 褐色土　砂質土。締まり強い。
f. 暗褐色土　粘質土。締まり強い。

建物 22

a. 暗褐色土　弱粘質土。締まりややあり。
b. 灰褐色土　砂質土。黄色砂やや多い。炭化物多量。締まり弱い。
c. 褐色土　弱粘質土。炭化物多量。締まりややあり。

建物 24

a. 灰褐色土　砂質土。炭化物やや多い。締まり弱い。
b. 黄褐色土　砂質土。締まりややあり。
c. 暗褐色土　砂質土。締まり弱い。
d. 暗褐色土　締まり弱い。
e. 暗黄灰色土　砂質土。炭化物多量。締まりややあり。
f. 黄褐色土　砂質土。灰色砂ブロック多量。締まりあり。
g. 黄灰色土　砂質土。黄色砂多量。締まりあり。
h. 黄褐色土　砂質土。黄色砂多量。締まりあり。

井戸状遺構

a. 褐色土　弱粘質土。締まりあり。
b. 褐色土　弱粘質土。締まりあり。

イコウ 1

褐色土　砂質土。最下部に 10cm 厚の炭層が堆積。締まり弱い。

イコウ 2

暗褐色土　粘質土。最下部に 15cm 厚の炭・灰層が堆積。締まり弱い。

イコウ 3

暗褐色土　粘質土。締まり弱い。

イコウ 4

灰褐色土　砂質土。締まり弱い。

想定されている。(付編参照)。「マグソ」の生成要因を考えるに当たり、重要な分析結果である。

本遺構の出土遺物は僅少で、図示すべき資料はなかった。

土坑 20（図 9・10）

Ⅰ区の南西部で検出され、南側は調査区外に続く。現地調査時に土坑 18 と混同されたようで、土層断面（図 10）の埋土について、有機質腐植土が下層に堆積し、トイレの可能性を含むことがメモ書きされている。今となっては実証に資する記録がないため、上述した土坑 18 の分析試料が土坑 20 に帰属する可能性が皆無ではないことだけ記しておく。

井戸 3（図 18）

Ⅱ区の南西角付近で検出され、西半部は調査区外に続く。安全面を考慮して埋土を完掘できておらず、枠材などの検出には及んでいない。

本遺構の出土遺物は僅少で、図示すべきものは皆無であった。

井戸 4（図 17）

Ⅱ区の東部に位置し、建物 15 の掘方底面で検出され重複するどの竪穴建物よりも古い。東西 140 ㎝×南北 160 ㎝の井戸枠が設置されていた。安全面を考慮し、埋土は完掘できなかった。

本遺構の出土遺物は、図 63 と図 65-983 に掲載した。

方形竪穴状土坑 3（図 17）

Ⅱ区東部、建物 20 の下位で検出され、重複するどの竪穴建物よりも古い。掘方底面は平らで、ほぼ垂直に立ち上がる壁は約 30㎝ の高さを計測できた。西辺の壁は、遺存していなかった。

本遺構からの出土遺物は皆無であった。

Ⅱ区土坑群（図 18）

Ⅱ区北西角付近では、竪穴建物が構築されない場所に土坑群が重複した状態で検出された。この近辺では上層遺構面でも土坑の重複が著しく、これらの掘り足りていない部分を下層で追加確認したケースもあり得る。各土坑の概要は、表 3 の一覧に掲げた。土坑 77 については現地調査時に井戸 2 の名称も付されていたが、坑底レベルが方形竪穴状土坑 3 の底面より高い位置にあることから、中世においても湧水層に達していなかった可能性が指摘できる。井戸枠の痕跡も確認できなかったので、井戸とは考えにくい。

各土坑の出土遺物は、図 64 に掲載した。

第２節　出土遺物

出土量に関する情報は表 5 のカウント・計量表にまとめた。遺物個々の特徴については、表 6 の遺物観察表を参照されたい。

以下、層位・遺構出土の遺物について、大まかな特徴や傾向を説明する。

（１）上層遺構面検出までの出土遺物（図 20 ～ 23）

近世以降の遺物は省略しているが、砥石で大型の資料は戦国～近世に属するかもしれない。かわらけには厚手・外反器形の資料も散見されるが、土坑 39 ほど量的なまとまりはない。概ね、13 世紀後半～14 世紀代を中心とする遺物である。

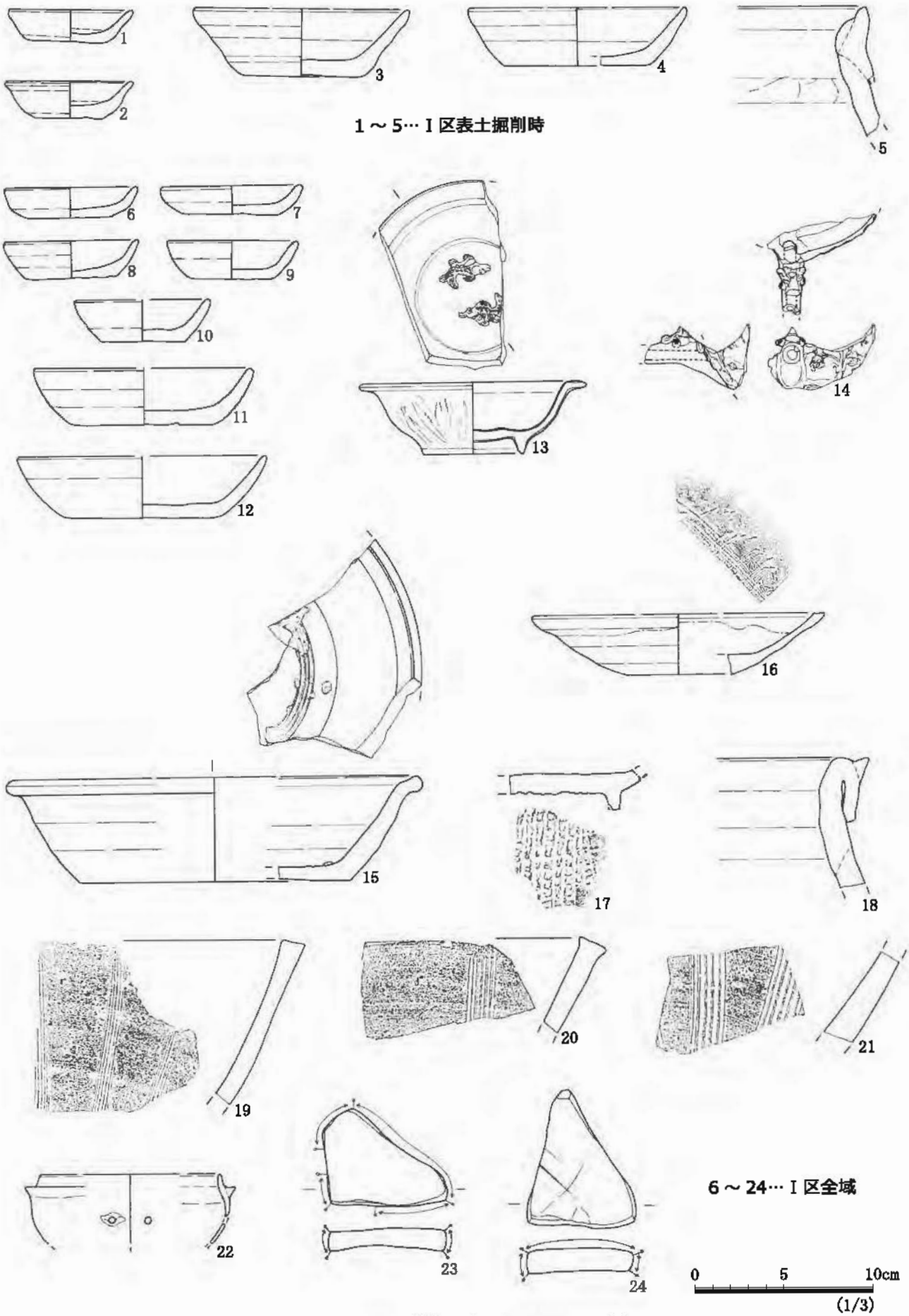


図 20　Ⅰ区　上層遺構面検出までの出土遺物（1）

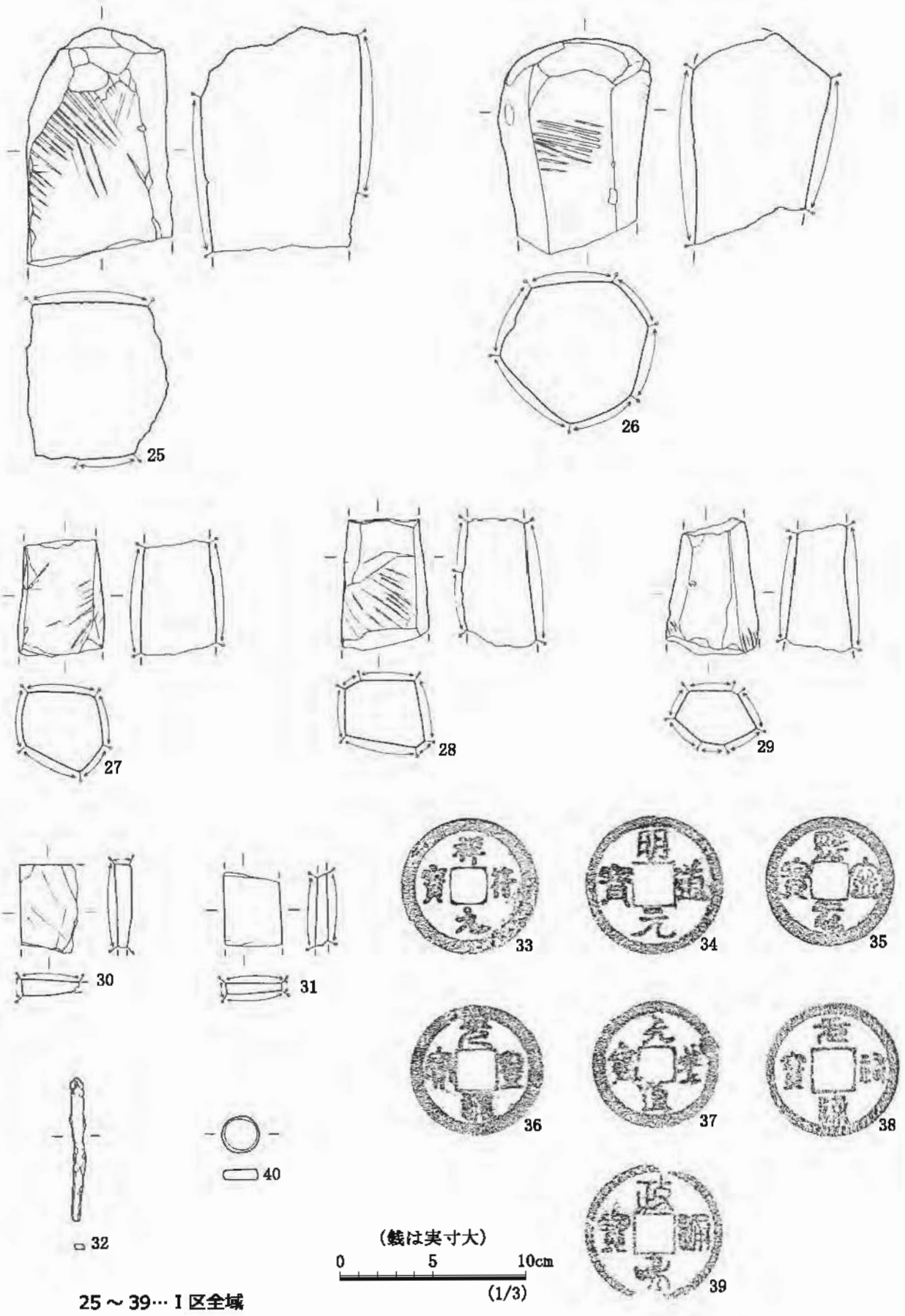


図21　Ⅰ区　上層遺構面検出までの出土遺物（2）

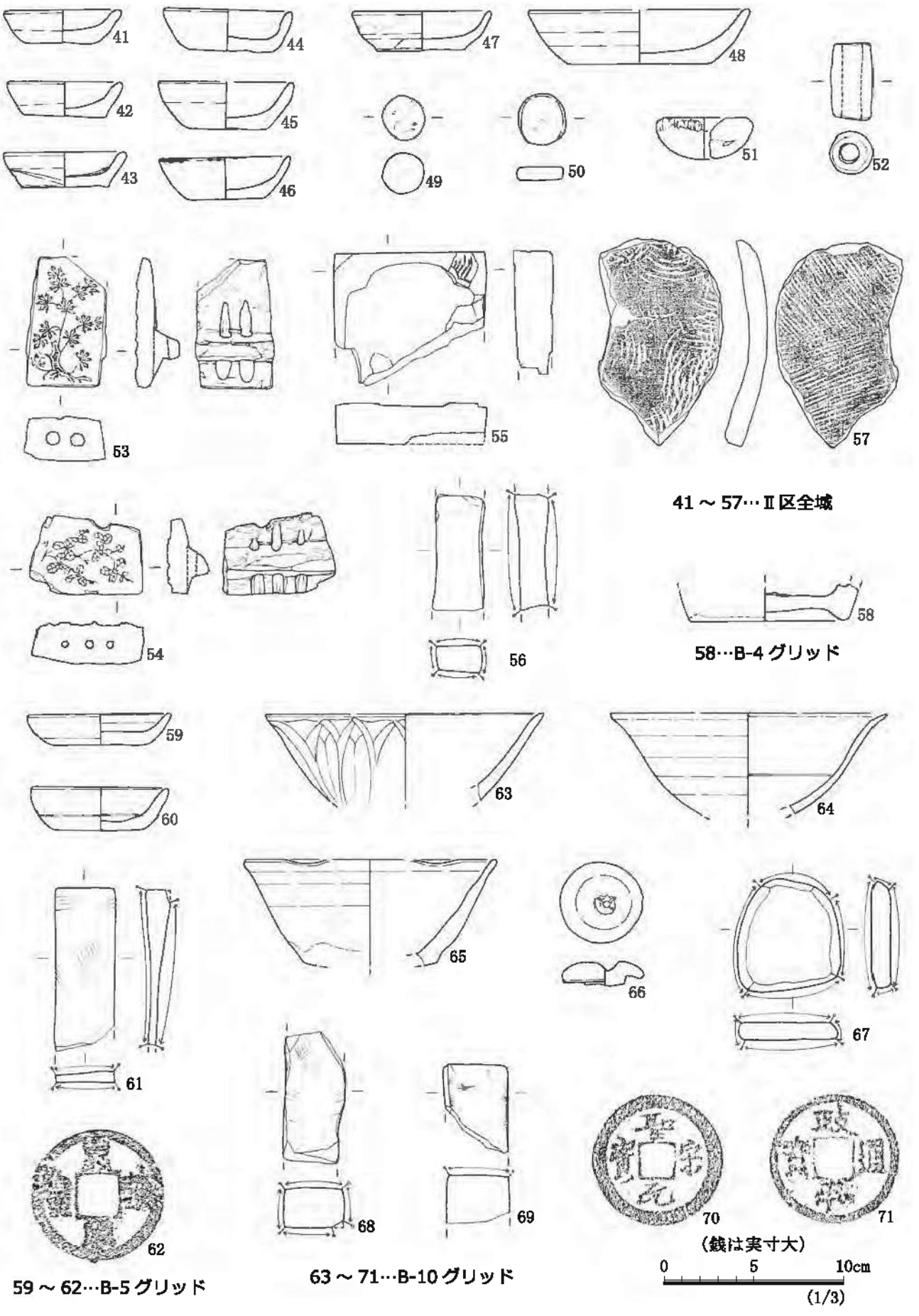


図22　Ⅱ区　上層遺構面検出までの出土遺物（1）

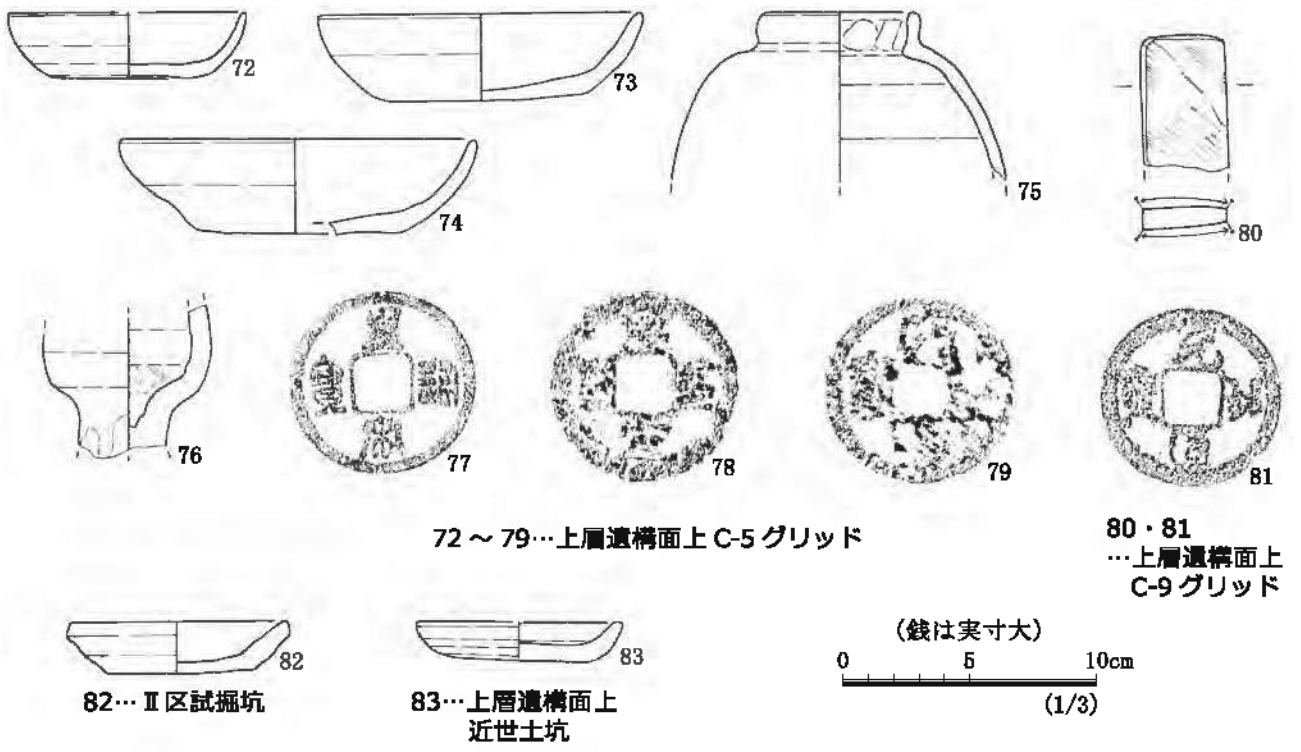


図 23　Ⅱ区　上層遺構面検出までの出土遺物（2）・試掘坑・近世土坑

（2）上層遺構面の遺構出土遺物

竪穴建物 1 の出土遺物（図 24）

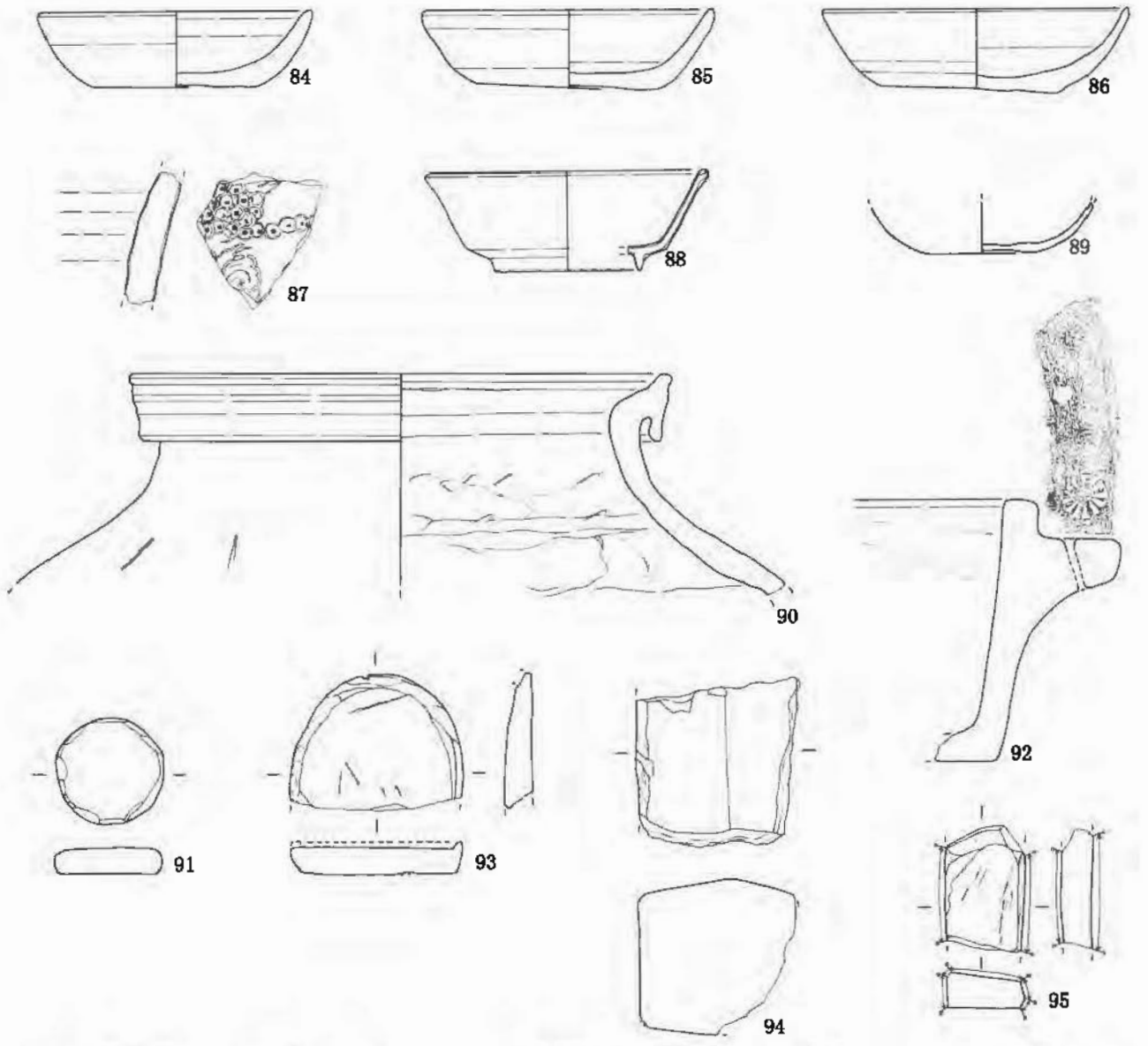
かわらけは埋土出土の 84 ～ 86 の方が床面上の 100 ～ 102 より深身で口径：底径比が大きく、後出的な様相を呈している。全体を通して他の上層遺構より古い遺物様相を呈していることから、下層遺構面における最新段階の竪穴建物という位置付けができるかもしれない。

井戸 1 の出土遺物（図 25・26）

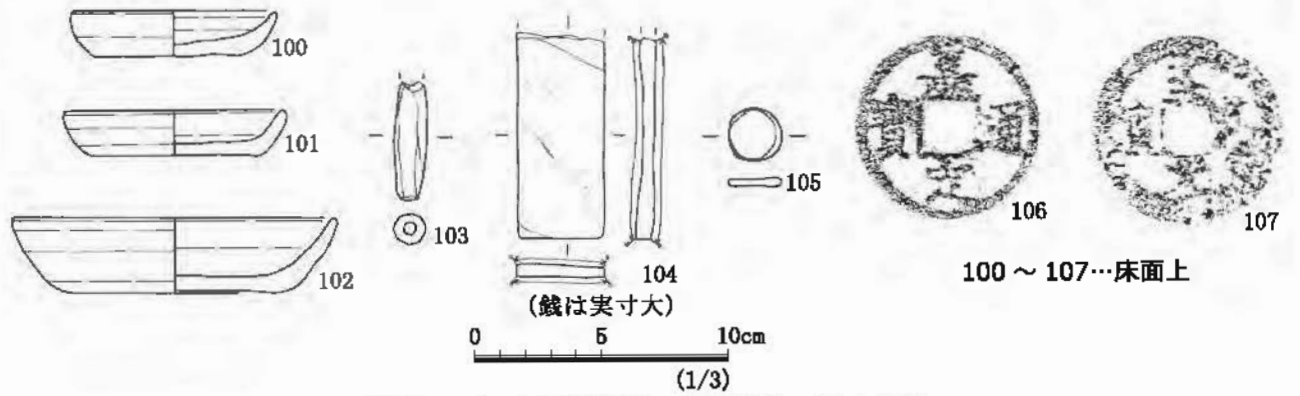
かわらけの器壁は厚く、直線的に開く器形が目立つ。極小～大型まで、法量は 4 段階に分けられそうである。114・123・156 のように低くて丸みをもつものは相対的に古い様相を残している。瀬戸は後期様式の製品が混じり、常滑甕は 9 型式以降の製品を含むことから、全体としては 15 世紀前半～中頃という遺構の廃絶年代が導き出せようか。

据甕遺構の出土遺物（図 27）

157 は据甕本体の復元図で、口縁の縁帯幅が 5cm 近くまで延びていることから常滑 7 型式頃に相当するであろう。他に、ロクロ成形のかわらけや備前すり鉢などを図示した。



84 ～ 99…埋土



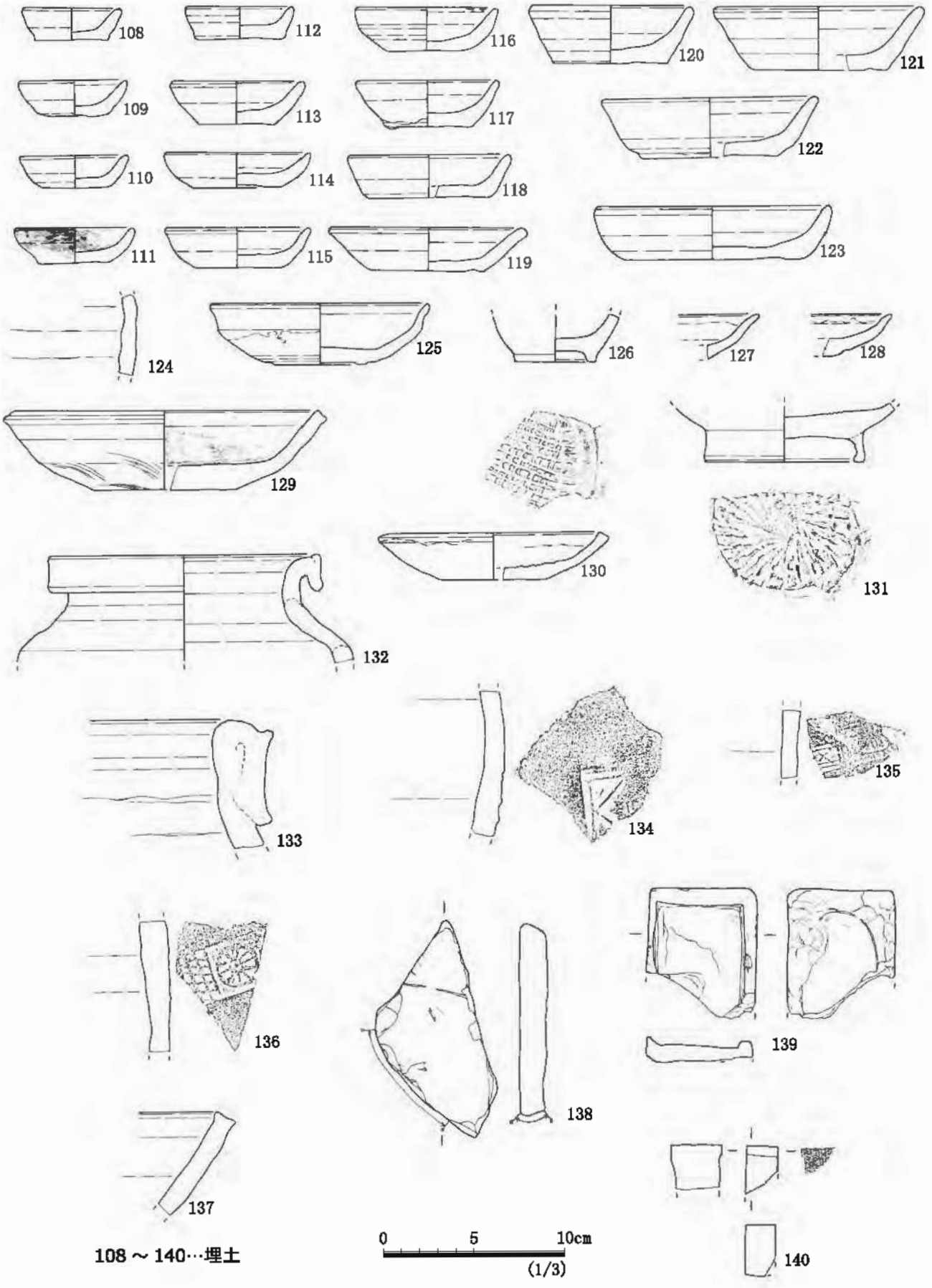
100 ～ 107…床面上

（銭は実寸大）

0　5　10cm

(1/3)

図 24　Ⅰ区上層遺構面　竪穴建物 1 出土遺物



108～140…埋土

図 25　Ⅰ区上層遺構面　井戸 1 出土遺物（1）

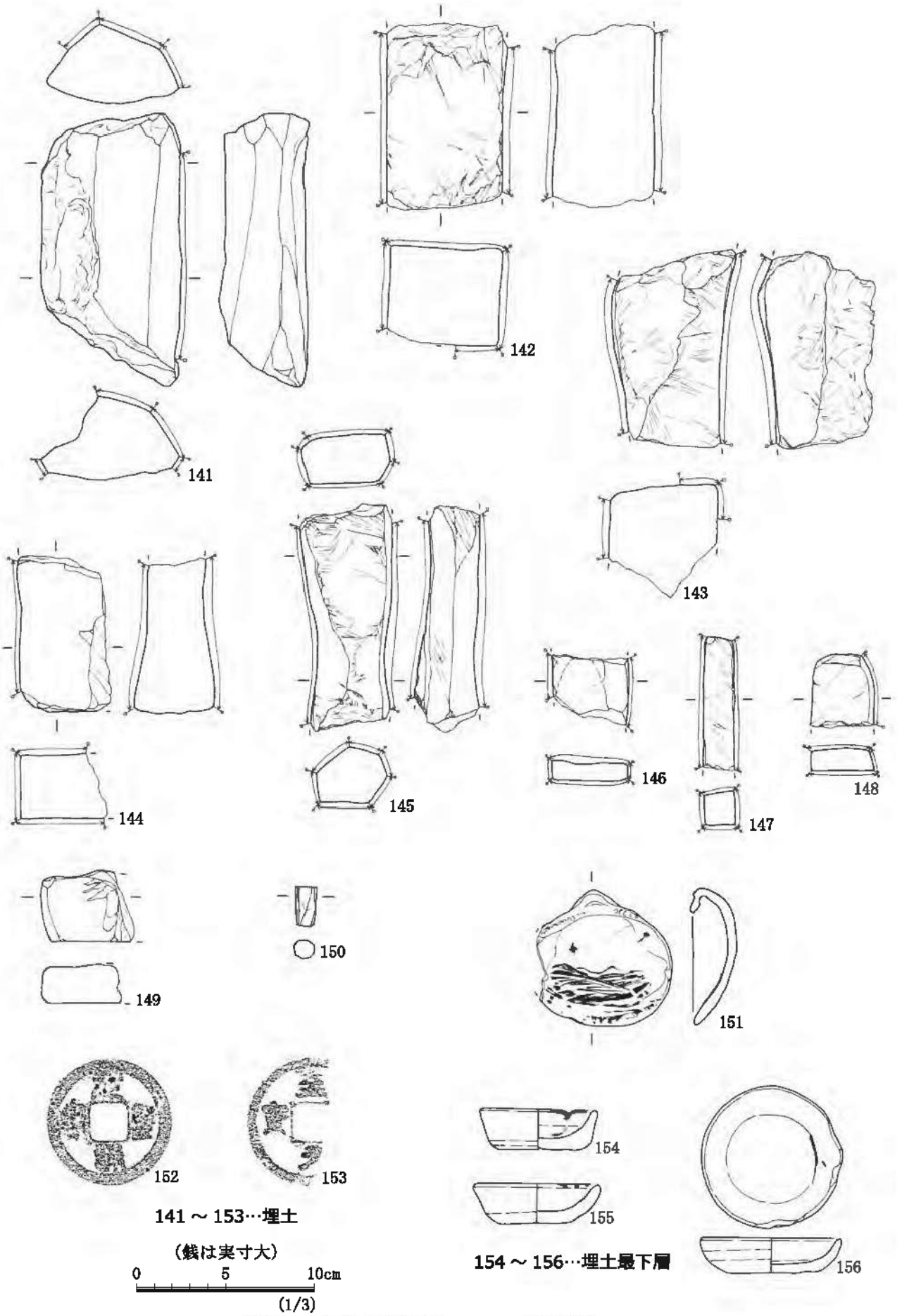


図 26　Ⅰ区上層遺構面　井戸 1 出土遺物（2）

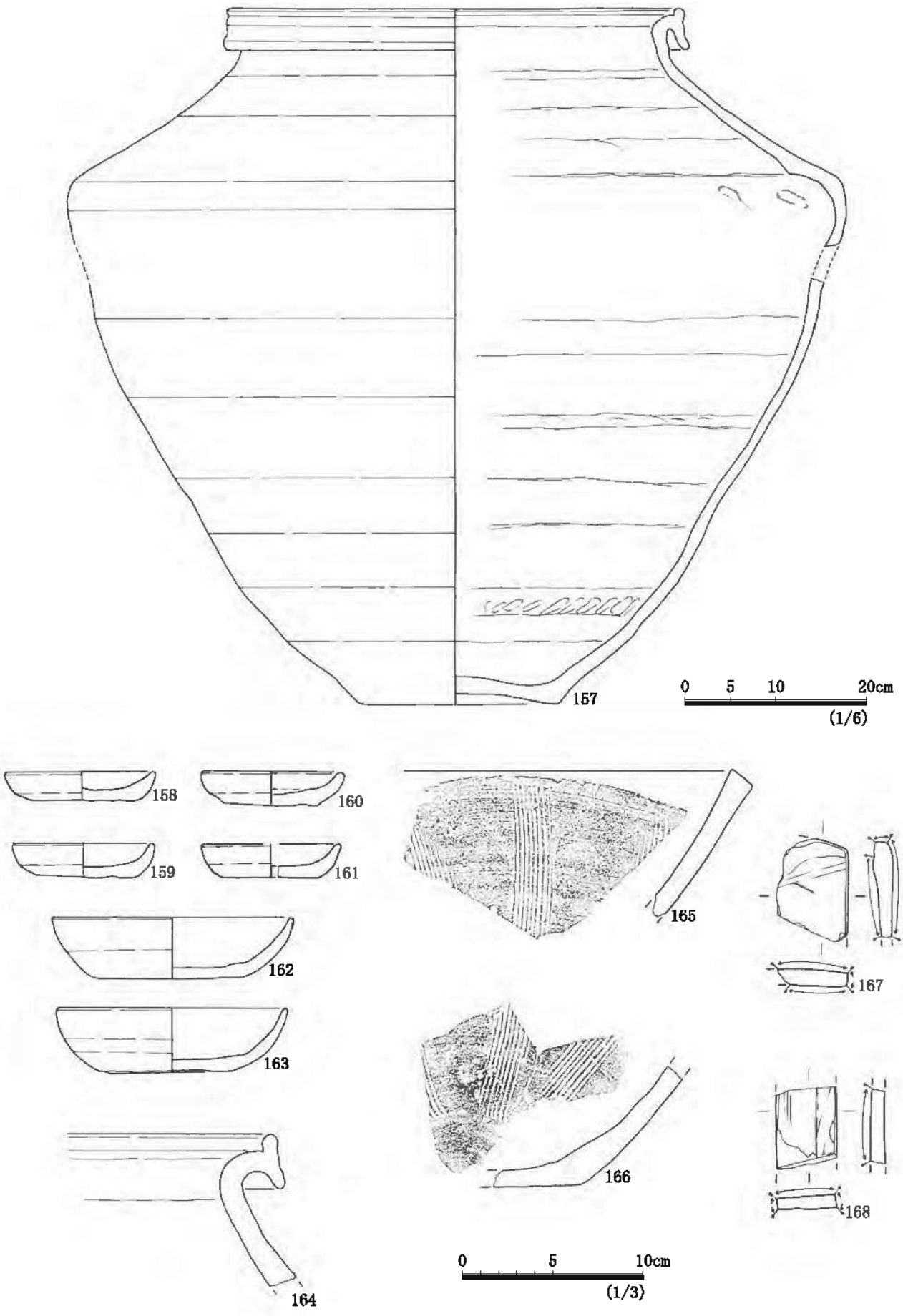


図 27　Ⅱ区上層遺構面　据塞遺構出土遺物

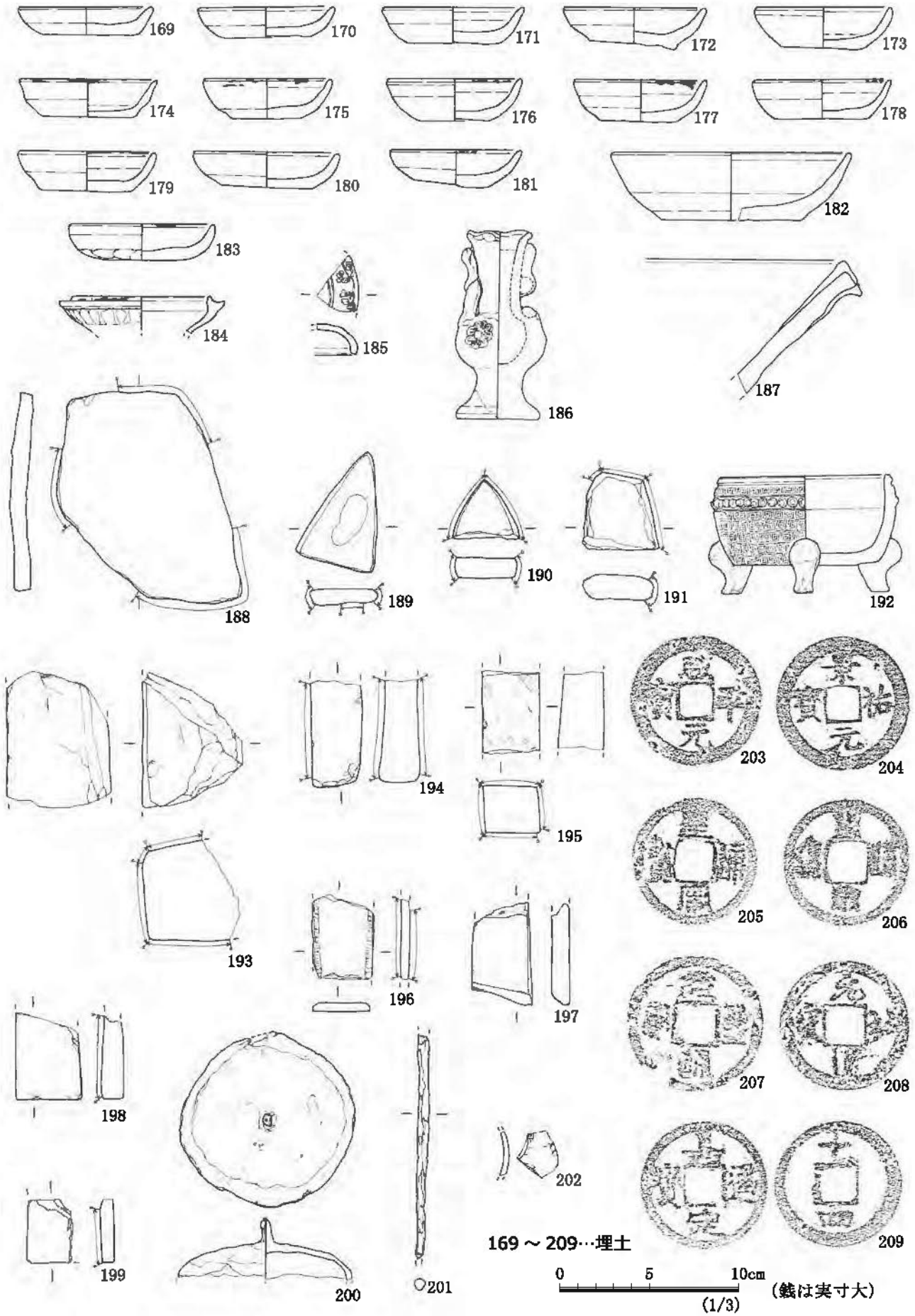


図 28　Ⅱ区上層遺構面　方形竪穴状土坑 1 出土遺物（1）

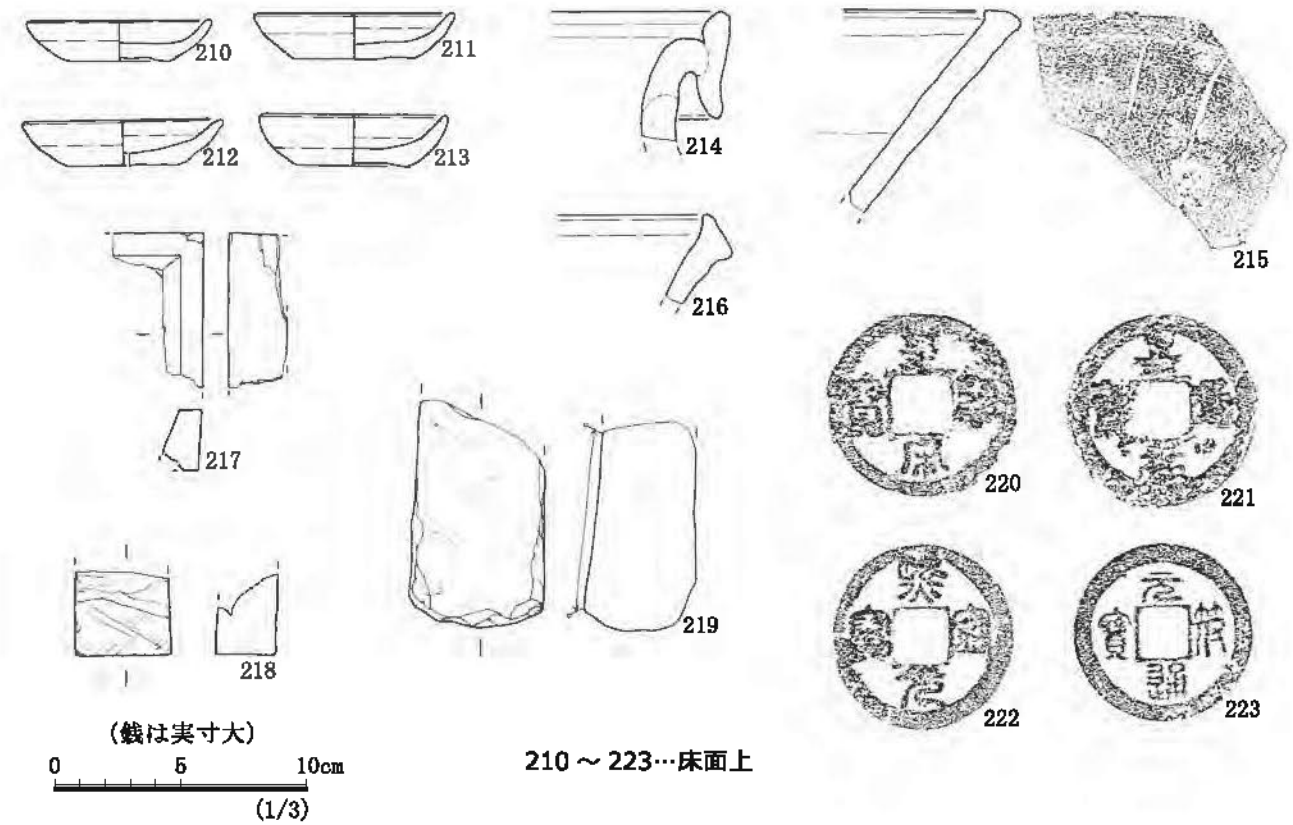


図 29　Ⅱ区上層遺構面　方形竪穴状土坑 1 出土遺物（2）

方形竪穴状土坑 1 の出土遺物（図 28・29、土坑 31：図 31）

かわらけはロクロ成形の小皿が主体で、体部に丸みを持つ個体が大部分を占める。低平な 169～171、210・211 と、やや深身器形の 175～179 という 2 種類の器形に大別できる。186 は瀬戸の小型花瓶で、中期様式前半の所産品である。総じて 14 世紀前半に年代的なまとまりを見出せ、上層遺構面の中では比較的古い遺物様相といえる。

なお、図 31-267～270 と図版 11・26 に土坑 31 の遺物および出土状況に関する情報を掲載しているが、本遺構は平面図がなく、方形竪穴状土坑 1 のほぼ中央上位に重なる位置にあることから、現地調査時に同一の遺構として判断されたようである。図 31-268・269 のロクロかわらけ大皿は、やや腰が張る体部から口縁がわずかに外方へ引き伸ばした器形であり、方形竪穴状土坑 1 出土の図 28-182 よりも後出の要素を有している。

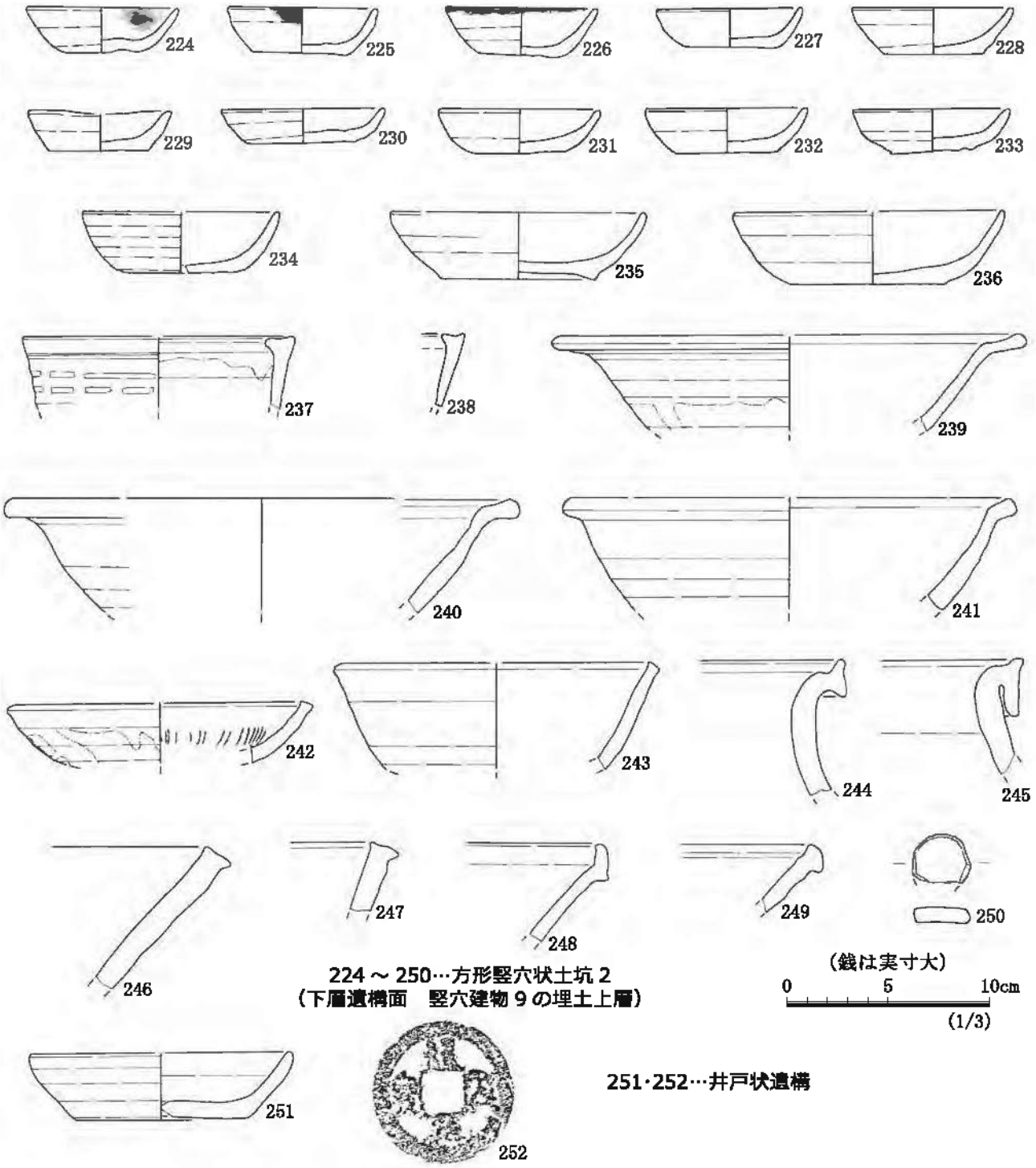


図30　Ⅱ区上層遺構面　方形竪穴状土坑2･井戸状遺構出土遺物

方形竪穴状土坑2の出土遺物（＝下層竪穴建物9、図30）

かわらけ（224～236）はロクロ成形品のみで、大・小とも深身で内湾するものが主体をなしている。残存度は低いが、中型品（234）もわずかながら認められた。

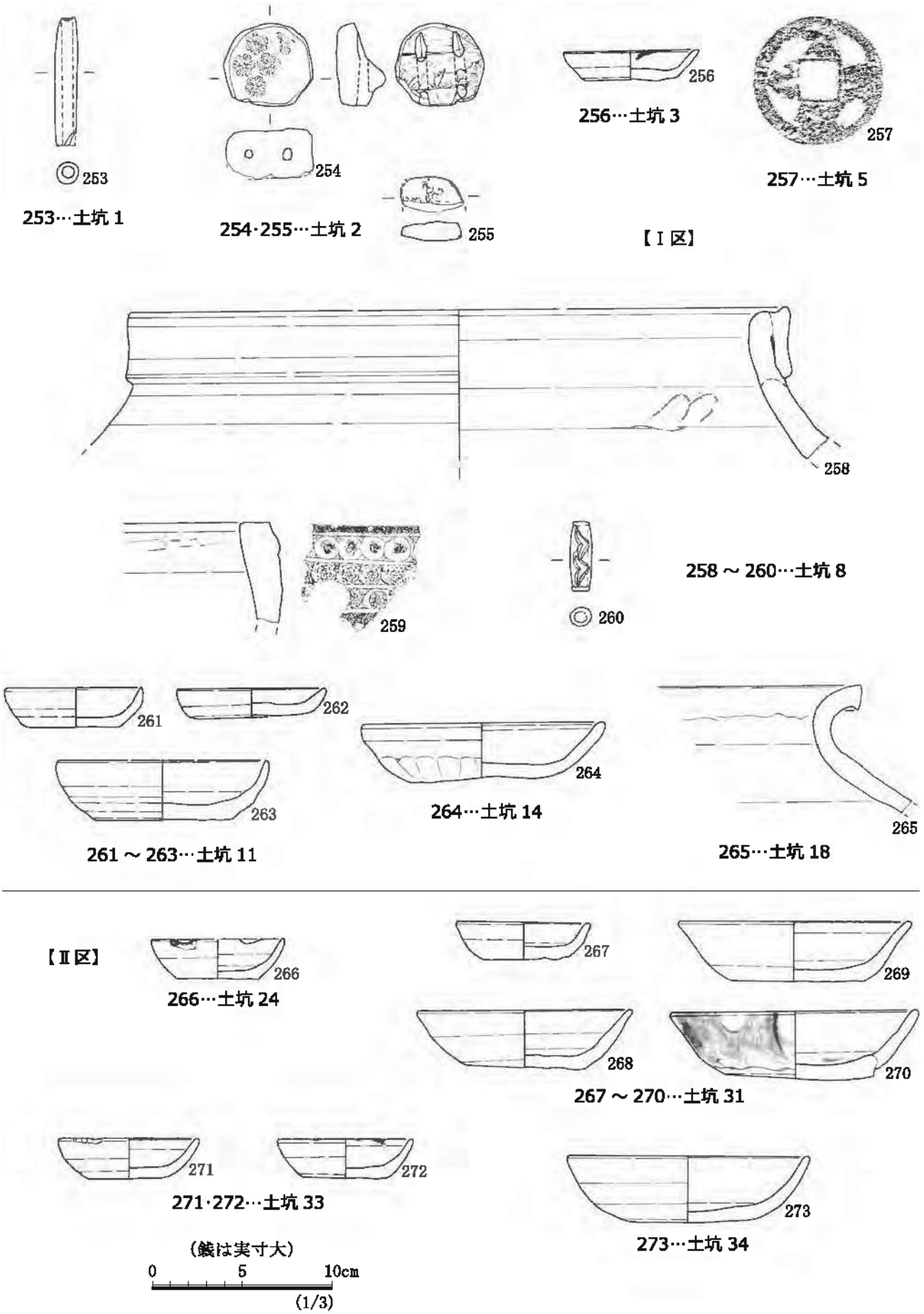


図 31　Ⅰ・Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物

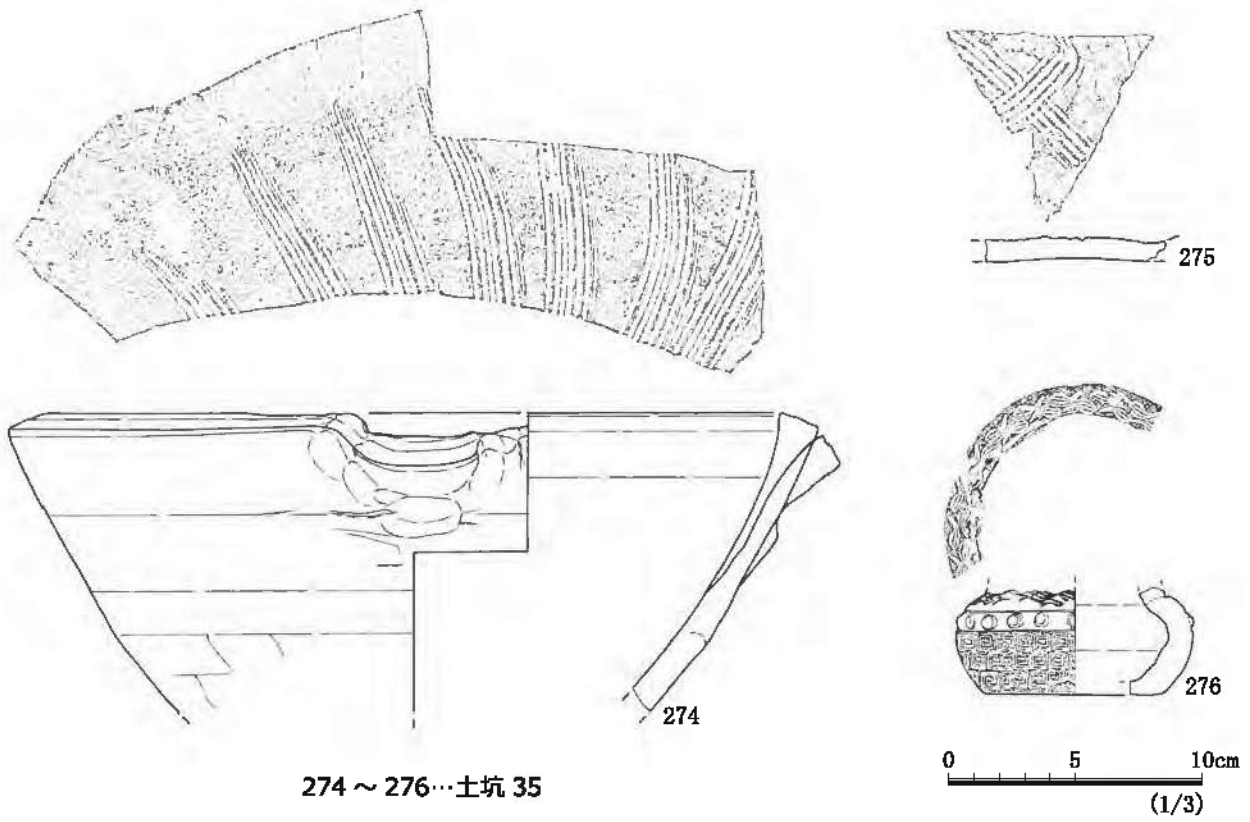


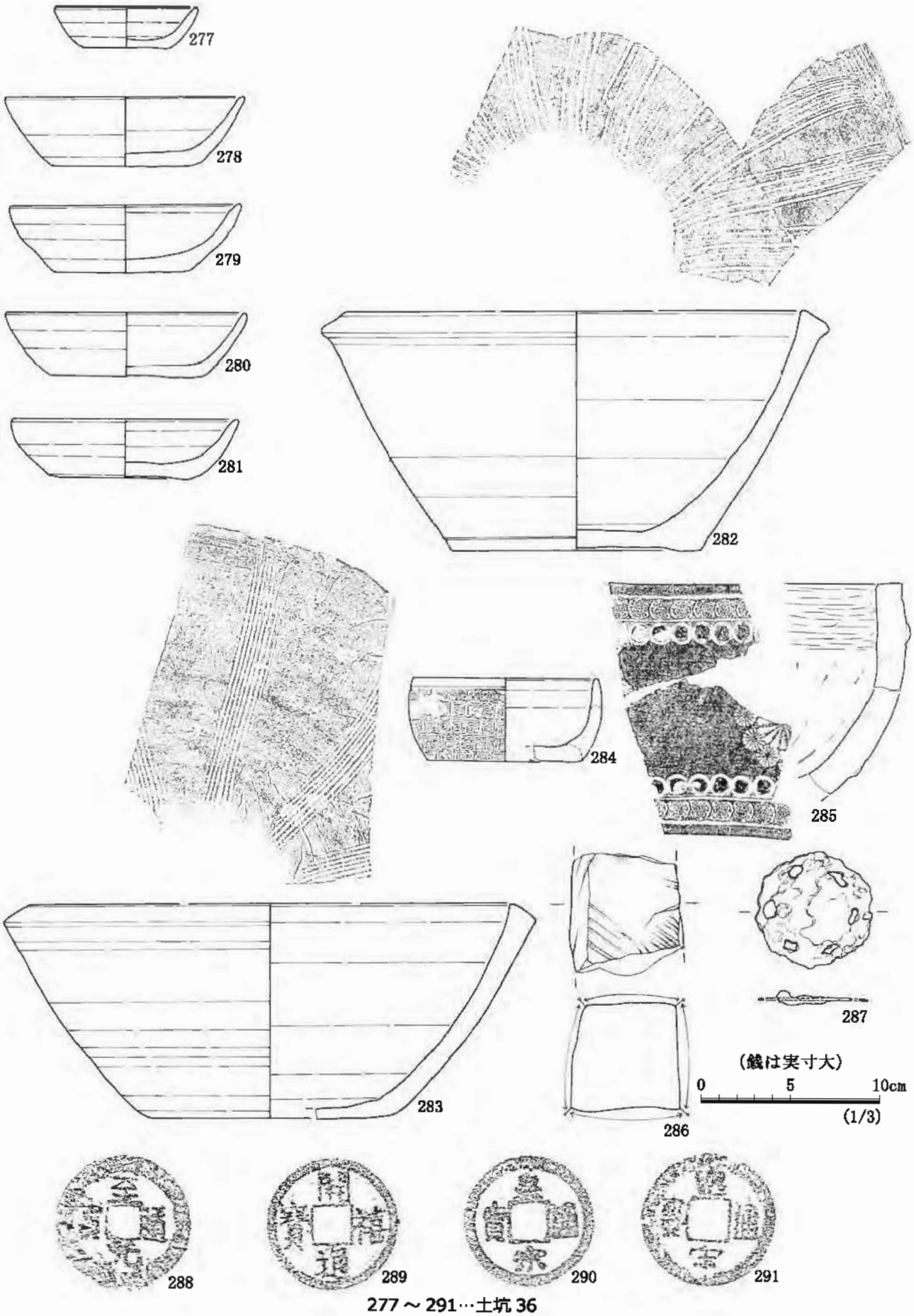
図32　Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物（1）

土坑36の出土遺物（図33）

かわらけは器壁が薄手だが体部～口縁部の湾曲は弱く直線的である。口縁部を回転ナデで薄く仕上げ、井戸1や土坑39の出土資料よりシャープで古い様相を呈している。ほかに、備前すり鉢や瓦質土器の火鉢・香炉などが出土しており、すり鉢は282が283に比べて体部が直線的で口縁端部が外方に引き伸ばされる特徴を持っており、より後出する様相と認識できる。

土坑39の出土遺物（図34）

かわらけは厚手の資料が主体で直線的に開くか、口縁がやや外反する器形が目立つ。破片資料である322の瀬戸縁釉小皿は削り出し高台を有しており後Ⅳ期以降に位置付けられることから、完形のかわらけは、これより後出の所産品と考えるべきであろう。とすると、15世紀中頃が推定し得る年代の上限ということになる。この時期としては良好な土器の一括廃棄例であり、量的にまとまった事例としては、先述の井戸1に後続する土器様相と考えられる。299・303・307・317は埋土最下層（坑底付近）で出土しているが、他のかわらけと様相は異ならない。



277～291…土坑36

図33　Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物（2）

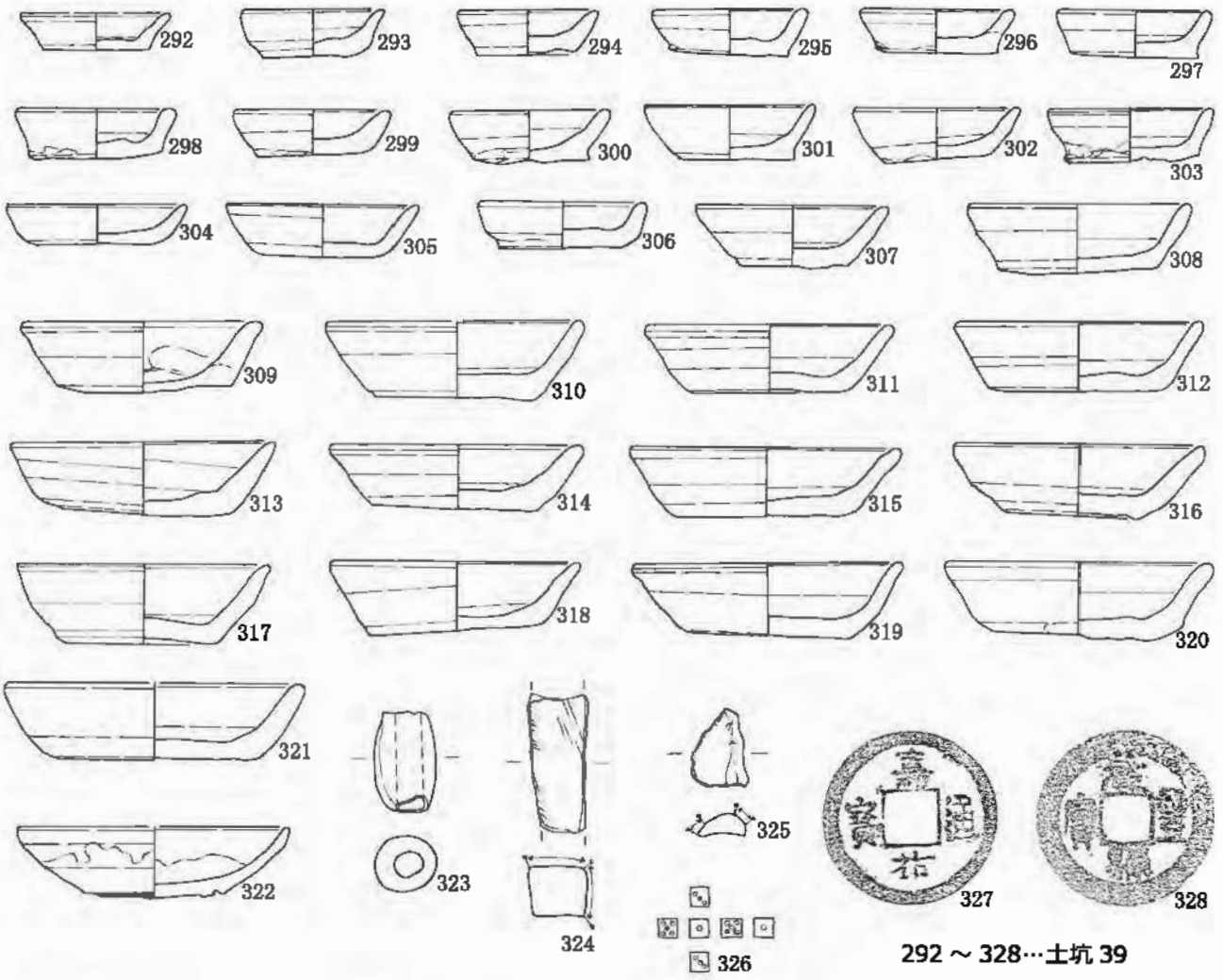
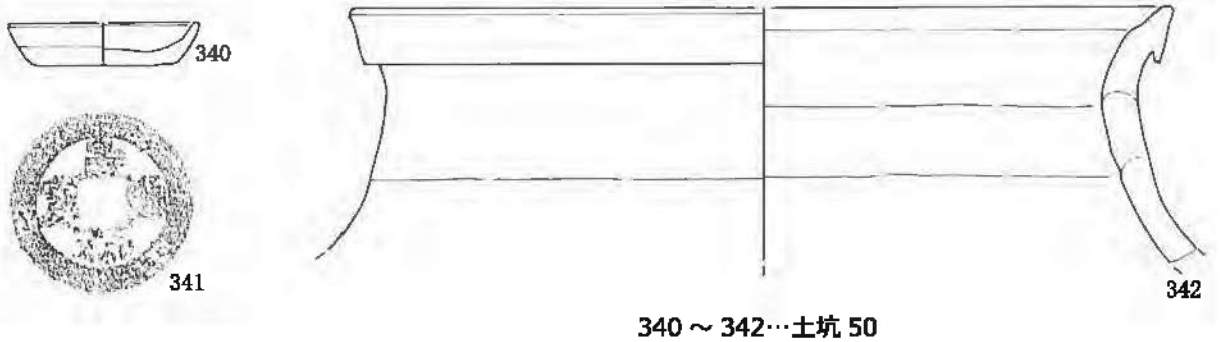


図 34　Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物（3）



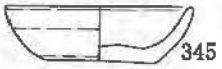
340 ～ 342…土坑 50



343…土坑 53

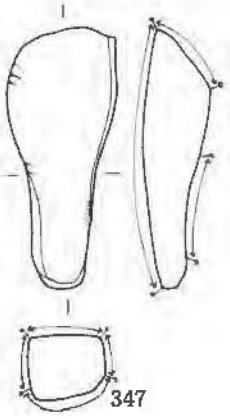


344…土坑 54



345…土坑 55

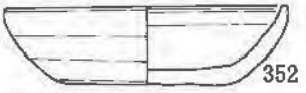


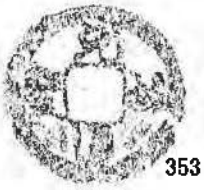


346·347…土坑 57

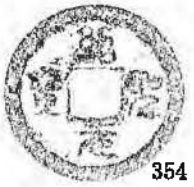








350 ～ 353…土坑 62



354…土坑 64



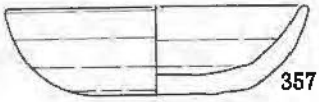
355…土坑 65



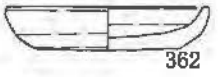


348·349…土坑 60





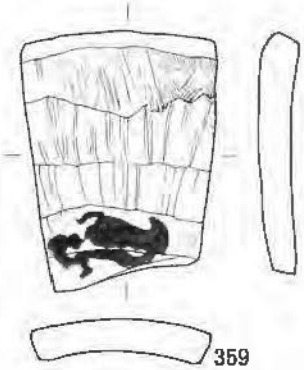


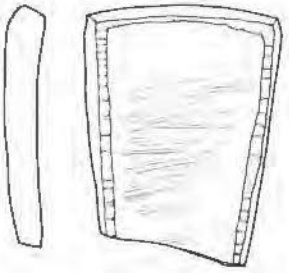


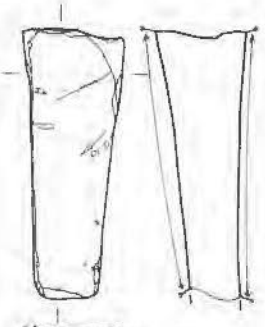
362…土坑 68

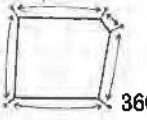


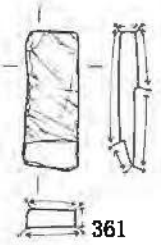
363…土坑 72

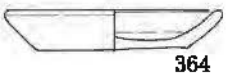












364…土坑 73

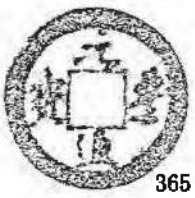
356 ～ 361…土坑 67

(銭は実寸大)

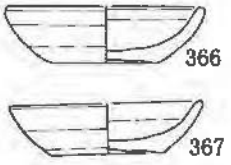
0 5 10cm

(1/3)

図 35　Ⅱ区上層遺構面　土坑出土遺物 (4)


365

365…P-2

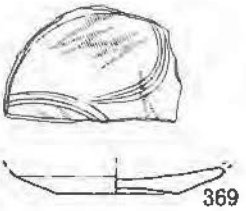

366

367

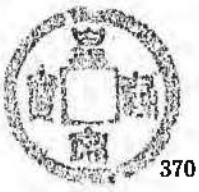
366·367…P-8


368

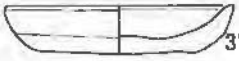
368…P-10

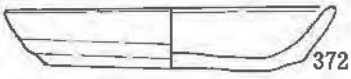

369

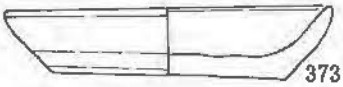
369…P-14


370

370…P-17

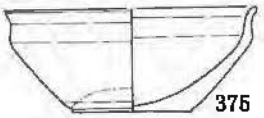

371


372

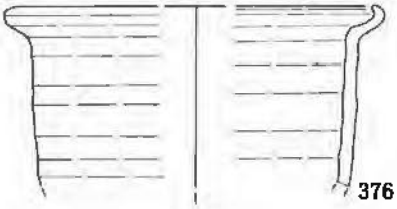

373

371 ～ 373…P-19

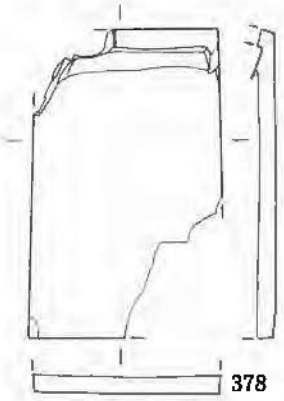

374

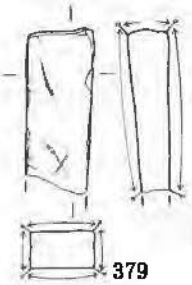

375

374·375…P-21

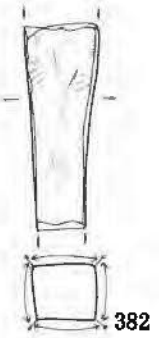

376

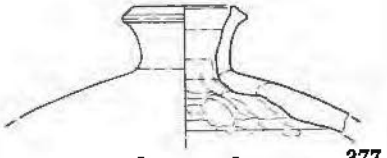
376…P-24


378


379

378·379…P-34

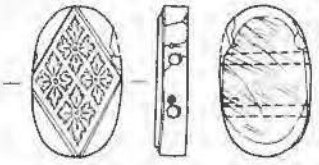

382


377

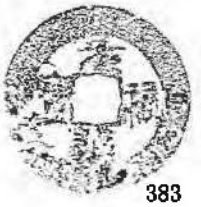
377…P-25


381

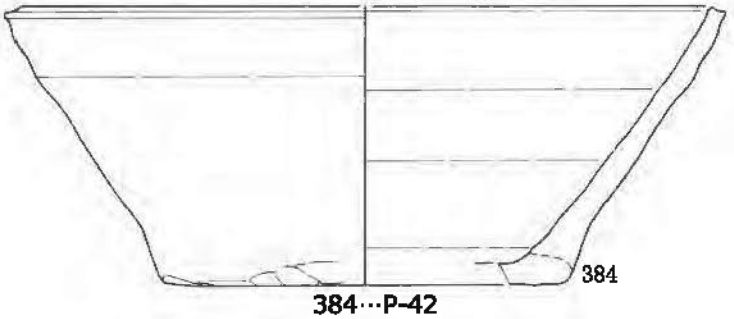
381…P-38


380

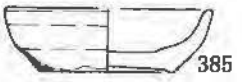
380…P-35


383

382·383
…P-41


384

384…P-42


385

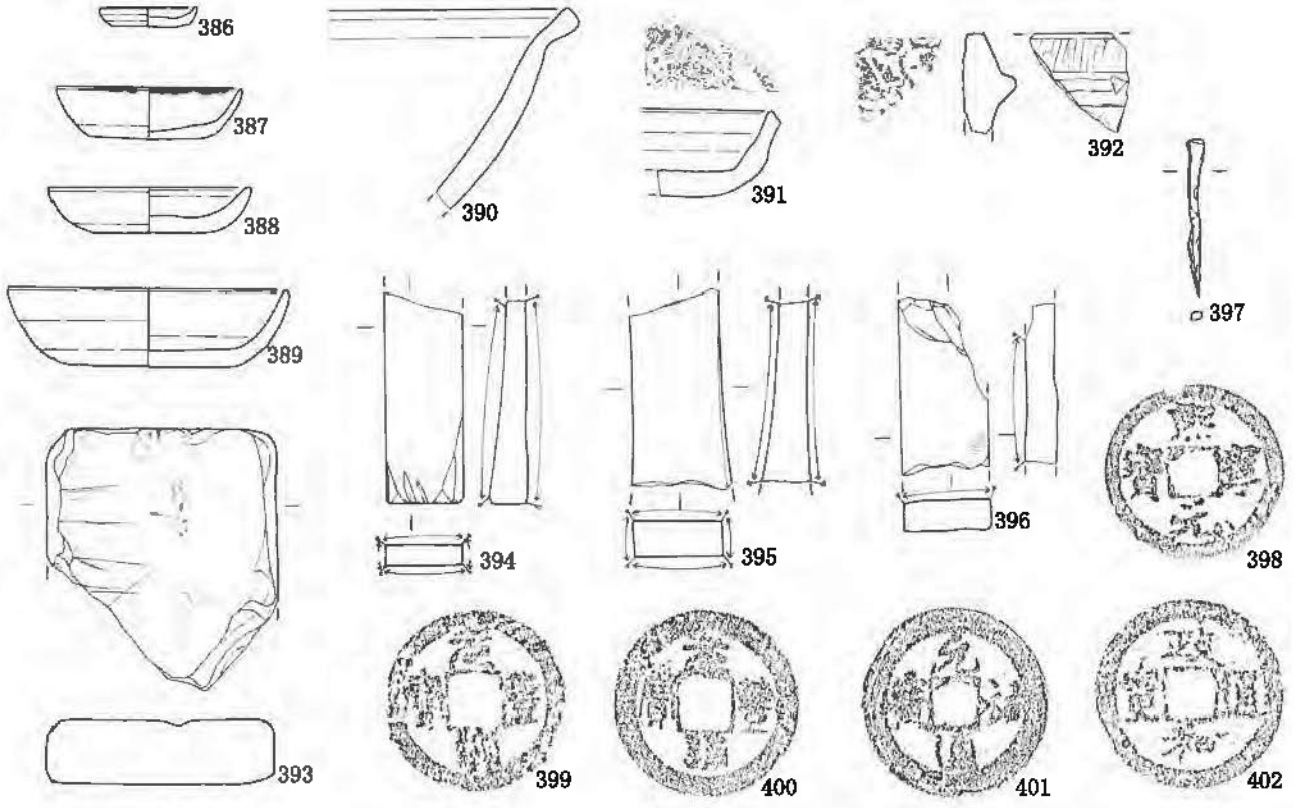
385…P-49

（銭は実寸大）

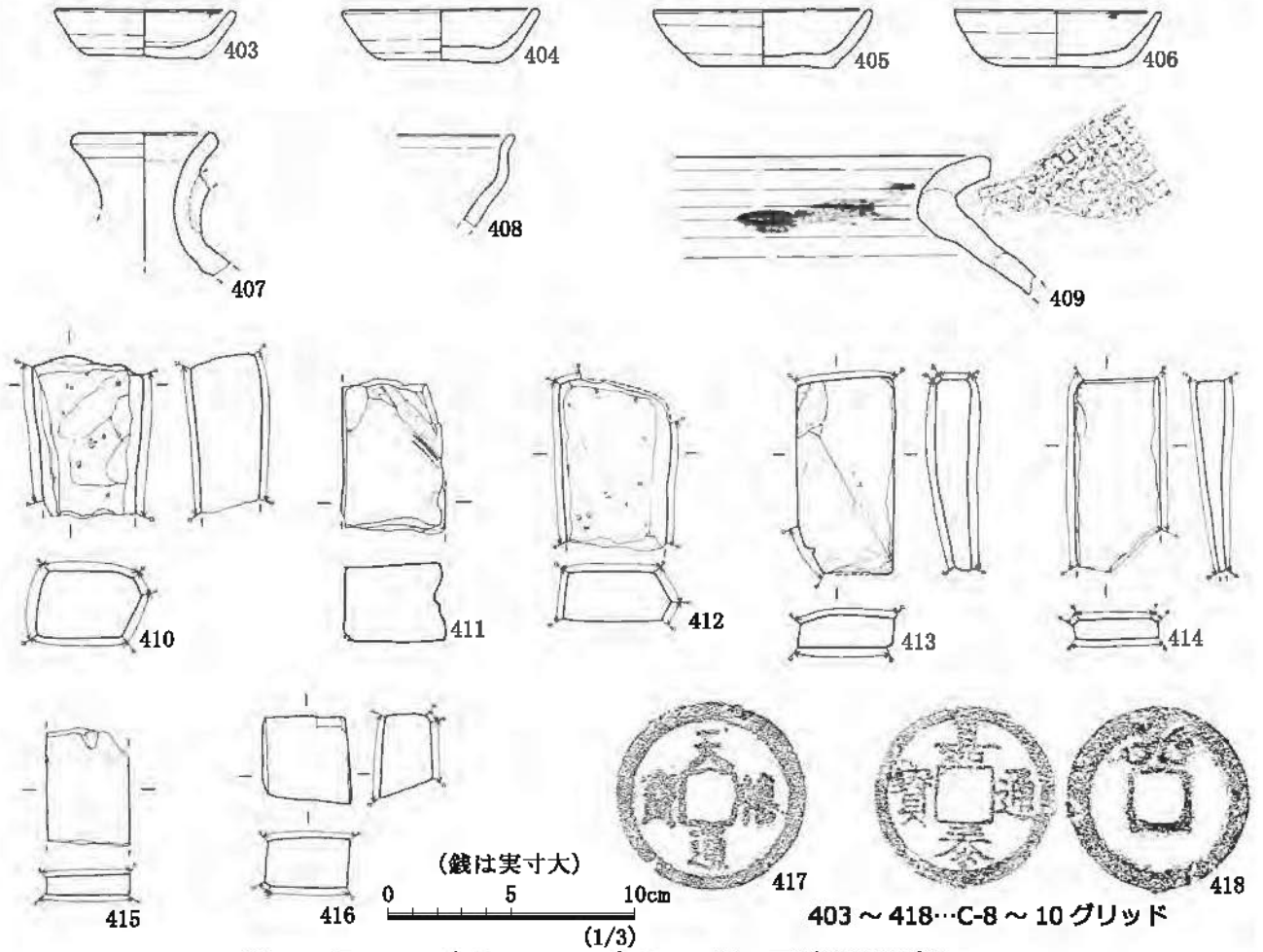
0　5　10cm

(1/3)

図 36　Ⅱ区上層遺構面　ピット出土遺物



386～402…B-8～10グリッド



403～418…C-8～10グリッド

図37　Ⅱ区上層遺構面～下層遺構面　掘り下げ時出土遺物（1）

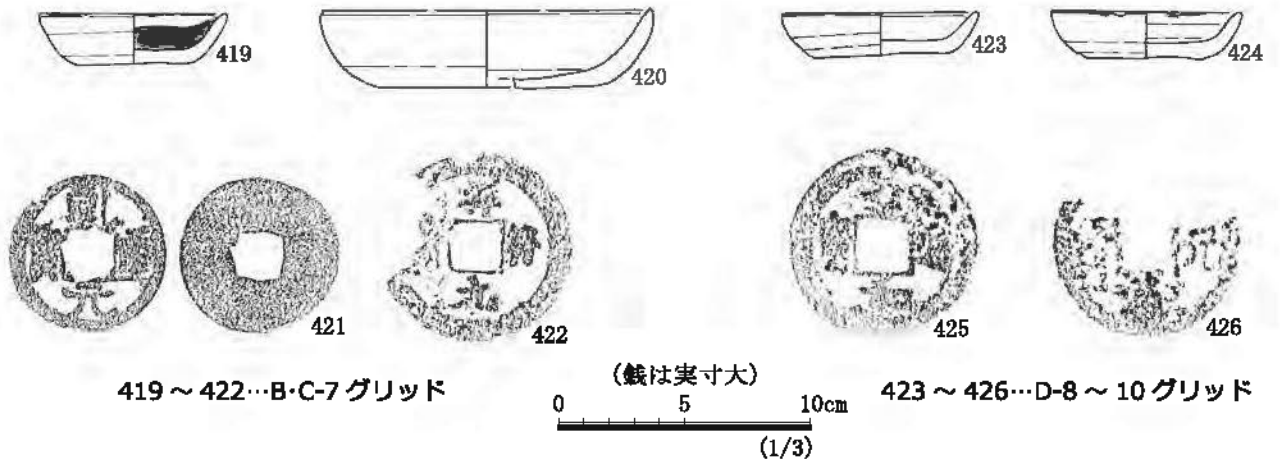
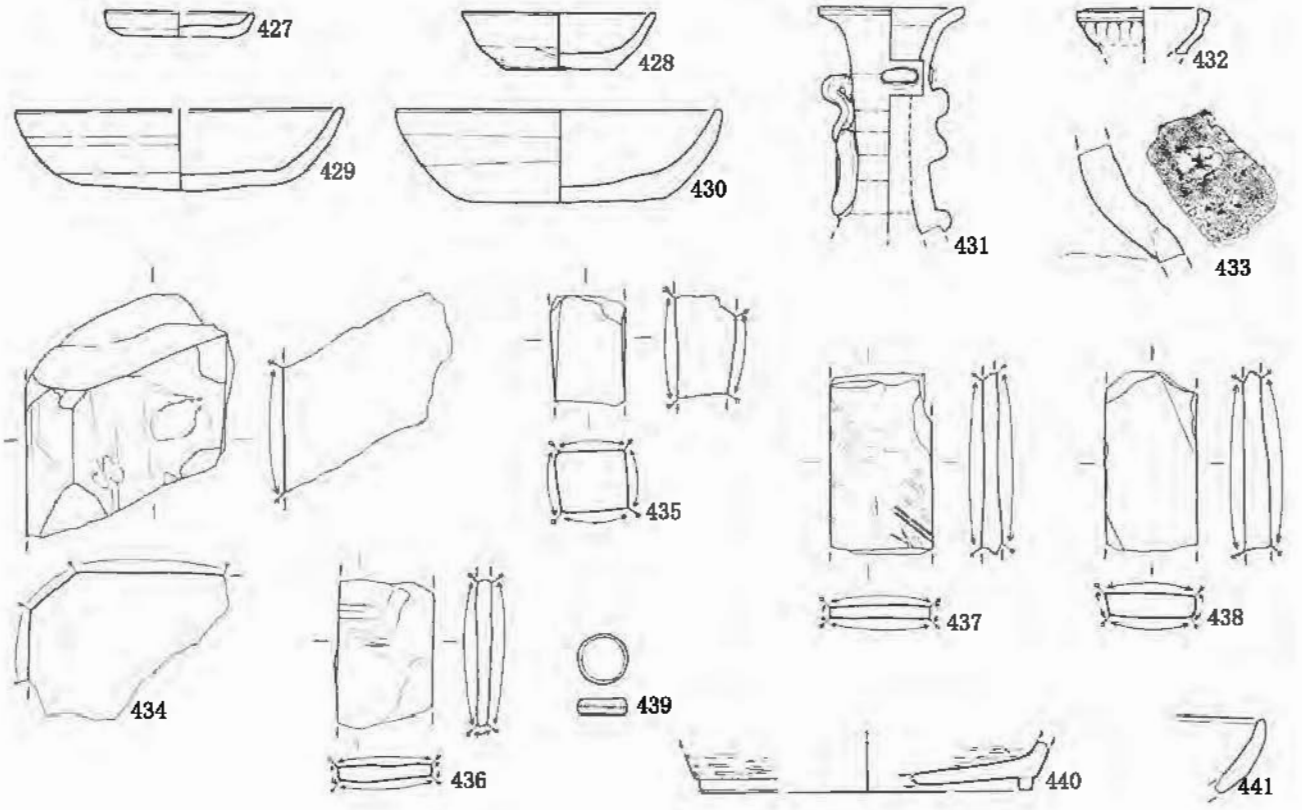


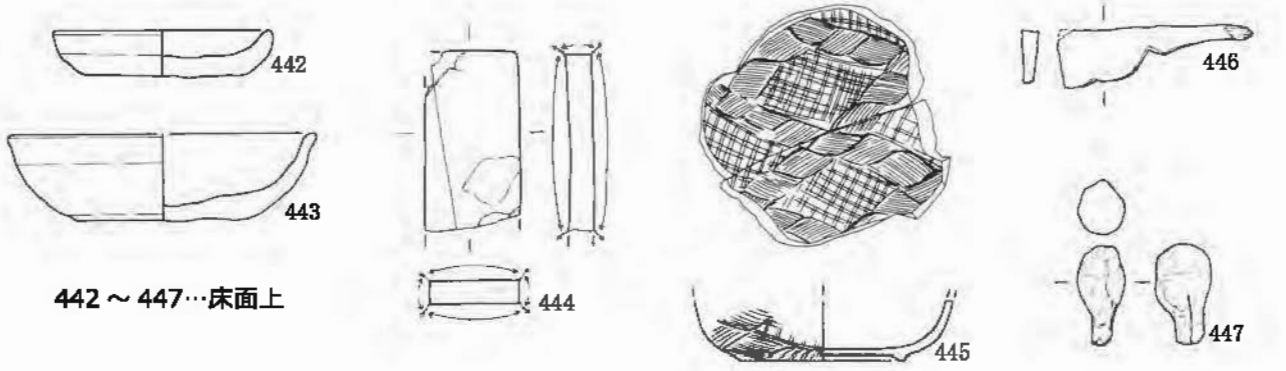
図 38　Ⅱ区上層遺構面～下層遺構面　掘り下げ時出土遺物（2）

（3）下層遺構面検出までの出土遺物（図 37・38）

上層遺構面の調査終了後、下層遺構面を検出するまでに出土した遺物を開催した。Ⅰ区では図示すべきものがなく、Ⅱ区出土分のみグリッドごとに提示した。ロクロかわらけを中心に、概ね鎌倉時代の後期、13 世紀後半～ 14 世紀前半の遺物様相と捉えられる。



427～441…埋土



442～447…床面上



448・449…裏込め

(銭は 1/1)

0 5 10cm

(1/3)

450～452…拡張トレンチ
(調査区北壁)

図 39　I 区下層遺構面　竪穴建物 2 出土遺物

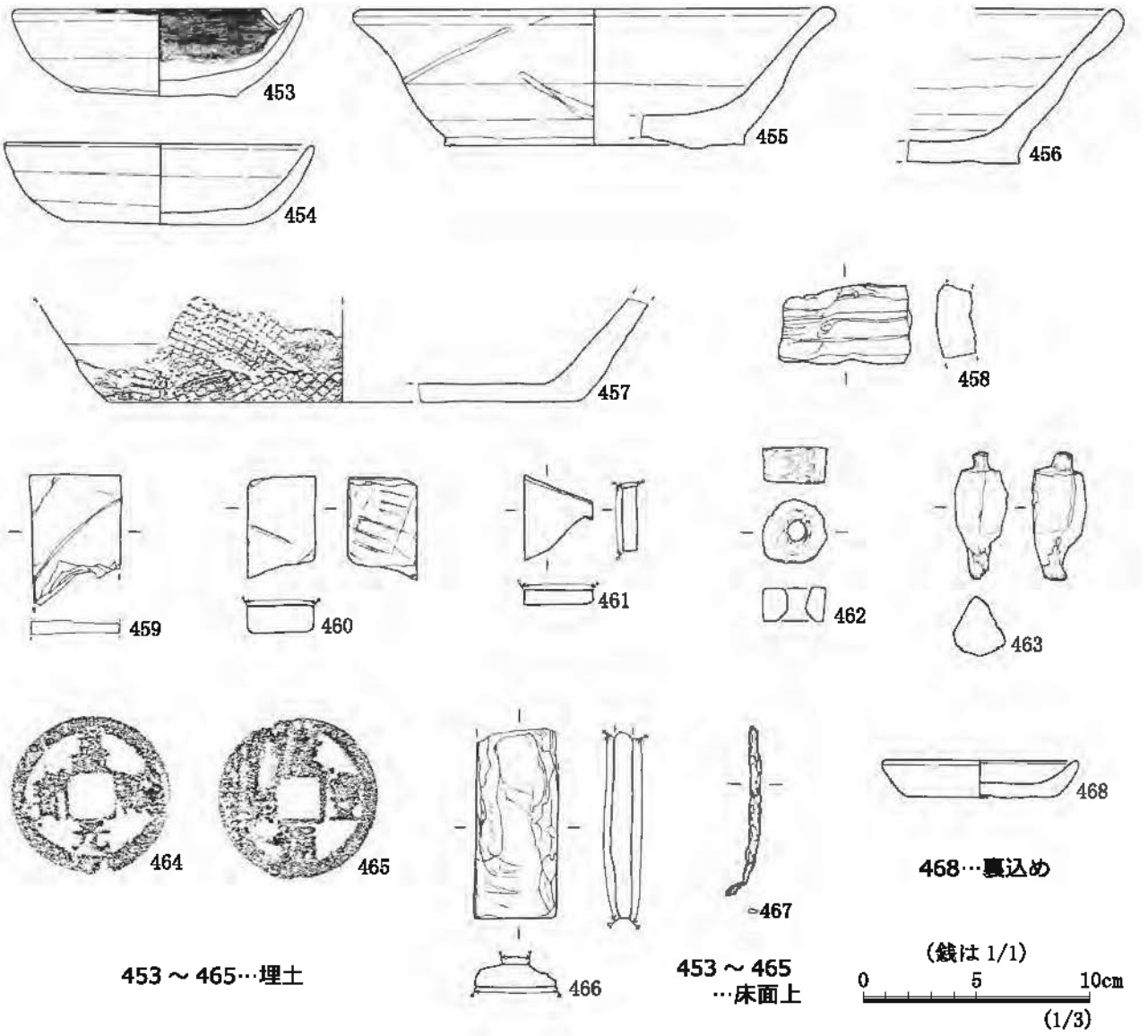


図 40　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 3 出土遺物

（4）下層遺構面の遺構出土遺物

建物 2 の出土遺物（図 39）

建物 2B からの出土遺物は僅少で、448 の土器小壺のみが 2B 裏込めからの出土、その他は全て建物 2A から出土したものである。

建物 3 の出土遺物（図 40）

455・456 の常滑片口鉢は高台を有さないが回転成形で口縁部を丸く肥厚させて仕上げていることからⅠ類とした。ただ、Ⅱ類が生産される過渡期段階の資料とはいえるかもしれない。

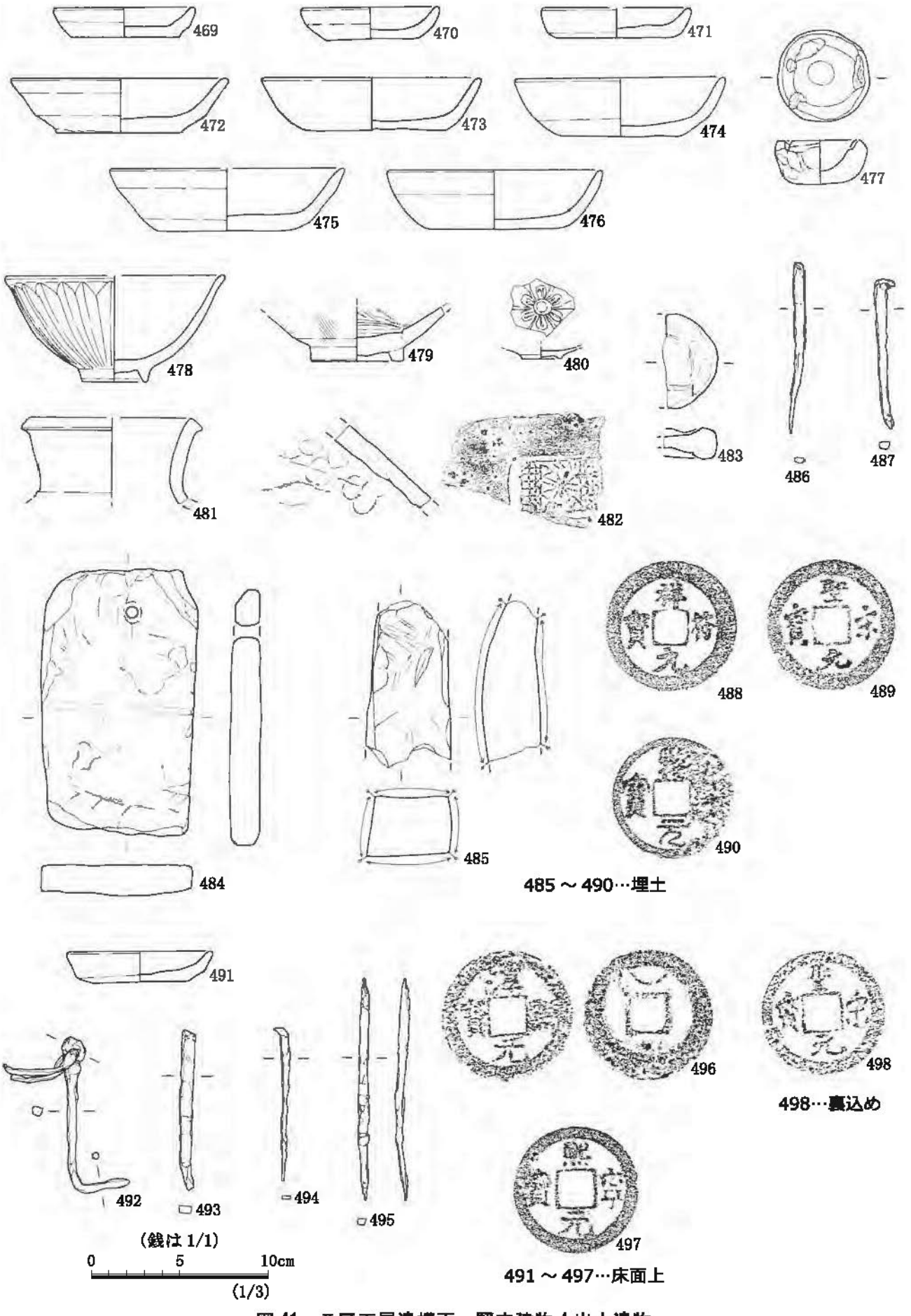


図41　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物4出土遺物

建物 4 の出土遺物（図 41）

ロクロかわらけは大・小とも口径：底径比が小さく浅いものが主体となる。体部～口縁は、あまり内湾しない。

建物 5 の出土遺物（図 42）

図 42-499 ～ 515 が本遺構に帰属する。509 の土製馬像や 510 の小型銅碗（六器か）は、類例の限られた資料である。

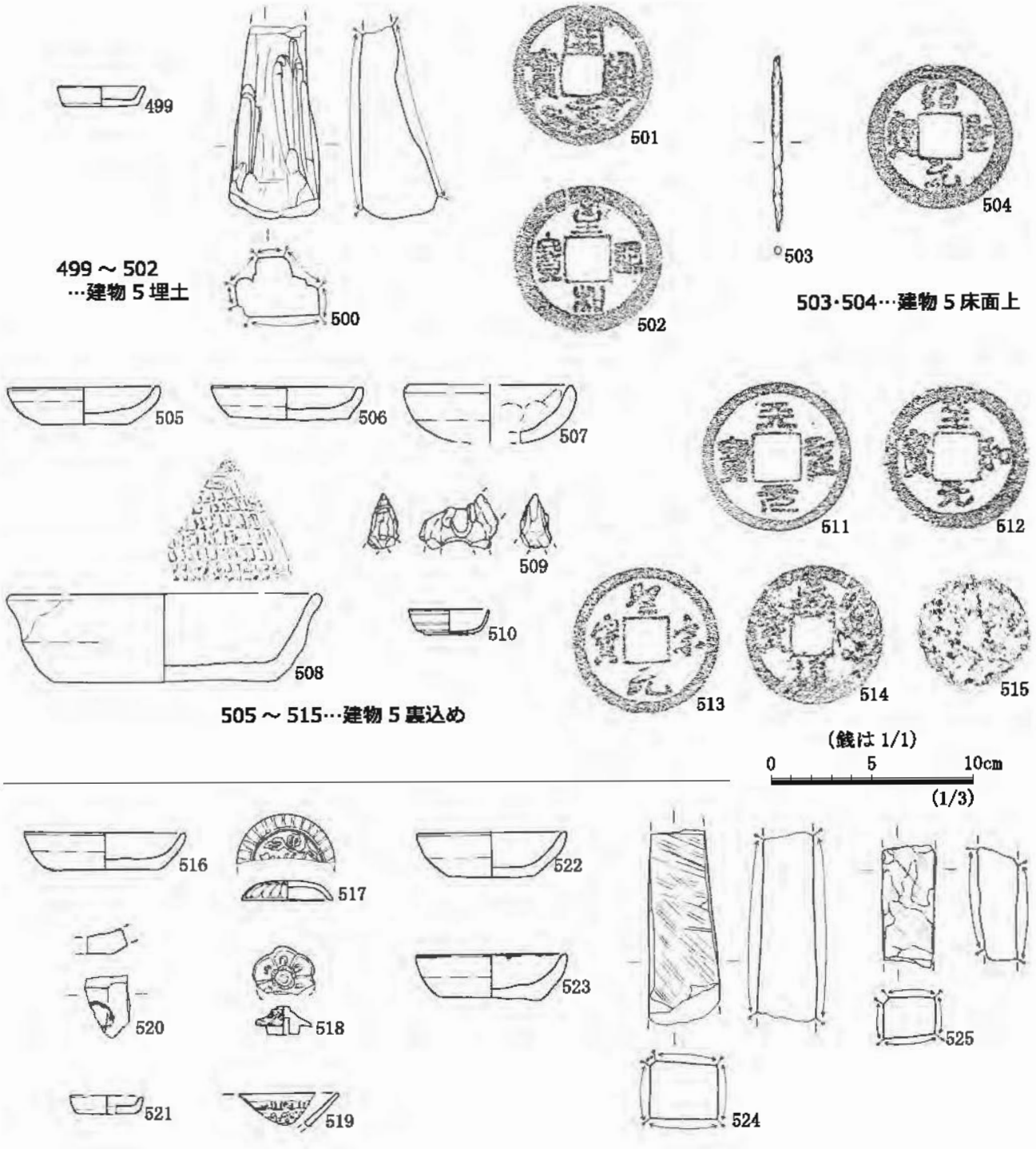


図 42　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 5·6 出土遺物

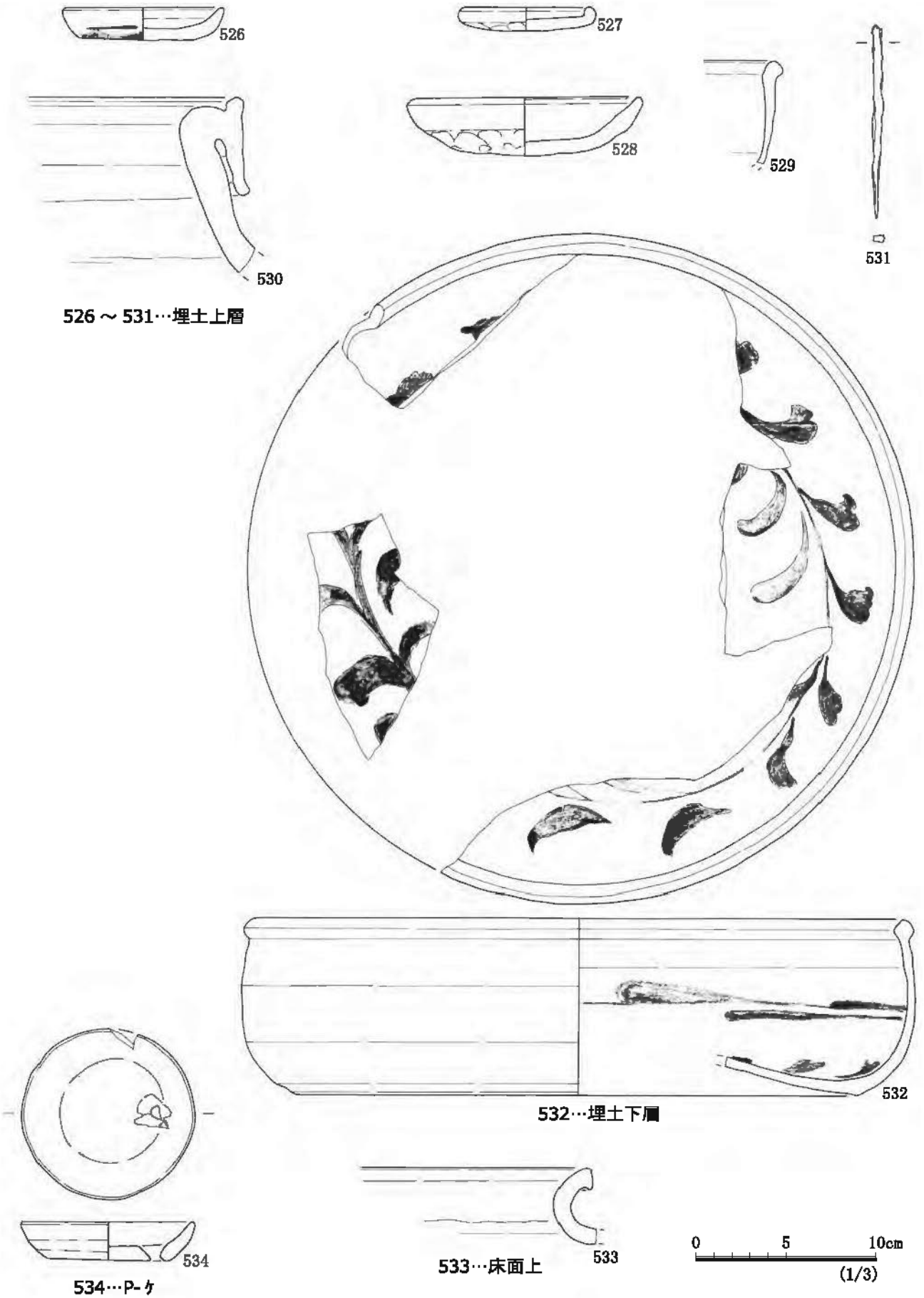
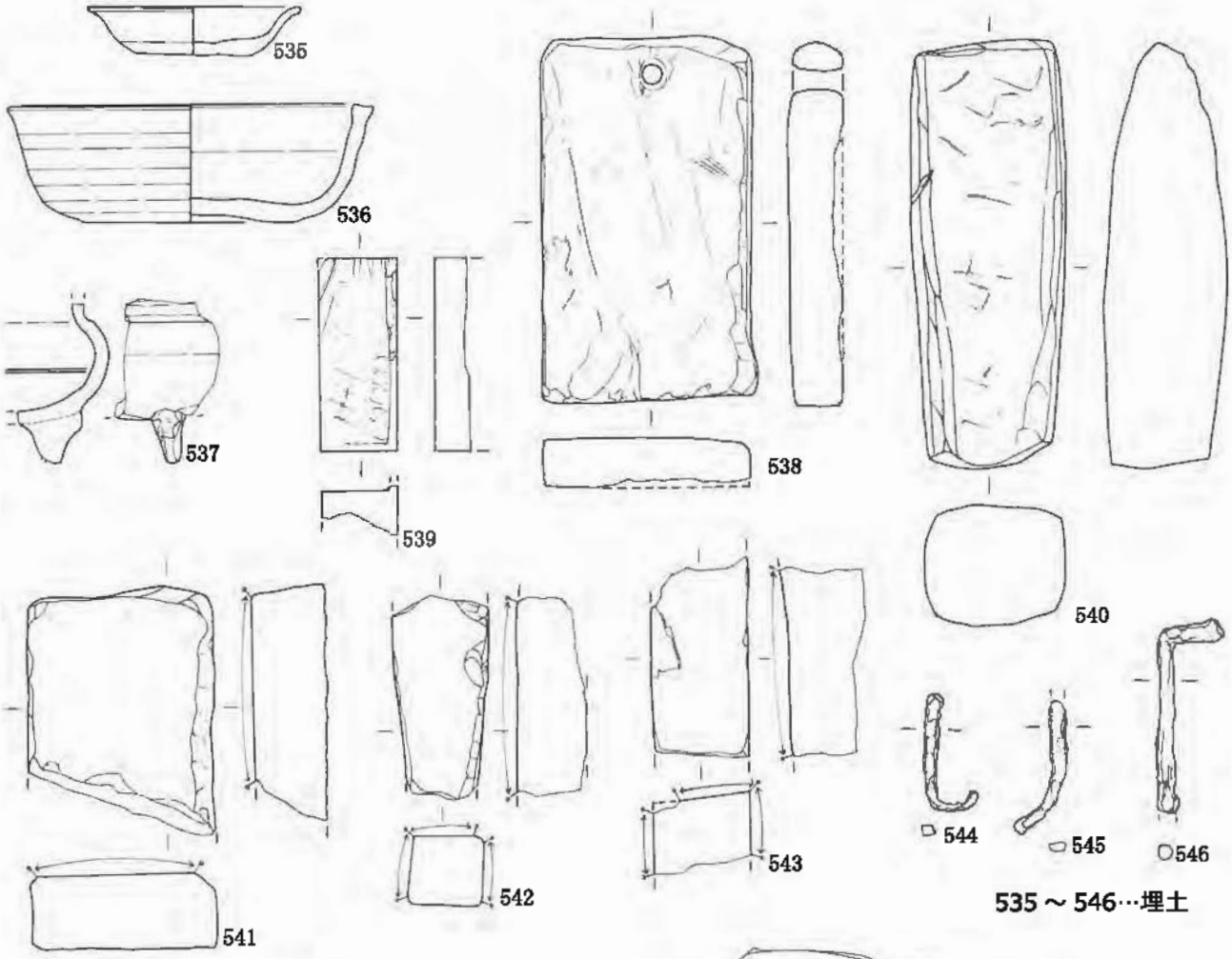
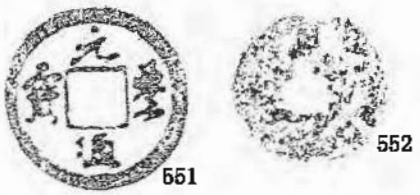


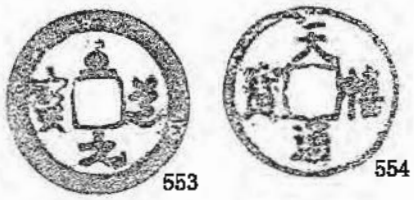
図 43　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 7 出土遺物



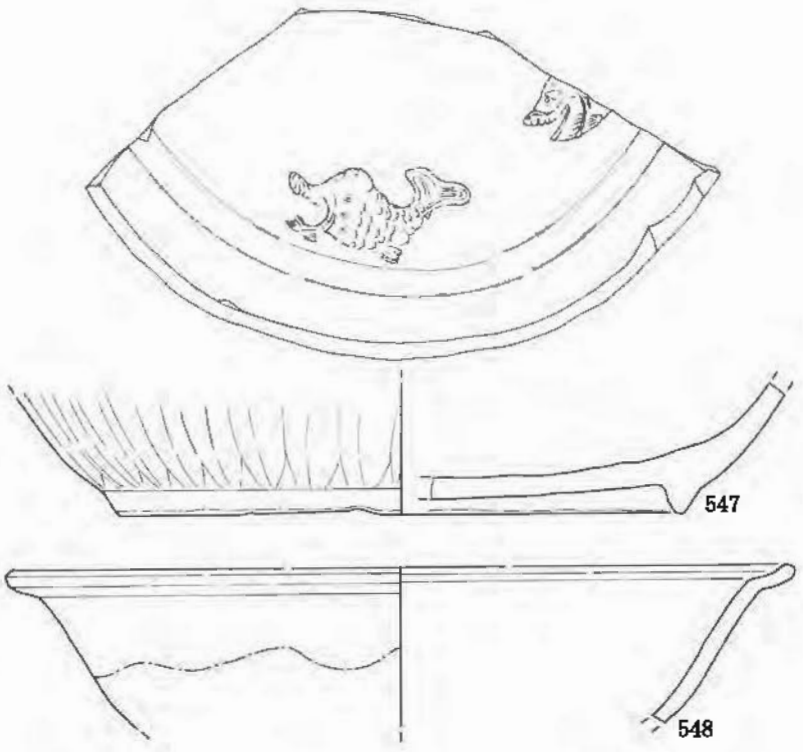
535～546…埋土







549～554…床面上



547·548…埋土f層

(銭は1/1)

0 5 10cm

(1/3)

図44　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物9出土遺物

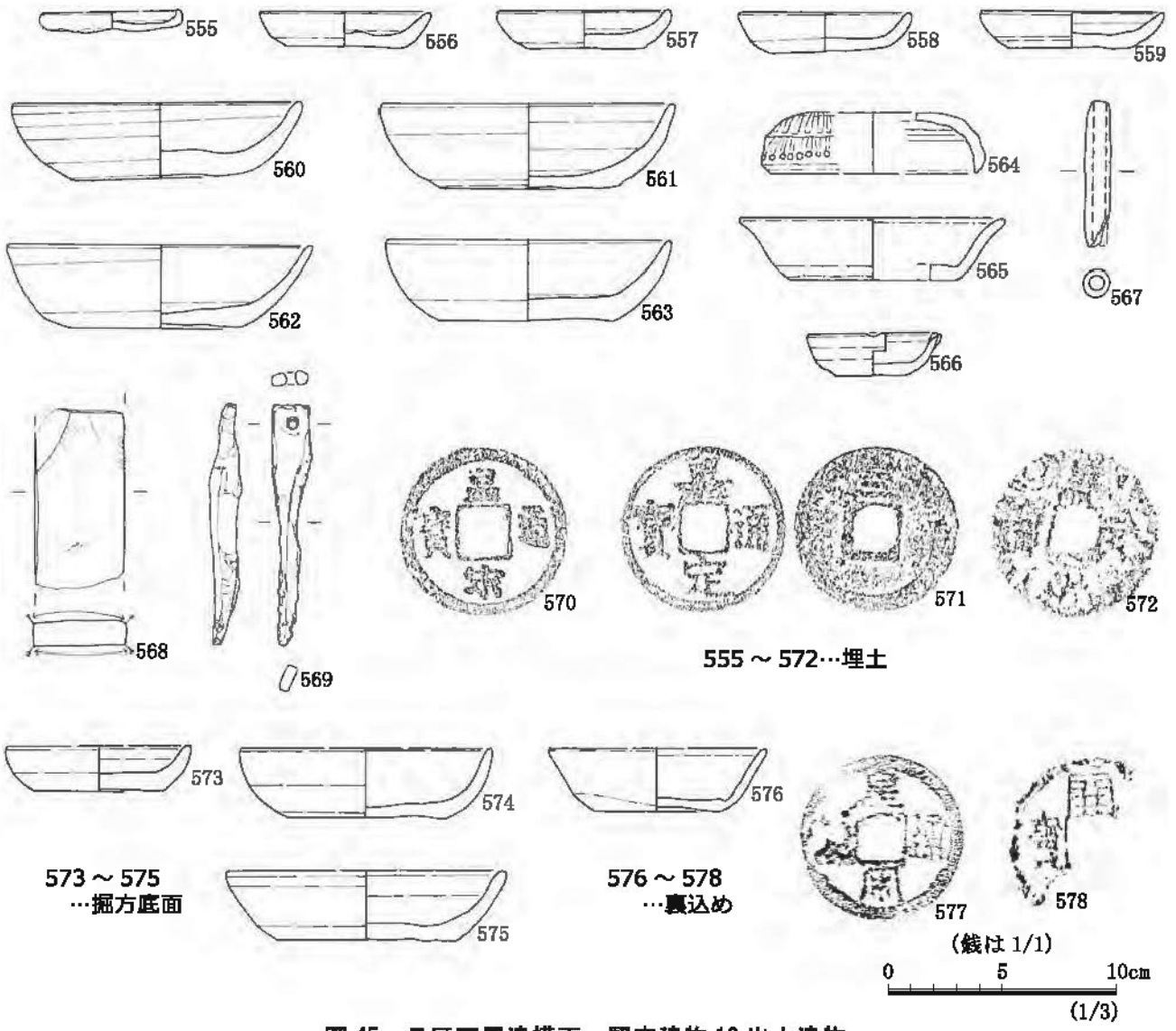


図45　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物10出土遺物

建物7の出土遺物（図43）

かわらけはロクロ：手づくねの構成比に大きな差が見られなかった。常滑の甕（530）は8型式まで下る要素を持ち、遺構間の新旧関係や他の遺物様相とを比較すると疑問符が付く。

建物10の出土遺物（図45）

手づくねかわらけは555の1点のみを図示し得た。ロクロかわらけは僅かに内湾するものが主体で、小皿は概して低い。

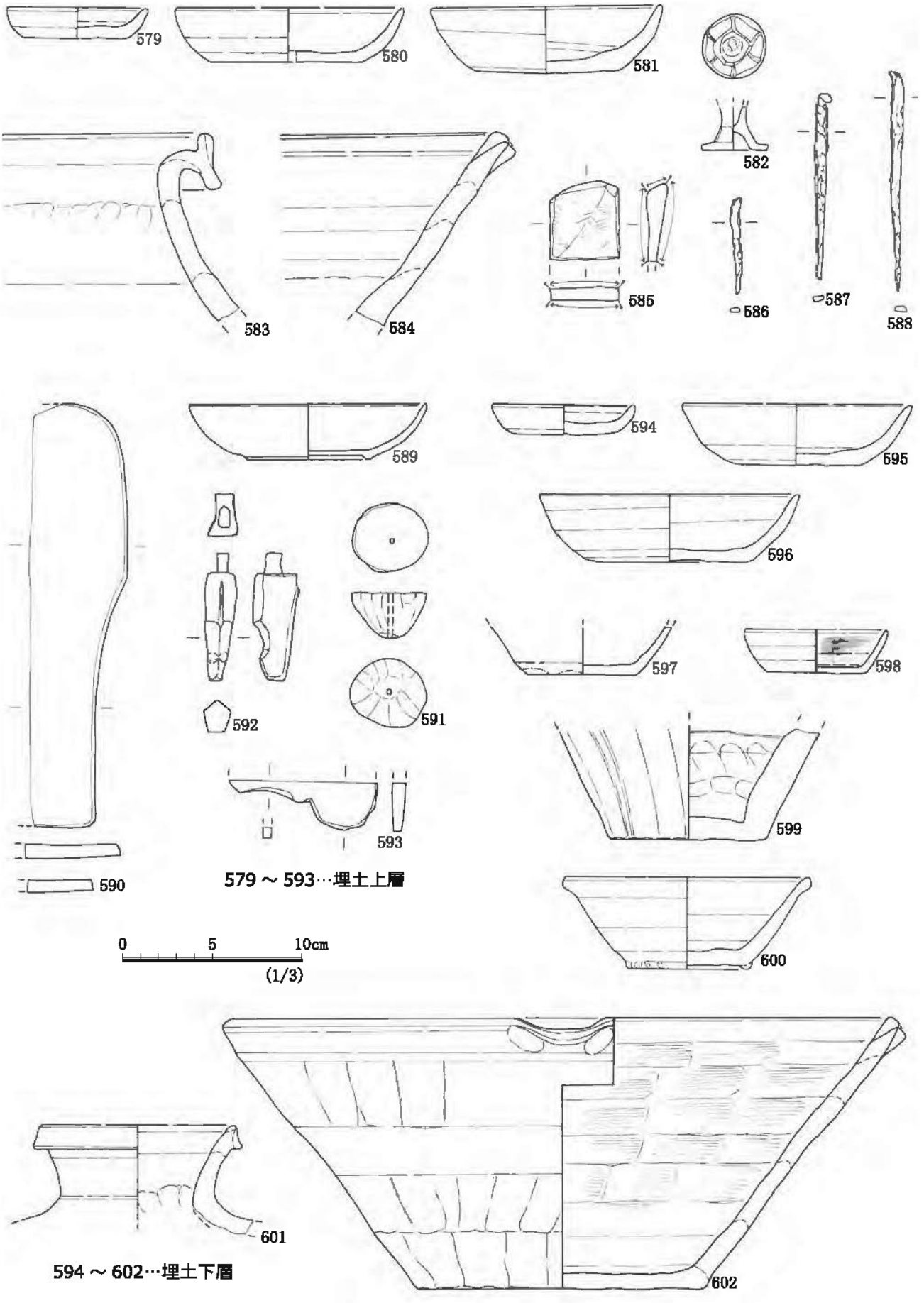


図46　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物11出土遺物（1）

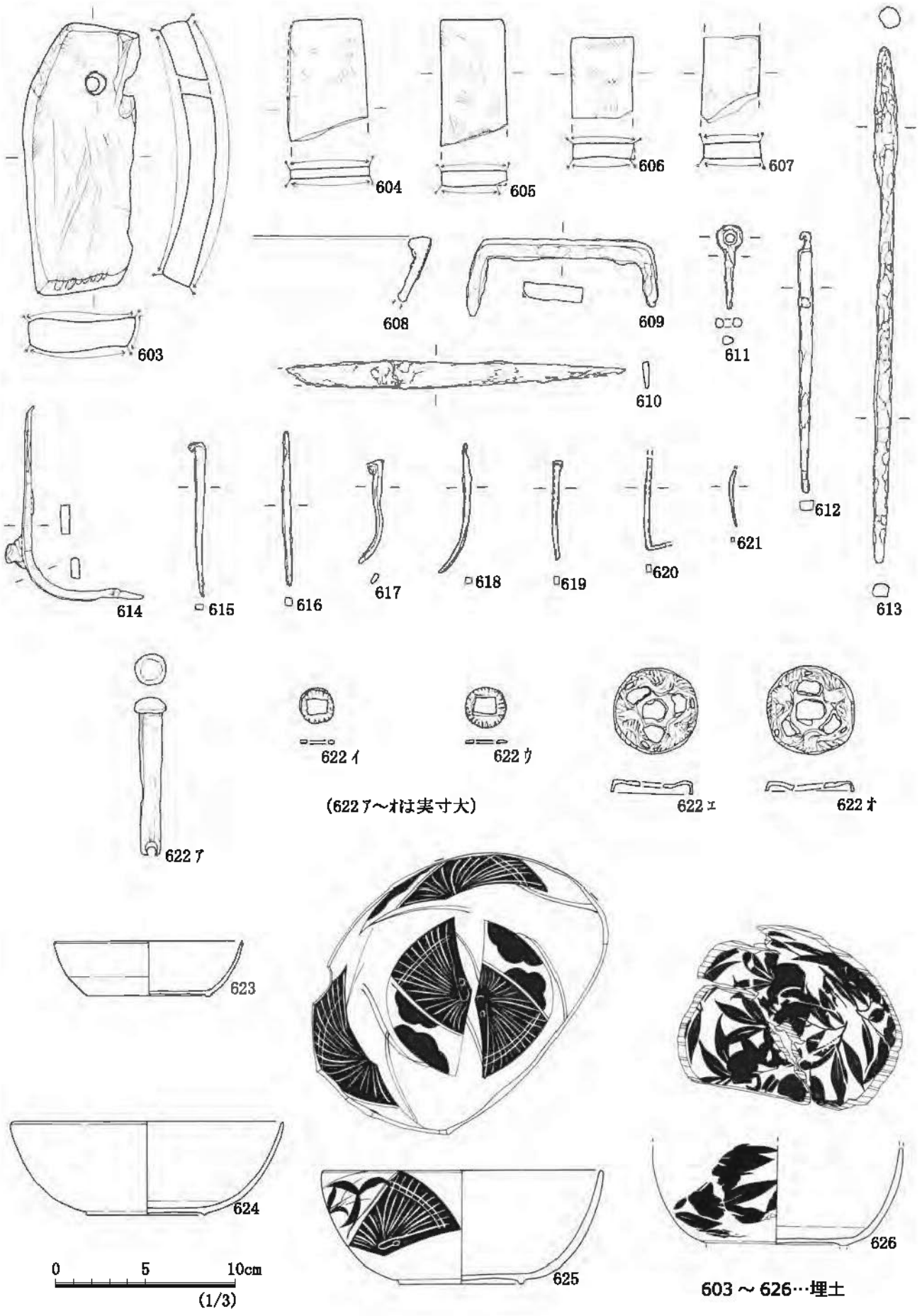
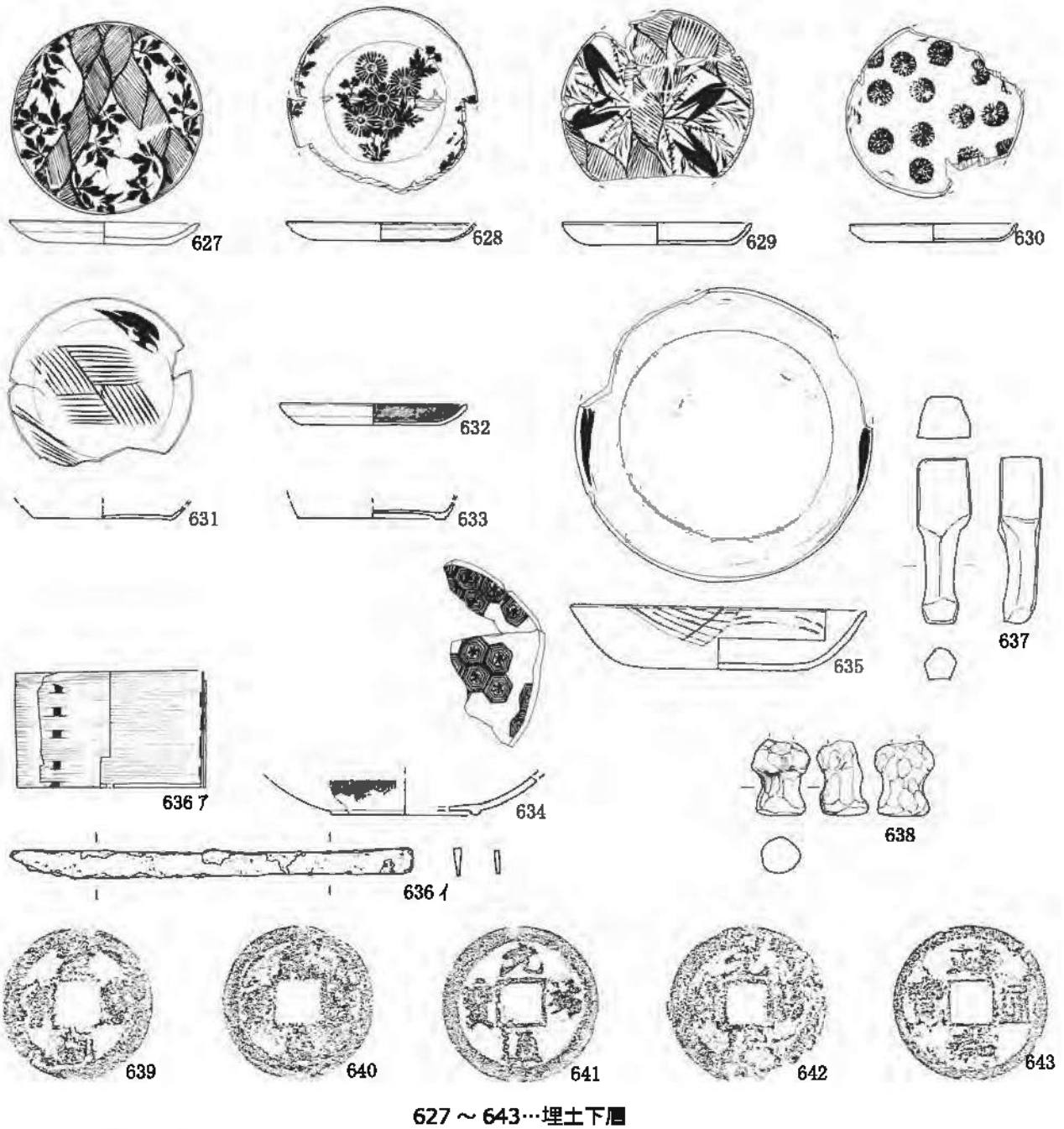


図47　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物11出土遺物（2）



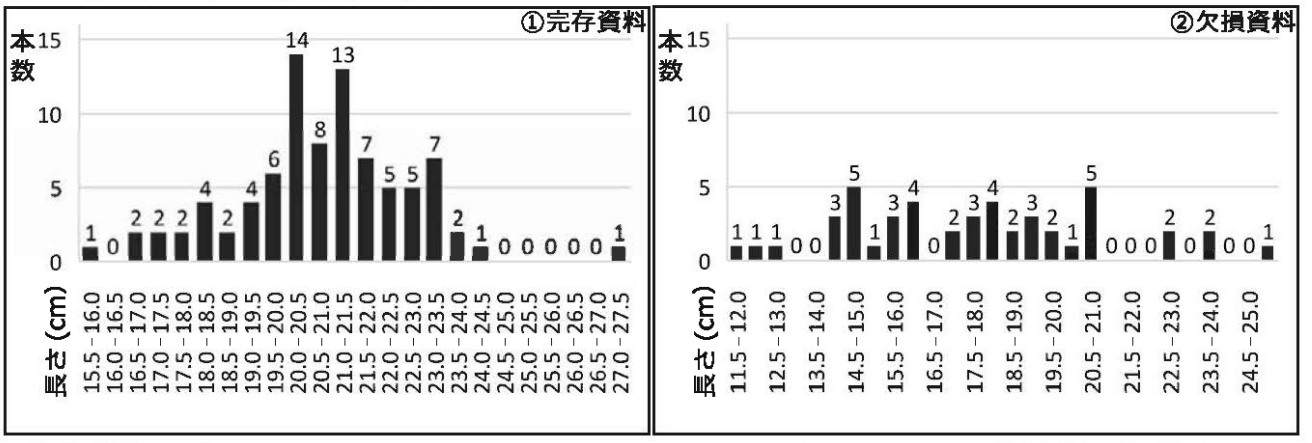
627～643…埋土下層

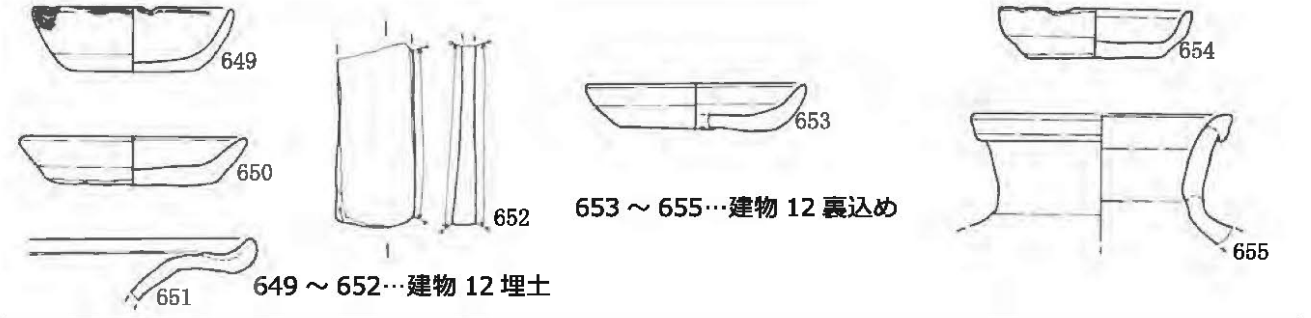
644～648…裏込め

0 5 10cm
(1/3)

図48　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物11出土遺物（3）

表４　建物 11　出土箸の法量（長さ）分布





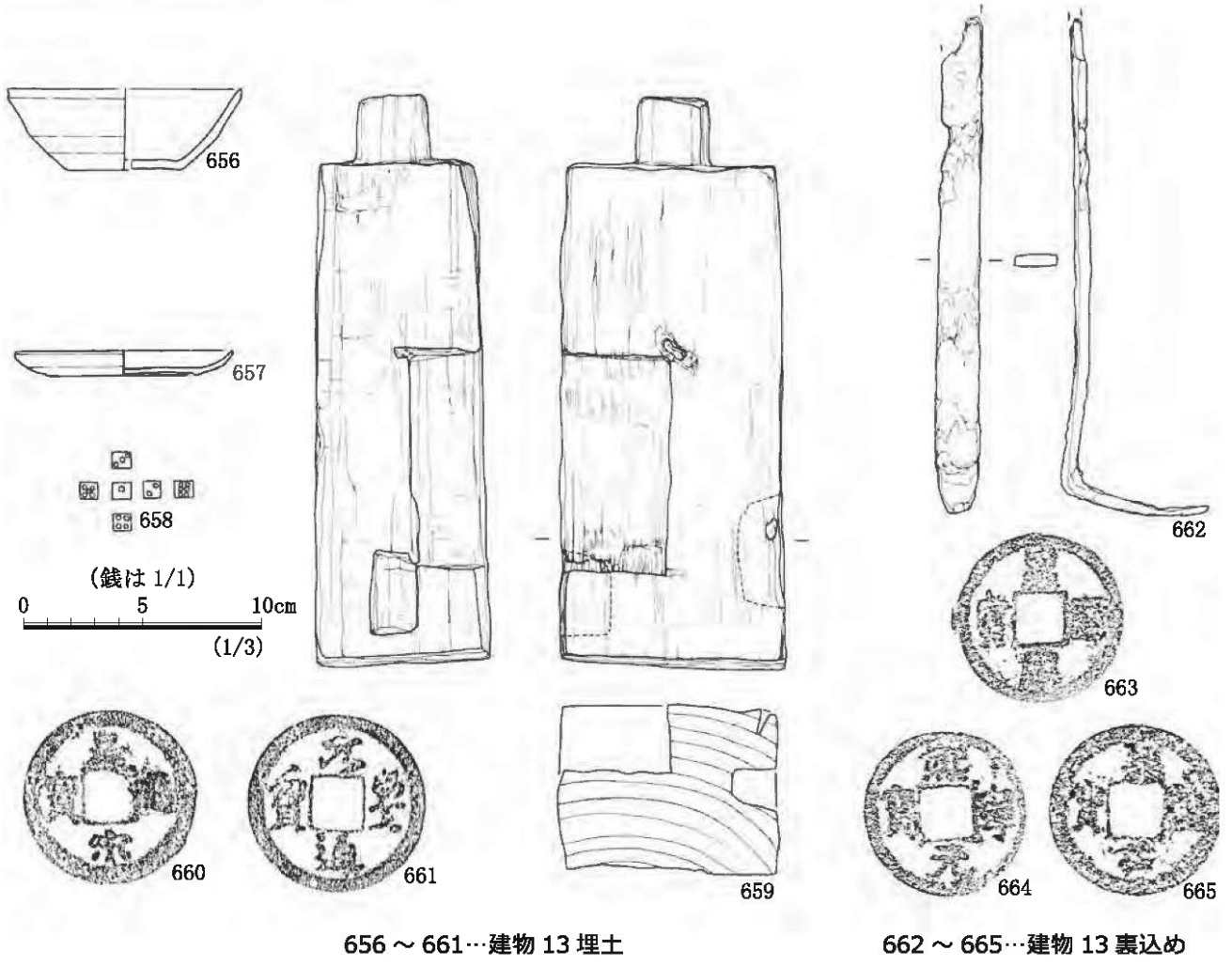


図 49　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 12･13 出土遺物

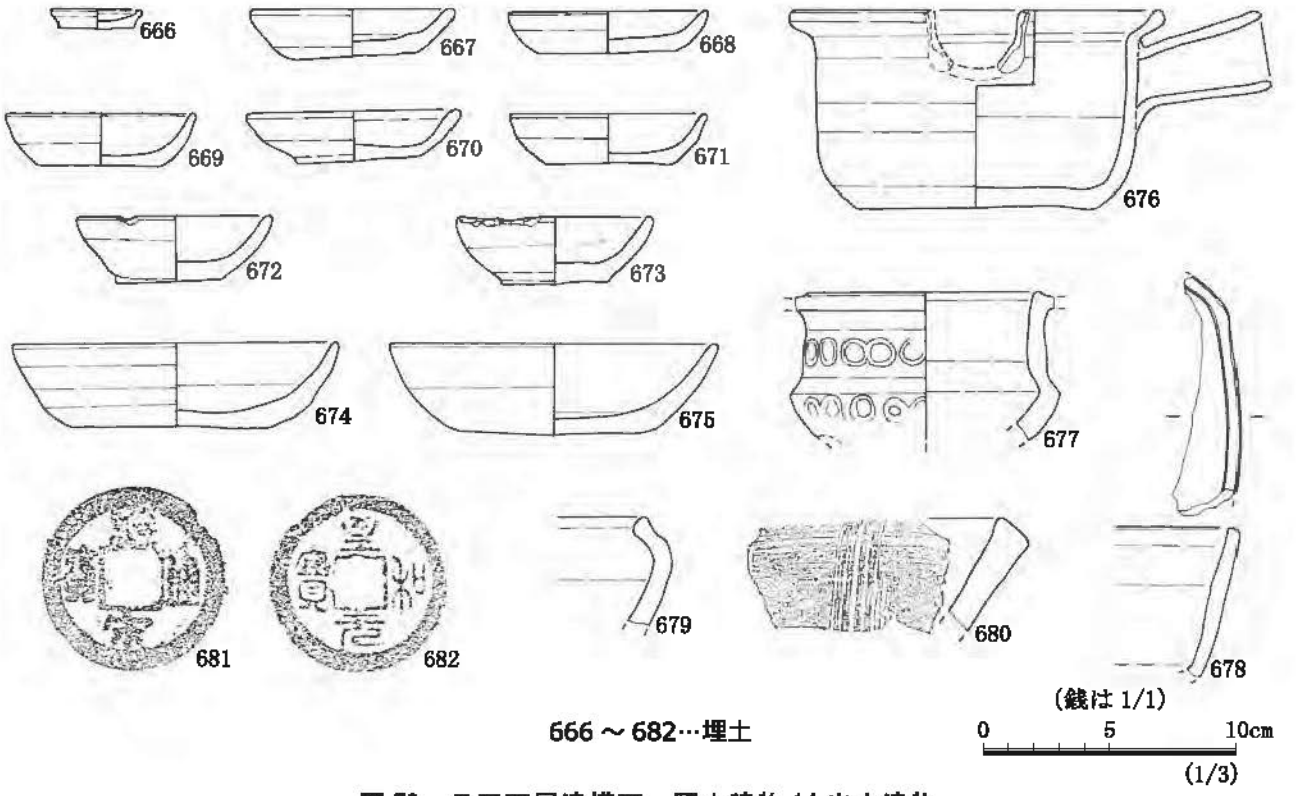


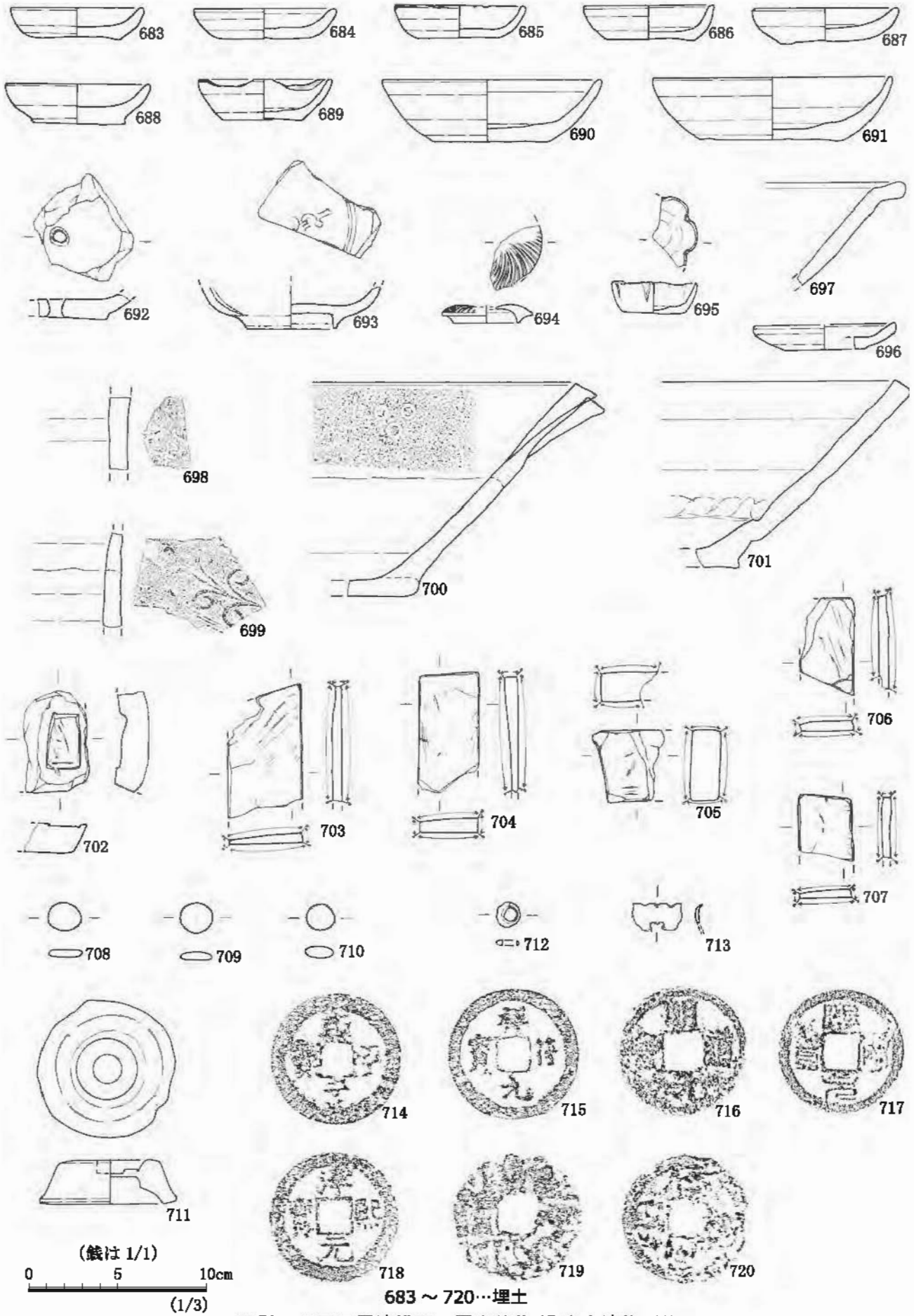
図 50　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 14 出土遺物

建物 11 の出土遺物（図 46 ～ 48）

出土層位ごとに区別して掲載したが、埋土下層からの出土分は、図 46-594 ～ 601 と図 48-627 ～ 643 とに分けて提示してしまっている。622 の金銅装目釘は 5 点の部品からなり、両端の釘隠し（エ・オ）に 3 羽の鶴？をあしらった優品である。アの目釘本体は、幅 4㎜ ×厚さ 3㎜ の矩形断面を呈する。本遺構では漆器や木製品も多く出土したが、後者については整理作業の着手前、乾燥のため収縮してしまった資料が多い。このため箸も本来の長さを保ってはいないが、表 4 に 5㎜ 刻みの計測値分布を示した。636 ア・イは同じ取り上げ袋に入れられていたが、出土位置が同じであったかは確実な記録がないため不明である。

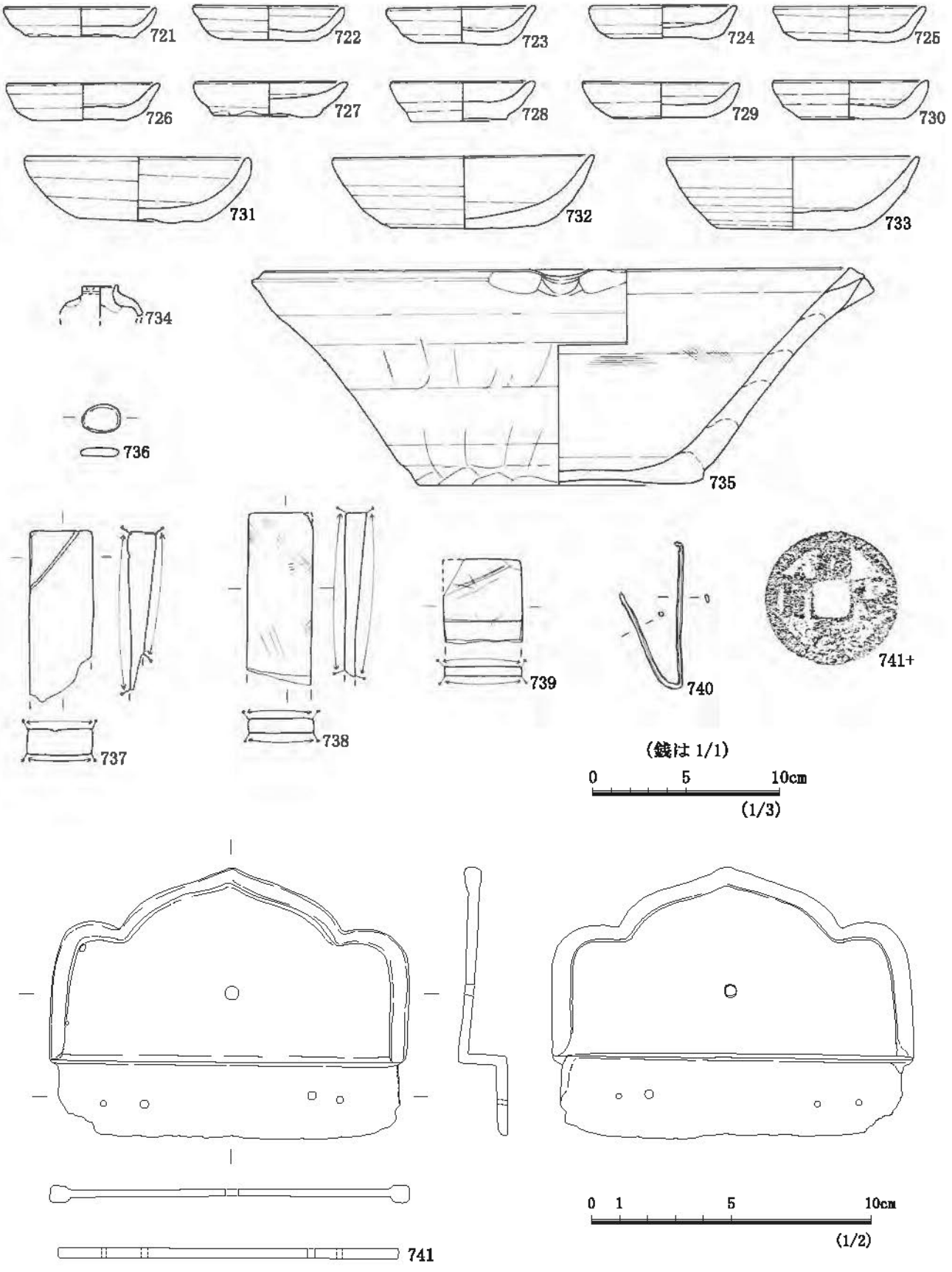
建物 14 の出土遺物（図 50）

ロクロかわらけの小皿には丸みを帯びて低平なもの（667・668）と小ぶりの底部から内湾気味に立ち上がる深身タイプ（672・673）の 2 種が見られ、後者の方が新相を呈していると思われる。676 の瀬戸窯柄付片口は、中期様式前半の製品であろう。



683～720…埋土

図 51　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 15 出土遺物（1）



721 ～ 741+…床面上

図 52　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 15 出土遺物（2）

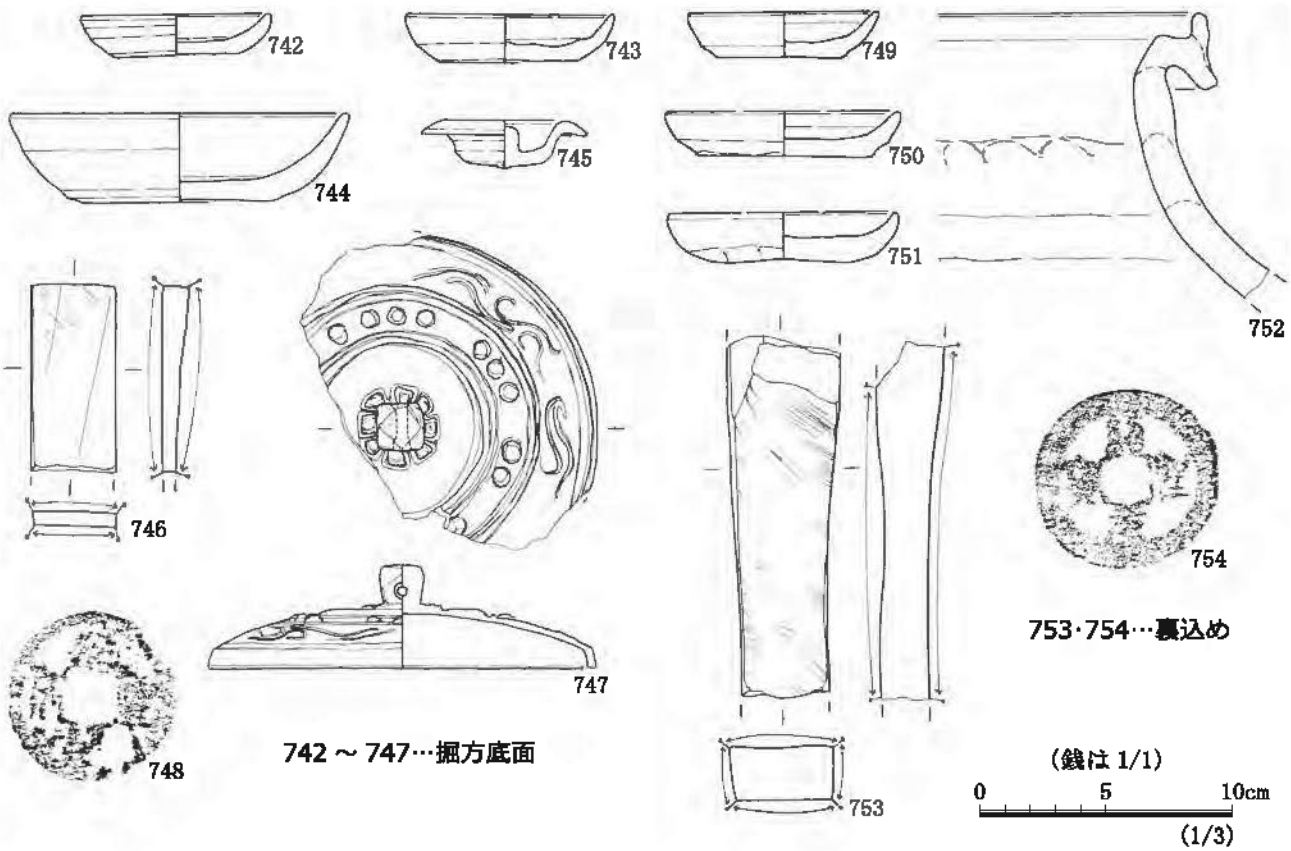
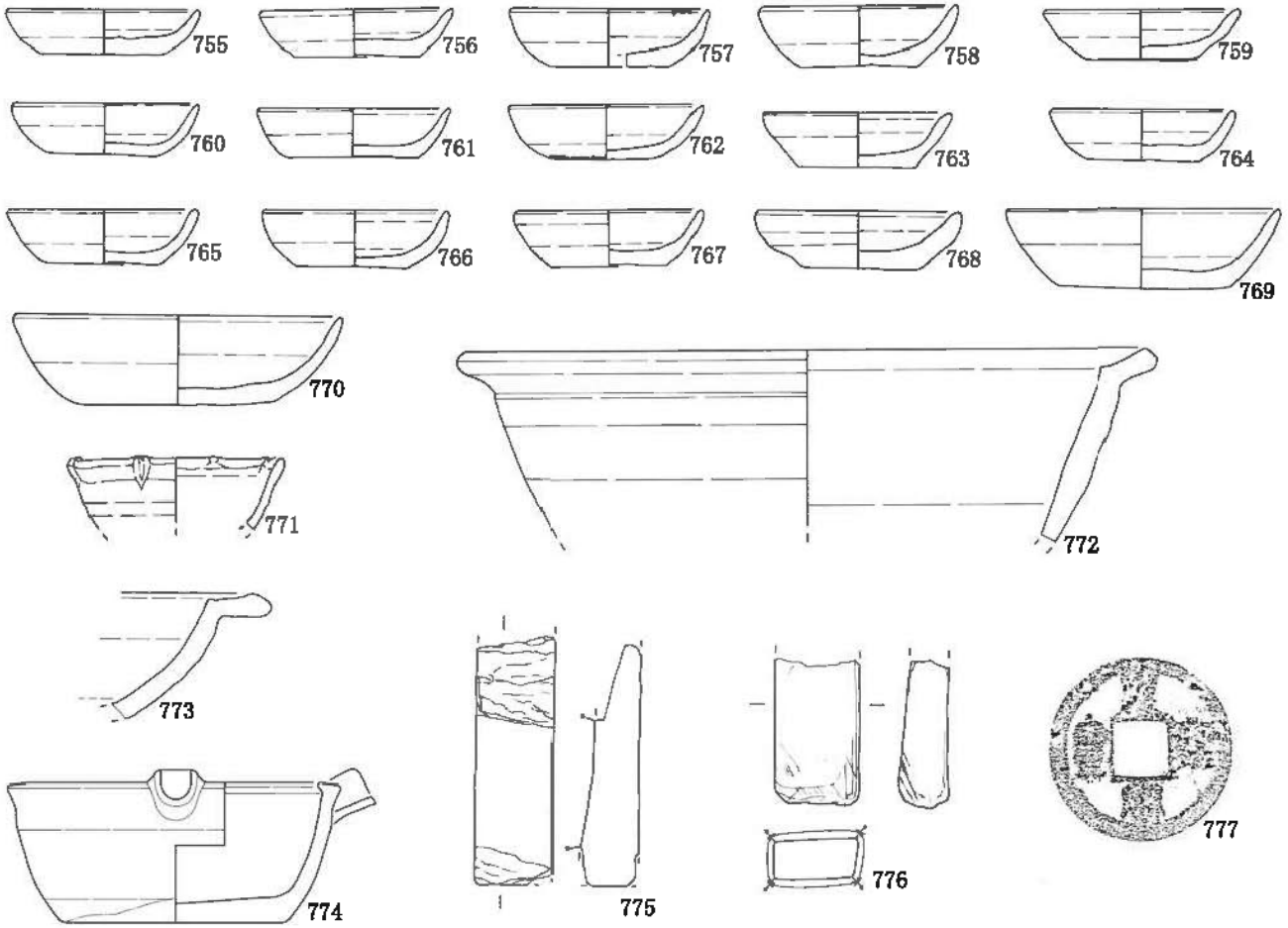


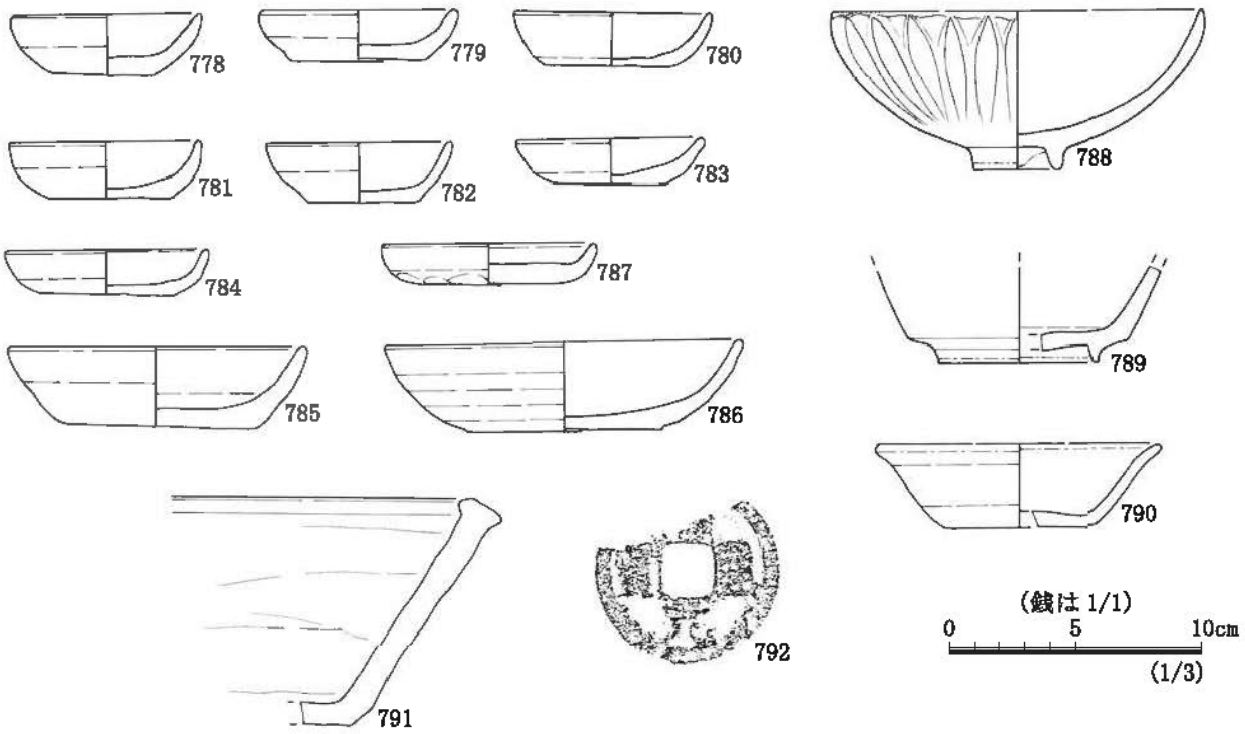
図 53　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 15 出土遺物（3）

建物 15 の出土遺物（図 51 ～ 53）

「床面上」出土としたものについて、正確には床板は遺存していなかったため、土台材の据え方と同一面と理解されたい。かわらけはロクロ成形品が大多数を占め、床面上出土の小皿は丸みを帯びた低平な資料（721 ～ 730）が、大皿はやや深身を呈する資料が主体となる（731 ～ 733）。床面上では他に大鎧の部品である鉄製の栴檀板が出土し、鎌倉では唯一の事例となっている（741）。既に保存処理が施されており、その経緯や資料の属性については『かまくら考古』第 5 号で詳しく説明されている（福田 2010）。鎌倉時代初期の意匠を呈しているというが、かわらけを主体とする他の出土品は鎌倉後期の様相を示しているので、伝世品と理解すべきであろう。

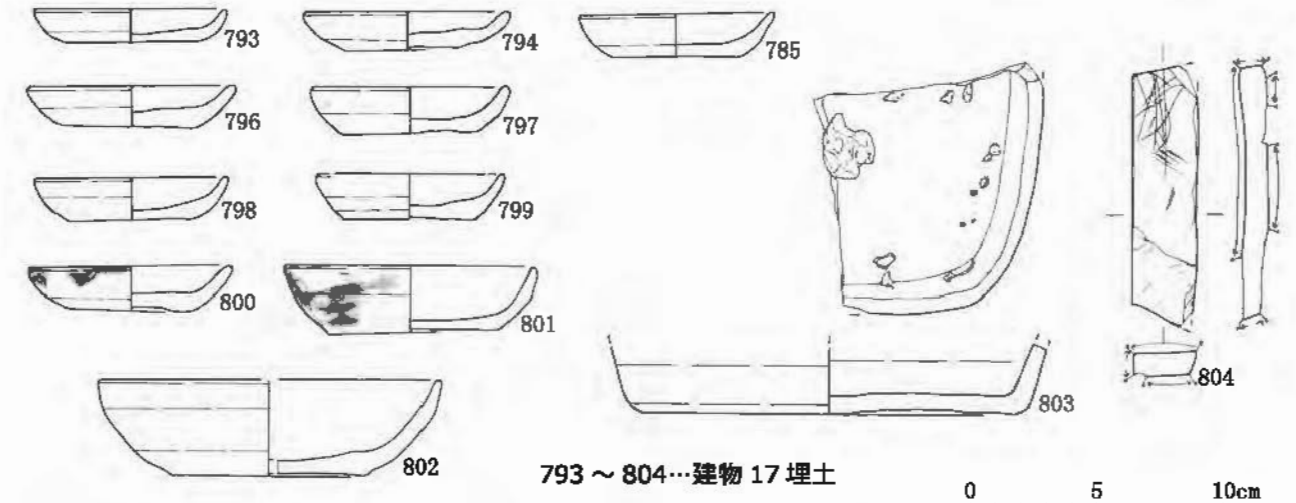


755 ～ 777…埋土

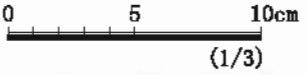


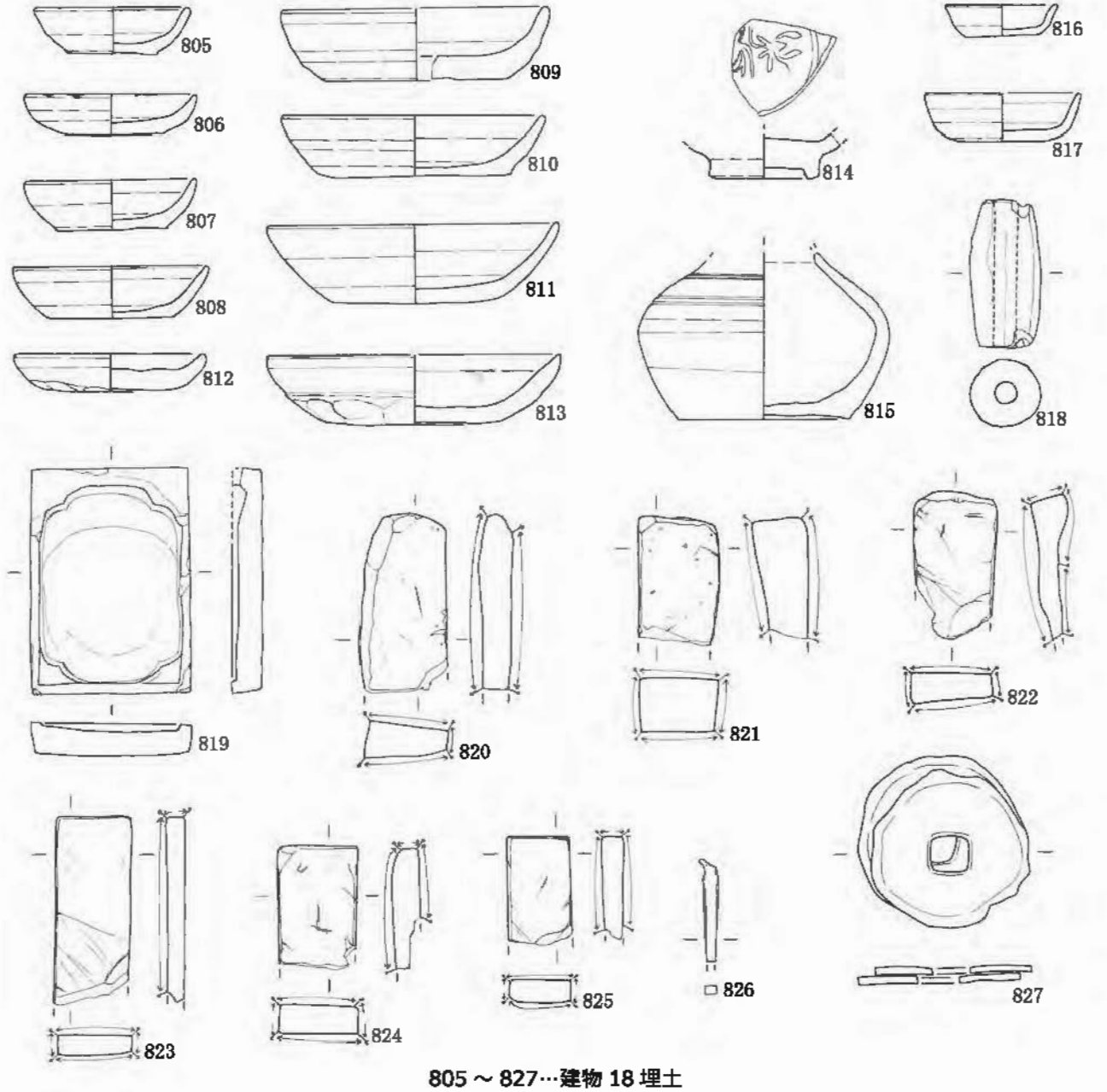
778 ～ 792…裏込め

図 54　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 16 出土遺物



793 ～ 804…建物 17 埋土





805 ～ 827…建物 18 埋土

図 55　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 17･18 出土遺物

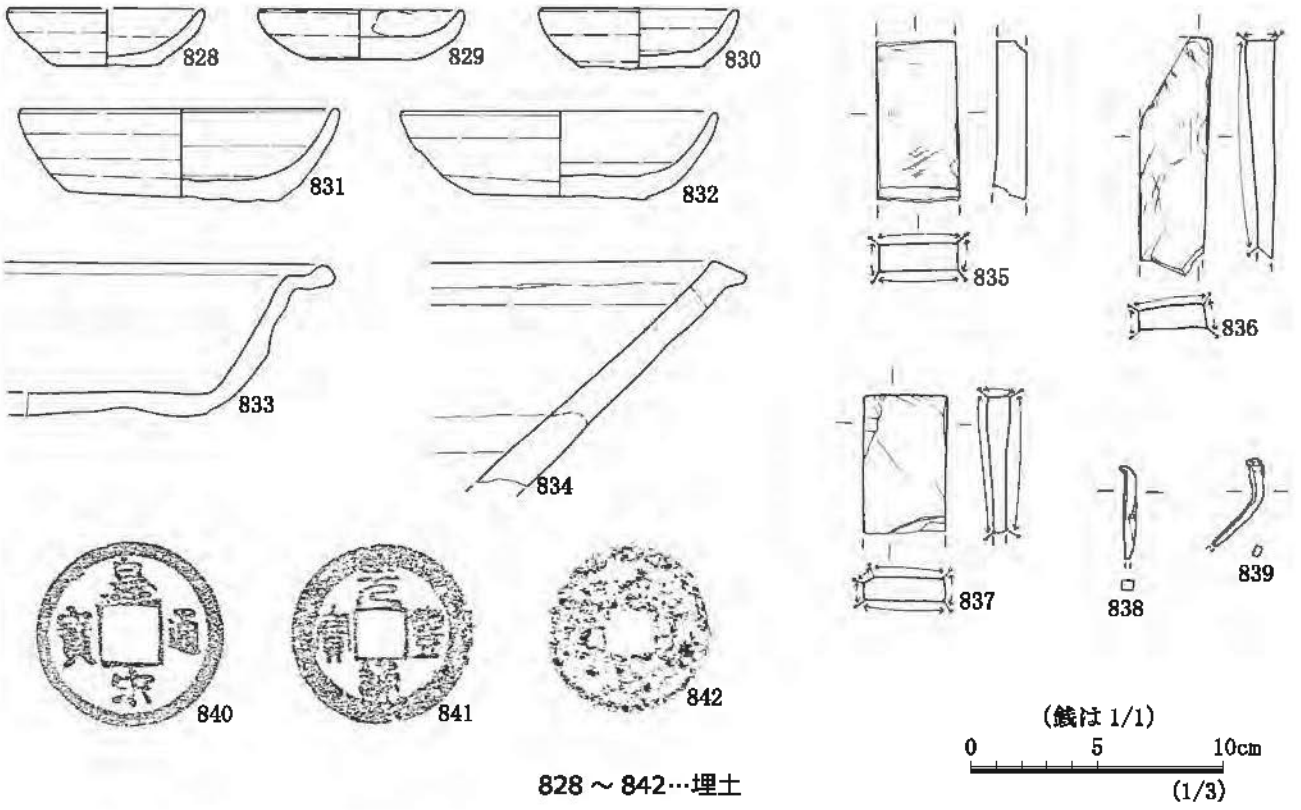


図 56　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 19 出土遺物

建物 16 の出土遺物（図 54）

ロクロかわらけは小皿を多く図示でき、埋土出土の資料は薄手で内湾・深身となる個体が目立つ（760・762 など）。先述した建物 14 出土の深身小皿（図 50-672・673）より丸みが強く、一段階古い様相として捉えられようか。遺構間の切り合い関係とは矛盾しない。

建物 17 の出土遺物（図 55）

ロクロかわらけの小皿を多く図示でき（793 ～ 800）、内湾しつつ低平な器形が主体となっている。803 は常滑窯の盤で、上面観が隅丸方形状を呈すると見られる。

建物 18 の出土遺物（図 55）

ロクロかわらけ（805 ～ 811）は大・小とも丸みを帯び、やや深身となる資料が主体となる。手づくねかわらけ（812・813）も図示できたが、かわらけ全体の中での構成比率は少ない。

建物 19 の出土遺物（図 56）

ロクロかわらけ（828 ～ 832）は丸みを持ち、深身の資料が目立つ。

建物 20 の出土遺物（図 57）

埋土出土のロクロかわらけのうち、小皿（843 ～ 847）は丸みを持ち低平な器形の資料が主体となる。大皿（848 ～ 850）は、やや深身の器形を呈する。

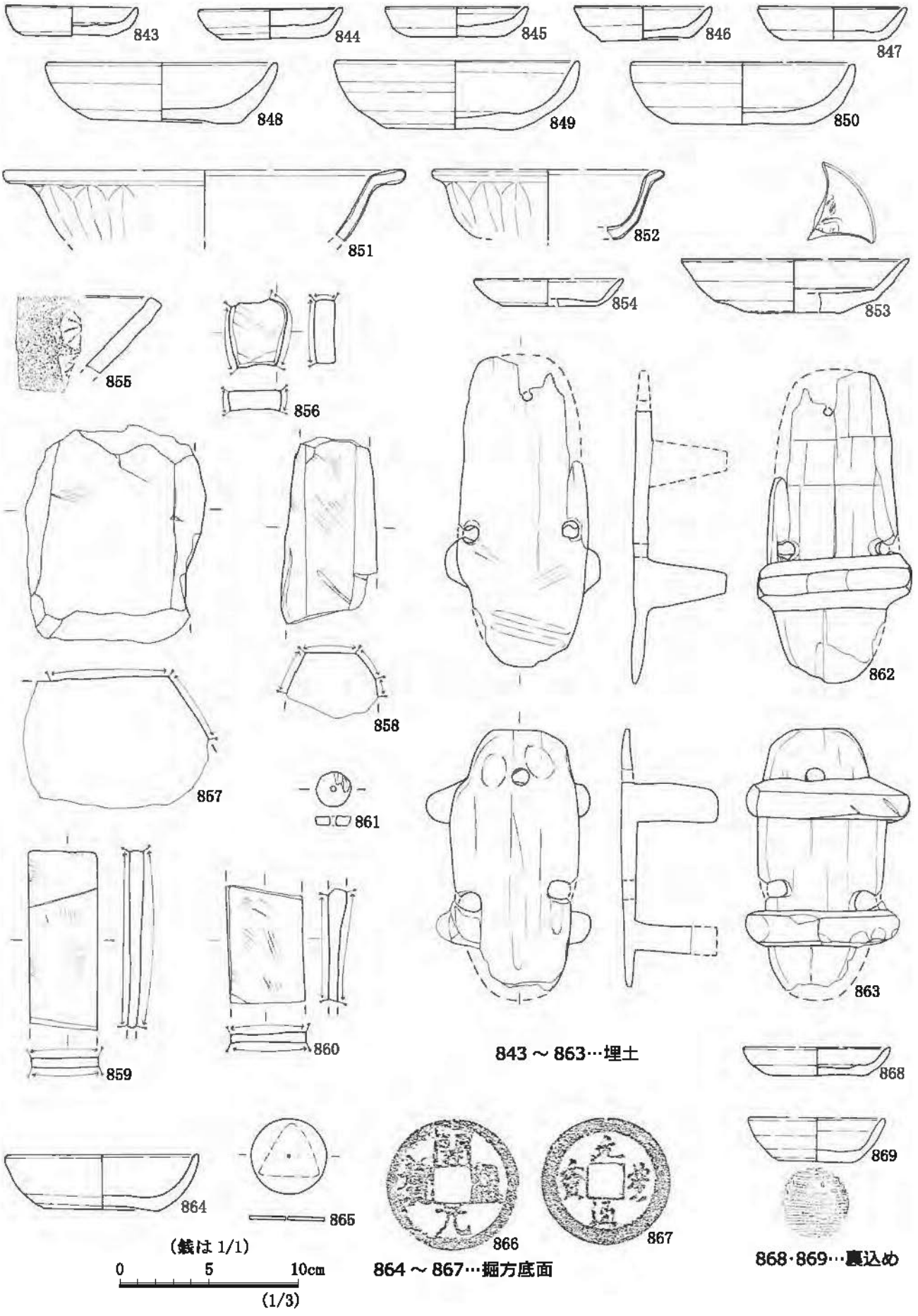


図 57　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 20 出土遺物

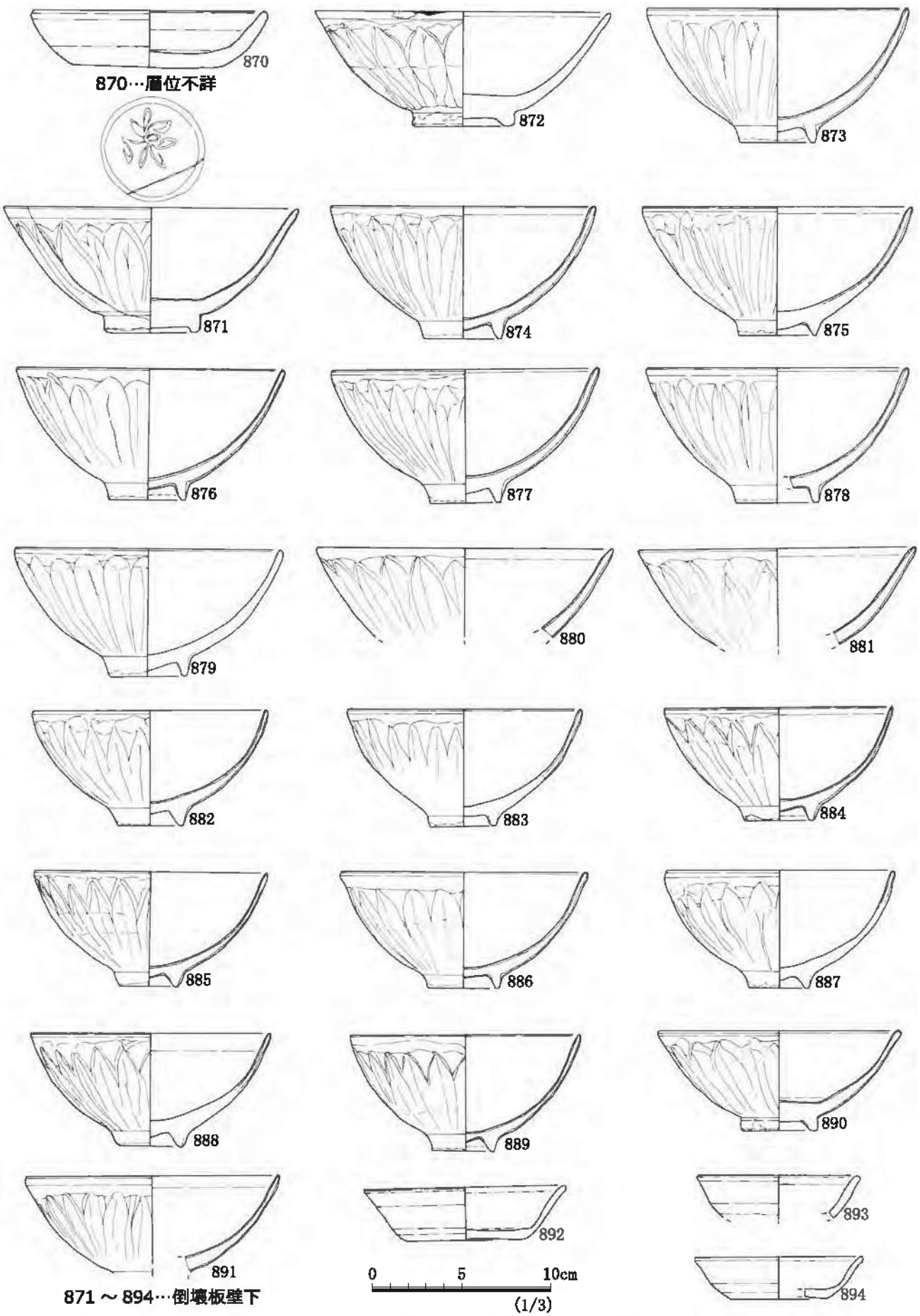


図 58　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 21 出土遺物（1）

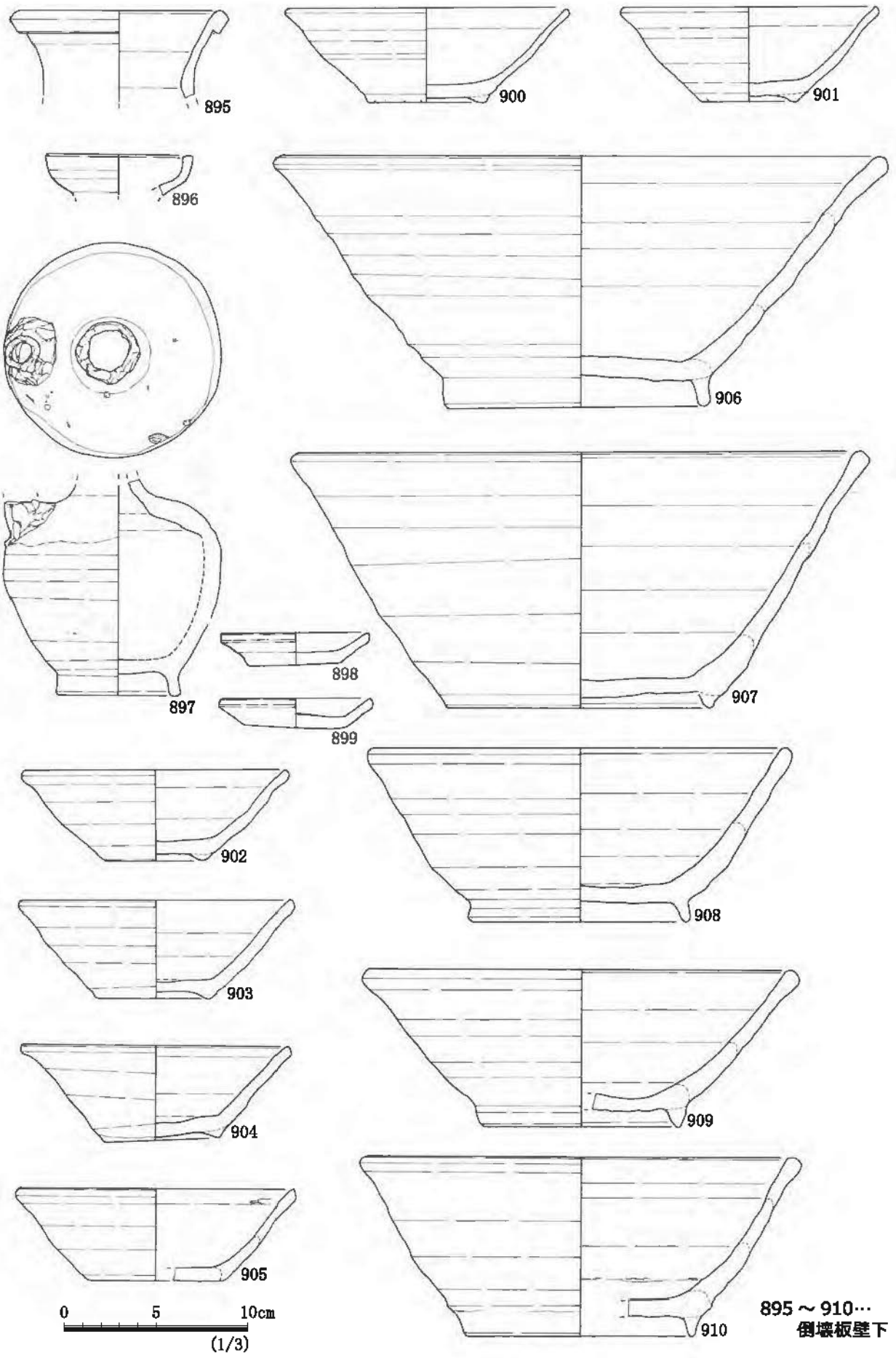


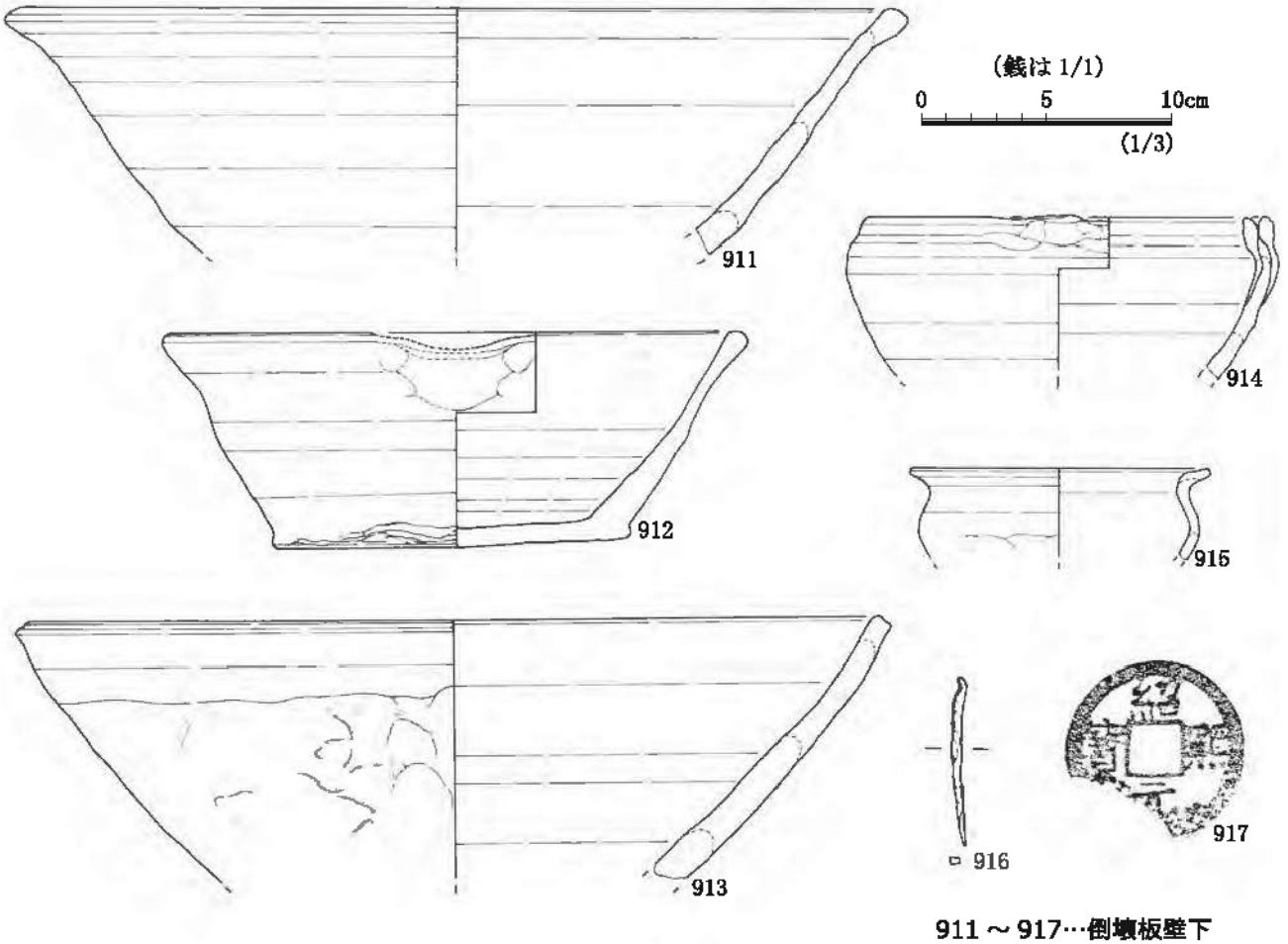
図 59　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 21 出土遺物（2）

建物 21 の出土遺物（図 58 ～ 61）

壁板下で出土した青磁碗は全て龍泉窯系の蓮弁文碗で、Ⅲ類が大多数を占め（14 点を図示）、Ⅱ類は僅少であった（871・872・890 の 3 点を図示）。871 は破損したものを漆で接着、修復している。欠損部位のない資料はこの 1 点のみで、他はほぼ完形品でもどこかしらの部位を欠いている。いずれの個体も内外面とも釉の光沢が鮮やかで、鎌倉の出土品に通常ある微細な傷も見て取れず、未使用品という印象を受ける。こうした青磁碗の一括廃棄事例は、今のところ鎌倉では唯一の例となっている。本遺構では、尾張型の山茶碗・山皿や同系統の片口鉢Ⅰ類も、完形やそれに近い資料が一定量出土している。これらも青磁碗と同様に使用感が殆どなく、内面はざらついた感触が残る。以上の資料群については『貿易陶磁研究 No. 28』で資料紹介がなされ、竪穴建物の廃絶に際し破損などで商品価値を失った製品が一括廃棄されたものと推測され、尾張型 7 型式の存在などから 13 世紀中頃の遺物組成という認識が示されている（原 2008）。

これら壁板下出土資料の組成にはかわらけが含まれず、他の陶磁器類と異なり本建物では収蔵・保管の対象となっていなかったことが推察できる。竪穴建物の出土遺物は概して埋土中からの出土が大部分を占め、廃棄時の埋め立てに伴って流入したケースが主体である。建物使用時の遺物としては床下の埋甕といった埋納物が散見されるものの、本例のような床上～壁下での一括廃棄例は極めて珍しく、竪穴建物の具体的な使用状況を考える上で参考となる発見となった。

本建物の構築年代については、壁板裏込め土からも龍泉窯系青磁の碗・坏Ⅲ類が出土しているので、廃絶年代をさほど遡らず、13 世紀中頃以降に位置付けることができよう。



911 ～ 917…倒壊板壁下

図 60　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 21 出土遺物（3）

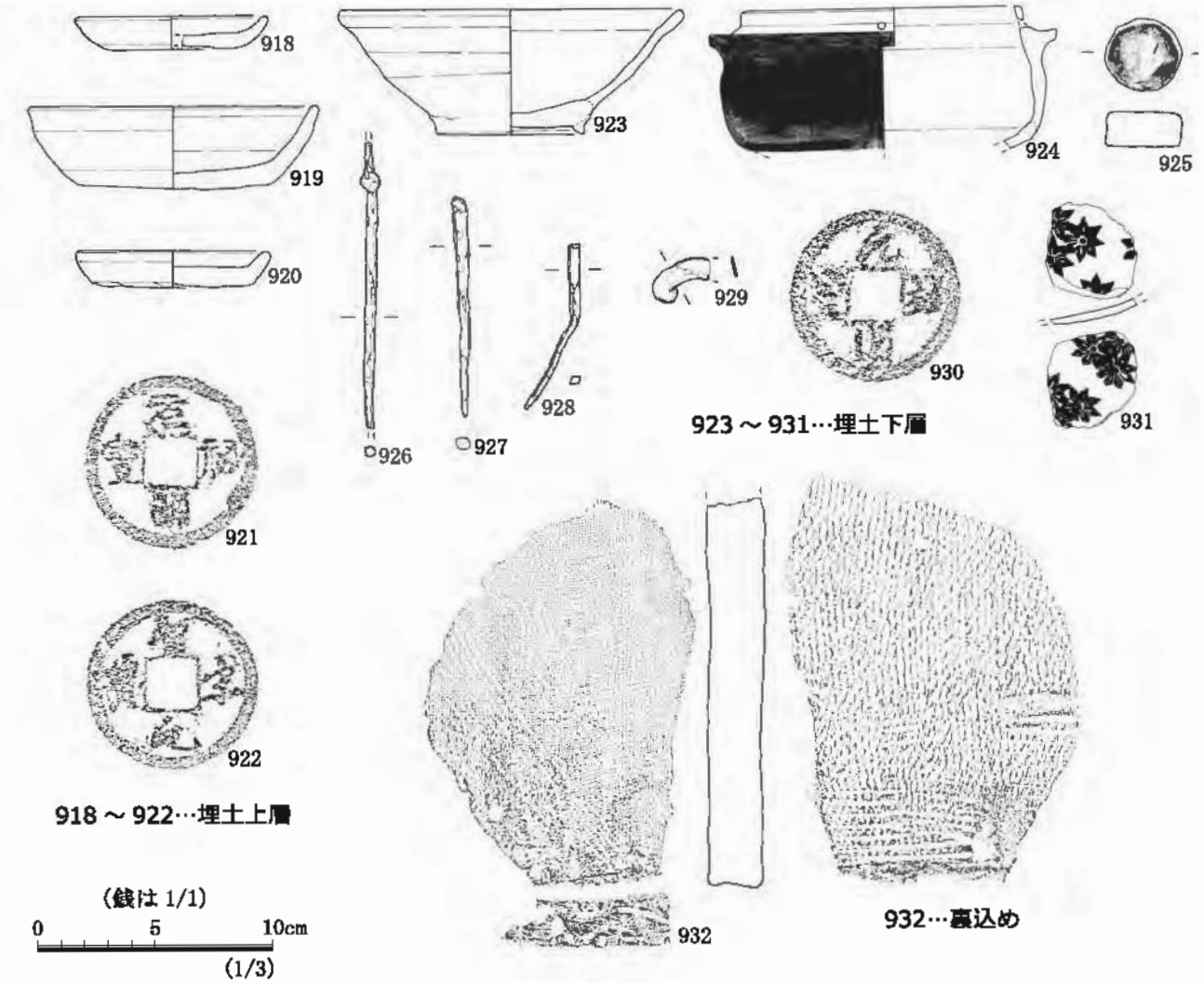


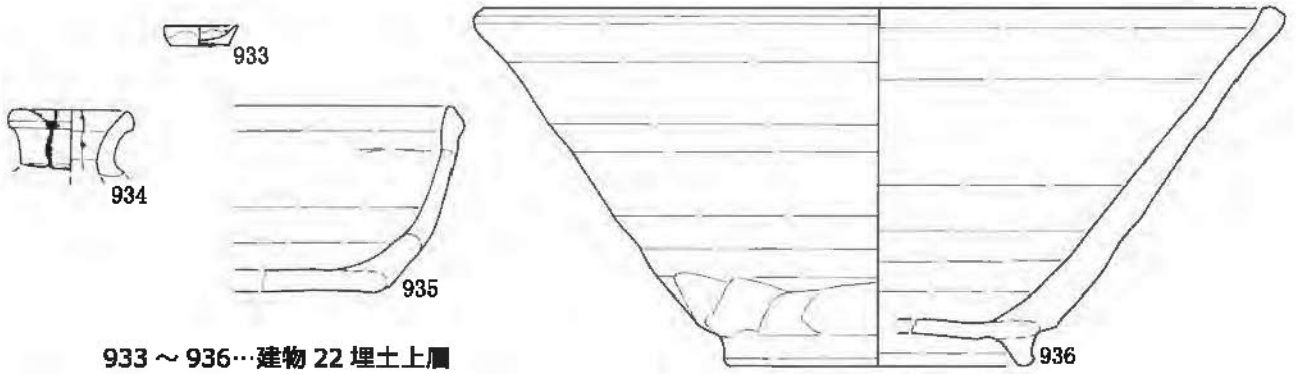
図 61　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 21 出土遺物（4）

建物 23 の出土遺物（図 62）

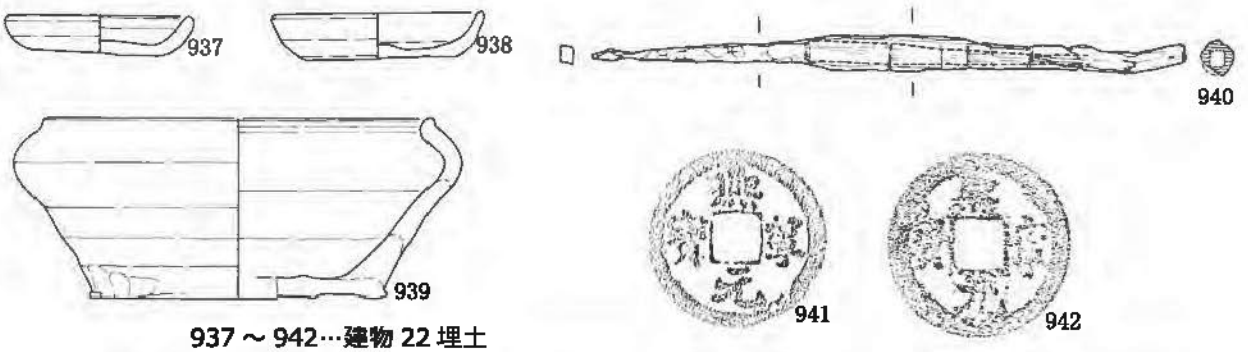
945 は在地土器の盤で、体下部の外面に弱いミガキ調整が施されている。用途は明確でない。

建物 24 の出土遺物（図 62）

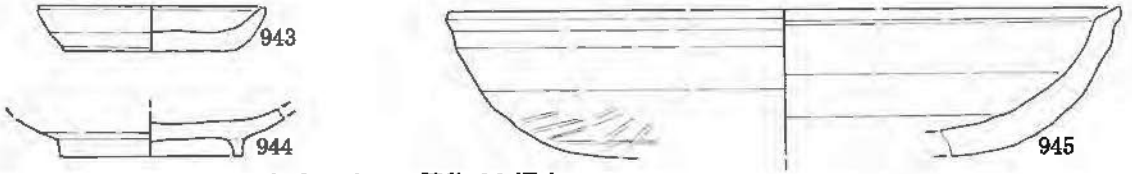
946 は縄文土器で、深鉢の破片か。かわらけには図化できる資料がなかったが、出土量ではロクロ成形品と手づくねでと大きな差は見られなかった。



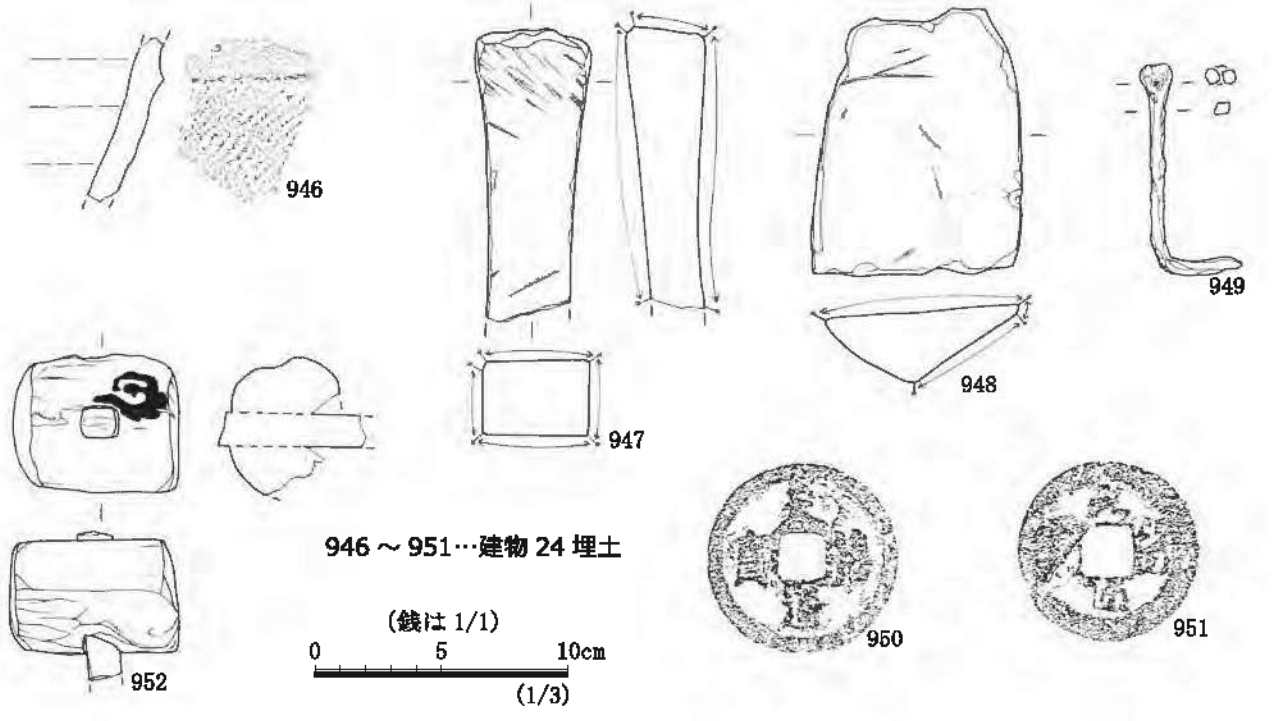
933～936…建物 22 埋土上層



937～942…建物 22 埋土

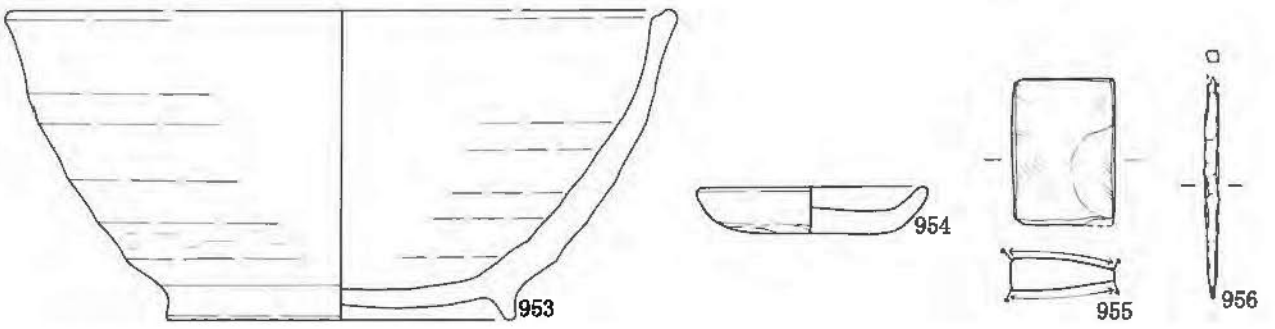


943～945…建物 23 埋土



946～951…建物 24 埋土

図 62　Ⅱ区下層遺構面　竪穴建物 22･23･24 出土遺物



953…埋土　　954～956…裏込め

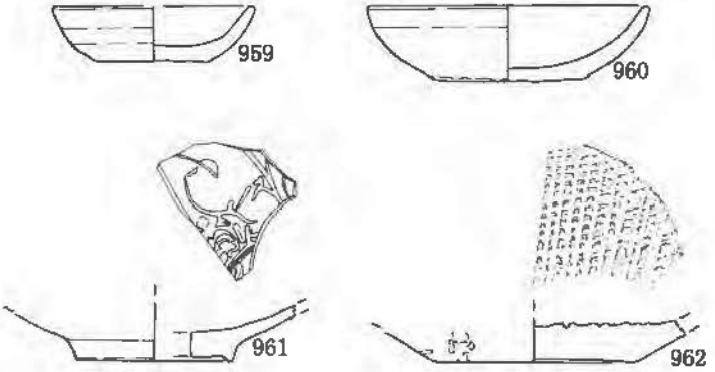
図 63　Ⅱ区下層遺構面　井戸 4 出土遺物

井戸 4 の出土遺物（図 63・図 65-983）

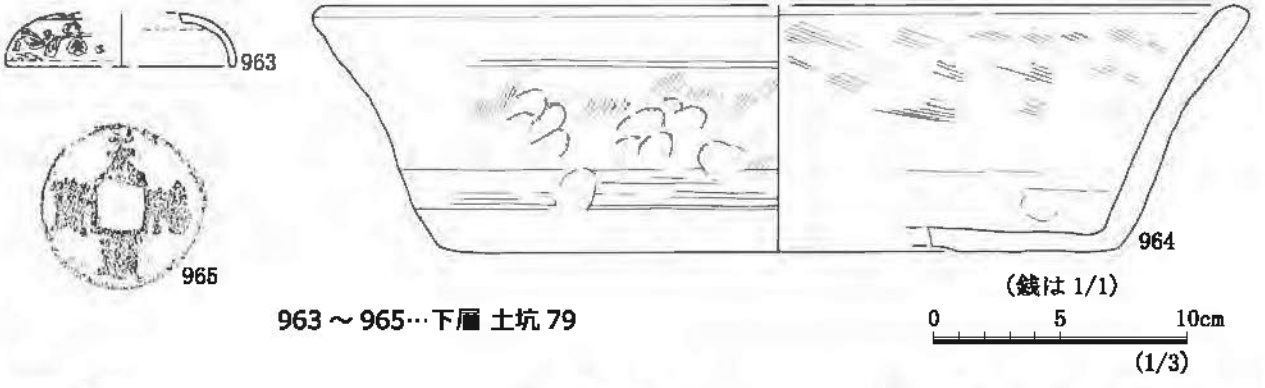
かわらけで図化できたのは 954 の手づくね小皿 1 点のみだが、出土数を見ると埋土・裏込め出土資料ともにロクロ成形品が大多数を占めている。この点、竪穴建物群に先行する遺構であっても先述の溝 1 とは遺物様相が異なり、井戸 4 の方が新相を示している。井戸としての使用・開放期間の長さを相対的に表しているのかもしれない。図 65-983 は整理時の過誤により、溝 1 と同じ挿図に配置してしまった。



957·958…下層 土坑 77



959～962…下層 土坑 78



963～965…下層 土坑 79



966…下層 土坑 82　　967·968…下層 土坑 84　　969·970…上層 溝状遺構東側

図 64　Ⅱ区上層・下層遺構面　土坑・遺構外出土遺物

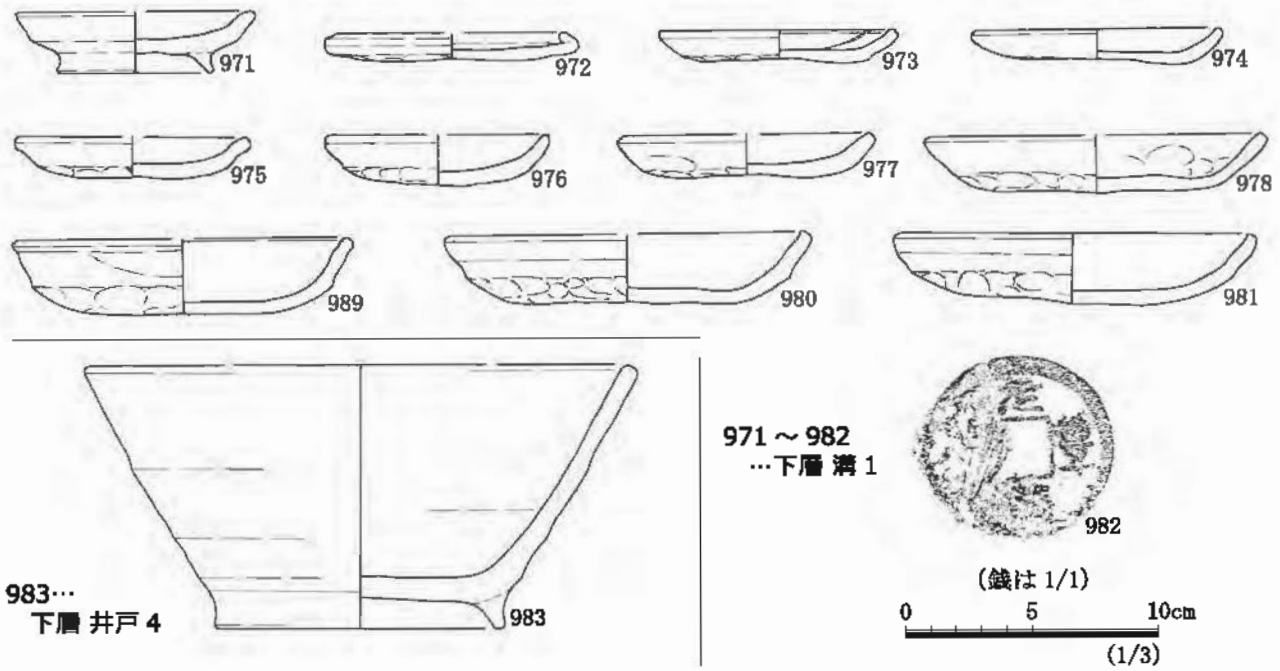


図 65　Ⅰ区下層遺構面　溝 1・井戸 4 出土遺物

溝 1 の出土遺物（図 65）

かわらけは手づくね成形品が出土数全体の大多数を占め、図示できた資料も、971 の高台付き小皿を除き全て手づくねとなった（971 ～ 981）。大・小ともに器壁が薄く扁平な資料が目立ち、手づくねでも比較的古相の一群として評価できる。971 はロクロ成形と思われ、体下部の外面は回転成形だが、高台貼り付け時の調整のためか、外底面の回転糸切り痕は残っていなかった。983 は、井戸 4 に帰属する。

引用文献

福田　誠　2010「出土遺物の保存「梅檀板」」『かまくら考古　第 5 号』
特定非営利活動法人鎌倉考古学研究所

原　廣志　2008「若宮大路周辺遺跡群竪穴建物出土の陶磁器」『貿易陶磁研究 No. 28』
日本貿易陶磁研究会

表５　出土遺物カウント・計量表

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅰ区　表土				
ロクロかわらけ	小		3	89
	大		5	223
白磁	蓋？		1	7
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	4
		ⅡorⅢ	1	4
瀬戸	折縁深皿		6	269
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	169
		Ⅱ	1	55
	甕		11	930
Ⅱ区　表土				
手づくねかわらけ	小		1	5
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	3
瀬戸	瓶類		1	6
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	75
		Ⅱ	1	78
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	2	163

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区　試掘坑				
尾張型	山皿		1	52
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	12
	片口鉢	Ⅱ	1	89
	甕		10	715
渥美	甕		3	85
瓦質土器	火鉢		1	11
銅製品	銭		1	4
自然遺物	アカニシ		1	—
自然遺物	獣骨		5	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅰ区　上層遺構面上遺物包含層				
ロクロかわらけ	小		46	705
	大		150	2375
手づくねかわらけ	小		6	110
	大		6	92
かわらけ	小片		10	43
白かわらけ	手づくね		1	4
			3	13
土器	鍔付鍋		5	35
白磁	皿	Ⅸ	13	73
	碗皿		1	3
	蓋		1	6
白磁（新）			1	5
青白磁	梅瓶		3	14
	水注		1	18
	蓋		1	2
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	6	44
	碗	ⅡorⅢ	9	39
	碗	Ⅲ	3	43
	碗皿		12	45
	坏	Ⅲ	3	113
	小片		3	23
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	5
	褐釉壷		3	51
瀬戸	入子		2	9
	緑釉小皿		1	28
	天目茶碗		2	22
	平碗		2	24
	碗		6	52
	洗？		1	101
	折縁皿		24	599
	卸皿		17	560
	柄付片口		4	138
	筒型香炉		1	54
	瓶子		1	11
	花瓶		1	74
	壷・瓶類		17	811
	蓋		1	1
	不明		2	15
尾張型	山茶碗		2	13
常滑	片口鉢	Ⅰ	59	1808
	片口鉢	Ⅱ	28	1999
	甕		219	11808
	壷		6	176
	転用研磨具		2	113
渥美	甕		4	81
備前	すり鉢		3	345
東播系須恵器	片口鉢		1	34
	甕		1	12
不明陶器			3	27
瓦質土器	火鉢	A	8	560
	火鉢	B	5	560
	火鉢		38	1760
石製品	滑石片	西彼杵	4	155
	荒砥	笹口砂岩	1	825
	荒砥		1	1265
	中砥	伊予	1	196
	中砥		1	137
	中砥or荒砥		1	180
	仕上げ砥	鳴滝	1	4
	仕上げ砥		7	99
銅製品	銭		8	28
鉄製品	釘		33	380
	板状製品		8	179
骨製品	双六駒		1	3
建築部材等	漆喰		1	10

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獣骨		26	—
Ⅱ区　上層遺構面上遺物包含層				
ロクロかわらけ	小		128	*1708*
	中		1	*53*
	大		526	*7162*
手づくねかわらけ	小		2	*30*
	大		6	*121*
かわらけ	転用円盤		1	*7*
	小片		40	*136*
白かわらけ	手づくね		1	*5*
土器	南伊勢系鍋		3	*67*
	鍔付鍋		7	*72*
	鉢		1	*40*
白磁	皿	Ⅸ	18	*82*
	皿		1	*3*
	碗	Ⅸ	2	*38*
	碗		1	*16*
	壺類		1	*18*
青白磁	梅瓶		5	*194*
	合子蓋		3	*14*
	合子身		2	*10*
	皿		3	*3*
同安窯系青磁	碗		1	*11*
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	7	*203*
	碗	ⅠorⅡ	1	*18*
	碗	Ⅱ	1	*45*
	碗	ⅡorⅢ	23	*187*
	碗	Ⅲ	3	*47*
	碗皿		10	*33*
	坏	Ⅲ	6	*22*
	酒会壺蓋		1	*10*
舶載施釉陶器	褐釉壺		3	*193*
瀬戸	縁釉小皿		1	*6*
	小皿		1	*16*
	平碗		2	*26*
	碗？		2	*141*
	卸皿		11	*152*
	折縁皿		21	*412*
	直縁大皿		1	*32*
	すり鉢		6	*214*
	皿盤		1	*31*
	柄付片口		3	*60*
	花瓶		1	*123*
	壺類		11	*221*
	不明		3	*10*
瀬戸？	陶丸		1	*14*
尾張型	山茶碗		4	*32*
常滑	片口鉢	Ⅰ	75	*2756*
	片口鉢	Ⅱ	53	*3044*
	甕		462	*22051*
	壺		10	*443*
	転用研磨具		1	*52*
渥美	甕		12	*483*
備前	すり鉢		5	*349*
東播系須恵器	片口鉢		5	*140*
	甕		2	*45*
土製品	土錘		1	*17*
	不明		1	*28*
瓦質土器	香炉	Ⅳ	1	*6*
	香炉		2	*20*
	火鉢	Ⅲ	2	*292*
	火鉢	Ⅳ	4	*232*
	火鉢		40	*1991*
	風炉？		1	*25*

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瓦	軒丸	Ⅰ	1	*64*
	平瓦	A	1	*86*
	平瓦		1	*266*
	丸瓦	B	1	*184*
石製品	滑石製スタンプ		2	*156*
	滑石片	西彼杵	3	*105*
	硯	鳴滝	4	*361*
	硯		1	*20*
	硯石		3	*26*
	碁石？		1	*1*
	石臼		1	*720*
	非製品	伊那	1	*50*
	軽石		3	*77*
	仕上げ砥	鳴滝	7	*103*
	仕上げ砥	出羽	1	*65*
	仕上げ砥	備水	1	*27*
	仕上げ砥		9	*177*
	中砥	上野	1	*58*
	中砥	天草	1	*152*
	中砥	伊予	2	*168*
	中砥		3	*225*
石材	石英		1	*3*
	雲母片		1	*1*
銅製品	銭		10	*39*
鉄製品	釘		95	*647*
	板状製品		4	*53*
	鍋？		1	*66*
	鉄滓		2	*53*
	鉄片		3	*67*
漆器	塗膜		1	—
建築部材等	漆喰		3	*57*
骨製品	笄		1	—
自然遺物	アカニシ		1	—
	獣骨		11	—
	獣骨		27	—
	獣骨		2	—
	獣骨		6	—
	獣骨		5	—
	獣骨		36	—
	人骨		1	—
土師器	甕？		1	*13*
須恵器	転用硯		1	*130*
磁器（新）	不明		1	*3*
	壺？		1	*4*
瀬戸（新）	蓋		1	*16*
	蓋付		1	*5*
不明陶器	蓋		1	*36*
近世陶器			1	*4*
不明	不明		1	*27*

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅰ区　上層～下層遺物包含層				
手づくねかわらけ	大		5	59
ロクロかわらけ	小		14	171
	大		41	540
かわらけ	小片			6
土器	南伊勢系鍋		1	3
白磁	皿	Ⅸ	3	6
青白磁	梅瓶		2	18
青白磁	皿		2	9
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	4	29
	碗	ⅡorⅢ	3	20
	碗	Ⅳ	1	35
	皿		1	1
	坏	Ⅲ	1	3
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	9
瀬戸	入子		2	5
	折縁皿		1	46
	天目茶碗		1	36
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	Ⅰ	24	960
	片口鉢	Ⅱ	10	675
	甕		68	3515
	壺		9	153
渥美	甕		1	38
不明陶器			1	21
瓦質土器	火鉢	A	1	30
	火鉢	B	4	334
	火鉢		14	596
瓦	平瓦	D	1	69
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	4
鉄製品	釘		2	11
自然遺物	獣骨		23	
Ⅱ区　上層～下層遺物包含層				
手づくねかわらけ	小		1	6
ロクロかわらけ	極小内折れ		1	7
	小		102	1172
	大		518	5875
かわらけ	小片		259	878
白かわらけ	ロクロ		2	6
土器	南伊勢系鍋		10	35
白磁	皿	Ⅸ	13	45
	壺類		2	15
青白磁	梅瓶		3	10
	皿		4	3
	不明		1	1
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	4
	碗	ⅡorⅢ	12	70
	碗皿		10	18
	皿		1	3
	坏・盤	Ⅲ	6	39
舶載施釉陶器？	褐釉壺		2	55
瀬戸	入子		6	32
	天目茶碗		2	24
	平碗		3	41
	小天目？		1	4
	碗皿		2	9
	卸皿		14	326
	折縁小皿		1	2
	折縁皿		26	802
	洗		2	33
	柄付片口		2	26
	香炉		5	44
	香炉？		1	14
	花瓶		1	80
	小壺（水滴）		3	28
	壺類		12	240

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸美濃	灯明皿		1	6
尾張型	山皿		1	4
	山茶碗		4	42
東濃型	山茶碗		1	10
常滑	片口鉢	Ⅰ	93	2196
	片口鉢	Ⅱ	38	2322
	甕		318	14403
	壺		23	743
	転用研磨具		1	55
渥美	片口鉢		2	31
	甕		8	236
備前	すり鉢		1	98
	転用研磨具		1	34
東播系須恵器	片口鉢		2	70
	甕		1	152
	甕転用硯		3	125
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	8	360
	火鉢	Ⅲ	3	118
	火鉢	Ⅳ	7	447
	火鉢		22	767
石製品	仕上げ砥	鳴滝	18	318
	仕上げ砥	出羽？	1	42
	仕上げ砥	上野沼田？	1	45
	仕上げ砥	中砥材	1	79
	中砥	天草	2	233
	中砥	伊予	1	102
	硯	赤間ヶ関	1	12
	硯	鳴滝	2	74
	硯石	鳴滝	1	2
	滑石スタンプ		1	32
	滑石片	西彼杵	2	9
	滑石片	西彼杵	3	146
	碁石（黒）		2	5
	碁石？		1	2
石材	石英		2	7
	軽石		1	69
銅製品	銭		13	45
鉄製品	釘		131	820
	板状製品		9	140
	不明		3	35
	鉄片		2	549
	鉄滓		1	301
建築部材等	漆喰		4	758
骨製品	笄		1	—
自然遺物	獣骨		93	—
	人骨？		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区上層　近世土坑				
ロクロかわらけ	小		2	43
	大		10	83
かわらけ	小片		8	23
土器	南伊勢系鍋		1	2
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	4
			1	6
常滑	片口鉢		1	16
	甕		22	1135
瓦質土器	火鉢		2	130
鉄製品	釘		3	32
自然遺物	獣骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
Ⅰ区上層　竪穴竪物1				
手づくねかわらけ	大		6	73
ロクロかわらけ	小		9	72
	大		59	1190
	小片		—	53
白磁	碗	Ⅹ	1	2
	皿	Ⅸ	5	20
	四耳壺		1	7
	瓶類		1	5
青白磁	梅瓶		1	20
同安窯系青磁？	皿		1	3
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	46
		ⅡorⅢ	7	39
		Ⅳ？	1	7
	皿	Ⅰ	1	4
	坏	Ⅲ	1	14
		Ⅲ-1	1	38
高麗青磁	瓶子		1	52
瀬戸	入子		2	34
	天目茶碗		1	5
	卸皿		1	4
	折縁皿		1	33
	瓶類		3	151
常滑	円盤状		1	39
	片口鉢	Ⅰ	14	640
		Ⅱ	24	1460
	甕		93	6375
	壺		3	110
	鳶口壺		1	15
渥美	甕		1	120
東播系	片口鉢		5	186
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	222
		Ⅲ	2	394
		ⅣC	1	399
			7	329
瓦	平瓦	燻べ	1	79
石製品	硯	鳴滝	1	86
	中砥	天草	1	505
		伊予	1	43
石材	石英		2	29
	片岩		1	730
	不明		1	258
銅製品	銭		4	17
鉄製品	釘		24	165
	鉄滓		5	116
自然遺物	獣骨		28	—
Ⅰ区上層　建物1床面上				
手づくねかわらけ	小		2	47
	大		5	53
ロクロかわらけ	小		12	245
	大		110	1385
白磁	皿	Ⅸ	2	6
			1	1
同安窯系青磁	碗	Ⅱ	1	25
		ⅡorⅢ	2	15
		Ⅳ？	1	7
	碗（櫛描）		1	4
	碗皿		6	11
	不明		1	3
土器	南伊勢系鍋		2	31
瀬戸	卸皿		1	5
	瓶類		1	3
尾張型	山茶碗		2	15
常滑	片口鉢	Ⅰ	24	660
		Ⅱ	8	395
	甕		71	3340
渥美	甕		3	178
不明陶器	甕？		1	44
瓦器（楠葉）	坏		1	4
土製品	管状土錘		1	6
瓦質土器	火鉢		8	126
石製品	碁石or駒？		1	2
	仕上げ砥	鳴滝	2	43
銅製品	銭		2	7
鉄製品	釘		26	167
	板状製品		4	46
	鉄滓		5	166
自然遺物	貝		1	—
	獣骨		31	—
Ⅰ区下層　竪穴建物2A				
手づくねかわらけ	小		2	18
	大		13	235
ロクロかわらけ	極小		1	7
	小		70	1045
	大		366	6415
かわらけ	小片		7	32
白かわらけ	小片		3	8
渥美	甕		3	136
白磁	皿	Ⅸ	19	103
	盤or皿		10	25
青白磁	合子蓋		1	1
	合子身		1	6
	皿		3	2
	梅瓶		11	81
同安窯系青磁	碗		2	14
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	5	52
		Ⅱ	3	35
		ⅡorⅢ	16	122
		Ⅲ	1	8
	碗皿		11	31
	折縁鉢or皿		9	65
舶載施釉陶器	黄釉盤		2	49
瓦器	小片		1	2
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	4	175
		Ⅲ	2	77
			20	1050
舶載施釉陶器	褐釉壺		5	100
瓦	軒丸瓦	陽刻下向剣頭文	1	209
	丸瓦		1	146
	平瓦	A	2	100
		D	2	457
		不明	3	204
骨製品	笄		3	6
石製品	滑石鍋	西彼杵	4	235
瀬戸	入子		3	14
	柄付片口鉢		1	203
	折縁皿		2	43
	花瓶	Ⅱ	1	108
	瓶子		1	27
	瓶類		3	50
尾張型	山茶碗		5	161
常滑	片口鉢	Ⅰ	64	2713
		Ⅱ	25	1552
	甕	6bまで	206	17873
	壺		6	115
	転用研磨具		2	95
備前	擂鉢		1	162
不明陶器	壺？		1	22
	鉢		1	310
土師器	坏		2	39
不明土器	小片		3	29

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 （g）
石製品	硯		1	13
	仕上げ砥	鳴滝	9	228
	中砥	伊予	1	49
	荒砥		1	512
	双六駒		1	4
石材	石英		2	29
銅製品	銭		2	8
鉄製品	板状製品		1	88
	釘		38	274
	鉄滓		1	17
漆製品	烏帽子		1	
木製品	曲物底板		1	
自然遺物	獣骨		101	
	キサゴ		2	
Ⅰ区下層　竪穴建物2A床面上				
手づくねかわらけ	小		1	9
	大		12	130
ロクロかわらけ	小		23	305
	大		59	905
かわらけ	小片		12	47
白かわらけ	小片		1	5
土器	南伊勢系鍋		1	7
白磁	皿	Ⅸ	3	27
	瓶類		2	14
青白磁	梅瓶蓋		3	7
同安窯系青磁	碗		1	1
	皿		1	3
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	8	48
			1	6
舶載施釉陶器	盤		1	2
瀬戸	瓶子		2	31
尾張型	山茶碗		4	56
常滑	片口鉢	Ⅰ	19	715
		Ⅱ	6	273
	甕		104	4990
	壺		2	86
渥美	甕		1	24
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	113
	その他火鉢		4	340
瓦	平瓦		2	119
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	50
	滑石鍋	西彼杵	2	143
	滑石片		1	3
鉄製品	釘		6	31
漆器	碗		3	—
	膳		1	—
木製品	鳥形		1	—
自然遺物	胡桃核			—
	獣骨		10	—
	アカニシ		1	—
	アワビ		1	—
	イボキサゴ		17	—
	キサゴ		1	—
	チョウセンハマグリ		2	—
	ハマグリ		20	—
Ⅰ区下層　竪穴建物2A内ピット				
ロクロかわらけ	小		1	1
	大		1	13
自然遺物	獣骨		1	—
	キサゴ		1	—
	ハマグリ		2	—
Ⅰ区下層　竪穴建物2A裏込め				
手づくねかわらけ	小		2	17
	大		6	93
ロクロかわらけ	小		6	74
	大		12	150

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 （g）
かわらけ	小片		3	10
白磁	皿	Ⅸ	3	24
青白磁	合子蓋		2	3
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	6	54
	碗		1	4
	折縁鉢		1	19
尾張型	山茶碗		1	15
常滑	片口鉢	Ⅰ	4	141
	甕		25	1955
渥美	甕		2	58
瓦質土器	火鉢		1	29
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	3
骨製品	双六駒		1	2
自然遺物	獣骨		11	—
Ⅰ区下層　竪穴竪物2A拡張部				
手づくねかわらけ	大		4	54
ロクロかわらけ	大		9	153
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	22
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	20
	甕		4	368
銅製品	銭		3	11
Ⅰ区下層　竪穴竪物2B掘方				
ロクロかわらけ	小		1	8
	大		1	27
舶載施釉陶器	天目碗		1	13
常滑	片口鉢	Ⅱ	1	48
	甕		2	85
瓦質土器	火鉢		1	68
Ⅰ区下層　竪穴竪物2B裏込め				
ロクロかわらけ	大		5	138
土師器	甕		1	14
常滑	甕		2	38
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	3
Ⅰ区下層　竪穴竪物3				
手づくねかわらけ	小		2	10
	大		5	40
ロクロかわらけ	小		5	65
	大		36	985
白磁	皿	Ⅸ	1	10
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	7
		Ⅲ	2	59
	碗皿		2	7
瀬戸	卸皿		1	83
瀬戸？	小片		1	2
常滑	片口鉢	（Ⅰ）	24	1180
		Ⅱ	5	315
	甕		38	175
東濃型	山茶碗		1	18
東播	亀山甕		2	177
瓦器（楠葉）	坏		1	3
瓦質土器	火鉢		6	195
石製品	滑石鍋		3	241
	硯	鳴滝	1	2
	仕上げ砥	鳴滝	5	81
石材	軽石		1	13
	石片	鳴滝	1	42
銅製品	銭		3	12
鉄製品	釘		8	51
	鉄滓		1	13
漆器	膳		1	—
骨角製品	鹿角加工品		1	—
自然遺物	桜皮		1	—
	獣骨		40	—
Ⅰ区下層　建物3床面上				
手づくねかわらけ	小		2	17
	大		5	79

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
ロクロかわらけ	小		16	216
かわらけ	小片		1	1
白磁	Ⅲ	Ⅸ	1	16
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	2	9
		Ⅱ	1	15
瀬戸	入子		1	2
	卸皿		1	11
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	Ⅱ	2	102
		Ⅰ	6	266
	甕		29	1345
自然遺物	獣骨		11	
	キサゴ		1	
	ハマグリ		6	
石製品	滑石鍋		1	196
	仕上げ砥	鳴滝	1	46
石材	石英		2	44
鉄製品	釘		6	17
Ⅰ区下層　建物3裏込め				
ロクロかわらけ	小		4	70
	大		4	66
龍泉窯系青磁	碗		1	4
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	45
		Ⅱ	1	197
	甕		18	935
渥美	甕		1	28
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	55
瓦	平瓦	A	1	147
自然遺物	獣骨		3	—
Ⅰ区下層　建物4				
手づくねかわらけ	小		19	447
	大		16	287
ロクロかわらけ	小		46	800
	大		136	3425
かわらけ	小片		1	3
手づくね土器	碗		1	47
白磁	碗	Ⅸ	1	22
			1	10
	Ⅲ	Ⅸ	7	43
			2	17
	瓶類		3	37
青白磁	Ⅲ		1	5
同安窯系青磁	碗		3	70
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	4	40
		ⅡorⅢ	12	83
		Ⅲ	2	161
舶載施釉陶器	盤		1	9
	褐釉壺		1	18
	褐釉？		2	76
瀬戸	卸皿		1	48
	花瓶？		1	10
	瓶類		2	74
常滑	片口鉢	Ⅰ	55	2630
		Ⅱ	7	595
	甕		278	22320
	壺		11	860
尾張型	山茶碗		4	128
渥美	甕		8	409
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	3	458
	その他火鉢		8	401
石製品	滑石鍋		4	483
	滑石製温石	西彼杵	1	462
	硯	鳴滝砥石材	2	39
	仕上げ砥	鳴滝	1	25
	中砥	伊予	1	212
泥岩	加工品		1	19

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
銅製品	銭		3	11
鉄製品	釘		20	94
自然遺物	獣骨		109	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		10	—
	サザエ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		10	—
Ⅰ区下層　建物4床面上				
手づくねかわらけ	小		13	250
	大		12	184
ロクロかわらけ	内折れ極小		1	12
ロクロかわらけ	小		31	474
	大		57	895
かわらけ	小片		1	1
白磁	Ⅲ		1	2
白磁	碗		1	4
青白磁	合子or水注		3	4
	Ⅲ		1	2
同安窯系青磁	Ⅲ		1	9
	碗		2	5
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	4
	碗Ⅲ		2	14
瀬戸	瓶類		1	11
尾張型	山茶碗		1	3
常滑	片口鉢	Ⅰ	5	122
		Ⅱ	2	53
	甕		52	4180
	壺		2	30
渥美	甕		2	77
猿投	瓶類		1	134
瓦器	碗		1	3
瓦質土器	火鉢		5	101
銅製品	銭		2	8
鉄製品	掛金具		1	17
	釘		15	55
自然遺物	桃or梅核		1	3
	獣骨		10	—
	アカニシ		2	—
	イボキサゴ		19	—
	ダンベイキサゴ		22	—
	二ナ		2	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		16	—
Ⅰ区下層　建物4掘方				
手づくねかわらけ	小		1	10
	大		1	36
ロクロかわらけ	大		2	15
常滑	甕		3	3845
漆器	Ⅲ		1	—
木製品	箸		6	—
自然遺物	ダンベイキサゴ		1	—
	ツメタ		1	—
Ⅰ区下層　建物4裏込め				
手づくねかわらけ	大		3	54
ロクロかわらけ	小		1	21
	大		8	219
土器	鍔付鍋		1	31
白磁	Ⅲ	Ⅸ	2	5
青白磁	碗Ⅲ		2	2
龍泉窯系青磁	碗	Ⅲ	1	5
	Ⅲ		1	23
瀬戸	碗Ⅲ		1	17
	折縁Ⅲor鉢		1	21
	瓶類		1	47

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
常滑	片口鉢	Ⅰ	4	124
	甕		24	1765
	壺		1	17
渥美	甕		9	595
瓦	平瓦	C･D	1	190
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		1	15
自然遺物	獣骨		9	
	ダンベイキサゴ		1	
Ⅰ区下層　竪穴竪物5				
手づくねかわらけ	小		2	42
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		1	13
	大		10	237
白磁	瓶類		2	13
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	2	6
常滑	片口鉢	Ⅰ	6	143
		Ⅱ	7	437
	甕	5～6	32	1570
瀬戸	入子		1	13
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	61
	火鉢		8	360
石製品	中砥	上野	1	178
銅製品	六器碗		1	14
	銭		2	7
鉄製品	釘		2	26
	鉄滓		2	30
Ⅰ区下層　竪穴竪物5床面上				
ロクロかわらけ	大		5	146
白磁	Ⅲ	Ⅸ	1	12
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	6
瀬戸	入子		1	9
尾張型	山茶碗		1	21
石製品	中砥	伊予	1	115
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		5	38
Ⅰ区下層　竪穴竪物5裏込め				
手づくねかわらけ	小		4	70
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		13	236
	大		10	176
かわらけ	小片		1	6
土器	南伊勢系鍋		1	13
白磁	碗		1	4
	Ⅲ	Ⅸ	1	34
			1	10
白磁or青白磁	小片		1	1
青白磁	合子蓋		1	2
	梅瓶蓋		1	6
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	2	9
			1	3
	坏	Ⅲ	4	24
瀬戸	卸皿		1	92
	折縁皿		8	39
	瓶類		2	30
尾張型	山茶碗			14
常滑	片口鉢	Ⅰ	14	296
		Ⅱ	3	127
	甕	6a･bまで	28	1605
土製品	馬形		1	10
瓦質土器	火鉢	B	1	70
	その他火鉢		4	101
瓦	平瓦		1	81
石製品	仕上げ砥	鳴滝	2	27
	碁石		1	3
	滑石片		1	1

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
石材	石英		1	10
銅製品	銭		4	14
鉄製品	板状製品		2	44
	飾り金具		1	1
	釘		12	77
スラグ			1	26
自然遺物	獣骨		21	—
	焼骨		1	—
Ⅰ区下層　竪穴竪物6				
手づくねかわらけ	大		19	461
ロクロかわらけ	小		3	57
	大		19	323
かわらけ	小片		4	10
白磁	碗		3	18
	Ⅲ	Ⅸ	13	84
		Ⅹ	1	2
			1	6
青白磁	合子蓋		1	6
	水注蓋		1	6
	梅瓶		1	7
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	3
		ⅡorⅢ	7	31
		Ⅲ	3	24
		Ⅲ？	1	11
	碗or皿		1	5
	坏or鉢	Ⅲ	1	2
瀬戸	入子		1	1
	卸皿		1	8
常滑	片口鉢	Ⅰ	9	640
		Ⅱ	1	32
	甕		40	2141
	壺		1	14
	転用研磨具		1	18
尾張型	山茶碗		2	110
渥美	甕		6	350
瓦質土器	火鉢		1	46
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	10
	碁石		1	3
石材	石英		4	123
鉄製品	釘		1	27
自然遺物	獣骨		9	—
Ⅰ区下層　竪穴竪物6床面上				
瓦質土器	火鉢小片		2	30
手づくねかわらけ	小		1	6
	大		2	42
ロクロかわらけ	大		5	47
白磁	口兀皿		1	3
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ-6	1	9
		ⅡorⅢ	1	13
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	10
	甕		3	47
鉄製品	釘		1	5
自然遺物	獣骨		1	—
	バイ		1	—
Ⅰ区下層　竪穴竪物6裏込め				
手づくねかわらけ	大		7	125
ロクロかわらけ	小		15	270
	大		48	750
土器	南伊勢系鍋		1	5
白磁	Ⅲ	Ⅸ	7	34
白磁	四耳壺		1	62
同安窯系青磁	碗		1	7
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	2	20
		Ⅲ	3	30
	碗or皿		6	27

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
青白磁	皿		2	1
	梅瓶		1	20
瀬戸	卸皿		3	84
	香炉		2	96
常滑	片口鉢	Ⅰ	17	506
		Ⅱ	15	1200
	甕		103	5785
	壺		1	58
東濃型	山茶碗		1	3
備前	擂鉢		6	531
東播	甕		2	45
不明	碗		1	4
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	288
		Ⅱ	1	20
		Ⅲ	5	610
			14	790
瓦	平瓦	A	3	285
	丸瓦		2	378
石製品	仕上げ砥	鳴滝	3	30
	中砥	上野	2	239
	滑石片		1	24
石材	石英		1	64
鉄製品	釘		11	74
スラグ			1	100
骨製品	笄		1	—
自然遺物	獣骨		33	—
Ⅰ区下層　竪穴竪物7上層				
手づくねかわらけ	小		3	34
	大		8	149
ロクロかわらけ	小		3	96
	大		8	195
かわらけ	小片		2	5
白磁	皿	Ⅸ	2	9
青白磁	合子蓋		1	3
龍泉窯系青磁	坏・鉢	Ⅲ	1	11
瀬戸	瓶類		1	11
常滑	片口鉢	Ⅰ	16	324
		Ⅱ	1	55
	甕		47	3180
	壺		2	37
渥美	甕		2	225
猿投	甕		1	61
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	78
瓦	平瓦	A	1	135
骨製品	笄片		1	
建築部材	漆喰片		1	30
自然遺物	獣骨		11	
Ⅰ区下層　竪穴竪物7下層				
手づくねかわらけ	内折れ		1	24
	小		3	60
	大		13	445
ロクロかわらけ	小		2	20
	大		3	75
かわらけ	小片		2	11
同安窯系青磁	皿		1	4
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	2	24
	皿or碗		1	3
高麗青磁	小片		1	3
舶載施釉陶器	黄釉鉄絵盤		1	1100
	緑釉盤		1	28
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	85
	甕		21	2087
渥美	甕		3	305
不明陶器	不明		1	2
東播	甕		2	2629

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	2	119
	瓶類？		1	12
瓦	平瓦	A	1	135
	丸瓦	A	2	146
鉄製品	棒状鉄製品		1	8
建築部材	漆喰片		1	30
自然遺物	アカニシ		1	—
	ハマグリ		10	—
Ⅰ区下層　竪穴竪物7床面上				
手づくねかわらけ	大		5	55
常滑	甕		1	28
東播	甕		1	103
自然遺物	ダンベイキサゴ			
	ハマグリ			
Ⅰ区下層　竪穴竪物7内ピット19				
手づくねかわらけ	大		1	7
ロクロかわらけ	小		1	66
	大		2	298
かわらけ	小片		2	6
瓦	平瓦	A	1	21
Ⅰ区下層　竪穴竪物7内ピットエ				
自然遺物	獣骨		6	
Ⅰ区下層　竪穴竪物7内ピットク				
手づくねかわらけ	小		1	10
Ⅰ区下層　竪穴竪物7内ピットケ				
ロクロかわらけ	小		1	85
Ⅰ区下層　竪穴竪物7内ピットタ				
自然遺物	チョウセンハマグリ		2	
Ⅰ区下層　竪穴竪物7内ピットチ				
龍泉窯系青磁	皿	Ⅰ	1	9
Ⅱ区下層　竪穴竪物9				
手づくねかわらけ	小		6	45
	大		8	100
ロクロかわらけ	小		120	1215
	中		1	31
	大		358	3975
かわらけ	小片		236	915
	転用円盤		1	6
白かわらけ	手づくね小		2	8
土器	南伊勢系鍋		7	43
	鍔付鍋		1	14
白磁	皿	Ⅸ	16	80
	皿		2	2
青白磁	梅瓶		8	52
	合子身		1	4
	皿		2	3
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	2	31
		Ⅱ	3	23
		Ⅲ	8	101
	碗皿		8	24
	坏	Ⅲ	5	66
	盤		1	610
	香炉		2	54
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	7
	褐釉壺		11	220

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 （g）
瀬戸	縁釉小皿		1	16
	卸皿		23	572
	折縁皿		79	2549
	直縁大皿		2	44
	柄付片口		2	105
	底卸目皿		1	11
	香炉		2	54
	花瓶		1	31
	水注		7	203
	瓶子		4	169
	四耳壺		2	34
	片口小瓶		2	47
	瓶類		5	65
瀬戸美濃？	碗		2	19
尾張型	山茶碗		7	66
	山皿		2	10
常滑	片口鉢	Ⅰ	80	2245
		Ⅱ	45	2365
	甕		354	17942
	鳶口壺		2	62
	壺		4	204
	転用研磨具		1	142
渥美	甕		5	202
	壺		1	22
備前	すり鉢		7	650
東播	片口鉢		4	106
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	2	115
		Ⅱ	1	19
		Ⅲ	14	1369
		Ⅳ	13	770
			27	665
	風炉		1	13
瓦	平瓦		5	324
石製品	滑石鍋		5	88
	滑石製温石		1	660
	滑石鍋再加工品		1	80
	硯	赤間	1	5
		鳴滝	3	133
	硯石片	鳴滝	11	111
	荒砥	上野	1	905
	中砥	天草	2	555
		伊予	1	148
	仕上げ砥	鳴滝	45	490
			40	278
	砥石		2	73
	緑泥片岩		1	454
石材	石英		3	24
	雲母		5	7
銅製品	銭		4	17
鉄製品	板状製品		3	136
	釘		74	815
	鉄滓		8	753
骨製品	笄		4	—
	用途不明		2	—
	加工骨		2	—
自然遺物	骨片		100	—
	焼骨		1	—
	巻貝		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 （g）
Ⅱ区下層　竪穴竪物9床面上				
手づくねかわらけ	小		5	17
	大		9	100
ロクロかわらけ	小		14	150
	大		51	815
かわらけ	小片		4	12
土器	南伊勢系鍋		1	5
白磁	碗	Ⅸ	1	2
青白磁	梅瓶		1	20
同安窯系青磁	碗	Ⅰ	1	3
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	1
		Ⅱ	1	10
		ⅡorⅢ	2	5
	小碗	Ⅲ	1	4
	坏	Ⅲ	1	2
瀬戸	入子		1	4
	卸皿		4	37
	折縁皿		3	76
	水注		1	14
	瓶子		4	80
	不明		2	13
尾張型	山茶碗		3	40
常滑	片口鉢	Ⅰ	11	285
		Ⅱ	12	445
	甕		65	2350
	転用研磨具		1	27
渥美	甕		1	21
東濃型	山茶碗		1	4
備前	すり鉢		1	75
東播	片口鉢		1	15
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	68
		Ⅲ	1	111
		Ⅳ	1	24
			7	182
瓦	丸瓦	D	1	149
	平瓦	A	3	226
	平瓦	D	3	122
石製品	滑石鍋		1	33
	硯	赤間	1	21
	硯石	鳴滝	9	245
	中砥	天草	1	180
		伊予	1	74
	仕上げ砥	出羽	1	3
		鳴滝	19	195
		鳴滝奥殿	1	55
石材	石英		6	80
石材	片岩		1	114
銅製品	銭		3	12
鉄製品	板状製品		1	71
	釘		48	470
建築部材	漆喰片		4	150
骨製品	加工骨		1	—
骨製品	不明		1	—
自然遺物	獣骨		23	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物10				
手づくねかわらけ	小		2	10
	大		2	21
ロクロかわらけ	小		106	1465
	大		194	3925
白かわらけ	手づくね		1	4
土器	南伊勢系鍋		2	12
不明土器			1	49
白磁	皿	Ⅸ	5	33
			3	5
青白磁	梅瓶		2	18
青白磁	合子身		1	9

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	2	115
		Ⅲ	3	30
	碗Ⅲ		4	10
青磁	瓶類		1	4
瀬戸	入子		1	25
	卸Ⅲ		5	54
	水注		2	205
	瓶子		6	284
	瓶類		2	35
尾張型	山茶碗		2	58
常滑	片口鉢	Ⅰ	43	1185
		Ⅱ	12	755
	甕		101	3785
	壺		1	8
渥美	甕		2	51
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	74
			5	127
土製品	土錘		1	7
	鞴羽口		1	80
石製品	滑石片		2	10
	荒砥	笹口	1	113
	中砥	天草	1	144
	仕上げ砥	鳴滝	5	120
		産地不明	1	61
石材	石英		3	28
銅製品	銭		3	11
鉄製品	板状製品		4	103
	鎹		1	31
	釘		51	365
	不明鉄滓		10	495
スラグ			1	10
建築部材	漆喰片		1	159
自然遺物	獣骨		36	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物10掘方				
ロクロかわらけ	小		8	155
	大		54	1015
白かわらけ			1	3
白磁	Ⅲ	Ⅸ	1	4
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	3	16
			1	2
	坏	Ⅲ	1	1
	瓶類		1	11
瀬戸	水注		1	5
	瓶類		2	47
常滑	片口鉢	Ⅰ	24	950
		Ⅱ	3	47
	甕	6bまで	41	2190
	壺		1	78
渥美	甕		1	98
	不明		1	24
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	95
	火鉢		1	66
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	14
石材	石英		1	37
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		2	36
建築部材	漆喰片		2	735
自然遺物	獣骨		22	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物10裏込め				
手づくねかわらけ	小		2	17
	大		2	20
ロクロかわらけ	小		9	125
	大		32	380
かわらけ	小片		8	23
白磁	碗	ⅤorⅧ	1	4
	Ⅲ	Ⅸ	1	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	1	7
			2	4
	坏・盤	Ⅲ	1	11
瀬戸	碗		1	11
	四耳壺		2	10
常滑	片口鉢	Ⅰ	7	155
		Ⅱ	4	124
	甕		26	1410
瓦質土器	火鉢		4	109
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	5
	硯	対馬若田硯？	1	18
銅製品	銭		2	7
鉄製品	板状製品		3	25
	釘		4	21
建築部材	漆喰片		2	52
自然遺物	獣骨		5	—
	チョウセンハマグリ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物11上層				
手づくねかわらけ	小		1	12
	大		1	18
ロクロかわらけ	小		24	293
	大		66	1385
かわらけ	小片		2	7
白磁	Ⅲ	Ⅸ	6	89
			1	2
	四耳壺		1	18
	瓶類		1	11
青白磁	台付瓶？		1	14
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	6
		Ⅱ	2	22
			3	8
	Ⅲ		2	12
	坏	Ⅲ	1	8
瀬戸	入子		1	5
	卸Ⅲ		1	13
	四耳壺		1	63
	瓶類		2	62
常滑	片口鉢	Ⅰ	106	5140
		Ⅱ	15	1280
	甕		167	11239
	壺		4	81
渥美	甕		6	199
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	10	500
			3	161
瓦	平瓦	D	1	47
石製品	滑石鍋		1	67
	仕上げ砥	出羽	1	26
		鳴滝	5	32
石材	石英		1	60
	礫		1	365
鉄製品	刀子		1	175
	鍋		1	200
	釘		3	20
漆器	碗		9	—
	Ⅲ		3	—
	雲形		1	—
	膳脚		1	—
	灯明台		1	—
	塗膜		6	—
木製品	横櫛		2	—
	下駄		2	—
	杓子		2	—
	栓		1	—
	紡輪？		1	—
	円板		3	—
	曲物底板		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
	部材？（墨書？）		1	—
	樺表皮		大量	—
建築部材	漆喰片		15	1342
自然遺物	桃核		6	—
	魚エラ		1	—
	獣骨		10	—
	チョウセンハマグリ		2	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		3	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物11下層				
手づくねかわらけ	大		7	98
ロクロかわらけ	小		57	550
	大		319	3095
かわらけ	小片		27	72
白かわらけ			1	4
土器	南伊勢系鍋		5	29
白磁	碗	Ⅸ	1	18
	皿	Ⅸ	5	84
	瓶類		2	8
青白磁	梅瓶		1	5
	梅瓶蓋		1	5
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	3	20
		Ⅱ	3	41
		Ⅲ	8	48
			5	16
	坏	Ⅲ	1	5
	蓋		1	7
舶載施釉陶器	褐釉壺		2	19
	緑釉盤		1	7
瀬戸	入子		1	15
	卸皿		3	91
	瓶子		7	870
尾張型	山茶碗		5	230
	山皿		1	15
常滑	片口鉢	Ⅰ	240	4367
		Ⅱ	34	2485
	片口（無頸壺）		1	12
	甕		254	12770
	壺		5	300
	転用研磨具		1	36
渥美	甕		14	517
瓦器	坏	楠葉	1	3
瓦質土器	火鉢		28	1125
瓦	平瓦	A	1	104
土製品	人形		1	15
石製品	滑石鍋		3	475
	硯	鳴滝	1	8
	仕上げ砥	鳴滝	6	141
	不明		5	36
石材	石英		4	400
銅製品	銭		5	19
鉄製品	板状製品		4	139
	鎹		2	258
	掛け金具		1	7
	釘・針		17	106
	装飾金具		1	
	火箸		1	99
漆器	椀		13	—
	皿		13	—
	烏帽子		2	—
	膳脚		1	—
	棒状		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
木製品	曲物側板		4	—
	曲物底板		9	—
	折敷		30	—
	杓文字		1	—
	栓？		1	—
	草履芯		10	—
	刀子鞘		2	—
	箸		132	—
	傘		1	—
	斎串		1	—
	円板		2	—
	工具柄		1	—
	ヘラ状		3	—
	棒状		17	—
	漆喰塗布材		2	—
	板		多数	—
	不明		4	—
建築部材	漆喰片		多量	6625
自然遺物	桃核		1	—
	獣骨		36	—
	アカニシ		5	—
	キサゴ		66	—
	サザエ		2	—
	チョウセンハマグリ		52	—
	ツメタ		1	—
	バイ		9	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物11裏込め				
手づくねかわらけ	小		1	18
	大		3	38
ロクロかわらけ	小		10	132
	大		49	830
かわらけ	小片		2	2
白かわらけ			1	4
土器	南伊勢系鍋		1	19
白磁	碗	Ⅸ	1	53
			1	4
	皿	Ⅸ	1	5
青白磁	器種不明		1	3
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	49
		Ⅱ	1	51
		Ⅲ	2	17
	碗皿		4	13
	坏	Ⅲ	2	14
舶載施釉陶器	壺		1	39
尾張型	山茶碗		3	162
	山皿		1	6
常滑	片口鉢	Ⅰ	37	2220
		Ⅱ	8	715
	甕		144	9305
渥美	甕		3	130
瓦器	坏	楠葉	1	5
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	6	248
瓦	平瓦	A	1	32
銅製品	銭		2	7
鉄製品	釘		3	21
石製品	滑石片		2	45
石材	石英		1	45
木製品	箸		13	—
	漆喰塗布材		1	—
建築部材	漆喰片		13	395
自然遺物	獣骨		3	—
	バテイラ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物12				
手づくねかわらけ	小		6	82
	大		8	121

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 （g）
ロクロかわらけ	小		7	95
	大		71	977
かわらけ	小片		6	22
白かわらけ	手づくね大		2	18
土器	南伊勢系鍋		2	68
白磁	皿	Ⅸ	2	3
青白磁	合子身		1	2
	皿		1	6
	瓶類		2	4
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	3	62
	碗	ⅡorⅢ	4	34
	碗皿		4	34
舶載施釉陶器	天目茶碗		1	5
瀬戸	卸皿		1	7
常滑	片口鉢	Ⅰ	30	950
		Ⅱ	9	517
	甕		134	6785
渥美	片口（無頸壺）		1	16
	甕		6	213
	壺		1	35
瓦質土器	火鉢	ⅠorⅢ	6	187
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	28
銅製品	銭		1	3
鉄製品	板状製品		2	24
	釘		5	24
スラグ			1	20
木製品	木片		1	—
建築部材	漆喰片		23	1210
自然遺物	獣骨		8	—
	貝殻		1	—
	サルボウ		1	—
	シオフキ		2	—
	ダンベイキサゴ		1	—
	チョウセンハマグリ		3	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物12裏込め				
ロクロかわらけ	小		3	68
かわらけ	小片		1	2
白かわらけ	手づくね大		1	10
同安窯系青磁	碗	Ⅰ	1	6
常滑	片口鉢	Ⅰ	4	203
		Ⅱ	1	55
	甕		7	296
不明陶器	不明		3	14
自然遺物	アカニシ		1	—
	ダンベイキサゴ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物13				
手づくねかわらけ	小		3	20
	大		5	72
ロクロかわらけ	小		4	60
	大		27	426
かわらけ	小片		8	28
土器	南伊勢系鍋		4	31
白磁	皿	Ⅸ	3	14
	碗皿		1	1
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	57
瀬戸	入子		1	31
	卸皿		1	7
	碗皿		2	30
	水注		1	33
	瓶類		4	98
常滑	片口鉢	Ⅰ	24	700
		Ⅱ	1	27
	甕		36	1529
	壺		2	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 （g）
渥美	甕		3	122
瓦質土器	火鉢		3	61
瓦	平瓦		1	117
石製品	滑石鍋		1	60
石材	軽石		1	17
石材	片岩		1	27
銅製品	銭		3	10
鉄製品	釘		1	8
木製品	折敷		2	—
	草履芯		1	—
	箸		50	—
	角材		1	—
	板		2	—
骨製品	サイコロ		1	1
自然遺物	獣骨		7	—
	サザエ		1	—
	バイ		3	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物13裏込め				
手づくねかわらけ	小		1	13
ロクロかわらけ	小		9	150
	大		30	462
かわらけ	小片		2	4
土器	南伊勢系鍋		2	22
白磁	皿		1	6
青白磁	瓶類		1	4
同安窯系青磁	碗	Ⅰ	1	5
	皿	Ⅰ	1	4
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	2	8
	坏	Ⅲ	1	8
尾張型	山茶碗		1	6
瀬戸	瓶類		4	183
常滑	片口鉢	Ⅰ	15	530
		Ⅱ	11	700
	甕		45	2675
常滑	壺		4	128
渥美	甕		3	199
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	2	247
	火鉢		3	203
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	20
瓦	平瓦	A	1	54
石製品	滑石鍋	西彼杵	2	87
	硯	鳴滝	1	3
銅製品	銭		3	11
鉄製品	板状製品		1	9
	鎹		1	88
	釘		11	56
建築部材	漆喰片		1	349
自然遺物	桃核		1	—
	獣骨		2	—
	アカニシ		1	—
	アワビ		1	—
	キサゴ		1	—
	ハマグリ		2	—
	レイシ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物13第6層				
龍泉窯系青磁	折縁碗or皿		1	12
木製品	杵状製品		1	
Ⅱ区下層　竪穴竪物14				
手づくねかわらけ	小		1	11
	大		3	27
ロクロかわらけ	内折れ極小		1	4
	小		71	1030
	大		67	1235
	小片		6	5
白かわらけ			3	13
土器	南伊勢系鍋		1	6

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
白磁	皿	Ⅸ	11	58
	四耳壺		2	36
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	7
		Ⅱ	2	13
		ⅡorⅢ	10	47
		Ⅲ	1	13
			2	3
	坏	Ⅲ	1	17
舶載施釉陶器	褐釉壺		2	61
瀬戸	入子		1	2
	碗		1	8
	卸皿		3	55
	折縁皿		4	88
	柄付片口		1	270
	袴腰形香炉		1	48
	瓶類		3	52
尾張型	山茶碗		6	66
常滑	片口鉢	Ⅰ	49	1560
		Ⅱ	22	940
	片口（無頸壺）		1	49
	甕		77	3540
渥美	甕		5	231
常滑	壺		4	381
備前	すり鉢		3	176
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	4	332
		Ⅲ	1	62
		Ⅳ	1	80
			3	106
石製品	滑石		3	53
	硯石	鳴滝	2	17
石材	石英		1	8
	雲母片		1	7
銅製品	銭		2	6
鉄製品	板状製品		3	16
	釘		32	147
	鉄滓		2	55
自然遺物	獣骨		36	—
	バイ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物15				
手づくねかわらけ	小		38	58
	大		15	176
ロクロかわらけ	小		146	1590
	大		718	8995
かわらけ	小片		507	2100
白かわらけ	手づくね		4	17
土器	南伊勢系鍋		9	35
土師器	甕		1	6
白磁	皿	Ⅸ	19	92
			3	6
	四耳壺		3	50
青白磁	合子身		3	6
	蓋		1	6
	梅瓶		3	8
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	4
	碗	Ⅱ	2	12
	碗	ⅡorⅢ	21	120
	碗皿		3	8
	坏	Ⅲ	1	30
舶載施釉陶器	褐釉壺		9	190
瀬戸	入子		5	20
	卸皿		13	186
	折縁皿		10	464
	柄付片口		1	4
	瓶類		10	223
尾張型	山茶碗		8	65
	山皿		1	16

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
常滑	片口鉢	Ⅰ	117	3445
		Ⅱ	51	4220
	甕		395	15881
	壺		15	555
渥美	甕		17	675
不明陶器	不明		8	57
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	29
		Ⅲ	8	467
			19	466
	燭台脚		1	182
石製品	滑石片	西彼杵	6	114
	中砥	天草	2	21
	仕上げ砥	鳴滝	8	127
	碁石	黒	3	6
石材	石英		3	16
銅製品	環状製品		1	1
	銭		7	27
	不明		1	3
鉄製品	板状製品		2	29
	釘		34	134
	細片		11	124
漆器	塗膜		1	—
建築部材	漆喰片		10	605
自然遺物	不明種子		2	—
	獣骨		120	—
	アカニシ		12	—
	サザエフタ		1	—
	ツメタ		1	—
	バイ		1	—
	バテイラ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物15床面上				
手づくねかわらけ	大		2	19
ロクロかわらけ	小		64	1010
	大		153	2484
かわらけ	小片		35	137
土器	南伊勢系鍋		2	10
白磁	皿	Ⅸ	1	15
	瓶類		1	8
瀬戸	入子		1	4
	卸皿		1	28
	水滴？		1	4
	水注		1	23
尾張型	山茶碗		1	6
同安窯系青磁	碗（櫛）		1	7
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	1	15
	碗皿		3	6
	坏	Ⅲ	1	5
瀬戸	卸皿		2	28
	折縁皿		1	42
常滑	片口鉢	Ⅰ	20	443
		Ⅱ	16	3540
常滑	甕		72	2695
瓦質土器	火鉢	Ⅳ	7	488
			11	318
瓦	軒丸瓦		1	345
	平瓦	A	2	107
		D	1	62
			1	8
石製品	滑石片	西彼杵	2	115
	中砥	天草	2	35
	仕上げ砥	鳴滝	8	201
	砥石	備水	1	3
	碁石		4	10
銅製品	銭		2	8

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
鉄製品	板状製品		2	18
	刀子		4	40
	釘		27	221
	鉄滓		15	4915
骨製品	笄		1	—
木製品	箸		1	—
建築部材	漆喰片		7	380
自然遺物	桃核		1	—
	獣骨		14	—
	アカニシ		1	—
	ウミニナ		2	—
	キサゴ		1	—
	サザエフタ		2	—
	ツメタ		2	—
	ハマグリ		2	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物15裏込め				
手づくねかわらけ	小		1	42
	大		6	88
ロクロかわらけ	小		79	650
	大		179	2100
かわらけ	小片		59	199
土器	南伊勢系鍋		5	45
白磁	碗	Ⅸ	1	5
		Ⅹ	1	2
	皿	Ⅸ	6	26
	碗皿		6	8
青白磁	合子蓋		3	6
	梅瓶		3	15
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	3	11
		Ⅱ	1	8
		ⅡorⅢ	5	31
		Ⅲ	1	144
	碗皿		3	8
	坏	Ⅲ	1	4
	坏・盤	Ⅲ	1	15
	酒会壺？		1	29
舶載施釉陶器	褐釉壺		3	68
瀬戸	卸皿		3	75
	折縁皿		3	197
	瓶類		3	85
常滑	片口鉢	Ⅰ	89	2153
		Ⅱ	24	1151
	片口（無頸壺）		3	107
	甕		199	7335
	壺		7	370
	不明		1	4
渥美	甕		7	290
不明陶器	壺？		1	12
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	3	117
		Ⅲ	7	431
			8	263
瓦	平瓦？		1	113
石製品	中砥	天草	2	90
	砥石	砥沢	1	236
石材	石英		2	14
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		11	60
	棒状製品		1	25
	鉄滓		2	263
木製品	箸		1	—
建築部材	漆喰片		16	190
自然遺物	獣骨		33	—
	アカニシ		4	—
	ハマグリ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物15掘方				
手づくねかわらけ	大		4	44
ロクロかわらけ	小		37	460
	大		205	2520

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
かわらけ	小片		17	29
土器	南伊勢系鍋		3	23
白磁	皿	Ⅸ	1	2
		Ⅹ	1	1
	瓶類		1	7
青白磁	瓶類		1	4
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	2	13
	皿	Ⅰ	1	7
	碗皿		3	3
	坏	Ⅲ	5	28
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	14
	褐釉壺		5	77
瀬戸	卸皿		3	78
	花瓶		1	56
	瓶類		2	52
尾張型	山茶碗		4	32
常滑	片口鉢	Ⅰ	44	1215
		Ⅱ	14	995
	片口（無頸壺）		1	22
	甕		58	2570
	壺		1	27
渥美	甕		5	89
不明陶器	不明		1	5
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	4	99
			1	25
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	37
	弾？		1	8
銅製品	銭		2	6
	銅塊		1	8
鉄製品	蓋		1	161
	釘		5	35
	鉄滓		3	862
建築部材	漆喰片		9	960
自然遺物	獣骨		14	
	アカニシ		1	
	キサゴ		3	
	サザエ		2	
	サルボウ		1	
	バイ		4	
	ハマグリ		6	
	フジツボ？		1	
	レイシ		1	
Ⅱ区下層　竪穴竪物15・20				
石材	石英流紋岩質凝灰岩		1	23800
Ⅱ区下層　竪穴竪物16				
手づくねかわらけ	小		1	8
ロクロかわらけ	小		50	1033
	中		1	110
	大		229	3095
かわらけ	小片		7	24
土器	南伊勢系鍋		1	14
	鍔付鍋		1	9
白磁	碗	Ⅸ	2	22
	皿	Ⅸ	5	23
	四耳壺		1	67
	瓶類		2	4
青白磁	梅瓶		2	13
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	3	49
		Ⅱ	2	20
		Ⅲ	3	35
			3	4
	坏	Ⅲ	2	18

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
瀬戸	入子		2	30
	碗皿		2	12
	卸皿		9	139
	折縁皿		22	793
	柄付片口		1	129
	水注		1	31
	瓶類		4	136
	不明		3	37
尾張型	山茶碗		2	50
常滑	片口鉢	Ⅰ	47	1185
		Ⅱ	19	1850
	甕		131	6110
	壺		1	253
備前	すり鉢		1	89
東播	片口鉢		1	31
不明陶器	碗？		1	3
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	3	183
		Ⅲ	7	410
		Ⅳ	2	171
			12	233
瓦	丸瓦		1	61
	平瓦	D	1	82
建築部材	漆喰片		1	26
石製品	滑石鍋	福岡南部	4	110
	硯	赤間紫石	1	96
	硯石	鳴滝	3	120
	荒砥	伊予	1	538
	中砥	天草	1	50
		上野	1	68
	仕上げ砥	鳴滝	4	126
石材	石英		4	43
	雲母片？		1	62
銅製品	銭		2	6
	不明銅塊		2	12
鉄製品	板状製品		1	20
	鎹？		1	56
	釘		17	173
木製品	不明		1	—
自然遺物	獣骨		53	—
	アカニシ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物16裏込め				
手づくねかわらけ	大		1	8
ロクロかわらけ	小		17	360
	大		30	595
土器	南伊勢系鍋		1	7
	不明		1	5
尾張型	山茶碗		3	29
常滑	片口鉢	Ⅰ	9	645
		Ⅱ	3	153
	甕		14	590
	鳶口壺		1	10
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	89
			1	175
瓦	不明		1	23
石材	石英		1	10
鉄製品	釘		3	27
自然遺物	骨片		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物16･21裏込め				
手づくねかわらけ	小		7	97
ロクロかわらけ	小		14	150
	大		47	588
白かわらけ			2	12
土器	南伊勢系鍋		3	30
白磁	Ⅲ	Ⅸ	2	40
	四耳壺		1	27
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	1	11
		Ⅲ	7	145
	碗Ⅲ		1	1
	坏	Ⅲ	1	37

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
舶載施釉陶器	黄釉盤		1	15
瀬戸	四耳壺		1	20
尾張型	山茶碗		7	119
常滑	片口鉢	Ⅰ	27	1892
		Ⅱ	8	470
	片口（無頸壺）		2	162
	甕		31	1337
	壺		2	412
渥美	甕		2	71
	壺		2	40
不明陶器	不明		1	2
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	4	367
			4	185
銅製品	銭		1	3
鉄製品	釘		5	36
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物17				
手づくねかわらけ	小		1	24
	大		3	38
ロクロかわらけ	小		19	474
	中		3	117
	大		50	650
かわらけ	小片		15	68
白かわらけ	手づくね大		2	12
土器	南伊勢系鍋		2	13
白磁	碗Ⅲ		1	2
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	4
		Ⅱ	1	26
		Ⅳ	1	7
	坏	Ⅲ	1	6
高麗青磁	碗Ⅲ		1	5
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	32
瀬戸	卸Ⅲ		1	9
	香炉		1	32
尾張型	山茶碗		3	25
常滑	片口鉢	Ⅰ	9	205
		Ⅱ	9	360
	甕	5まで	18	848
	壺		1	240
	盤		2	135
渥美	片口（無頸壺）		1	105
	甕		1	14
石製品	中砥		1	143
銅製品	銭		1	3
木製品	折敷		1	—
建築部材	漆喰片		3	53
自然遺物	桃核		1	—
	魚骨		1	—
	獣骨		5	—
	アカニシ		1	—
	ホソウミニナ？		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物18				
手づくねかわらけ	小		11	132
	大		3	143
ロクロかわらけ	小		69	754
	大		227	2710
かわらけ	小片		95	316
土器	南伊勢系鍋		8	52
	鍔付鍋		2	17
白磁	碗	Ⅸ	1	4
	Ⅲ	Ⅸ	3	11
	その他		3	3
青白磁	合子蓋		1	1

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	2	15
		Ⅱ	6	80
		Ⅲ	6	29
	坏	Ⅲ-1a	1	11
	瓶類？		1	5
瀬戸	入子		3	49
	天目碗		1	5
	平碗		1	7
	卸皿		15	323
	折縁皿		7	133
	片口小瓶		1	26
	瓶類		9	313
尾張型	山茶碗		2	25
常滑	片口鉢	Ⅰ	74	2285
		Ⅱ	28	1520
	甕		172	8340
	壺		3	76
	不明		4	320
渥美	甕		5	171
東濃型	山茶碗		1	7
東播	片口鉢		1	51
備前	すり鉢		3	117
不明陶器	不明		3	15
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	3	212
		Ⅲ	4	419
			18	637
	不明		1	12
土製品	管状土錘		1	63
銅製品	銭		3	16
鉄製品	板状製品		9	96
	釘		15	154
	鉄滓		19	1224
	不明		7	36
石製品	滑石鍋	西彼杵	1	23
	滑石片	福岡南部	1	62
			1	245
	硯	鳴滝	1	205
	硯石	鳴滝	3	105
	中砥	天草	1	207
		伊予	2	169
	仕上げ砥	鳴滝	6	173
石材	石英		3	21
骨製品	笄		1	—
	加工骨		1	—
自然遺物	桃核		1	—
	獣骨		20	—
	ダンベイキサゴ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物19				
手づくねかわらけ	大		6	111
ロクロかわらけ	小		33	561
	大		78	1488
かわらけ	小片		3	13
白かわらけ	ロクロ小		1	9
	ロクロ大		1	11
土器	南伊勢系鍋		2	15
	不明		1	14
白磁	碗		2	10
	皿	Ⅸ	6	39
	器種不明		1	1
青白磁	梅瓶		7	25
	合子蓋		1	5
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	2	7
		ⅡorⅢ	5	10
		Ⅲ	1	13
	坏	Ⅲ	2	22

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
瀬戸	入子		1	2
	卸皿		8	79
	折縁皿		7	202
	片口小瓶		1	23
	瓶類		1	6
尾張型	山茶碗		2	22
常滑	片口鉢	Ⅰ	53	1340
		Ⅱ	18	1400
	甕		151	5520
	壺		5	116
渥美	甕		4	192
猿投	壺？		1	68
東播	甕		1	40
不明磁器			1	12
不明陶器			2	21
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	66
		Ⅲ	6	485
	不明		6	184
瓦	丸瓦	A	1	59
	平瓦	A	1	189
石製品	滑石鍋		1	9
	硯？		2	104
	中砥	天草	1	36
	仕上げ砥	出羽？	1	12
	仕上げ砥	鳴滝	13	274
銅製品	銭		5	18
鉄製品	飾り金具		1	3
	釘		127	473
	鉄滓		2	93
漆器	皿		2	—
自然遺物	獣骨		37	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		3	—
	サザエ		2	—
	シオフキ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		3	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物20				
手づくねかわらけ	小		6	36
	大		8	67
ロクロかわらけ	小		101	1004
	大		327	4165
かわらけ	小片		50	195
土器	南伊勢系鍋		8	42
	鍔付鍋		1	16
白かわらけ	手づくね大		1	5
			1	2
白磁	碗	Ⅸ	1	11
	皿	Ⅸ	9	74
			1	4
青白磁	碗皿		2	2
同安窯系青磁	碗		1	2
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	2	35
		ⅡorⅢ	3	14
		Ⅲ	1	13
			1	6
	皿	Ⅰ	1	26
	碗皿		3	9
	坏	Ⅲ	3	81
	酒会壺？		1	30
舶載施釉陶器	褐釉壺		2	9

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
瀬戸	入子		2	3
	卸皿		4	55
	瓶子		1	86
	四耳壺		1	16
	水注？		1	4
	不明		1	13
常滑	片口（無頸壺）		1	48
	片口鉢	Ⅰ	70	2030
		Ⅱ	31	1704
	甕	5まで	160	6565
	壺		6	123
尾張型	山茶碗		3	77
渥美	片口鉢		1	59
	甕		10	342
	転用研磨具		1	21
猿投？	壺？		1	78
不明陶器	不明		2	52
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	91
			13	260
瓦	平瓦		1	—
石製品	荒砥	天草	1	1255
	仕上げ砥	鳴滝	10	316
	中砥	天草	2	238
鉄製品	釘		6	37
	鉄滓		2	75
	鉄片		2	8
骨製品	不明（リング状）		1	2
石製品	滑石鍋		1	22
	滑石片		1	66
	硯石	天草	1	6
		鳴滝	1	23
石材	石英		1	122
木製品	曲物底板		13	—
	下駄		3	—
	箸		1	—
	円板		1	—
建築部材	漆喰片		21	275
自然遺物	桃核		4	—
	炭化米		1	—
	獣骨		36	—
	アカニシ		4	—
	アワビ		1	—
	イタヤ		1	—
	ウミニナ		1	—
	キサゴ		14	—
	サザエ		1	—
	ツメタ		7	—
	バイ		3	—
	ハマグリ		18	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物20掘方				
ロクロかわらけ	大		1	89
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		3	23
漆器	椀		1	—
	皿		1	—
木製品	曲物底板		6	—
	円板		3	—
	箸		4	—
	部材		1	—
自然遺物	アカニシ		1	—
	チョウセンハマグリ		4	—
	ツメタ		2	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物20裏込め				
手づくねかわらけ	小		1	6
	大		2	29

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
ロクロかわらけ	小		10	120
	大		66	695
かわらけ	小片		2	5
土器	南伊勢系鍋		2	25
白磁	碗	Ⅸ	1	14
	皿		1	1
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	3
	碗皿		4	13
同安窯系青磁	碗（櫛）		1	9
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	10
常滑	片口鉢	Ⅰ	10	440
		Ⅱ	6	270
	甕	6bまで	26	1480
	壺		3	53
	転用研磨具		1	60
渥美	甕		2	37
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	127
			2	33
建築部材			1	16
瀬戸	四耳壺		2	40
	瓶類		1	37
鉄製品	板状製品		1	63
	釘		1	2
自然遺物	獣骨		2	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		1	—
	ハマグリ		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物21				
手づくねかわらけ	小		8	88
	大		13	144
ロクロかわらけ	小		9	105
	大		25	444
かわらけ	小片		12	43
白かわらけ	手づくね大		27	257
	手づくね		13	27
土器	南伊勢系鍋		42	86
	鍔付鍋		2	103
	鍋？		12	13
白磁	碗	Ⅶ-b？	1	19
	皿	Ⅸ	9	69
同安窯系青磁	碗皿		1	2
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	2
		Ⅱ	1	359
		ⅡorⅢ	5	26
		Ⅲ	6	762
	小碗	Ⅲ	1	18
	碗皿		4	6
瀬戸	水注	Ⅰ	1	10
			1	670
	四耳壺		3	58
尾張型	山茶碗		41	1019
	山皿		3	140
常滑	片口鉢	Ⅰ	87	7405
		Ⅱ	9	1115
	片口（無頸壺）		4	60
	甕	6bまで	25	1107
	鳶口壺		1	8
	壺		1	20
渥美	甕		3	105
瓦器	坏		1	1
瓦質土器	火鉢		4	90
土製品	円盤		1	13
石製品	仕上げ砥		1	13
	小片		1	1
銅製品	銭		5	17
鉄製品	釘		8	44

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
骨製品	笄		1	4
漆器	碗		1	—
木製品	木材			
その他	炭		22	—
自然遺物	桃・梅核		12	—
	獣骨		7	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物21壁板下				
土器	南伊勢系鍋		1	15
白磁	皿	Ⅸ	3	128
			1	5
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	2	656
		ⅡorⅢ	5	260
		Ⅲ	8	1630
尾張型	山茶碗		5	571
常滑	片口鉢	Ⅰ	18	3450
	片口（無頸壺）		1	65
	壺		1	16
石製品	滑石鍋		1	50
自然遺物	人骨？		4	—
	アワビ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		4	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物21裏込め				
手づくねかわらけ	小		2	42
	大		6	62
ロクロかわらけ	大		4	73
白かわらけ	手づくね		13	50
	手づくね大		1	6
土器	南伊勢系鍋		17	70
	鍔付鍋		3	25
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	2	20
		Ⅲ	3	706
	坏・盤	Ⅲ	1	6
瓦器質	黒縁碗		1	6
瓦	平瓦（古代？）		1	700
自然遺物	チョウセンハマグリ		2	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物21掘方				
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	4
		Ⅳ？	1	7
Ⅱ区下層　竪穴竪物21ピットイ-4				
木製品	棒状製品		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物21ピットロ				
漆器	皿		1	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物22				
手づくねかわらけ	小		3	31
	大		4	48
ロクロかわらけ	小		15	244
	大		63	869
かわらけ	小片		8	18
土器	南伊勢系鍋		2	13
土師器	壺？		1	40
白磁	碗	Ⅸ	1	7
	皿	Ⅸ	2	4
	瓶類		2	29
青白磁	合子蓋		1	7
	梅瓶		1	11
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	2
			1	5
	碗皿		3	15
	坏・盤	Ⅲ	1	33
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	33

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量（g）
瀬戸	入子		2	15
	卸皿		2	13
	洗		1	220
	四耳壺		2	55
	瓶子		1	34
	瓶類		2	30
尾張型	山茶碗		2	23
常滑	片口鉢	Ⅰ	48	2633
		Ⅱ	8	644
	片口（無頸壺）		1	151
	甕		49	2643
	壺		2	76
渥美	甕		2	128
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	4	311
			1	38
瓦	平瓦		1	30
鉄製品	釘		6	96
	刺突具		1	
	不明		1	64
銅製品	銭		2	8
石製品	滑石鍋	西彼杵	1	83
	滑石製温石		1	144
	滑石片	福岡南部	2	46
石材	軽石		1	9
自然遺物	獣骨		1	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		1	—
	ツメタ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		2	—
	ハマグリ		3	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物23				
手づくねかわらけ	小		1	18
	大		2	42
ロクロかわらけ	小		10	170
	大		37	472
	特大（鉢？）		1	148
かわらけ	小片		11	17
白磁	碗	Ⅴ	1	5
青白磁	梅瓶		1	1
龍泉窯系青磁	碗	Ⅲ	1	3
	坏	Ⅲ	2	19
尾張型or灰釉陶器	山茶碗？		1	42
常滑	片口鉢	Ⅰ	12	525
		Ⅱ	2	105
	甕		36	2940
渥美	片口鉢		1	122
	甕		4	305
瓦質土器	火鉢		2	29
瓦	平瓦	A	1	39
建築部材			2	53
自然遺物	人骨？		1	—
	アカニシ		1	—
	キサゴ		3	—
	バイ		2	—
	ハマグリ		8	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物24				
手づくねかわらけ	小		3	50
	大		11	212
ロクロかわらけ	小		5	76
	大		17	233
土器	南伊勢系鍋		1	5
縄文土器	深鉢		1	60
白磁	皿	Ⅸ	1	7
	四耳壺		1	8
	瓶類		3	14

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	9
		Ⅱ	2	17
		ⅡorⅢ	2	7
			1	2
舶載施釉陶器	褐釉壷		1	46
瀬戸	瓶類		3	111
尾張型	山茶碗		4	29
常滑	片口鉢	Ⅰ	11	290
		Ⅱ	4	405
	甕		28	1450
	壷		1	64
渥美	甕		3	83
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	3	477
			3	124
瓦	平瓦		1	9
建築部材			1	13
石製品	中砥	伊予	2	492
	仕上げ砥	鳴滝	1	1
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		6	34
スラグ			1	222
木製品	木槌？		1	—
自然遺物	獣骨		6	—
	ウミニナ		1	—
	キサゴ		5	—
	サザエ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		10	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物24裏込め				
手づくねかわらけ	小		2	13
	大		3	41
ロクロかわらけ	小		2	26
	大		8	106
土器	南伊勢系鍋		6	34
	鍔付鍋		1	17
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	1	7
		ⅡorⅢ	1	6
瀬戸	瓶類		1	44
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	39
	甕	5まで	8	420
渥美	甕		1	14
瓦質土器	火鉢		1	23
鉄製品	釘		1	2
自然遺物	アカニシ		4	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		5	—
Ⅱ区下層　竪穴竪物A（土層断面でのみ確認）				
尾張型	山茶碗		1	14
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	78
	甕		2	431
自然遺物	獣骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅰ区上層　井戸1				
手づくねかわらけ	小		5	65
	大		14	310
ロクロかわらけ	小		75	1095
	大		373	6180
かわらけ	小片		8	36
土器	南伊勢系鍋		1	7
	鍔付鍋		5	62
白磁	皿	Ⅸ	3	37
			1	5
	小片		6	8
青白磁	皿		1	3
	梅瓶		2	11
同安窯系青磁	碗		1	3
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	3	32
		Ⅱ	3	31
		ⅡorⅢ	13	52
	碗皿		3	11
	坏	Ⅲ	4	38
	大型花瓶？		1	38
	小片		3	5
舶載施釉陶器	澱青釉花盆？		3	59
瀬戸	碗		24	476
	縁釉小皿		4	48
	卸皿		8	258
	底卸目皿		2	197
	すり鉢		2	366
	皿鉢		34	1015
	柄付片口		2	95
	香炉		3	86
	瓶類		25	1129
常滑	片口鉢	Ⅰ	38	1901
		Ⅱ	76	5376
	すり鉢？		3	157
	甕		619	43340
	壷		7	760
	転用研磨具		1	181
渥美	片口鉢		1	3
	甕		19	875
東播系	甕		2	149
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	76
		Ⅱ	1	265
		Ⅲ	11	835
		Ⅳ	7	494
		Ⅴ	1	44
	風炉		1	20
	湯釜		1	16
	不明		36	2265
瓦	平瓦	A	8	980
		D	3	493
		燻べ	9	625
			4	705
	丸瓦	A	2	459
		D	3	473
石製品	滑石スタンプ		1	10
	硯	赤間	1	23
	滑石鍋	西彼杵	1	269
	硯石	赤間紫石	1	755
		赤間	1	50
	荒砥	天草	3	1850
		伊予	1	542
		砂岩	1	71
	中砥	天草	3	554
	仕上げ砥	上野	1	48
		鳴滝	1	1
		鳴滝菖蒲	1	36
		湯沢？	1	34
	石臼		2	3090
	茶臼		1	105

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
銅製品	銭		4	12
鉄製品	釘		19	95
	鉄滓		7	73
骨製品	笄		1	—
	栓？		1	—
自然遺物	獣骨		111	—
	アカニシ		4	—
	アワビ		3	—
	サザエ		1	—
	ツメタ		1	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		10	—
	ハマグリ (漆パレット)		1	—
	二枚貝		1	—
Ⅰ区上層　井戸1埋土最下層				
手づくねかわらけ	大		1	19
ロクロかわらけ	小		3	162
	大		1	17
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	10
瀬戸	壺類		1	21
常滑	甕		5	366
	壺		1	82
東播系	甕		1	49
Ⅰ区下層　井戸3				
手づくねかわらけ	小		4	15
	大		16	128
ロクロかわらけ	小片		1	6
	大		4	63
常滑	甕		4	157
鉄製品	釘		3	17
自然遺物	獣骨		2	—
	アカニシ		1	—
	ハマグリ		1	—
Ⅰ区下層　井戸4 井戸枠内				
ロクロかわらけ	小		5	57
	大		18	233
かわらけ	小片		3	8
青白磁	印花文碗		1	17
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	2	20
舶載施釉陶器	天目茶碗		1	26
瀬戸	瓶類		1	48
常滑	片口鉢	Ⅰ	13	1390
		Ⅱ	5	528
	甕		32	2331
不明陶器	壺		1	35
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	85
			1	25
建築部材	漆喰		4	—
木製品	曲物底板		1	—
	箸		3	—
	木片		6	—
自然遺物	獣骨		8	—
	アワビ		3	—
	イボキサゴ		1	—
	サザエ		1	—
	チョウセンハマグリ		3	—
	バイ		1	—
	ハマグリ		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅰ区下層　井戸4 井戸枠裏込め				
手づくねかわらけ	小		3	105
	大		10	105
ロクロかわらけ	小		43	185
	大		78	905
土器	南伊勢系鍋		4	18
白磁	皿	Ⅸ	6	28
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	2	15
		ⅡorⅢ	5	40
			1	4
	坏･盤	Ⅲ	1	24
瀬戸	水注		1	22
	瓶類		1	156
常滑	片口鉢	Ⅰ	32	1450
		Ⅱ	19	1070
	甕		117	7787
	壺		2	58
渥美	甕		4	270
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	4	226
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	52
石材	石英		1	12
亀山	甕		1	42
鉄製品	釘		3	24
	鉄滓		1	165
	不明		1	169
建築部材	漆喰		6	194
木製品	箸		12	—
	木片		1	—
自然遺物	梅or桃核		2	—
	獣骨		11	—
	アカニシ		3	—
	アワビ		1	—
	キサゴ		3	—
	サザエ		3	—
	チョウセンハマグリ		3	—
	ツメタ		2	—
	バイ		4	—
	ハマグリ		13	—
Ⅱ区上層　井戸状土坑				
手づくねかわらけ	小		1	13
ロクロかわらけ	大		8	205
	小		2	43
土器	南伊勢系鍋		1	16
白磁	皿	Ⅸ	2	19
	碗皿		2	16
青白磁	合子蓋		1	4
	皿		1	1
	梅瓶		3	9
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	8
	碗皿		2	3
	坏	Ⅲ	1	12
瀬戸	碗		1	11
	卸皿		3	15
	瓶類		2	76
常滑	片口鉢	Ⅰ	19	695
		Ⅱ	3	385
	甕		20	1010
	壺		1	30
渥美	甕		3	138
	壺		1	81
瓦	平瓦		1	42
瓦質土器	火鉢		2	89
石製品	滑石片		1	4
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		6	47
自然遺物	獣骨		1	—
	アカニシ		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区上層　方形竪穴状土坑1				
手づくねかわらけ	小		4	84
	大		5	37
ロクロかわらけ	小		69	1133
	大		306	3714
かわらけ	小片		15	37
白かわらけ			2	7
土器	鍔付鍋		6	114
	不明品		1	11
白磁	皿	Ⅸ	4	29
		Ⅹ	1	4
青白磁	合子身		1	4
	皿		2	4
	梅瓶		2	20
同安窯系青磁	碗	Ⅰ	1	7
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	18
		Ⅱ	2	10
		ⅡorⅢ	7	47
		Ⅲ	2	21
	坏	Ⅲ	1	8
青磁	皿		2	15
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	22
青白磁	合子蓋		7	47
瀬戸	入子		1	1
	天目茶碗		3	27
	平碗		1	12
	碗		1	10
	卸皿		30	520
	折縁皿		25	465
	直縁大皿		1	8
	柄付片口		4	129
	花瓶		2	163
	四耳壺		13	330
常滑	片口鉢	Ⅰ	34	855
		Ⅱ	28	1965
	甕		250	11412
	壺		3	227
	転用研磨具		4	237
渥美	甕		5	162
東濃型	山茶碗		1	4
備前	すり鉢		4	283
東播	片口鉢		2	101
	甕		1	29
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	2	128
		Ⅲ	19	1195
			2	78
	香炉		1	135
瓦	平瓦	A	2	90
ガラス	不明		1	4
石製品	滑石鍋	西彼杵	7	508
	滑石片		1	6
	硯	赤間	2	162
		鳴滝	4	245
			1	16
	硯石	鳴滝	4	96
	中砥	天草	3	372
		伊予	1	32
		上野	1	73
	仕上げ砥	出羽	2	44
		鳴滝	9	360
石材	石英		5	28
銅製品	銭		9	32
鉄製品	蓋		1	59
	釘		60	624
骨製品	笄		2	—
	加工骨		1	—
	不明		1	—
建築部材	漆喰		3	55

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獣骨		63	—
	イルカ骨		21	—
	サメ骨		1	—
	マグロ骨		3	—
Ⅱ区上層　方形竪穴状土坑1床面上				
手づくねかわらけ	大		1	18
ロクロかわらけ	小		16	190
	大		71	725
土器	南伊勢系鍋		1	3
白磁	皿	Ⅸ	1	4
青白磁	合子身		2	4
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	2	16
	碗		4	23
瀬戸	平碗		2	12
	卸皿		7	77
	折縁皿		1	83
常滑	片口鉢	Ⅰ	5	137
		Ⅱ	10	420
			1	17
	甕	7まで	38	1875
	鳶口壺		1	22
	壺		1	27
渥美	甕		1	97
東播	片口鉢		1	47
堺	すり鉢		1	24
瓦質土器	火鉢	Ⅳ	4	125
瓦	平瓦	A	1	16
		D	2	209
銅製品	銭		4	14
鉄製品	釘		10	41
	鉄滓		5	113
石製品	滑石鍋		1	22
	中砥	伊予	3	399
	仕上げ砥	鳴滝	2	34
		鳴滝奥殿	2	110
骨製品	笄		1	—
建築部材	漆喰		5	69
自然遺物	獣骨		12	—
Ⅱ区上層　方形竪穴状土坑2				
瀬戸	小皿		1	63
瀬戸	洗or折縁皿		1	108
自然遺物	魚の脊椎		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区下層　方形土坑1				
手づくねかわらけ	小		6	77
	大		17	287
ロクロかわらけ	小		3	31
	大		34	573
土器	不明		1	11
同安窯系青磁	皿		2	7
常滑	甕		9	401
渥美	甕		2	86
鉄製品	釘		2	14
自然遺物	獣骨		6	—
Ⅱ区下層　方形土坑3				
手づくねかわらけ	小		2	8
	大		12	153
ロクロかわらけ	小		2	17
	大		3	23
かわらけ	小片		3	12
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	1	19
常滑	片口鉢	Ⅱ	2	63
	甕		11	35
建築部材	漆喰		1	9
自然遺物	アカニシ		1	—
	アワビ		1	—
	サルボウ？		1	—
	ハマグリ		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区上層　据甕遺構				
手づくねかわらけ	大		3	31
ロクロかわらけ	小		35	398
	大		161	1943
かわらけ	小片		16	36
白かわらけ	手づくね内折れ		1	2
青白磁	小片		1	1
龍泉窯系青磁	坏	Ⅲ	1	9
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	6
	褐釉壺？		1	115
瀬戸	卸皿		1	5
尾張型	山茶碗		1	3
常滑	片口鉢	Ⅰ	30	1198
		Ⅱ	17	928
	甕		141	30309
	壺		1	44
渥美	甕		5	168
東播	片口鉢		1	24
備前	すり鉢		4	417
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	2	126
			8	375
石製品	中砥	伊予	1	24
	仕上げ砥		2	52
鉄製品	板状製品		1	34
	釘		9	78
自然遺物	獣骨		6	—
	不明貝殻		1	—
Ⅱ区上層　据甕遺構掘方				
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	12
	甕		3	5091
鉄製品	釘		1	5
	鉄鍋		1	121

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅱ区上層　溝状遺構西側				
手づくねかわらけ	大		1	10
ロクロかわらけ	小		1	5
	大		6	46
白磁	皿	Ⅸ	1	2
瀬戸	壺類		2	22
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	33
		Ⅱ	1	26
	甕		7	133
	壺		2	41
瓦質土器	火鉢		1	23
石製品	滑石片		1	17
	硯石	鳴滝	1	2
鉄製品	釘		1	1
自然遺物	獣骨		2	
Ⅱ区上層　溝状遺構東側				
手づくねかわらけ	大		4	41
ロクロかわらけ	小		4	36
	大		26	361
かわらけ	小片		17	73
土器	南伊勢系鍋		1	2
白磁	皿	Ⅸ	1	3
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	33
石製品	滑石片		1	2
瓦質土器	火鉢		4	73
自然遺物	獣骨		3	
瀬戸	卸皿		1	7
	折縁皿		2	34
	瓶類		1	6
常滑	片口鉢	Ⅰ	10	245
		Ⅱ	3	91
	甕		25	945
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	2
銅製品	銭		2	
鉄製品	釘		8	46
	鉄片		2	16
Ⅰ区最下層　溝1				
手づくねかわらけ	小		58	644
	大		100	1302
ロクロかわらけ	小		5	72
	大		6	73
かわらけ	小片		11	19
白磁	瓶類		1	10
青白磁	合子		1	2
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	4
	碗	ⅡorⅢ	3	14
瀬戸	瓶類		2	30
常滑	甕		6	116
渥美	甕		1	63
瓦質土器	火鉢		1	190
不明陶器	皿		1	2
鉄製品	釘		3	11
自然遺物	獣骨		7	—
	アカニシ		1	—
	ハマグリ		2	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅰ区上層　土坑1				
手づくねかわらけ	小		3	12
	大		3	29
ロクロかわらけ	小		1	90
	大		6	73
瀬戸	折縁皿or鉢		1	45
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	55
		Ⅱ	4	118
	甕		9	455
	壺		2	72
銅製品	銭		1	5
土製品	管状土錘		1	9
鉄製品	釘		1	7
自然遺物	獣骨		4	—
Ⅰ区上層　土坑2				
手づくねかわらけ	小		1	4
	大		3	27
ロクロかわらけ	小		8	74
	大		22	206
かわらけ	小片		10	31
瀬戸	瓶類		1	15
常滑	片口鉢	Ⅱ	3	153
	甕		8	212
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	1	136
			4	63
石製品	滑石製スタンプ		1	76
	仕上げ砥	鳴滝	1	12
鉄製品	釘		7	43
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅰ区上層　土坑3				
ロクロかわらけ	小		2	55
	大		11	107
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	12
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	82
		Ⅱ	1	50
	甕		2	89
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	1	35
自然遺物	獣骨		6	—
Ⅰ区上層　土坑4				
手づくねかわらけ	大		1	5
ロクロかわらけ	大		2	22
瀬戸	入子		1	10
瓦質土器	火鉢		1	23
常滑	甕		3	128
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	2
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		2	19
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅰ区上層　土坑5				
ロクロかわらけ	小		5	38
	大		28	299
かわらけ	小片		12	38
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	3
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	39
		Ⅱ	1	38
	甕		7	220
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅰ区上層　土坑6				
ロクロかわらけ	小		4	55
	大		2	51
尾張型	山皿		1	8
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	35
	甕		3	84
瓦質土器	火鉢		1	21
自然遺物	獣骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
Ⅰ区上層　土坑7				
手づくねかわらけ	小		2	19
	大		3	27
ロクロかわらけ	小		2	11
	大		1	20
かわらけ	小片		4	17
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	21
		Ⅱ	2	115
	甕		22	518
	壺		1	17
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅰ区上層　土坑8				
ロクロかわらけ	小		10	124
	大		23	252
かわらけ	小片		2	9
龍泉窯系青磁	坏	Ⅲ	1	14
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	2	185
		Ⅳ	1	87
			5	247
瀬戸	卸皿		1	23
	折縁深皿		4	100
常滑	片口鉢	Ⅰ	4	112
		Ⅱ	1	68
	甕		13	113
備前	すり鉢		1	43
東播	鉢		1	56
近世遺物	不明		1	26
鉄製品	釘		7	61
骨製品	筆軸		1	—
自然遺物	人骨		1	—
	獣骨		11	—
Ⅰ区上層　土坑9				
手づくねかわらけ	大		1	10
ロクロかわらけ	大		4	77
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	4
瀬戸	折縁皿		1	12
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	26
		Ⅱ	1	26
	甕		6	208
瓦質土器	火鉢		1	18
鉄製品	釘		2	51
自然遺物	獣骨		3	—
Ⅰ区上層　土坑10				
手づくねかわらけ	小		3	49
	大		5	73
ロクロかわらけ	小		3	26
	大		16	322
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	28
	甕		9	438
	壺		1	28
鉄製品	釘		1	7
	鉄片			33
木製品	板(釘付き)		1	—
自然遺物	魚骨		1	—
	獣骨		9	—
Ⅰ区上層　土坑11				
手づくねかわらけ	小		2	13
	大		6	89
ロクロかわらけ	小		5	127
	大		11	377
かわらけ	小片		2	4
白磁	碗	Ⅸ	1	9
龍泉窯系青磁	碗	ⅠorⅡ	1	7
	碗	ⅡorⅢ	1	7
	酒会壺		1	24

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	平碗		1	11
	卸皿		1	22
常滑	片口鉢	Ⅰ	6	380
	甕		7	534
銅製品	煙管吸口		1	9
鉄製品	釘		4	43
	鉄片		1	2
自然遺物	獣骨		11	
Ⅰ区下層　土坑13				
手づくねかわらけ	大		4	40
ロクロかわらけ	大		1	10
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	32
		Ⅱ	3	203
	甕		5	177
	壺		1	20
東播	鉢		1	28
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	1	142
			1	55
Ⅰ区下層　土坑14				
手づくねかわらけ	大		6	208
Ⅰ区上層　土坑15				
ロクロかわらけ	小		2	26
	大		2	47
常滑	甕		2	142
銅製品	銭		2	4
自然遺物	獣骨		3	
Ⅰ区下層　土坑17				
手づくねかわらけ	大		4	81
	小		2	33
ロクロかわらけ	小		2	16
	大		4	100
白磁	皿	Ⅸ	1	65
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	3	10
瀬戸	瓶類		3	76
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	61
	甕		3	264
	鳶口壺		1	31
渥美	甕		2	78
自然遺物	獣骨		2	
Ⅰ区下層　土坑18				
手づくねかわらけ	大		2	23
	小		1	20
ロクロかわらけ	大		1	12
常滑	甕		2	158
東播	甕		1	174
不明			1	168
Ⅰ区下層　土坑19				
手づくねかわらけ	大		6	82
ロクロかわらけ	大		8	142
	小		1	8
瀬戸	四耳壺		1	23
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	67
	甕		3	166
	壺		1	18
渥美	甕		1	73
東濃	山茶碗		1	21
Ⅰ区下層　土坑20				
手づくねかわらけ	小		2	23
	大		2	20
ロクロかわらけ	大		8	98
白磁	皿	Ⅸ	1	10
青白磁	碗皿		1	1
龍泉窯系青磁	碗	Ⅲ	6	68
	坏・盤	Ⅲ	1	34

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	Ⅰ	18	715
		Ⅱ	1	17
	甕		10	790
渥美	甕		2	145
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	51
東濃	山茶碗		1	17
自然遺物	獣骨		10	
Ⅱ区上層　土坑24				
ロクロかわらけ	大		25	281
	小		11	76
龍泉窯系青磁	碗皿		1	8
	坏	Ⅲ	1	8
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	12
瀬戸	天目茶碗		1	11
	卸皿		3	66
	折縁皿		1	18
	瓶類		1	30
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	33
		Ⅱ	4	168
	甕		14	680
	壺		2	59
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	2	182
	火鉢		1	44
鉄製品	釘		5	
自然遺物	獣骨		5	
Ⅱ区上層　土坑26				
鉄製品	釘		2	25
Ⅱ区上層　土坑27				
鉄製品	釘		1	8
Ⅱ区上層　土坑28				
ロクロかわらけ	大		18	156
	小		7	28
かわらけ	小片		46	157
土器	南伊勢系鍋		2	6
白磁	皿	Ⅸ	1	3
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	16
	甕		13	385
	壺		1	19
渥美	甕		2	67
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	104
石製品	碁石？		2	3
鉄製品	釘		6	42
建築部材	漆喰片		1	31
自然遺物	獣骨		7	
	アカニシ		1	
Ⅱ区上層　土坑29				
ロクロかわらけ	小		8	34
	大		12	123
かわらけ	小片		6	16
土器	小壺		1	19
	南伊勢系鍋		1	8
白磁	小片		1	0
龍泉窯系青磁	坏	Ⅲ	1	3
瀬戸	瓶類		1	9
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	13
	甕		9	238
渥美	甕		1	42
銅製品	不明品		1	5
鉄製品	釘		3	23
自然遺物	獣骨		2	
Ⅱ区上層　土坑30				
手づくねかわらけ	小壺		1	6
ロクロかわらけ	小		3	24
	大		6	45
かわらけ	小片		4	11
土器	南伊勢系鍋		1	28
同安窯系青磁	皿		1	8
尾張型	山茶碗		1	4

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	65
		Ⅱ	1	11
	甕		6	261
瓦質土器	火鉢		2	43
Ⅱ区上層　土坑31				
ロクロかわらけ	小		13	153
	大		84	1463
かわらけ	小片		4	9
白かわらけ	手づくね		1	4
青白磁	瓶類		1	6
龍泉窯系青磁	碗	Ⅱ	1	3
			2	6
瀬戸	入子		1	6
	天目茶碗		1	4
	緑釉小皿		1	4
	卸皿		2	27
	折縁皿		4	88
	直縁大皿		1	20
	柄付片口		2	79
	瓶類		3	28
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	112
		Ⅱ	2	142
	甕		12	815
	壺		1	11
東濃型	山茶碗		1	27
備前	すり鉢		1	33
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	1	443
		Ⅳ	1	36
			3	151
瓦	平瓦	D	2	518
近世遺物			2	12
石製品	滑石片	西彼杵	1	13
	中砥	天草	1	407
鉄製品	釘		15	73
自然遺物	獣骨		6	
Ⅱ区上層　土坑32				
ロクロかわらけ	小		10	56
	大		78	670
かわらけ	小片		3	2
土器	南伊勢系鍋		1	7
	鍔付鍋		1	9
白磁	皿	Ⅸ	1	5
龍泉窯系青磁	碗		1	4
瀬戸	瓶子		1	54
	瓶類		1	8
尾張型	山茶碗		1	14
常滑	片口鉢	Ⅱ	9	590
	甕		27	1225
	壺		5	80
渥美	甕		2	46
備前	すり鉢		1	57
瓦質土器	火鉢		1	31
瓦	丸瓦		1	164
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	8
	不明？		1	1
銅製品	銭		2	7
鉄製品	板状		2	161
骨製品	笄		1	3
建築部材	漆喰		7	131
自然遺物	獣骨		11	
	アカニシ		1	
Ⅱ区上層　土坑33				
手づくねかわらけ	小		1	6
	大		1	12
ロクロかわらけ	小		11	152
	大		55	495

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
かわらけ	小片		24	106
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	7
土器	南伊勢系鍋		2	24
瀬戸	折縁皿		1	26
	柄付片口		1	40
尾張型	山茶碗		1	3
常滑	片口鉢	Ⅰ	6	59
		Ⅱ	6	307
	甕		11	434
瓦質土器	火鉢	Ⅳ	1	74
	火鉢		2	35
石製品	硯石	鳴滝	1	4
	仕上げ砥	鳴滝	4	18
鉄製品	釘		4	22
自然遺物	獣骨		18	
	アカニシ		1	
Ⅱ区上層　土坑34				
ロクロかわらけ	大		42	516
	小		12	76
かわらけ	小片		8	25
青白磁	合子		2	3
瀬戸	卸皿		2	26
	折縁皿		2	63
	鉢		1	76
	瓶類		1	49
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	33
		Ⅱ	2	55
	甕		6	419
瓦質土器	火鉢		4	93
瓦	軒丸瓦		1	53
石製品	滑石片	西彼杵	1	3
	硯石	鳴滝	1	114
	中砥	伊予	1	44
	仕上げ砥	鳴滝	1	3
自然遺物	獣骨		5	
Ⅱ区上層　土坑35				
ロクロかわらけ	大		55	526
	小		11	84
かわらけ	小片		47	177
青白磁	皿		1	1
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	2	15
		Ⅲ	1	4
	折縁皿		1	3
瓦質土器	香炉		1	101
	火鉢		4	105
瀬戸	入子		1	8
	緑釉小皿		1	8
	卸皿		1	56
	折縁皿		6	200
	洗		1	32
	柄付片口		1	15
	水注		1	24
	瓶類		2	17
常滑	片口鉢		3	107
	甕		15	1875
備前	すり鉢		3	670
石製品	仕上げ砥	鳴滝	4	7
石材	粘板岩		4	41
Ⅱ区上層　土坑36				
ロクロかわらけ	大		82	1875
	小		24	295
白磁	碗	Ⅴ？	1	7
			1	7
	四耳壺？		1	6
青白磁	水注		1	4

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	3	85
		ⅡorⅢ	2	12
		Ⅲ	2	7
			2	4
瀬戸	入子		1	15
	平碗		1	2
	卸皿		8	273
	折縁皿		10	267
	柄付片口		1	39
	花瓶		2	61
	瓶子		2	38
	瓶類		3	64
尾張型	山茶碗		1	26
渥美	甕		3	140
近世磁器	不明		1	2
常滑	片口鉢	Ⅰ	29	819
		Ⅱ	12	740
	甕		105	7205
	壺		1	38
備前	すり鉢		3	1465
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	3	296
		Ⅳ	2	191
			7	195
	香炉		1	57
石製品	滑石片	西彼杵	2	132
	硯石	粘板岩	1	88
	中砥	天草	1	367
	仕上げ砥	鳴滝	1	20
	仕上げ砥？	凝灰岩	1	51
銅製品	銭		5	19
鉄製品	刀鍔		1	37
	釘		53	378
建築部材	漆喰		8	302
骨製品	笄		1	—
自然遺物	獣骨		3	—
Ⅱ区上層　土坑38				
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		23	172
かわらけ	小片		5	15
白かわらけ	手づくね		1	2
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	2	8
	坏	Ⅲ	1	7
瀬戸	入子		1	2
	折縁皿		2	18
常滑	片口鉢	Ⅰ	12	506
		Ⅱ	8	311
	甕		19	630
	壺		2	59
備前	すり鉢		1	57
瓦質土器	火鉢	B	1	142
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	22
石製品	石英製火打石		1	8
鉄製品	釘		1	10
建築部材	漆喰		3	46
貝	不明		2	—
Ⅱ区上層　土坑39				
ロクロかわらけ	大		237	5015
	小		72	1122
かわらけ	小片		26	47
白磁	Ⅲ	Ⅸ	3	10
青白磁	Ⅲ		1	0
	梅瓶		1	4
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	4	12

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	天目茶碗		2	11
	平碗		2	21
	卸皿		3	17
	縁釉小皿		2	49
	折縁皿		4	141
	瓶類		2	46
尾張型	山茶碗		1	13
常滑	片口鉢	Ⅰ	22	495
		Ⅱ	2	22
	甕		60	2650
	壺		1	33
渥美	甕		3	232
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	85
			8	522
瓦	平瓦	C	1	226
土製品	管状土錘		1	18
石製品	滑石片	西彼杵		—
	中砥	伊予	1	554
	仕上げ砥	鳴滝	2	20
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		12	767
骨製品	サイコロ		1	1
自然遺物	獣骨		12	—
Ⅱ区上層　土坑39最下層				
ロクロかわらけ	大		90	1040
	小		23	398
かわらけ	小片		7	14
白磁	皿	Ⅸ	2	13
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	37
	碗or皿		2	2
瀬戸	天目茶碗		1	22
	折縁皿		1	29
	碗皿		1	2
	柄付片口		1	20
常滑	片口鉢	Ⅰ	9	440
		Ⅱ	1	20
	甕		31	1815
渥美	甕		1	19
瓦質土器	火鉢		9	312
瓦	平瓦	A	1	54
銅製品	銭		1	4
建築部材	漆喰		1	4
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層　土坑40				
手づくねかわらけ	大		1	15
ロクロかわらけ	大		4	38
土器	南伊勢系鍋		1	31
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	7
	甕		7	364
自然遺物	獣骨		4	—
Ⅱ区上層　土坑41				
ロクロかわらけ	小		1	18
ロクロかわらけ	大		18	90
土器	伊勢系鍋		1	2
常滑	片口鉢	Ⅱ	1	65
	甕		5	199
瓦質土器	火鉢		1	32
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区上層　土坑42				
手づくねかわらけ	大		3	26
ロクロかわらけ	小		1	35
	大		28	362
かわらけ	小片		18	62
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	26

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	68
		Ⅱ	2	148
	甕		9	414
鉄製品	釘		1	21
自然遺物	獣骨		5	—
	アカニシ		2	—
Ⅱ区上層　土坑43				
ロクロかわらけ	小		3	41
	大		8	139
青白磁	合子蓋		1	7
	梅瓶		1	4
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	2
瀬戸	天目茶碗		1	30
	折縁皿		3	210
	瓶類		1	11
常滑	片口鉢		2	62
	甕		3	173
渥美	甕		1	16
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	1	86
			1	120
石製品	硯	鳴滝	1	39
	硯石		2	61
	中砥	伊予	1	39
鉄製品	板状製品		1	49
	釘		3	15
Ⅱ区上層　土坑44				
ロクロかわらけ	大		3	27
舶載施釉陶器	黄釉盤		1	8
瀬戸	卸皿		3	47
	柄付片口		1	57
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	158
		Ⅱ	1	117
	甕		4	163
瓦質土器	火鉢		1	35
鉄製品	板状製品		3	51
	釘		9	94
Ⅱ区上層　土坑45				
ロクロかわらけ	大		6	82
瀬戸	卸皿		2	32
	小片		1	2
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	16
		Ⅱ	1	30
	甕		5	280
石製品	硯	鳴滝	1	30
	硯石	鳴滝	2	24
	仕上げ砥	鳴滝	1	15
	中砥	天草	1	223
鉄製品	釘		5	33
Ⅱ区上層　土坑46				
手づくねかわらけ	大		2	24
ロクロかわらけ	小		39	438
	大		174	1540
かわらけ	小片		18	80
白かわらけ	ロクロ		1	3
土器	南伊勢系鍋		2	5
白磁	皿	Ⅸ	1	2
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	2	17
	碗皿		2	3
瀬戸	入子		1	5
	卸皿		1	7
常滑	片口鉢	Ⅰ	7	271
	甕		36	940
	壺		2	123
渥美	甕		1	55
瓦質土器	火鉢		1	9
瓦	平瓦		1	63

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
鉄製品	釘		9	103
Ⅱ区上層　土坑47				
手づくねかわらけ	大		5	42
ロクロかわらけ	小		6	95
	大		35	309
土器	南伊勢系鍋		1	5
	不明		1	8
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	25
	不明		1	3
瀬戸	折縁皿		1	70
	瓶類		1	20
常滑	片口鉢	Ⅰ	12	186
		Ⅱ	1	19
	甕		12	476
	壺		1	12
備前	すり鉢		1	53
瓦質土器	火鉢		3	100
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		4	20
骨製品	笄		1	—
建築部材	漆喰？		1	3
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層　土坑48				
ロクロかわらけ	大		3	26
かわらけ	小片		2	7
瀬戸	卸皿		2	41
	瓶類		2	146
土器	不明		1	17
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	68
		Ⅱ	2	110
	甕		11	547
鉄製品	鉄滓		1	72
瓦質土器	火鉢		1	48
自然遺物	獣骨		1	
Ⅱ区上層　土坑49				
ロクロかわらけ	小		2	16
	大		18	140
かわらけ	小片		7	24
白磁	碗	Ⅴ？	1	4
青白磁	皿		1	8
龍泉窯系青磁	瓶類		1	27
瀬戸	天目茶碗		1	52
瀬戸	卸皿		1	12
	折縁皿		4	81
	水滴？		1	10
尾張型	山茶碗		1	30
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	32
		Ⅱ	2	207
	甕		14	1000
渥美	甕		1	60
石製品	硯	鳴滝	1	60
鉄製品	釘		2	12
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層　土坑50				
手づくねかわらけ	大		4	55
ロクロかわらけ	小		21	232
	大		54	610
かわらけ	小片		16	55
白かわらけ	手づくねかわらけ		1	3
土器	南伊勢系鍋		1	5
白磁	皿	Ⅸ	2	10
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	2
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	10
瀬戸	卸皿		1	8
尾張型	山茶碗		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	Ⅰ	26	569
		Ⅱ	5	244
	甕		27	1220
	壺		4	95
瓦質土器	火鉢		5	251
瓦	平瓦		1	98
石製品	仕上げ砥	鳴滝	6	59
銅製品	銭		1	3
鉄製品	板状製品		1	50
	釘		9	76
Ⅱ区上層　土坑51				
ロクロかわらけ	大		1	21
土器	南伊勢系鍋		1	1
白磁	皿	Ⅸ	1	2
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	4	26
瀬戸	入子		1	3
常滑	片口鉢	Ⅱ	2	413
	甕		2	63
近世瓦			1	19
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区上層　土坑52				
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		5	89
常滑	甕		11	615
鉄製品	釘		3	45
自然遺物	サザエ		1	—
建築部材	漆喰		1	89
Ⅱ区上層　土坑53				
ロクロかわらけ	小		1	39
	大		1	41
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	71
		Ⅱ	1	34
	甕		6	393
渥美	甕		1	95
Ⅱ区上層　土坑54				
ロクロかわらけ	小		16	150
	大		25	245
かわらけ	小片		80	231
白磁	皿	Ｘ？	1	1
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	3
瀬戸	卸皿		1	8
常滑	片口鉢	Ⅰ	10	117
		Ⅱ	6	212
	甕		24	785
渥美	甕		3	159
	鉢		1	28
瓦質土器	火鉢		2	47
鉄製品	板状製品		2	66
	釘		7	67
自然遺物	獣骨		23	—
	貝片		1	—
Ⅱ区上層　土坑55				
ロクロかわらけ	小		4	61
	大		15	221
かわらけ	小片		4	13
白磁	皿	Ⅸ	1	1
龍泉窯系青磁	碗皿		1	1
瀬戸	卸皿		2	21
	碗		1	7
	瓶類		1	9
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	23
		Ⅱ	2	82
	甕		6	117
渥美	甕		1	22
備前	すり鉢		1	42
不明陶器	碗		1	6

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
鉄製品	釘		9	103
Ⅱ区上層　土坑47				
手づくねかわらけ	大		5	42
ロクロかわらけ	小		6	95
	大		35	309
土器	南伊勢系鍋		1	5
	不明		1	8
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	25
	不明		1	3
瀬戸	折縁皿		1	70
	瓶類		1	20
常滑	片口鉢	Ⅰ	12	186
		Ⅱ	1	19
	甕		12	476
	壺		1	12
備前	すり鉢		1	53
瓦質土器	火鉢		3	100
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		4	20
骨製品	笄		1	—
建築部材	漆喰？		1	3
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層　土坑48				
ロクロかわらけ	大		3	26
かわらけ	小片		2	7
瀬戸	卸皿		2	41
	瓶類		2	146
土器	不明		1	17
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	68
		Ⅱ	2	110
	甕		11	547
鉄製品	鉄滓		1	72
瓦質土器	火鉢		1	48
自然遺物	獣骨		1	
Ⅱ区上層　土坑49				
ロクロかわらけ	小		2	16
	大		18	140
かわらけ	小片		7	24
白磁	碗	Ｖ？	1	4
青白磁	皿		1	8
龍泉窯系青磁	瓶類		1	27
瀬戸	天目茶碗		1	52
瀬戸	卸皿		1	12
	折縁皿		4	81
	水滴？		1	10
尾張型	山茶碗		1	30
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	32
		Ⅱ	2	207
	甕		14	1000
渥美	甕		1	60
石製品	硯	鳴滝	1	60
鉄製品	釘		2	12
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層　土坑50				
手づくねかわらけ	大		4	55
ロクロかわらけ	小		21	232
	大		54	610
かわらけ	小片		16	55
白かわらけ	手づくねかわらけ		1	3
土器	南伊勢系鍋		1	5
白磁	皿	Ⅸ	2	10
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	2
舶載施釉陶器	緑釉盤		1	10
瀬戸	卸皿		1	8
尾張型	山茶碗		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	Ⅰ	26	569
		Ⅱ	5	244
	甕		27	1220
	壺		4	95
瓦質土器	火鉢		5	251
瓦	平瓦		1	98
石製品	仕上げ砥	鳴滝	6	59
銅製品	銭		1	3
鉄製品	板状製品		1	50
	釘		9	76
Ⅱ区上層　土坑51				
ロクロかわらけ	大		1	21
土器	南伊勢系鍋		1	1
白磁	皿	Ⅸ	1	2
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	4	26
瀬戸	入子		1	3
常滑	片口鉢	Ⅱ	2	413
	甕		2	63
近世瓦			1	19
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区上層　土坑52				
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		5	89
常滑	甕		11	615
鉄製品	釘		3	45
自然遺物	サザエ		1	—
建築部材	漆喰		1	89
Ⅱ区上層　土坑53				
ロクロかわらけ	小		1	39
	大		1	41
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	71
		Ⅱ	1	34
	甕		6	393
渥美	甕		1	95
Ⅱ区上層　土坑54				
ロクロかわらけ	小		16	150
	大		25	245
かわらけ	小片		80	231
白磁	皿	Ⅹ？	1	1
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	3
瀬戸	卸皿		1	8
常滑	片口鉢	Ⅰ	10	117
		Ⅱ	6	212
	甕		24	785
渥美	甕		3	159
	鉢		1	28
瓦質土器	火鉢		2	47
鉄製品	板状製品		2	66
	釘		7	67
自然遺物	獣骨		23	—
	貝片		1	—
Ⅱ区上層　土坑55				
ロクロかわらけ	小		4	61
	大		15	221
かわらけ	小片		4	13
白磁	皿	Ⅸ	1	1
龍泉窯系青磁	碗皿		1	1
瀬戸	卸皿		2	21
	碗		1	7
	瓶類		1	9
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	23
		Ⅱ	2	82
	甕		6	117
渥美	甕		1	22
備前	すり鉢		1	42
不明陶器	碗		1	6

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瓦質土器	火鉢		2	59
鉄製品	釘		4	27
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区上層　土坑57				
ロクロかわらけ	小		2	23
	大		3	79
瀬戸	柄付片口		1	25
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	83
		Ⅱ	2	237
	甕		3	127
備前	すり鉢		1	65
瓦質土器	火鉢		3	86
瓦	平瓦		1	164
肥前系磁器	染付 蕎麦猪口		1	14
近世陶器	不明		1	49
石製品	硯石	鳴滝	2	67
石製品	中砥	上野	1	124
自然遺物	貝片		1	—
Ⅱ区上層　土坑58				
手づくねかわらけ	小		2	9
ロクロかわらけ	小		5	53
	大		26	382
かわらけ	小片		3	5
白磁	皿	Ⅸ	2	7
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	8
舶載施釉陶器	壺？		1	26
常滑	片口鉢	Ⅰ	7	228
		Ⅱ	1	26
	甕		16	471
	壺		1	38
建築部材	漆喰		4	109
瀬戸	皿		1	11
石製品	滑石片		1	8
鉄製品	釘		5	50
自然遺物	貝片		1	—
Ⅱ区上層　土坑60				
手づくねかわらけ	大		2	18
ロクロかわらけ	小		14	112
	大		41	381
かわらけ	小片		41	157
青白磁	梅瓶		1	5
龍泉窯系青磁	碗皿		1	1
常滑	片口鉢	Ⅰ	6	130
		Ⅱ	4	147
	甕		13	484
瀬戸	折縁皿		4	54
	瓶類		1	21
渥美	甕		1	36
不明陶器	不明		1	9
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	1
石材	雲母片		1	—
銅製品	銭		2	7
鉄製品	釘		5	24
自然遺物	獣骨		10	—
Ⅱ区上層　土坑61				
ロクロかわらけ	小		23	140
	大		72	645
かわらけ	小片		10	31
白かわらけ			1	1
瀬戸	卸皿		2	23
	折縁皿		9	248
	瓶類		1	28
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	57
		Ⅱ	4	207
	甕		15	399

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
渥美	甕		2	27
瓦質土器	火鉢	Ⅳ	1	118
			3	79
石製品	滑石鍋		1	33
	仕上げ砥	鳴滝	2	31
鉄製品	鉄釘片		38	196
自然遺物	獣骨		11	—
Ⅱ区上層　土坑62				
ロクロかわらけ	小		16	203
	大		47	635
かわらけ	小片		32	114
龍泉窯系青磁	小片		1	2
瀬戸	入子		2	4
	卸皿		1	15
	折縁皿		2	31
	花瓶		1	73
常滑	片口鉢	Ⅰ	5	39
		Ⅱ	1	21
	甕		12	523
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		13	127
	鉄滓		6	181
自然遺物	獣骨		5	—
Ⅱ区上層　土坑64				
ロクロかわらけ	大		3	56
土器	南伊勢系鍋		1	6
白磁	皿	Ⅸ	1	6
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	56
		Ⅱ	2	250
	甕		5	277
瓦質土器	火鉢		1	61
銅製品	銭		1	4
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層　土坑65				
ロクロかわらけ	小		4	76
	大		21	299
かわらけ	小片		4	13
白磁	合子身		1	8
	皿	Ⅸ	4	21
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	3
		Ⅲ	1	6
青磁？	碗		1	13
瀬戸	卸皿		1	24
	折縁皿		2	41
	碗		1	2
	柄付片口		1	29
	瓶類		1	41
尾張型	山茶碗		1	4
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	69
	甕		24	1454
	壺		1	9
	転用研磨具		1	130
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	61
銅製品	銭		1	3
鉄製品	板状製品		1	7
	釘		8	40
Ⅱ区上層　土坑66				
ロクロかわらけ	小		5	24
	大		59	367
かわらけ	小片		14	52
白かわらけ	小片		1	1
土器	鍔付鍋		1	2
白磁	合子蓋		1	1
	瓶類		1	14
種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
瀬戸	卸皿		1	54
	碗		1	6
	水滴		1	4
常滑	片口鉢	Ⅰ	6	197
		Ⅱ	1	21
	甕		20	533
瓦質土器	火鉢	Ⅲ	1	83
			2	62
石製品	硯石	鳴滝	1	14
	仕上げ砥		2	59
石材	石英		1	4
鉄製品	釘		3	17
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層　土坑67				
ロクロかわらけ	小		4	82
	大		10	248
白磁	皿	Ⅸ	1	3
青白磁	合子身		1	2
	碗		1	1
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	6
	坏・盤	Ⅲ	1	6
瀬戸	卸皿		1	9
	折縁皿		1	68
常滑	片口鉢	Ⅰ	8	452
		Ⅱ	1	16
	甕		34	1705
	壺		2	33
瓦質土器	火鉢		1	183
石製品	滑石製温石	西彼杵	1	18
	滑石片		2	223
	硯石		2	34
	中砥	伊予	1	182
	仕上げ砥		2	22
石材	石英		1	7
鉄製品	釘		3	65
自然遺物	獣骨		4	—
Ⅱ区上層　土坑68				
ロクロかわらけ	大		8	66
瀬戸	縁釉小皿		1	4
常滑	片口鉢	Ⅱ	1	87
常滑	甕		5	232
瓦器	小片		1	55
鉄製品	釘		2	1
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区上層　土坑69				
ロクロかわらけ	小		1	6
	大		10	107
かわらけ	小片		6	22
瀬戸	小片		1	3
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	169
瓦質土器	火鉢		1	10
鉄製品	釘		1	7
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区上層　土坑70				
ロクロかわらけ	大		9	75
かわらけ	小片		2	6
白磁	皿	Ⅸ	2	3
瀬戸	碗皿		1	4
常滑	片口鉢		1	32
	甕		4	295
	壺		1	5
鉄製品	釘		8	52
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区上層　土坑71				
ロクロかわらけ	小		2	12
	大		20	227
かわらけ	小片		14	43
龍泉窯系青磁	碗皿		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	44
	甕		9	393
建築部材	漆喰		2	55
自然遺物	アカニシ		1	—
Ⅱ区上層　土坑72				
ロクロかわらけ	小		1	22
	大		1	30
青白磁	皿		1	1
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	97
	甕		14	825
銅製品	銭		1	5
鉄製品	釘		3	23
	鉄滓		1	47
Ⅱ区上層　土坑73				
ロクロかわらけ	小		1	49
常滑	片口鉢	Ⅱ	1	58
	甕		1	23
Ⅱ区上層　土坑74				
手づくねかわらけ	小		1	13
ロクロかわらけ	大		4	93
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	5
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	10
	甕		5	226
渥美	甕		1	131
建築部材	漆喰		1	11
Ⅱ区下層　土坑75				
常滑	甕		1	22
渥美	甕		2	112
自然遺物	貝殻片		1	—
Ⅱ区下層　土坑76				
手づくねかわらけ	大		7	87
Ⅱ区下層　土坑77				
手づくねかわらけ	大		1	30
	小		3	45
ロクロかわらけ	大		5	101
かわらけ	小片		3	17
白磁	碗	Ⅴ？	1	14
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	16
		ⅡorⅢ	1	2
尾張型	山皿		1	10
常滑	片口鉢	Ⅰ	5	70
		Ⅱ	1	49
	甕		42	2260
	壺		1	11
渥美	甕		7	199
銅製品	銭		2	8
鉄製品	釘		4	34
自然遺物	獣骨		2	—
Ⅱ区下層　土坑78				
手づくねかわらけ	大		2	20
ロクロかわらけ	小		1	44
	大		9	218
かわらけ	小片		4	14
白磁	皿	Ⅹ	1	28
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	13
	甕		7	397
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	44
			1	32
鉄製品	釘		1	4
Ⅱ区下層　土坑79				
手づくねかわらけ	小		2	10
	大		1	19
ロクロかわらけ	小		3	23
	大		22	209
かわらけ	小片		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
青白磁	合子蓋		1	7
	梅瓶		1	9
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	5
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	95
	甕		9	372
瓦質土器	火鉢		1	75
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	33
銅製品	銭		1	3
鉄製品	釘		1	7
自然遺物	獣骨		7	—
Ⅱ区下層　土坑80				
常滑	甕		1	45
Ⅱ区下層　土坑81				
手づくねかわらけ	小		1	3
かわらけ	小片		4	12
鉄製品	釘		1	8
Ⅱ区下層　土坑82				
手づくねかわらけ	小		1	5
かわらけ	小片		4	27
石製品	滑石片		1	19
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		1	4
自然遺物	ハマグリ		1	—
Ⅱ区下層　土坑84				
手づくねかわらけ	小		1	3
	大		5	54
ロクロかわらけ	小		3	67
	大		16	156
かわらけ	小片		6	25
白磁	皿	Ⅸ	1	8
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	10
		Ⅱ	2	90
	甕		24	825
	壺		2	19
渥美	甕		4	97
自然遺物	獣骨		8	—
石製品	滑石鍋		1	12
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		7	47
鉄製品	鉄片		1	15
鉄製品	鉄滓		2	170
建築部材	漆喰		1	26
Ⅱ区下層　土坑85				
手づくねかわらけ	大		2	18
渥美	甕		1	40
漆器	椀		1	—
自然遺物	獣骨		1	—
Ⅱ区下層　土坑86				
手づくねかわらけ	大		1	15
渥美	甕		1	35
自然遺物	獣骨		1	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
	Ⅰ区上層	ピット1		
ロクロかわらけ	大		10	75
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	9
瀬戸	袋物		1	30
常滑	甕		2	44
瓦質土器	火鉢		2	120
鉄製品	釘		2	12
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅰ区上層	ピット2		
手づくねかわらけ	小		1	8
	大		1	7
ロクロかわらけ	小		2	29
	大		17	181
かわらけ	小片		9	30
白かわらけ	小片		1	1
瀬戸	折縁皿		2	91
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	153
		Ⅱ	3	108
	甕		11	359
瓦質土器	火鉢		3	42
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	8
石材	石英		1	27
銅製品	銭		1	4
鉄製品	釘		3	25
	Ⅰ区上層	ピット3		
ロクロかわらけ	大		7	53
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	19
		Ⅱ	2	90
	甕		2	28
	壺		1	17
瓦質土器	火鉢		1	26
鉄製品	釘		1	11
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅰ区上層	ピット4		
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	12
	甕		1	191
鉄製品	釘		1	18
自然遺物	獣骨		3	—
	Ⅰ区上層	ピット5		
ロクロかわらけ	小		1	4
	大		6	60
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	18
	甕		1	17
自然遺物	獣骨		2	—
	Ⅰ区上層	ピット6		
ロクロかわらけ	小		1	7
	大		3	29
龍泉窯系青磁	折縁皿		1	4
常滑	甕		1	39
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅰ区上層	ピット7		
手づくねかわらけ	小		1	5
	大		2	13
ロクロかわらけ	大		1	9
白磁	皿	Ⅸ	1	4
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	160
自然遺物	獣骨		2	—
	Ⅰ区上層	ピット8		
ロクロかわらけ	小		3	48
	大		6	58
かわらけ	小片		4	11
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	31
	甕		9	398
瓦質土器	火鉢		2	217
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅰ区上層	ピット9		
ロクロかわらけ	小		1	11
	大		3	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
龍泉窯系青磁	皿		1	17
	碗	ⅡorⅢ	1	16
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	66
	甕		1	35
備前	すり鉢		1	181
瓦質土器	火鉢		1	38
銅製品	銭		1	4
石材	石英		1	3
自然遺物	獣骨		4	—
	Ⅰ区下層	ピット10		
ロクロかわらけ	小		1	52
常滑	甕		1	36
自然遺物	獣骨		3	—
	Ⅰ区下層	ピット11		
ロクロかわらけ	大		1	34
手づくねかわらけ	小		1	3
	大		5	181
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	179
	甕		3	416
	Ⅰ区下層	ピット12		
常滑	甕		1	25
	Ⅰ区下層	ピット13		
ロクロかわらけ	大		1	10
	Ⅰ区下層	ピット14		
手づくねかわらけ	小		1	11
	大		2	14
ロクロかわらけ	小		1	13
	大		1	7
同安窯系青磁	皿		1	28
常滑	甕		1	50
	Ⅰ区下層	ピット15		
常滑	甕		1	57
自然遺物	獣骨		3	—
	Ⅰ区下層	ピット16		
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	11
		Ⅱ	1	14
	甕		3	58
渥美	鉢		1	19
	Ⅰ区下層	ピット17		
ロクロかわらけ	大		4	35
東濃	山茶碗		1	18
	Ⅰ区下層	ピット19		
鉄製品	釘		3	39
	Ⅱ区上層	ピット20		
ロクロかわらけ	小		1	5
	大		18	115
白磁	皿	Ⅸ	2	13
常滑	片口鉢	Ⅰ	4	70
	甕		4	98
	壺		1	23
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅱ区上層	ピット21		
手づくねかわらけ	小		5	16
	大		6	29
ロクロかわらけ	小		4	48
	大		31	242
かわらけ	小片		15	42
同安窯系青磁	碗		1	2
	皿		1	21
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	2
瀬戸	瓶類		2	32
常滑	片口鉢	Ⅰ	2	57
		Ⅱ	2	39
	甕		28	805
尾張型	山茶碗		1	5
渥美	甕		2	48
銅製品	銭		1	7
鉄製品	釘		16	109
建築部材	漆喰		1	548

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獣骨		3	—
	Ⅱ区上層	ピット22		
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	39
		Ⅱ	1	21
	甕		2	128
	Ⅱ区上層	ピット23		
ロクロかわらけ	小		2	9
	大		16	124
瀬戸	瓶類		1	13
	碗		1	35
瓦質土器	火鉢	D	1	107
石製品	仕上げ砥		1	6
自然遺物	獣骨		3	—
	Ⅱ区上層	ピット24		
手づくねかわらけ	小		1	4
ロクロかわらけ	小		9	49
	大		16	118
かわらけ	小片		10	33
瀬戸	折縁皿		1	12
	柄付片口		2	108
	皿鉢		1	20
常滑	片口鉢	Ⅱ	1	23
	甕		9	236
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	1
鉄製品	板状製品		1	20
自然遺物	獣骨		2	—
	Ⅱ区上層	ピット25		
瀬戸	瓶子		1	266
	Ⅱ区上層	ピット26		
ロクロかわらけ	大		12	82
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	62
		Ⅰ	1	39
	甕		12	451
不明陶器	不明		1	5
瓦質土器	火鉢		1	17
石製品	仕上げ砥		1	2
鉄製品	釘		1	2
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅱ区上層	ピット27		
手づくねかわらけ	大		3	32
ロクロかわらけ	小		3	13
	大		14	126
龍泉窯系青磁	碗	ⅡorⅢ	1	2
常滑	片口鉢	Ⅰ	5	116
		Ⅱ	1	7
	甕		16	850
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	31
		ⅢorⅣ	1	133
鉄製品	釘		1	12
自然遺物	獣骨		2	—
	Ⅱ区上層	ピット28		
ロクロかわらけ	小		3	25
	大		72	600
かわらけ	小片		14	57
土器	南伊勢系鍋		2	52
龍泉窯系青磁	碗	Ⅰ	1	9
	碗皿		2	3
舶載施釉陶器	褐釉壺		1	26
瀬戸	卸皿		1	8
常滑	片口鉢	Ⅰ	9	128
		Ⅱ	2	125
	甕		23	910
渥美	甕		2	80
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	1	37
			2	41
石製品	荒砥	天草	1	26
	仕上げ砥	鳴滝	1	40
鉄製品	釘		8	72
建築部材	漆喰		1	31

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
自然遺物	獣骨		3	—
	Ⅱ区上層	ピット29		
ロクロかわらけ	大		6	37
白磁	水注		1	7
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅱ区上層	ピット30		
白磁	皿	Ⅸ	1	19
	Ⅱ区上層	ピット31		
ロクロかわらけ	大		1	13
鉄製品	釘		2	26
自然遺物	獣骨		2	—
	Ⅱ区上層	ピット32		
ロクロかわらけ	大		7	61
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	13
		Ⅱ	1	70
鉄製品	釘		3	14
自然遺物	獣骨		2	—
	Ⅱ区上層	ピット33		
ロクロかわらけ	小		2	8
	大		5	60
瀬戸	卸皿		1	31
	瓶類		1	4
鉄製品	釘		1	1
	Ⅱ区上層	ピット34		
手づくねかわらけ	小		2	14
	大		3	40
ロクロかわらけ	小		7	46
	大		11	108
白磁	皿	Ⅸ	1	4
瀬戸	卸皿		1	22
	折縁皿		1	24
	瓶類		1	17
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	27
	甕		7	537
渥美	甕		1	23
瓦質土器	火鉢		1	23
鉄製品	釘		11	92
	鉄片		1	36
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅱ区上層	ピット35		
ロクロかわらけ	小		9	93
	大		39	465
かわらけ	小片		19	83
土器	南伊勢系鍋		2	13
瀬戸	折縁皿		3	38
	柄付片口		1	39
尾張型	山茶碗		5	9
常滑	片口鉢	Ⅰ	16	445
		Ⅱ	13	676
	甕		30	1630
	壺		6	158
瓦質土器	火鉢	Ⅰ	5	122
石製品	滑石スタンプ		1	46
鉄製品	釘		5	20
自然遺物	獣骨		2	—
	Ⅱ区上層	ピット36		
ロクロかわらけ	大		10	94
かわらけ	小片		2	7
尾張型	山茶碗		1	6
常滑	片口鉢	Ⅱ	1	30
	甕		1	60
渥美	壺		1	8
	Ⅱ区上層	ピット37		
かわらけ	小片		3	14
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	91
鉄製品	釘		2	7

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
	Ⅱ区上層	ピット38		
ロクロかわらけ	内折れ極小		1	3
	小		3	18
	大		5	32
かわらけ	小片		1	14
土器	南伊勢系鍋		1	1
瀬戸	折縁皿		1	7
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	128
		Ⅱ	1	99
	甕		4	64
瓦質土器	火鉢		1	27
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	3
鉄製品	釘		5	41
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅱ区上層	ピット39		
鉄製品	釘		2	7
	Ⅱ区上層	ピット40		
手づくねかわらけ	小		1	4
ロクロかわらけ	小		5	20
	大		19	110
かわらけ	小片		2	3
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	13
	甕		3	55
鉄製品	釘		1	410
自然遺物	獣骨		2	—
	Ⅱ区上層	ピット41		
ロクロかわらけ	小		9	42
	大		8	95
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	16
		Ⅱ	2	265
備前	すり鉢		1	58
石製品	滑石片		1	10
	中砥	天草	1	80
鉄製品	鉄片		2	4
	Ⅱ区上層	ピット42		
龍泉窯系青磁	坏	Ⅲ	1	2
常滑	片口鉢	Ⅱ	1	735
	甕		3	53
	Ⅱ区上層	ピット43		
ロクロかわらけ	小		1	3
	大		3	30
かわらけ	小片		2	7
瀬戸	卸皿		1	5
	折縁皿		1	9
常滑	片口鉢	Ⅱ	2	65
	甕		1	98
	壺		1	13
渥美	甕		1	71
	壺		1	68
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	10
	Ⅱ区上層	ピット45		
ロクロかわらけ	大		2	25
白磁	皿		1	1
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	15
		Ⅱ	2	65
	甕		2	56
鉄製品	釘		2	21
	鉄滓		1	44
	Ⅱ区上層	ピット46		
ロクロかわらけ	小		1	8
	大		5	69
かわらけ	小片		2	4
瀬戸	卸皿		1	12
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	16
	甕		4	284
瓦質土器	火鉢		1	14
鉄製品	釘		1	3
自然遺物	獣骨		9	—

種別 産地等	器種	分類	破片数	重量 (g)
	Ⅱ区上層	ピット47		
ロクロかわらけ	小		8	61
	大		19	162
かわらけ	小片		4	10
白かわらけ	手づくね		1	6
舶載施釉陶器	褐釉壺		2	36
瀬戸	卸皿		1	67
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	5
		Ⅱ	1	44
	甕		10	635
瓦質土器	火鉢		1	11
銅製品	銭		1	3
鉄製品	刀子		2	165
	釘		10	62
	Ⅱ区上層	ピット49		
ロクロかわらけ	小		6	66
	大		19	186
かわらけ	小片		5	12
常滑	片口鉢	Ⅰ	3	68
		Ⅱ	1	14
	甕		3	175
渥美	甕		1	37
石製品	硯石		1	72
鉄製品	釘		1	4
自然遺物	獣骨		1	—
	Ⅱ区上層	ピット50		
ロクロかわらけ	大		2	42
常滑	片口鉢	Ⅰ	1	11
	甕		1	32
不明陶器	不明		1	11
	Ⅱ区上層	ピット51		
手づくねかわらけ	大		1	14
ロクロかわらけ	小		1	14
	大		12	179
土器	南伊勢系鍋		1	8
常滑	甕		5	106
瓦質土器	火鉢		1	11
石製品	仕上げ砥	鳴滝	1	9
鉄製品	釘		3	12
	Ⅱ区下層	ピット52		
ロクロかわらけ	小		2	31
	大		1	6
常滑	甕		1	15

表６　出土遺物観察表

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図201	在地土器	ロクロかわらけ・小	6.8	4.3	1.8	3/4		○		○		黄灰	Ⅰ区表土 白針
図202	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.0	3.8	2.1	ほぼ完形	43.4	○		○		明黄灰	Ⅰ区表土 白針
図203	在地土器	ロクロかわらけ・大	(12.0)	(6.4)	3.7	1/6		○		○		橙	Ⅰ区表土 白針
図204	在地土器	ロクロかわらけ・大	(12.0)	(8.0)	3.3	1/4		○		○		黄橙	Ⅰ区表土 白針
図205	陶器	常滑甕	—	—	[7.3]	口小片						暗赤褐	Ⅰ区表土 9型式か
図206	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.3	4.8	1.8	完形	40.2	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面上 白針
図207	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.6	5.4	1.6	2/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面上 白針
図208	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.4	5.2	2.1	ほぼ完形	44.3	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面上 白針
図209	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.1	4.7	2.1	ほぼ完形	40.1	○		○		赤橙	Ⅰ区上層遺構面上 白針
図2010	在地土器	ロクロかわらけ・小	(7.4)	(4.7)	2.4	1/2		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面上 白針
図2011	在地土器	ロクロかわらけ・大	12.0	7.0	3.2	2/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面上 白針
図2012	在地土器	ロクロかわらけ・大	(13.8)	(8.6)	3.5	1/3		○				黄橙	Ⅰ区上層遺構面上 白針
図2013	舶載磁器	龍泉窯系青磁坏Ⅲ-4b類	(11.6)	(5.5)	4.0	1/3（口1/6～底3/4）						灰緑不透明	Ⅰ区上層遺構面上
図2014	舶載磁器	白磁水注	—	—	—	注口部小片						水透明	Ⅰ区上層遺構面上
図2015	陶器	瀬戸折縁深皿	(22.5)	(15.1)	5.8	1/6						淡灰緑	Ⅰ区上層遺構面上 中期様式前半
図2016	陶器	瀬戸卸皿	(16.2)	(5.9)	3.4	1/4						淡黄灰	Ⅰ区上層遺構面上 後Ⅰ期
図2017	陶器	瀬戸底卸目皿	—	—	[2.2]	底片						灰緑	Ⅰ区上層遺構面上
図2018	陶器	常滑甕	—	—	[7.2]	口小片						褐	Ⅰ区上層遺構面上 9型式
図2019	陶器	備前すり鉢	—	—	[9.2]	口～胴片						暗茶褐	Ⅰ区上層遺構面上
図2020	陶器	備前すり鉢	—	—	[5.3]	口小片						赤褐	Ⅰ区上層遺構面上
図2021	陶器	備前すり鉢	—	—	—	胴片						茶褐	Ⅰ区上層遺構面上
図2022	在地土器	鍔付鍋	(10.0)	—	[3.9]	口1/6						淡灰黄	Ⅰ区上層遺構面上
図2023	陶器	常滑片転用研磨具	長さ 5.4	幅 6.7	厚さ 1.1	甕胴部片	48.3					褐	Ⅰ区上層遺構面上
図2024	陶器	常滑片転用研磨具	長さ 7.6	幅 6.1	厚さ 1.2	甕胴部片	64.7					褐	Ⅰ区上層遺構面上
図2125	石製品	砥石	長さ [12.0]	幅 [7.8]	厚さ 8.5	一部欠損	[1265]	○		○		黒灰	Ⅰ区上層遺構面上 荒砥(天草)
図2126	石製品	砥石	長さ [11.2]	幅 7.9	厚さ 7.5	一部欠損	[546.5]					灰黒	Ⅰ区上層遺構面上 荒砥(笹口)
図2127	石製品	砥石	長さ [6.2]	幅 4.6	厚さ 4.1	一部欠損	[180]					灰	Ⅰ区上層遺構面上 中砥
図2128	石製品	砥石	長さ [7.0]	幅 4.7	厚さ 3.6	一部欠損	[196]						Ⅰ区上層遺構面上 中砥(伊予)
図2129	石製品	砥石	長さ [7.3]	幅 4.7	厚さ 3.5	一部欠損	[137.2]					白	Ⅰ区上層遺構面上 中砥
図2130	石製品	砥石	長さ [4.7]	幅 [3.0]	厚さ 0.9	一部欠損	[21.5]					淡黄灰	Ⅰ区上層遺構面上 仕上げ砥(鳴滝)
図2131	石製品	砥石	長さ [3.9]	幅 3.0	厚さ 0.7	一部欠損	[13.5]					淡黄灰	Ⅰ区上層遺構面上 仕上げ砥(鳴滝)
図2132	鉄製品	釘	長さ 7.7	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	5					—	Ⅰ区上層遺構面上
図2133	銅製品	銭 祥符元寶(真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面上 中国北宋代 1009年
図2134	銅製品	銭 明道元寶(篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面上 中国北宋代 1032年

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図21 35	銅製品	銭 熙寧元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面上 中国北宋代 1068年
図21 36	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面上 中国北宋代 1078年
図21 37	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.3	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面上 中国北宋代 1078年
図21 38	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.8					—	Ⅰ区上層遺構面上 中国北宋代 1086年
図21 39	銅製品	銭 政和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	3					—	Ⅰ区上層遺構面上 中国北宋代 1111年
図21 40	骨角製品	双六駒	—	直径 2.0	厚さ 0.6	完形	3.2					黄白	Ⅰ区上層遺構面上
図22 41	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.2	4.2	1.8	1/2		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面上 白針
図22 42	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.1	4.6	1.9	完形	35.8	○				橙	Ⅱ区上層遺構面上 白針
図22 43	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.5	4.8	1.9	2/3				○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面上 白針
図22 44	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.8	2.3	3/4						橙	Ⅱ区上層遺構面上 白針
図22 45	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.4)	2.7	口小～底完存		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面上 白針
図22 46	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.3	ほぼ完形	41.7	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面上 白針
図22 47	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.9	2.2	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面上 白針 口縁部付近煤付着
図22 48	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.2)	(8.0)	3.0	1/3		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面上 白針
図22 49	陶器	陶丸	—	直径 2.4	厚さ 2.4	完形	14					橙	Ⅱ区上層遺構面上
図22 50	土製品	双六駒	長さ 2.8	幅 2.6	厚さ 0.8	完形	7					黄橙	Ⅱ区上層遺構面上
図22 51	土製品	紡錘車?	最大径 (5.4)	厚さ 2.2	孔径 0.6	1/2	[28.1]					灰	Ⅱ区上層遺構面上
図22 52	土製品	管状土錘	長さ 4.4	幅 2.4	孔径 1.6	完形	16.8					橙	Ⅱ区上層遺構面上
図22 53	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ 7.3	幅 4.4	厚さ 2.5	ほぼ完形	[80.8]					—	Ⅱ区上層遺構面上
図22 54	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ 4.4	幅 6.2	厚さ 2.3	ほぼ完形	[75.2]					—	Ⅱ区上層遺構面上
図22 55	石製品	硯	長さ [7.4]	幅 8.5	厚さ 2.1	一部欠損	[207.5]						Ⅱ区上層遺構面上 鳴滝硯
図22 56	石製品	砥石	長さ [6.4]	幅 2.9	厚さ 1.9	一部欠損	[57.9]						Ⅱ区上層遺構面上 中砥(上野)
図22 57	陶器	須恵器片 転用研磨具	—	—	—	甕胴部片	129.6					暗灰	Ⅱ区上層遺構面上
図22 58	舶載磁器	青白磁 梅瓶	—	8.7	[2.1]	底部のみ完形						灰 半透明	Ⅱ区上層遺構面上
図22 59	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.1	1.7	ほぼ完形	55.8	○		○		暗黄灰	Ⅱ区上層遺構面上 B-5 白針
図22 60	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.7	2.4	2/3		○		○		明橙灰	Ⅱ区上層遺構面上 B-5 白針
図22 61	石製品	砥石	長さ [8.7]	幅 3.3	厚さ 1.3	一部欠損	[41.2]					灰白	Ⅱ区上層遺構面上 B-5 白針
図22 62	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面上 B-5 白針
図22 64	舶載磁器	白磁 碗Ⅸ類	(15.4)	—	[5.8]	口～体1/6						灰白 透明	Ⅱ区上層遺構面上 B-10
図22 65	陶器	瀬戸 碗	(13.8)	—	[5.9]	口～体1/5						緑灰	Ⅱ区上層遺構面上 B-10
図22 66	陶器	瀬戸 蓋?	最大径 4.5	—	1.3	完形						暗茶褐	Ⅱ区上層遺構面上 B-10
図22 67	陶器	常滑片 転用研磨具	長さ 6.0	幅 5.5	厚さ 1.0	甕胴部片	52.2					暗赤褐	Ⅱ区上層遺構面上 B-10
図22 68	石製品	砥石	長さ [7.3]	幅 3.1	厚さ 2.2	一部欠損	[83.8]					灰白	Ⅱ区上層遺構面上 B-10 中砥(伊予)
図22 69	石製品	砥石	長さ [4.9]	幅 3.4	厚さ 2.6	一部欠損	[64.5]					橙灰白	Ⅱ区上層遺構面上 B-10 仕上げ砥(出羽か)

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図2270	銅製品	銭 聖宋元寶(行書)	直径2.4	孔径0.6	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面上 B-10 中国北宋代 1101年
図2271	銅製品	銭 政和通寶(篆書)	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面上 B-10 中国北宋代 1111年
図2372	在地土器	ロクロかわらけ・中	(9.2)	(5.6)	2.6	2/3		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 白針
図2373	在地土器	ロクロかわらけ・大	12.6	7.8	3.5	2/3		○		○		淡黄灰	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 白針
図2374	在地土器	ロクロかわらけ・大	13.9	8.1	3.7	2/3				○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 白針
図2375	舶載陶器	褐釉壷	(5.6)	—	[6.7]	口1/4						灰黄	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 口縁歪み強い
図2376	陶器	瀬戸花瓶ⅠA類	—	—	—	胴下部のみ						灰緑	Ⅱ区上層遺構面上 C-5
図2377	銅製品	銭 皇宋通寶(篆書)	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形	3.1					—	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 中国北宋代 1038年
図2378	銅製品	銭 皇宋通寶(篆書)	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面上 C-5 中国北宋代 1038年
図2379	銅製品	銭 銭種不明	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形	3.1					—	Ⅱ区上層遺構面上 C-5
図2380	石製品	砥石	長さ[5.4]	幅3.3	厚さ0.6～0.8	一部欠損	[26.1]					橙	Ⅱ区上層遺構面上 C-9 仕上げ砥(鳴滝)
図2381	銅製品	銭 元祐通寶(行書)	直径2.4	孔径0.7	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面上 C-9 中国北宋代 1086年
図2382	陶器	尾張型山茶碗小皿	8.5	5.7	2.0	2/3						灰	Ⅱ区試掘坑内
図2383	在地土器	ロクロかわらけ・小	(7.8)	6.3	1.6	1/2		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 近世土坑 白針
図2484	在地土器	ロクロかわらけ・大	(12.0)	8.0	3.4	2/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 建物1 白針
図2485	在地土器	ロクロかわらけ・大	12.7	(8.2)	3.5	1/2		○		○		淡橙	Ⅰ区上層遺構面 建物1 白針
図2486	在地土器	ロクロかわらけ・大	13.5	8.0	3.6	4/5		○				橙	Ⅰ区上層遺構面 建物1 白針
図2487	舶載磁器	高麗青磁瓶子	—	—	—	胴部小片						灰 透明	Ⅰ区上層遺構面 建物1
図2488	舶載磁器	龍泉窯系青磁坏Ⅲ-1a類	(12.0)	(6.5)	4.4	1/4						灰青 不透明	Ⅰ区上層遺構面 建物1
図2489	陶器	瀬戸入子	—	4/5	[3.2]	底4/5						灰白	Ⅰ区上層遺構面 建物1
図2490	陶器	常滑甕	(23.7)	—	[9.6]	口～胴片						灰褐	Ⅰ区上層遺構面 建物1 6b型式
図2491	瓦質土器	火鉢IVC類	—	—	[11.6]	口～底片						暗灰	Ⅰ区上層遺構面 建物1
図2492	在地土器	かわらけ転用円盤	—	径4.7	厚さ1.1	ほぼ完形						暗赤褐	Ⅰ区上層遺構面 建物1
図2493	石製品	硯	長さ[6.0]	幅7.6	厚さ1.9	一部欠損	[86.5]					赤褐	Ⅰ区上層遺構面 建物1 鳴滝
図2494	石製品	砥石	長さ[6.5]	幅[6.8]	厚さ[7.0]	一部欠損	[505]					灰白～明赤灰	Ⅰ区上層遺構面 建物1 中砥(天草)
図2495	石製品	砥石	長さ[15.3]	幅[7.9]	厚さ4.7	一部欠損	[43.3]					灰白	Ⅰ区上層遺構面 建物1 中砥(伊予)
図2496	銅製品	銭 開元通寶(真書)	直径2.4	孔径0.6	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 建物1 中国唐代 621年
図2497	銅製品	銭 皇宋通寶(真書)	直径2.3	孔径0.6	厚さ0.1	一部欠損	3					—	Ⅰ区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1038年
図2498	銅製品	銭元豊通寶(篆書)	直径2.5	孔径0.7	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1078年
図2499	銅製品	銭 元符通寶(行書)	直径2.5	孔径0.6	厚さ0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 建物1 中国北宋代 1098年
図24100	在地土器	ロクロかわらけ・小	8.0	5.9	1.8	3/5		○		○		淡橙	Ⅰ区上層遺構面 建物1床面上 白針
図24101	在地土器	ロクロかわらけ・小	(8.5)	(6.7)	1.8	1/2		○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 建物1床面上 白針
図24102	在地土器	ロクロかわらけ・大	(12.6)	(8.8)	3.0	1/2				○		灰黄	Ⅰ区上層遺構面 建物1床面上 白針
図24103	土製品	管状土錘	長さ[4.7]	幅1.3	孔径0.5	一部欠損	[5.6]					橙	Ⅰ区上層遺構面 建物1床面上

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図24 104	石製品	砥石	長さ [8.0]	幅 4.4	厚さ 0.7	一部欠損	[34.4]					緑灰	Ⅰ区上層遺構面 建物1床面上 仕上げ砥(鳴滝)
図24 105	石製品	双六駒	—	径 2.1	厚さ 0.2	ほぼ完形	2					緑味灰	Ⅰ区上層遺構面 建物1床面上
図24 106	銅製品	銭 嘉定通寶	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 建物1床面上 中国南宋代 1208年
図24 107	銅製品	銭 皇□元寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 建物1床面上
図25 108	在地土器	ロクロかわらけ・小	(10.2)	(4.0)	1.8	1/2		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 109	在地土器	ロクロかわらけ・小	(5.8)	(3.7)	2.0	2/5		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 110	在地土器	ロクロかわらけ・小	(5.8)	(3.6)	1.8	1/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 111	在地土器	ロクロかわらけ・小	6.3	3.9	2.0	ほぼ完形	37.1			○		橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針 二次焼成か
図25 112	在地土器	ロクロかわらけ・小	(5.8)	4.7	1.8	1/3		○				淡橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 113	在地土器	ロクロかわらけ・小	(7.0)	(4.2)	2.4	1/2		○		○		淡橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 114	在地土器	ロクロかわらけ・小	(7.7)	4.8	2.0	1/2		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 115	在地土器	ロクロかわらけ・小	(7.8)	4.8	2.2	2/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 116	在地土器	ロクロかわらけ・小	(7.6)	4.3	2.4	4/5		○				淡橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針 口縁部一部煤付着
図25 117	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.6	4.9	2.6	ほぼ完形	57.2	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 118	在地土器	ロクロかわらけ・小	(8.7)	6.6	2.4	1/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 119	在地土器	ロクロかわらけ・小	(10.4)	(6.4)	2.4	1/4		○		○		淡橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 120	在地土器	ロクロかわらけ・中	(8.6)	6.2	3.2	1/4		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 121	在地土器	ロクロかわらけ・大	(11.0)	(7.6)	3.6	1/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 122	在地土器	ロクロかわらけ・大	(11.4)	(7.4)	3.3	1/4		○		○		淡橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 123	在地土器	ロクロかわらけ・大	(12.5)	(10.0)	2.9	1/4		○		○		淡橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 白針
図25 124	舶載陶器	鈞窯系 花盆か	—	—	—	体片						褐～青灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図25 125	陶器	瀬戸 小天目	(11.7)	5.0	3.4	ロ～底2/3						暗赤褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 後Ⅲ期か
図25 126	陶器	瀬戸 碗	—	(4.4)	[2.7]	底片						黒褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図25 127	陶器	瀬戸 緑釉小皿	—	—	[2.4]	ロ小片						灰緑	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図25 128	陶器	瀬戸 緑釉小皿	—	—	[2.3]	ロ小片						灰緑	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図25 129	陶器	瀬戸 卸皿	(16.6)	(8.0)	4.4	1/4						淡橙～淡黄	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 中期前半か
図25 130	陶器	瀬戸 卸皿	(11.5)	(6.0)	2.6	ロ～底1/4						灰緑	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 中期前半か
図25 131	陶器	瀬戸 底卸目皿	—	8.8	[3.0]	底2/3						灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図25 132	陶器	常滑 広口壺	(14.8)	—	[6.0]	ロ1/3						黒褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 6型式
図25 133	陶器	常滑 甕	—	—	[7.2]	ロ小片						褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 10型式
図25 134	陶器	常滑 甕	—	—	—	体片						灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図25 135	陶器	常滑 甕	—	—	—	体片						茶褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図25 136	陶器	常滑 甕	—	—	—	体片						赤褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図25 137	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[5.7]	ロ小片						赤褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 8型式
図25 138	陶器	常滑 転用研磨具	長さ 12.0	幅 5.5	厚さ 1.5	甕胴部片	130.5					褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図25 139	石製品	硯	長さ [7.0]	幅 6.0	長さ 1.3	一部欠損	[69.4]					黒褐	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 鳴滝硯
図25 140	石製品	硯 不明転用品	長さ [2.4]	幅 [2.8]	厚さ 1.8	不明	[22.8]					暗赤紫	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 赤間・紫金石
図26 141	石製品	砥石	長さ [15.3]	幅 [7.9]	厚さ 4.7	一部欠損	[640]					黒褐～灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 荒砥(天草)
図26 142	石製品	砥石	長さ [10.3]	幅 6.5	厚さ 5.6	一部欠損	[665]					黒褐～灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 荒砥(天草)
図26 143	石製品	砥石	長さ [11.0]	幅 6.4	厚さ [6.6]	一部欠損	[540]					灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 荒砥(伊予)
図26 144	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 [4.8]	厚さ 3.5	一部欠損	[266]					灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)
図26 145	石製品	砥石	長さ [12.6]	幅 5.1	厚さ 3.5	一部欠損	[263.8]					灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)
図26 146	石製品	砥石	長さ [3.6]	幅 4.2	厚さ 1.1	一部欠損	[22.3]					灰白	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 中砥(天草)
図26 147	石製品	砥石	長さ [7.5]	幅 1.7	厚さ 1.8	一部欠損	[47.5]					灰緑	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 仕上げ砥(上野)
図26 148	石製品	砥石	長さ [4.0]	幅 3.5	厚さ 1.2	一部欠損	[34.2]					灰緑	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 仕上げ砥(湯沢?)
図26 149	石製品	加工石	長さ [4.0]	幅 [4.7]	厚さ 2.2	一部欠損	[70.6]					黒褐～灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図26 150	骨角製品	栓?	長さ 2.2	長さ 1.1	長さ 1.0	完形	3.1						Ⅰ区上層遺構面 井戸1 鹿角製
図26 151	貝製品	漆パレット	長さ 7.6	長さ [7.5]	長さ 0.6	一部欠損							Ⅰ区上層遺構面 井戸1 ハマグリ
図26 152	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅰ区上層遺構面 井戸1 中国北宋代 1078年
図26 153	銅製品	銭 至□元寶	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	2/3	1					—	Ⅰ区上層遺構面 井戸1
図26 154	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.3	5.3	2.3	ほぼ完形	54			○		灰黄	Ⅰ区上層遺構面 井戸1最下層 白釉 口唇部煤付着
図26 155	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.8	4.1	2.2	ほぼ完形	53	○		○		赤橙	Ⅰ区上層遺構面 井戸1最下層 白釉 口唇部煤付着
図26 156	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.6	1.9	ほぼ完形	55	○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 井戸1最下層 白釉
図27 157	陶器	常滑 甕	(48.8)	21.6	77.0	口2/3～底完存						赤褐	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 7型式か
図27 158	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	5.9	1.6	2/3		○		○		灰黄	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 白釉
図27 159	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.6	1.9	3/4		○		○		灰黄	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 白釉
図27 160	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.0	1.9	ほぼ完形	65.2	○		○		灰黄	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 白釉
図27 162	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(7.6)	(5.2)	1.8	1/2		○				黄橙	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 白釉
図27 162	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.2	8.0	3.4	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 白釉
図27 163	陶器	ロクロ かわらけ・大	12.5	6.8	3.5	4/5		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 白釉
図27 164	陶器	常滑 甕	—	—	[8.3]	口小片						赤褐	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構
図27 165	陶器	備前 すり鉢	—	—	[8.0]	口～胴片						赤褐	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 166と同一個体か
図27 166	石製品	備前 すり鉢	—	—	[6.6]	底～胴片						赤褐	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 165と同一個体か
図27 167	石製品	砥石	長さ [5.5]	幅 [3.8]	厚さ 1.1	ほぼ完形	[31.6]					淡黄灰	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 仕上げ砥(鳴滝)
図27 168	石製品	砥石	長さ [4.3]	幅 3.3	厚さ 0.9	一部欠損	[20.4]					淡黄灰	Ⅱ区上層遺構面 据え甕遺構 仕上げ砥(鳴滝)
図28 169	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	5.5	1.5	ほぼ完形	50.6	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白釉
図28 170	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.8)	1.7	1/2		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白釉
図28 171	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(5.6)	2.0	1/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白釉
図28 172	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.6	2.0	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白釉
図28 173	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	2.3	1/2		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白釉

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図28 174	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	2.1	4/5		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針
図28 175	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.1	2.2	3/5		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 176	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.0	2.4	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 177	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.4	2.4	3/4		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 178	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	2.2	ほぼ完形	52.1			○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 179	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.1	2.1	完形	54.8	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 180	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	2.0	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針
図28 181	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	4.3	1.9	ほぼ完形	41.1	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 182	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(13.1)	(7.7)	3.8	1/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針
図28 183	舶載磁器	手づくね かわらけ・小	8.0	—	2.0	1/2						淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 白針 口縁部煤付着
図28 184	舶載磁器	白磁 合子蓋	最大径 (7.6)	—	[2.1]	1/2弱						水 透明	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 185	陶器	瀬戸 花瓶ⅠA類	—	—	[1.7]	蓋小片						水 透明	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中Ⅰ期か
図28 186	陶器	瀬戸 花瓶ⅠB類	3.7	4.5	10.4	ほぼ完形						褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中期様式か
図28 187	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[7.5]	口～体片						赤褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 188	陶器	常滑 転用研磨具	長さ 11.5	幅 9.3	厚さ 0.9	不明						褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 189	陶器	常滑 転用研磨具	長さ 6.8	幅 4.4	厚さ 0.9	不明						灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 190	陶器	常滑 転用研磨具	長さ [3.2]	幅 3.7	厚さ 1.2	不明						灰褐～褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 191	陶器	常滑 転用研磨具	長さ [4.2]	幅 4.2	厚さ 1.3	不明						茶褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 192	瓦質土器	香炉	(9.1)	(8.0)	6.5	2/3						暗灰～黒灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 193	石製品	砥石	長さ [7.5]	幅 [5.6]	厚さ 5.5	一部欠損	[253.8]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中砥(天草)
図28 194	石製品	砥石	長さ [7.0]	幅 3.1	厚さ 0.9	一部欠損	[72.7]					淡黄	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 195	石製品	砥石	長さ [4.5]	幅 3.0	厚さ 2.5	一部欠損	[76.5]					黒褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中砥(天草)
図28 196	石製品	砥石	長さ [4.6]	幅 3.3	厚さ 0.5	一部欠損	[13.1]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 197	石製品	砥石	長さ [5.5]	幅 3.4	厚さ 1.0	一部欠損	[31.4]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 198	石製品	砥石	長さ [4.8]	幅 3.6	厚さ 1.2	一部欠損	[37.1]					灰黄	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 199	鉄製品	砥石	長さ [3.5]	幅 [2.5]	厚さ 0.7	一部欠損	[11.6]					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 仕上げ砥(鳴滝)
図28 200	鉄製品	蓋	9.8	—	3.4	ほぼ完形	[59.1]					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 201	鉄製品	棒状製品	長さ [12.4]	幅 0.6	厚さ 0.6	一部欠損	[9.9]					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 紡錘車の軸棒か
図28 202	ガラス片	器種不明	—	—	—	小片	[2.9]					青	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1
図28 203	銅製品	銭 咸平元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中国北宋代 998年
図28 204	銅製品	銭 景祐元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中国北宋代 1034年
図28 205	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中国北宋代 1038年
図28 206	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中国北宋代 1038年
図28 207	銅製品	銭 元豊通寶	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中国北宋代 1078年
図28 208	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 中国北宋代 1086年

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図28 209	銅製品	銭 嘉定通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上)中国南宋代 1208年
図29 210	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.3)	4.4	1.6	1/3		○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構4 (床面上) 白針
図29 211	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	4.8	1.8	口1/4～底完存		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 (床面上) 白針
図29 212	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(5.0)	1.8	1/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構3 (床面上) 白針
図29 213	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	(4.5)	2.0	1/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上) 白針
図29 214	陶器	常滑 甕	—	—	[5.1]	口小片						褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上) 6b型式
図29 215	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[8.0]	口～体片						灰褐色	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上)
図29 216	陶器	東播系須恵器 片口鉢	—	—	[2.6]	口小片						灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上)
図29 217	石製品	硯	長さ [6.4]	幅 [3.6]	厚さ 2.3	一部欠損	[306.8]					灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上)
図29 218	石製品	砥石	長さ [3.4]	幅 3.3	厚さ 2.4	一部欠損	[51.1]					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上) 中砥(鳴滝)
図29 219	石製品	砥石	長さ [9.0]	幅 5.3	厚さ 4.4	一部欠損	[47.6]					黄灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上) 中砥(伊予)
図29 220	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上)中国北宋代 1038年
図29 221	銅製品	銭 嘉祐元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上)中国北宋代 1056年
図29 222	銅製品	銭 熙寧元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上)中国北宋代 1068年
図29 223	銅製品	銭 元符通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構1 (床面上)中国北宋代 1098年
図30 224	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	3.6	2.3	1/2						橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針 内外面煤付着
図30 225	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.6	2.2	2/3						橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針 口縁部煤付着
図30 226	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.1	2.4	ほぼ完形	45	○				橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針 口縁部煤付着
図30 227	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	4.6	2.0	ほぼ完形	37	○				褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 228	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.9	2.3	1/2		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 229	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.0)	5.0	2.0	1/2		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 230	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.2	1.7	2/3		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 231	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.5	2.2	2/3		○				黄灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 232	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	2.2	2/3		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 233	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.1	2.2	ほぼ完形	51	○				橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 234	在地土器	ロクロ かわらけ・中	(9.5)	(5.5)	3.0	1/4		○				淡橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 235	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.4)	7.6	3.3	1/2		○				橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 236	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(13.2)	7.6	3.6	3/4		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白針
図30 237	舶載磁器	龍泉窯系青磁 算木文香炉	(13.1)	—	[3.5]	口小片						緑 半透明	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2
図30 238	舶載磁器	龍泉窯系青磁 香炉	—	—	[3.6]	口小片						緑	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2
図30 239	陶器	瀬戸 折縁深皿	(22.6)	—	[4.7]	口1/4						淡灰黄	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 中期様式
図30 240	陶器	瀬戸 折縁深皿	(24.6)	—	[5.6]	口1/6						灰白	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 中期様式
図30 241	陶器	瀬戸 折縁深皿	(21.5)	—	[5.5]	口1/4						淡灰緑	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 中期様式
図30 242	陶器	瀬戸 卸皿	(14.0)	—	[3.0]	口小片						淡灰緑	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 中期様式
図30 243	陶器	瀬戸 卸皿	(15.0)	—	[5.3]	口1/4						淡灰緑	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 中期様式

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図30 244	陶器	常滑 甕	—	—	[6.6]	口小片						茶褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 6a型式
図30 245	陶器	常滑 甕	—	—	[5.6]	口小片						暗褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 6a型式
図30 246	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[7.0]	口小片						暗赤褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 7～8型式
図30 247	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[3.4]	口小片						暗赤褐	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 7～8型式
図30 248	陶器	東播系須恵器 片口鉢	—	—	[4.8]	口小片						灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2
図30 249	陶器	東播系須恵器 片口鉢	—	—	[3.3]	口小片						灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2
図30 250	土製品	かわらけ 転用円盤	長さ [2.4]	幅 2.9	厚さ 0.7	一部欠損	[5.6]					橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図30 251	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	8.6	3.3	1/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 井戸状遺構 白釧
図30 252	銅製品	銭 紹聖元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 井戸状遺構 中国北宋代 1094年
図31 253	土製品	管状土錘	長さ 7.1	幅 1.2	孔径 0.6	一部欠損	[9.1]					暗橙灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑1
図31 254	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ 4.6	幅 4.9	厚さ 2.8	ほぼ完形	[76.4]					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑2
図31 255	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ [1.9]	幅 3.4	厚さ 0.9	小片						—	Ⅰ区上層遺構面 土坑2
図31 256	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.9	1.6	完形	43.6	○		○		明黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑3 白釧 口唇部煤付着
図31 257	銅製品	銭 嘉定通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑5 中国北宋代 1086年
図31 258	陶器	常滑 甕	(36.4)	—	[8.4]	口1/5～体片						暗赤褐	Ⅰ区上層遺構面 土坑8 8～9型式
図31 259	瓦質土器	火鉢ⅣA類	—	—	[5.5]	口小片						淡橙灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑8
図31 260	骨製品	筆軸	長さ 3.9	直径 1.2	孔径 0.6	3/4	[2.8]					黒褐	Ⅰ区上層遺構面 土坑8
図31 261	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.6	2.2	ほぼ完形	39.4	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑11 白釧
図31 262	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	5.3	1.6	4/5		○		○		明黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑11 白釧
図31 263	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(11.6)	6.9	3.3	1/5		○		○		明黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑11 白釧
図31 264	在地土器	手づくね かわらけ・大	13.4	—	3.0	3/4		○				橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑14 白釧
図31 265	陶器	東播系須恵器 甕	—	—	[7.1]	口小片						黒褐	Ⅰ区上層遺構面 土坑18
図31 266	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	(4.7)	2.2	1/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑24 白釧 口唇部打ち欠き　煤付着
図31 267	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.5	2.1	ほぼ完形	46.6	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白釧
図31 268	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.7	6.6	3.3	完形	150	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白釧
図31 269	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.4	3.3	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白釧
図31 270	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	8.3	3.8	完形	201	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑31 白釧 内外面に煤付着
図31 271	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.3	2.3	完形	48.5	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑33 白釧 口唇部打ち欠き 口縁～底部内面煤付着
図31 272	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.9	2.2	3/4		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑33 白釧
図31 273	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.2	7.2	3.7	1/2		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑34 白釧
図32 274	陶器	備前 すり鉢	(29.0)	—	[11.8]	口1/5～体1/4						暗茶褐	Ⅱ区上層遺構面 土坑35
図32 275	陶器	備前 すり鉢	—	—	—	胴部小片						暗褐	Ⅱ区上層遺構面 土坑35
図32 276	瓦質土器	香炉?	最大径 (9.4)	(7.0)	[4.3]	1/3						灰～黒	Ⅰ区上層遺構面 土坑35 外底面の一部漆付着
図33 277	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.8	2.3	3/4		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 白釧

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図33 278	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.1	8.1	3.8	完形	203.7	○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 白針
図33 279	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.5	3.7	3/4		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 白針
図33 280	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	8.5	3.5	4/5		○		○		明橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 白針
図33 281	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.4	7.2	3.2	ほぼ完形	176.2	○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 白針
図33 282	陶器	備前 すり鉢	(25.5)	14.0	13.3	口1/8～底1/2弱						橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑36
図33 283	陶器	備前 すり鉢	(26.8)	(13.2)	12.0	1/4						橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑36
図33 284	瓦質土器	香炉	(10.3)	(8.6)	4.6	1/3						淡橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑36
図33 285	瓦質土器	火鉢IVA類	—	—	[11.8]	口～体片						橙灰白	Ⅰ区上層遺構面 土坑36
図33 286	石製品	砥石	長さ [6.7]	幅 6.0	厚さ 5.8	一部欠損	[365]					橙灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 中砥(天草)
図33 287	鉄製品	飾り金具	—	直径 6.2	厚さ 0.1	ほぼ完形	[21.3]					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑36
図33 288	銅製品	銭 至道元寶 (行書)	直径 2.6	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 995年
図33 289	銅製品	銭 開禧通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 中国南宋代 1205年
図33 290	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 1038年
図33 291	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑36 中国北宋代 1038年
図34 292	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(6.0)	(4.3)	1.5	1/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 293	在地土器	ロクロ かわらけ・小	5.8	4.0	2.0	完形	34.9	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 294	在地土器	ロクロ かわらけ・小	5.7	4.2	1.9	ほぼ完形	31.2	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 295	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.0	4.9	2.0	完形	35.3	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 296	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.1	5.1	1.8	完形	35.3	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 297	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.1	5.4	2.0	完形	39.4	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 298	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.2	5.5	2.1	完形	45.7	○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 299	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.4	4.9	1.9	完形	38.8	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 300	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.3	4.8	2.3	完形	46.3	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 301	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.6	2.3	ほぼ完形	39.6	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 302	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.5	5.5	2.3	完形	44.6	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 303	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.9	4.5	2.2	完形	43.3	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 304	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	1.7	ほぼ完形	48.2	○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 305	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	2.2	ほぼ完形	55.4	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 306	在地土器	ロクロ かわらけ・小	6.7	5.3	2.0	完形	52.3	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 307	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.5	2.6	完形	61.5	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 308	在地土器	ロクロ かわらけ・中	9.1	6.6	3.0	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 309	在地土器	ロクロ かわらけ・中	9.7	7.4	3.0	3/4		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 310	在地土器	ロクロ かわらけ・中	(10.5)	6.7	3.3	1/4		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 311	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.0	6.7	2.9	完形	104.6	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 312	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.0	7.3	3.0	完形	107	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図34 313	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.8	7.1	3.0	ほぼ完形	131.8	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針　中～大の中間か
図34 314	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.2	6.9	2.8	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 315	在地土器	ロクロ かわらけ・中	11.2	7.0	2.9	3/4		○		○		明橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針　中～大の中間か
図34 316	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.2	5.5	3.0	完形	108.6	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 317	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.4	6.0	3.3	2/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 最下層 白針
図34 318	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.2	7.1	2.8	ほぼ完形	102.5	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39
図34 319	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.0	3.1	完形	130.6	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針　中～大の中間か
図34 320	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.8	6.9	3.2	完形	142	○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針　中～大の中間か
図34 321	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.2)	(8.7)	3.2	2/3		○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 白針
図34 322	陶器	瀬戸 緑釉小皿	(11.2)	(5.0)	3.0	1/4						暗緑	Ⅱ区上層遺構面 土坑39 後Ⅱ～Ⅲ期か
図34 323	土製品	管状土錘	長さ 4.2	最大径 2.6	孔径 1.2	ほぼ完形	[18.1]					赤橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑39
図34 324	石製品	砥石	長さ [5.2]	幅 2.4	厚さ 2.0	一部欠損	[53.7]					灰白	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 中砥(上野)
図34 325	石製品	火打石	長さ 3.2	幅 2.1	厚さ 0.8	ほぼ完形	[8.3]					白色半透明	Ⅰ区上層遺構面 土坑39
図34 326	骨製品	賽子	長さ 0.8	幅 0.8	厚さ 0.8	ほぼ完形	[0.6]					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 イかサマ(奇数目のみ)
図34 327	銅製品	銭 嘉祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 中国北宋代 1056年
図34 328	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑39 中国北宋代 1078年
図34 329	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.5	2.1	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑42 白針 口縁部に煤付着
図34 330		天目茶碗	—	—	[5.9]	口～胴片						黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑43
図34 331	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.2	1.7	4/5		○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑46 白針 口唇部打ち欠き 全体に黒変
図34 332	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	5.0	1.7	2/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑46 白針
図34 333	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.3)	(3.9)	2.3	1/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑46 白針
図34 334	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.5	7.9	3.3	4/5		○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑46 白針
図34 335	銅製品	銭 □宋元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑47
図34 336	陶器	瀬戸 天目茶碗A類	(11.0)	(4.7)	[5.9]	1/4						灰緑	Ⅰ区上層遺構面 土坑49
図34 337	石製品	硯	長さ [5.6]	幅 [5.5]	厚さ 1.2	一部残存	[60.2]	○		○		灰褐	Ⅰ区上層遺構面 土坑49
図34 338	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 4.4	厚さ 3.9	両端欠損	[219]					灰橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑49 中砥(伊予?)
図34 339	石製品	砥石	長さ [5.8]	幅 2.7	厚さ 0.6	両端欠損	[14.8]					灰黄	Ⅰ区上層遺構面 土坑49 仕上げ砥(鳴滝)
図35 340	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(5.6)	1.7	1/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑50 白針
図35 341	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.1					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑50 中国北宋代 1038年
図35 342	陶器	常滑 甕	(32.2)	—	[10.2]	口1/6						褐	Ⅰ区上層遺構面 土坑50
図35 343	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.5)	(5.4)	1.7	1/3		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑53 白針
図35 344	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(4.9)	2.3	1/3		○				黄灰	Ⅰ区上層遺構面 土坑54 白針
図35 345	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.2	完形	47.1	○				黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑55 白針
図35 346	銅製品	煙管	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑57 上部「亀」の文字刻印

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図35 347	石製品	砥石	長さ [10.2]	幅 3.0	厚さ 2.5	完形ヵ	124.2					灰緑白	Ⅰ区上層遺構面 土坑57 中砥(上野)
図35 348	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑60 中国北宋代 1078年
図35 349	銅製品	銭 紹聖元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑60 中国北宋代 1094年
図35 350	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.2	2.1	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑62 白針 口唇部一部煤付着
図35 351	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.8	2.3	ほぼ完形	47.9	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑62 白針 煤付着
図35 352	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.1	3.1	完形	110.7	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑62 白針
図35 353	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑62 中国北宋代 1086年
図35 354	銅製品	銭 紹聖元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑64 中国北宋代 1094年
図35 355	銅製品	銭治平元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑65 中国北宋代 1064年
図35 356	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	4.7	2.2	完形	47.9	○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑67 白針
図35 357	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(11.8)	(7.2)	3.5	1/3		○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 土坑67 白針
図35 358	舶載磁器	龍泉窯系青磁 転用研磨具	長さ [3.9]	—	[2.7]	高台部片	37.8					灰緑 半透明	Ⅰ区上層遺構面 土坑67 碗Ⅰor Ⅱ類
図35 359	石製品	滑石場鍋片 転用温石か	長さ 10.3	幅 7.7	厚さ 1.4	不明	[209.2]					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑67
図35 360	石製品	砥石	長さ [10.7]	幅 3.7	厚さ 3.5	ほぼ完形	[181.4]					黄白	Ⅰ区上層遺構面 土坑67 中砥(伊予?)
図35 361	石製品	砥石	長さ 5.4	幅 2.1	厚さ 0.7	ほぼ完形	[15.3]					灰黄	Ⅰ区上層遺構面 土坑67 仕上げ砥(鳴滝)
図35 362	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.9	1.8	3/4		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 土坑68 白針
図35 363	銅製品	銭 嘉口通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区上層遺構面 土坑72
図35 364	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.3	5.9	1.6	2/3		○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 土坑73 白針
図36 365	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 ピット2 中国北宋代 1078年
図36 366	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(4.0)	2.3	1/3		○				黄灰	Ⅰ区上層遺構面 ピット8 白針
図36 367	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.5)	2.0	1/3		○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 ピット8 白針
図36 368	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.3	1.6	ほぼ完形	51.8	○		○		橙	Ⅰ区上層遺構面 ピット10 白針
図36 369	舶載磁器	同安窯系青磁 皿Ⅰ類	—	(4.6)	[1.1]	体～底 1/2弱						オリーブ灰 透明	Ⅰ区上層遺構面 ピット14
図36 370	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅰ区上層遺構面 ピット17 中国北宋代 1038年
図36 371	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.9	6.0	1.9	ほぼ完形	66.1	○		○		黄灰	Ⅰ区上層遺構面 ピット19 白針
図36 372	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.9	10.1	2.4	2/3		○		○		暗黄灰	Ⅰ区上層遺構面 ピット19 白針
図36 373	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	9.1	2.6	3/4		○		○		暗黄灰	Ⅰ区上層遺構面 ピット19 白針
図36 374	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.5	1.8	3/4		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 ピット19 白針
図36 375	陶器	瀬戸 無台碗	(9.9)	(4.7)	4.1	口1/8～ 底1/2弱						灰	Ⅰ区上層遺構面 ピット21 口縁～体部は天目茶碗形
図36 376	陶器	瀬戸 柄付片口	(14.2)	—	[6.1]	口1/4 ～底片						淡緑	Ⅱ区上層遺構面 ピット24
図36 377	陶器	瀬戸 瓶子	(4.0)	—	[5.0]	注口～ 肩部片						淡緑	Ⅱ区上層遺構面 ピット25 Ⅰor Ⅱ類 前期様式
図36 378	石製品	硯	長さ [12.2]	幅 [7.4]	厚さ [0.7]	一部残存	[114]					灰黒	Ⅰ区上層遺構面 ピット34
図36 379	石製品	砥石	長さ [6.4]	幅 2.6	厚さ 1.5	一部欠損	[43.7]					黄白	Ⅰ区上層遺構面 ピット34
図36 380	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ 5.9	幅 3.5	厚さ 1.1	ほぼ完形	[47]					—	Ⅰ区上層遺構面 ピット35
図36 381	在地土器	ロクロ かわらけ・極小	(4.1)	(3.9)	0.6	2/5						淡橙	Ⅱ区上層遺構面 ピット38 白針

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図36 382	石製品	砥石	長さ [8.1]	幅 2.9	厚さ 2.2	一部欠損						淡赤灰白	Ⅰ区上層遺構面 ピット41 中砥(天草)
図36 383	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区上層遺構面 ピット41 中国北宋代 1086年
図36 384	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(27.5)	(16.0)	11.0	1/4						黄橙～灰褐	Ⅰ区上層遺構面 ピット42 6b型式か
図36 385	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(5.3)	2.5	1/2		○		○		黄橙	Ⅰ区上層遺構面 ピット49 白針 外底煤付着
図37 386	在地土器	ロクロ かわらけ・極小	3.7	2.7	0.8	5/6				○		黄橙	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 387	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.9	2.1	ほぼ完形	33.6	○		○		赤橙	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 白針 口唇部煤付着
図37 388	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.8	1.8	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 389	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.9	7.4	3.0	ほぼ完形	123.7	○				橙	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 白針
図37 390	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[7.8]	口～胴片						淡灰黄	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 中期様式
図37 391	陶器	瀬戸 卸皿	—	—	[3.4]	口～底片						淡灰黄	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10
図37 392	石製品	滑石鍋片 転用スタンプ	長さ [3.9]	幅 [3.7]	厚さ 2.1	体部片	32.3					黒～暗灰	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10
図37 393	石製品	滑石鍋片 転用温石か	長さ [10.3]	幅 9.0	厚さ 3.5	体部片	40.5					銀灰	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10
図37 394	石製品	砥石	長さ [8.3]	幅 3.0	厚さ 1.5	一部欠損	[54.6]					緑味灰	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 仕上げ砥(鳴滝)
図37 395	石製品	砥石	長さ [8.0]	幅 3.9	厚さ 1.9	一部欠損	[77.8]					橙灰	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 仕上げ砥
図37 396	石製品	砥石	長さ [7.0]	幅 3.5	厚さ 1.3	一部欠損	[45]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 仕上げ砥(上野・沼田)
図37 397	鉄製品	釘	長さ 6.0	幅 0.5	厚さ 0.4	完形	3.5					—	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10
図37 398	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1068年
図37 399	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1078年
図37 400	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1078年
図37 401	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	8					—	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 2枚重ね 中国北宋代 1086年
図37 402	銅製品	銭 政和通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区上層遺構面 B-8～10 中国北宋代 1111年
図37 403	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.7	1.9	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 404	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.9	2.0	ほぼ完形	45.1	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 405	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.6	5.4	2.3	完形	65.6	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 406	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.2)	(4.4)	2.3	1/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 白針
図37 407	陶器	瀬戸 水注	5.2	—	[5.9]	口頸部片						灰白～灰	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 型式不明
図37 408	陶器	瀬戸 天目茶碗	—	—	[3.7]	口小片						暗灰緑	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10
図37 409	陶器	東播系須恵器 甕	—	—	[5.7]	口小片						橙	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10
図37 410	石製品	砥石	長さ [6.5]	幅 4.5	厚さ 2.7	一部欠損	[109.2]					褐灰	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 中砥(天草)
図37 411	石製品	砥石	長さ [5.7]	幅 3.9	厚さ 3.2	一部欠損	[123.9]					褐灰	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 中砥(天草)
図37 412	石製品	砥石	長さ [6.7]	幅 4.4	厚さ 4.5	一部欠損	[102]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 中砥(伊予)
図37 413	石製品	砥石	長さ 8.0	幅 3.9	厚さ 1.4	ほぼ完形	[74]					灰黄	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 仕上げ砥(鳴滝)
図37 414	石製品	砥石	長さ [7.8]	幅 3.4	厚さ 1.2	一部欠損	[40.7]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 仕上げ砥(鳴滝)
図37 415	石製品	砥石	長さ [4.7]	幅 3.2	厚さ 0.8	一部欠損	[25]					灰黄	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 仕上げ砥(鳴滝)
図37 416	石製品	砥石	長さ 3.5	幅 3.5	厚さ 2.0	ほぼ完形?	[42.3]					灰白	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 仕上げ砥(出羽)

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図37 417	銅製品	銭 天禧通寶 (真書)	直径 2.6	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 中国北宋代 1017年
図37 418	銅製品	銭 嘉泰通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3.7					—	Ⅱ区上層遺構面 C-8～10 中国南宋代 1201年
図38 419	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.0	2.0	ほぼ完形	40	○		○		淡黄橙	Ⅱ区上層遺構面 B･C-7 白釉 口縁～底部内面に煤付着
図38 420	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(13.0)	(8.4)	3.0	1/3		○		○		明黄灰	Ⅱ区上層遺構面 B･C-7 白釉
図38 421	銅製品	銭 乾元重寶 (行書)	直径 2.1	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区上層遺構面 B･C-7 中国唐代 758年
図38 422	銅製品	銭 祥符元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	3					—	Ⅱ区上層遺構面 B･C-7 中国北宋代 1009年
図38 423	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.3	1.7	完形	45.9	○		○		淡橙	Ⅱ区上層遺構面 D-8～10 白釉
図38 424	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.6	1.9	完形	50.8	○		○		明黄灰	Ⅱ区上層遺構面 D-8～10 白釉 口縁部打ち欠き,煤付着
図38 425	銅製品	銭 至和通寶 (篆書)	直径 2.6	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 D-8～10 中国北宋代 1054年
図38 426	銅製品	銭 □□□寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	2/3	3					—	Ⅱ区上層遺構面 D-8～10
図39 427	在地土器	ロクロ かわらけ・極小	(5.8)	(4.8)	1.0	1/4		○				黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 白釉
図39 428	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.4	2.3	3/4		○		○		黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 白釉
図39 429	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.8)	(8.1)	3.2	2/3		○		○		橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 白釉
図39 430	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.6	8.0	3.3	3/4		○				黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 白釉
図39 431	舶載磁器	白磁 合子身	(4.2)	—	[1.8]	底片						淡灰緑	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2
図39 432	陶器	瀬戸 花瓶ⅠB類	5.5	—	[8.9]	口･頸部のみ						暗緑褐	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 中期様式か
図39 433	陶器	瀬戸 瓶類	—	—	—	胴片						茶褐	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 花瓶(中～大型)か
図39 434	石製品	砥石	長さ [7.8]	幅 [8.2]	厚さ [6.6]	一部欠損	[510]					暗灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 荒砥(天草)
図39 435	石製品	砥石	長さ [4.2]	幅 2.9	厚さ 2.4	一部欠損	[48.9]					淡黄白	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 中砥(伊予)
図39 436	石製品	砥石	長さ [5.9]	幅 3.8	厚さ 0.6	一部欠損	[22.3]					淡黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 仕上げ砥(鳴滝)
図39 437	石製品	砥石	長さ [7.2]	幅 4.0	厚さ 0.8	一部欠損	[33.9]					灰白	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 仕上げ砥(鳴滝)
図39 438	石製品	砥石	長さ [7.1]	幅 3.5	厚さ 1.1	一部欠損	[45.3]					灰白	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 仕上げ砥(鳴滝)
図39 439	骨製品	双六駒	—	直径 2.0	厚さ 0.6	完形	4.1					黒灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2
図39 440	土師器	高台付坏	(12.9)	—	[1.9]	底1/8						赤橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 在地産盤状坏･8c前半
図39 441	土師器	坏	—	—	[3.0]	口小片						黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2
図39 442	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.4	6.5	1.8	3/4		○		○		黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 白釉
図39 443	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(11.9)	(7.0)	3.4	1/4		○				黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 白釉
図39 444	石製品	砥石	長さ [7.1]	幅 3.7	厚さ 1.0	一部欠損	[50.3]					淡黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 仕上げ砥(鳴滝)
図39 445	木製品	漆器椀	—	6.5	[2.3]	底部完						黒漆地 朱文様	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2
図39 446	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ 2.3	幅 [7.6]	厚さ 0.7	不明						黒漆地	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 膳などの雲形装飾か
図39 447	木製品	彫像?	長さ [3.9]	幅 1.9	厚さ 2.1	不明	[1.8]					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 表面摩滅 仏像などの頭部か
図39 448	在地土器	小型壺	(9.0)	—	[3.2]	口1/4						灰黄	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 (裏込め)
図39 449	骨製品	双六駒	—	直径 1.9	厚さ 0.7	完形	2.3					黄白	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 (裏込め)
図39 450	銅製品	銭 皇宋通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2 (北側拡張トレンチ) 中国北宋代 1038年

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図39 451	銅製品	銭 元豊通寶（篆書）	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2（北側拡張トレンチ） 中国北宋代 1078年
図39 452	銅製品	銭 天□元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物2（北側拡張トレンチ）
図40 453	在地土器	ロクロかわらけ・大	12.6	7.2	3.8	ほぼ完形	176.1	○		○		淡橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 白針 口縁部打ち欠き 内面煤付着
図40 454	在地土器	ロクロかわらけ・大	13.4	8.1	3.4	ほぼ完形	171.3	○		○		橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 白針
図40 455	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(20.4)	(13.2)	6.0	口1/3～底片						褐灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 無高台
図40 456	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[6.8]	口～底片						灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 無高台
図40 457	陶器	東播系須恵器 甕	—	(21.0)	[4.5]	底片						黒灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3
図40 458	陶器	産地・器種不明	長さ 3.2	幅 [5.8]	厚さ 1.5	小片						黒褐	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3
図40 459	石製品	砥石	長さ [5.2]	幅 4.0	厚さ 0.6	一部欠損	[22.4]					灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(鳴滝)
図40 460	石製品	砥石	長さ [4.3]	幅 3.0	厚さ 1.2	一部欠損	[29.9]					灰白～灰黄	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(鳴滝)
図40 461	石製品	砥石	長さ [3.7]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	[9.3]					緑白	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 仕上げ砥(鳴滝)
図40 462	骨製品	不明	—	直径 2.8	厚さ 1.5	完形	[8.5]						Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 非加工か
図40 463	木製品	漆塗り調度具部品	長さ [5.5]	幅 2.2	厚さ 2.5	脚部下						黒漆地朱漆	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 膳脚か
図40 464	銅製品	銭 嘉祐元寶（眞書）	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 中国北宋代 1056年
図40 465	銅製品	銭 元豊通寶（篆書）	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 中国北宋代 1078年
図40 466	石製品	砥石	長さ [8.3]	幅 3.6	厚さ 1.0	一部欠損	[45.7]					灰白	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 (床面上)仕上げ砥(鳴滝)
図40 467	鉄製品	釘	長さ 7.9	幅 0.4	厚さ 0.2	完形	2.6					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 (床面上)
図40 468	在地土器	ロクロかわらけ・小	(8.4)	6.8	1.6	1/2						淡橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物3 (裏込め) 白針
図41 469	在地土器	ロクロかわらけ・小	12.2	7.8	3.0	3/4		○		○		橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 470	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.6	5.2	1.8	5/6		○				黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 471	在地土器	ロクロかわらけ・小	(8.1)	(6.3)	1.7	1/3		○		○		黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 472	在地土器	ロクロかわらけ・大	12.0	7.0	3.1	ほぼ完形	155	○				橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 473	在地土器	ロクロかわらけ・大	12.2	7.8	3.0	3/4				○		橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 474	在地土器	ロクロかわらけ・大	11.5	7.0	3.3	完形	138.4	○				橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 475	在地土器	ロクロかわらけ・大	13.0	7.8	3.5	2/3		○		○		淡黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 476	在地土器	ロクロかわらけ・大	11.9	8.0	3.3	5/6		○		○		黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針
図41 477	在地土器	不明容器	3.5	2.9	2.5	完形						黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 白針 口縁に3か所の窪み
図41 478	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ類	(12.2)	3.8	6.0	1/3						緑灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 479	舶載磁器	同安窯系青磁 碗Ⅰ-1ｂ類	—	(5.2)	[3.0]	底片						黄緑透明	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 480	舶載磁器	青白磁 型押文皿	—	2.2	[0.7]	底片						青白透明	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 481	陶器	常滑 壺	(9.0)	—	[4.8]	口1/3						暗褐	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 482	陶器	常滑 甕	—	—	—	肩部片						緑灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 483	土製品	器種不明	—	直径 5.4	厚さ 1.8	1/2	[19.1]					肌	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ナデ	ササラ状	板状	スノコ状		
図41 484	石製品	滑石鍋片転用温石	長さ 15.0	幅 8.7	厚さ 1.7	体部片	460					黒灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 485	石製品	砥石	長さ [9.3]	幅 4.7	厚さ 3.3	一部欠損	[207.8]					淡黄白	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 中砥(伊予)
図41 486	鉄製品	釘	長さ 9.6	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	5.4					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 487	鉄製品	釘	長さ 8.4	幅 0.6	厚さ 0.5	完形	6.9					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 488	銅製品	銭 祥符元寶(行書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 中国北宋代 1009年
図41 489	銅製品	銭 聖宋元寶(行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 中国北宋代 1101年
図41 490	銅製品	銭 □□元寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4
図41 491	在地土器	ロクロかわらけ・小	8.0	5.5	1.7	ほぼ完形	54.2	○		○		黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 (床面上) 白針
図41 492	鉄製品	掛金具	長さ 11.6	幅 0.5	厚さ 0.5	完形	16.5					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 (床面上)
図41 493	鉄製品	釘	長さ 9.0	幅 0.7	厚さ 0.4	完形	15.2					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 (床面上)
図41 494	鉄製品	釘	長さ 8.7	幅 0.5	厚さ 0.2	完形	3.5					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 (床面上)
図41 495	鉄製品	釘?	長さ 12.4	幅 0.5	厚さ 0.4	完形	10.5					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 (床面上)
図41 496	銅製品	銭 淳熙元寶(眞書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 (床面上)中国南宋代 1174年
図41 497	銅製品	銭 熙寧元寶(眞書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 (床面上)中国北宋代 1068年
図41 498	銅製品	銭 聖宋元寶(眞書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	2					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物4 (床面上)中国北宋代 1101年
図42 499	陶器	瀬戸入子	4.2	3.6	1.0	完形						灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5
図42 500	石製品	砥石	長さ [9.5]	幅 4.5	厚さ 3.7	一部欠損	[178.2]					黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 中砥(上野)
図42 501	銅製品	銭 開元通寶(行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 中国唐代 621年
図42 502	銅製品	銭 至和通寶(篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 中国北宋代 1054年
図42 503	鉄製品	釘	長さ [8.7]	幅 0.3	厚さ 0.4	一部欠損	[3.9]					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (床面上)
図42 504	銅製品	銭 紹聖元寶(行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (床面上)中国北宋代 1094年
図42 505	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.4	4.4	1.8	3/4		○				黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め) 白針
図42 506	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.3	6.0	1.65	ほぼ完形	45.6	○				橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め) 白針
図42 507	在地土器	碗形品	(8.0)	—	[2.9]	口1/4		○				暗黄橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め)
図42 508	陶器	瀬戸卸皿	(15.2)	(11.0)	4.3	1/8						黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め) 前Ⅱ期か
図42 509	土製品	馬形(土馬)	長さ [2.7]	幅 [4.0]	高さ [1.6]	不明	[9.7]					橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め)
図42 510	銅製品	六器小碗	3.9	2.4	1.2	ほぼ完形	13					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め)
図42 511	銅製品	銭 天聖元寶(篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め)中国北宋代 1023年
図42 512	銅製品	銭 至和通寶(眞書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め)中国北宋代 1054年
図42 513	銅製品	銭 聖宋元寶(行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め)中国北宋代 1101年
図42 514	銅製品	銭 □□通寶	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め)
図42 515	銅製品	銭 銭銘なし	直径 1.7	孔径 0.3	厚さ 0.1	不明	0.5					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物5 (裏込め) スリ銭
図42 516	在地土器	ロクロかわらけ・小	7.8	5.5	1.8	2/3		○		○		橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6
図42 517	舶載磁器	青白磁蓋	4.6	—	1.0	1/2						淡緑透明	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6
図42 518	舶載磁器	青白磁瓶類蓋	2.8	—	1.4	2/3						淡緑白透明	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図42 519	舶載磁器	青白磁 型押皿	—	—	[1.6]	口小片						淡水 透明	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6
図42 520	在地土器	ロクロ かわらけ・大	—	—	—	底小片						暗黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6 底部外面に墨痕
図42 521	陶器	瀬戸 入子	(3.5)	(2.6)	0.9	1/4						淡黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6
図42 522	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.2	3/4		○		○		橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6 (裏込め) 白針
図42 523	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.9	2.1	ほぼ完形	51.3	○				黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6 (裏込め)口縁部煤付着
図42 524	石製品	砥石	長さ [9.5]	幅 3.5	厚さ 2.9	一部欠損	[179.4]					黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6 (裏込め) 中砥(上野砥沢)
図42 525	石製品	砥石	長さ [6.0]	幅 2.6	厚さ 2.0	一部欠損	[58.5]					灰緑	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物6 (裏込め) 中砥(上野)
図43 526	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.7	6.6	1.8	4/5		○		○		淡橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7 白針 底部内外面黒変
図43 527	在地土器	手づくね かわらけ・小	(6.8)	—	1.3	1/2						橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7 白針
図43 528	在地土器	手づくね かわらけ・大	12.6	—	3.2	2/3						淡橙	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7 白針
図43 529	舶載陶器	泉州窯系 盤Ⅰ-2類	—	—	[5.7]	口小片						明緑	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7
図43 530	陶器	常滑 甕	—	—	[9.7]	口小片						赤褐	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7 8型式
図43 531	鉄製品	釘	長さ [10.7]	幅 0.5	厚さ 0.3	完形	7.5					—	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7
図43 532	舶載陶器	泉州窯系 盤Ⅰ-2b類	(35.8)	(31.0)	9.8	口2/3 ～底片						黄褐	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7 (下層) 黄釉鉄絵盤
図43 533	陶器	東播系須恵器 甕	—	—	[4.2]	口小片						黒褐	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7 (床面上)
図43 534	在地土器	ロクロ かわらけ・小	9.4	7.0	2.1	ほぼ完形	85.1			○		黄灰	Ⅰ区下層遺構面 竪穴建物7 (ピット-ケ) 底部焼成後穿孔 白針
図44 535	陶器	瀬戸 小杯	8.7	4.7	2.0	完形						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9
図44 536	陶器	瀬戸 洗(盤)	(13.7)	(8.8)	4.9	1/3						茶褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 小型品 中期様式
図44 537	陶器	瀬戸 袴腰形香炉	—	—	[6.5]	1/8						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 中期様式(Ⅱ～Ⅳ)か
図44 538	石製品	滑石鍋片 転用温石	長さ 15.0	幅 8.7	厚さ 2.1	一部欠損	[660]					灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9
図44 539	石製品	滑石鍋片 不明転用品	長さ [8.0]	幅 3.2	厚さ 2.0	体部片	79					灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9
図44 540	石製品	砥石	長さ [17.5]	幅 6.3	厚さ 5.0	一部欠損	[910]					灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 荒砥(上野) 二次加工品
図44 541	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 7.8	厚さ 3.1	一部欠損	[390]					灰褐～黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 中砥(天草)
図44 542	石製品	砥石	長さ [8.2]	幅 4.0	厚さ 2.9	一部欠損	[147.5]					黄味灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 中砥(伊予)
図44 543	石製品	砥石	長さ [8.2]	幅 4.0	厚さ [3.3]	一部欠損	[177]					灰褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 中砥(天草)
図44 544	鉄製品	釘	長さ 6.8	幅 0.5	厚さ 0.5	完形	4.9					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9
図44 545	鉄製品	釘	長さ [6.0]	幅 0.7	厚さ 0.3	一部欠損	[4.7]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9
図44 546	鉄製品	釘	長さ [10.5]	幅 0.6	厚さ 0.6	一部欠損	[12.5]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9
図44 547	舶載磁器	龍泉窯系青磁 盤	—	(22.3)	[5.1]	体1/3 ～底片						暗灰緑 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (ｆ層) 坏Ⅲ-4b大型品
図44 548	陶器	折縁深皿	(30.6)	—	[6.2]	1/4						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (ｆ層)
図44 549	銅製品	銭 至道元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (床面上)中国北宋代 995年
図44 550	銅製品	銭 皇宋通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (床面上)中国北宋代 1038年
図44 551	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (床面上)中国北宋代 1078年
図44 552	銅製品	銭 銭銘不明	直径 2.0	孔径 0.5	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (床面上) スリ銭

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ナデ	ササラ状	板状	スノコ状		
図44 553	銅製品	銭 至道元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (床面上)中国北宋代 995年
図44 554	銅製品	銭 天禧通寶 (真書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物9 (床面上)中国北宋代 1017年
図45 555	在地土器	手づくね かわらけ・極小	(5.8)	(5.5)	0.8	1/6		○				乳白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 556	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	5.0	1.5	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 557	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.1	1.7	2/3		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 558	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.0	1.7	完形	39.2	○		○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 559	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.1	1.6	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 560	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.4	7.0	3.3	ほぼ完形	195.5	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 561	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.8	3.7	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 562	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.2	7.5	3.6	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 563	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.3	7.6	3.5	ほぼ完形	184.8	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 白針
図45 564	舶載磁器	白磁 合子身	(8.9)	(6.5)	2.7	1/8						水青 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 565	舶載磁器	白磁 皿Ⅸ-1類	(11.6)	(7.0)	2.7	口～底1/5						灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 566	陶器	瀬戸 入子	5.6	3.2	1.9	ほぼ完形	25.4					灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 567	土製品	管状土錘	長さ 6.3	幅 1.2	孔径 0.6	一部欠損	[7]					橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 568	石製品	砥石	長さ [7.9]	幅 4.0	厚さ 1.2	一部欠損	[67.8]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 仕上げ砥(鳴滝)
図45 569	鉄製品	用途不明	長さ 10.5	幅 1.6	厚さ 0.6	完形	23.6					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 570	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 中国北宋代 1038年
図45 571	銅製品	銭 嘉定通寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 中国南宋代 1208年
図45 572	銅製品	銭 □□□寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10
図45 573	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(5.6)	2.0	1/2		○		○		暗橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 白針
図45 574	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(10.8)	(6.7)	3.0	1/3		○		○		明橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 白針
図45 575	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	(7.6)	3.0	1/4		○		○		暗橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 白針
図45 576	舶載磁器	白磁 皿Ⅸ-2類	(9.4)	5.6	2.8	口～底1/2						灰白 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底)
図45 577	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6		完形	3.7					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底) 中国北宋代 1038年
図45 578	銅製品	銭 開元通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7		1/3	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物10 (掘方底)中国唐代 621年
図46 579	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.7	1.7	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 白針
図46 580	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.6)	(7.7)	2.9	1/2弱		○				暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 白針
図46 581	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	7.8	3.7	ほぼ完形	165.9	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 白針
図46 582	舶載磁器	花瓶形?	高台径 3.5	—	[2.3]	脚部のみ						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 583	陶器	常滑 甕	—	—	[10.4]	口～体片						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 584	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[10.6]	口～体片						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 6a型式か
図46 585	石製品	砥石	長さ [4.5]	幅 3.7	厚さ 1.1	ほぼ完形	[25.9]					橙灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 仕上げ砥(出羽)
図46 586	鉄製品	釘	長さ 5.3	幅 0.5	厚さ 0.3	完形	2.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図46 587	鉄製品	釘	長さ 10.3	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	7.7					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 588	鉄製品	釘	長さ 12.1	幅 0.7	厚さ 0.4	完形	9.4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 589	木製品	漆器椀	13.0	6.9	3.2	ほぼ完形						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 無文
図46 590	木製品	杓文字	長さ 23.3	幅 [5.2]	厚さ 0.8	ほぼ完形						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11
図46 591	木製品	独楽	—	直径 4.2	厚さ 3.5	軸部欠						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 孔径0.2㎝
図46 592	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ 7.0	幅 4.3	厚さ 1.7	脚部のみ						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 膳脚か
図46 593	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ [2.2]	幅 8.1	厚さ 0.7	不明						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 雲形装飾
図46 594	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.0	1.7	3/4		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 白針
図46 595	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.6)	(6.6)	3.4	1/3		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 白針
図46 596	在地土器	ロクロ かわらけ・大	14.2	7.9	3.7	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 白針
図46 597	舶載磁器	白磁 皿Ⅸ-2類	—	(6.0)	[2.6]	1/2						暗灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図46 598	陶器	瀬戸 入子	(7.8)	(5.3)	2.4	1/5強						暗灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)内面煤?付着
図46 599	陶器	瀬戸 瓶子Ⅱ類	—	8.4	[6.2]	胴下部～底完存						灰緑～淡褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図46 600	陶器	尾張型 山茶碗	13.5	6.4	5.1	2/3						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 第6型式か
図46 601	陶器	常滑 壺	(10.6)	—	[6.0]	口1/5～体片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図46 602	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(36.4)	(15.8)	15.0	口1/4～底1/2						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 6a型式か
図47 603	石製品	滑石鍋片 転用温石	長さ 14.7	幅 5.8	厚さ 1.8	体部片	345					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 604	石製品	砥石	長さ [6.8]	幅 4.3	厚さ 0.5	一部欠損	[32.7]					淡灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)仕上げ砥(鳴滝)
図47 605	石製品	砥石	長さ [7.2]	幅 3.6	厚さ 0.9	一部欠損	[41.2]					淡黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)仕上げ砥(鳴滝)
図47 606	石製品	砥石	長さ [4.5]	幅 3.4	厚さ 0.8	一部欠損	[26]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)仕上げ砥(鳴滝)
図47 607	石製品	砥石	長さ [4.8]	幅 3.2	厚さ 0.9	一部欠損	[21.3]					淡黄白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)仕上げ砥(鳴滝)
図47 608	鉄製品	鍋	—	—	[3.6]	口小片	[104.4]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 609	鉄製品	鏃形品	長さ 16.5	幅 3.2	厚さ 0.9	完形	209.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 610	鉄製品	刀子	長さ [18.9]	幅 1.5	厚さ 0.4	一部欠損	[26.6]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 611	鉄製品	環頭釘	長さ 4.7	幅 0.6	厚さ 0.5	完形	6.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 掛金具部品か
図47 612	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 14.4	幅 0.8	厚さ 0.6	完形	21.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 613	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 28.6	幅 0.9	厚さ 0.8	完形	98.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 火箸か
図47 614	在地土器	用途不明 棒状具	長さ 15.6	幅 1.5	厚さ 0.5	完形	32.8					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 火箸などか
図47 615	鉄製品	用途不明 棒状具	長さ 8.6	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	6.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 616	鉄製品	釘	長さ 8.5	幅 0.5	厚さ 0.4	完形	5.9					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 617	鉄製品	釘	長さ 5.8	幅 0.6	厚さ 0.3	完形	5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 618	鉄製品	釘	長さ 7.3	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	3.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 619	鉄製品	釘	長さ 5.4	幅 0.2	厚さ 0.4	完形	1.4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 620	鉄製品	釘	長さ [5.0]	幅 0.2	厚さ 0.4	両端欠損	3.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 621	鉄製品	針	長さ [3.1]	幅 0.2	厚さ 0.3	両端欠損	0.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図47 622ｱ	銅製品	飾り金具	長さ 3.0	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	1.9	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 鋲部分
図47 622ｲ	銅製品	飾り金具	直径 0.7	孔径 0.4	厚さ 0.1	完形	0.1	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 座金
図47 622ｳ	銅製品	飾り金具	直径 0.7	孔径 0.2	厚さ 0.08	完形	0.1	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 座金
図47 622ｴ	銅製品	飾り金具	直径 1.6	直径 0.4	0.3	完形	0.8	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 彫金(鶴3羽)
図47 622ｵ	銅製品	飾り金具	直径 1.6	直径 0.5	0.2	完形	0.8	○		○		—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 彫金(鶴3羽)
図47 623	木製品	漆器椀	(10.4)	7.0	3.0	1/3						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 無文
図47 624	木製品	漆器椀	(15.0)	6.8	5.2	1/3						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 無文
図47 625	木製品	漆器椀	(15.4)	6.9	6.3	口小～底完存						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図47 626	木製品	漆器椀	—	8.0	[5.4]	体片～底完存						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図48 627	木製品	漆器皿	9.8	6.7	1.0	ほぼ完形						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図48 628	木製品	漆器皿	8.8	6.6	0.8	3/4						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図48 629	木製品	漆器皿	8.8	7.2	1.0	3/4						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図3 63	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ類	(15.5)	—	[4.8]	口～体1/4						灰緑 半透明	Ⅱ区上層遺構面上(B-10)
図48 630	木製品	漆器皿	(7.8)	6.4	0.8	3/4						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図48 631	木製品	漆器皿	—	(6.4)	[0.6]	底部3/4						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図48 632	木製品	漆器皿	8.7	6.7	1.0	4/5						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 無文
図48 633	木製品	漆器皿	—	(7.0)	[0.7]	体～底完存						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 無文
図48 634	木製品	漆器椀	—	(6.9)	[1.8]	体～底片						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図48 635	木製品	漆器椀	13.8	6.7	2.9	4/5						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図48 6367	木製品	曲物桶	直径 8.9	高さ 5.5	底板厚さ 0.2	ほぼ完形						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 側板厚さ0.1cm 底板に穿孔1か所
図48 636ｲ	鉄製品	刀子	長さ 18.9	幅 1.3	厚さ 0.4	完形	18					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 6367の曲物桶内
図48 637	木製品	漆塗り 調度具部品	長さ 7.6	幅 2.4	厚さ 1.4	脚部のみ						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層) 膳脚
図48 638	土製品	人形	高さ [3.6]	幅 1.8	厚さ 1.7	頭部欠損	[15.2]					灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)
図48 639	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)中国北宋代 1078年
図48 640	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)中国北宋代 1078年
図48 641	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.5	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)中国北宋代 1086年
図48 642	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)中国北宋代 1086年
図48 643	銅製品	銭 政和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (下層)中国北宋代 1111年
図48 644	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.8	1.6	4/5		○		○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (裏込め) 白針
図48 645	舶載磁器	白磁 碗Ⅸ-2a類	—	5.2	[2.4]	体片～底完存						灰白 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (裏込め)
図48 646	陶器	尾張型 山茶碗	—	7.4	[2.2]	体片～底完存						暗赤褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (裏込め) 高台剥落か
図48 647	銅製品	銭 天盛元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7		完形	3.2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (裏込め)中国西夏代 1158年
図48 648	銅製品	銭 □□□寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	一部欠損	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物11 (裏込め)
図49 649	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.3	2.5	4/5				○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 白針 燈明皿

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図49 650	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	3.3	1/2						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 白釧
図49 651	土器	南伊勢系 鍋	—	—	[2.5]	口小片						明灰～黒灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12
図49 652	石製品	砥石	長さ [5.3]	幅 2.8	厚さ 2.2	一部欠損	[27.6]					灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 中砥(上野)
図49 653	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.6	6.0	1.8	1/2		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 (裏込め) 白釧
図49 654	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.1	1.9	完形	46.2	○			○	黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 (裏込め) 白釧
図49 655	陶器	常滑 壺	(9.9)	—	[5.1]	口1/4						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物12 (裏込め) 6型式
図49 656	陶器	瀬戸 入子	(9.7)	(4.6)	3.4	1/4						灰橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13
図49 657	木製品	漆器皿	9.2	6.4	1.0	ほぼ完形						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 無文
図49 658	骨製品	賽子	長さ 0.7	幅 0.8	厚さ 0.7	完形	0.7						Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13
図49 659	木製品	用途不明	長さ 23.9	幅 9.2	厚さ 6.7	不明						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 建築部材か
図49 660	銅製品	銭 皇宋通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4.2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 中国北宋代 1038年
図49 661	銅製品	銭 元豊通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 中国北宋代 1078年
図49 662	鉄製品	用途不明	長さ [25.5]	幅 1.7	厚さ 0.5	一部欠損	[81.9]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 (裏込め)
図49 663	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 (裏込め)中国北宋代 1038年
図49 664	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 (裏込め)中国北宋代 1068年
図49 665	銅製品	銭 皇□□寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物13 (裏込め)
図50 666	在地土器	ロクロ かわらけ・極小	(3.3)	(3.0)	0.8	1/3						黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧
図50 667	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.4	1.9	完形	54.7	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧
図50 668	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.5	1.6	1/2		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧
図50 669	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.8	2.1	完形	48.1	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧
図50 670	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	4.9	2.0	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧
図50 671	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	2.0	完形	44.9	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧
図50 672	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.2	2.6	ほぼ完形	49.1	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧 口縁部打ち欠き3か所 内外面煤付着
図50 673	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.3	2.7	ほぼ完形	55.7	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧 口縁部3か所の打ち欠き1 内面煤付着
図50 674	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.9	3.3	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧
図50 675	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.7	7.9	3.6	ほぼ完形	187.9	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 白釧
図50 676	陶器	瀬戸 柄付片口	14.3	9.4	7.9	2/3						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14
図50 677	陶器	瀬戸 袴腰形香炉	(9.0)	—	[5.8]	1/4						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 中Ⅰ期か
図50 678	陶器	常滑 角形鉢?	—	—	[5.9]	口小片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14
図50 679	陶器	常滑 片口碗	—	—	[4.2]	口小片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14
図50 680	陶器	備前 すり鉢	—	—	[4.4]	口小片						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14
図50 681	銅製品	銭 皇宋通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 中国北宋代 1038年
図50 682	銅製品	銭至和通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物14 中国北宋代 1054年
図51 683	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	5.2	1.6	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図51 684	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(5.5)	1.7	2/3		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧
図51 685	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.7	1.9	4/5		○				黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧
図51 686	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	5.0	2.0	ほぼ完形		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧
図51 687	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	4.7	1.8	完形	71.9	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧
図51 688	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.1	2.3	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧
図51 689	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.5	2.3	3/4				○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧
図51 690	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.6)	(6.5)	3.5	3/4		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧
図51 691	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	8.5	3.4	2/3		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧
図51 692	在地土器	ロクロ かわらけ・大	—	—	[1.4]	底小片		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 白釧 底部焼成後の貫通孔
図51 693	舶載磁器	龍泉窯系青磁 坏Ⅲ-4b類	—	(5.0)	[2.4]	底部1/6						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 694	舶載磁器	青白磁 蓋	(3.8)	最大径 (5.2)	[1.0]	1/4						水青 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 695	陶器	瀬戸 入子	(4.6)	(3.3)	1.8	1/3						明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 696	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[5.7]	口小片						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 697	陶器	尾張型 山茶碗小皿	(7.8)	(4.6)	1.5	1/4						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 698	陶器	常滑 甕	—	—	—	胴部小片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 699	陶器	常滑 甕	—	—	—	胴部小片						褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 700	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[12.0]	口～底1/4						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 7～8型式
図51 701	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[10.4]	口～底1/4						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 6～7型式
図51 702	石製品	滑石鍋転用品 用途不明	長さ [5.7]	幅 [3.4]	厚さ 1.6	体部片か	55.8					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 703	石製品	砥石	長さ [6.5]	幅 4.2	厚さ 0.5	一部欠損	[23.3]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 704	石製品	砥石	長さ [6.6]	幅 3.4	厚さ 0.8	一部欠損	[27.7]					灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 705	石製品	砥石	長さ 4.0	幅 [3.3]	厚さ 1.6	一部欠損	[31.9]					灰橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 706	石製品	砥石	長さ [5.3]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	[15.7]					灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 707	石製品	砥石	長さ [3.5]	幅 3.0	厚さ 0.6	一部欠損	[8.2]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 仕上げ砥(鳴滝)
図51 708	石製品	碁石(黒)	長さ 1.9	幅 1.6	厚さ 0.4	完形	2.1					黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 709	石製品	碁石(黒)	長さ 1.9	幅 1.8	厚さ 0.5	完形	2.1					黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 710	石製品	碁石(黒)	長さ 1.6	幅 1.5	厚さ 0.6	完形	2.2					黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 711	木製品	漆塗り 調度具部品	—	7.8	[2.5]	台座のみ						黒漆地	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 燭台(灯明台)の脚台か
図51 712	銅製品	用途不明	—	直径 1.4	厚さ 0.3	ほぼ完形	[1.4]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 713	銅製品	用途不明	長さ [1.5]	幅 2.8	厚さ 0.2	不明	[2.7]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 714	銅製品	銭 咸平元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国北宋代 998年
図51 715	銅製品	銭 祥符元寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国北宋代 1009年
図51 716	在地土器	銭 明道元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国北宋代 1032年
図51 717	在地土器	銭 熙寧元寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国北宋代 1068年
図51 718	銅製品	銭 淳熙元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 中国南宋代 1174年

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図51 719	銅製品	銭 銭銘不明	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図51 720	在地土器	銭 銭銘不明	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15
図52 721	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.4	1.6	ほぼ完形	41.5	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 722	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	5.2	1.8	完形	53.6	○		○		淡橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 723	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	4.8	1.9	完形	57.2	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 724	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.7	1.8	完形	57.4	○		○		淡黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 725	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.3	1.9	完形	56.6	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 726	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.8	2.0	完形	57.4	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 727	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.7	1.8	ほぼ完形	65.8	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 728	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.1	2.1	完形	56.2	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 729	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	5.0	1.9	ほぼ完形	57.2	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 730	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	5.5	2.0	完形	65.1	○		○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 731	在地土器	ロクロ かわらけ・大	11.7	6.8	3.5	ほぼ完形	138.2	○		○		淡黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 732	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.9	7.3	3.9	ほぼ完形	203.9	○		○		淡黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 733	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	7.9	3.9	ほぼ完形	184.6	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 白針
図52 734	陶器	瀬戸 水滴	(1.9)	—	[1.6]	口1/2～体片						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)
図52 735	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(31.4)	(14.2)	11.5	口～底1/3						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 6b型式か
図52 736	石製品	碁石(黒)	長さ 1.5	幅 2.0	厚さ 0.5	完形	2.5					黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)
図52 737	石製品	砥石	長さ [9.2]	幅 3.4	厚さ 1.4	一部欠損	[83.1]					淡黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 仕上げ砥(鳴滝)
図52 738	石製品	砥石	長さ [9.2]	幅 3.5	厚さ 1.0	一部欠損	[48.4]					暗灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 仕上げ砥(鳴滝)
図52 739	石製品	砥石	長さ [4.4]	幅 4.1	厚さ 0.5	一部欠損	[85.3]					灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上) 仕上げ砥(鳴滝)
図52 740	鉄製品	用途不明	長さ 13.7	幅 0.4	厚さ 0.2	ほぼ完形	[3.6]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)
図52 741	鉄製品	梅檀板	長さ [9.6]	幅 12.8	厚さ 0.6	一部欠損	81.2					橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)
図52 741+	銅製品	銭 紹聖元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (床面上)中国北宋代 1094年
図53 742	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.6	1.7	完形	48.3	○		○		暗橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底) 白針
図53 743	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.1	5.2	1.9	ほぼ完形	53.2	○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底) 白針
図53 744	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.3	7.7	3.5	ほぼ完形	206.5	○		○		暗橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底) 白針
図53 745	舶載磁器	緑釉 蓋	最大径 (6.5)	—	1.9	2/3						緑黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底)
図53 746	石製品	砥石	長さ [7.4]	幅 3.3	厚さ 1.0	一部欠損						淡黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底)仕上げ砥(鳴滝)
図53 747	鉄製品	蓋	15.2	—	4.1	2/3	[163.4]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底)
図53 748	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.3	孔径 0.6		完形	2.1					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (掘方底)中国北宋代1078年
図53 749	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.9	1.7	2/3		○		○		橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め) 白針
図53 750	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(9.1)	(6.8)	1.8	1/3		○		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め) 白針
図53 751	在地土器	手づくね かわらけ・小	(9.0)	(7.8)	1.9	1/2						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め) 白針
図53 752	陶器	常滑 甕	—	—	[11.3]	ほぼ完形						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め)6a型式

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図53 753	石製品	砥石	長さ [14.1]	幅 3.4～4.5	厚さ 2.5	一部欠損	[226.5]					淡灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め)中砥(上野砥沢)
図53 754	銅製品	銭 紹聖元寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6		完形	3.4					橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物15 (裏込め)中国北宋代 1094年
図54 755	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.5)	5.0	1.8	3/4		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 756	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	1.8	ほぼ完形	44.3	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 757	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.8)	(4.6)	2.3	1/2		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針 口縁部煤付着
図54 758	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.7)	4.6	2.4	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 759	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	4.6	2.0	3/5		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 760	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.0	2.1	3/5		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 761	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.3	2.0	3/4				○		淡橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 762	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	4.4	2.2	4/5		○		○		橙～灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針 外底面二次焼成か
図54 763	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	(4.6)	2.2	1/2		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 764	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	4.4	2.0	ほぼ完形	42.1	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 765	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.5	2.1	4/5		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 766	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.5	2.3	ほぼ完形	43.5	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 767	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.3	4.6	2.2	1/2		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 768	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.0	2.3	4/5		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 769	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.8	6.8	3.2	ほぼ完形	110.3	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 770	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	8.2	3.6	ほぼ完形	157.3	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 白針
図54 771	陶器	瀬戸 入子	(8.3)	—	[2.8]	口1/3							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16
図54 772	陶器	瀬戸 折縁深皿	(27.0)	—	[7.7]	口～体片							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 中期様式か
図54 773	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[5.0]	口小片						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 中期様式か
図54 774	陶器	瀬戸 柄付片口	(12.2)	(8.6)	5.6	1/2							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 内底面に5重圏線
図54 775	石製品	砥石	長さ [9.6]	幅 3.1	厚さ 2.3	一部欠損	[98.2]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 仕上げ砥(鳴滝)
図54 776	石製品	砥石	長さ [5.8]	幅 3.3	厚さ 2.0	一部欠損	[67.8]					緑味灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物17 中砥～仕上げ砥(上野砥沢)
図54 777	銅製品	銭 皇宋通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 中国北宋代 1038年
図54 778	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.35	4.0	2.4	完形	49	○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 779	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	2.0	ほぼ完形	43	○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 780	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	2.1	ほぼ完形	41	○		○		にぶい橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 781	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	4.8	2.2	2/3		○				淡黄褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 782	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	2.35	完形	43	○				にぶい橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 783	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.3	1.9	完形	46	○				にぶい橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 784	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.0	1.8	ほぼ完形	43.7	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 785	在地土器	ロクロ かわらけ・大	11.4	7.6	3.1	完形	157.8	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 786	在地土器	ロクロ かわらけ・大	14.0	7.7	3.5	3/4		○				淡黄褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針
図54 787	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.3)	—	1.7	4/5						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め) 白針

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図54 788	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.6)	3.4	6.3	1/6						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)
図54 789	舶載磁器	龍泉窯系青磁 坏Ⅲ-1a類	—	(6.4)	[3.7]	体片～底1/2弱						淡灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)
図54 790	舶載磁器	白磁 ⅢIX-1c類	(11.2)	(5.7)	3.3	1/4						灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)
図54 791	瓦質土器	火鉢ⅠC類	—	—	[9.0]	口～底片						灰黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)
図54 792	銅製品	銭 □元通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	3/4	2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物16 (裏込め)
図55 793	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	5.3	1.4	完形	35	○				灰白	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図55 794	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.9	4.5	1.6	完形	48	○		○		黄灰	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図55 795	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.4	5.0	1.8	完形	47	○		○		灰白	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図55 796	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.2	1.8	ほぼ完形	52	○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図55 797	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.2	1.9	完形	51	○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図55 798	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.5	4.9	1.7	ほぼ完形	41	○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図55 799	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.2)	5.1	1.8	口1/8～底完存		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図55 800	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.8	1.8	2/3		○		○		橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧 口縁部に煤付着
図55 801	在地土器	ロクロ かわらけ・中	9.7	6.6	2.7	3/4		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧 体～底部外面に煤付着
図55 802	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(13.4)	7.7	3.8	1/3		○				にぶい橙	Ⅱ区上層遺構面 竪穴状遺構2 白釧
図55 803	陶器	常滑 角形盤	—	(14.7)	[2.8]	底小片						灰褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物17
図55 804	石製品	砥石	長さ [10.3]	幅 2.5	厚さ 1.1	一部欠損	[45.1]					灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物17 石製品(鳴滝)
図55 805	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.0	4.2	2.2	ほぼ完形	43.2	○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧 口縁部5か所に煤付着
図55 806	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	4.9	1.9	4/5						黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧 口唇部に煤付着
図55 807	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.2	2.3	4/5		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧
図55 808	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.8	5.7	2.5	ほぼ完形	68.8	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧
図55 809	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.1)	(8.0)	3.3	1/3		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧
図55 810	在地土器	ロクロ かわらけ・大	11.9	8.8	2.8	4/5		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧
図55 811	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	7.7	3.7	3/4		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧
図55 812	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	1.7	1/3		○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧
図55 813	在地土器	手づくね かわらけ・大	(13.4)	—	3.2	2/3		○				黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 白釧
図55 814	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅰ類	—	(4.4)	[2.0]	底1/3						灰緑 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18
図55 815	陶器	常滑 鳶口壺	—	8.0	[7.6]	胴以下1/2						茶褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18
図55 816	陶器	瀬戸 入子	5.0	3.4	1.5	完形						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18
図55 817	陶器	瀬戸 入子	(7.0)	(4.2)	2.2	1/4						灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18
図55 818	土製品	管状土錘	長さ 6.9	幅 3.2	孔径 1.1	ほぼ完形	[62.8]					灰橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18
図55 819	石製品	硯	長さ 10.4	幅 7.3	厚さ 1.5	ほぼ完形	[205.3]					暗灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18
図55 820	石製品	砥石	長さ [8.1]	幅 4.0	厚さ 1.8	一部欠損	[85.3]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 中砥(伊予)
図55 821	石製品	砥石	長さ [5.6]	幅 3.7	厚さ 2.5	一部欠損	[83.1]					淡黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 中砥(伊予)
図55 822	石製品	砥石	長さ [6.8]	幅 3.8	厚さ 1.5	一部欠損	[48.4]					淡橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 中砥

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図55 823	石製品	砥石	長さ [8.6]	幅 3.5	厚さ 0.9	一部欠損	[53.2]					灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 仕上げ砥(鳴滝)
図55 824	石製品	砥石	長さ [5.7]	幅 3.2	厚さ 1.4	一部欠損	[48.9]					灰橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 仕上げ砥(鳴滝)
図55 825	石製品	砥石	長さ [5.0]	幅 2.9	厚さ 1.1	一部欠損	[29.2]					灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 仕上げ砥(鳴滝)
図55 826	鉄製品	釘	長さ [4.7]	幅 0.6	厚さ 0.4	一部欠損	[3.7]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18
図55 827	銅製品	銭 銭銘不明 (2枚錆着)	直径 2.4	孔径 —	厚さ 0.3	ほぼ完形	6.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物18 2枚が錆で付着
図56 828	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.6)	(4.0)	2.3	1/3		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 白針
図56 829	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	4.3	2.0	ほぼ完形	63.9	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 白針 口唇部煤付着
図56 830	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.7	5.0	2.4	完形	56.1	○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 白針
図56 831	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.4	8.3	3.6	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 白針
図56 832	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.3	6.9	3.4	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 白針
図56 833	陶器	瀬戸 折縁深皿	—	—	[5.9]	口～底小片						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19
図56 834	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[8.7]	口小片						暗褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19
図56 835	石製品	砥石	長さ [6.3]	幅 3.2	厚さ 1.3	両端欠損	[51.2]					灰黄	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 仕上げ砥(鳴滝)
図56 836	石製品	砥石	長さ [9.2]	幅 2.7	厚さ 1.2	一部欠損	[40.2]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 仕上げ砥(鳴滝)
図56 837	石製品	砥石	長さ [5.5]	幅 3.3	厚さ 1.0	一部欠損	[30.6]					黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 仕上げ砥(鳴滝)
図56 838	鉄製品	釘	長さ [3.7]	幅 0.5	厚さ 0.4	一部欠損	[1.8]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19
図56 839	鉄製品	釘	長さ [4.2]	幅 0.5	厚さ 0.3	一部欠損	[1.3]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19
図56 840	銅製品	銭	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 皇宋通寶 中国北宋代 1038年
図56 841	銅製品	銭 元豊通寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19 中国北宋代 1078年
図56 842	銅製品	銭 銭銘不明	直径 2.2	孔径 0.5	厚さ 0.2	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物19
図57 843	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.2	4.6	1.7	完形	45.8	○		○		淡橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 白針
図57 844	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.3	1.7	1/2		○		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 白針
図57 845	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.8	5.2	1.7	完形	63.8	○		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 白針
図57 846	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.6	5.0	1.9	1/2強		○		○		暗黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 白針
図57 847	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	5.4	1.9	1/2強		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 白針
図57 848	在地土器	ロクロ かわらけ・大	12.8	7.8	3.3	ほぼ完形	169.9	○		○		淡黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 白針
図57 849	在地土器	ロクロ かわらけ・大	13.4	7.4	3.8	ほぼ完形	176.5	○		○		明橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 白針
図57 850	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.4)	(7.8)	3.5	1/2弱		○		○		暗橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 白針
図57 851	舶載磁器	龍泉窯系青磁 盤	(22.2)	—	[4.0]	口1/6～体片						明灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 坏Ⅲ-4類
図57 852	舶載磁器	龍泉窯系青磁 坏Ⅲ-4類	(12.6)	—	[3.8]	口1/6～体片						オリーブ 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20
図57 853	舶載磁器	白磁 皿Ⅸ-1a類	(12.6)	(5.3)	3.0	1/6						灰緑 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20
図57 854	舶載磁器	龍泉窯系青磁 皿Ⅰ-1b類	(8.2)	(5.4)	1.6	1/4						淡灰緑 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20
図57 855	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[4.7]	口小片						暗赤褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 6b型式か 内面に菊花文+斜格子文の押印
図57 856	陶器	常滑片 転用研磨具	長さ [3.6]	幅 3.0	厚さ 1.1	甕胴部片	20.5					暗赤褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図57 857	石製品	砥石	長さ [12.2]	幅 [10.2]	厚さ [7.2]	一部欠損	[1250]					淡橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 荒砥(天草)
図57 858	石製品	砥石	長さ [10.2]	幅 [5.0]	厚さ [3.5]	一部欠損	[209]			○		暗橙灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 中砥(天草)
図57 859	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 3.7	厚さ 0.8	一部欠損	[49.6]					淡灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 仕上げ砥(鳴滝)
図57 860	石製品	砥石	長さ [6.6]	幅 4.2	厚さ 1.0	一部欠損	[35.6]					淡灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 仕上げ砥(鳴滝)
図57 861	骨製品	用途不明 有孔円盤	—	直径 1.9	厚さ 0.6	ほぼ完形	[1.9]						Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20
図57 862	木製品	連歯下駄	長さ (17.4)	幅 7.1	高さ 5.2	一部欠損						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20
図57 863	木製品	連歯下駄	長さ (14.5)	幅 7.0	高さ 5.5	一部欠損						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20
図57 864	在地土器	ロクロ かわらけ・中	10.5	6.2	3.1	4/5		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 (掘方底) 白針
図57 865	木製品	用途不明 有孔円盤	—	直径 4.2	厚さ 0.2	不明							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 (掘方底)
図57 866	銅製品	銭 開元通寶	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 (掘方底)中国唐代 621年
図57 867	銅製品	銭 元豊通寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 (掘方底)中国北宋代 1078年
図57 868	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(8.0)	(4.8)	1.6	1/2弱		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 (裏込め) 白針
図57 869	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.4)	4.0	2.4	1/4		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物20 (裏込め)白針 静止糸切り
図58 870	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.9)	(8.3)	3.2	1/3						黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 871	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ-b類	16.5	5.0	7.0	完形	455					灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 漆継ぎで修復 口縁一部に漆付着
図58 872	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ-b類	16.5	5.2	6.6	3/4	[360]					灰白 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 口縁に漆付着
図58 873	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.4)	4.3	7.5	口1/4～底4/5						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 874	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.6)	4.4	7.4	口1/2弱～底4/5						緑灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 875	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(15.0)	(4.3)	7.2	3/4						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 876	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	15.1	4.2	7.4	4/5						淡灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 877	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.7)	(3.9)	7.4	口1/2弱～底完存						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 878	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(14.5)	(4.6)	7.6	1/3						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 879	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	14.8	4.2	7.1	ほぼ完形	[320]					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 880	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ類か	(16.4)	—	[5.0]	1/4						緑灰 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 881	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(15.4)	—	[5.4]	1/6						緑灰 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 882	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(13.0)	3.6	6.5	口1/3～底完存						灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 883	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	13.0	3.7	6.5	3/4						水 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 884	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	12.8	3.8	6.3	ほぼ完形	[185.2]					灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 885	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	13.0	3.3	6.5	ほぼ完形	[193.5]					灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 886	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	(13.5)	4.0	6.5	口1/2弱～底4/5						青灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 887	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	12.6	3.3	6.6	ほぼ完形	[198.1]					灰緑 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 888	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	13.3	3.5	6.3	ほぼ完形	[210]					灰緑 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 889	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ-2c類	12.9	3.5	6.5	ほぼ完形	[198.8]					淡灰緑 やや不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 890	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅱ-b類	(13.4)	4.0	5.6	口1/3～底完存						灰 半透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図58 891	舶載磁器	龍泉窯系青磁 碗Ⅲ類か	(14.0)	—	[5.4]	1/3						緑灰 不透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 892	舶載磁器	白磁 皿Ⅸ-1c類	11.0	6.6	3.0	4/5						灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 893	舶載磁器	白磁 皿Ⅸ-2類	(8.7)	—	[2.4]	1/6						灰白 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図58 894	舶載磁器	白磁 皿Ⅸ-1b類	(9.1)	(5.4)	2.4	1/6						白 透明	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図59 895	陶器	瀬戸 四耳壺	(11.0)	—	[4.8]	1/6						灰白～灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)前Ⅱ期か
図59 896	陶器	瀬戸 水注Ⅰ類	(7.8)	—	[2.2]	1/4						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図59 897	陶器	瀬戸 水注Ⅰ類	—	6.8	[11.7]	頸部・注口欠						緑灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)前Ⅱb期か
図59 898	陶器	尾張型 山茶碗小皿	8.1	4.9	1.8	完形	63.6					灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 899	陶器	尾張型 山茶碗小皿	8.1	5.4	1.6	完形	68.8					灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 900	陶器	尾張型 山茶碗	(15.0)	(6.3)	5.1	4/5						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 901	陶器	尾張型 山茶碗	(14.0)	(5.2)	4.2							灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 902	陶器	尾張型 山茶碗	(14.1)	(5.0)	4.9	1/3						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 903	陶器	尾張型 山茶碗	14.5	6.1	5.3	完形	266.5					灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 904	陶器	尾張型 山茶碗	14.4	6.3	5.2	4/5						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式
図59 905	陶器	尾張型 山茶碗	(14.8)	(7.1)	5.0	1/2弱						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 第7型式 高台剥離か
図59 906	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	33.0	13.9	13.6	4/5						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図59 907	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	30.5	14.1	13.9	1/2						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図59 908	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(22.4)	(11.5)	9.3	1/2						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図59 909	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(22.9)	(10.5)	8.5	1/3						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図59 910	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(23.0)	(12.2)	9.6	1/3						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図60 911	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(34.8)	—	[9.8]	1/4						赤橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図60 912	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	23.6	14.3	8.6	ほぼ完形						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式 無高台
図60 913	陶器	常滑 片口鉢Ⅱ類	(33.8)	—	[10.3]	1/3						灰褐～暗灰褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 5～6a型式
図60 914	常滑	片口碗	(14.9)	—	[6.4]	1/3						茶褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図60 915	在地土器	小型壺	(11.8)	—	[4.0]	1/6						灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図60 916	鉄製品	釘	長さ 6.7	幅 0.35	厚さ 0.3	完形	2.5					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下)
図60 917	銅製品	銭 紹熙元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	4/5						—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (倒壊壁板下) 中国南宋代 1109年
図61 918	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.9)	(5.2)	1.4	1/3		○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 白釧
図61 919	在地土器	ロクロ かわらけ・大	(12.0)	(7.9)	3.5	2/3		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 白釧
図61 920	在地土器	手づくね かわらけ・小	(7.8)	—	1.6	1/3		○				橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 白釧
図61 921	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 中国北宋代 1086年
図61 922	銅製品	銭 聖宋元寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 中国北宋代 1101年
図61 923	陶器	尾張型 山茶碗	14.4	6.2	5.3	4/5						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図61 924	在地土器	鍔付鍋	(11.3)	—	[6.5]	1/2弱						灰黄白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)口縁に貫通孔4か所
図61 925	土製品	かわらけ 転用円盤	—	直径 3.0	厚さ 1.5	完形	13.3					灰～黒灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)二次焼成
図61 926	鉄製品	用途不明 棒状製品	長さ [12.1]	幅 0.4	厚さ 0.4	一部欠損	[13.2]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層) 火箸などか
図61 927	鉄製品	釘	長さ 9.3	幅 0.6	厚さ 0.5	完形	8.2					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)
図61 928	鉄製品	釘	長さ 7.6	幅 0.4	厚さ 0.3	完形	3.3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)
図61 929	銅製品	用途不明	長さ [2.7]	幅 0.8	厚さ 0.1	不明	[1.6]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)
図61 930	銅製品	銭 元祐通寶 (行書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)中国北宋代 1086年
図61 931	木製品	漆器椀	—	—	—	胴小片						黒漆地 朱文様	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (下層)
図61 932	瓦	平瓦	長さ [16.6]	幅 [11.0]	厚さ 2.5	広端部 小片						灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物21 (裏込め) 永福寺女瓦A類か
図62 933	陶器	瀬戸 入子	2.8	2.3	0.8	完形	5.3					灰白緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 (上層)
図62 934	陶器	瀬戸 瓶子	4.5	—	[2.6]	口頸部						明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 (上層)漆継ぎの接合痕
図62 935	陶器	瀬戸 洗(盤)	—	—	[7.4]	1/8		○		○		明灰緑	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 (上層)
図62 936	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(31.0)	(11.8)	14.2	1/4						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 (上層) 5型式か
図62 937	在地土器	ロクロ かわらけ・小	7.1	5.0	1.5	3/4		○		○		黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 白釧
図62 938	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.2	6.0	1.8	2/3		○				黄灰	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 白釧
図62 939	陶器	常滑 片口碗	(15.0)	(11.7)	7.2	1/4						褐	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22
図62 940	鉄製品	用途不明 角棒状製品	長さ 23.4	幅 0.7	厚さ 0.6	ほぼ完形	[25.3]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 木質(柄)付着 錐か
図62 941	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.3	孔径 0.7	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 中国北宋代 1068年
図62 942	銅製品	銭 熙寧元寶 (真書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	ほぼ完形	3.8					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物22 中国北宋代 1068年
図62 943	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.9	6.8	1.8	完形	81.5	○		○		橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 白釧
図62 944	陶器	灰釉陶器 碗	—	(7.3)	[1.8]	体片～底1/3						灰白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23
図62 945	在地土器	焙烙?	(26.4)	—	[5.9]	1/5						橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23
図62 946	在地土器	縄文土器 深鉢?	—	—	—	胴片						褐～灰黒	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23
図62 947	石製品	砥石	長さ [11.1]	幅 4.3	厚さ 3.1	一部欠損	[210]					黄白	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 中砥
図62 948	石製品	砥石	長さ [10.0]	幅 7.8	厚さ 2.7	一部欠損	[285]					灰黒～黄橙	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 中砥
図62 949	鉄製品	環頭釘	長さ 10.9	幅 0.6	厚さ 0.5	ほぼ完形	[13.1]					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 掛金具の部品か
図62 950	銅製品	銭 天禧通寶 (真書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 中国北宋代 1017年
図62 951	銅製品	銭 元符通寶 (行書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物23 中国北宋代 1098年
図62 952	木製品	小槌	長さ [6.0]	幅 6.6	厚さ [5.5]	不明							Ⅱ区下層遺構面 竪穴建物24 黒色系漆付着
図63 953	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(26.0)	(13.4)	12.2	口～底1/3						灰白	Ⅱ区下層遺構面 井戸4
図63 954	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.7)	—	1.8	2/3		○				黄褐	Ⅱ区下層遺構面 井戸4 (裏込め) 白釧
図63 955	石製品	砥石	長さ 5.8	幅 4.1	厚さ 1.3	ほぼ完形	[53]					灰黄白	Ⅱ区下層遺構面 井戸4 (裏込め) 仕上げ砥(鳴滝)
図63 956	鉄製品	釘か	長さ [8.6]	幅 0.5	厚さ 0.4	一部欠損	[8]					—	Ⅰ区最下層遺構面 溝1
図64 957	銅製品	銭 熙寧元寶	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.2	完形	6					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑77 中国北宋代 1068年
図64 958	銅製品	銭 政和通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.6	厚さ 0.1	2/3	3					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑77 中国北宋代 1111年

（　）＝復元値　［　］＝残存値

遺物番号	種別	器種	法量(cm)			残存率	重量	内底面調整		外底面圧痕		色調	出土遺構・胎土ほかの特徴
			口径	底径	器高		(g)	ﾅﾃﾞ	ｻｻﾗ状	板状	ｽﾉｺ状		
図64 959	在地土器	ロクロ かわらけ・小	(7.8)	(4.4)	2.2	1/2		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑78 白針
図64 960	在地土器	ロクロ かわらけ・中	11.0	6.0	3.0	3/4		○		○		黄灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑78 白針
図64 961	舶載磁器	白磁 皿	—	(6.2)	[2.3]	底1/4						白 透明	Ⅱ区下層遺構面 土坑78
図64 962	陶器	瀬戸 卸皿	—	(8.0)	[1.7]	底1/4						灰緑	Ⅱ区下層遺構面 土坑78
図64 963	舶載磁器	青白磁 合子蓋	(9.0)	—	[2.1]	口1/6						淡水青 透明	Ⅱ区下層遺構面 土坑79
図64 964	瓦質土器	火鉢ⅠB類	(36.0)	(27.0)	9.7	口1/4						暗灰	Ⅱ区下層遺構面 土坑79
図64 965	銅製品	銭 天禧通寶	直径 2.2	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑79 中国北宋代 1017年
図64 966	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑82 中国北宋代 1086年
図64 967	在地土器	ロクロ かわらけ・小	8.0	5.4	1.5	完形	49.4	○				黄橙	Ⅱ区下層遺構面 土坑84 白針
図64 968	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.5	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	4					—	Ⅱ区下層遺構面 土坑84 中国北宋代 1086年
図64 969	銅製品	銭 □□□寶 (篆書)	直径 2.3	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅱ区上層遺構面 溝状遺構東側
図64 970	銅製品	銭 元祐通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.6	厚さ 0.1	完形	5					—	Ⅱ区上層遺構面 溝状遺構東側 中国北宋代 1086年
図65 971	在地土器	高台付ロクロ かわらけ・小	(9.2)	(6.0)	2.4	1/3		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 972	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	2.0	1/2						黄灰	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 973	在地土器	手づくね かわらけ・小	9.2	—	1.1	ほぼ完形	54.6					橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 974	在地土器	手づくね かわらけ・小	9.6	—	1.1	1/2		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 975	在地土器	手づくね かわらけ・小	(9.0)	—	1.6	1/2		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 976	在地土器	手づくね かわらけ・小	(8.6)	—	2.0	1/2						橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 977	在地土器	手づくね かわらけ・小	(9.7)	—	1.6	1/2		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 978	在地土器	手づくね かわらけ・大	(13.1)	—	2.3	1/3		○				淡黄橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 979	在地土器	手づくね かわらけ・大	(13.1)	—	3.0	1/3		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 980	在地土器	手づくね かわらけ・大	(14.0)	—	2.7	1/3						橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 981	在地土器	手づくね かわらけ・大	13.8	—	2.9	2/3		○				橙	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 白針
図65 982	陶器	常滑 片口鉢Ⅰ類	(21.2)	(11.2)	10.4	口～底1/3						灰	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 5型式か
図65 983	銅製品	銭 元豊通寶 (篆書)	直径 2.4	孔径 0.7	厚さ 0.1	完形	3					—	Ⅰ区最下層遺構面 溝1 中国北宋代 1078年

第五章　若宮大路周辺遺跡群のプラント・オパール分析と花粉分析

1. はじめに

鎌倉市の若宮大路周辺遺跡群（小町一丁目 333 番 2 地点）において行われた発掘調査で、土坑が検出された。この土坑埋土より採取された土壌試料について、プラント・オパール分析と花粉分析を行った。

2. 試料と分析方法

試料は、若宮大路周辺遺跡群の土坑 18 の埋土より採取された 2 試料（WW1、WW2）である。土相について、WW1 は炭混じり黄灰色（2.5Y6/1）細粒砂、WW2 は暗灰黄色（2.5Y5/2）細粒砂である。これら 2 試料について、以下の手順にしたがって分析を行った。

2-1. プラント・オパール分析

秤量した試料を乾燥後再び秤量する（絶対乾燥重量測定）。別に試料約 1g（秤量）をトールビーカーにとり、約 0.02g のガラスビーズ（直径約 0.04mm）を加える。これに 30% の過酸化水素水を約 20 ～ 30cc 加え、脱有機物処理を行う。処理後、水を加え、超音波洗浄機による試料の分散後、沈降法により 0.01mm 以下の粒子を除去する。この残渣よりグリセリンを用いて適宜プレパラートを作製し、検鏡した。同定および計数は、機動細胞珪酸体に由来するプラント・オパールについて、ガラスビーズが 300 個に達するまで行った。また、植物珪酸体の写真を撮り、図版 1 に載せた。

2-2. 花粉分析

試料（湿重量約 3g）を遠沈管にとり、10% 水酸化カリウム溶液を加え、10 分間湯煎する。水洗後、46% フッ化水素酸溶液を加え、1 時間放置する。水洗後、比重分離（比重 2.1 に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離）を行い、浮遊物を回収し、水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続いてアセトリシス処理（無水酢酸 9：濃硫酸 1 の割合の混酸を加え 20 分間湯煎）を行う。水洗後、残渣にグリセリンを滴下し、保存用とする。検鏡は、この残渣より適宜プレパラートを作製して行った。プレパラートは全面を検鏡し、その間に現れる花粉・胞子を全て数えた。

3. 分析結果

3-1. プラント・オパール分析

同定・計数された各植物のプラント・オパール個数とガラスビーズ個数の比率から、試料 1g 当たりの各プラント・オパール個数を求め（付表 1）、それらの分布を図 1 に示した。以下に示す各分類群のプラント・オパール個数は、試料 1g 当たりの検出個数である。

検鏡の結果、両試料よりイネのプラント・オパールが検出された。検出個数は 180,000 個前後を示し

付表 1　試料 1g 当たりのプラント・オパール個数

試料	イネ (個/g)	イネ穎破片 (個/g)	ネザサ節型 (個/g)	ササ属型 (個/g)	他のタケ亜科 (個/g)	ヨシ属 (個/g)	シバ属 (個/g)	キビ族 (個/g)	ウシクサ族 (個/g)	不明 (個/g)
WW1	179,100	1,000	31,000	3,900	4,800	2,900	0	28,100	44,500	3,900
WW2	184,000	0	47,900	3,800	5,600	900	900	45,100	47,900	15,000

ている。また、イネの穎に形成される珪酸体の破片（イネ穎破片）がWW1で、イネ型短細胞珪酸体は両試料で観察された。

イネ以外ではネザサ節型やウシクサ族が多く検出された。また、キビ族は両試料ともに10,000個を超えている。その他には、ササ属型やヨシ属、シバ属などが検出されている。

付表２　産出花粉胞子一覧表

学名	和名	WW1	WW2
草本			
Gramineae	イネ科	1	-
Artemisia	ヨモギ属	1	-
Arboreal pollen	樹木花粉	-	-
Nonarboreal pollen	草本花粉	2	-
Spores	シダ植物胞子	-	-
Total Pollen & Spores	花粉・胞子総数	2	-
unknown	不明	-	-

3-2. 花粉分析

２試料の検鏡を行った結果、十分な量の花粉化石が得られなかった。WW2からは花粉が検出されておらず、WW1からはイネ科とヨモギ属が検出された。産出花粉・シダ植物胞子の一覧を付表２に示す。なお、十分な量の花粉化石が得られていないため、分布図は示していない。

4. 考察

WW1とWW2からは十分な量の花粉化石が得られなかった。一般的に、花粉は湿乾を繰り返す環境に弱く、酸化的環境に堆積すると、紫外線や土壌バクテリアなどによって分解され消失してしまう。そのため、堆積物が酸素と接触する機会の多い堆積環境では花粉化石が残りにくい。よって、試料採取地点は堆積時か堆積後において、好気的環境に晒されていた可能性がある。あるいは、堆積速度が速くて堆積物中に花粉が取込まれなかった可能性もある。一方で、植物珪酸体はガラス質であるため、乾燥的環境においても良好に保存される。以下では、分析試料から産出した植物珪酸体に基づき、土坑18の特徴について検討した。

WW1とWW2の２試料ともに突出して多く検出されたのがイネ機動細胞珪酸体であるため、埋土内に稲藁が多く混入していたとみられる。試料を採取した土坑18は、その形状からトイレ跡の可能性が考えられている（※）。稲藁とトイレ跡との関係性は不明であるが、ひとつに、トイレ跡が稲藁等の廃棄の場になっていた可能性が推測される。

※編者註

第四章で述べたように、現地調査の段階で土坑18と土坑20とが混同されてしまった節がある。

土坑20については、下層埋土について「トイレの可能性も含む」とのメモ書きが残されている。

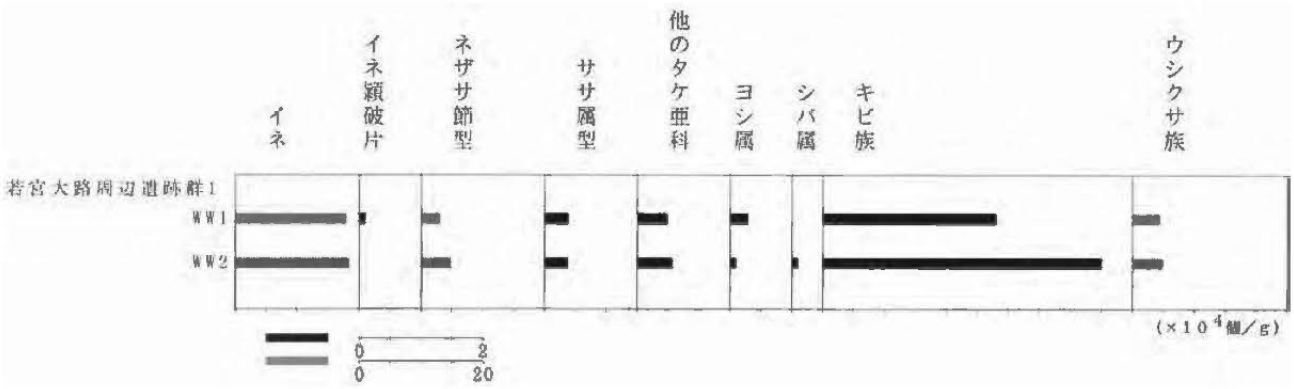
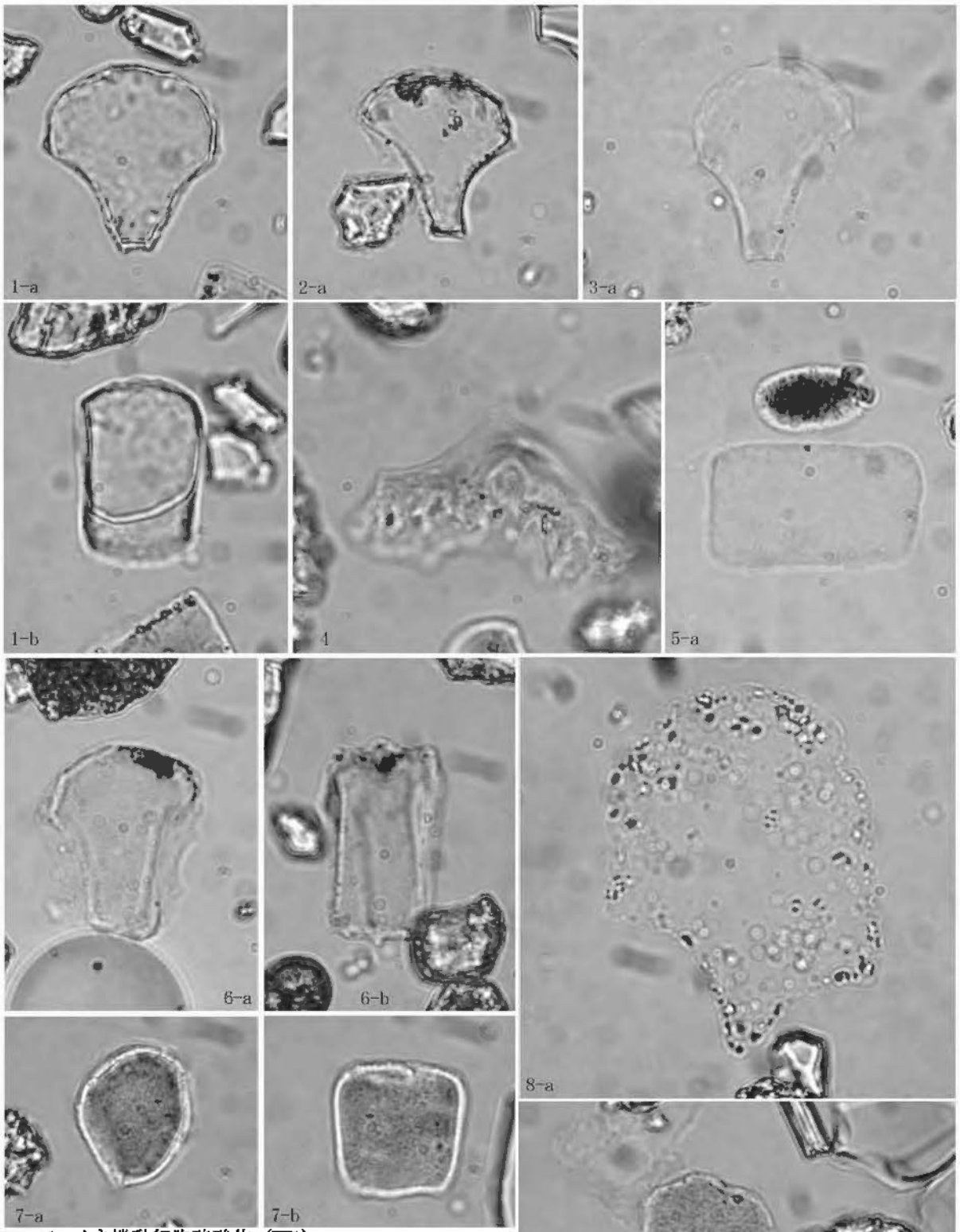


図１　プラント・オパール分布図



1. イネ機動細胞珪酸体（WW1）
2. イネ機動細胞珪酸体（WW1）
3. イネ機動細胞珪酸体（WW1）
4. イネ穎破片（WW2）
5. キビ族型機動細胞珪酸体（WW1）
6. ネザサ節型機動細胞珪酸体（WW1）
7. キビ族機動細胞珪酸体（WW1）
8. ヨシ属機動細胞珪酸体（WW1）
9. ウシクサ族機動細胞珪酸体（WW1）

a：断面　b：側面

図版１　若宮大路周辺遺跡群１から産出した植物珪酸体

第六章　調査成果のまとめ

第１節　遺物点数・重量の提示方法について

ここまで、大掴みな説明に終始してきた。時間的制約のためとはいえ現地調査時の精細な記録と所見を大幅に省略した内容となった点、お詫びしたい。

本報告では出土遺物の点数（破片数）と重量を遺構・層位単位で区別して表５に示した。地点全体の総量は提示しなかったが、各々の分析視点に応じて数値を合算し、利用いただきたい。

遺構ごとに遺物数を示すことで、遺構間の新旧関係と遺構内の遺物組成とがどのような相関性を持つのか知り得るが、本報告ではそこまで踏み込んだ検討は行えなかった。本地点のように同一の層位上で繰り返し遺構が形成された遺跡では整然とした遺物組成を見出すことは難しいが、それでも上層遺構面の土坑 39 や、下層遺構面の竪穴建物 21・溝 1 などではまとまりのある遺物を抽出でき、これに遺構の新旧関係を加味して考えることで、ある程度の年代幅を抑えることは可能となろう。

重量については、かわらけはロクロ：手づくね、および大：小の量的構成を破片数と併せて客観的に示すことができ、そこに一定量の完形品が含まれていれば、個体重量の平均値（もしくは集中値）から個体数の概算値を得ることも可能となる。陶磁器類についてはかわらけと同じ効果は望めないが、情報として開示することに無駄はないと考えている。報告書の刊行がなった後、実測図が掲載されない遺物が原則として「お蔵入り」されている現状を鑑みるに、現地での出土・取り上げ状況を第三者にも復元できる提示方法が必要であり、実物に代わる基礎データとして位置付けたい思いがある。各遺物の分類認定など、現行の研究水準を反映できていない部分も多いが、今後、少しでも改善すべく心掛けたい。

第２節　遺構の変遷と遺物様相

前置きが長くなったが、以下、前節の視点にも照らしながら遺構の変遷と遺物様相について整理し、まとめとしたい。

（１）上層遺構面

Ⅰ・Ⅱ区とも土坑を主体とする遺構が検出された。同一面上での重複が著しく、また下層竪穴建物の埋土を掘り込む遺構も多くあり、基本的に新旧の遺物が混在する状況下にあったといえる。そうした中、Ⅰ区井戸 1 やⅡ区据甕遺構、方形竪穴状土坑（＋土坑 31）、土坑 36・39 などで一定の特徴を見出せる遺物が出土している。

井戸 1 では、かわらけはロクロ成形品が大多数を占め、大～小までの 4 法量とも器壁の分厚い資料が主体となる。瀬戸窯製品には浅い碗（小鉢か＝図 25-125）など後Ⅱ期と思しき製品、常滑には 9 型式前後の甕片（同 133）など 15 世紀前半の要素が散見される。在地産かわらけが最も新しく製作されたという前提に立てば、井戸 1 の廃絶～埋没時期を 15 世紀前半以降に置くことが可能となる。

据甕遺構では 8 型式頃の常滑大甕（図 27-157）が埋設され、この据え方土坑内で出土したかわらけはロクロ成形品が殆どを占め、小皿は丸みを帯びて低平、大皿は内湾・深身器形を呈する（158 ～ 163）。大甕を 14 世紀後半の製品とすると、かわらけはこれより古い印象を受ける。近年では 8 型式を 14 世紀前葉に置く見方も支持されているので（藤澤・山本 2015）、かわらけに引き寄せて遡らせることも可能

かもしれない。

方形竪穴状土坑1は上部に土坑31が重なり、本報告では同一遺構の可能性があるとした。土坑31のロクロかわらけ大皿（図31-268～269）は口縁を外方に引き伸ばして仕上げている点、方竪状1の内湾器形（図28-182）より後出する要素を有する。土坑31の非図化遺物には瀬戸窯の縁釉小皿が含まれることから、14世紀中頃～後半まで下らせ得る。方竪状1埋土の小皿（図28-169～181）は内湾器形を基調とし、低平と深身の2種が認められる。床面上の小皿（図29-210～213）は低平タイプが占める。埋土出土の瀬戸窯花瓶（図28-186）は中Ⅱ期頃の製品と見られ、総体として14世紀前葉～中頃の遺物様相と捉えられる。

土坑36のロクロかわらけ（図33-277～281）は、比較的薄い体部が直線的に開く。備前窯すり鉢（282・283）は、口縁が肥厚する282が新しい。両者で中世3a～3b期への移行期の資料と見なせ、14世紀の中頃～後半に位置付けられようか。本遺構に切られる土坑67では大・小とも内湾するロクロかわらけが出土しており（図35-356・357）、資料数は少ないが器形変化を示す事例となろう。

土坑39は、重複するどの遺構よりも新しい。ここでは完形率の高いロクロかわらけが一括廃棄され、大6055g、小皿1520gが出土した。大は口径9～10cm台前半で107g前後の中皿と、口径10.5～11cm前後で136g前後の大皿に分けられる。小には口径6～7cmで40g前後の小皿と、口径7～8cmで60g前後の準小皿があり、これを核として、やや幅のある法量分布を示している。基本的には以上の4法量で構成されるが、破片資料ではこれら4種を判別できないため、正確な個体数も算出できない。試みに大120g・小50gという平均値で割り出すと、大51個・小30個に換算され、図化できた資料とは異なる構成比を示す。いずれの法量でも器壁が厚く、体部～口縁が直線的ないし外反する資料が主体となり、先述した井戸1の資料と近い印象を受ける。細部を見ると、本土坑の方が外反する傾向が強く、小型品では底部脇の突出する資料が目立ち、井戸1より粗雑化が進んだ要素と見なせる（図34-292～321）。伴出した陶磁器類は僅少で破片資料が占めるが、瀬戸窯の縁釉小皿（322）は低い削り出し高台を有し、後Ⅳ期以降の製品と見なせる。1/4程度が残存するもので、完形品が主体のかわらけは、これより後に製作されたと理解すべきだろう。従って15世紀中頃以降の年代を与えることができ、「中世都市鎌倉」としては最終段階のかわらけ一括廃棄例とも評価し得る。

以上を総合すると、本地点の上層遺構面では14世紀前葉～中頃に土坑主体の土地利用へと移行し、井戸をともないながら15世紀中頃までは一定の営みがあったことになる。下層遺構面の竪穴建物群がいつ頃に機能を失って行ったのか、参考としたい。

（2）下層遺構面

竪穴建物間の新旧関係は各図面に記載したので繰り返さないが、整理すると、下記のような建物変遷を提示できる。

Ⅰ期：竪穴底面の四周に柱穴を巡らせる掘立柱構造。→建物7・21

Ⅱ期：土台材から枘組みの柱を立てる土台構造。

→建物2・4・6・9・11・12・13・15・16・17・19・20・22・24

Ⅲ期：土台構造と思われるが、遺構間の切り合いで最も新しい建物。小規模な例が散見される。

→建物3・5・10・14・18

遺構間の切り合いや構造材の腐朽によって必ずしも構造が明確な例ばかりではないが、以上のようにまとめた。竪穴建物の主な用途は倉庫で、建物21のように破損した未使用陶磁器を打ち棄てた状況は、そのことを端的に物語っている。前章でも述べたように、同様の廃棄例は鎌倉でも唯一であり、床下の

埋甕などを除いては、建物への帰属が明確に分かる出土遺物は稀である。

以下、各期の年代観について検討する。

Ⅰ期（建物 7・21）

Ⅰ区建物 7 の出土かわらけは、埋土上層・下層ともロクロ成形と手づくねの数量が拮抗する。床面上では手づくねのみ、柱穴では遺物の全体量が少ないが、ロクロ・手づくね双方が出土している。陶磁器では埋土の上層で白磁皿Ⅸ類や龍泉窯系青磁坏・盤Ⅲ類、8 ～ 9 型式の常滑甕（図 43-530）が出土し、新しい要素が混在している。下層～床面上・柱穴では、こうした傾向は見えにくくなる。柱穴 P-ケでは略完形のロクロかわらけ小皿が出土し（533）、広い底部から丸みを帯びた低い体部が立ち上がる。

Ⅱ区建物 21 では龍泉窯系青磁碗Ⅲ類や白磁皿Ⅸ類、尾張型 7 型式の山茶碗・山皿が倒壊した壁板下からまとまって出土し、その多くに明瞭な使用痕が見て取れなかったことから、鎌倉への搬入から間もない 1250 年前後、もしくはそれ以降に建物としての廃絶期を想定できる。また、壁材の裏込め土からも龍泉窯系青磁碗Ⅲ類が出土しているので、構築～廃絶の期間は短かったことが推察できる。掘方からは龍泉窯系青磁碗Ⅳ類と思しき小片が出土しているが、これは 14 世紀以降の要素なので、分類比定の錯誤か、または何らかの理由による混入品と理解したい。

以上 2 例から検討すると、Ⅰ期の竪穴建物は 13 世紀中頃の短期間のうちに構築～廃絶を迎え、Ⅱ期の土台構造建物群へと移行したことが推察される。

Ⅱ期（建物 2・4・6・9・11・12・13・15・16・17・19・20・22・24）

対象となる建物が多いので、遺物量の多い事例に限って検討したい。

Ⅰ区建物 4 は建物 7 より新しく、13 世紀中頃以降の構築が前提となる。出土かわらけはロクロ成形が主体で、図化資料は大・小ともに底広で丸みを帯び、小皿は低平、大皿はやや深身となる。

Ⅱ区建物 11 は造り替えで 2 時期あり、古段階の 11B は西隣の建物 12 と同一遺構となる可能性を示した。11A は掘方底面の高さを変えずに土台材を据え直して構築されており、埋土からの出土遺物については殆どが 11A の埋没時に流入したものと考えられる。上・下層を問わず、かわらけはロクロ成形品が大半を占め、丸みを帯びた体部で低平な小皿と深身の大皿とで構成される。建物 11B ＝ 12 では埋土から薄手・深身の小皿が出土している。

Ⅱ区建物 15 では、埋土・床面上から多くのロクロかわらけが出土している。床面上の小皿は低平で、口縁が外方に引き伸ばされた資料が目立つ（図 52-723 ～ 727 など）。大皿も口縁が薄く引き伸ばされ（732・733）、丸みを帯びて深身の器形である。埋土出土の小皿は丸みを帯び低平なものを主体に、深身器形の資料が加わる（図 51-689）。大皿は内湾して深身器形である（690・691）。特に小皿について、床面上と埋土出土分には器形差が見出せる。

Ⅱ区建物 16 の出土遺物もロクロかわらけが主体で、埋土出土の小皿は内湾して深身の資料が主体となる（図 54-757 ～ 767 など）。ここでは中皿も 1 点だが認められた（769）。裏込め出土の小皿にも深身器形の資料があり、低平小皿が主体となる建物よりも新しく位置付けられそうである。

Ⅱ区建物 17 は建物 21 より新しく、13 世紀中頃以降の構築であることが前提となる。ここでも出土遺物はロクロかわらけが主体で、埋土出土の小皿は丸みを帯びて低平な資料が主体となり（図 55-793 ～ 800）、本遺構を切る建物 16 の深身小皿より古い様相であることを指摘できる。

建物 19 でもロクロかわらけが主体で、大・小とも内湾して深身の資料が目立つ。

Ⅱ区建物 20 の出土品もロクロかわらけが主体となる。大・小とも体部は丸みを帯び、小皿は低平、大皿はやや深身器形を取る。建物 15 床面上に先行する資料で、目立った器形差はないものの、本遺構

の方が体部の丸みが強いようにも見受けられる。

Ⅱ区建物24は土台構造だが、遺構間の切り合いでは最も古い建物である。かわらけは埋土・裏込めともロクロ成形と手づくねの数量には大差がなく、建物21の裏込めと近い傾向を示している。掘立柱構造ではないが、Ⅰ期遺構として考えることも可能である。

Ⅲ期（建物3・5・10・14・18）

Ⅰ区建物3のロクロかわらけ大皿（図40-453・454）は、体部が丸みを帯び深身器形となる。

Ⅰ区建物5では、底径が小さく体部が内湾する小皿（図42-505）が見られる。

Ⅱ区建物10では、出土遺物の大多数をロクロかわらけが占めている。埋土出土の大・小とも体部に丸みを持ち、小皿は低平（図45-556～559）、大皿は深身器形を呈する（560～563）。掘方出土の大皿（574・575）は、埋土出土のものより若干小振りである。

Ⅱ区建物14でもロクロかわらけが主体で、大・小ともに体部に丸味を帯び、小皿には低平（図50-667・668）と深身（672・673）、その中間形態（669・671）も設定できようか。瀬戸窯の柄付片口（676）と袴腰形香炉（677）は中期前半の製品なので、13世紀末～14世紀前葉以降には埋没が進んだことを指摘できる。

Ⅱ区建物18でも、出土遺物の主体はロクロかわらけである。大・小とも薄手で丸みを持つ器形で、深身の資料が目立つ。

以上、竪穴建物間の新旧関係からⅡ期とⅢ期を設定したが、双方の遺物様相に顕著な差を見出すことはできず、短期間のうちに廃絶（埋め立て）と新設とを繰り返した状況が窺える。どの建物においても出土遺物の主体となるのはロクロかわらけで、大・小とも体部に丸みを帯び、浅いものから深身器形に移行することが確認できた。こうした深身への器形変化は、小皿の方が認識しやすい。

それぞれの遺物に正確な年代を当てることは難しいが、Ⅰ期建物の廃絶からⅢ期建物の埋没期となる13世紀中頃～14世紀前葉頃の中で建物群の展開があったことは指摘できよう。とすると、一部は上層遺構面の上限年代に重なる可能性があり、14世紀前葉頃に土地利用上の大きな転換期が訪れたことが分かる。鎌倉幕府の滅亡を契機に当エリアの竪穴建物群（倉庫群）も次第に需要を失い、14世紀中頃～後半には土坑中心の土地利用に移行したと考えるのが妥当だろう。ただ、そうした変化がどの程度の速さで進んだのか、他地点・他エリアの成果も踏まえて総合的に検討する必要があろう。

Ⅰ期以前（溝1・井戸4・方形竪穴状遺構3）

竪穴建物群に先行する遺構として、Ⅰ区の溝1とⅡ区の井戸4・方形竪穴状土坑3が挙げられる。

溝1はⅠ期の建物7に切られ、本地点に建物群が展開する以前に機能していたと考えて間違いない。出土かわらけは手づくね成形品が大多数を占める点、本地点では唯一の遺構である。重量ベースで計算すると、大で95%、小で90%を手づくねが占める。大・小ともに器壁が非常に薄く扁平な器形を呈し、手づくねでも古い特徴を有している（図65-972～981）。13世紀前葉でも、古く位置付けて良いだろう。971の高台付小皿は通常のかわらけ組成には入らない特殊品で、ロクロ成形だが胎土の特徴は手づくねと比べて差がなく、滑らかである。

井戸4はⅡ区東端部の建物15より古い。かわらけはロクロ成形品が大部分を占め、井戸枠裏込め土から白磁皿Ⅸ類や龍泉窯系青磁坏・盤のⅢ類が出土するなど、Ⅰ期の竪穴建物と変わらない遺物組成を示している。図63-953と図65-983の常滑片口鉢Ⅰ類は5～6型式と見られ、13世紀中頃以降の構築・使用期間を想定できる。井戸枠南辺から建物21の北辺までは約2ｍの距離があり、これら遺物組成と遺構間の新旧関係とを勘案すると、両遺構が同時期に存続していた可能性も指摘できる。よって本遺構

については、竪穴建物群Ⅰ期に属するものと理解したい。

方形竪穴状遺構3については出土遺物が全くないため年代を特定できず、結果として溝1のみが確実にⅠ期を遡る遺構ということになる。遺物様相だけを見ると、13世紀前葉でも早い段階に溝1が廃絶・埋没した後、一定期間を隔てて13世紀中葉に建物7・21と井戸4が構築され、以後、14世紀前葉まで竪穴建物が建て替えを繰り返しながら展開したという変遷が考えられる。

小括

上記の検討からは、建物Ⅱ・Ⅲ期の中で個々の遺構がいつ頃に存続・廃絶し、どの建物と併存関係にあったのか、具体的には明らかにできなかった。13世紀後半～14世紀前葉＝鎌倉時代後期は都市鎌倉の稠密化が顕著になる時期で、本地点でも、そのことを追認する成果が得られた。この時期はかわらけの編年も含め、細かく解きほぐして検討することが積年の課題となっているが、本章でも不十分な考察に終始した。引き続き、検討を重ねたい。

第3節　「マグソ」の分析結果について

前章で示されたように、Ⅱ区下層の土坑18では、埋土の試料からイネのプラント・オパールが大量に検出されている。試料は有機質腐植土であり、鎌倉の遺跡調査者が「マグソ」と呼ぶ土である。稲藁に由来する可能性が高いことは従来から指摘されていたが、分析結果を得たことで、その推測が裏付けられたことになる。土坑内に稲藁を捨てる目的については明確でなく、これも今後の課題として残る。今回の分析は、現地調査が終了してから10年以上を経た後に依頼したものであった。よって試料採取の意図を十分に反映した内容とならなかったかもしれない。今後、同種の遺構・土壌を確認した際には、より多角的な検討に資する情報を得ることができるよう、留意したい。

参考文献

藤澤良祐・山本智子2015「中世常滑窯編年の再検討―5型式以降を中心に―」『上県2号窯跡　第9次発掘調査報告書』愛知学院大学文学部歴史学科



１．Ⅰ区上層　西半部（西から）



２．Ⅰ区上層　井戸１埋土上層　礫検出状況（東から）



４．Ⅰ区上層　井戸１埋土下層（東から）



３．Ⅰ区上層　井戸１埋土上層（東から）

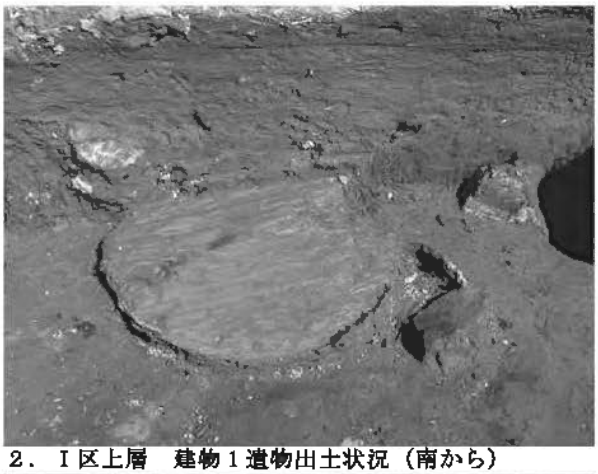


５．Ⅰ区上層　井戸１完掘状況（西から）

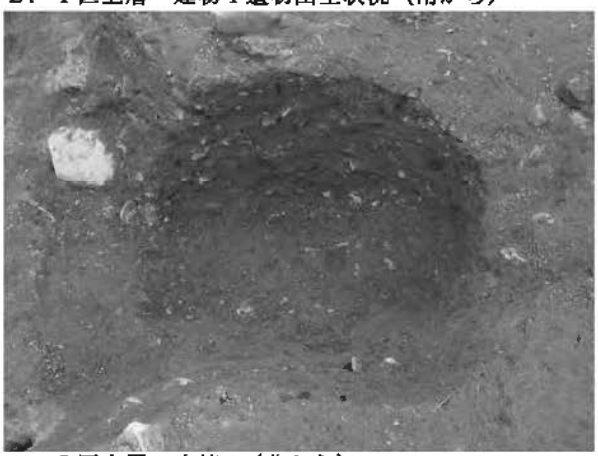
図版２



１．Ⅰ区上層　建物１（南西から）



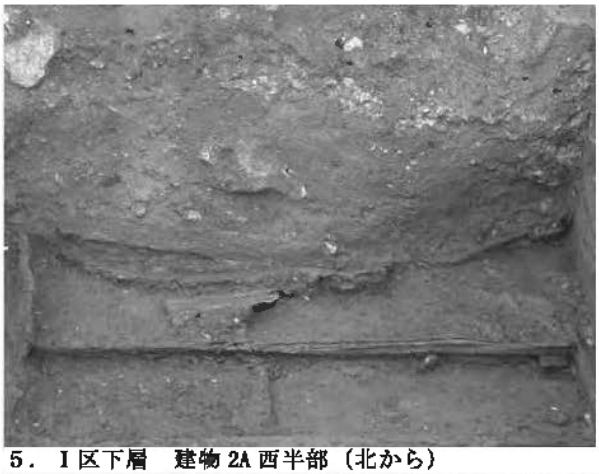
２．Ⅰ区上層　建物１遺物出土状況（南から）



３．Ⅰ区上層　土坑１（北から）



４．Ⅰ区上層　面上遺物出土状況（北から）



５．Ⅰ区下層　建物 2A 西半部（北から）



６．Ⅰ区下層　建物 2A 遺物出土状況（北から）



７．Ⅰ区下層　建物 2A 遺物出土状況（東から）



８．Ⅰ区下層　建物 2A 遺物出土状況（南から）



１．Ⅰ区下層 建物 2A 根太材（南から）



２．Ⅰ区下層 建物 2A 根太材（東から）



３．Ⅰ区下層　建物 2A 柱材倒置状況（北から）



４．Ⅰ区下層　建物 2A 束柱検出状況（東から）



５．Ⅰ区下層 建物 2A（北から）



６．Ⅰ区下層　建物 2A 南辺土土台材（東から）



７．Ⅰ区下層　建物 2A 柱穴ニ（左）・ホ（東から）

図版４



１．Ⅰ区下層　建物 2A 柱穴ハ（南西から）



２．Ⅰ区下層　建物 2A・2B（南から）



３．Ⅰ区下層　建物 2A・2B（西から）



４．Ⅰ区下層　建物 2B 南辺壁板（西から）



５．Ⅰ区下層　建物 2B 東辺土台材（南から）



６．Ⅰ区下層　建物 2B 南辺土台材（東から）



１．Ⅰ区下層　建物３・４（西から）



２．Ⅰ区下層　建物３南辺壁板倒潰状況（北から）



３．Ⅰ区下層　建物４土層断面（東から）



４．Ⅰ区下層　建物４土層断面（東から）



５．Ⅰ区下層　建物３土台材（西から）



６．Ⅰ区下層　建物３土層断面（南から）



７．Ⅰ区下層　建物３東辺壁板（西から）

図版６



１．Ｉ区下層　全景（東から）



２．Ｉ区下層　全景（西から）



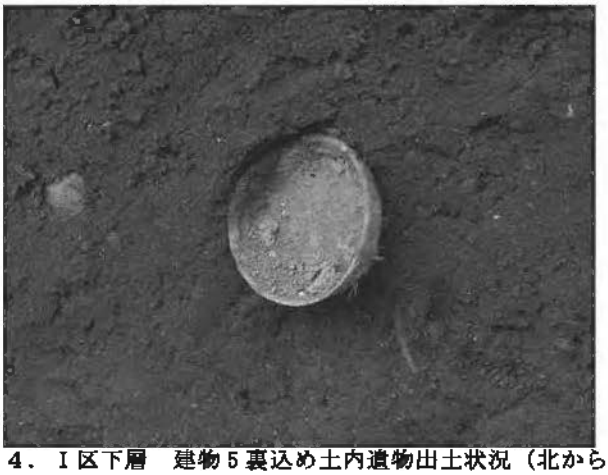
１．Ⅰ区下層　建物４土台材（北から）



２．Ⅰ区下層　建物５（南から）



３．Ⅰ区下層　建物５壁板（東から）



４．Ⅰ区下層　建物５裏込め土内遺物出土状況（北から）



５．Ⅰ区下層　建物６（北西から）



６．Ⅰ区下層　建物６（北から）



７．Ⅰ区下層　建物７南辺壁板・柱穴（北から）

図版８



１．Ⅰ区下層　建物４（手前）・建物７（北から）



２．Ⅰ区下層　建物７底面柱穴列（南から）



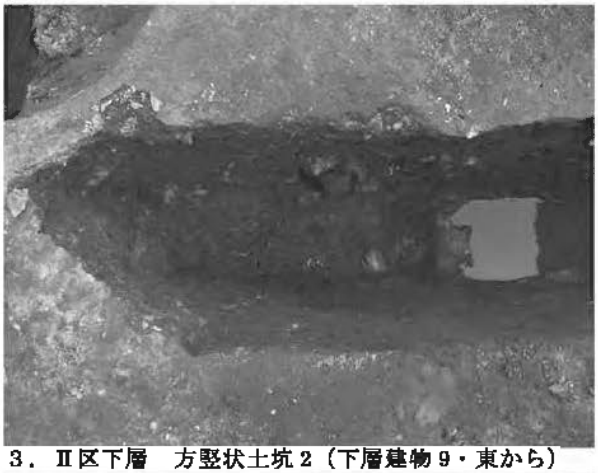
３．Ⅱ区下層　溝１・南辺道路状遺構（東から）



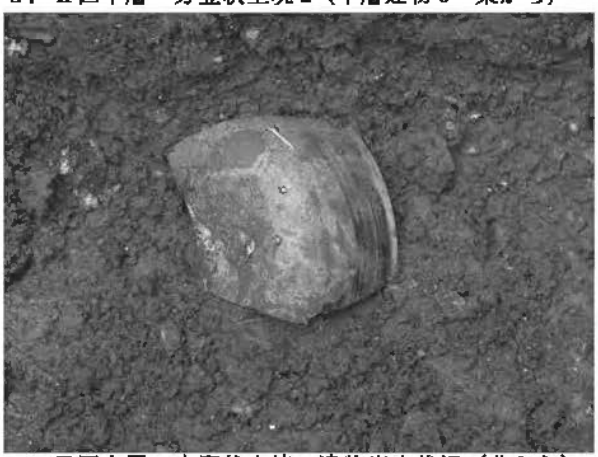
１．Ⅱ区上層　掘甕遺構断面（南から）



２．Ⅱ区上層　掘甕遺構（北から）



３．Ⅱ区下層　方竪状土坑２（下層建物９・東から）



４．Ⅱ区上層　方竪状土坑１遺物出土状況（北から）



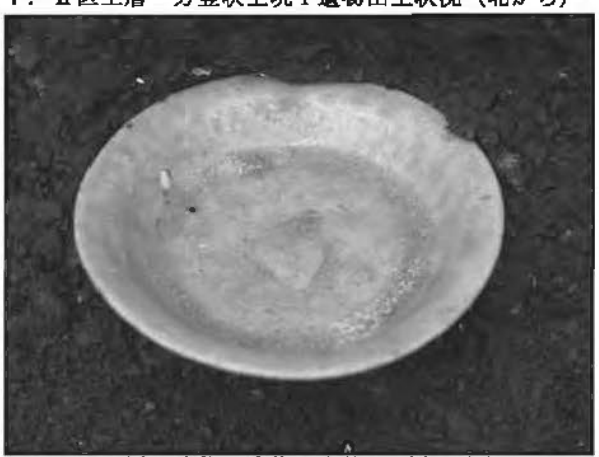
５．Ⅱ区上層　方竪状土坑１遺物出土状況（北から）



６．同上　アップ（北から）



７．Ⅱ区上層　方竪状土坑１遺物出土状況（北から）



８．Ⅱ区下層　建物９遺物出土状況（東から）

図版 10



1．Ⅱ区上層　全景（東から）



2．Ⅱ区上層　全景（西から）



1．Ⅱ区上層　方竪状土坑 1（北から）



2．Ⅱ区上層　方竪状土坑 2（下層建物 9）
底面根太痕（南から）



3．Ⅱ区上層　土坑 35 遺物出土状況（北から）



4．Ⅱ区上層　土坑 39 遺物出土状況（北から）



5．Ⅱ区上層　土坑 39 遺物出土状況（北から）



6．Ⅱ区上層　土坑 31 遺物出土状況（北から）



7．同上　イルカ頭骨アップ（北から）

図版 12



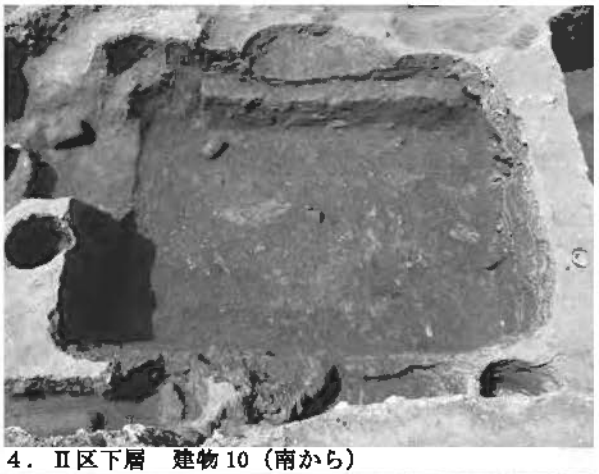
1．Ⅱ区上層　溝状遺構（東から）



2．Ⅱ区下層　建物 10 土層断面（南から）



3．Ⅱ区下層　建物 10 床面炭層（北から）



4．Ⅱ区下層　建物 10（南から）



5．Ⅱ区下層　井戸 2 土層断面（東から）



6．Ⅱ区下層　井戸 3（西から）



7．Ⅱ区下層　井戸 3 土層断面（東から）



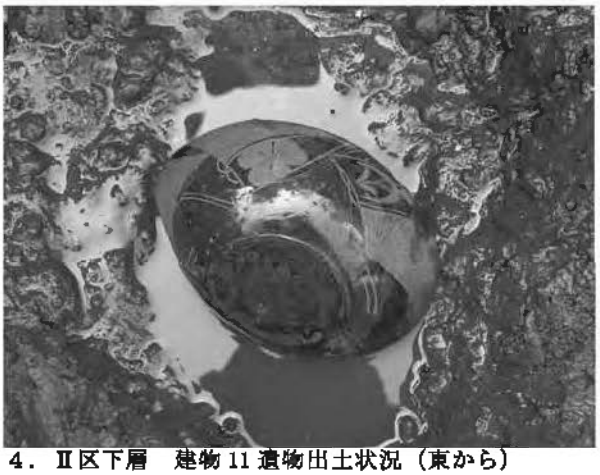
1．Ⅱ区下層　建物 11 遺物出土状況（西から）



2．Ⅱ区下層　建物 11 遺物出土状況（西から）



3．Ⅱ区下層　建物 11 遺物出土状況（北から）



4．Ⅱ区下層　建物 11 遺物出土状況（東から）



5．Ⅱ区下層　建物 15 床下遺物出土状況（西から）



6．Ⅱ区下層　建物 15 床下遺物出土状況（西から）



7．Ⅱ区下層　建物 16（東から）



8．Ⅱ区下層　建物 18 掘り方（南から）

図版 14



1．Ⅱ区下層　建物 11（左）・建物 12（北から）



2．Ⅱ区下層　建物 11（奥）・建物 12（西から）



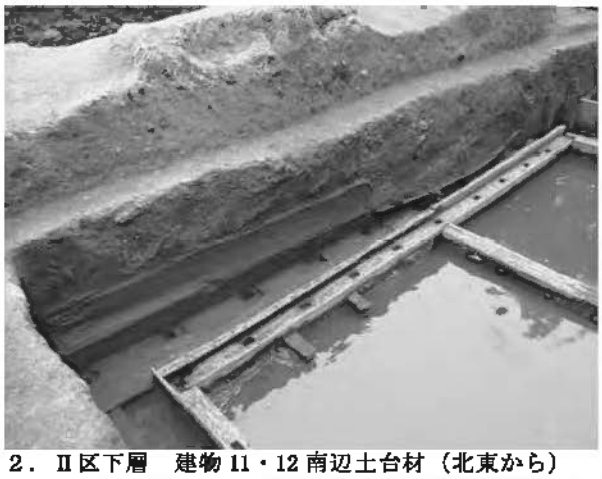
3．Ⅱ区下層　建物 11 西辺壁板（東から）



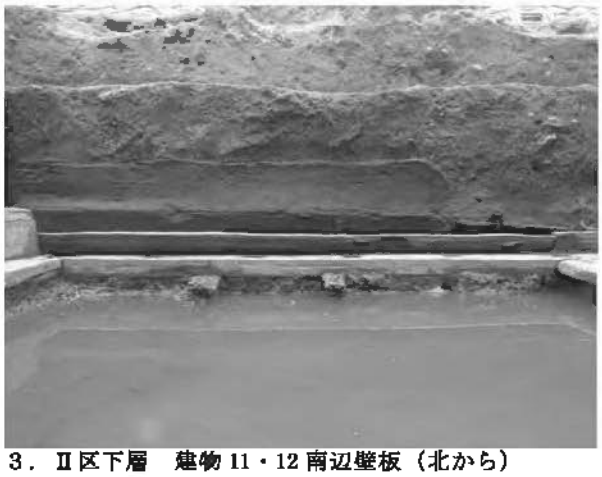
4．Ⅱ区下層　建物 12（南から）



1．Ⅱ区下層　建物 11（手前）・建物 12（東から）



2．Ⅱ区下層　建物 11・12 南辺土台材（北東から）



3．Ⅱ区下層　建物 11・12 南辺壁板（北から）



4．Ⅱ区下層　建物 11 南辺土台材アップ（北から）



5．Ⅱ区下層　建物 11 東辺土台材（西から）



6．Ⅱ区下層　建物 12 西部（北から）



7．Ⅱ区下層　建物 12 西部（南東から）

図版 16



1．Ⅱ区下層　建物 15・20（東から）



2．Ⅱ区下層　建物 15（北から）



3．Ⅱ区下層　建物 15 遺物出土状況（北から）



4．Ⅱ区下層　建物 15 根太材（東から）



5．Ⅱ区下層　建物 15 根太材（北東から）



6．Ⅱ区下層　建物 15 北辺壁板（南から）



7．Ⅱ区下層　建物 15 掘り方遺物出土状況（南から）



1．Ⅱ区下層　建物 19（東から）



2．Ⅱ区下層　建物 19・24（東から）



3．Ⅱ区下層　建物 17・21（南から）



4．Ⅱ区下層　建物 22C（南から）



5．Ⅱ区下層　建物 22C 床板（西から）



6．同上　アップ（西から）

図版 18



1．Ⅱ区下層　全景（東から）



2．Ⅱ区下層　全景（西から）



1．Ⅱ区下層　建物 21 北辺壁板倒潰状況（南から）



2．Ⅱ区下層　建物 21 北辺壁板倒潰状況（東から）



3．Ⅱ区下層　建物 21 壁板下遺物出土状況（東から）

図版 20



1．Ⅱ区下層　建物 21 壁板下遺物出土状況（南から）



2．同上　アップ（南から）



1．Ⅱ区下層　建物 21 掘り方底面（南から）



2．Ⅱ区下層　建物 21 西側遺物出土状況（東から）



4．Ⅱ区下層　井戸 4（東から）



3．Ⅱ区下層　竪穴状土坑 3（南から）

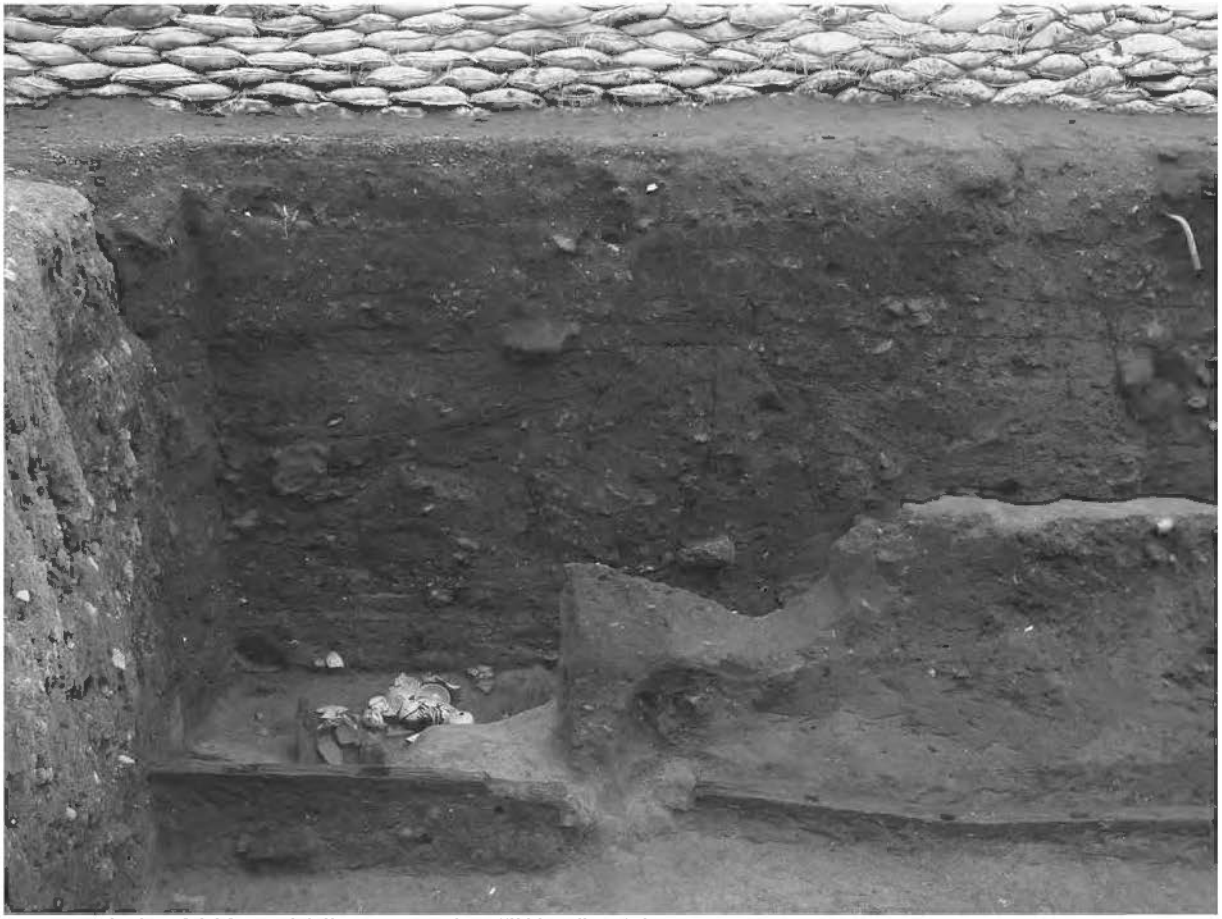


5．同上（北から）

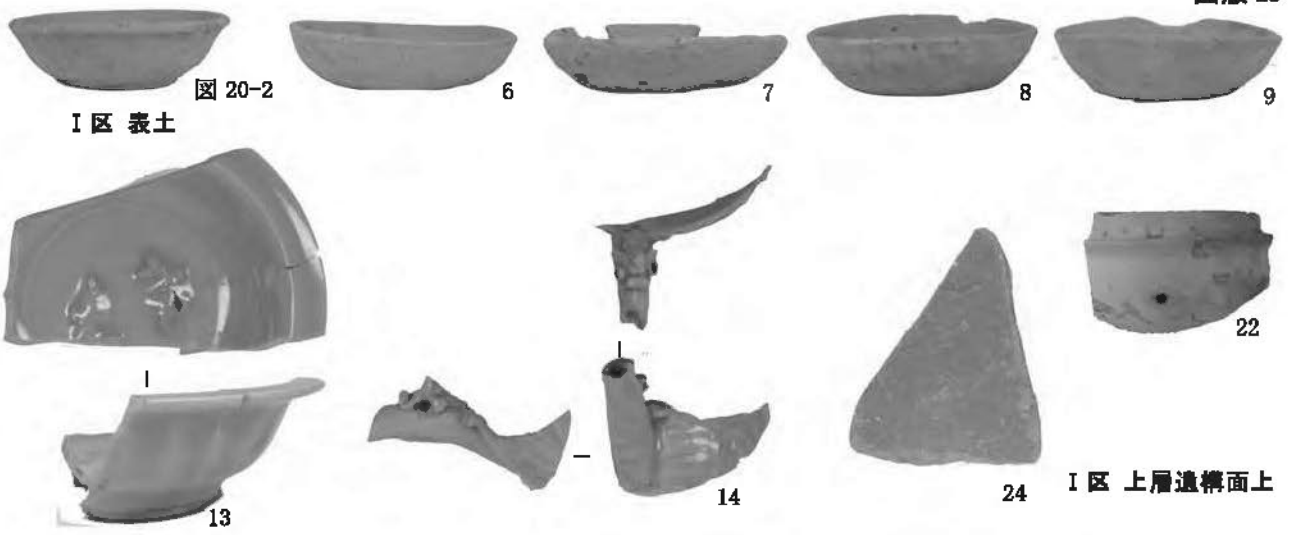
図版 22

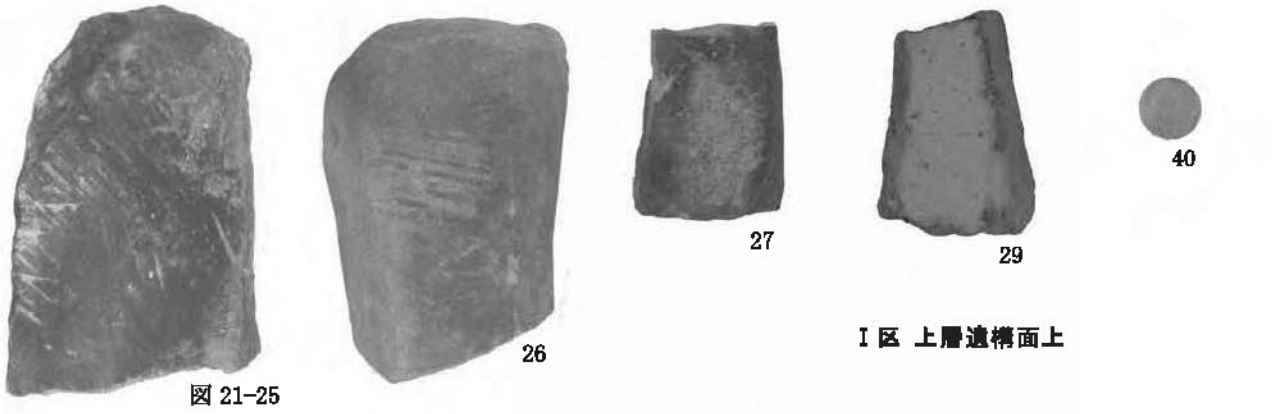


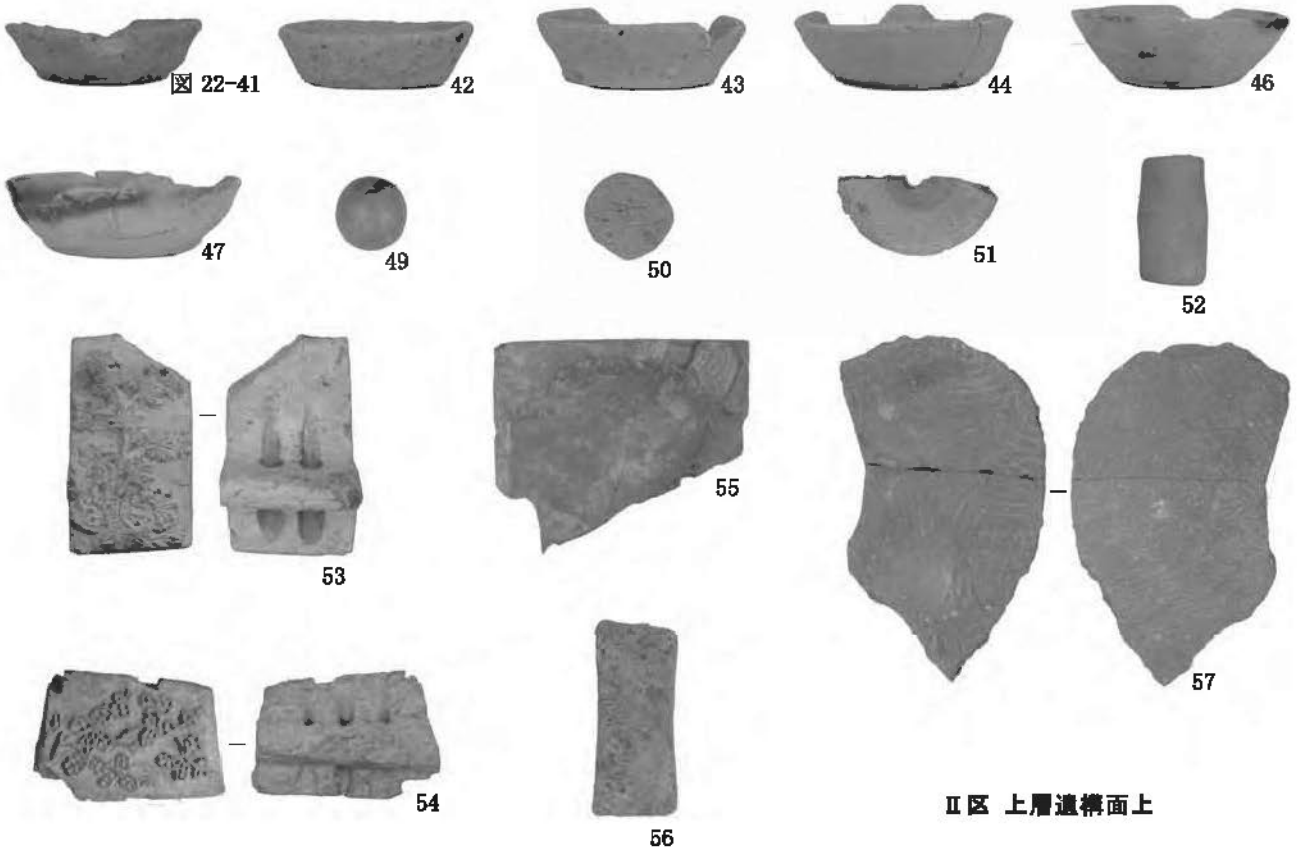
1．Ⅱ区北壁　土層断面（建物 11・12 の新旧関係　南から）



2．Ⅱ区南壁　土層断面（建物 17・21 の新旧関係　北から）


図 20-2
6
7
8
9
Ⅰ区 表土
13
14
22
24
Ⅰ区 上層遺構面上


図 21-25
26
27
29
40
Ⅰ区 上層遺構面上


図 22-41
42
43
44
46
47
49
50
51
52
53
54
55
56
57
Ⅱ区 上層遺構面上

図版 24



図 23-75

Ⅱ区 上層遺構面上
(C-5 グリッド)

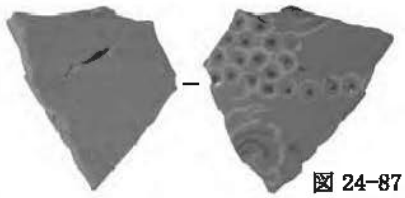


図 24-87



88



92



93



103

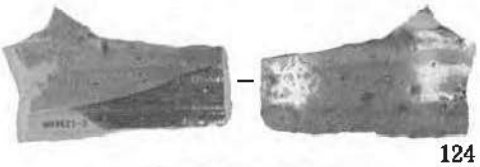


104

Ⅰ区上層 建物 1



図 25-111



124



125



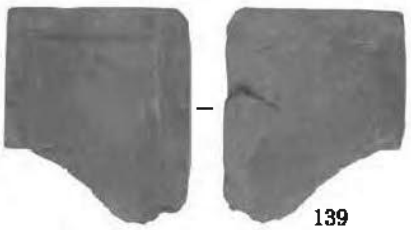
116



117



132



139

Ⅰ区上層 井戸 1



図 26-141



142



144



145



147



148



150



149





151



154



155



156

Ⅰ区上層 井戸 1



図 27-159

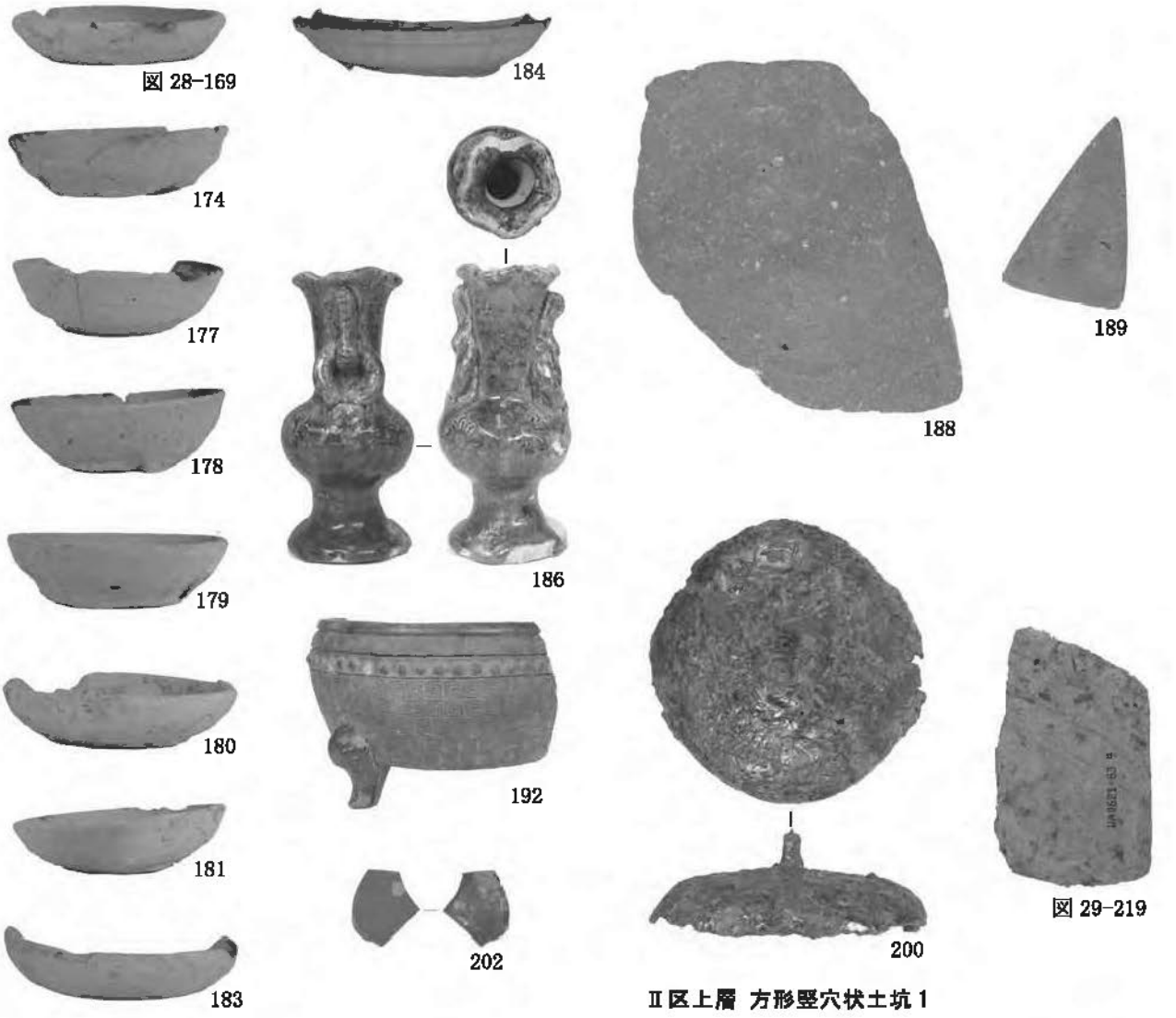


160



163

Ⅱ区上層 据要遺構



Ⅱ区上層 方形竪穴状土坑 1



Ⅱ区上層 井戸状遺構



Ⅱ区上層 土坑

図版 26



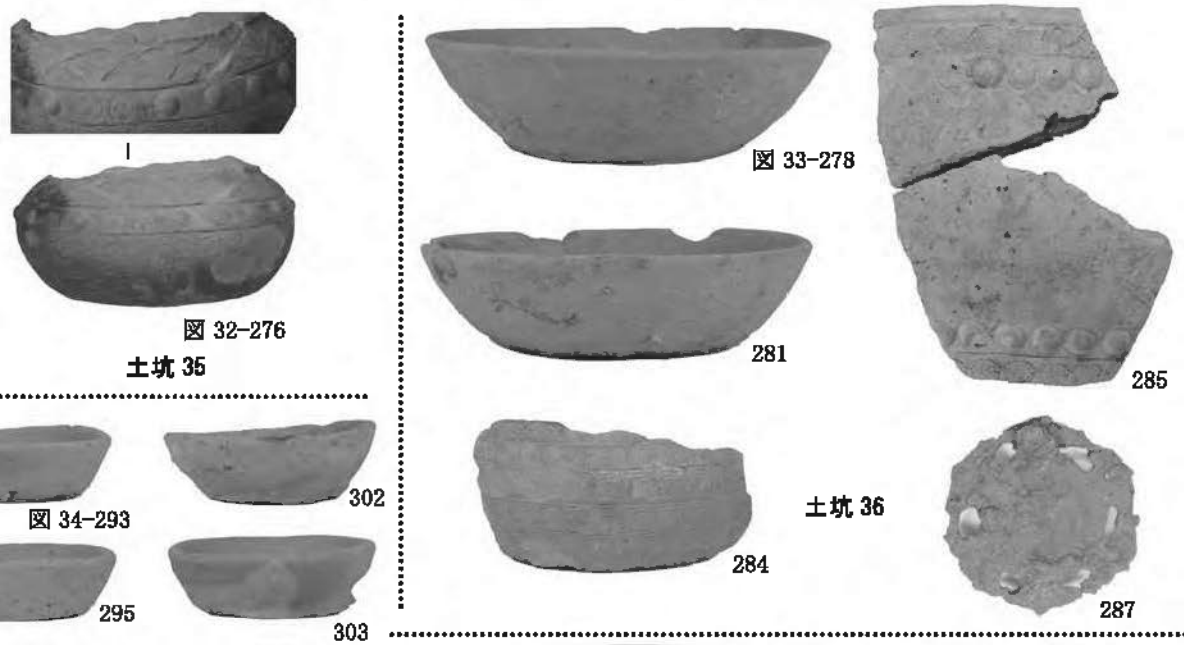
土坑 11

土坑 31

土坑 33

土坑 14

土坑 34



土坑 35

土坑 36

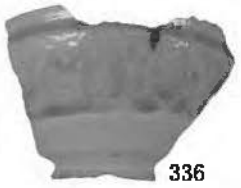
土坑 39

Ⅱ区上層 土坑

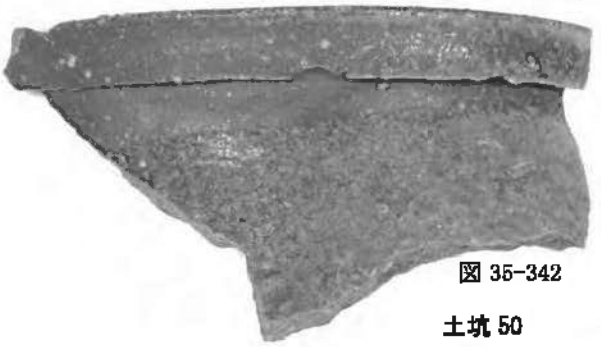

図 34-329
土坑 42


331


332
土坑 46


336
土坑 49


345
土坑 55

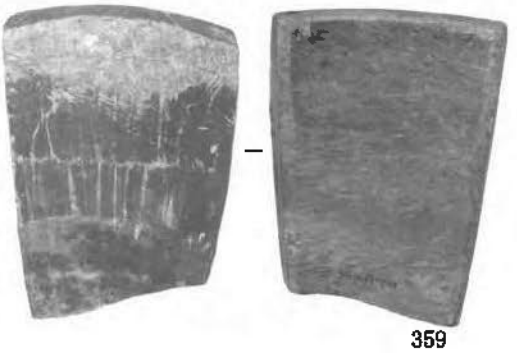

図 35-342
土坑 50

土坑 67


346
土坑 57


356


358


359


360


350


351


352
土坑 62


362
土坑 68


364
土坑 73

Ⅱ区上層 土坑


図 36-368
P10


374


375
P21


376
P24


377
P25


371
P19

I区上層 ピット


380
P35


384
P42

Ⅱ区上層 ピット

図版 28

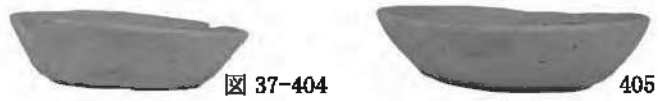


図 37-404　405

Ⅰ区 上層遺構面下
(C-8～10グリッド)



図 38-419

Ⅰ区 上層遺構面下
(B・C-7グリッド)



図 39-439　449　447



445

Ⅰ区下層 建物 2



図 40-453



455



454



457



466



466

Ⅰ区下層 建物 3



図 41-469



470



482



483



472





474





476



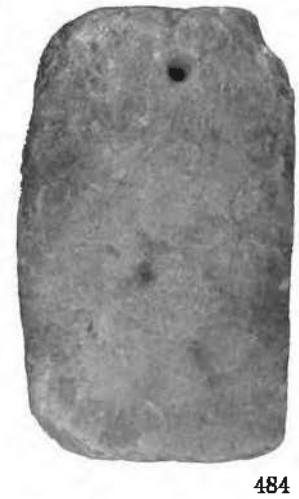
477



478



480



484



491



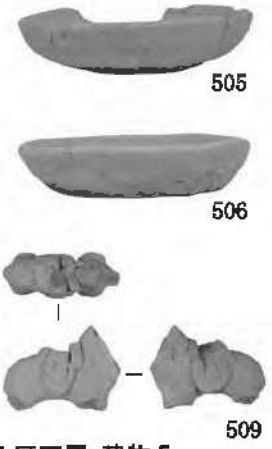
492

Ⅰ区下層 建物 4



図 42-499

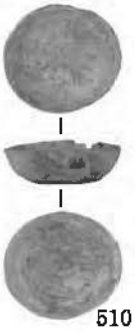
500



505

506

509



510

I 区下層 建物 5



517



518



519

I 区下層 建物 6



図 43-535



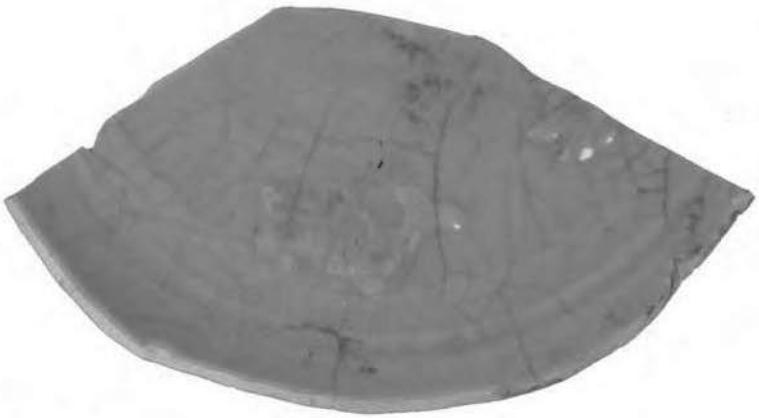
536



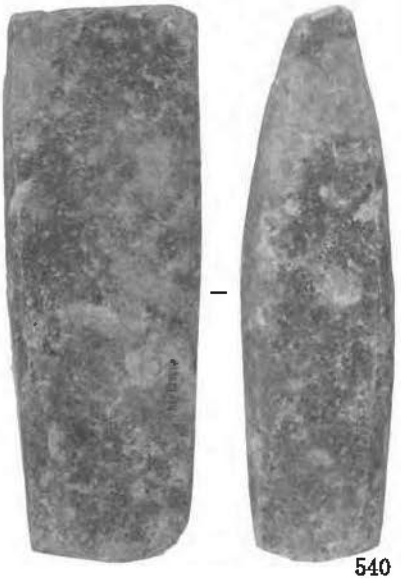
538



539



548



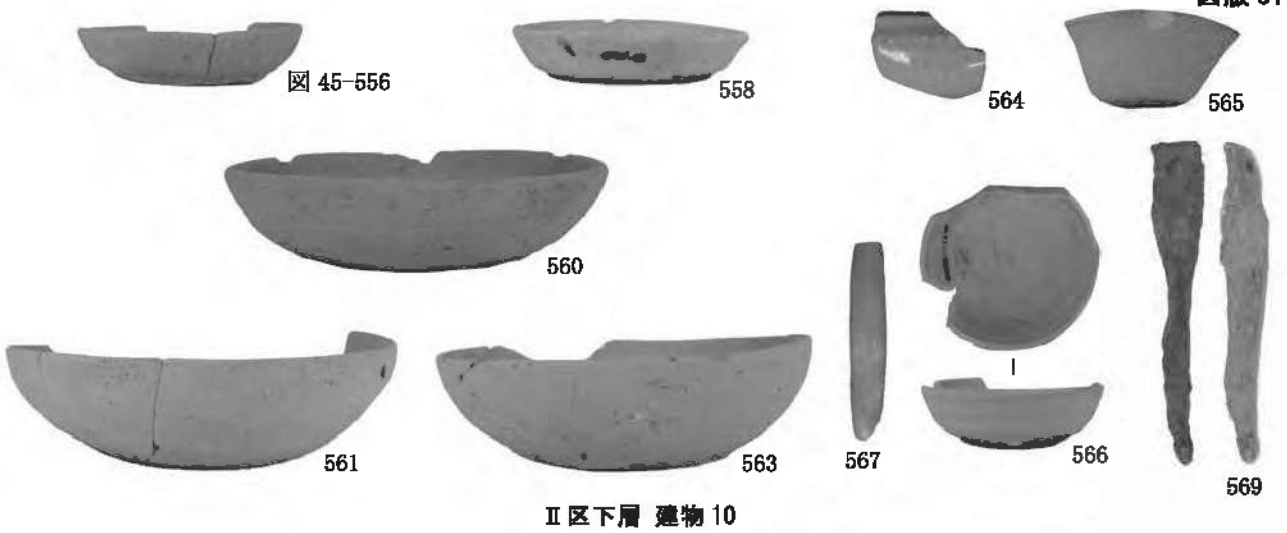
540

II 区下層 建物 9

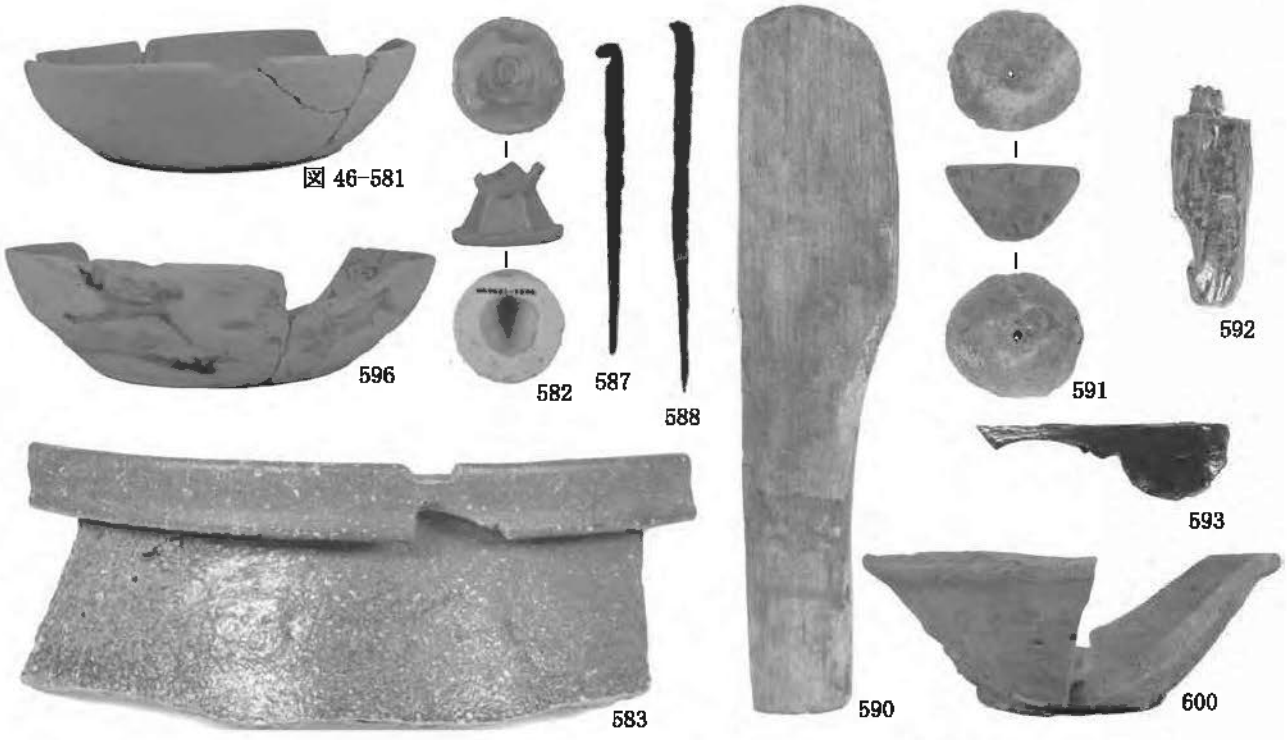
図版 30

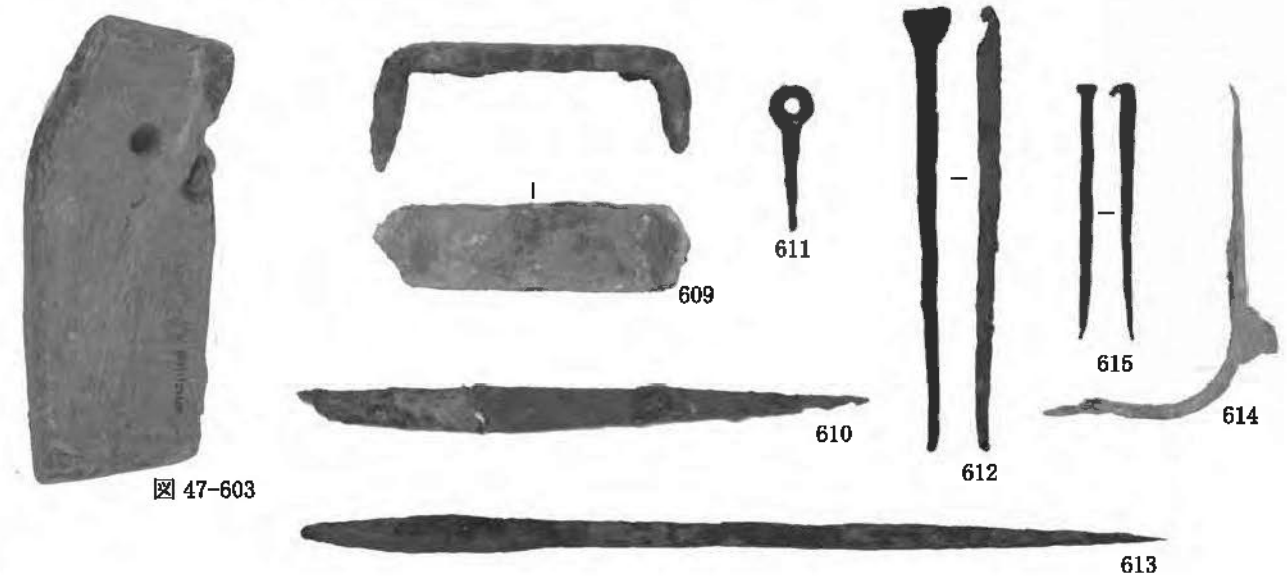


I 区下層 建物 7



Ⅱ区下層 建物 10





Ⅱ区下層 建物 11

図版 32

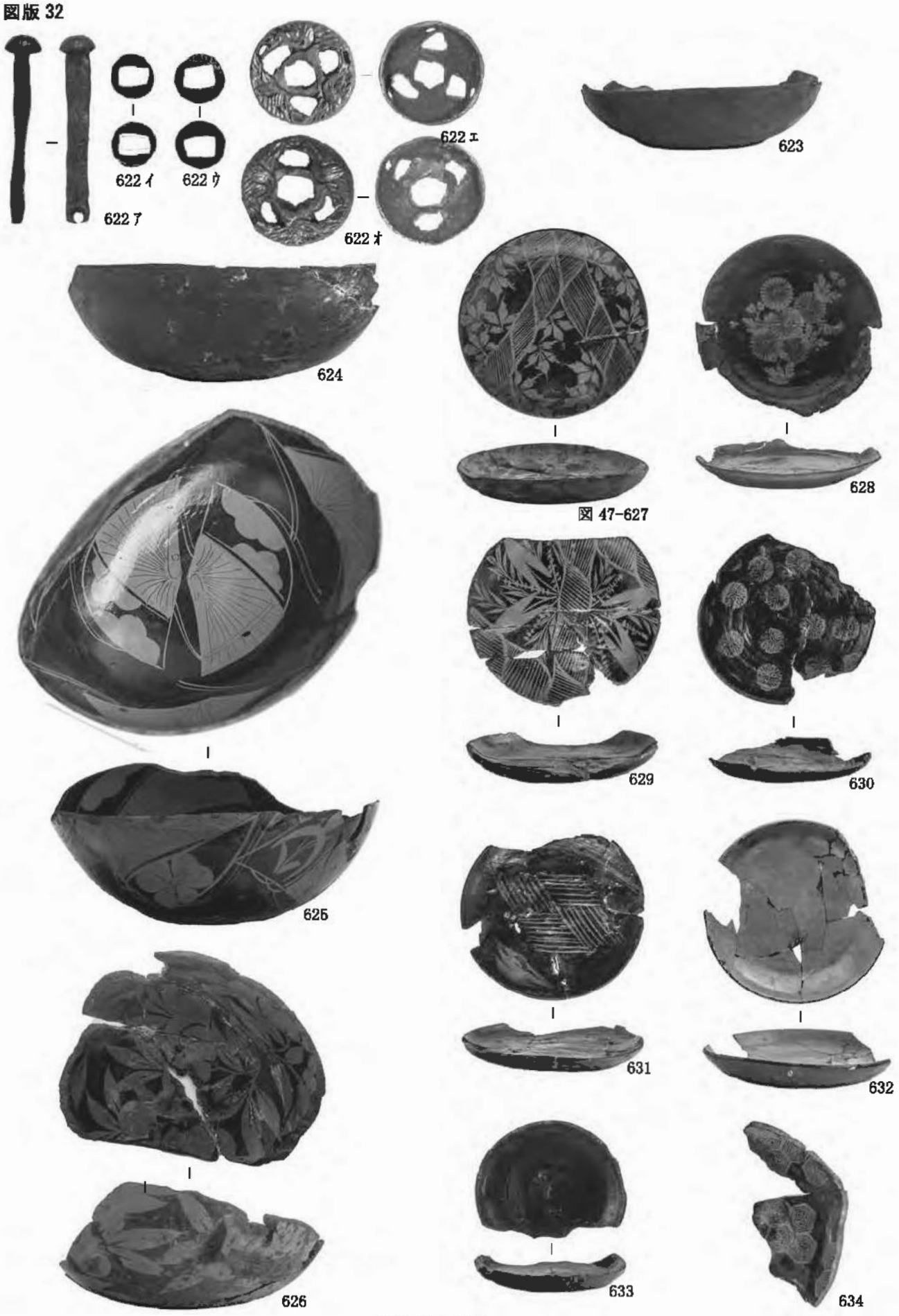


図 47-627

Ⅱ区下層 建物 11



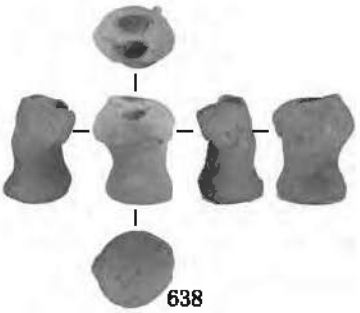
636 イ



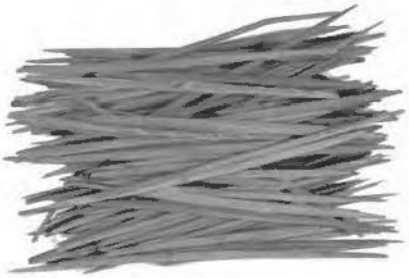
636 ア



637



638



大量の箸



樹皮（曲げ物の綴じ紐）

Ⅱ区下層 建物 11



図 48-635



図 49-649

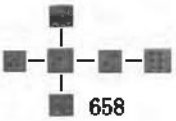


654

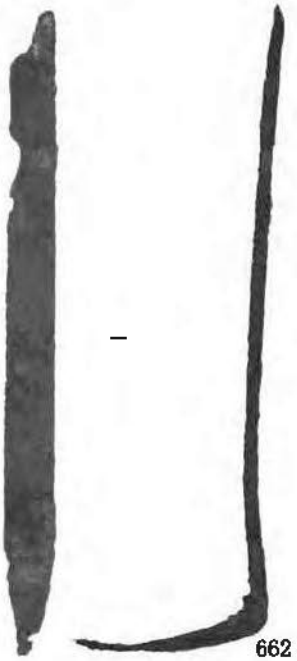
Ⅱ区下層 建物 12



657



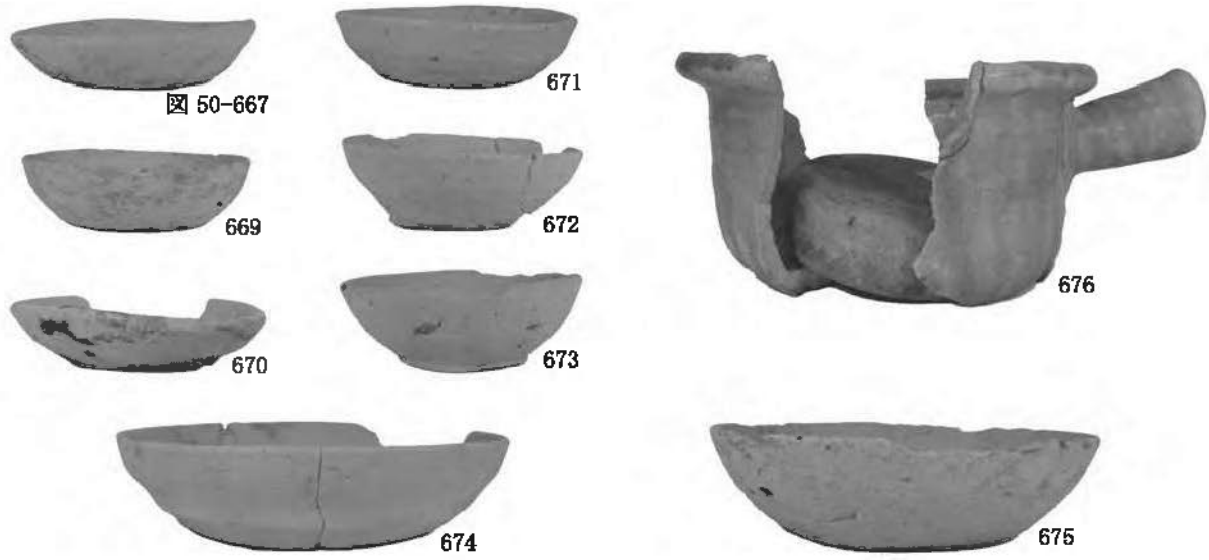
658



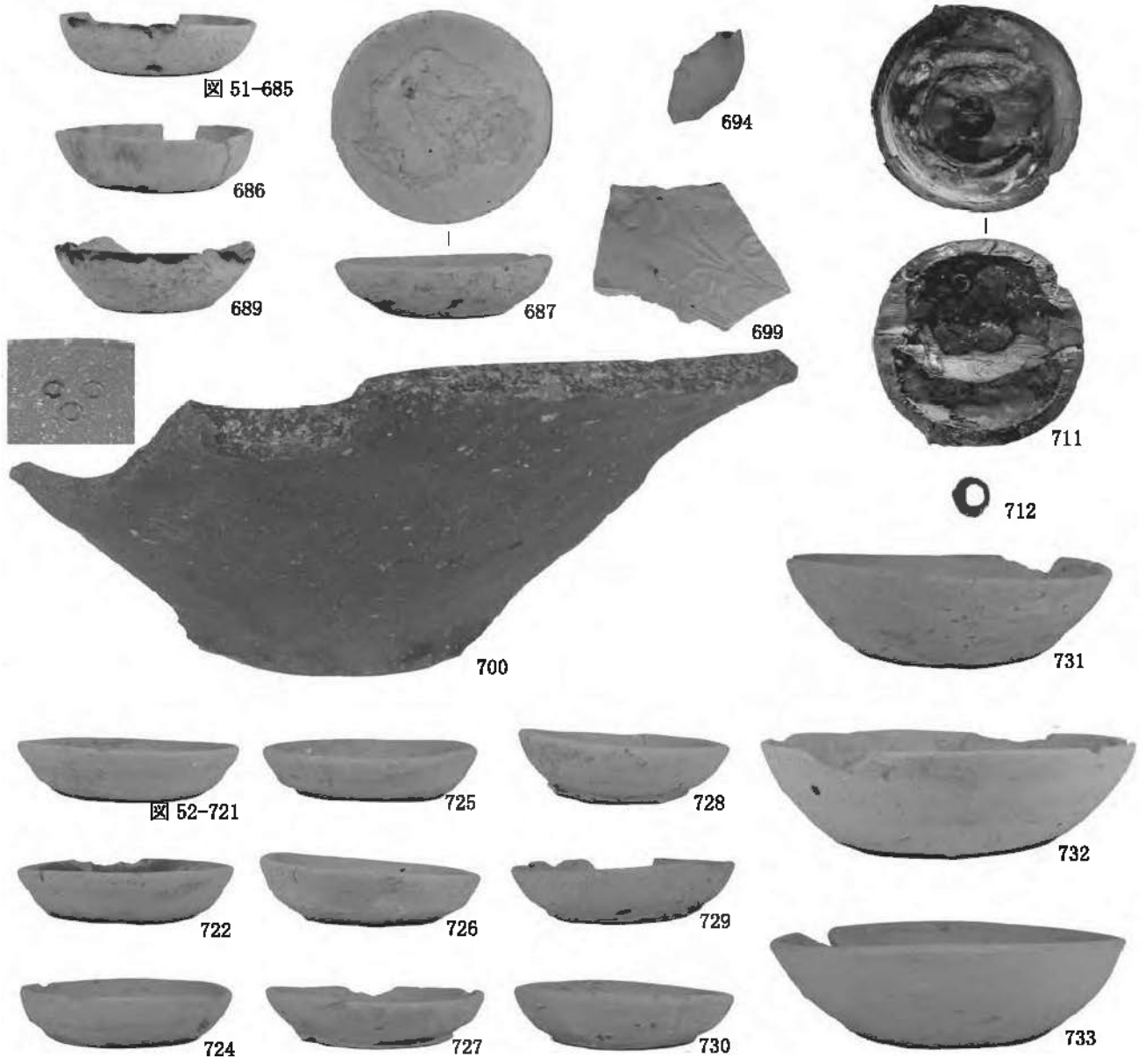
662

Ⅱ区下層 建物 13

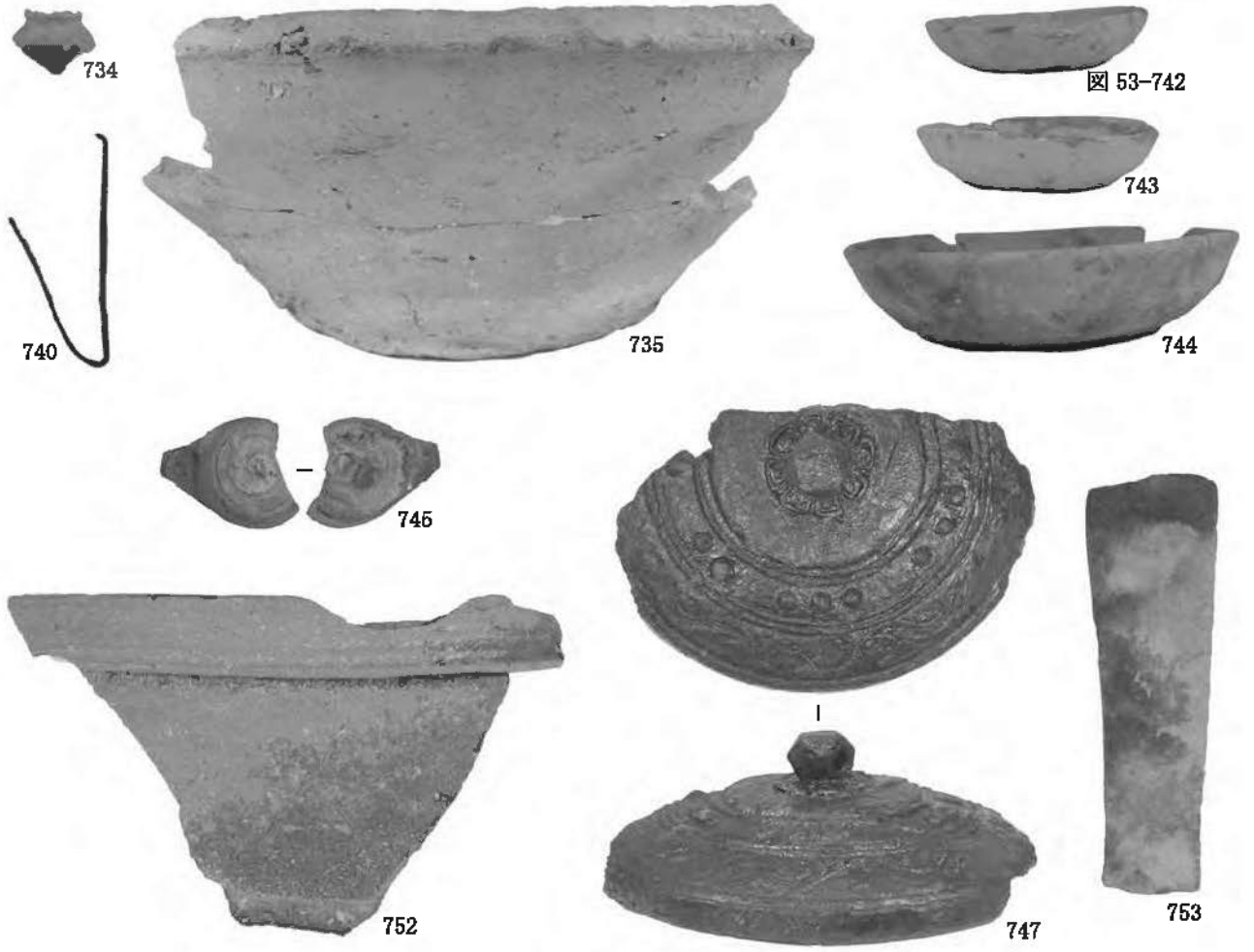
図版 34



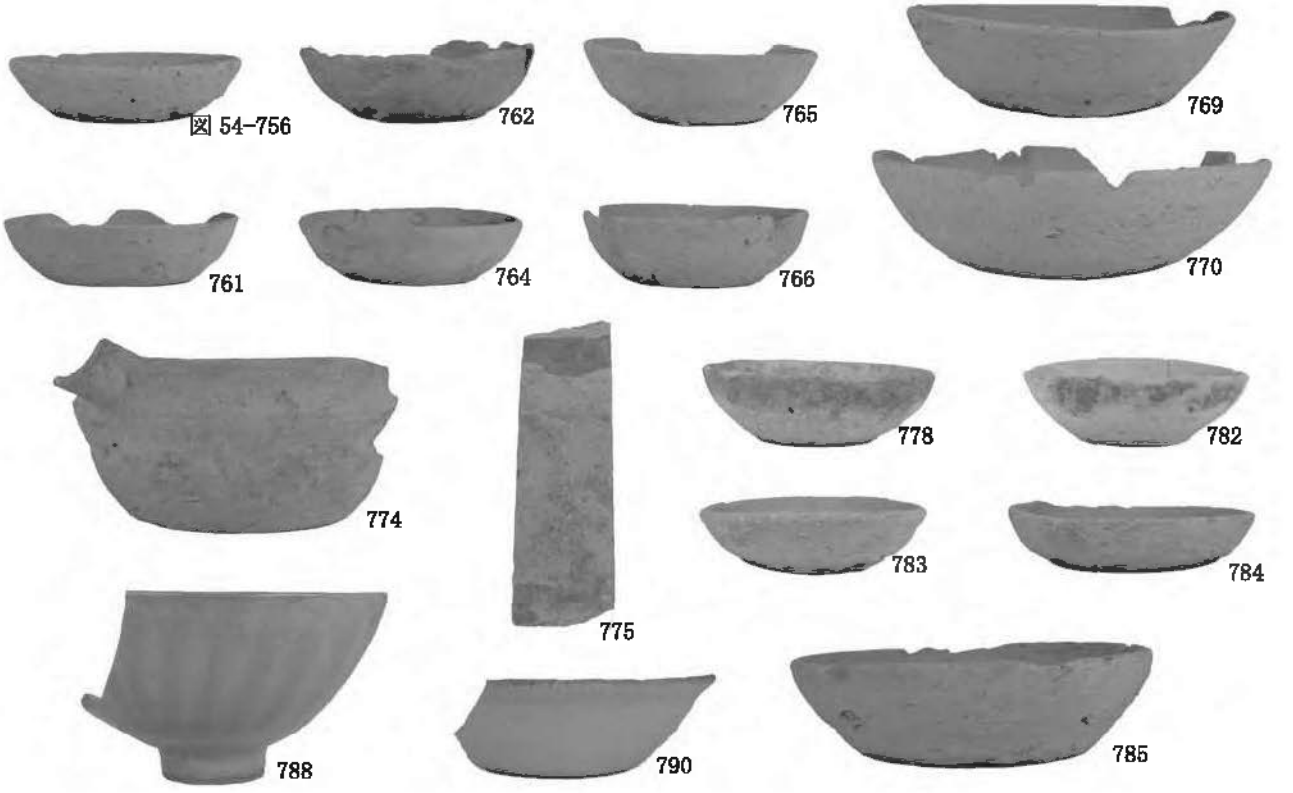
Ⅱ区下層 建物 14



Ⅱ区下層 建物 15

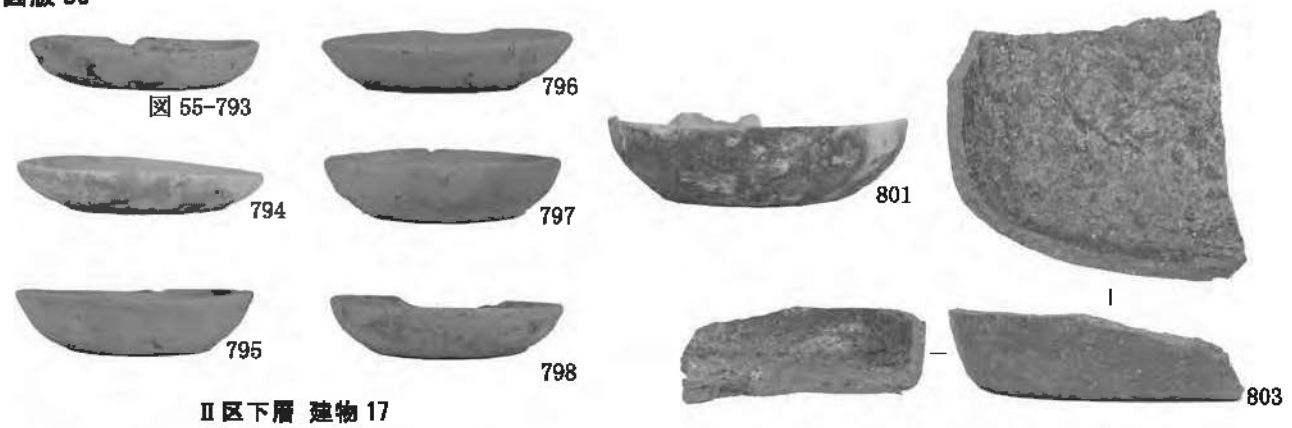


Ⅱ区下層 建物 15



Ⅱ区下層 建物 16

図版 36



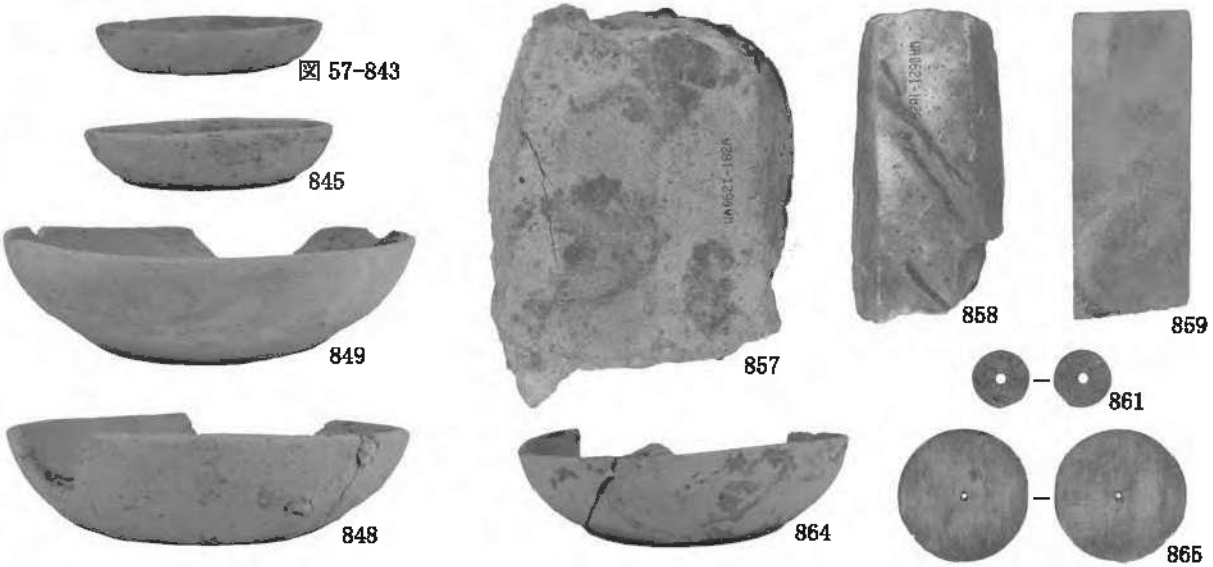
Ⅱ区下層 建物 17



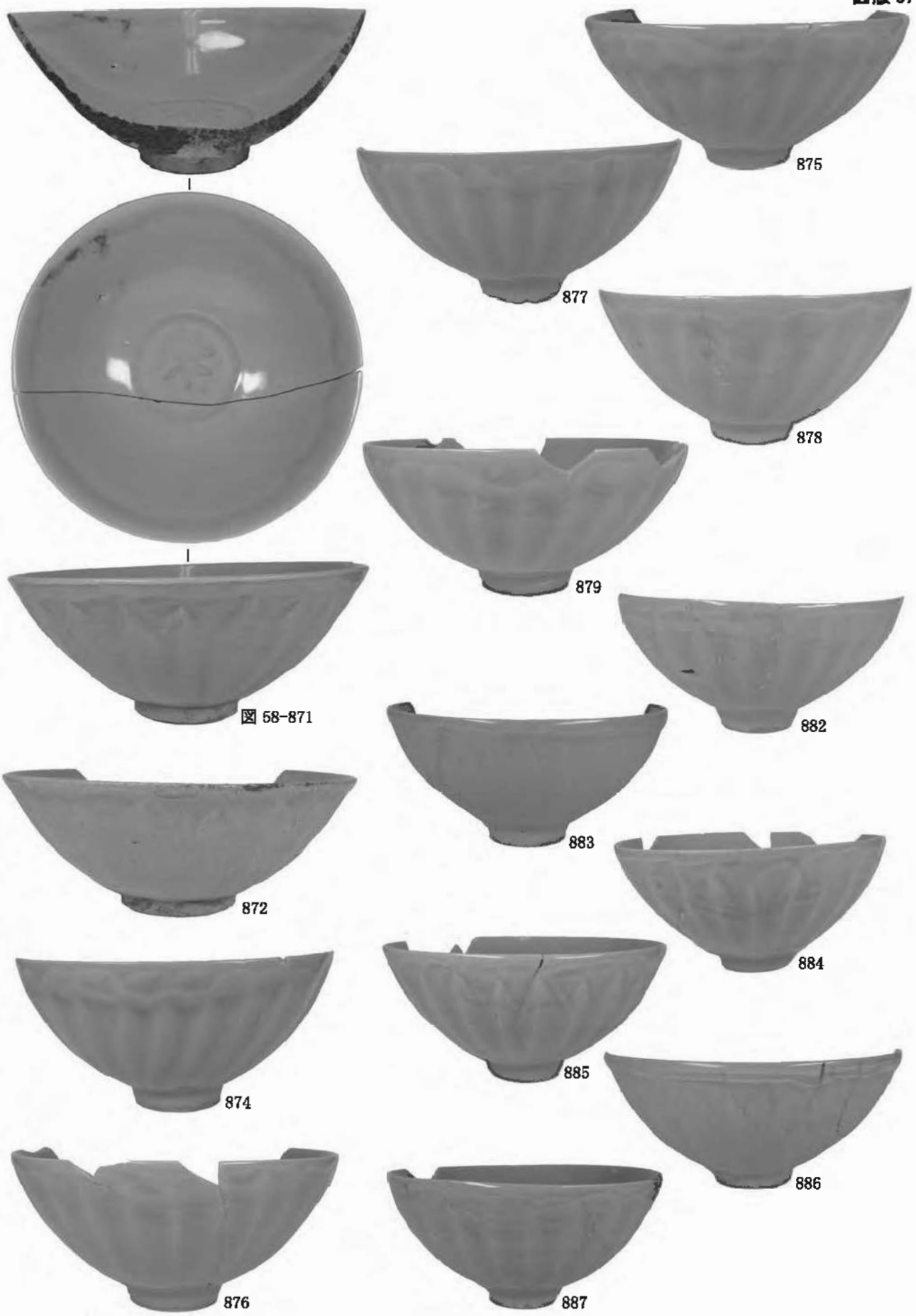
Ⅱ区下層 建物 18



Ⅱ区下層 建物 19



Ⅱ区下層 建物 20 埋土



Ⅱ区下層 建物 21

図版 38

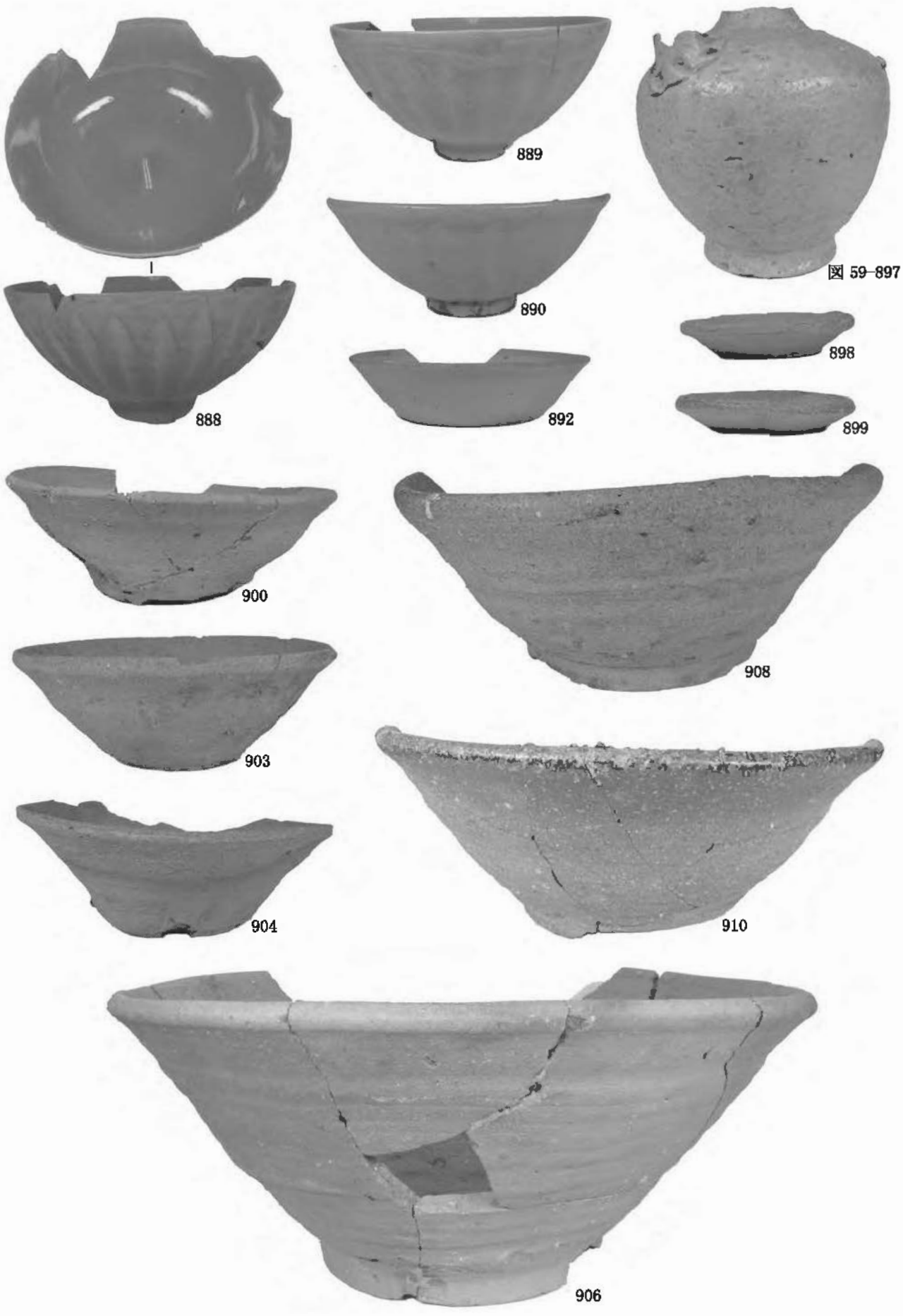


図 59-897

Ⅱ区下層 建物 21

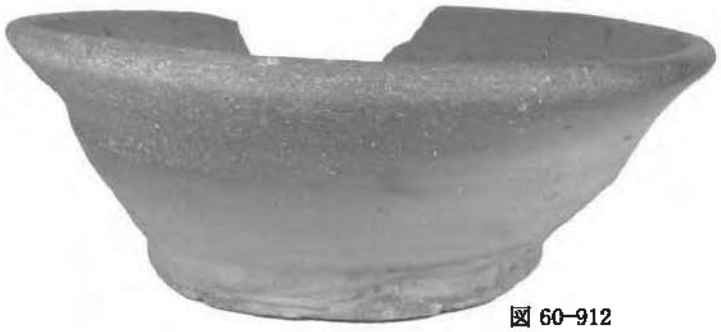


図 60-912



914



図 61-919



924



926



927





931



923



925

Ⅱ区下層 建物 21



図 62-933



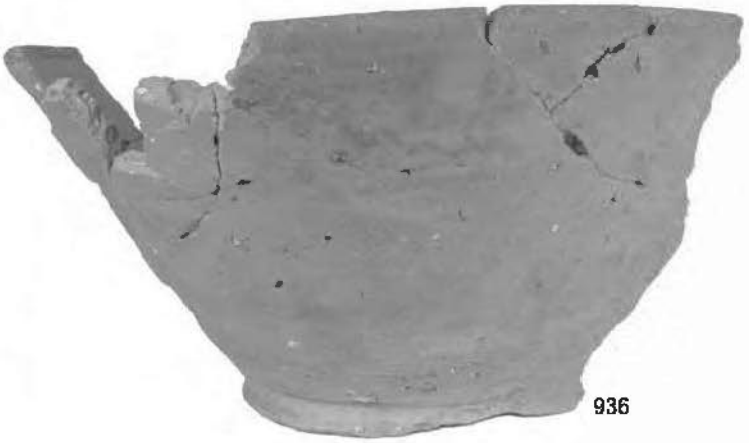
937



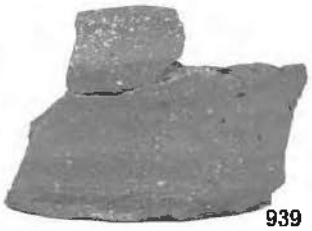
934



935



936



939



940

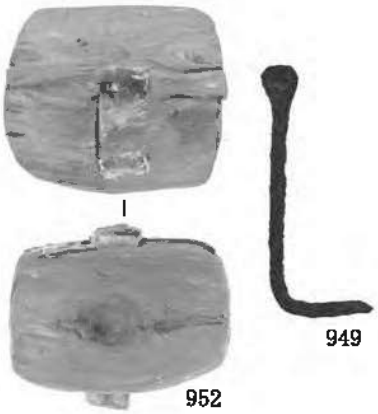
Ⅱ区下層 建物 22

図版 40



図 62
-943

Ⅱ区下層 建物 23



949

952

Ⅱ区下層 建物 24



図 63-954

Ⅱ区下層 井戸 4



963

Ⅱ区下層 土坑 79



967

Ⅱ区下層 土坑 84



図 64-959



960



961

Ⅱ区下層 土坑 78

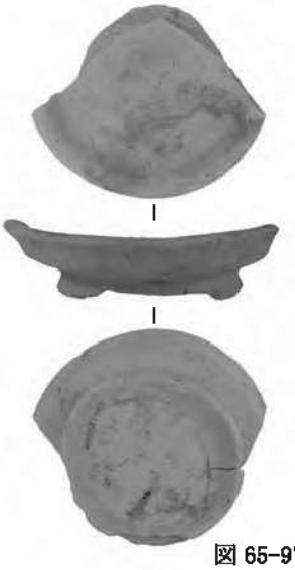
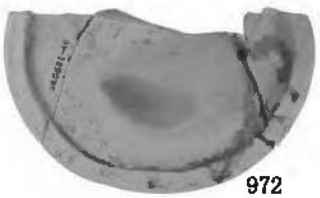


図 65-971



973



972



981

Ⅰ区最下層 溝 1



図 52-741

Ⅱ区下層 建物 15

若宮大路周辺遺跡群（No.242）

小町二丁目281番2地点

例言

1．本書は鎌倉市小町二丁目281番2地点における個人住宅建設に伴う発掘調査報告書である。調査面積は104㎡である。

2．調査は平成24年1月23日から同年4月20日にかけて実施した。

3．調査体制は以下の通りである。

主任調査員	伊丹まどか
調査員	小野夏菜・渡邊美佐子
	測量：須佐仁和・梅岡ケイト
調査作業員	赤坂進・安達澄代・安藤宗幸・倉沢六郎・杉浦永章・鈴木道明・丹野正弘・長野幹晴・宝珠山秀雄・吉沢功

4．本報作成分担は以下の通りである。

遺物実測	小野夏菜・清水由加里・正木恵子・吉田桂子
遺構図版作成	清水由加里・吉田桂子
遺物図版作成	岡本夏菜・清水由加里・正木恵子・吉田桂子
グリッド図作成	清水由加里
遺物観察表	田畑衣里・伊丹まどか
遺構計測表	清水由加里
破片遺物集計表	清水由加里・田畑衣理
遺構写真	伊丹まどか
遺物写真	須佐仁和
写真図版作成	小野夏菜
執筆・編集	伊丹まどか

5．出土品等発掘調査に係る資料は鎌倉市教育委員会が管理している。

6．本報図版の遺構・遺物の縮尺は以下の通りである。

遺構全測図：1／50　　個別遺構図：1／40　　遺物実測図：1／3（＊銭は原寸）

なお各挿図にはスケールを表示してある。

7．検出した遺構の計測値・実測遺物観察・実測できなかった遺物を含む総出土点数は表にまとめて掲載した。

復元した遺物の計測値には（　　）を付して表してある。

本文中「かわらけ」と記載したものはロクロ成形のかわらけを示し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。

ロクロ成形のかわらけの底径は回転糸切りの外径部分で計測し、手づくねかわらけは口径と器高のみを報告し底径は掲載していない。

8．発掘調査に係る出土品の注記については、遺跡名の略号を「WA1106」とした。

9．出土遺物に関しては生産地での編年を参考に観察表に年代を示したが、破片の為に不安の残るものに関しては割愛した。常滑製品は中野晴久氏。瀬戸製品は藤澤良祐氏。火鉢は河野眞知郎氏の編年に基づいて分類した。

10．発掘調査及び報告書作成に際して以下の方よりご教授、ご協力を賜りました。記して深謝いたします。

押木弘己・菊川英政・後藤健・齋木秀雄・汐見一夫・松尾宜方・馬淵和雄・宮田眞・山口正紀

（五十音順・敬称略）

本文目次

第一章　遺跡の位置と歴史的環境 ……195
第１節　歴史的環境（図１）
第２節　遺跡位置とグリッド配置図（図２）
第３節　堆積土層（図３）

第二章　発見された遺構と遺物 ……202
第１節　第1ａ面の遺構と遺物（図4・図6～図22）
第２節　第1ｂ面の遺構と遺物（図4・図23～図37）
第３節　第2面の遺構と遺物（図5・図38～図42）
第４節　最終確認トレンチ（図5）
第５節　表土から第1面・廃土山採集遺物（図43～図45）

第三章　まとめ ……259
第１節　検出した遺構と遺物
第２節　まとめ

表目次

遺構計測表 ……262
遺物観察表 ……266
破片遺物計測表 ……292

挿図目次

図１　調査地点と周辺の遺跡 ……196
図２　遺跡位置とグリッド配置図 ……198
図３　堆積土層図 ……199
図４　第1ａ面・第1ｂ面全測図 ……200
図５　第2面・最終トレンチ全測図 ……201
図６　第1ａ面・遺構1 ……203
図７　第1ａ面・遺構1出土遺物(1) ……204
図８　第1ａ面・遺構1出土遺物(2) ……205
図９　第1ａ面・遺構1出土遺物(3) ……206
図10　第1ａ面・遺構1出土遺物(4) ……207
図11　第1ａ面・遺構1出土遺物(5) ……208
図12　第1ａ面・遺構1出土遺物(6) ……209
図13　第1ａ面・遺構1出土遺物(7) ……210
図14　第1ａ面・遺構1出土遺物(8) ……211
図15　第1ａ面・遺構1出土遺物(9) ……212
図16　第1ａ面・遺構1出土遺物(10) ……213
図17　第1ａ面個別遺構図・出土遺物 ……215
図18　第1ａ面・遺構195・遺構196・遺構195出土遺物 ……216
図19　第1ａ面・遺構196出土遺物 ……217
図20　第1ａ面・遺構197・出土遺物 ……218
図21　第1ａ面・遺構198・遺構199・遺構202・出土遺物(1) ……219
図22　第1ａ面・遺構202出土遺物(2) ……220
図23　第1ｂ面個別遺構図(1) ……222
図24　第1ｂ面個別遺構図(2) ……224
図25　第1ｂ面個別遺構図(3) ……226
図26　第1ｂ面個別遺構出土遺物(1) ……227
図27　第1ｂ面個別遺構出土遺物(2) ……228
図28　第1ｂ面個別遺構出土遺物(3) ……229
図29　第1ｂ面・遺構99・出土遺物(1) ……231
図30　第1ｂ面・遺構99・出土遺物(2) ……232

図31　第1ｂ面・遺構216・出土遺物(1) ……235
図32　第1ｂ面・遺構216・出土遺物(2) ……236
図33　第1面・面上出土遺物(1) ……242
図34　第1面・面上出土遺物(2) ……243
図35　第1面・構成土出土遺物(1) ……244
図36　第1面・構成土出土遺物(2) ……245
図37　第1面・構成土出土遺物(3) ……246
図38　第2面・個別遺構図(1) ……248
図39　第2面個別遺構図(2)柱穴列1 ……249
図40　第2面個別遺構図(3)柱穴列2 ……251
図41　第2面個別遺構図(4)柱穴列3 ……253
図42　第2面個別遺構・面上出土遺物 ……254
図43　表土～第1面採集遺物(1) ……256
図44　表土～第1面採集遺物(2) ……257
図45　廃土山採集遺物 ……258

図版目次

図版１　Ⅰ区　第1面(第1ａ面・第1b面)全景(東から)・Ⅱ区　第1ａ面全景(東から)・Ⅱ区　第1ｂ面全景(西から) ……293
図版２　Ⅰ区　第2面全景(西から)・Ⅱ区　第2面全景(東から)・Ⅱ区　最終トレンチ(北から) ……294
図版３　第1ａ面(遺構1・遺構195・遺構196) ……295
図版４　第1ｂ面(遺構216) ……296
図版５　第1ｂ面(遺構258・遺構267・遺構270・遺構281) ……297
図版６　第2面(遺構119・遺構150) ……298
図版７　第2面(遺構154・遺構312・遺構342・343) ……299
図版８　第1ａ面遺構1(11・12層) ……300
図版９　第1ａ面遺構1(12・13・16・17・18層) ……301
図版10　第1ａ面遺構1(17～19層) ……302
図版11　第1ａ面遺構1(17～19層) ……303
図版12　第1ａ面遺構1(17～19層) ……304
図版13　第1ａ面遺構1(20層) ……305
図版14　第1ａ面遺構1一括 ……306
図版15　第1ａ面(遺構6・12・27・200・201・195) ……307
図版16　第1ａ面(遺構195下層・196) ……308
図版17　第1ａ面(遺構197) ……309
図版18　第1ａ面(遺構198・199・202) ……310
図版19　第1ｂ面(遺構2・25・32・40・66・75・79・81・95・102・205) ……311
図版20　第1ｂ面(遺構206・207・208・213・214・229・236・240・246・252・265・268・272) ……312
図版21　第1ｂ面(遺構273・遺構284) ……313
図版22　第1ｂ面(遺構99) ……314
図版23　第1ｂ面(遺構216) ……315
図版24　第1面面上 ……316
図版25　第1面構成土 ……317
図版26　第1面構成土 ……318
図版27　第2面(遺構110・119・137・150・155・157・191・301・346)・第2面面上・表土 ……319
図版28　表土 ……320
図版29　表土 ……321

第一章　遺跡の位置と歴史的環境

第1節　歴史的環境(図1)

本調査地点が位置する若宮大路周辺遺跡群(№242)は、鎌倉市街地を南北に走る若宮大路を中心に南北約1.1km×東西約0.6kmにわたる広い範囲を呼称し、東は朝比奈切通辺を源に由比ガ浜に注ぐ滑川、西は若宮大路とほぼ平行して南北に走る今小路、北は一部を除き鶴岡八幡宮南辺、南は旧東海道と推定され、中世においては大町大路であったと考える現県道311号鎌倉葉山線を境とする。遺跡名の由来となる若宮大路は源頼朝によって造営された鎌倉幕府の都市づくりにおける基軸線であり、造営以降、現在に至るまで鎌倉の基幹道路として機能している。若宮大路には「段葛」と通称する、源頼朝が寿永元年(1182)妻政子の安産を祈願し、大路の中央に二列の堤を築き堤の脚部に石を置いて大路から一段高く造営した参詣道がある。鶴岡八幡宮への参詣道としての意味も持つ若宮大路は神聖な神の道であるため下馬すべき空間として、上の下馬・中の下馬・下の下馬の三つの橋が架けられていた。橋の位置は現在字名として残っている若宮大路と県道311号線が交差する下馬四つ角辺が「下の下馬橋」と推定され、「中の下馬橋」は享保十七年(1732)の鶴岡八幡宮境内絵図にも描かれる扇ヶ谷川が若宮大路を横切る現在の二の鳥居付近。「上の下馬橋」は諸種の資料にその名が現れないが、『吾妻鏡』建保六年六月二十七日条に「宮寺橋」の記事がみえ、三の鳥居辺にある「赤橋」が「上の下馬橋」であったと考えられている。

遺跡範囲を外れる若宮大路の西側八幡宮寄りは北条時房・顕時邸跡と云われ、三の鳥居から二の鳥居(上の下馬から中の下馬)の東は若宮大路幕府、宇津宮辻子幕府、北条氏の屋敷をはじめとする有力な御家人の居館が並んでいたといわれる。遺跡範囲となる若宮大路西側および二の鳥居以南は、調査成果から武家屋敷とやや庶民的な様相を示す遺構・遺物が多く発見され、遺跡範囲の最南端、下馬付近は「好色家」が立ち並ぶ繁華な歓楽街であったことが『吾妻鏡』などの記事に見え、若宮大路の東と西・南と北では居住者の様相が大きく変わる。若宮大路の名は鶴岡八幡宮若宮にちなんだ名であるが、「若宮大路」と表記されるのは『吾妻鏡』のみで、中世の記録・文書ではいずれも「若宮小路」となっている。

近年の調査成果から若宮大路の両側には箱掘状に掘り下げた溝底に枘を穿った角材を据え、枘穴に柄柱を立て、柄柱と溝壁の間に横板をかませ、底面と地表面で柄柱を横梁で引く構造を持つ、幅約3.0m、深さ約1.5mの規模を持つ木組みの側溝があったことがわかっている。東西の側溝の芯芯距離は36.6メートル、東側溝の西壁から西側溝の東壁までの距離は33.6メートルであったと推測され現在の大路幅よりも広いが、木組みの側溝は何度かの造り替えが行われ、そのたびに若干の位置移動が行われていることも分かった。また、若宮大路の東側は西側に比べて土手が高く、側溝の外側に塀を構築し防衛が厳重だったこと、屋敷は若宮大路を背に向けて建てられ、大路沿いに門、架け橋の発見がないことから、大路側からの出入りがほぼなかったこと等も明らかになってきている。

本調査地点は鎌倉市小町二丁目281番2地点に所在する。若宮大路西側に位置し、JR鎌倉駅の北方約300m、二の鳥居から北に約150m、三の鳥居から南に約380mの距離にある。調査地点の南には東西に走る小道があり、この道を東に進み若宮大路を横断し約80m行くと「宇津宮稲荷」に突き当たり、この小道以北は宇津宮辻子御所（幕府）跡といわれている。宇津宮御所は初代執権北条義時の死後嘉禄元年(1225)に、鶴岡八幡宮の東、大倉の地におかれていた御所（幕府）が失火等の厄災等を理由に移転が論議された後、嘉禎2年(1236)に若宮大路御所に移るまでの11年間と云う短い期間であったが将軍九条頼経の御所(幕府)として移徙されている。

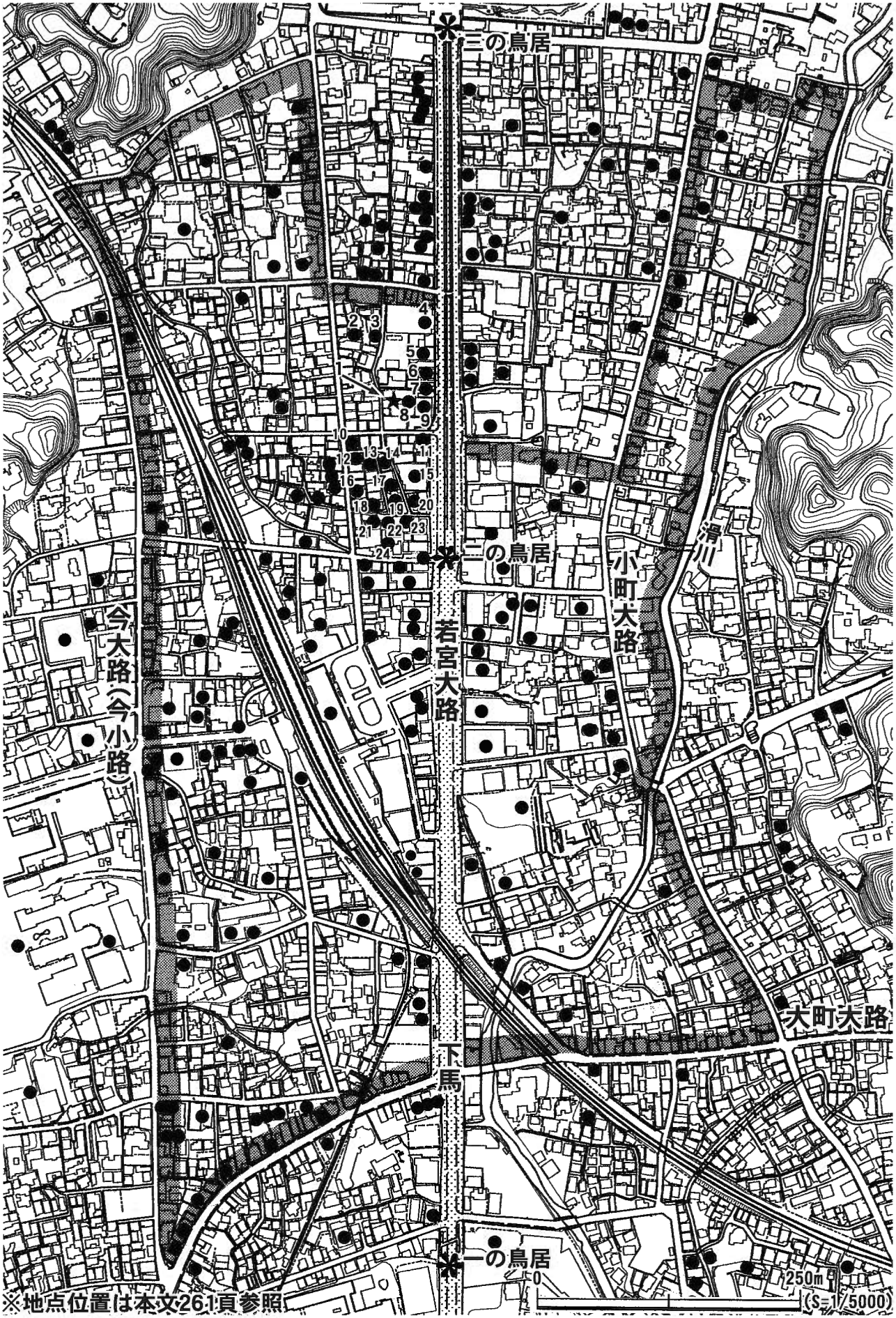


図1　調査地点と周辺の遺跡

『鎌倉市史（総説編）』では「宇津宮稲荷」のある路地(辻子)を宇津宮御所域の南限と考えているが、二の鳥居の南から小町大路に抜ける道を南限と想定する説も多くの支持を受けている。

本調査地周辺では多くの発掘調査が実施されている。若宮大路を挟んで宇津宮御所と対面する位置に調査地点は所在し枢要な区域であったことが考えられる。

第2節　遺跡位置とグリッド配置図(図2)

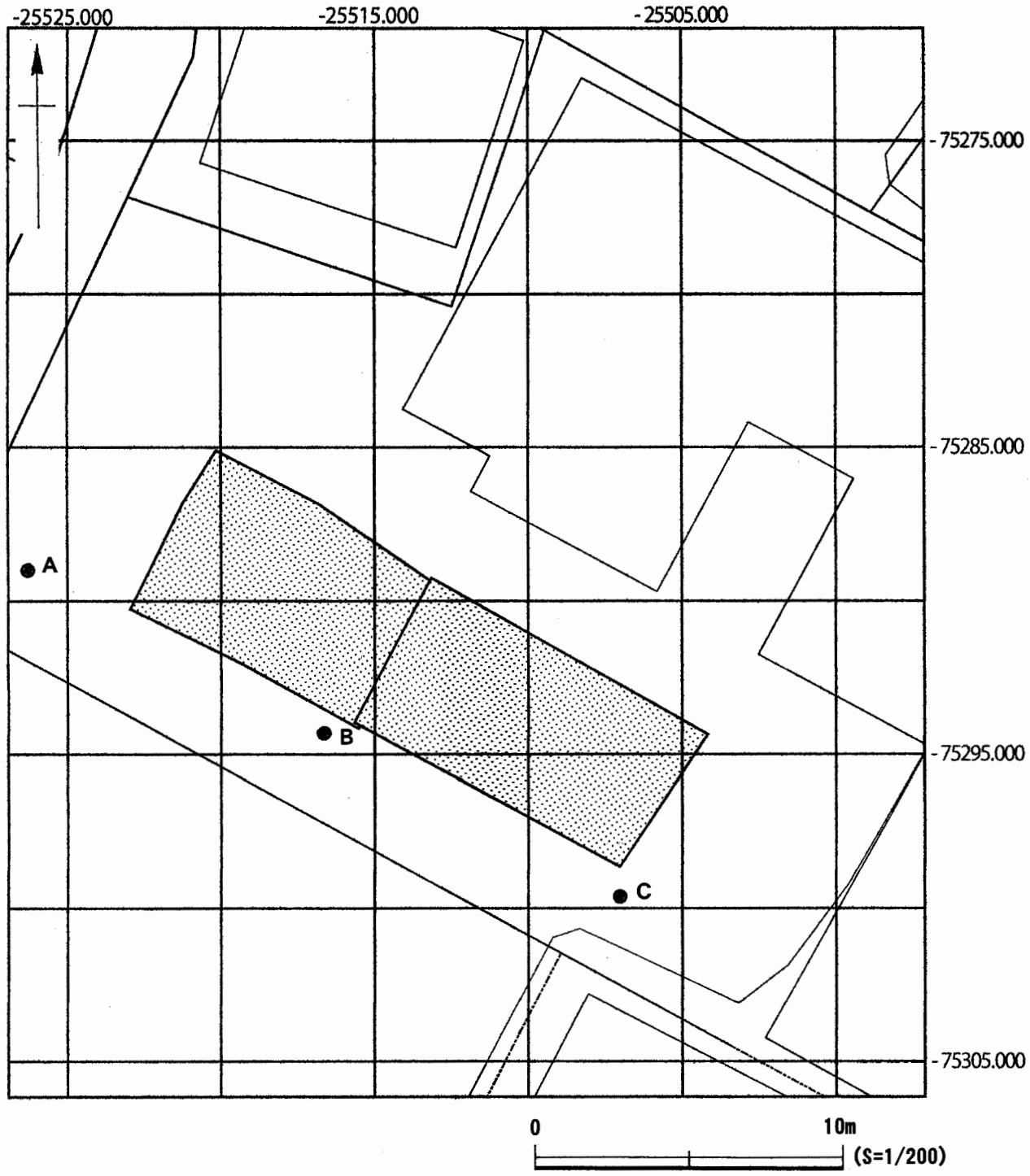
調査開始にあたり調査区に任意の方眼軸を設け、基本点Ａと、見返り点Ｂを設定し遺構の測量・図面作成に使用した。基本点Ａと、見返り点Ｂは鎌倉市４級基準点成果表に基づき国土座標に倣った座標値の移設を行ったが、調査時の成果表は日本測地系（座標AREA　9）の国土座標値を使用しているため、本報告作成に際しては国土地理院が公開する座標変換ソフト「WEB版TKY2JGD」で世界測地系Ⅸ形に変換し、図2に表記した。

第3節　堆積土層(図3)

調査前、現地表海抜高は約8.20mを測った。約80cmの厚さで堆積していた現代埋土(表土)を重機によって除去し2枚の生活面を検出した。第1面とした地業層は現代埋土と撹乱土坑によって大きく削平を受けていたために一部遺構と遺物の混乱があり、整理作業時にa・bと2面に分けて報告している。表土は現代遺物と共に多くの中世遺物を含んでいた。

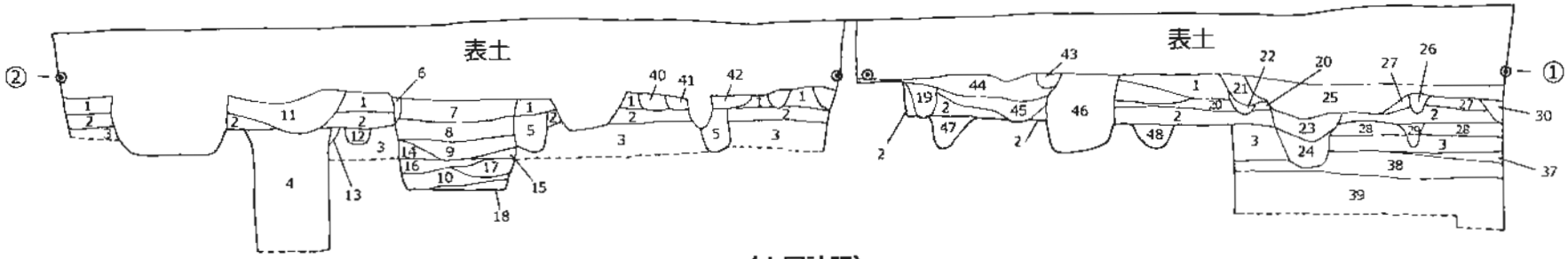
以下、確認した生活面の海抜高と構成土について述べる。

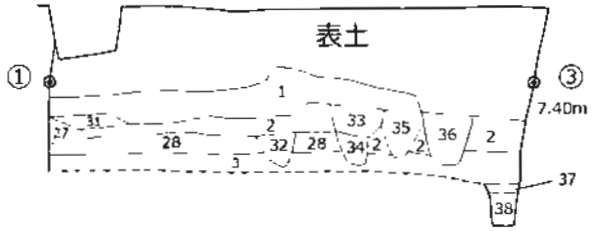
第1a面は炭化物多量・泥岩粒多量・泥岩を含む暗褐色弱粘質土の地業層上で発見した。確認レベルは海抜7.40m。第1ｂ面は炭化物多量・泥岩粒・泥岩・茶色粘土を含む暗茶褐色弱粘質土上で検出した。確認レベルは海抜7.30mである。第2面は褐鉄・炭化物を含む黄褐色粘質土で検出した。確認レベルは海抜7.00mである。Ⅰ区・Ⅱ区ともに第2面検出後、トレンチを任意に設定し下層の土層堆積を確認した。Ⅰ区のトレンチ土層図は最終確認トレンチ位置図(図5)で、Ⅱ区のトレンチ土層図は調査区壁南壁土層堆積図で報告している。第2面下層の堆積状況はⅠ区とⅡ区では若干の違いが見られた。Ⅰ区トレンチでは茶色有機質土を多く含む堆積層が北から南に向かって緩やかに下る堆積を観察し、堆積層からの出土遺物は無く、有機質土と自然木が含まれていた。Ⅱ区トレンチでは褐鉄と若干の炭化物を含む暗褐色粘質土が平坦に堆積しており、最下層はⅠ区トレンチで確認することのできなかった中世地山である青灰色粘土の堆積を確認している。



地点	世界測地系	
	X	Y
A	-75288.996	-25526.292
B	-75294.309	-25516.657
C	-75299.619	-25507.026

図2　遺跡位置とグリッド配置図





〈土層註記〉

1．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩（1a面構成土）
2．暗褐色弱粘質土　炭化物・泥岩粒・茶色粘土（1b面構成土）
3．黄褐色粘質土　褐鉄（2面構成土）
4．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩
5．茶褐色弱粘質土　炭化物・褐鉄・茶色有機質土・黒褐色粘土
6．暗褐色弱粘質土　炭化物多
7．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩多
8．暗褐色弱粘質土　炭化物多
9．茶褐色弱粘質土　炭化物・泥岩・褐鉄
10．茶色有機質土
11．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩
12．暗褐色弱粘質土　炭化物・褐鉄
13．暗褐色弱粘質土　炭化物・褐鉄
14．暗褐色弱粘質土　炭化物・泥岩粒・茶色有機質土
15．茶褐色弱粘質土　炭化物多・茶色有機質土
16．茶褐色弱粘質土　茶色有機質土・茶色粘土
17．茶褐色弱粘質土　茶色有機質土・褐鉄
18．灰褐色砂質土　青灰色砂・茶色有機質土
19．暗茶褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩
20．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒・泥岩・茶色粘土
21．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩
22．暗褐色弱粘質土　炭化物多・茶色有機質土
23．暗茶褐色弱粘質土　炭化物・茶色有機質土・茶色粘土
24．暗褐色弱粘質土　褐鉄・茶色有機質土・青灰色砂質土
25．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩多
26．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒
27．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒・褐鉄
28．黒褐色粘質土　炭化物・褐鉄
29．暗褐色弱粘質土　炭化物多・茶色有機質土
30．暗褐色弱粘質土　炭化物・泥岩粒・褐鉄
31．暗褐色弱粘質土　炭化物・泥岩粒
32．暗褐色弱粘質土　泥岩粒多・茶色有機質土
33．暗茶褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩
34．暗褐色弱粘質土　泥岩粒・茶色有機質土・褐鉄
35．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・茶色粘土
36．暗褐色弱粘質土　泥岩粒多・泥岩・茶色有機質土・茶色粘土
37．茶褐色粘土　褐鉄多（最終トレンチ）
38．青灰色粘土　褐鉄（最終トレンチ）
39．青灰色粘土　褐鉄・黒色粘土（最終トレンチ）
40．暗茶褐色粘質土　炭化物多・泥岩粒
41．暗茶褐色粘質土　炭化物多・泥岩粒
42．茶褐色弱粘質土　炭化物・泥岩塊多
43．暗褐色弱粘質土　炭化物・泥岩粒・褐鉄
44．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多・泥岩
45．暗褐色弱粘質土　泥岩粒多・泥岩・青灰色砂質土
46．茶褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒
47．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒
48．暗褐色弱粘質土　炭化物多・泥岩粒多

※Section Point位置図は図５を参照

0　4m
(S=1/80)

図3　堆積土層図

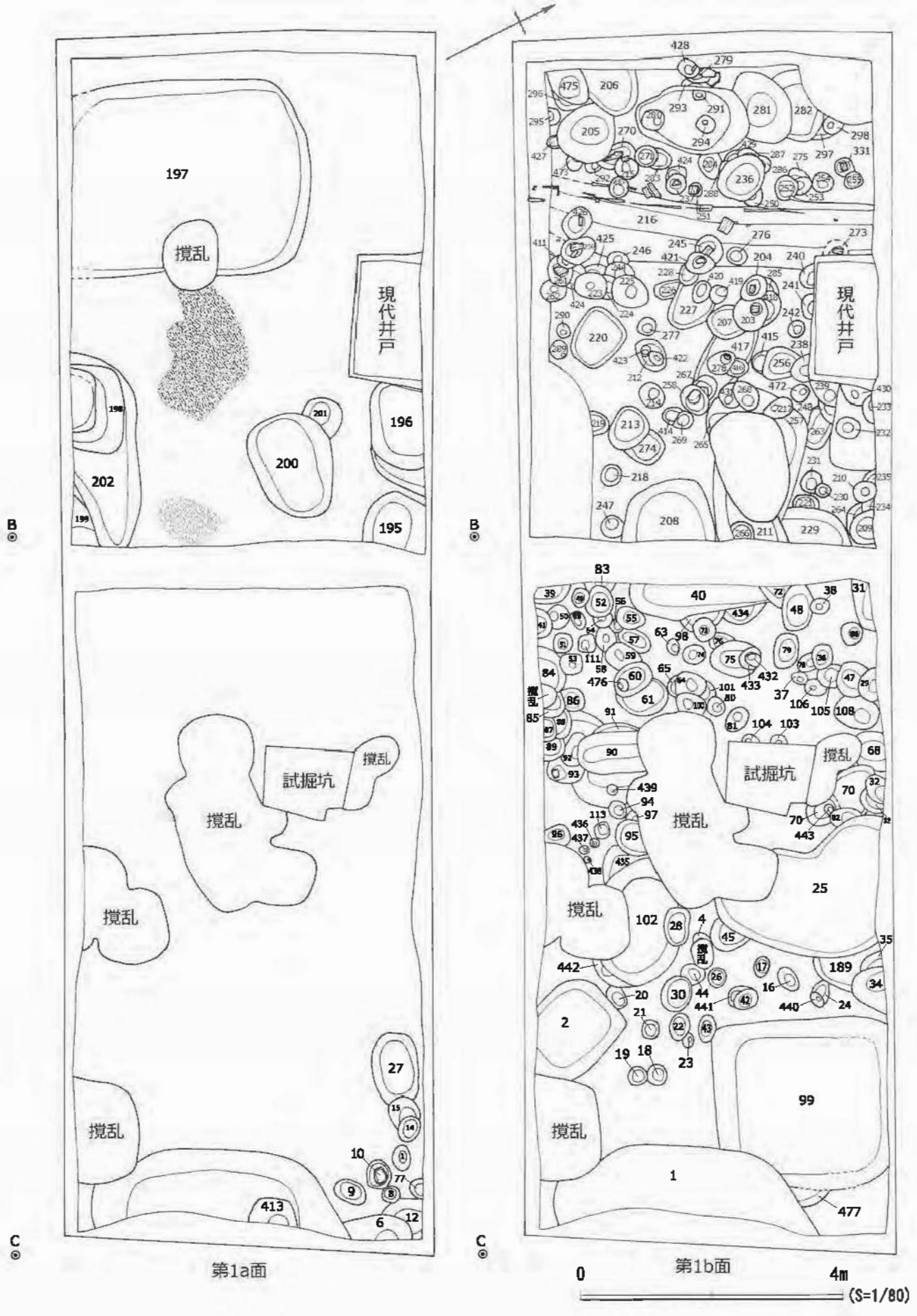


図4　第1ａ面・第1ｂ面全測図

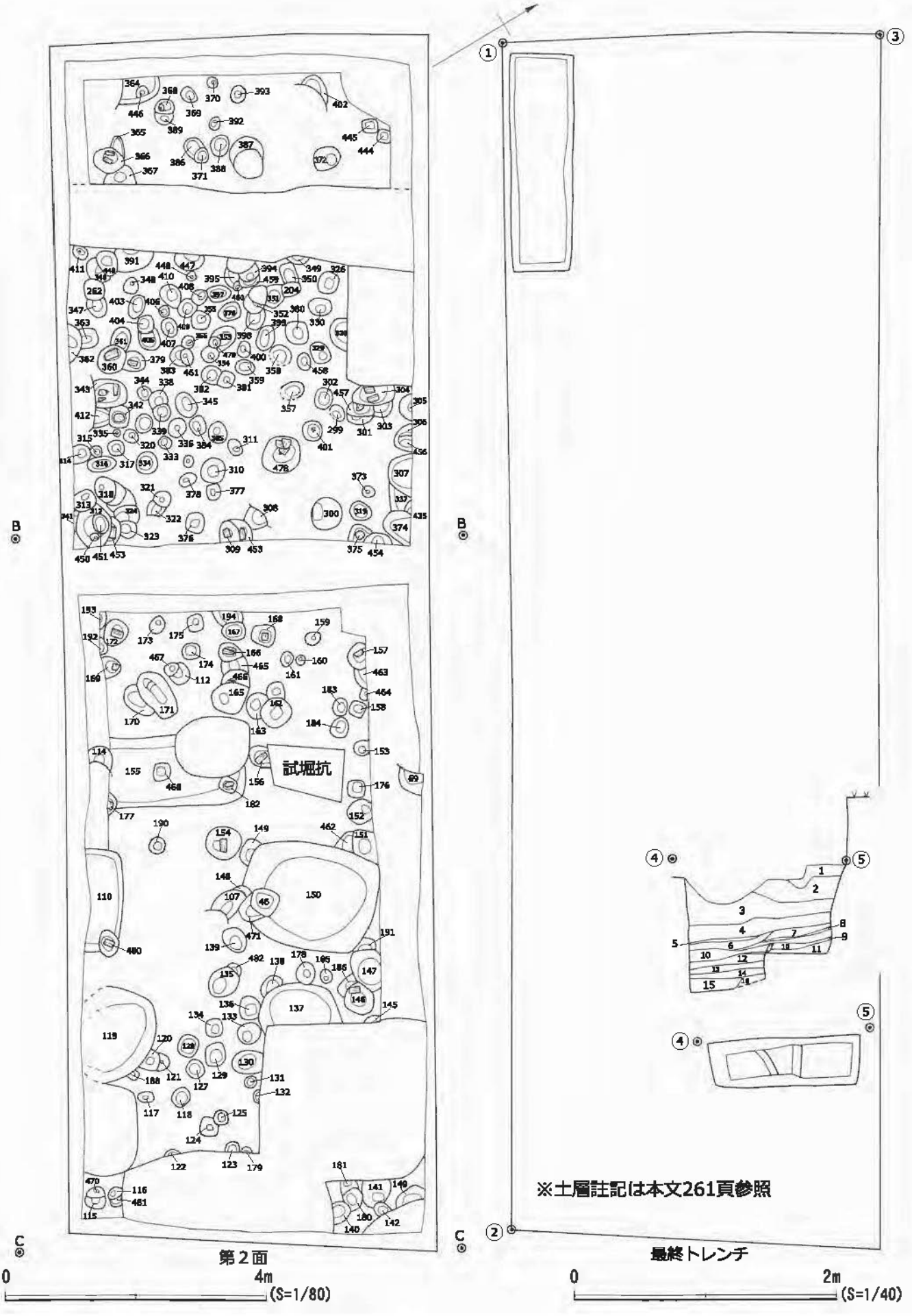


図5　第2面・最終トレンチ全測図

第二章　発見された遺構と遺物

重機で表土を約80cm～90cm除去し、黄茶褐色弱粘質土(炭化物・泥岩を含む)の中世遺物包含層を検出したが、現代埋土と撹乱坑による削平部分が大きく広がっていたため、人力により更に掘り下げ第1面確認面を検出した。本調査では2枚の生活面を確認し調査・記録を行ったが、前述したように第1面は削平を受け、遺構・遺物の混乱があったため、整理作業時にa・bの2面に分けて報告している。表土からは現代遺物と共に多くの中世遺物を発見している。調査前現地表海抜高は約8.20mであった。

発見した生活面は上層より順に報告している。本調査はⅠ区・Ⅱ区に分けて調査しているため、Ⅰ区に付した番号はⅡ区よりも若い番号となっており、必ずしも番号の新旧が遺構の新旧を表してはいない。実測遺物は遺物観察表に詳細を記し、本文中では遺物名だけを報告している。

第1節　第1a面の遺構と遺物(図4・図6～図22)

第1a面は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土上で検出した。発見した遺構は土坑10基・ピット6穴・竪穴建物2軒である。Ⅱ区遺構197の東で泥岩粒・泥岩細片による地業の痕跡(図4－スクリーントーン貼付)を一部発見しているが、調査区全体では現代埋土によって削平を受け遺存していない。第1ａ面検出時に不整形なプランを多く発見し、半載して確認したが、その大半は撹乱、あるいは地業の際にできた堆積層の異なりであった。遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・青白磁・白磁・褐釉・常滑・南伊勢系土鍋・瓦・金属製品釘・銅銭・砥石・滑石鍋・獣骨・果核・土師器が出土している。

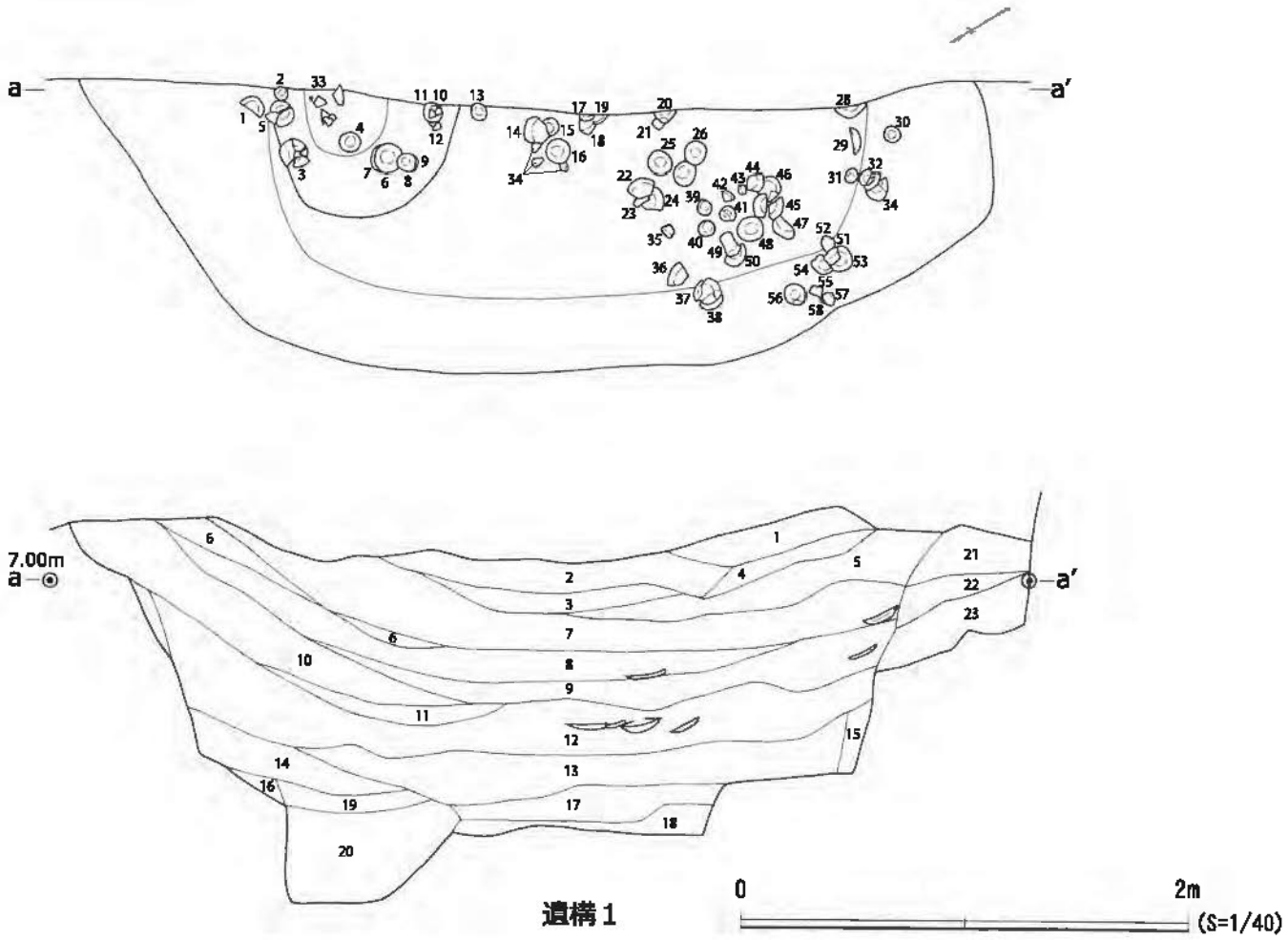
・遺構1(図6)

調査区の東際に位置する。遺構の大半が調査区外に延び規模・形状は不明となった。遺構の壁がほぼ垂直に立ち上がり、遺構底面は平坦な方形を呈する形状から竪穴建物の可能性を窺えたが、建物址の堀方にあたる堆積を調査区壁から発見することが出来ず、大型の土坑であった可能性もある。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。覆土内からは火熱を受けた安山岩を多く発見している。覆土最下層は湧水が激しく、泥岩塊とともに多量の木製品を検出した。

・出土遺物(図7～図16)

出土遺物は、堆積土層図に示した層位に準じて採集し、ほぼ中層辺の11層・12層の遺物はまとまって出土したため個別に平面図に記録し、記録した遺物は枝番を付して示している。出土遺物の内、特にかわらけの出土量が突出し、出土したかわらけの大半は完形品、あるいは完形品に準ずる器形であった。かわらけ・手づくねは報告したものを含め総出土片数は、かわらけ(大)1969片・(中)31片・(小)530片。手づくね(大)28片・(小)15片。内折れ(手づくね)10片を数えた。

1は第6層出土。常滑片口鉢Ⅱ類である。その他に遺物は出土していない。2～7は第11層出土。かわらけである。その他に常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類が破片で出土している。8～54は第11層・第12層出土。かわらけである。出土した遺物は№を付して採集した。それぞれの採集№は平面図と観察表を参考にしていただきたい。その他に遺物は出土していない。55～63は第12層出土。かわらけである。その他に遺物は出土していない。64～65は第13層出土。かわらけである。その他に遺物は出土していない。66～82は第16層出土。かわらけである。その他に遺物は出土していない。83～91は第17層出土。かわらけである。その他に遺物は出土していない。92～93は18層出土。92は手づくね。93はかわらけ。その他に遺物は出土していない。94～259は17層～19層出土。94～98は手づくね。99～246はかわらけ。247～248は青磁鎬蓮弁文碗。249は



遺構1

〈註記〉

1.	暗褐色弱粘質土	褐鉄・炭化物・泥岩粒多・泥岩	
2.	暗褐色弱粘質土	褐鉄・炭化物・泥岩粒・炭化物多	
3.	褐色弱粘質土	泥岩粒多・泥岩多	
4.	暗褐色弱粘質土	炭化物多	
5.	暗褐色弱粘質土	炭化物・泥岩粒多・泥岩多	
6.	茶褐色弱粘質土	炭化物・泥岩粒・黄褐色砂	
7.	黒褐色弱粘質土	炭化物・泥岩粒・遺構底面に炭化物堆積	
8.	黒褐色弱粘質土	炭化物多・泥岩粒・泥岩	
9.	茶褐色粘質土	炭化物・泥岩・茶色有機質土	
10.	明褐色弱粘質土	炭化物・泥岩粒多・泥岩	
11.	暗褐色粘質土	炭化物	
12.	暗褐色弱粘質土	炭化物多・泥岩・茶色有機質土	
13.	暗褐色弱粘質土	炭化物・茶色有機質土多	
14.	暗茶褐色弱粘質土	炭化物多・泥岩粒多・泥岩・茶色有機質土	
15.	暗茶褐色弱粘質土	泥岩粒	
16.	茶褐色弱粘質土	泥岩粒	
17.	青灰色砂質土	黒褐色砂質土	
18.	黄茶色砂質土	炭化物・褐色砂	
19.	青灰色砂質土	炭化物・茶色有機質土	
20.	青灰色砂質土	黒色砂質土・褐色砂	
21.	暗褐色弱粘質土	炭化物・泥岩粒・泥岩	
22.	暗褐色弱粘質土	炭化物多・泥岩粒	
23.	茶褐色弱粘質土	炭化物・泥岩・褐鉄	

図6　第1a面・遺構1

青磁坏。250は山茶碗。251は常滑片口鉢Ⅰ類。252～254は常滑甕。255～258はかわらけ加工品。かわらけ底部を円盤状に加工している。257は底部中央に穿孔があるが、加工前の整形か加工後の整形かは不明。259は須恵器坏。260～371は20層出土。260～309はかわらけ。310は黄釉盤。311～313は漆器。311は椀、312は蓋、313は化粧刷毛の軸。314～371は木製品。314～322は箸。323～332・346は板折敷。333～345・347～354は経木折敷。355～358は箆状製品。359～369は棒状製品。370は形代。371は用途不明、半月状製品。17～19層と20層からは、その他に手づくね・青白磁梅瓶・瀬戸碗・常滑片口鉢Ⅱ類・土製品・平瓦・瓦器碗・獣骨・貝・果核が破片で出土している。372～520は堆積層別に分けることが出来なかった遺物を遺構1一括遺物として報告した。372～510はかわらけ。511～512は青磁碗。513～514は白磁口兀皿。515は山茶碗。516～517は常滑片口鉢Ⅰ類。518は南伊勢系土鍋。519～520は金属製品。519は鉄製品釘。520は用途不明。その他に破片で手づくね・青磁折縁皿・青白磁梅瓶・白磁口兀碗・瀬戸碗・常滑片口鉢Ⅱ類・平瓦・

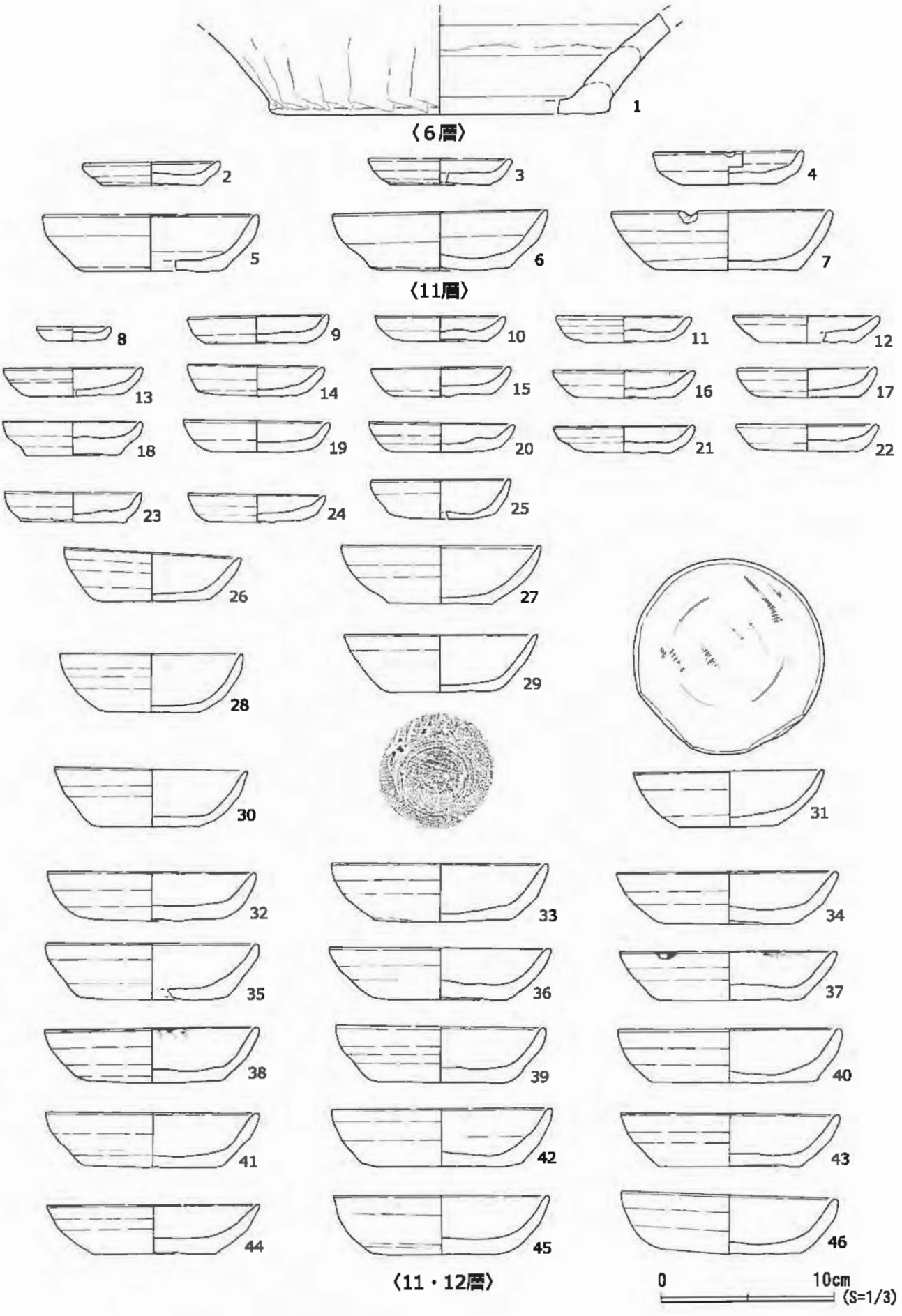


図7　第１a面・遺構1出土遺物(1)

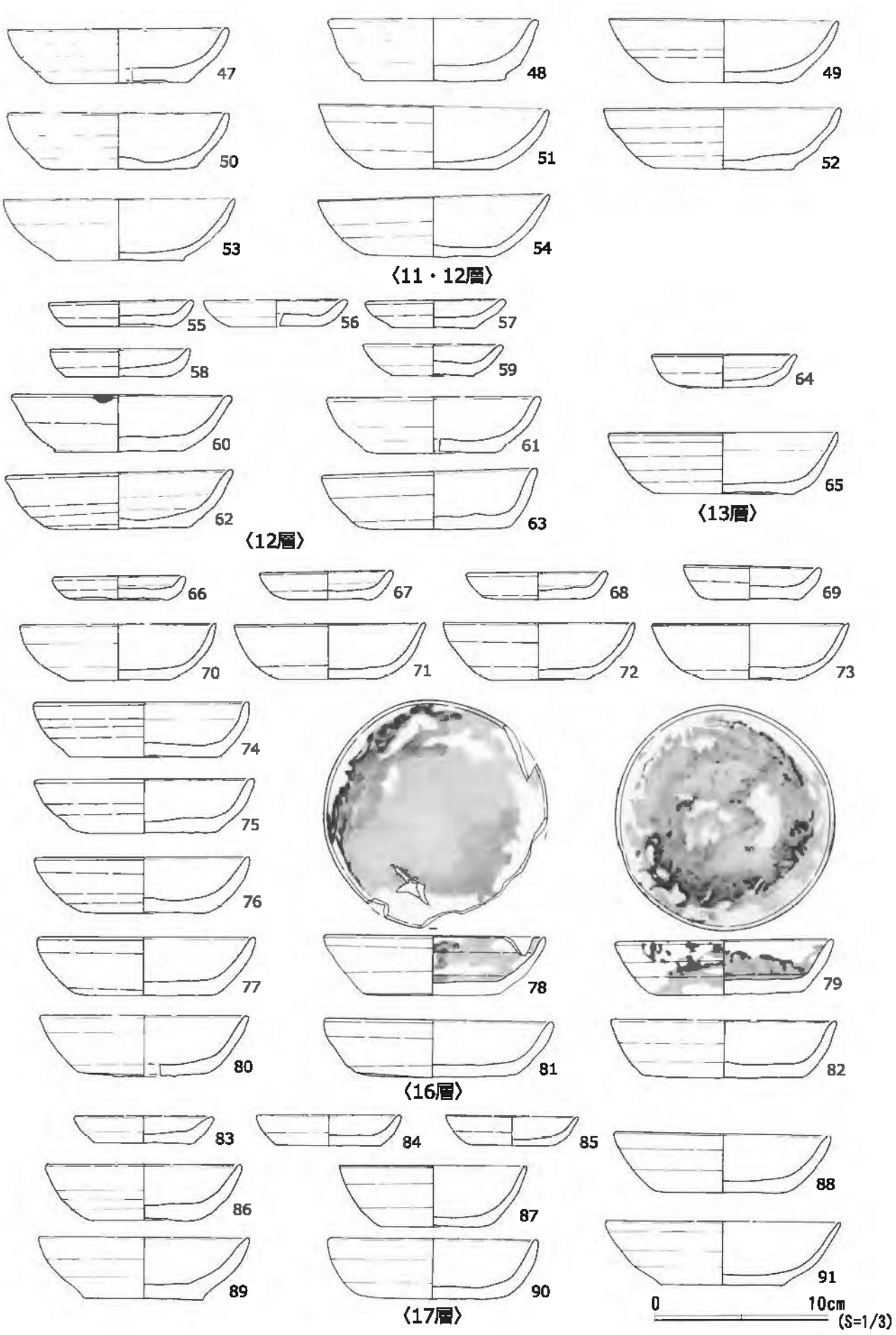


図8　第1ａ面・遺構1出土遺物(2)

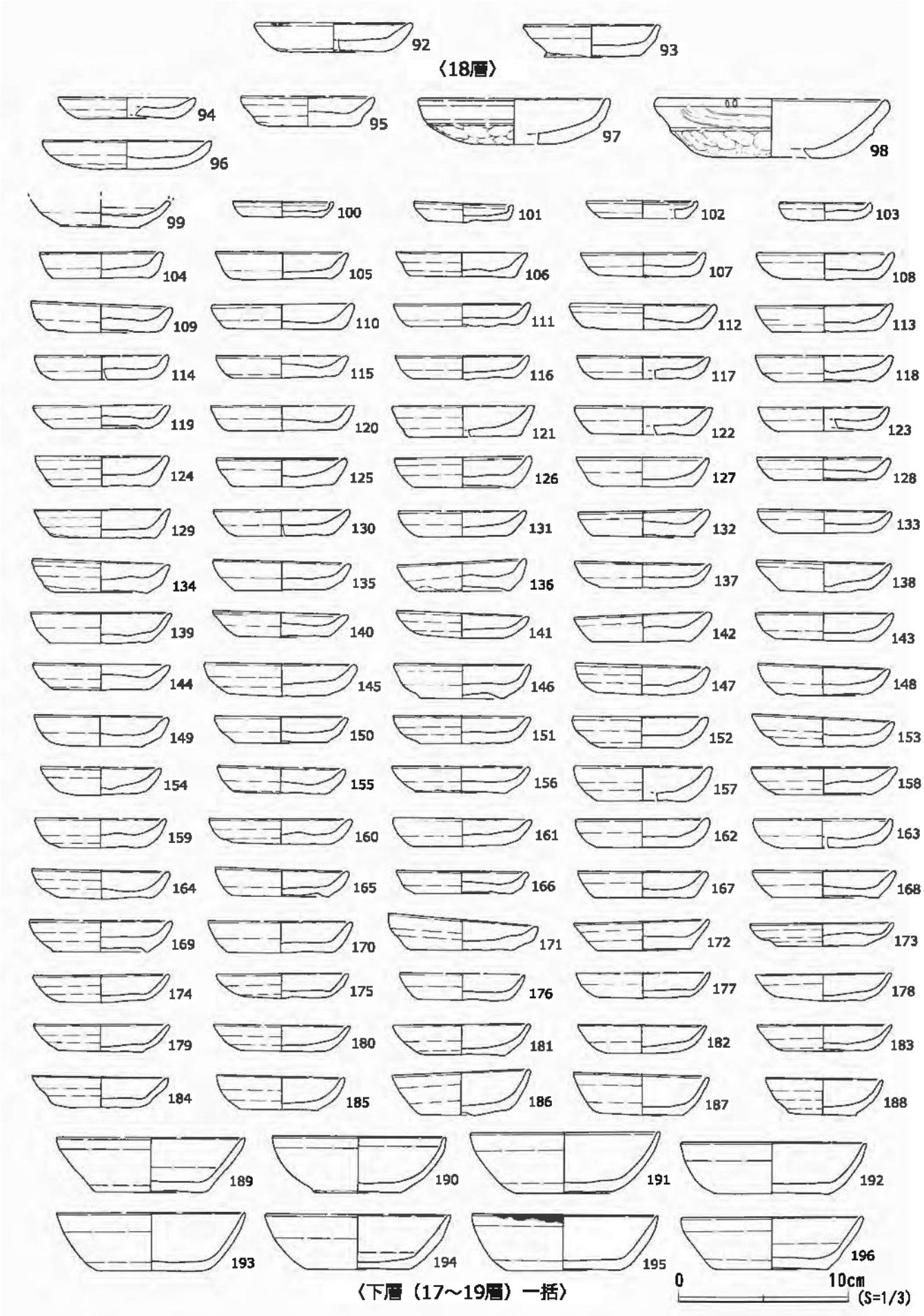


図9　第1ａ面・遺構1出土遺物(3)

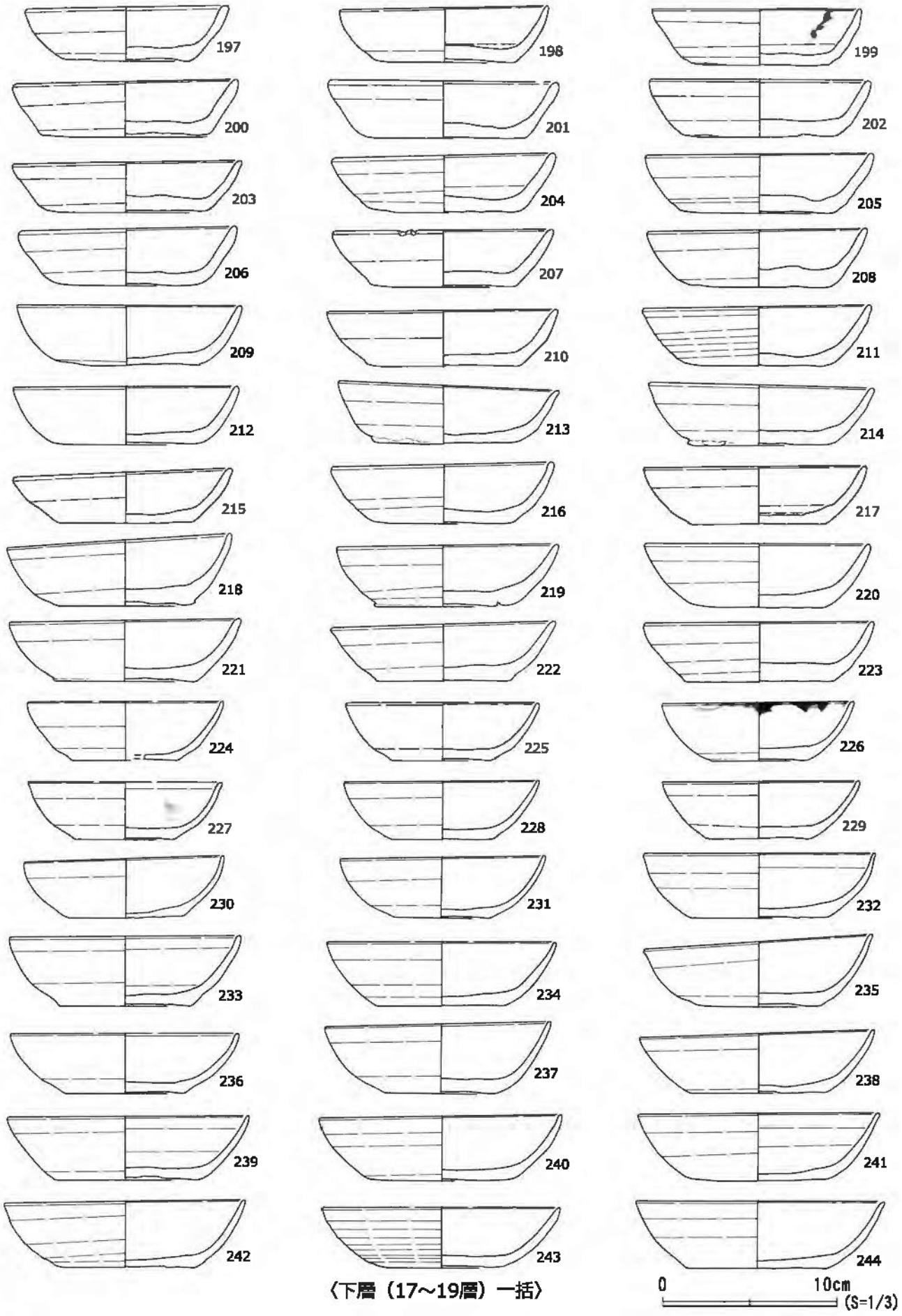
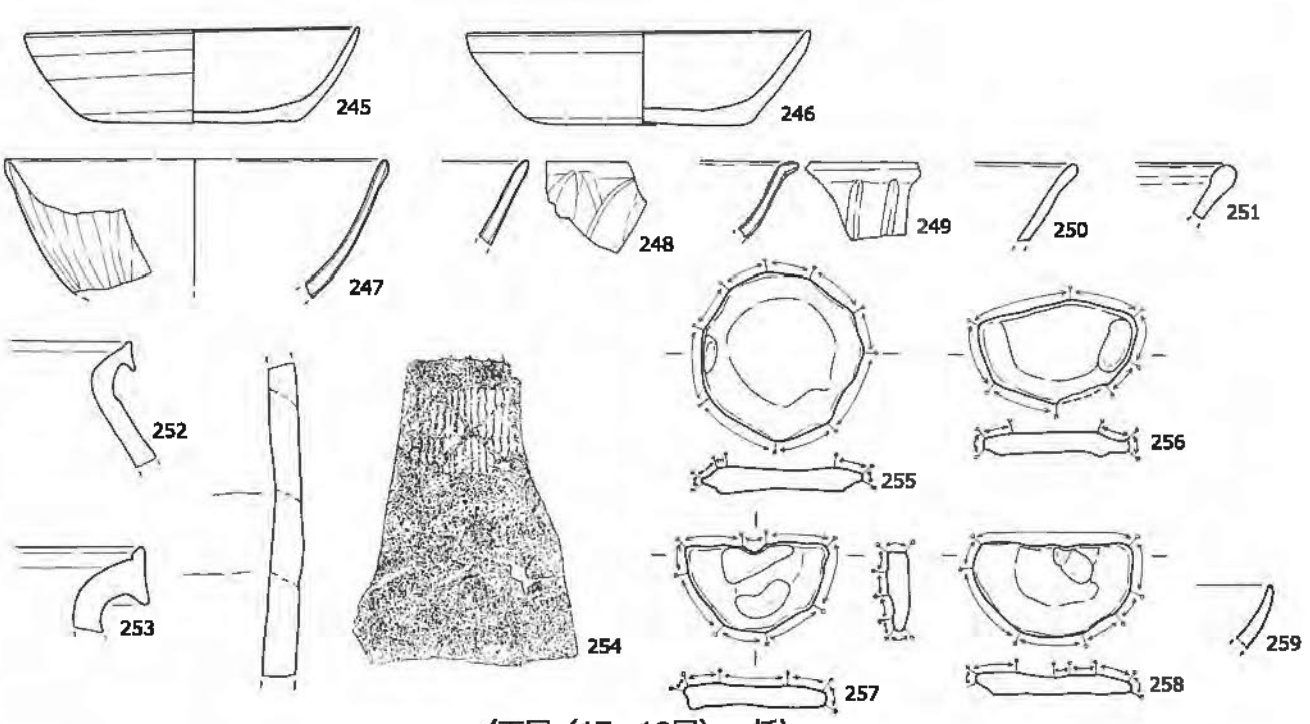
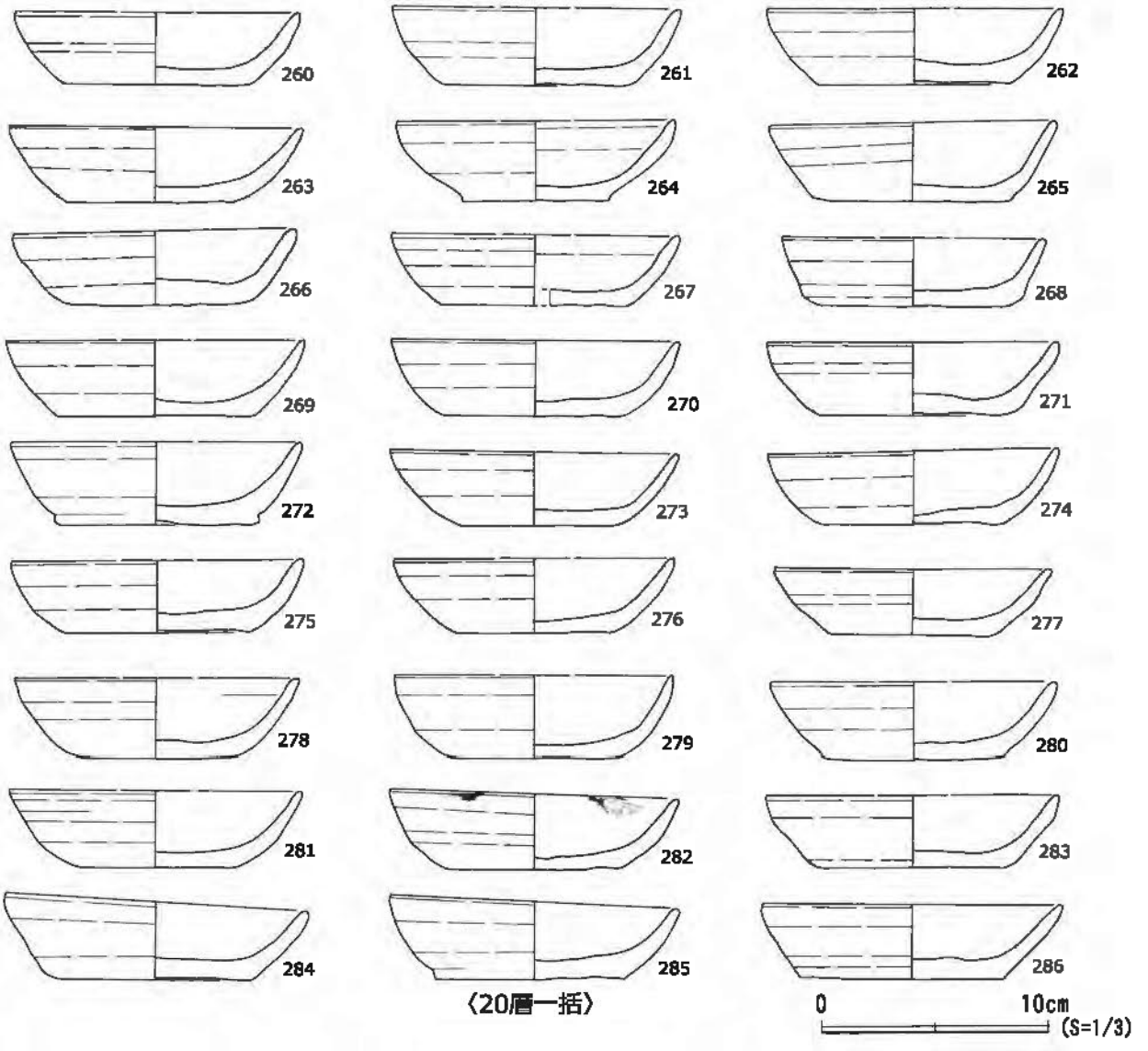


図10　第1ａ面・遺構1出土遺物(4)



〈下層（17～19層）一括〉



〈20層一括〉

図11　第1ａ面・遺構1出土遺物(5)

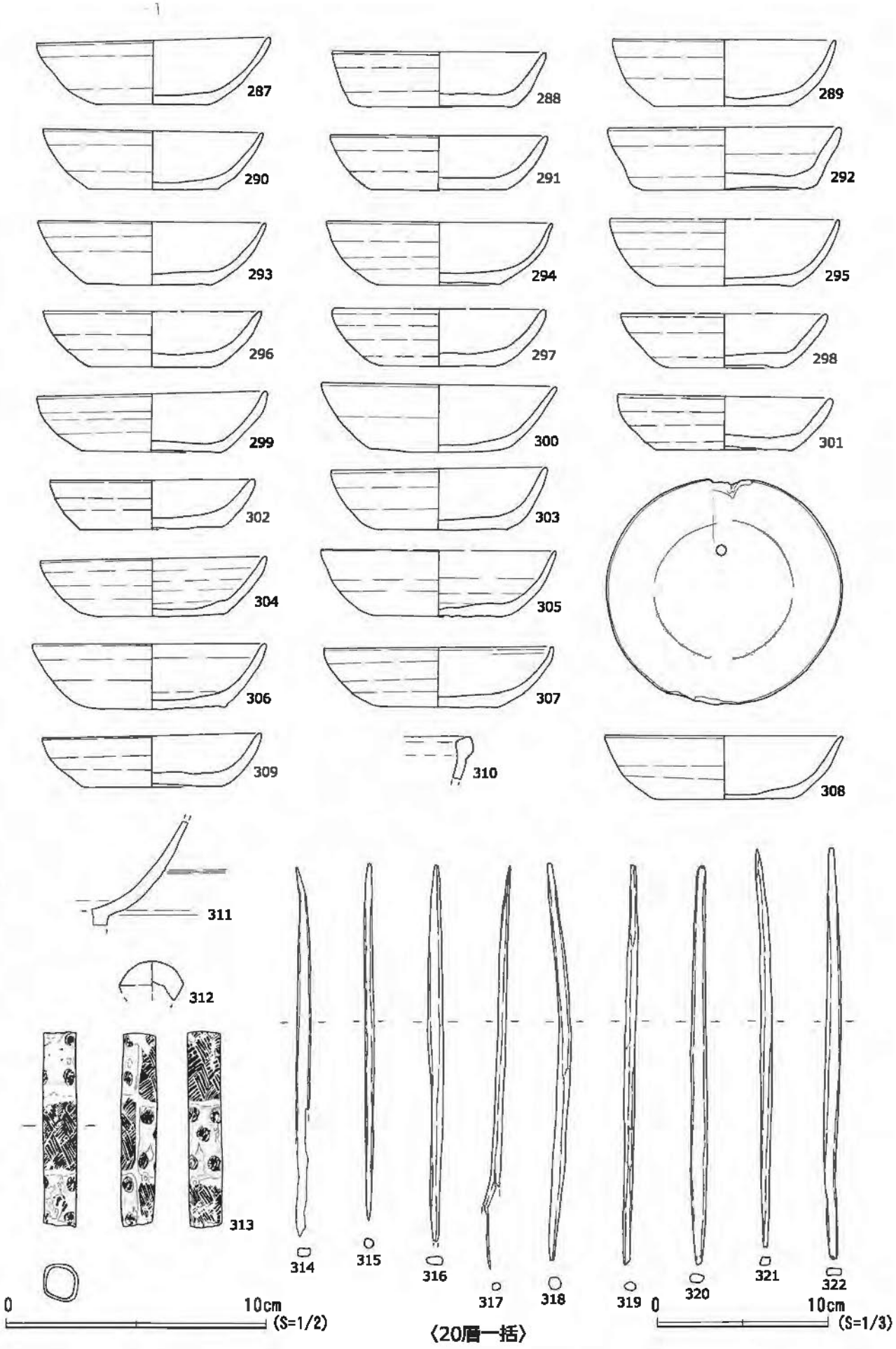


図12　第1ａ面・遺構1出土遺物(6)

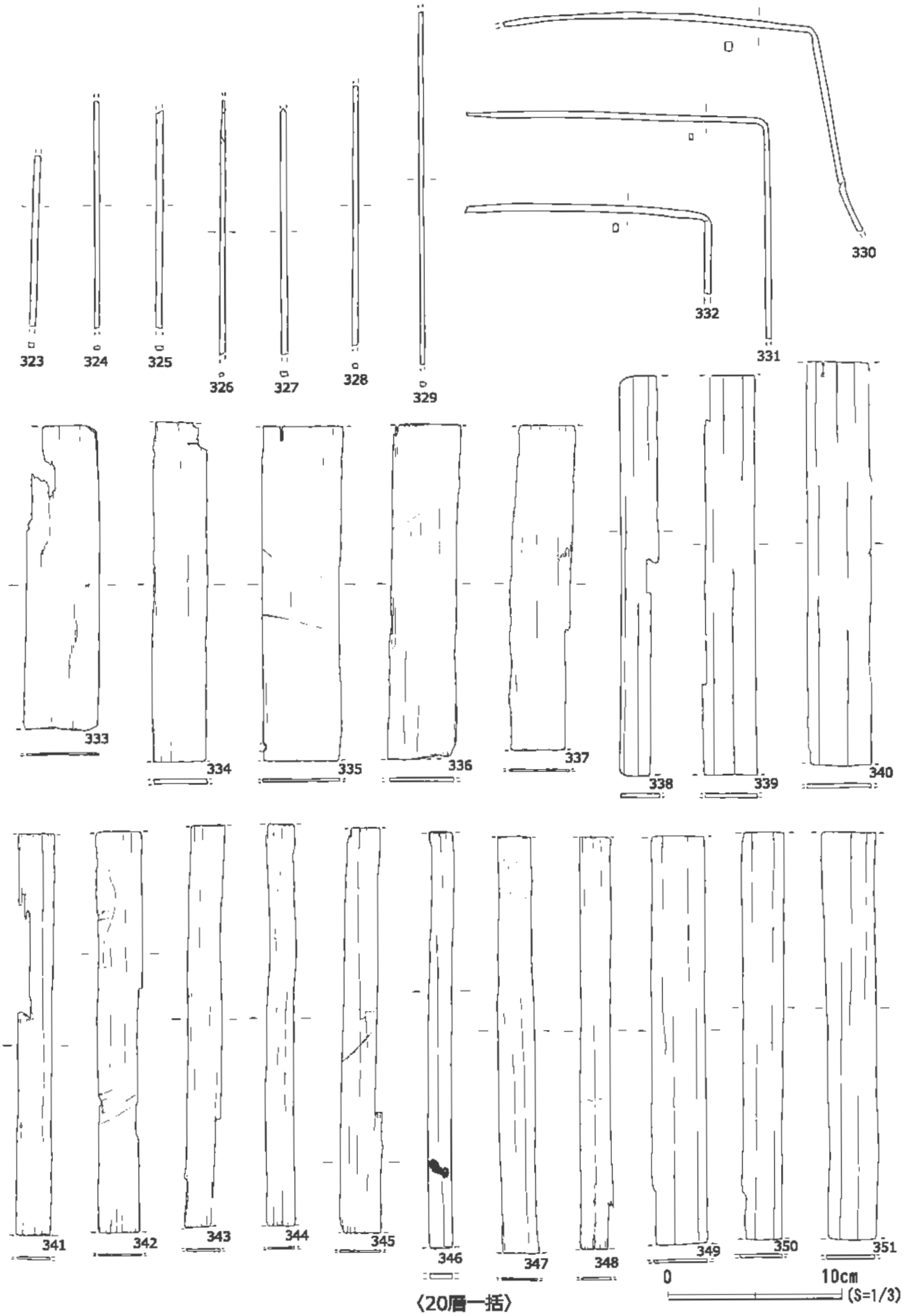


図13　第1ａ面・遺構1出土遺物(7)

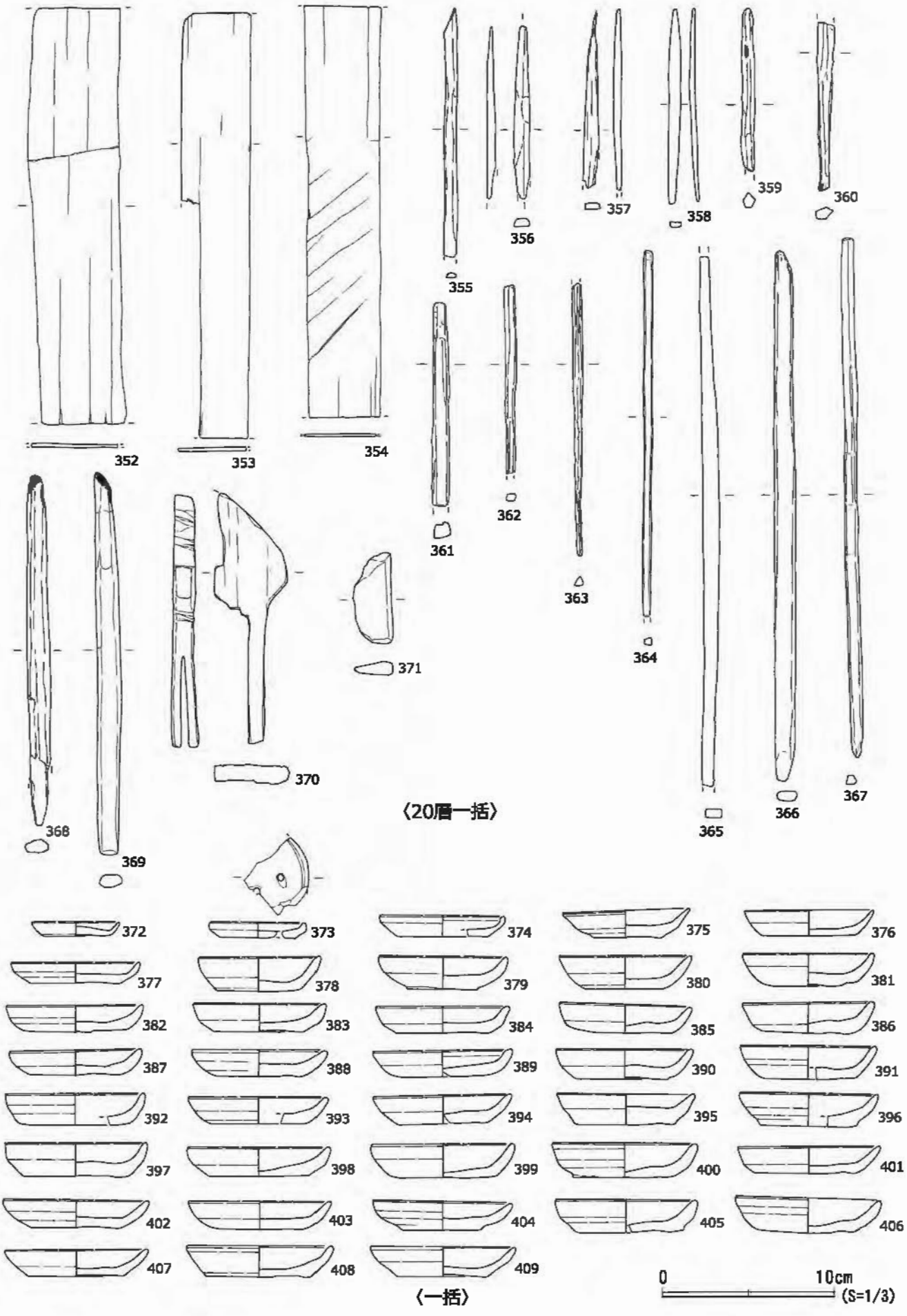


図14　第1ａ面・遺構1出土遺物(8)

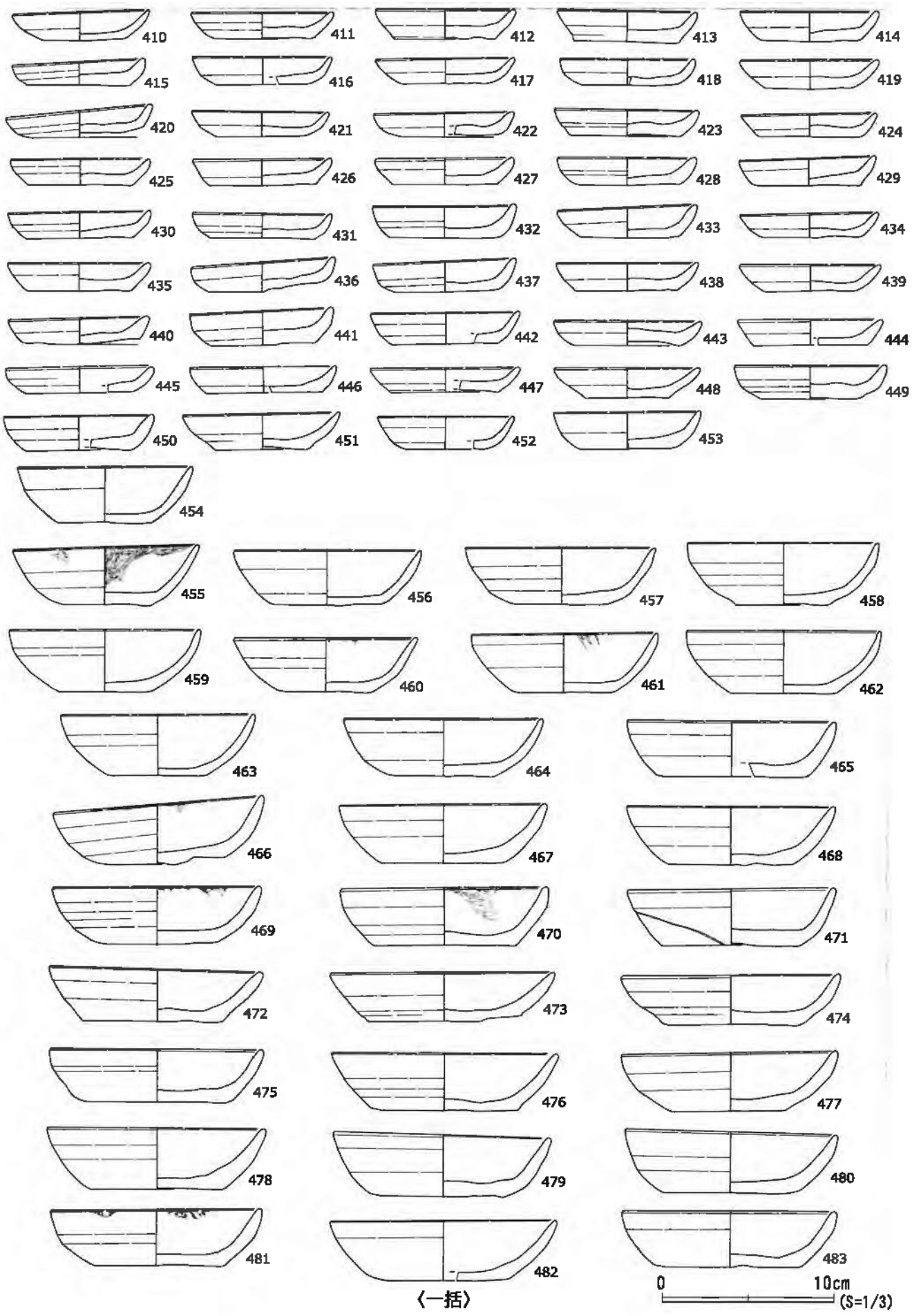


図15　第1ａ面・遺構1出土遺物(9)

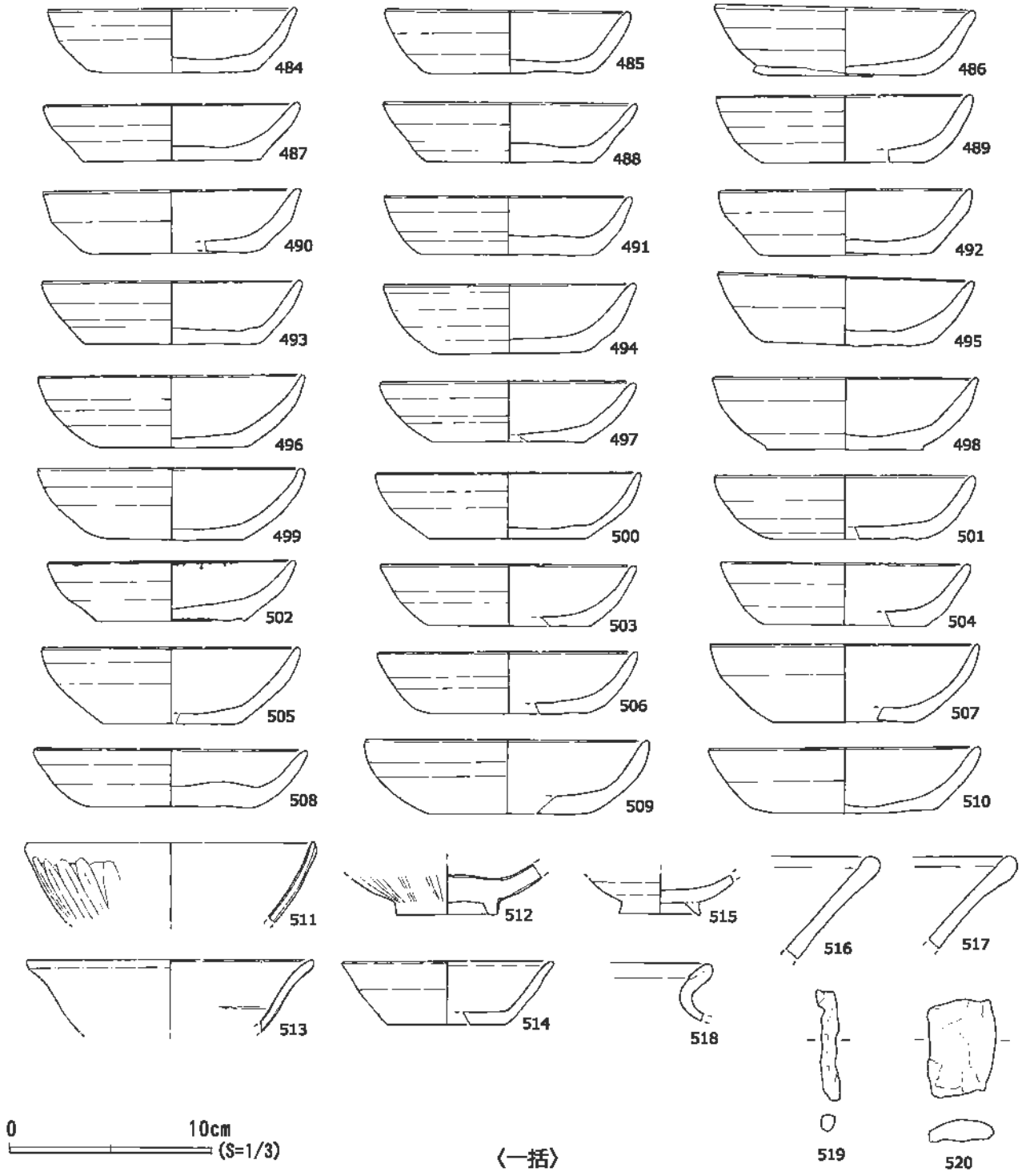


図16　第1ａ面・遺構1出土遺物(10)

瓦器碗・砥石・獣骨・貝・果核が破片で出土している。

・遺構6(図17)

遺構1に切られ、遺構12を切る。調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

1～4は手づくね。5はかわらけ。その他に破片で常滑甕・鉄製品釘が出土している。

・遺構8(図17)

円形を呈するピットである。遺構12を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

6は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に遺物は出土していない。

・遺構9(図4)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構12(図4)

遺構6に切られ、調査区外に遺構が延び規模・形状は不明でとなった。個別遺構図は掲載していない。土坑である。遺構覆土は泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

7は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構14(図17)

円形を呈するピットである。遺構15を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土だが、覆土の大半は炭化物であった。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構15(図17)

不正円形を呈するピットである。遺構14に切られ、遺構27を切る。深さ67㎝を測り建物址の柱穴であったと考えている。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

8は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構27(図17)

楕円形を呈する土坑である。遺構15に切られる。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

9～10は手づくね。11～14はかわらけ。15は青磁碗。16は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に破片で瓦器質火鉢が出土している。

・遺構195(図18)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土内からは多量のかわらけを採集しており、かわらけ廃棄土坑であったと考えている。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。出土したかわらけ・手づくねの総破片数は報告遺物も含めて、かわらけ(大)216片・(中)3片・(小)51片。手づくね(大)74片・(小)8片であった。

・出土遺物(図18)

1～35は遺構上層でまとまって出土したため、遺物に№を付して採集し記録した遺物もある。それぞれの採集№は平面図と観察表を参考にしていただきたい。1～34はかわらけ。35は常滑片口鉢Ⅰ類。36～41は下層の堆積土から出土した遺物である。36～37は手づくね。38～39はかわらけ。40は常滑甕。41は銅銭。その他に破片で常滑壷・金属製品鉄釘・獣骨が破片で出土している。

・遺構196(図18)

現代井戸に切られ、調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構195同様にかわらけ廃棄遺構であったと考えているが、遺構覆土も遺構195に近似しており、ほぼ同時期に存続した遺構と思われる。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。出土したかわらけ・手づくねの総破片数は報告遺物も含めて、かわらけ(大)338片・(小)58片・白かわらけ1片。手づくね(大)7片・(小)3

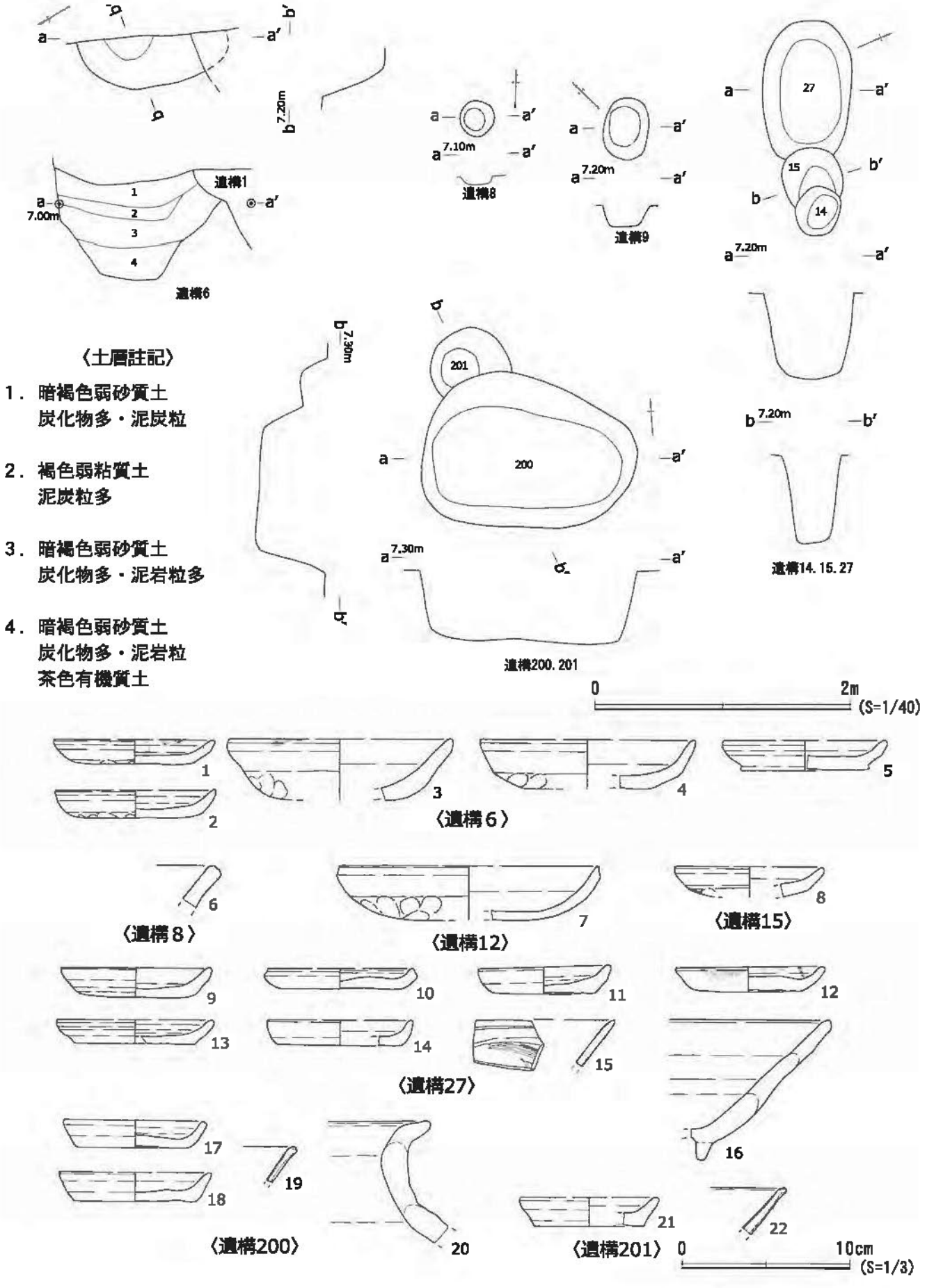


図17　第1a面・個別遺構図・出土遺物

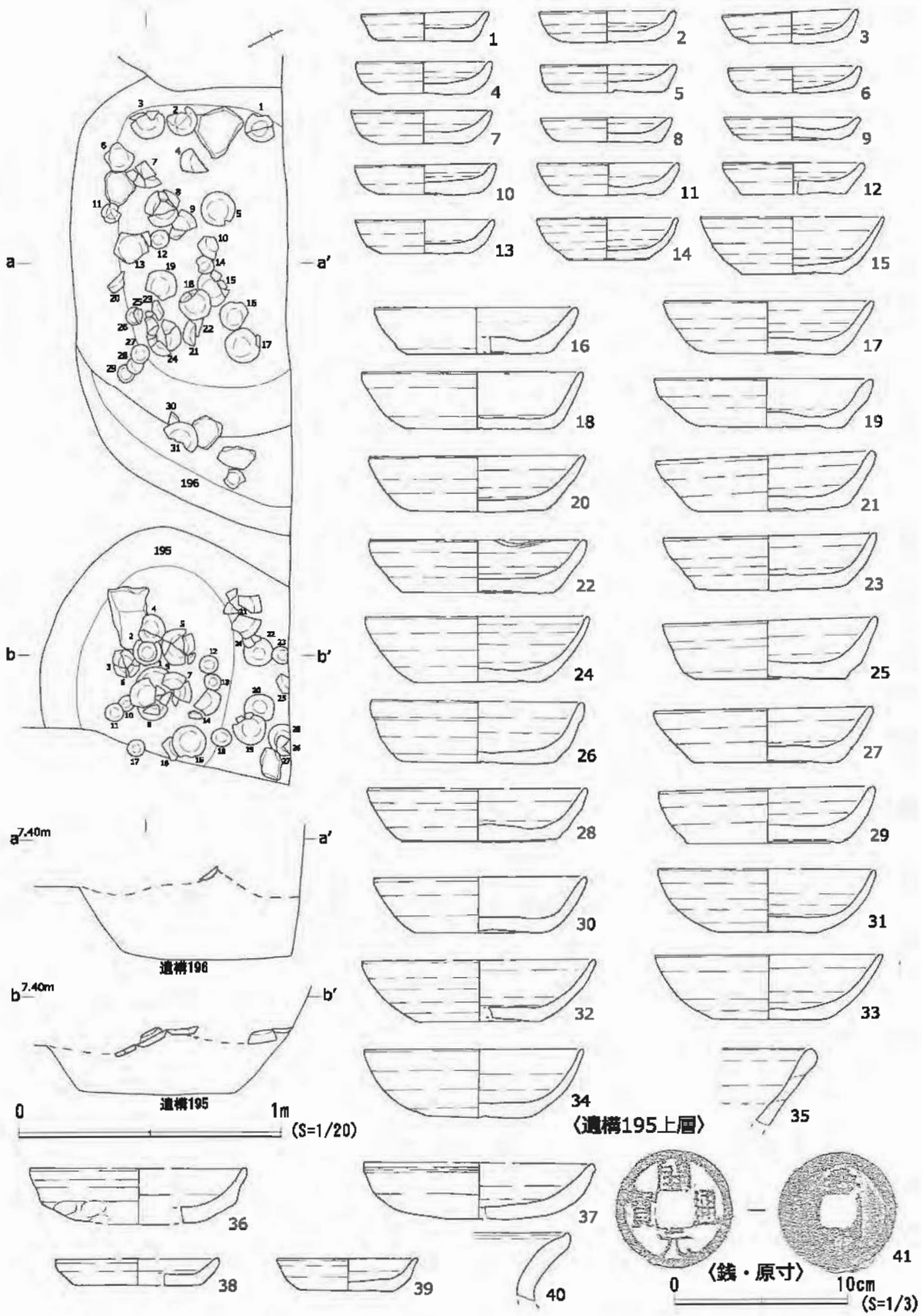


図18　第1ａ面・遺構195・遺構196・出土遺物(1)

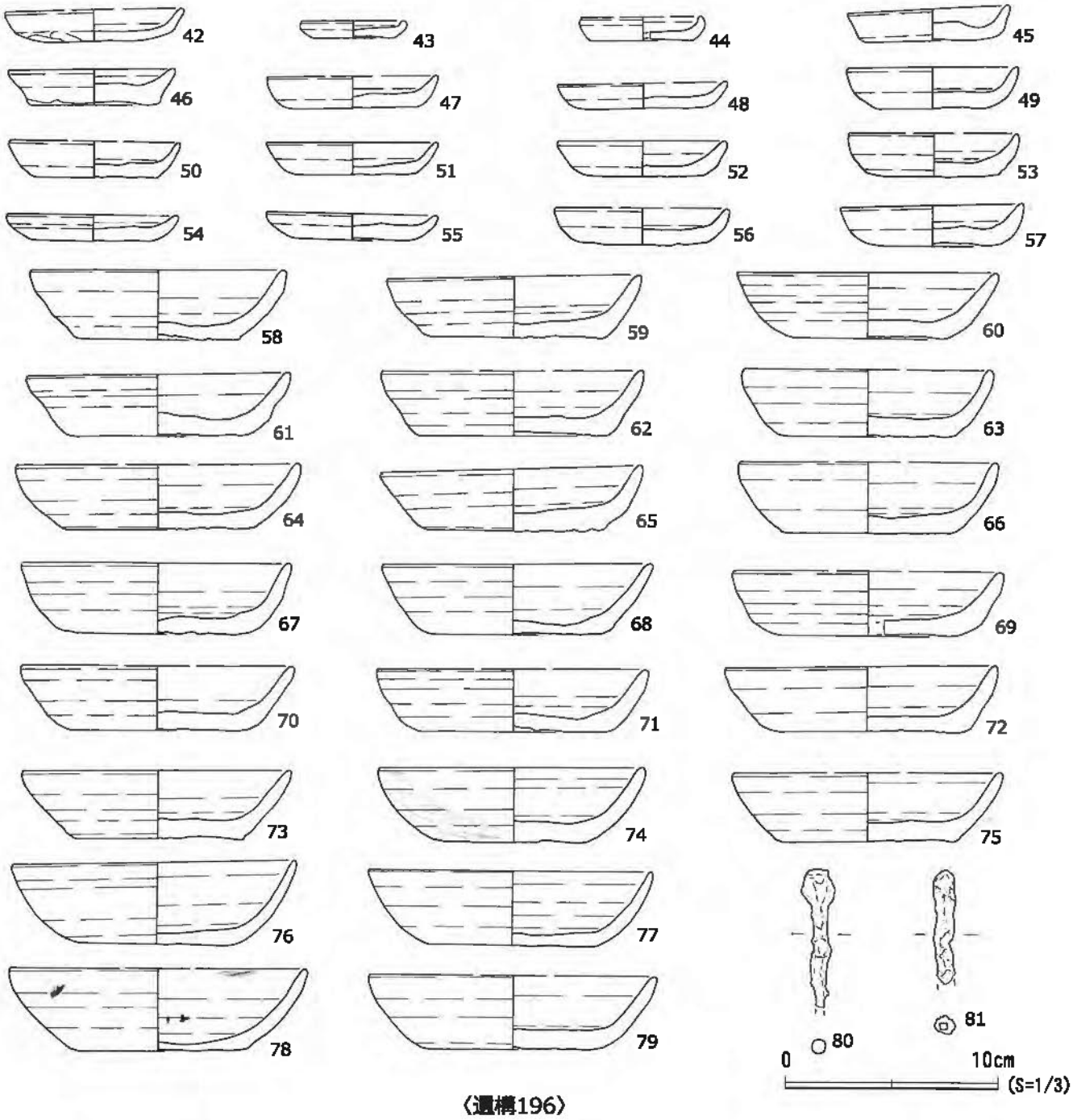


図19　第1ａ面・遺構195・遺構196・出土遺物(2)

片・内折れ(手づくね)2片であった。

・出土遺物(図19)

42は手づくね。43～79はかわらけ。80～81は鉄釘。遺物にNo.を付して採集している。それぞれの採集No.は平面図と観察表を参考にしていただきたい。その他に破片で常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・獣骨・果核が出土している。

・遺構197(図20)

上層に堆積する現代埋土によって削平を受けたためか遺構深度は浅い。遺構は調査区外に延びているが方形を呈すると思われ、竪穴建物であった可能性を考えている。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物・

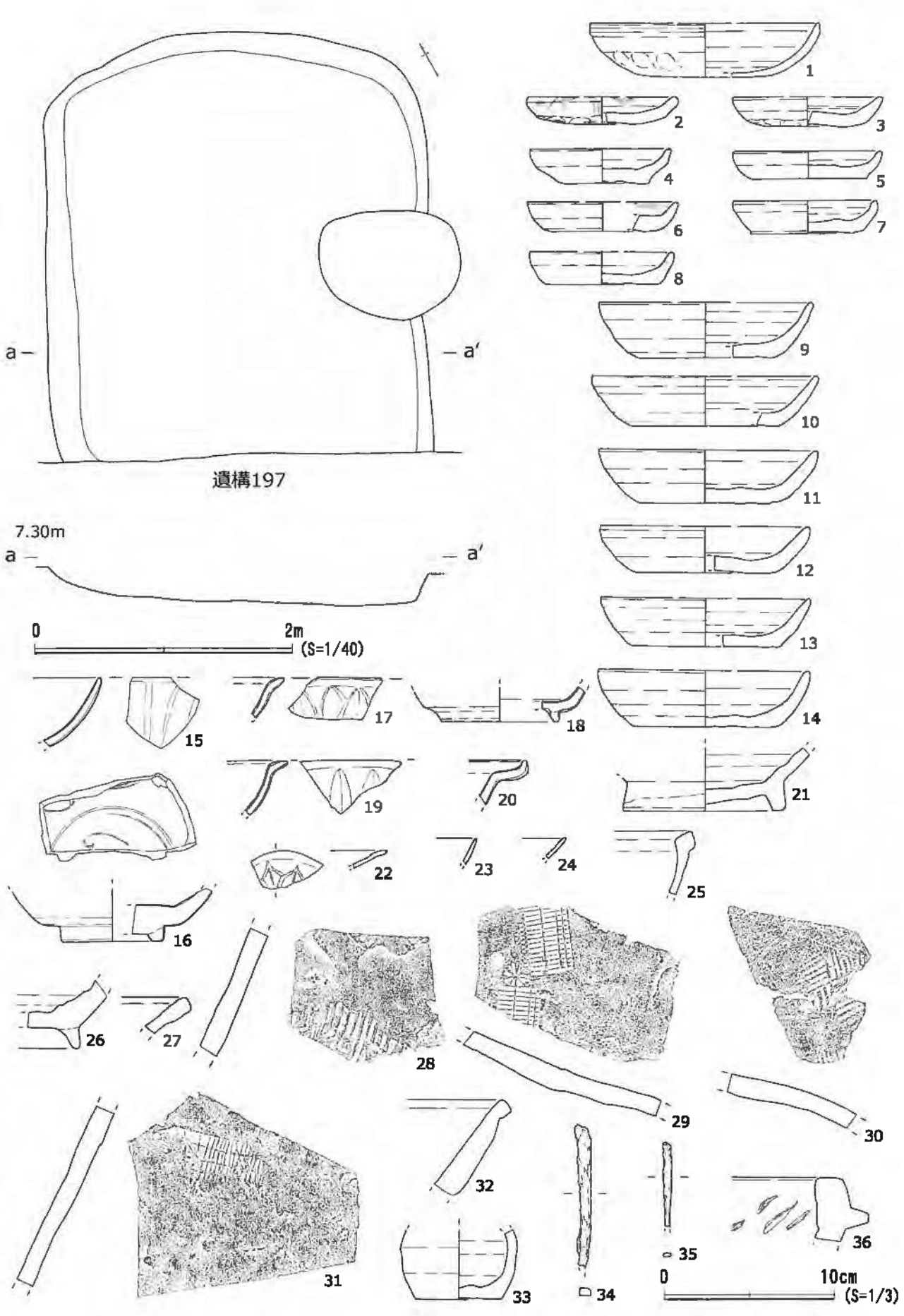


図20　第1a面・遺構197・出土遺物

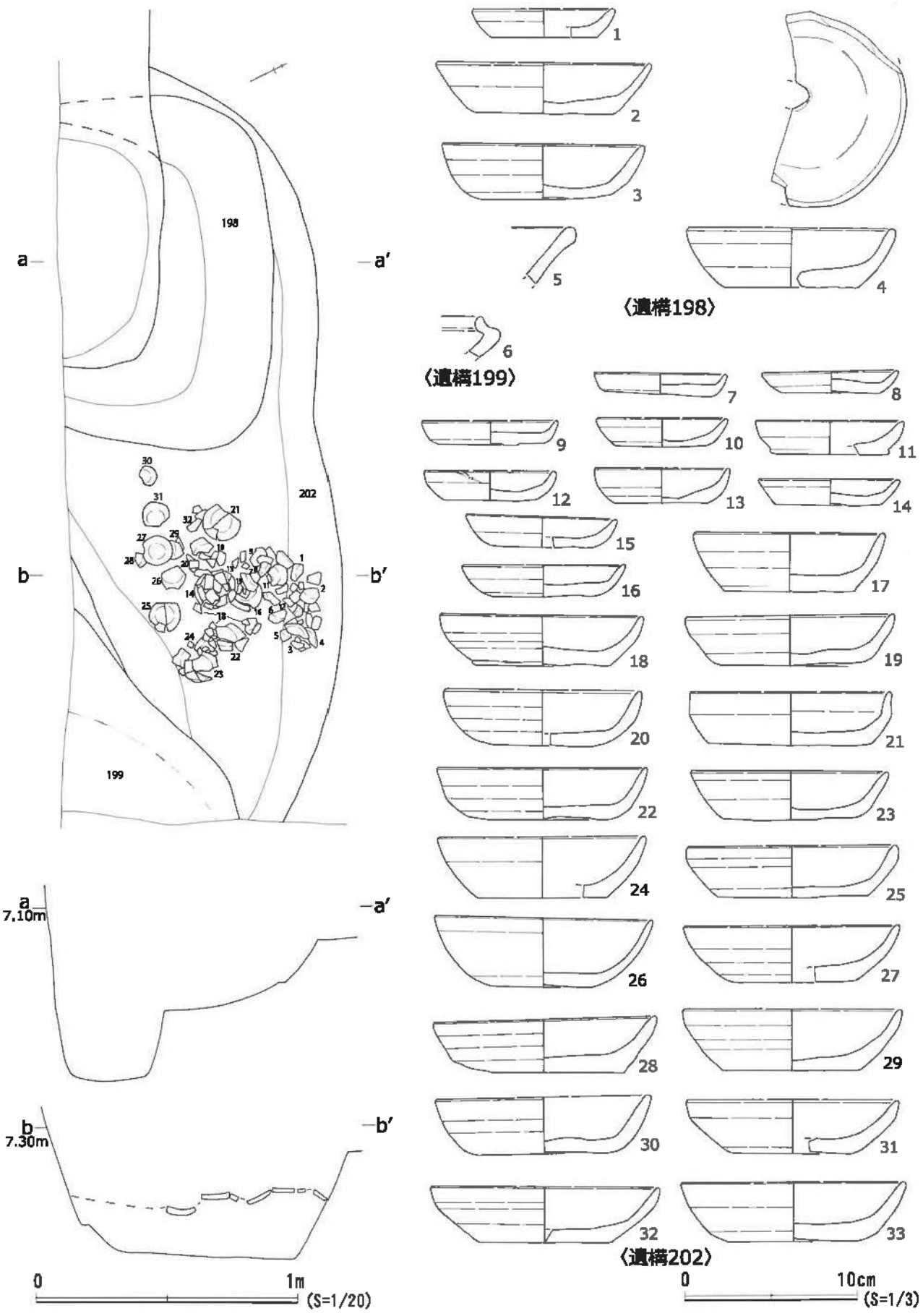


図21　第1ａ面　遺構198・遺構199・遺構202出土遺物(1)

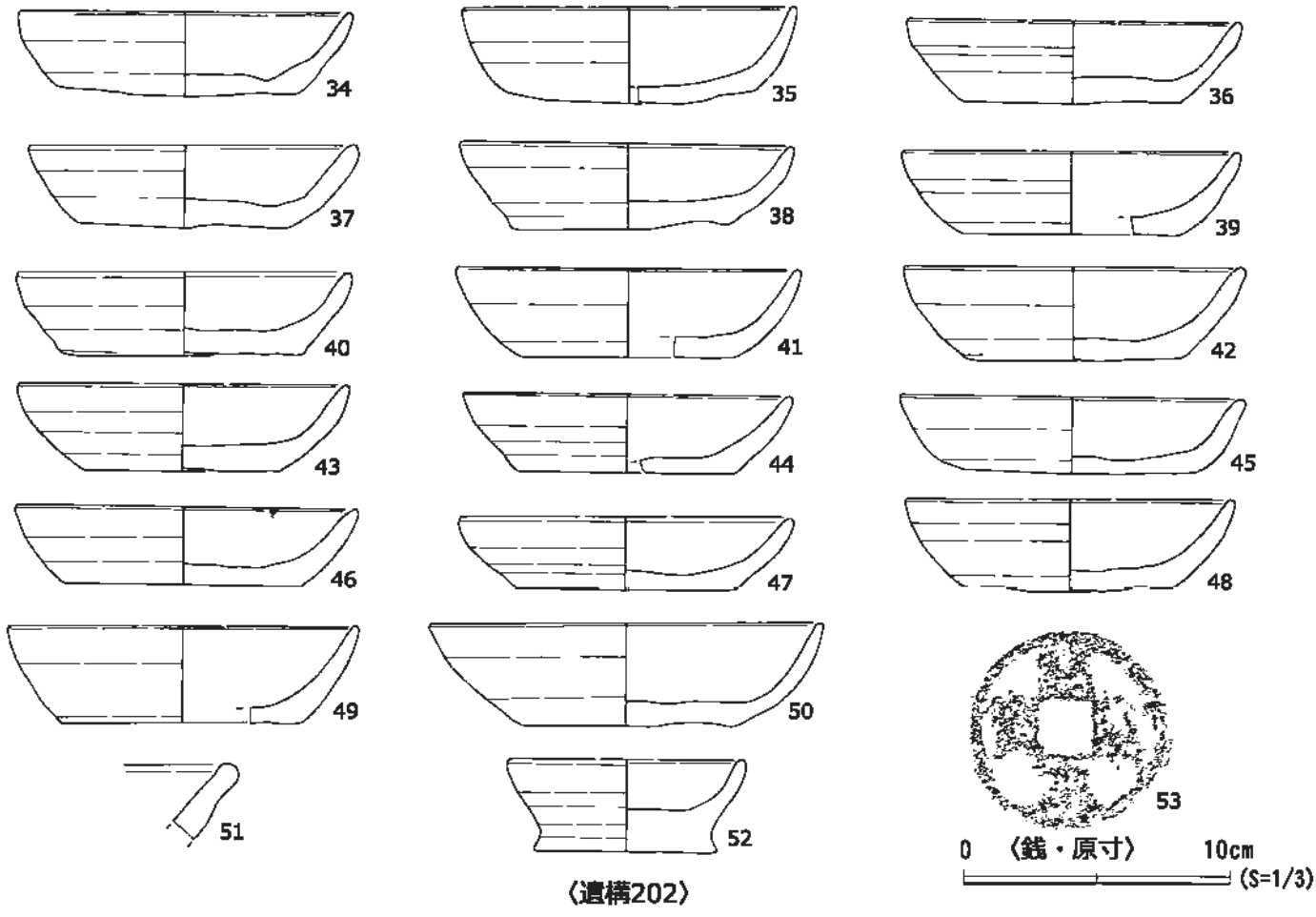


図22　第1ａ面・遺構198・遺構199・遺構202出土遺物(2)

黄褐色粘土を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図20)

1～3は手づくね。4～14はかわらけ。15～16は青磁碗。17～19は青磁坏。20は青磁鉢。21は白磁壷。23は青白磁皿。24は青白磁碗。25は黄釉盤。26は常滑片口鉢Ⅰ類。27は常滑片口鉢Ⅱ類。28～31は常滑甕。32は産地不明鉢。33は土製品壷。34～35は鉄釘。36は滑石鍋。報告した手づくね・かわらけは14点であるが、破片でかわらけ(大)284片・(小)36片・白かわらけ3片。手づくね(大)10片・(小)5片が出土している。その他に破片で青白磁梅瓶・白磁口兀皿・褐釉器種不明・平瓦・石製品砥石・獣骨・果核が出土している。

・遺構198(図21)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構202を切る。土坑である。遺構覆土は泥岩粒・多量の茶色有機質土・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図21)

1～4はかわらけ。5は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に破片で常滑甕・獣骨・果核が出土している。

・遺構199(図21)

遺構202に切られ、遺構の大半は調査区外に延びていたため規模・形状は不明である。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩塊・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図21)

6は土器器種不明。古墳後期か。その他に破片でかわらけ・手づくね・常滑甕・獣骨・果核が出土している。

・遺構200(図17)

楕円形を呈する土坑である。遺構201を切る。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩塊・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

17・18はかわらけ。19は青磁坏。20は常滑甕。その他に破片で手づくね・常滑片口鉢Ⅰ類・獣骨が出土している。

・遺構201(図17)

円形を呈するピットである。遺構200に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩塊・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図17)

21はかわらけ。22は青磁坏。その他に破片で常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・山茶碗が出土している。

・遺構202(図21)

遺構198に切られ、調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。調査区北側で発見した遺構195・遺構196と同様に遺構覆土からはかわらけを多く採集しており、かわらけ廃棄遺構と考えている。出土したかわらけの総破片数は報告分も含めて、かわらけ(大)424片・(中)9片・(小)101片・白かわらけ(ロクロ成形)4片で、僅かではあるが手づくね(大)4片・(小)5片も出土している。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩塊・炭化物・青灰色砂質土を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図21～22)

7～50はかわらけである。51は常滑片口鉢Ⅰ類。52は土器器種不明。53は銭。その他に破片で手づくね・青磁皿・常滑甕・獣骨・果核が出土している。

第2節　第1b面の遺構と遺物(図4・図23～図37)

第1b面は炭化物・泥岩粒・茶色粘土を含む暗褐色弱粘質土上で検出した。発見した遺構は土坑44基・ピット181穴・竪穴建物１軒・溝1条である。遺構覆土・切り合いの観察から少なくとも3時期の遺構が重なっている。発見した遺物はかわらけ・手づくね・青磁・青白磁・白磁・常滑・渥美・瓦・土師器・砥石・チャート・鉄製品釘・獣骨・果核が出土している。第1ｂ面では遺構・遺物ともに多くを検出している。また、礎板の残るピットを多く発見し建物址の推定を試みたが、多くの遺構は調査区外に遺構が延びていた可能性があり建物址の推定は1軒となった。

・遺構2(図23)

方形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

1は手づくね。2～11はかわらけ。12は常滑甕。その他に破片で常滑片口鉢Ⅰ類・土製品器種不明・金属製品鉄釘・獣骨が出土している。

・遺構20(図4)

楕円形を呈するピットである。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

13は手づくね。その他に破片でかわらけ・青磁碗が出土している。

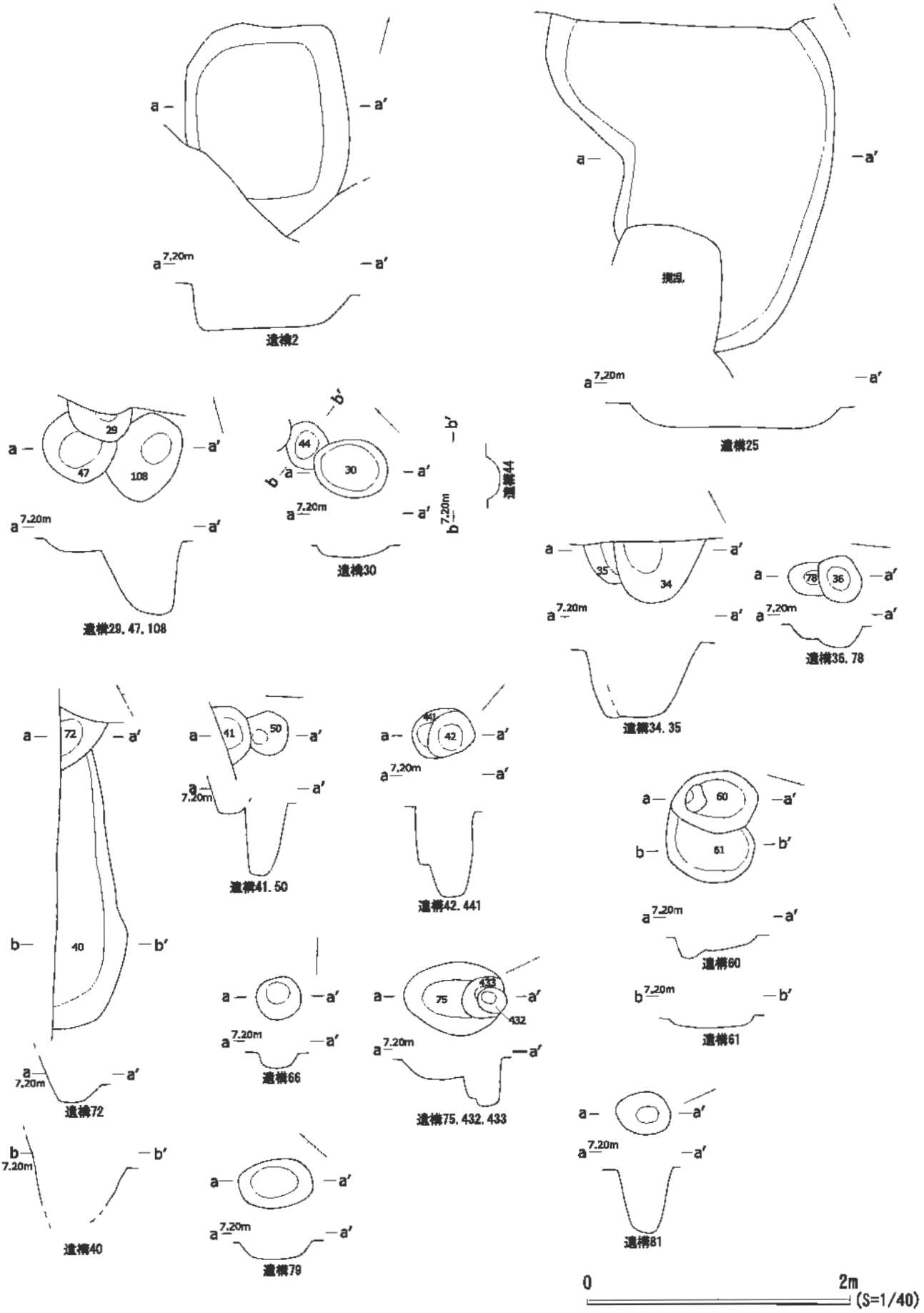


図23　第1ｂ面個別遺構図(1)

・遺構24(図4)

楕円形を呈するピットである。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

14はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構25(図4)

遺構の一部は調査区外に延び、不整形な土坑である。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

15は手づくね。16～20はかわらけ。21は青磁鎬蓮弁文碗。22は鉄釘。23～24は銭。その他に破片で青磁劃花文碗・青磁無文碗・常滑甕。常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構28(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構102を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構29(図23)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構47を切る。ピットである。遺構覆土は炭化物を含む暗褐色弱粘質土だが、覆土の大半は炭化物であった。遺物は破片で常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構30(図23)

不正円形を呈するピットである。遺構44を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構32(図4)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構33を切る。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

25は渥美壷。その他に破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構34(図23)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構35を切る。ピットである。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

26はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑甕が出土している。

・遺構35(図23)

遺構34に切られ、遺構の大半は調査区外に延びる。ピットである。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・砂礫を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

27は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構36(図23)

円形を呈するピットである。遺構78を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に褐鉄が堆積していた。

・出土遺物(図26)

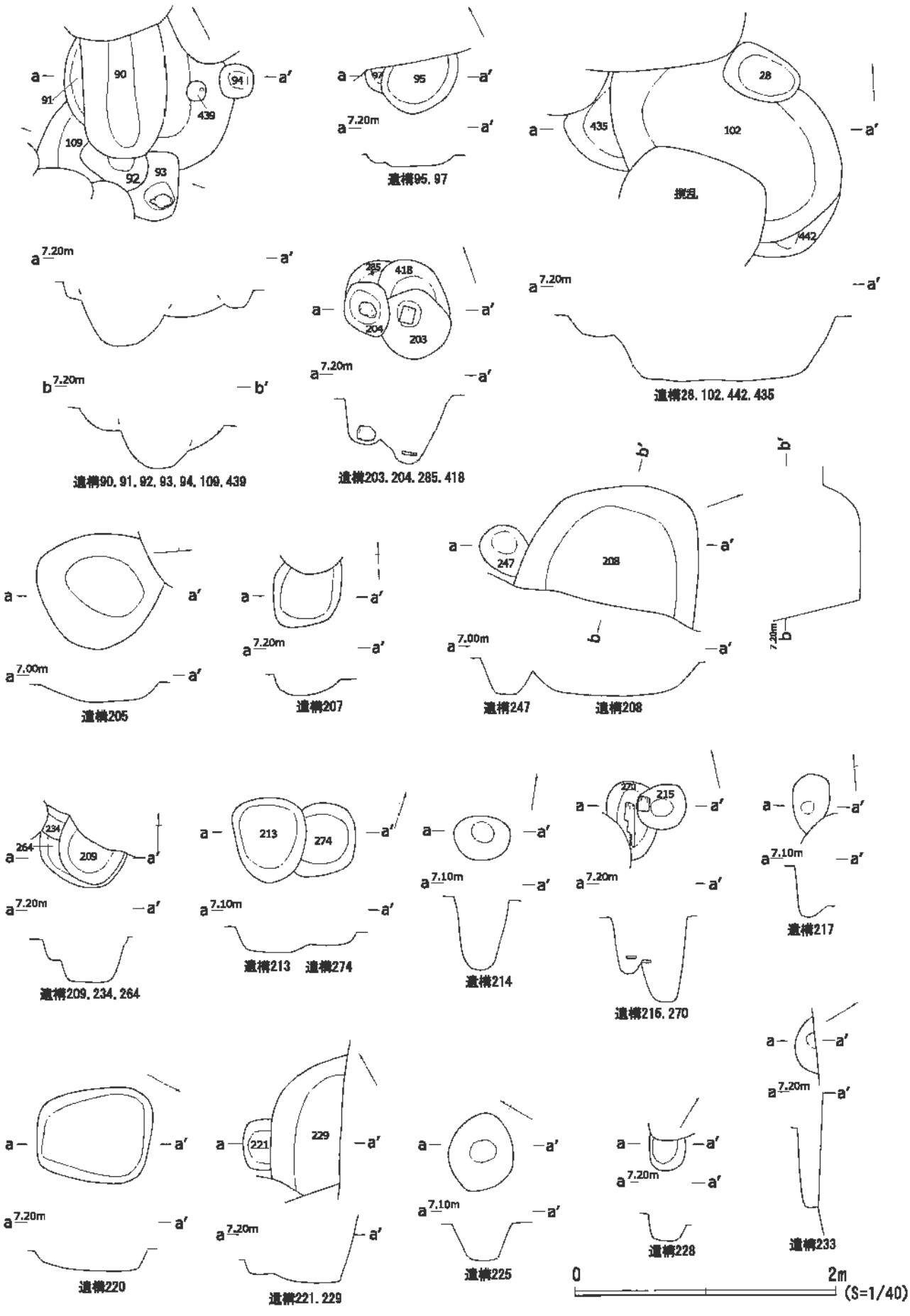


図24　第1ｂ面個別遺構図(2)

28は常滑甕。その他に破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構40(図23)

遺構72に切られ、遺構の大半は調査区外に延びる。やや大型の土坑である。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩・泥岩塊を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

29～33は手づくね。34は黄釉盤。その他に破片でかわらけ・常滑甕・不明金属製品・獣骨が出土している。

・遺構41(図23)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構50を切る。遺構覆土は炭化物・茶色有機質土・褐色粘土を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

35は手づくね。その他に遺物は出土していない。

・遺構42(図23)

楕円形を呈するピットである。遺構441を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

36は手づくね。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構44(図23)

円形を呈するピットである。遺構30に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構47(図23)

円形を呈するピットである。遺構108を切り、遺構29に切られる。遺構覆土は炭化物、泥岩ともに多量に含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構50(図23)

円形を呈するピットである。遺構41に切られる。遺構覆土は泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構60(図23)

楕円形を呈する土坑である。遺構59・遺構61を切る。遺構底面にピットがあき、ピット覆土には泥岩とともに茶色有機質土を多く含んでいたことから柱穴であった可能性もある。遺構覆土は炭化物。多量の泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構61(図23)

楕円形を呈する土坑である。遺構60に切られる。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

37はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構66(図23)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

38は石製品砥石。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構72(図23)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構40を切り、遺構48に切られる。土坑である。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構75(図23)

遺構76を切る。遺構覆土は茶色有機質土と炭化物・泥岩粒を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

39～40はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

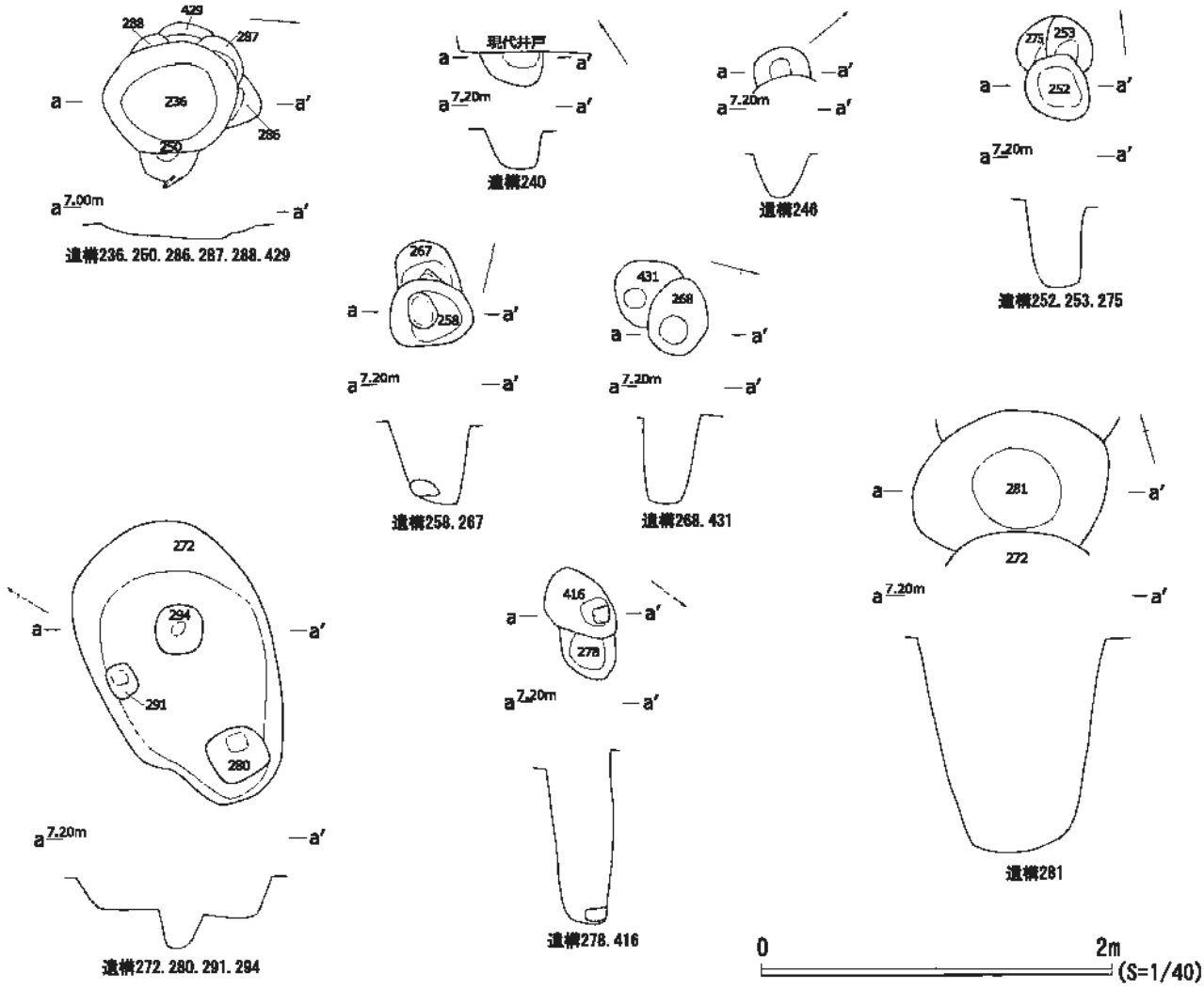


図25　第1ｂ面個別遺構図(3)

・遺構78(図23)

楕円形を呈するピットである。遺構36に切られる。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

・遺構79(図23)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は炭化物、泥岩粒を多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図26)

41は常滑甕。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構81(図23)

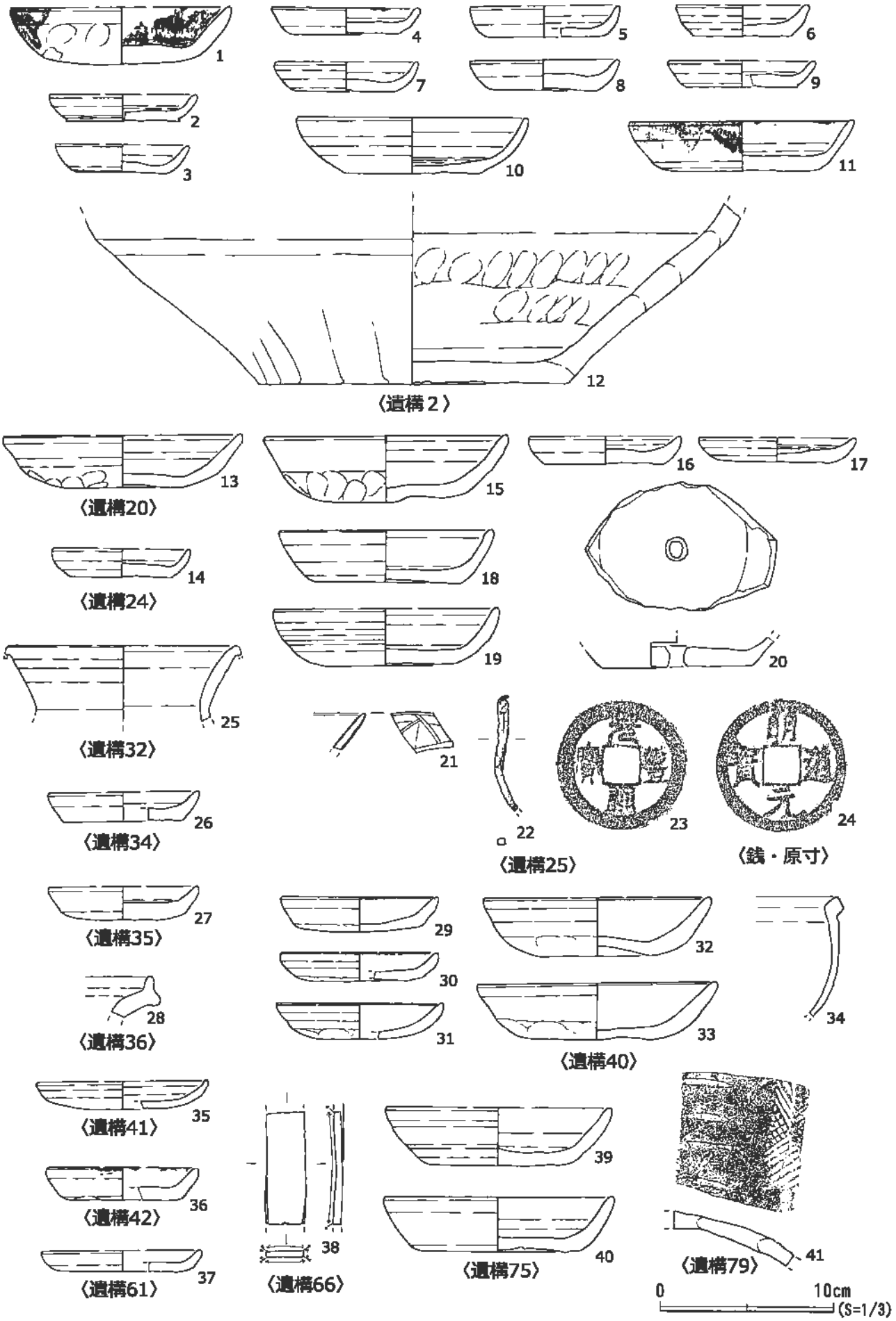


図26　第1ｂ面個別遺構出土遺物(1)

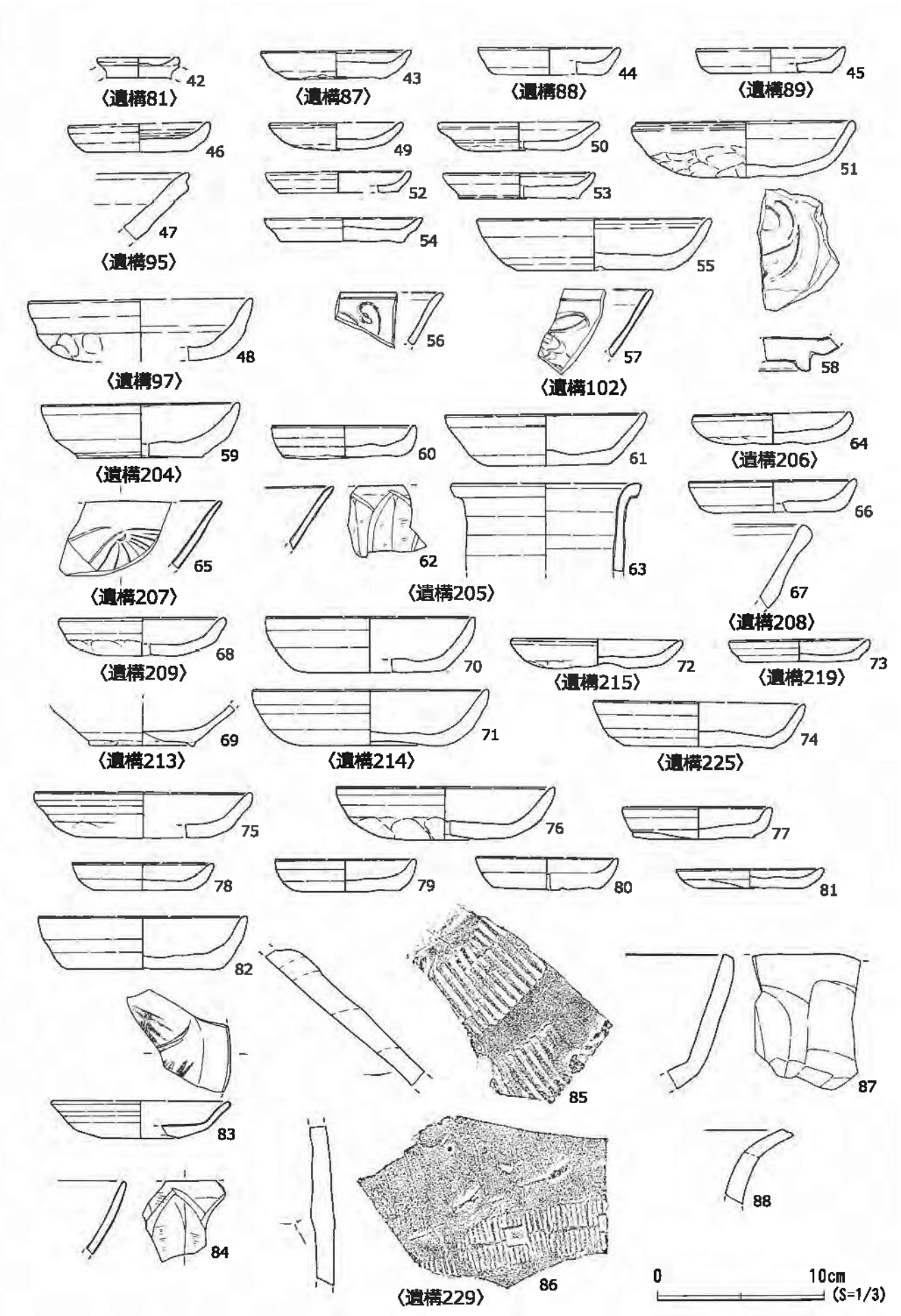


図27　第1ｂ面個別遺構出土遺物(2)

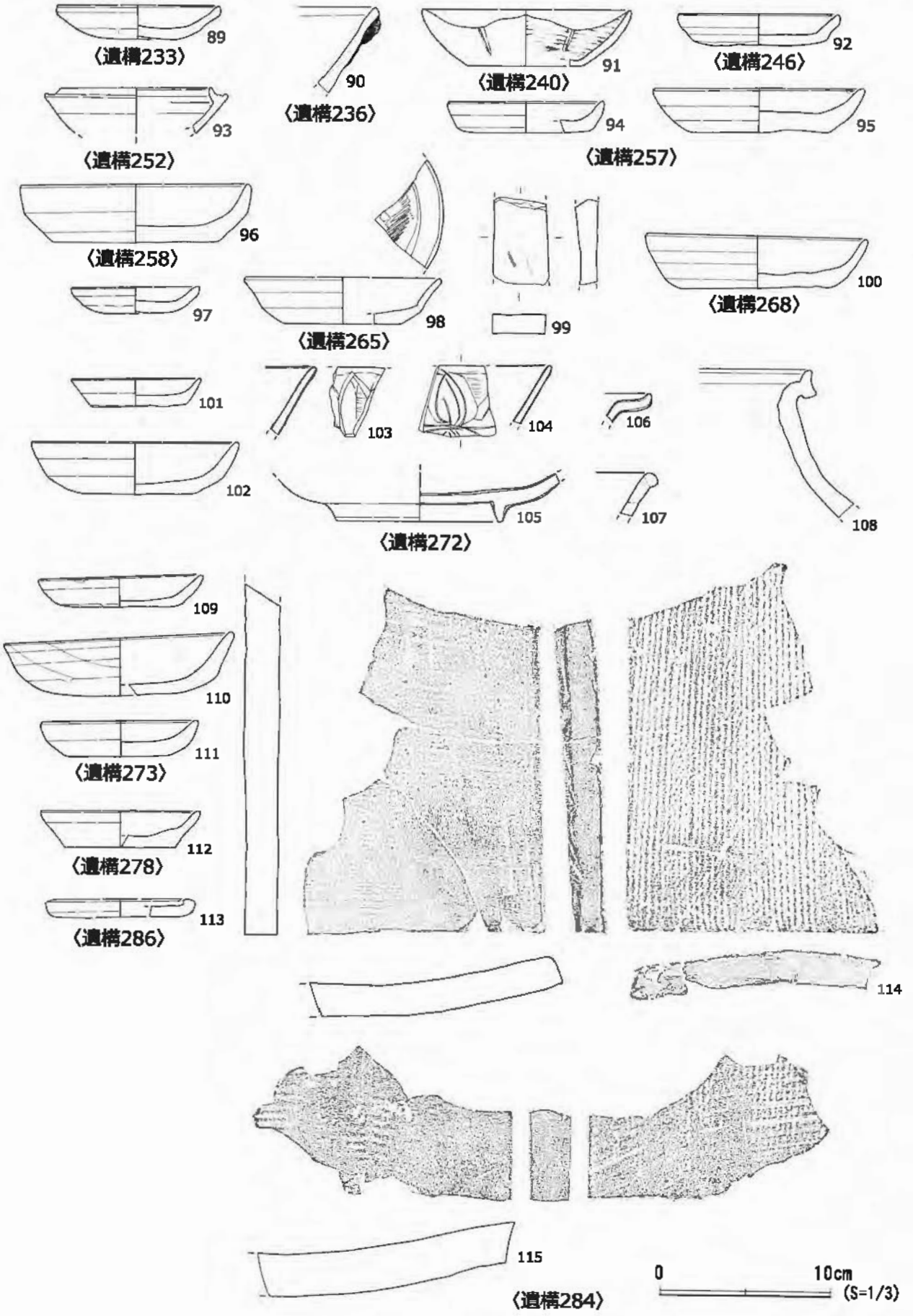


図28　第1ｂ面　個別遺構出土遺物(3)

円形を呈するピットである。遺構覆土は炭化物、泥岩粒を多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

42は須恵器蓋。その他に遺物は出土していない。

・遺構87(図4)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

43はかわらけ。その他に破片で手づくねが出土している。

・遺構88(図4)

円形を呈するピットである。遺構85・遺構87に切られる。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土

・出土遺物(図27)

44はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構89(図4)

円形を呈するピットである。遺構87・遺構88に切られる。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

45はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構90(図24)

楕円形を呈する土坑である。遺構91・遺構109を切る。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構91(図24)

遺構90に切られ規模・形状は不明となった。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構92(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構90に切られる。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒・泥岩塊を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構93(図24)

不正円形を呈するピットである。遺構底部に礎石が遺存していた。遺構89・遺構90・遺構92に切られる。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・青磁碗・常滑甕・常滑壷・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構94(図24)

円形を呈するピットである。遺構109を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

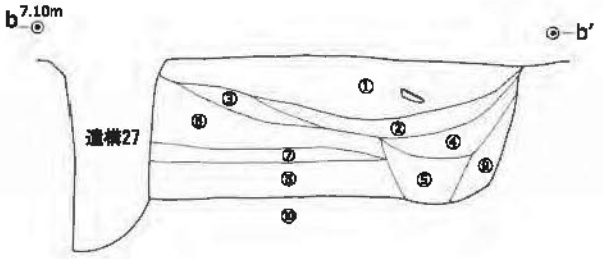
・遺構95(図24)

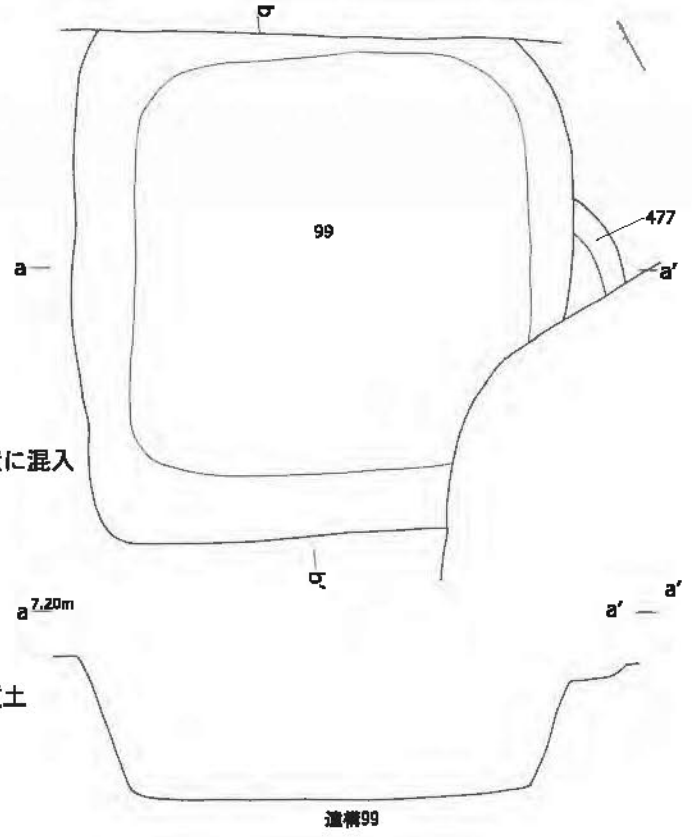
撹乱に切られ規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

46はかわらけ。47は常滑片口鉢Ⅱ類。その他に破片で手づくね・獣骨が出土している。

・遺構97(図24)

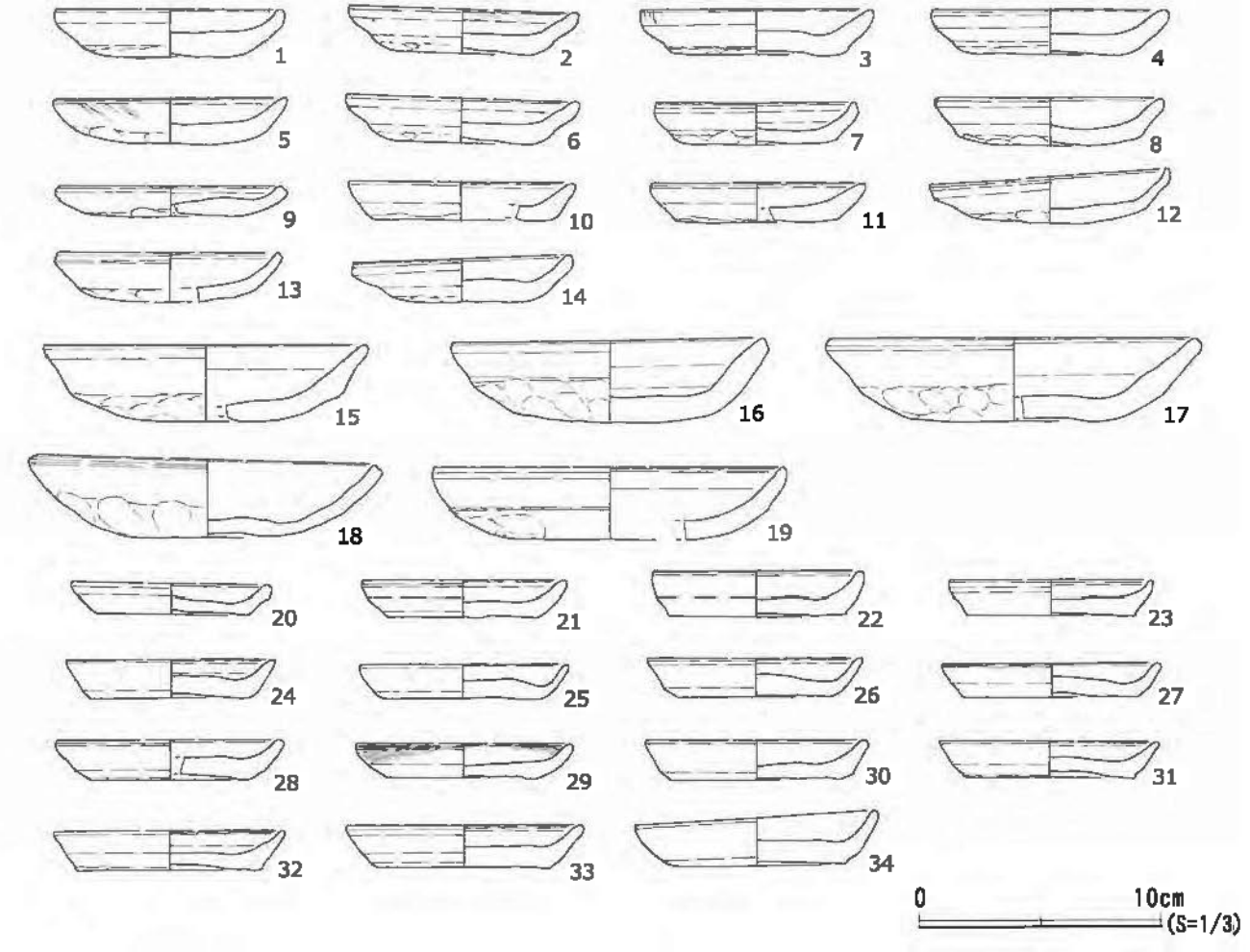




〈土層註記〉

①	暗褐色弱粘質土	炭化物多・泥岩粒多・泥岩
②	茶褐色弱粘質土	茶色粘土・泥岩粒・炭化物を筋状に混入
③	茶褐色弱粘質土	炭化物・泥岩粒多・泥岩
④	暗褐色弱粘質土	泥岩
⑤	暗褐色弱粘質土	泥岩粒多
⑥	茶褐色弱粘質土	炭化物・泥岩粒・褐鉄
⑦	茶褐色弱粘質土	褐鉄多
⑧	茶褐色弱粘質土	茶色有機質土多
⑨	暗褐色弱粘質土	炭化物・泥岩粒・褐鉄茶色有機質土
⑩	黄茶色砂質土	中世地山

0 2m (S=1/40)



0 10cm (S=1/3)

図29　第1ｂ面・遺構99・出土遺物(1)

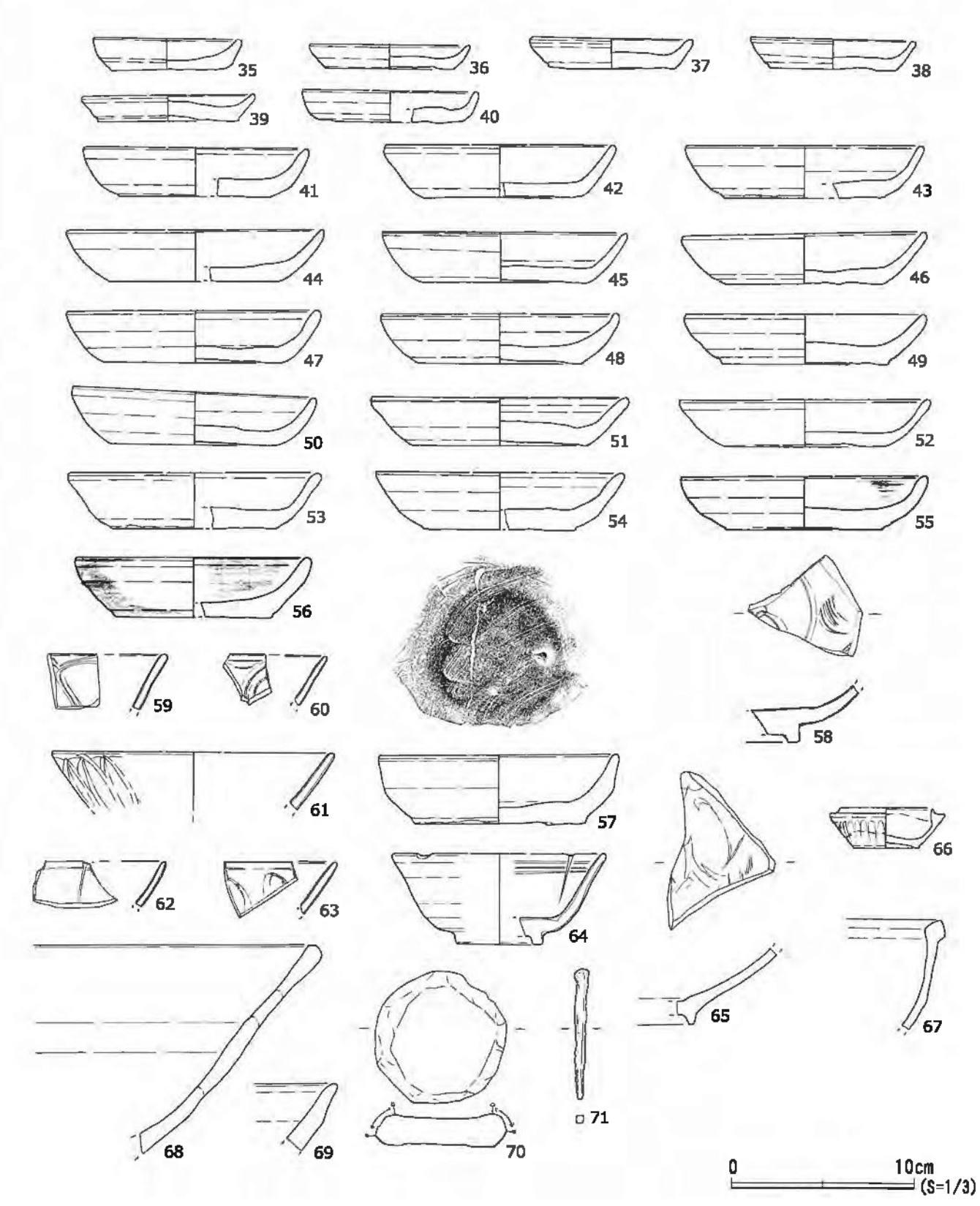


図30　第1ｂ面・遺構99・出土遺物(2)

撹乱に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色粘質土。

・出土遺物(図27)

48は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構99(図29)

竪穴建物である。第1面の遺構1に切られる。一辺約260㎝の方形を呈し、深さ73㎝を測った。遺構底面は平坦に整形される。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面上層には茶色有機質土が厚く堆積していた。

・出土遺物(図29～図30)

1～19は手づくね。20～57はかわらけ。58～64は青磁碗。65は白磁碗。66は青白磁合子。67は黄釉盤。68～69は常滑片口鉢Ⅰ類。70はかわらけ底部円盤状に加工。71は鉄釘。その他に破片で白磁皿・常滑甕・常滑壷・鉄滓・瓦器質香炉・チャート・獣骨・果核が出土している。

・遺構102(図24)

楕円形を呈する土坑である。遺構435・遺構442・遺構28に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

49～51は手づくね。52～55はかわらけ。56～58は青磁碗。その他に破片で緑釉盤・常滑甕・山茶碗・獣骨が出土している。

・遺構108(図23)

楕円形を呈する土坑である。遺構29・遺構47に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・青磁劃花文碗・南伊勢系土鍋・獣骨が出土している。

・遺構109(図24)

土坑である。遺構90・遺構92・遺構93・遺構94に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・白磁壷・常滑甕が出土している。

・遺構203(図24)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構204に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒。泥岩塊・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構204(図24)

不正円形を呈するピットである。遺構203を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺構底面に安山岩の礎石が遺存していた

・出土遺物(図27)

59はかわらけ。その他に破片で手づくねが出土している。

・遺構205(図24)

不正円形を呈する土坑である。遺構206に切られる。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

60～61はかわらけ。62は青磁鎬蓮弁文碗。63は白磁壷。その他に破片で手づくね・青白磁皿・常滑甕が出土している。

・遺構206(図4)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構475に切られ、遺構205を切る。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の泥岩塊・泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構覆土下層からは木材片が多く発見されている

・出土遺物(図27)

64は手づくね。その他に破片でかわらけ・青磁鎬蓮弁文碗・常滑甕が出土している。

・遺構207(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構203に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物をともに多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

65は青磁碗。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構208(図24)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は泥岩・褐色砂質土・茶色有機質土と泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

66はかわらけ。67は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に破片で手づくね・常滑甕が出土している。

・遺構209(図24)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

68は手づくね。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構213(図24)

不正円形を呈するピットである。遺構274を切る。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

69は山茶碗。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構214(図24)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

70～71はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構215(図24)

円形を呈するピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構覆土内に礎板が遺存していた。

・出土遺物(図27)

72はてづくね。その他に遺物は出土していない。

・遺構216(図31)

調査区を南北に走る溝である。調査区外に遺構が延びているため規模は不明となった。流下方向は北から南に流れる。溝断面形は逆台形を呈する。部分的ではあるが溝壁に沿った側板(横板)を検出した。溝壁側面に直接側板(横板)を建てかけ、内側から杭で側板を留める構造である。また、溝は同位置で2時期の造り替えがあったことが堆積土の観察から窺えるが、上層の遺構によって削平を受け新しい時期の溝は部分的にしか遺存していなかったため、報告では旧溝とその堀方に分けて報告している。遺構覆土は、上層の溝覆土は泥岩・泥岩粒・褐鉄を含む茶褐色粘質土。下層の溝覆土は炭化物・茶色有機質土・茶色粘土・砂礫を含む黒褐色弱粘質土。溝の東側は黄褐色粘質土上で、西側は茶褐色弱粘質土の地業層上で遺構を発見しており、溝(遺構216)を境に東と西では地業土が異なることから区画の溝であったと考えられる。また、ピットの掘り残しであった可能性もあるが、溝底面で礎板を検出し、礎板下には用途不明木製品(図32－38)と漆器椀(図32－36)が据えられており地鎮等、祭祀の可能性を考えている。

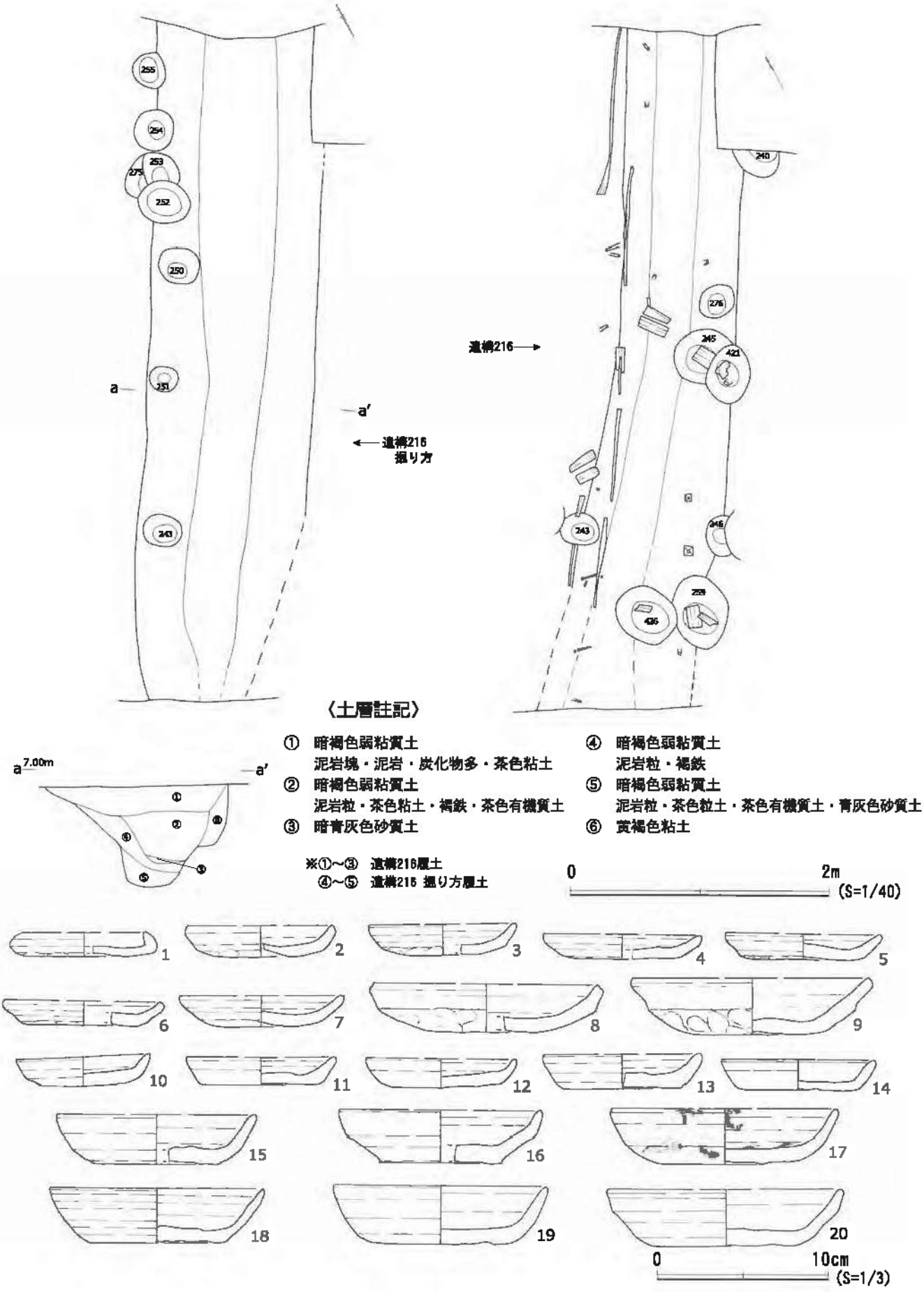


図31　第1ｂ面・遺構216・出土遺物(1)

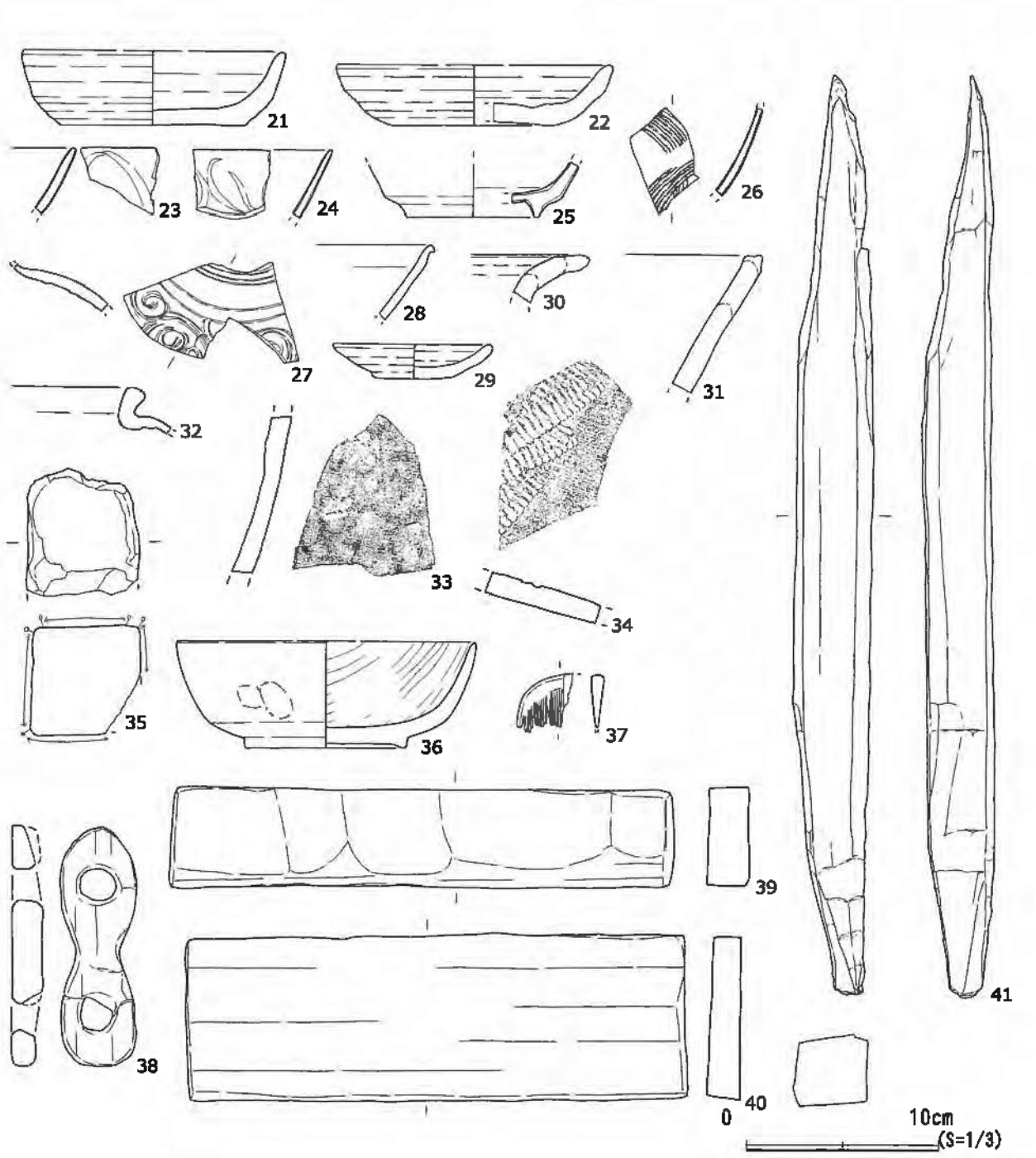


図32　第1ｂ面・遺構216・出土遺物(2)

・出土遺物(図31～図32)

1～9は手づくね。10～22はかわらけ。23～24は青磁碗。25は青磁坏。26は青白磁碗。27は青白磁梅瓶。28は白磁碗。29は山皿。30は渥美甕。31は常滑片口鉢Ⅱ類。32～34は常滑甕。35は砥石。36は漆器椀。37は木製品櫛。38は木製品用途不明。39～40は木製品礎板。41は溝側板を支えていた杭である。その他の杭・側板などは遺存状態が悪く採集できなかった。溝覆土内から出土したかわらけと手づくねの報告点数はわずかだが、破片数でかわらけ(大)272片・(小)76片・白かわらけ3片。手づくね(大)112片・(小)27片・内折れ2片と数多くの破片が出土している。その他にチャート・獣骨が出土した。

・遺構217(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。その

他に破片でかわらけ・手づくね・丸瓦が出土している。

・遺構219(図4)

円形を呈するピットである。１a面・遺構202に切られる。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・茶色粘土を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

73はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構220(図24)

不整形な土坑である。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構221(図24)

方形を呈するピットである。遺構229に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構225(図24)

不正円形を呈するピットである。遺構224・遺構244を切る。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

74はかわらけ。その他に破片で手づくね・青磁鎬蓮弁文碗が出土している。

・遺構228(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構421に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

・遺構229(図24)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。土坑である。遺構221を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

75～76は手づくね。77～82はかわらけ。83は青磁皿。84は青磁碗。85は渥美甕。86は常滑甕。87は産地不明鉢。88は産地不明甕。その他に破片で常滑片口鉢Ⅰ類・常滑片口鉢Ⅱ類・土師器器種不明が出土している。

・遺構233(図24)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

89は手づくね。その他に遺物は出土していない。

・遺構234(図24)

遺構209に切られ、遺構の大半は調査区外に延び規模・形状は不明となった。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構236(図25)

円形を呈する土坑である。遺構250・遺構286・遺構287・遺構288・遺構429を切る。遺構覆土は泥岩塊・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

90は山茶碗。その他に破片でかわらけ・手づくね・白磁皿・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構240(図25)

現代井戸に切られる。ピットである。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

91は瓦器碗、口縁部輪花型。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・遺構243(図31)

楕円形を呈するピットである。遺構216を切る。遺構覆土は茶色有機質土・褐鉄を含む暗茶褐色粘質土。遺構底面に礎板が遺存していた。遺物は出土していない。

・遺構245(図31)

円形を呈するピットである。遺構421に切られる。遺構覆土は茶色有機質土・炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に礎板が遺存していた。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構246(図25・31)

楕円形を呈するピットである。遺構244に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に礎板が残存していたが、遺存状況が悪く採集することはできなかった。

・出土遺物(図28)

92は手づくね。その他に破片でかわらけが出土している。

・遺構247(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構208に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構250(図25・31)

ピットである。遺構236に切られる。遺構覆土内で確認した細い柱状の木材は、遺構216(溝)に伴う。遺構覆土は泥岩粒・炭化物多量を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・獣骨が出土している。

・遺構251(図31)

円形を呈するピットである。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構252(図25・31)

円形を呈するピットである。遺構253・遺構275を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

93は須恵器坏。その他に破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構253(図25・31)

楕円形を呈するピットである。遺構252に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構254(図31)

円形を呈するピットである。遺構216を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺構251覆土に近似する。遺物は出土していない。

・遺構255(図31)

不正円形を呈するピットである。遺構216を切る。遺構覆土は茶色有機質土・炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構257(図4)

第1ａ面・遺構200に切られ規模・形状は不明となった。土坑である。個別遺構図は掲載していない。遺

構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

94～95はかわらけ。その他に破片で手づくねが出土している。

・遺構258(図25)

楕円形を呈するピットである。遺構267を切る。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底部に安山岩の礎石が遺存していた。

・遺構259(図31)

楕円形を呈するピットである。遺構216を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・出土遺物(図28)

96はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構264(図24)

遺構209・遺構234に切られ規模・形状は不明となった。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構265(図4)

第1a面の遺構200に切られ、規模形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は炭化物を多量に含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

97は手づくね。98は青磁皿。99は石製品砥石。その他に破片でかわらけ・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構267(図25)

不正円形を呈するピットである。遺構258に切られる。遺構覆土は泥岩塊・多量の泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺構底面に礎板が遺存していた。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構268(図25)

不正円形を呈するピットである。遺構431を切る。遺構覆土は泥岩・泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

100はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑片口鉢Ⅱ類・平瓦が出土している。

・遺構270(図24)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

・遺構272(図25)

不整形な土坑である。遺構覆土は泥岩塊・泥岩・泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

101～102はかわらけ。103～104は青磁碗。105～106は青磁鉢。107は常滑片口鉢Ⅱ類。108は常滑甕。その他に破片で手づくね・青白磁梅瓶・白磁壷・常滑片口鉢Ⅰ類・平瓦・獣骨が出土している。

・遺構273(図4)

現代井戸に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は泥岩粒多量・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

109～110は手づくね。111はかわらけ。その他に遺物は出土していない。

・遺構274(図24)

円形を呈するピットである。遺構213に切られる。遺構覆土は泥岩粒、炭化物をともに多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・金属製品鉄釘が出土している。

・遺構275(図25・31)

円形を呈するピットである。遺構252・遺構253に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構276(図31)

楕円形を呈するピットである。イコウ216に切られる。遺構覆土は褐鉄・褐色砂質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構278(図25)

不正円形を呈するピットである。遺構416を切る。遺構底面に安山岩の礎石が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

112はかわらけ。その他に破片で手づくねが出土している。

・遺構280(図25)

方形を呈するピットである。遺構272を切る。遺構覆土は炭化物・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

・遺構281(図25)

円形を呈する土坑である。遺構272に切られ、遺構282を切る。深さ120cmを測る。遺構覆土は炭化物・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。下層には茶色有機質土が薄く堆積するしていた。遺物は破片でかわらけ・手づくね・白磁壷が出土している。

・遺構284(図4)

円形を呈するピットである。遺構236・遺構272に切られる。個別遺構図は掲載していない。遺構覆土は多量の炭化物・茶色有機質土・褐色粘土を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

114～115は平瓦。その他に破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・遺構285(図24)

遺構204・遺構418に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構286(図25)

遺構236・遺構287に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

113は手づくね。その他に遺物は出土していない。

・遺構287(図25)

遺構236に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面に礎板が遺存していた。遺物は出土していない。

・遺構288(図25)

遺構236に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は炭化物を多量に含む暗茶褐色

弱粘質土。遺構内には泥岩塊・泥岩による柱材の根固めが遺存していた。遺物は出土していない。

・遺構291(図25)

方形を呈するピットである。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくね・常滑甕が出土している。

・遺構294(図25)

円形を呈するピットである。遺構292の底面で発見した。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構416(図25)

楕円形を呈するピットである。遺構278に切られる。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構418(図24)

円形を呈する土坑である。遺構203に切られる。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構421(図31)

長円形を呈するピットである。遺構底面に根固めとして使用したと思われる大、小の泥岩が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構426(図31)

長円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構429(図25)

遺構236に切られ規模・形状は不明となった。ピットである。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構431(図25)

円形を呈するピットである。遺構268に切られる。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構432(図2)

円形を呈するピットである。遺構75を切る。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構433(図23)

円形を呈するピットである。遺構432と分けて報告しているが、遺構432内の柱穴痕であったと考えている。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構435(図24)

遺構102に切られ規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構439(図24)

円形を呈するピットである。遺構109を切る。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構441(図23)

円形を呈するピットである。遺構42に切られる。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化

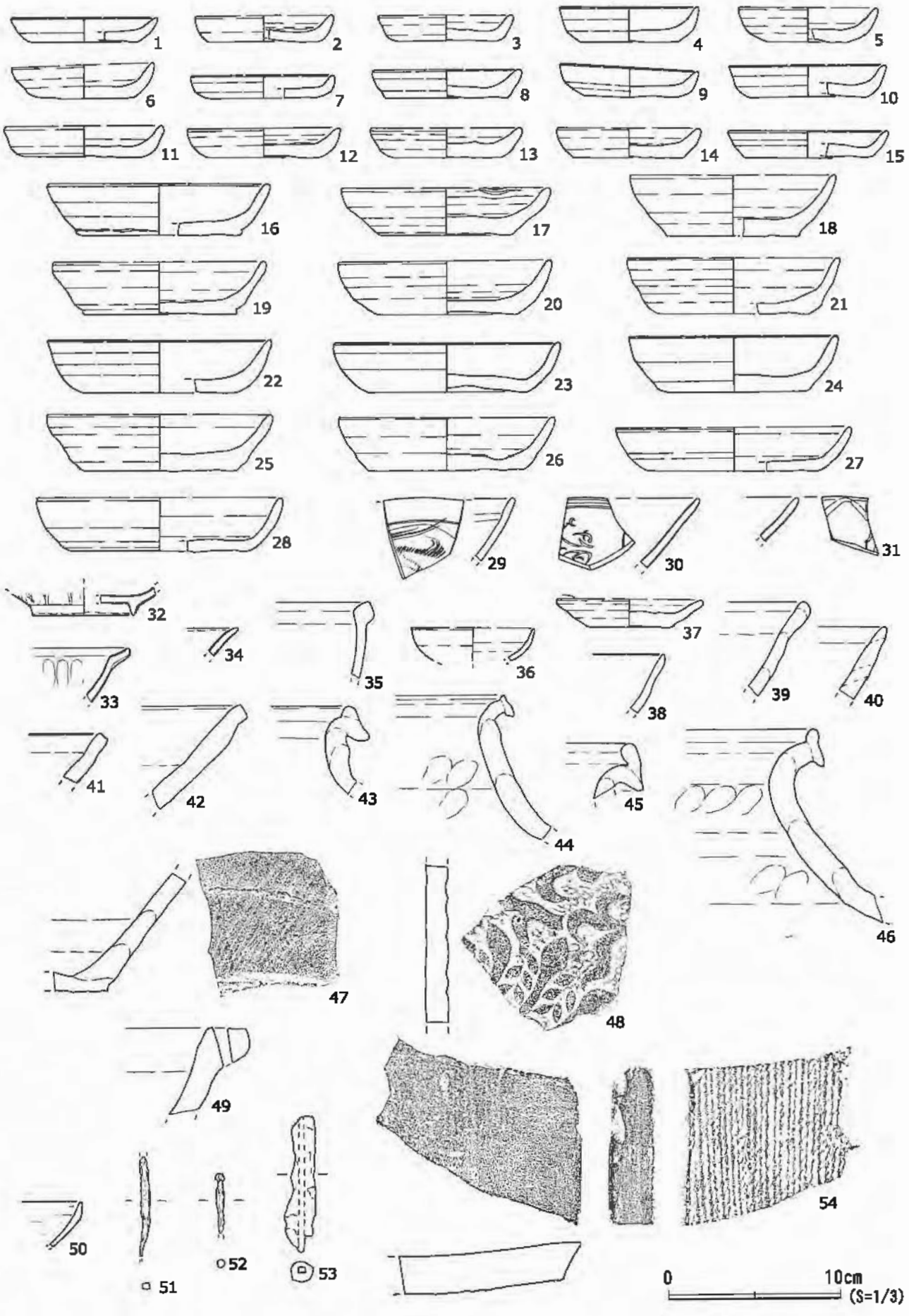


図33　第1面面上出土遺物(1)

物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構442(図24)

遺構102に切られ規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は褐鉄・茶色有機質土・多量の泥岩粒、炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・第1面面上出土遺物(図33～図34)

第1a面・第1ｂ面の面上精査時に出土した遺物である。調査時には二つの面を分けて採集していなかったため、一括して報告している。1～28はかわらけ。29～31は青磁碗。32～33は青磁坏。34は白磁口兀皿。35は黄釉盤。36は瀬戸入子。37は山皿。38は山茶碗。39は常滑片口鉢Ⅰ類。40～41は常滑片口鉢Ⅱ類。42は産地不明鉢。43～47は常滑甕。48～49は瓦器質火鉢。50は瓦器碗。51～53は鉄釘。54は平瓦。55は丸瓦。56はかわらけ底部円盤状加工品。

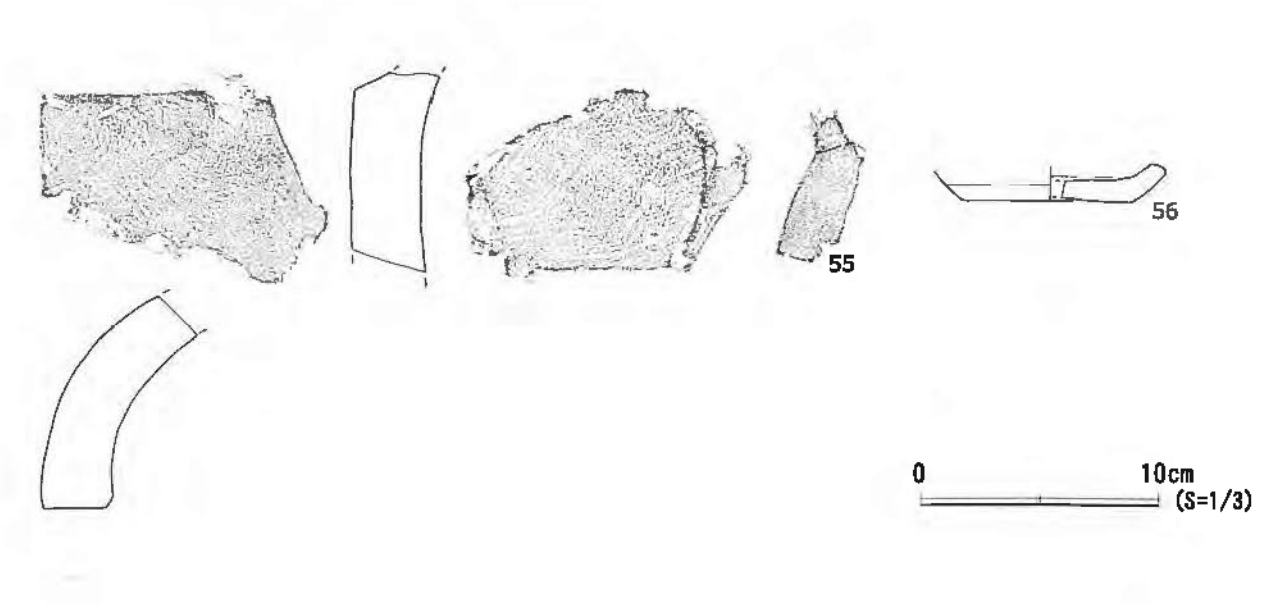


図34　第1面面上出土遺物(2)

・第1面構成土出土遺物(図35～図37)

第1b面検出後、第2面精査時までの堆積土から出土した遺物である。1～19は手づくね。20～77はかわらけ。78～80は青磁皿。81～89は青磁碗。90は青磁坏。91は白磁口兀碗。92は白磁口兀皿。93は白磁合子。94は青白磁皿。95～96は青白磁合子。97は青白磁香炉。98は青白磁梅瓶。99は瀬戸入子。100は瀬戸洗。101～102は山茶碗。103は山皿。104は渥美甕。105～106は常滑片口鉢Ⅰ類。107は常滑片口鉢Ⅱ類。108～119は常滑甕。120は瓦器碗。121は土師器甕。122は鉄釘。123は刀子。124は滑石鍋。125～126は砥石。127は碁石か。128～129は銭。

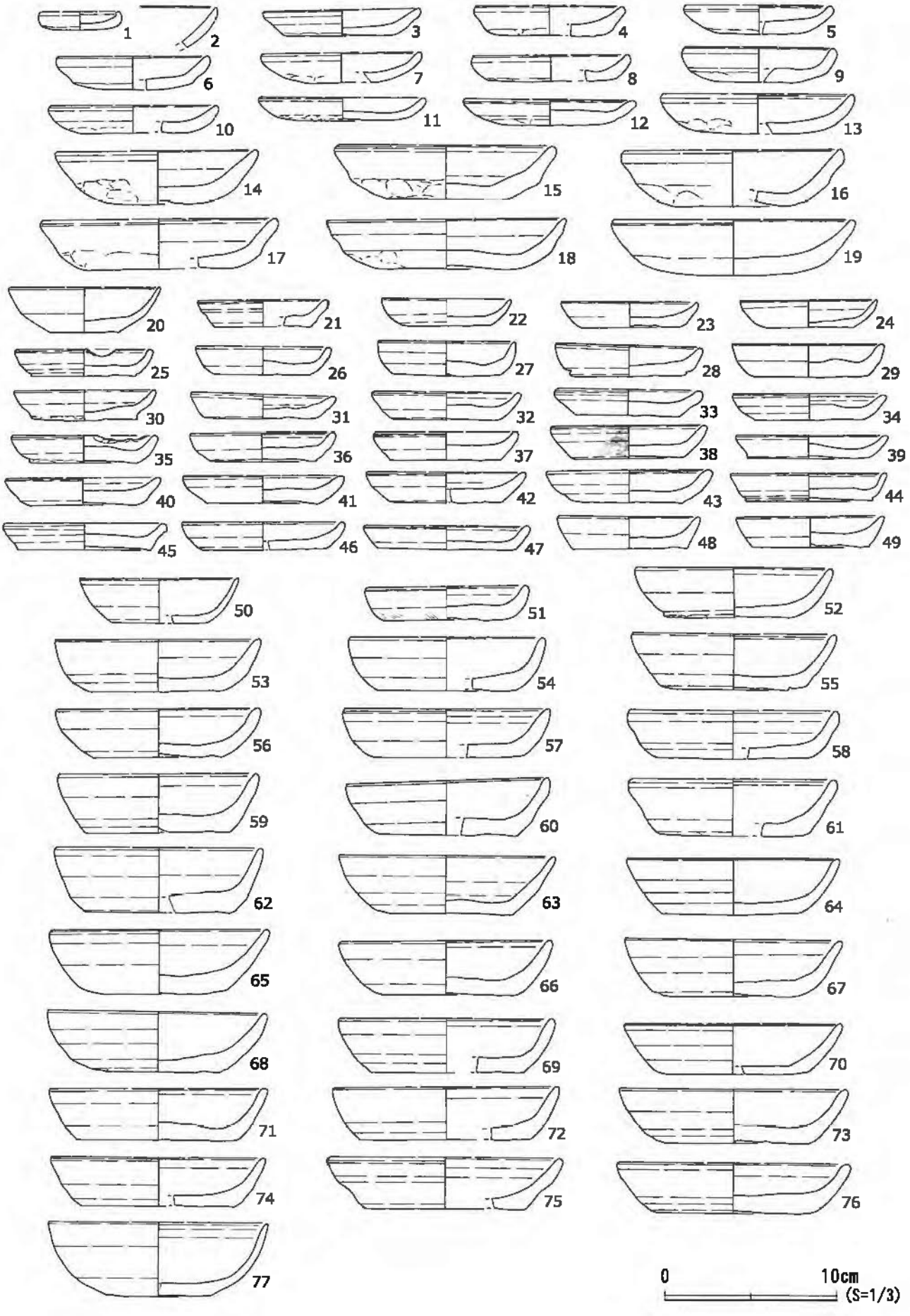


図35　第1面構成土出土遺物(1)

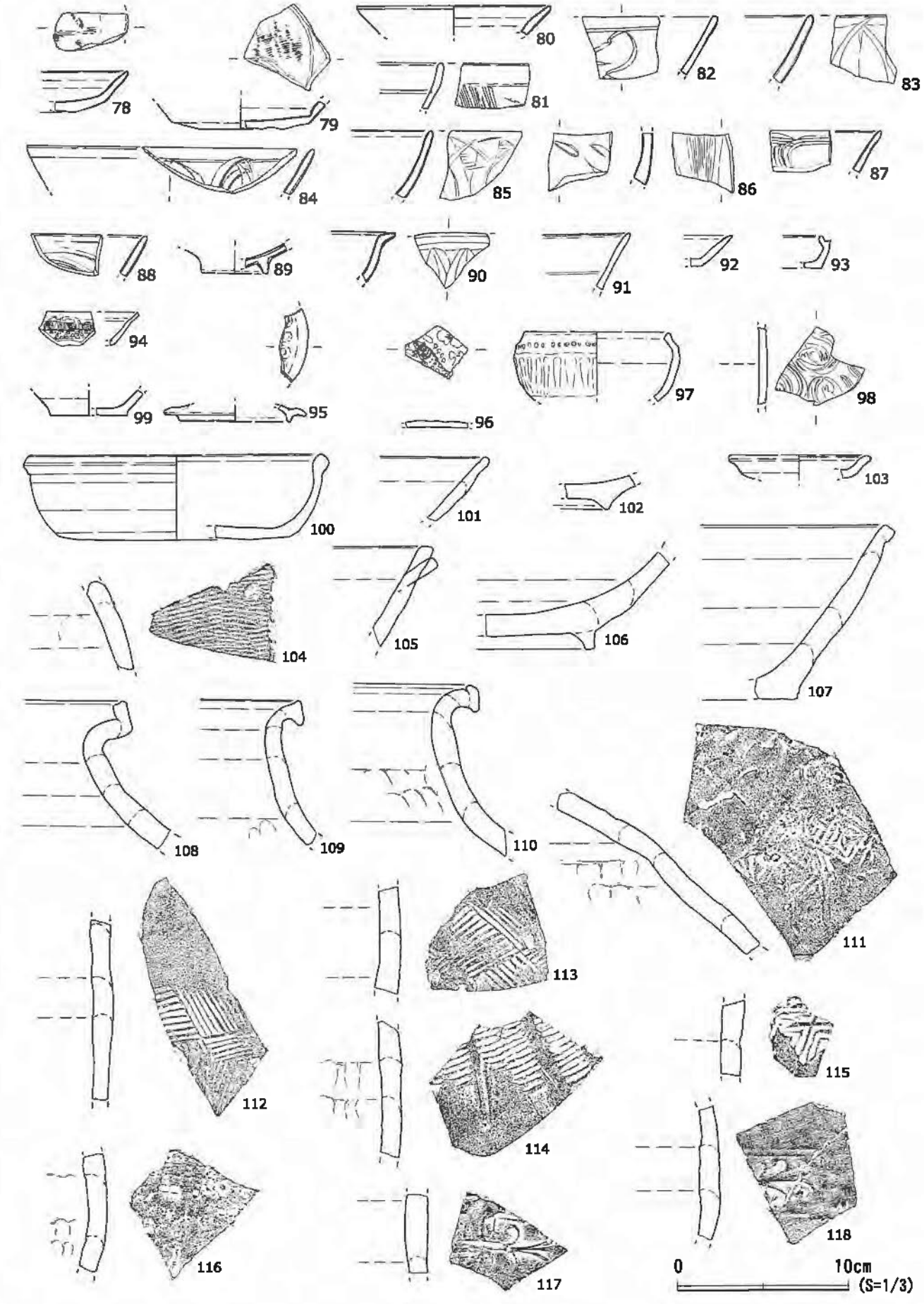


図36　第1面構成土出土遺物(2)

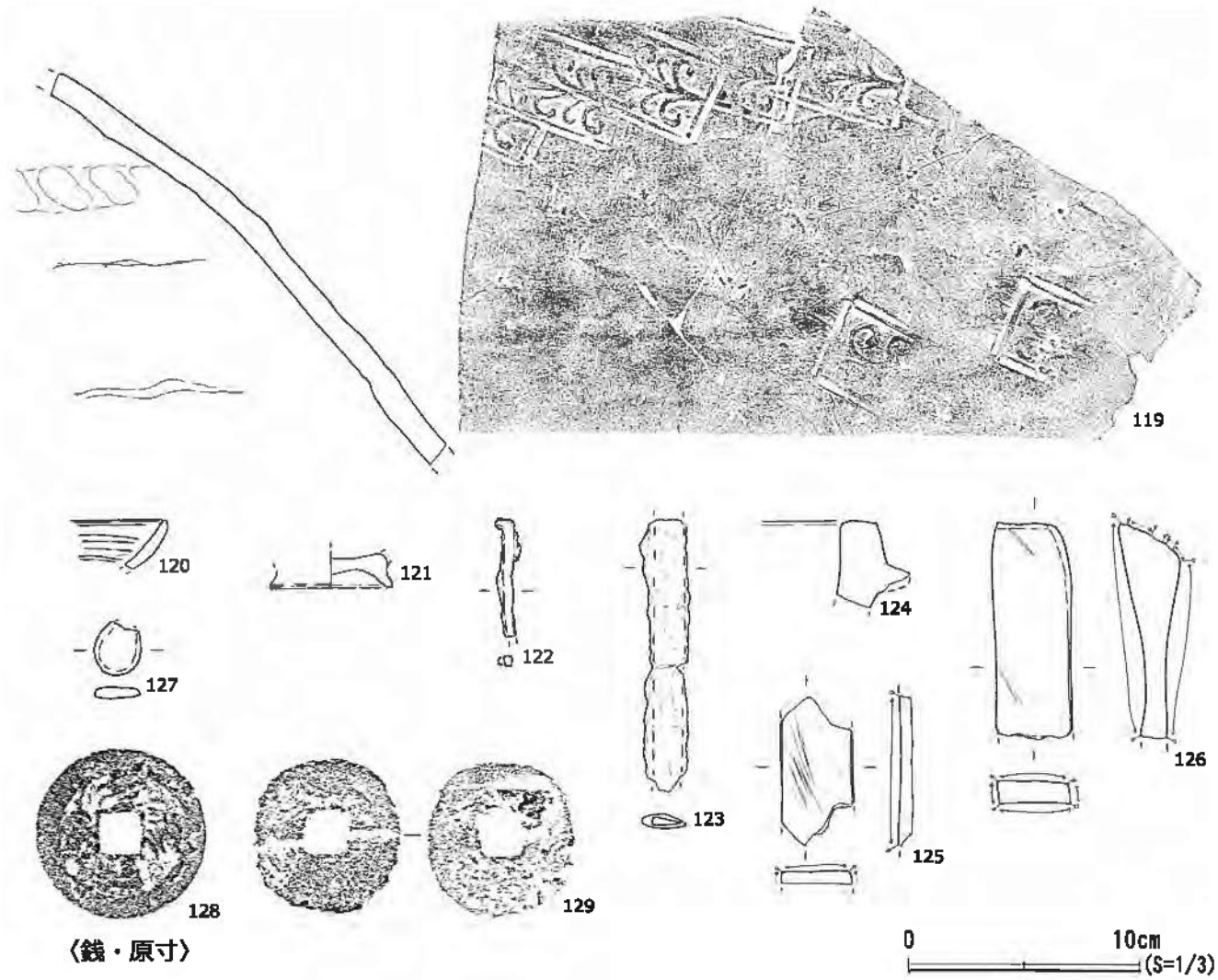


図37　第1面構成土出土遺物(3)

第3節　第2面の遺構と遺物（図5・図38～図42）

第2面は褐鉄を含む黄褐色粘質土の硬化した地業面上で検出した。発見した遺構は土坑18基・ピット203穴・建物址（柱穴列）3軒である。第2面では礎板の残るピットを多く発見している。遺構の切り合い・覆土の観察から2時期の遺構を検出している。発見した遺物はかわらけ・手づくね・渥美・不明鉄製品と遺物の種類が減少するが、出土量も大きく減少する。

・遺構110(図38)

調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。方形を呈する土坑である。遺構480に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構底面には茶色有機質土が厚く堆積していた。

・出土遺物(図42)

1～4はかわらけ。その他に破片で手づくね・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類が出土している。

・遺構119(図38)

円形を呈する素掘りの井戸である。調査区外に遺構が延び規模は不明となった。また、崩落の危険があったために遺構底面まで掘りきることはできなかった。遺構覆土は多量の炭化物・多量の茶色有機質土・泥

岩・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

5～9は手づくね。10はかわらけ。その他に破片で青磁碗・常滑甕・獣骨が出土している。

・遺構135(図38)

楕円形を呈するピットである。遺構482を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構136(図38)

円形を呈するピットである。遺構137に切られる。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構137(図38)

楕円形を呈する土坑である。第１b面の遺構99に切られ、遺構136を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

11はチャート片。12は碁石か。その他に破片でかわらけ・手づくね・青磁碗・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

・遺構149(図38)

楕円形を呈するピットである。遺構150に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構150(図38)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

13～16は手づくね。17～20はかわらけ。その他に獣骨・果核が出土している。

・遺構151(図38)

長円形を呈するピットである。遺構150に切られ、遺構462を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構155(図38)

長円形を呈する土坑である。遺構177・遺構182に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒、炭化物・褐鉄を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

21はかわらけ。22は青磁皿。その他に破片で常滑甕が出土している。

・遺構157(図38)

楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎石が遺存していた。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。

・遺構168(図38)

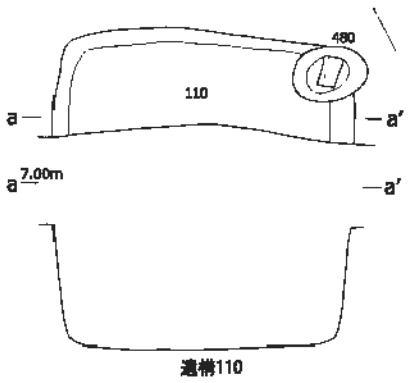
遺構155底面で検出した方形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

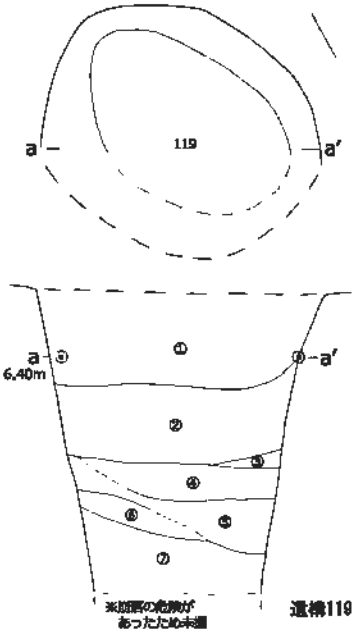
・出土遺物（図42)

23は常滑甕。その他に破片で鉄滓・滑石鍋が出土している。

・遺構177(図38)

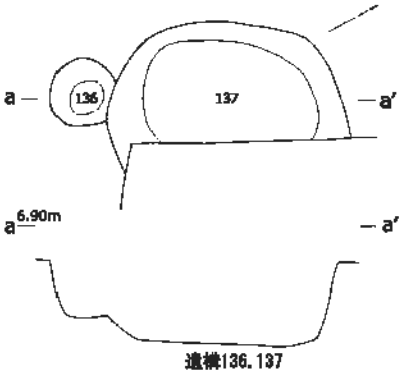
調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。ピットである。遺構155を切る。遺構底面に礎板が

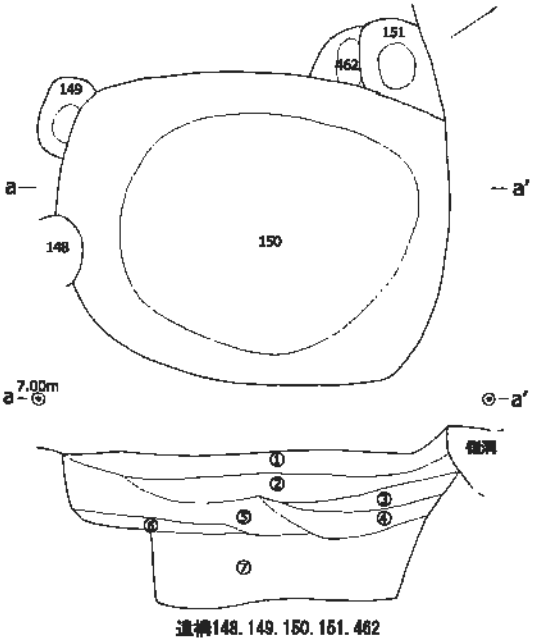


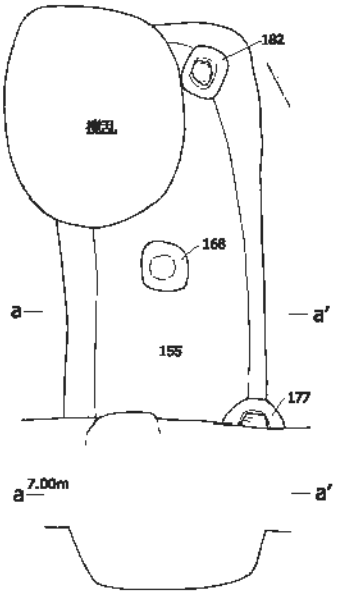


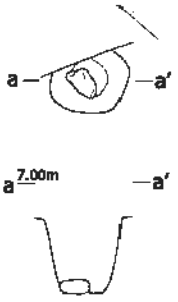
〈土層註記〉

① 暗茶褐色弱粘質土
炭化物多・泥岩粒多・泥岩塊
② 茶褐色有機質土
暗褐色弱粘質土・炭化物多
③ 暗褐色砂質土
茶色有機質土
④ 暗青灰色砂質土
炭化物・茶色有機質土
⑤ 茶褐色砂質土
茶色有機質土・暗青灰色砂質土
⑥ 暗青灰色砂質土
茶色有機質土
⑦ 青灰色弱粘質土
炭化物・茶色有機質土



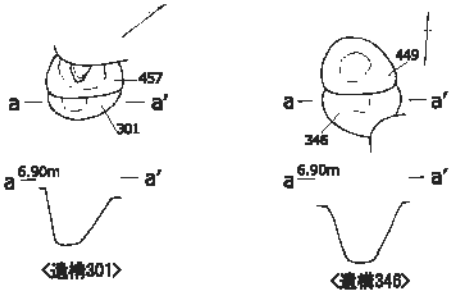






〈土層註記〉

①	暗褐色弱粘質土	泥岩・泥岩粒多・炭化物多
②	茶褐色粘質土	炭化物・黄褐色粘質土・青灰色砂質土
③	暗褐色弱粘質土	炭化物多・茶色有機質土
④	暗茶褐色弱粘質土	炭化物・茶色有機質土
⑤	暗茶褐色弱粘質土	炭化物多・泥岩粒・茶色有機質土
⑥	暗茶褐色弱粘質土	炭化物・茶色有機質土多
⑦	青灰色砂質土	褐鉄多・自然木



0 2m (S=1/40)

図38　第2面個別遺構図(1)

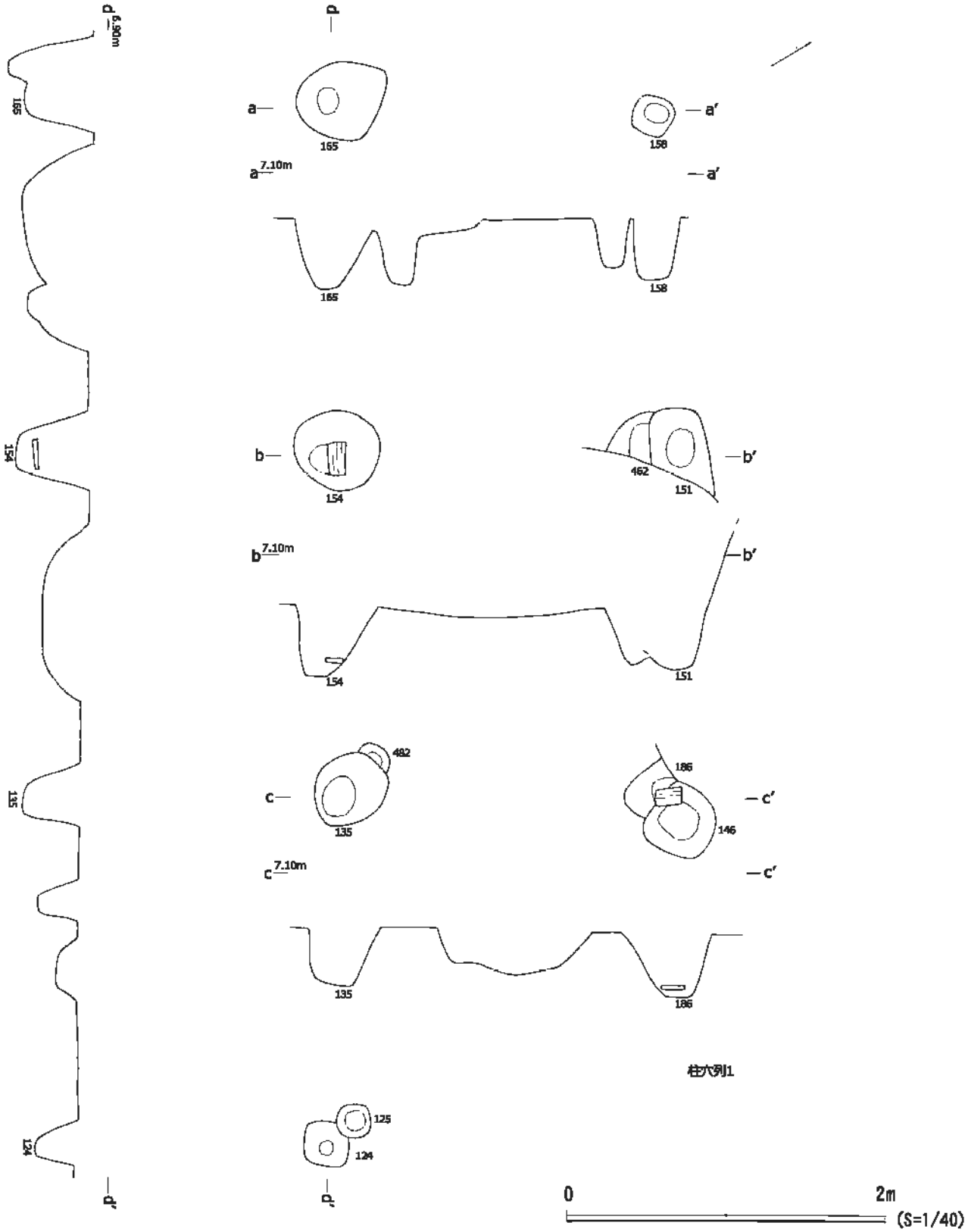


図39　第2面個別遺構図(2)柱穴列1

遺存していた。遺構覆土は褐鉄・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構182(図38)

方形を呈するピットである。遺構底面に礫石が遺存していた。遺構155を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構301(図38)

円形を呈するピットである。遺構457に切られる。遺構底面に礎板が遺存する。遺構覆土は炭化物・褐鉄・泥岩粒・褐色砂質土を含む暗褐色砂質土。

・出土遺物(図42)

25はかわらけ。26は渥美甕。その他に遺物は出土していない。

・遺構346(図38)

円形を呈するピットである。遺構449に切られる。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を共に多量に含む暗茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

27は手づくねである。その他に遺物は出土していない。

・遺構449(図38)

不正円形を呈するピットである遺構346を切る。遺構覆土は炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構457(図38)

不正円形を呈するピットである。遺構底面に礎石が遺存していた。遺構301を切る。遺構覆土は泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構462(図39)

遺構151に切られ形状・規模は不明となった。ピットである。遺構覆土は泥岩粒を含む暗褐色粘質土。遺物は出土していない。

・遺構468(図38)

方形を呈するピットである。遺構155を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・遺構482(図38・39)

円形を呈するピットである。遺構135に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒、炭化物・褐鉄を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・柱穴列１(図39)

〈遺構124・遺構125・遺構135・遺構146遺構151・遺構154・遺構158・遺構165・遺構186・遺構462〉

調査区東側(Ⅰ区)で発見した柱穴列は南北に1間、東西に3間の、調査区外、北方に展開する建物址である。柱穴の芯芯距離は南北210cm・東西220cmである。覆土内で礎板を発見した柱穴は遺構154・遺構186だけであるが、木材の痕跡が覆土内に残る柱穴を確認している。

遺構124は方形を呈する。遺構125に切られる。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構125は円形を呈するピットである。遺構覆土は褐鉄・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構135は楕円形を呈する。遺構482を切るが遺構482は柱の抜き取り痕と考えている。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構146は不正円形を呈するピットである。遺構186を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

遺構151は楕円形を呈する。遺構150に切られ、遺構462を切る。遺構覆土は炭化物・多量の泥岩粒を含

む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

遺構154は円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を多量に含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構158は方形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・茶色有機質土を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片で手づくねが出土している。

遺構165は不正円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

遺構186は円形を呈する。遺構146に切られる。遺存していなかったが遺構底面に礎板が据えられていた痕跡があった。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構462は円形を呈するピットである。遺構150に切られる。遺構覆土は炭化物・泥岩を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

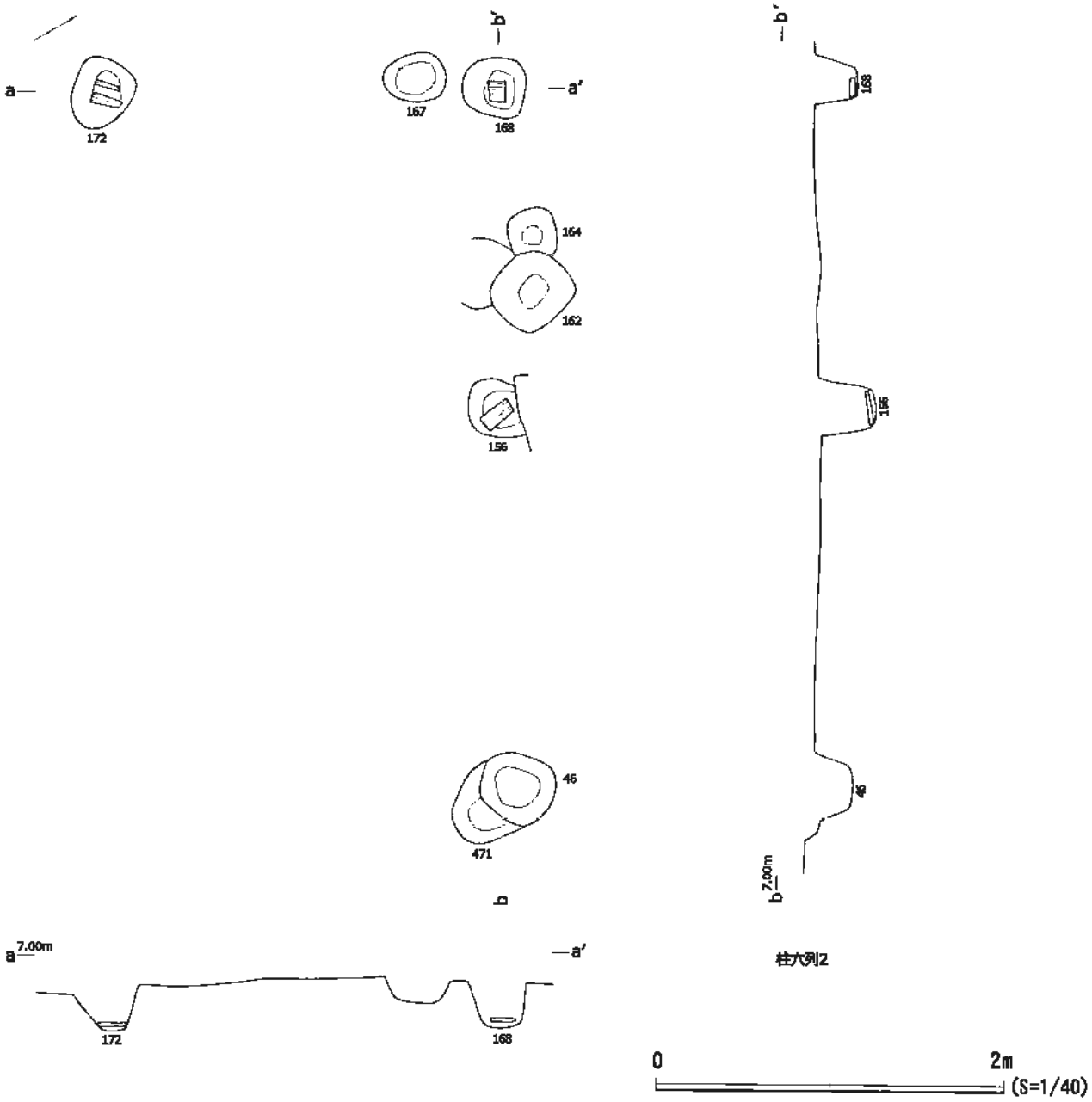


図40　第2面個別遺構図(3)柱穴列2

・柱穴列２(図40)

〈遺構46・遺構156・遺構162・遺構164遺構168・遺構172・遺構471〉

柱穴列1とともに調査区東側(Ⅰ区)で発見した柱穴列2は南北1間・東西2間であるが、柱穴列1同様に調査区外に展開する建物址と考えられる。柱穴の芯芯距離は遺構168と遺構172の南北間220cm。東西はやや変則であるが、遺構168と遺構156間は190cm、遺構156と遺構46間は220cmを測った。遺構46以外のピットには遺構底面に礎板が遺存していた。

遺構46は不正円形を呈する。遺構471を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

遺構156は楕円形を呈するピットである。試掘坑に切られる。遺構底面には礎板が遺存していた。遺構覆土は多量の炭化物・茶色有機質土・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構162は方形を呈するピットである。遺構163と遺構164を切る。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構164は方形を呈するピットである。遺構162に切られる。遺構覆土は褐鉄・泥岩粒・茶色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

遺構167は楕円形を呈するピットである。遺構覆土は褐鉄・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構168は不正円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は褐鉄・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構172は楕円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・泥岩粒・褐色砂質土を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構471は楕円形を呈するピットである。遺構46に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・柱穴列3(図41)

〈遺構139・遺構152・遺構157・遺構166・遺構169・遺構177・遺構191・遺構304・遺構309・遺構315・遺構343・遺構375・遺構452・遺構453・遺構480〉

Ⅰ区・Ⅱ区にまたがった南北2間、東西４間の建物址である。発見したピットのほとんどに礎板が遺存していた。柱穴の南北間芯芯距離は、遺構304と遺構343間-405cm、遺構375と遺構309間-205cm、遺構309と遺構452間-165cm、遺構157と遺構166間-205cm、遺構166と遺構169間-165cm、遺構191と遺構139間-200cm、遺構139と遺構480間195cm。東西間芯芯距離は、遺構304と遺構375間220cm、遺構375と遺構157間185cm、遺構157と遺構152間-245cm、遺構152と遺構191間-215cm、遺構309と遺構166間-190cm、遺構343と遺構452間-220cm、遺構452と遺構169間-210cm、遺構169と遺構177間-210cm、遺構177と遺構480間-210cmを測った。また、第1b面遺構258・264が遺構343と遺構304のほぼ中間点に位置し、柱間は約205～210cmであった。第1b面遺構として掲載したが、柱穴列3に伴う遺構であった可能性も考え報告している。

遺構139は不正円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

遺構152は調査区外に一部遺構が延びる。不正円形を呈する。遺構覆土は褐鉄・多量の炭化物・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構157は調査区外に遺構が延びる。不正円形を呈するピットである。遺構底面に泥岩の礎石が遺存し

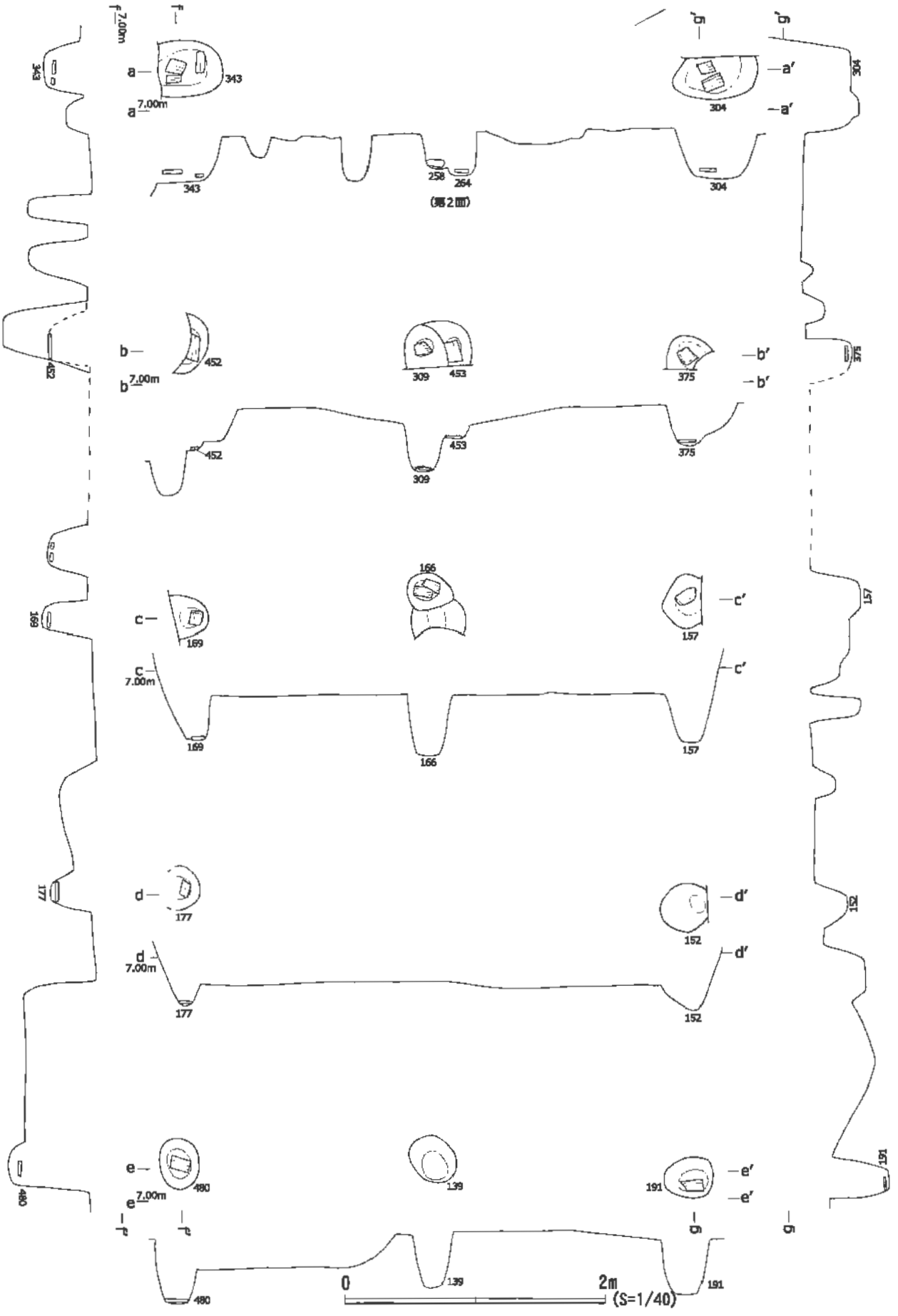


図41　第2面個別遺構図(4)柱穴列3

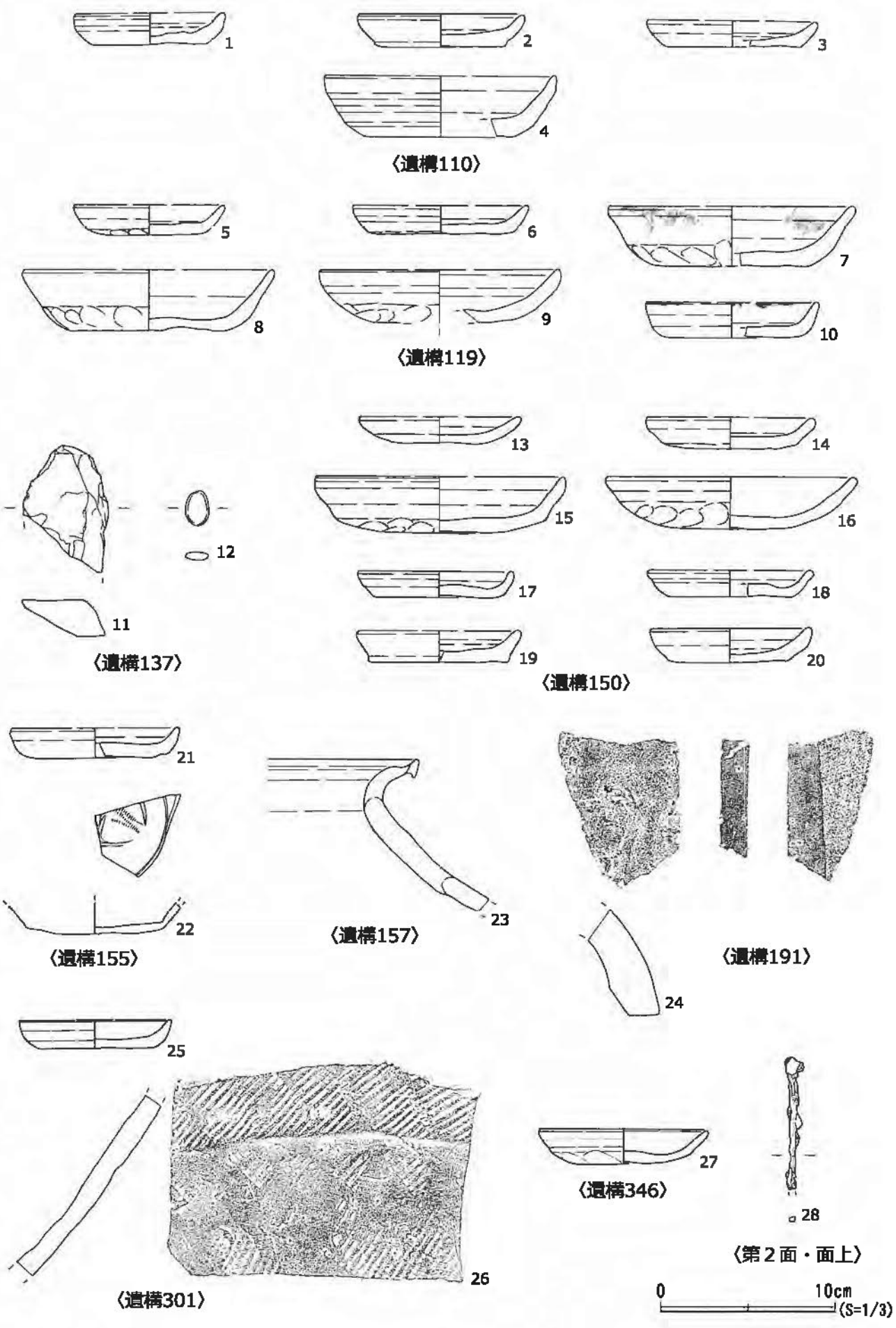


図42　第2面個別遺構・面上出土遺物

ていた。遺構覆土は多量の炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

23は常滑甕。その他に鉄滓・不明土器が破片で出土している。

遺構166は不正円形を呈する。遺構465を切る。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構169は調査区外に一部遺構が延びる。楕円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構177は調査区外に一部遺構が延びる。円形を呈する。遺構覆土は褐鉄・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構191は円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。

・出土遺物(図42)

24は丸瓦。その他に破片でかわらけが出土している。

遺構304は円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・褐鉄を含む暗褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

遺構309は調査区外に一部遺構が延びる。円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は炭化物・褐鉄を含む暗褐色弱粘質土。出土遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

遺構343は楕円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存し、覆土内には根固めに使用したと考える泥岩が検出されている。遺構覆土は多量の炭化物・泥岩・泥岩粒・茶色粘土・褐色砂質土を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構375は円形を呈する。遺構454に切られ、調査区外に遺構が延びる。遺構覆土は多量の炭化物。泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土。遺構底面に凝灰質砂岩の礎石が遺存していた。出土遺物はない。

遺構452は調査区外に遺構が延び規模・形状は不明。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構453は円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構309に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

遺構480は楕円形を呈する。調査区外に遺構が延びる。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・第2面面上出土遺物(図42)

第2面は出土遺物が少なく、面上からの遺物も報告した鉄釘のほかは手づくね片が1片だけであった。第2面以下の堆積はトレンチによって確認したが、第2面構成土からの出土遺物はなかった。

28は鉄釘である。

第4節　最終確認トレンチ（図５）

第2面の調査終了後、Ⅰ区・Ⅱ区ともに任意の位置にトレンチを設定し下層の堆積を確認した。堆積土層（図3）の章でも述べているが、Ⅰ区トレンチでは茶色有機質土を多く含む堆積層が北から南に向かって緩やかに下る堆積を観察し、海抜高5.00メートルまで土層を確認したが中世地山を検出していない。堆積層からの出土遺物は無いが有機質土と自然木を確認しており、遺構覆土であった可能性も考えている。

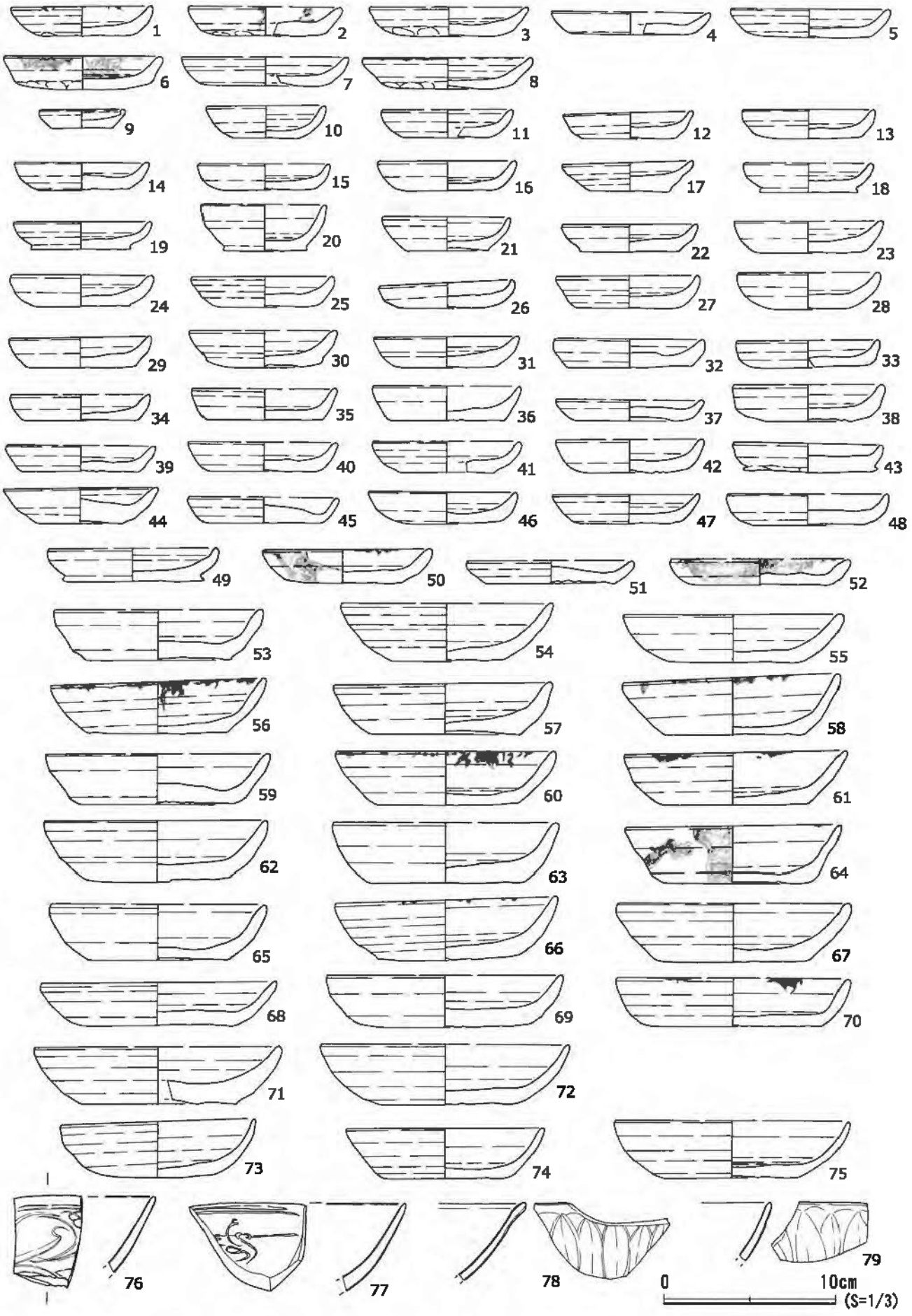


図43　表土～1面出土遺物(1)

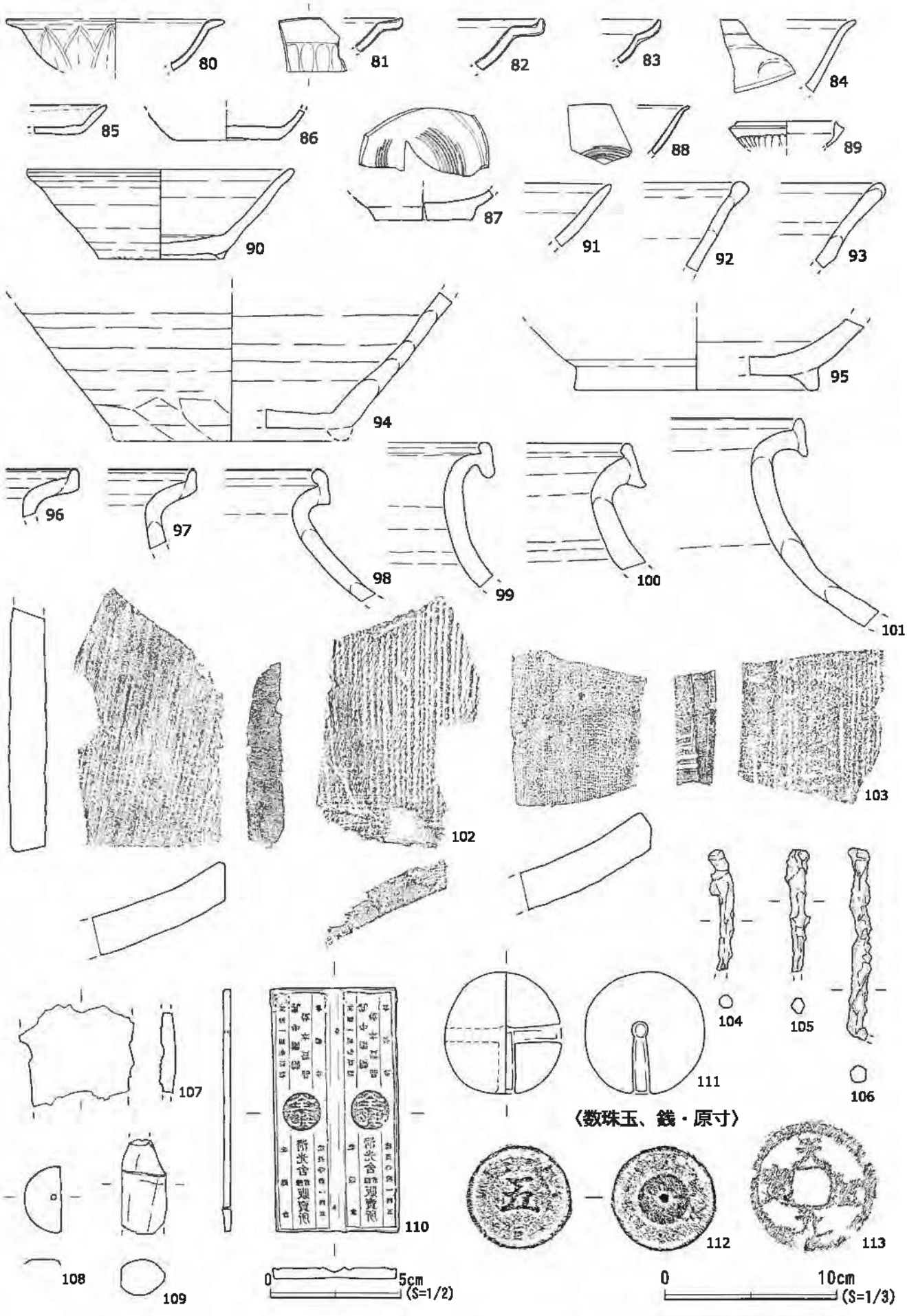


図44　表土～1面出土遺物(2)

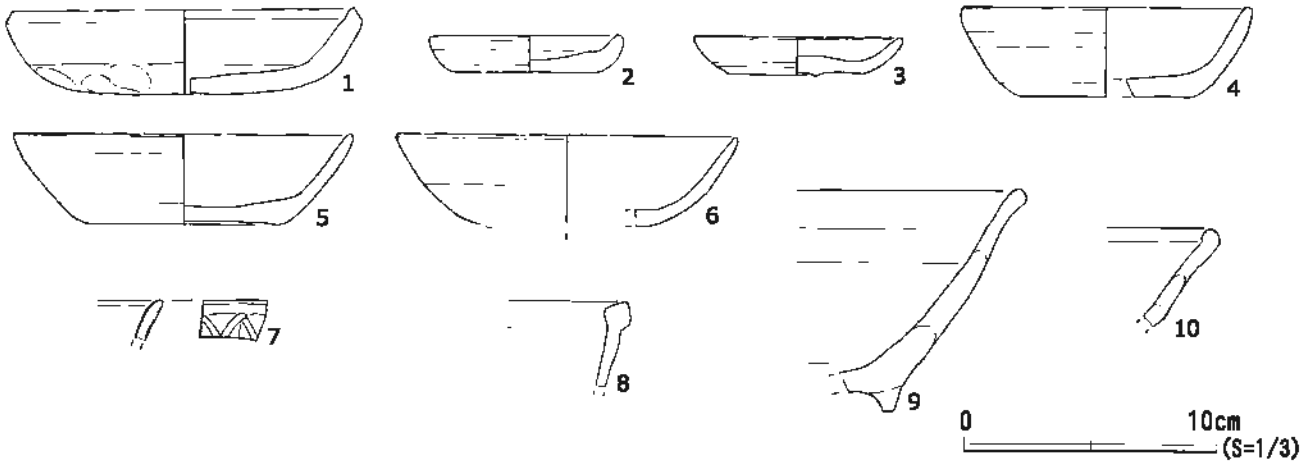


図45　廃土山出土遺物

Ⅱ区トレンチでは褐鉄と若干の炭化物を含む暗褐色粘質土が平坦に堆積しており、最下層はⅠ区トレンチで確認することのできなかった中世地山である青灰色粘土の堆積を海抜高6.40mで確認している。Ⅰ区・Ⅱ区ともに第2面検出層以下の堆積層からは遺物の出土がない。

第5節　表土～第1面・廃土山採集遺物(図43～45)

現地表から第1面検出までの堆積土から採集した遺物である。第1面上層に中世遺物包含層が堆積していたため、遺物の出土量は多い。

・表土～1面採集遺物(図43～図44)

1～8は手づくね。9～75はかわらけ。76～79は青磁碗。80～83は青磁坏。84は白磁碗。85～86は白磁口兀皿。87～88は青白磁碗。89は青白磁合子。90～91は山茶碗。92～95は常滑片口鉢Ⅰ類。96～101は常滑甕。

102～103は平瓦。104～106は鉄釘。107～108は金属製品用途不明。109は石製品用途不明。110は金属製品・印刷版。111は水晶製数珠玉。112～113は銭。

・廃土山採集遺物(図45)

廃土山採集遺物である。

1は手づくね。2～6はかわらけ。7は青磁碗。8は黄釉盤。9は常滑片口鉢Ⅰ類。10は常滑片口鉢Ⅱ類。

第三章　まとめ

「若宮大路周辺遺跡群（神奈川県遺跡台帳№242）」の範囲内に本調査地は位置し、遺跡範囲の中心を南北に走る若宮大路は、中世から現在に至るまで鎌倉の基幹道路・参詣道の役割を担っている。その若宮大路東側は若宮大路御所・宇津宮御所の幕府跡地があり、北条泰時・時頼邸跡等、鎌倉幕府の枢要な武家の居する地域であった。本調査地の位置する若宮大路西側、二の鳥居以北は遺跡範囲を外れる北条時房・顕時邸跡を含め、やや大型の屋敷地が大路に沿って居並んでいた事が、これまでの調査成果からわかってきている。

第1節　検出した遺構と遺物

本調査ではⅠ区（調査区東側）・Ⅱ区（調査区西側）に分けて調査を行い、第1面・第2面と2枚の生活面を発見したが、第1面は現代埋土・撹乱坑によって削平を受け、遺構・遺物ともに混乱していたため、本報告では第1面をａ・ｂの2面に分けて報告した。第1a面上層には部分的ではあるが中世遺物包含層が約20㎝の厚さで堆積していることを確認している。

＜第1ａ面＞

第1a面は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土上で検出した。発見した遺構は土坑10基・ピット6穴・竪穴建物2軒である。調査区全体が現代埋土と撹乱坑によって削平を受けており、地業上での遺構検出ではないが、Ⅱ区遺構197の東で泥岩粒・泥岩細片による地業の痕跡を一部発見している。第1a面の遺構検出時には不整形なプランを多く発見し半載して確認したが、その大半は撹乱、あるいは地業の際にできた堆積層の異なりであった。Ⅰ区東で発見した遺構1は遺構覆土から大量のかわらけを発見している。遺構の大半は調査区外に延びてしまい形状を確認することはできなかったが、竪穴建物あるいは大型のかわらけ廃棄土坑と考えている。Ⅱ区では、遺構1に比べて小型ではあるが、かわらけ廃棄土坑を数基発見している。発見したかわらけは薄手丸深と通称される、硬質・精緻・粉質な胎土、薄手でやや内湾して立ち上がる器壁を持つタイプのかわらけが多く出土しているが、やや時代の下る遺物も共伴しており、第1ａ面は13世紀後半から14世紀前半の年代を与えている。遺物はかわらけ・手づくね・舶載磁器（青磁・青白磁・白磁・褐釉）・国産陶器(常滑・瀬戸)・南伊勢系土鍋・瓦・金属製品釘・銅銭・砥石・滑石鍋・獣骨・果核・土師器が出土している。

＜第1ｂ面＞

第1b面は炭化物・泥岩粒・茶色粘土を含む暗褐色弱粘質土の地業層上で検出した。発見した遺構は土坑44基・ピット181穴・竪穴建物１軒・溝1条である。多くの遺構を検出しているが、遺構覆土・切り合いから、少なくとも3時期に分かれると考えている。また、礎板の残るピットを多く発見したが建物址を推定できたのは1軒となった。第1ｂ面の地業はⅡ区で発見した南北に走る溝(遺構216) を境に東と西で地業土が異なる。東側は固く締まった黄褐色粘質土、西側は暗褐色弱粘質土の地業層上で遺構を発見している。この溝を境に屋敷地の区画が変わるのではと考えているが、出土遺物・遺構等から溝の東西で居住者、あるいは場の性格の異なりを判断することはできなかった。発見した遺物は第1ａ面に比べて手づくねかわらけの出土が多くなり、第1a面で多く出土していた薄手丸深タイプのかわらけの出土が見られなくなる。第1ｂ面は13世紀第3四半期の年代を与えている。遺物はかわらけ・手づくね・舶載磁器（青磁・青白磁・

白磁)・国産陶磁器（常滑・渥美)・瓦・土師器・砥石・チャート・鉄製品釘・獣骨・果核が出土している。

＜第2面＞

第2面は褐鉄を含む黄褐色粘質土の硬化した地業面上で検出した。発見した遺構は土坑18基・ピット203穴・建物址（柱穴列）3軒である。第2面では礎板の残るピットを多く発見している。遺構の切り合い・覆土の観察から2時期の遺構を検出している。発見した遺物はかわらけ・手づくね・渥美・不明鉄製品と遺物の種類が減少するが、出土遺物量も大きく減少する。第2面の年代は出土遺物から比定することが難しく、第1面の年代観を参考に、13世紀第2四半期から第3四半期の年代を与えた。

第2節　まとめ

昭和52年12月に本遺跡地の東に接する若宮大路沿いのビル建設(小町二丁目281番)に伴う試掘調査を鎌倉市教育委員会が実施し、現地表から約1.0mは暗褐色土の堆積、その下層には中世地山層下の黄褐色砂層の堆積が確認され中世遺構の発見はなかったと報告している。本調査地では現地表下約1.0mは隣地と同様に現代埋土が堆積していたが、その下層からは約3枚（第1a面、第１b面、第2面）の中世生活面を発見し、現地表下約2.0mで中世地山を確認している。隣接する調査地であるがその様相は大きく異なる結果となった。検出した各生活面からは多くの遺構を発見した。第1ａ面では竪穴建物と共に数基のかわらけ廃棄土坑を確認し、調査地は屋敷地の裏手、あるいは庭にあたる場ではなかったのかと考えている。第1ｂ面・第2面では特に多くの遺構を検出し、検出した遺構からは礎板、あるいは礎石が遺存する柱穴を多く発見している。しかし、柱穴間の間尺は190cmから220cmと統一性に欠き、200cm以下の小ぶりな間尺を持つものが多くあった。また、柱穴列は雑な柱通りを呈し、規模の小さな掘立柱建物を何度か作り替えしていた様子も窺え、武家の屋敷地と云うよりも、庶民の居住域だったのではないだろうか。

Ⅱ区(調査地西側)第1ｂ面で発見した南北に延びる溝の東西で地業の様相が変わること、溝の軸線が若宮大路の軸線にほぼ合っているとことから、この溝が場を分ける区画の溝としての機能を持っていたと考えており、調査地の大半を占める溝東側は庶民域であっても、調査区外にあたる西側には屋敷地が広がっていた可能性もある。本調査では多くの遺物が出土しているが、その大半はかわらけであった。出土したかわらけは器形・法量等それぞれの生活面でまとまった年代観を示しており、13世紀第2四半期から14世紀前半にかけての良好な資料となった。

＜参考文献＞

・『日本歴史大系14巻』　「神奈川県の地名」　平凡社　1984年
・『鎌倉市史　総説編』　高柳光寿　吉川弘文館　1959年
・『鎌倉市史　考古編』　赤星直忠　吉川弘文館　1967年
・『鎌倉市史　社寺編』　高柳光寿・佐藤栄智・川副竹胤・貫達人　吉川弘文館　1972年
・『鎌倉事典』　東京堂出版　平成4年　白井永二
・『廃寺事典』　有隣堂　貫達人・川副竹胤　1980年
・『中世瀬戸窯の研究』　高志書院　藤澤良祐　2008年
・『愛知県史別編窯業３中世・近世常滑系』　愛知県　常滑・中野晴久　2012年
・『愛知県史別編窯業3中世・近世常滑系』　愛知県　渥美・安井俊則　2012年
・『大宰府条坊跡ＸＶ－陶磁器分類編―』　太宰府市教育委員会　2000年

・『考古論叢　神奈川第２集』「中世火鉢考」　神奈川県考古学会　河野眞知郎　1993年
・『永福寺跡―遺物・考察編―』「第4章　出土瓦について」　原廣志　鎌倉市教育委員会　2002年
・『仏教芸術164号』　「中世都市鎌倉の地割制試論」　大三輪龍彦　1986年1月

＜調査地点と周辺の遺跡（図1）の地点位置＞

No.1.　本調査地点	No.13.　小町二丁目54番3地点
No.2.　小町二丁目43番2地点	No.14.　小町二丁目4番4地点
No.3.　小町二丁目54番3地点	No.15.　小町二丁目283番6他2筆地点
No.4.　小町二丁目276番地点	No.16.　小町二丁目5番23地点
No.5.　小町二丁目279番2地点	No.17.　小町二丁目4番6地点
No.6.　小町二丁目280番2地点	No.18.　小町二丁目4番9地点
No.7.　小町二丁目281番1地点	No.19.　小町二丁目4番1地点
No.8.　小町二丁目281番2地点	No.20.　小町二丁目283番の一部
No.9.　小町二丁目281番地点	No.21.　小町二丁目1番14地点
No.10.　小町二丁目5番8地点	No.22.　小町二丁目394番地点
No.11.　小町二丁目276番地点	No.23.　小町二丁目1番15地点
No.12.　小町二丁目4番19地点	No.24.　小町二丁目1番6地点

＜最終確認トレンチ・土層注記＞(図５)

1	暗褐色弱粘質土	炭化物(多)・泥岩粒(多)・泥岩
2	黄茶褐色粘質土	褐色粘土・褐鉄・黄褐色砂
3	黄茶褐色粘質土	褐鉄(多)・褐色粘土
4	黄褐色砂質土	褐鉄
5	黄褐色粘質土	茶色有機質土
6	茶褐色砂質土	褐鉄・茶色有機質土
7	茶褐色砂質土	褐鉄
8	茶褐色粘質土	
9	茶褐色砂質土	暗褐色粘土が筋状に堆積
10	暗褐色粘質土	茶色有機質土・自然木
11	褐色砂質土	
12	暗青灰色砂質土	茶色有機質土が筋状に堆積
13	暗茶褐色砂質土	茶色有機質土が筋状に堆積
14	暗青灰色砂質土	茶色有機質土が筋状に堆積
15	暗青灰色砂	水磨した砂礫
16	暗青褐色粘質土	茶色有機質土・自然木

遺構計測表

遺構No.	面		長軸	短軸	深さ	遺構No.	面		長軸	短軸	深さ
1	1a	竪穴建物	(408)	(106)	113	69	欠番				
2	1b	土坑	(160)	123	25	70	1b	土坑	(106)	(58)	9
3		撹乱				71	1b	ピット	(46)	(42)	12
4		撹乱				72	1b	土坑	(52)	(35)	13
5		撹乱				73	1b	ピット	35	32	17
6	1a	土坑	(117)	(39)	48	74	1b	ピット	33	28	30
7		撹乱				75	1b	土坑	77	59	15
8	1a	ピット	26	24	5	76	1b	ピット	(31)	(29)	8
9	1a	ピット	50	35	12	77	1b	ピット	28	(21)	7
10	1a	ピット	44	41	9	78	1b	ピット	(24)	27	10
11	1a	ピット	40	58	13	79	1b	土坑	57	39	12
12	1a	土坑	(65)	64	40	80	1b	ピット	28	27	12
13		撹乱				81	1b	ピット	41	32	49
14	1a	ピット	40	36	14	82	1b	ピット	(50)	(18)	17
15	1a	ピット	45	(33)	67	83	1b	ピット	(45)	(12)	11
16	1b	ピット	38	28	8	84	1b	土坑	(73)	(38)	18
17	1b	ピット	32	25	18	85	1b	ピット	(37)	(32)	11
18	1b	ピット	32	28	7	86	1b	ピット	(39)	36	11
19	1b	ピット	32	28	9	87	1b	ピット	(37)	(28)	10
20	1b	ピット	36	25	12	88	1b	ピット	(48)	(38)	10
21	1b	ピット	29	25	6	89	1b	ピット	(33)	(32)	5
22	1b	ピット	44	30	16	90	1b	土坑	(95)	63	43
23	1b	ピット	19	15	5	91	1b	土坑	(67)	(15)	15
24	1b	ピット	(25)	28	12	92	1b	ピット	54	(18)	39
25	1b	土坑	(245)	(214)	20	93	1b	ピット	56	(37)	50
26	1b	ピット	38	26	6	94	1b	ピット	27	26	12
27	1a	土坑	(100)	70	66	95	1b	土坑	(58)	47	5
28	1b	ピット	58	38	12	96	1b	ピット	(40)	(33)	13
29	1b	ピット	48	(20)	18	97	1b	ピット	(16)	(13)	4
30	1b	ピット	55	45	10	98	1b	土坑	62	(23)	13
31	1b	ピット	(76)	(24)	23	99	1b	竪穴建物	262	(264)	73
32	1b	ピット	(30)	35	12	100	1b	土坑	47	(27)	61
33	1b	ピット	(36)	(18)	6	101	1b	土坑	(25)	(21)	37
34	1b	ピット	68	(48)	50	102	1b	土坑	200	(182)	47
35	1b	ピット	(35)	(21)	61	103	1b	ピット	15	(12)	46
36	1b	ピット	37	34	18	104	1b	ピット	23	(10)	21
37	1b	ピット	24	19	10	105	1b	ピット	36	(30)	11
38	1b	ピット	28	23	29	106	1b	ピット	33	24	22
39	1b	土坑	(52)	(28)	6	107	欠番				
40	1b	土坑	(202)	(54)	(30)	108	1b	土坑	67	(47)	53
41	1b	ピット	(48)	(22)	8	109	1b	土坑	(117)	(50)	21
42	1b	ピット	37	31	64	110	2	土坑	157	(53)	65
43	1b	ピット	43	27	11	111	1b	ピット	27	25	15
44	1b	ピット	35	(23)	9	112	2	ピット	(31)	(22)	16
45	1b	ピット	58	(37)	19	113	1b	ピット	37	35	14
46	2	ピット	43	37	27	114	2	ピット	40	(27)	27
47	1b	ピット	54	(34)	9	115	2	ピット	22	(18)	23
48	1b	土坑	(70)	43	12	116	2	ピット	22	16	10
49	1b	ピット	29	28	8	117	2	ピット	22	15	2
50	1b	ピット	(30)	33	54	118	2	ピット	28	27	1
51	1b	ピット	30	28	14	119	2	土坑	148	(135)	未堀
52	1b	ピット	49	42	8	120	2	ピット	32	(23)	18
53	1b	ピット	33	32	27	121	2	ピット	27	(14)	34
54	1b	ピット	28	(17)	22	122	2	ピット	(20)	(10)	4
55	1b	ピット	46	33	22	123	2	ピット	22	(14)	4
56	1b	ピット	(21)	(13)	8	124	2	ピット	29	28	28
57	1b	ピット	54	(28)	6	125	2	ピット	21	19	2
58	1b	ピット	32	(29)	19	126	2	ピット	14	14	1
59	1b	土坑	53	38	19	127	2	ピット	28	27	4
60	1b	土坑	66	46	11	128	2	ピット	33	31	3
61	1b	土坑	66	(38)	5	129	2	ピット	36	32	13
62	欠番					130	欠番				
63	1b	ピット	23	19	21	131	2	ピット	18	17	4
64	1b	土坑	46	(35)	48	132	2	ピット	20	(9)	3
65	1b	ピット	(27)	(10)	11	133	2	ピット	35	32	29
66	1b	ピット	34	33	12	134	2	ピット	26	25	24
67	1b	ピット	29	19	7	135	2	ピット	48	41	37
68	1b	土坑	(42)	59	14	136	2	ピット	36	(33)	31

単位:cm

遺構計測表

遺構No.	面		長軸	短軸	深さ	遺構No.	面		長軸	短軸	深さ
137	2	土坑	128	(65)	43	206	1b	土坑	80	(68)	19
138	2	ピット	38	(19)	24	207	1b	ピット	52	(40)	14
139	2	ピット	40	32	43	208	1b	土坑	136	(96)	31
140	2	ピット	32	(29)	9	209	1b	ピット	47	(32)	32
141	2	ピット	(42)	42	44	210	1b	ピット	34	33	21
142	2	ピット	(23)	22	7	211	1b	ピット	(142)	91	31
143	2	ピット	(53)	(38)	31	212	1b	土坑	57	42	14
144	欠番					213	1b	ピット	66	56	15
145	2	ピット	(21)	(10)	12	214	1b	ピット	42	35	55
146	2	ピット	43	42	23	215	1b	ピット	38	38	68
147	2	土坑	65	(44)	10	216	1b	溝	94～102	500	90
148	2	ピット	37	(17)	15	217	1b	ピット	(39)	27	37
149	2	ピット	42	(18)	35	218	1b	ピット	34	29	9
150	2	土坑	205	164	43	219	1b	ピット	34	(35)	10
151	2	ピット	(45)	(38)	32	220	1b	土坑	90	73	14
152	2	ピット	37	(33)	20	221	1b	ピット	40	(21)	11
153	2	ピット	22	22	16	222	欠番				
154	2	ピット	55	50	45	223	1b	ピット	48	40	29
155	2	土坑	(209)	108	27	224	1b	ピット	33	(11)	15
156	2	ピット	33	(30)	30	225	1b	ピット	56	49	30
157	2	ピット	42	(28)	41	226	1b	ピット	(40)	27	11
158	2	ピット	25	24	39	227	1b	土坑	(105)	(60)	5
159	2	ピット	23	21	5	228	1b	ピット	29	(24)	25
160	2	ピット	17	13	4	229	1b	土坑	(104)	(54)	19
161	2	ピット	25	18	6	230	1b	ピット	21	20	10
162	2	ピット	47	43	28	231	1b	ピット	35	(28)	34
163	2	ピット	40	27	43	232	1b	ピット	35	32	23
164	2	ピット	(26)	26	37	233	1b	ピット	42	(17)	69
165	2	土坑	52	51	50	234	1b	ピット	(20)	(13)	27
166	2	ピット	35	(28)	45	235	1b	ピット	(18)	(17)	23
167	2	ピット	36	28	13	236	1b	土坑	78	63	9
168	2	ピット	36	34	26	237	1b	ピット	32	30	36
169	2	ピット	(35)	(29)	37	238	1b	ピット	38	(28)	44
170	2	土坑	58	(26)	36	239	1b	ピット	(44)	(36)	43
171	2	土坑	80	44	60	240	1b	ピット	35	(21)	22
172	2	ピット	41	34	33	241	1b	ピット	38	(18)	20
173	2	ピット	30	22	11	242	1b	ピット	26	25	16
174	2	ピット	26	25	32	243	1b	ピット	31	25	30
175	2	ピット	26	25	33	244	1b	ピット	43	(21)	32
176	2	ピット	26	25	27	245	1b	ピット	45	(32)	51
177	2	ピット	33	(14)	34	246	1b	ピット	32	(15)	26
178	2	ピット	32	31	78	247	1b	ピット	35	(34)	25
179	2	ピット	(15)	(8)	3	248	1b	ピット	(24)	(20)	22
180	2	ピット	30	(28)	39	249	欠番				
181	2	ピット	(26)	26	45	250	1b	ピット	(30)	(15)	50
182	2	ピット	25	22	20	251	1b	ピット	23	18	22
183	2	ピット	27	23	31	252	1b	ピット	38	36	22
184	2	ピット	30	26	7	253	1b	ピット	35	(27)	49
185	2	ピット	19	18	39	254	1b	ピット	32	29	9
186	2	ピット	(35)	(16)	37	255	1b	ピット	35	29	41
187	欠番					256	1b	ピット	(55)	50	22
188	2	ピット	(13)	13	9	257	1b	ピット	(125)	(41)	31
189	1b	土坑	(184)	(85)	42	258	1b	ピット	47	39	43
190	2	ピット	26	23	14	259	1b	ピット	57	43	64
191	2	ピット	(39)	(32)	44	260	1b	ピット	(32)	(14)	73
192	2	ピット	(25)	(12)	24	261	1b	ピット	42	(25)	33
193	2	ピット	(26)	(10)	25	262	1b	ピット	38	(30)	22
194	2	ピット	42	(17)	34	263	1b	ピット	(47)	38	16
195	1a	土坑	(94)	(90)	24	264	1b	ピット	(47)	(13)	17
196	1a	土坑	122	(83)	29	265	1b	ピット	(52)	(25)	24
197	1a	竪穴建物	(328)	298	26	266	1b	ピット	(35)	(25)	33
198	1a	土坑	(133)	(78)	46	267	1b	ピット	36	(23)	46
199	1a	土坑	(44)	(65)	52	268	1b	ピット	45	34	49
200	1a	土坑	167	121	55	269	1b	ピット	29	25	21
201	1a	土坑	60	(49)	21	270	1b	ピット	62	36	32
202	1a	土坑	(272)	(101)	41	271	1b	ピット	(35)	34	9
203	1b	ピット	54	50	83	272	1b	土坑	167	103	21
204	1b	ピット	46	35	21	273	1b	ピット	(64)	(37)	53
205	1b	土坑	(93)	84	13	274	1b	ピット	56	(40)	13

単位:cm

遺構計測表

遺構No.	面		長軸	短軸	深さ	遺構No.	面		長軸	短軸	深さ
275	1b	ピット	(33)	(17)	5	344	2	ピット	20	19	16
276	1b	ピット	28	26	60	345	2	ピット	41	(26)	40
277	1b	ピット	28	24	17	346	2	ピット	42	(18)	40
278	1b	ピット	47	32	88	347	2	ピット	(28)	33	9
279	1b	ピット	(45)	(17)	20	348	2	ピット	25	22	22
280	1b	ピット	33	32	63	349	2	ピット	(33)	(13)	15
281	1b	土坑	111	(81)	120	350	2	ピット	(29)	24	15
282	1b	土坑	111	(73)	17	351	2	ピット	38	(27)	58
283	1b	ピット	(32)	30	22	352	2	ピット	33	(18)	58
284	1b	ピット	(41)	35	43	353	2	ピット	(27)	30	6
285	1b	ピット	(42)	(16)	16	354	2	ピット	27	(24)	14
286	1b	ピット	(30)	(13)	22	355	2	ピット	27	27	19
287	1b	ピット	(32)	(10)	22	356	2	ピット	20	18	20
288	1b	ピット	23	7	22	357	2	ピット	(28)	27	6
289	1b	ピット	28	28	48	358	2	ピット	35	(19)	6
290	1b	ピット	23	22	10	359	2	ピット	(22)	23	4
291	1b	ピット	20	14	40	360	2	ピット	48	42	65
292	1b	ピット	(23)	(14)	14	361	2	ピット	29	(29)	9
293	1b	ピット	(32)	(8)	19	362	2	土坑	(56)	(20)	34
294	1b	ピット	29	27	41	363	2	ピット	(24)	29	12
295	1b	ピット	30	(18)	13	364	2	土坑	(55)	(39)	36
296	1b	ピット	(46)	(15)	45	365	2	ピット	(20)	18	13
297	1b	土坑	(40)	(30)	23	366	2	ピット	48	38	30
298	1b	ピット	28	(22)	31	367	2	ピット	(47)	(28)	47
299	2	ピット	27	(17)	5	368	2	ピット	30	24	21
300	2	ピット	50	47	30	369	2	ピット	25	20	26
301	2	ピット	(38)	(10)	35	370	2	ピット	17	16	32
302	2	ピット	31	27	21	371	2	ピット	23	22	12
303	2	ピット	(35)	(18)	14	372	2	ピット	42	35	38
304	2	ピット	65	(33)	37	373	2	ピット	17	16	8
305	2	ピット	38	(20)	53	374	2	土坑	(44)	51	21
306	2	ピット	42	(28)	9	375	2	ピット	33	(25)	41
307	2	土坑	66	(37)	17	376	2	ピット	31	27	10
308	2	ピット	35	(32)	19	377	2	ピット	26	22	29
309	2	ピット	(33)	33	38	378	2	ピット	30	21	26
310	2	ピット	41	39	15	379	2	ピット	31	(31)	47
311	2	ピット	26	20	12	380	2	ピット	34	33	29
312	2	土坑	(65)	54	37	381	2	ピット	27	24	23
313	2	ピット	35	33	17	382	2	ピット	31	(26)	18
314	2	ピット	(28)	28	13	383	2	ピット	29	(17)	36
315	2	ピット	18	15	4	384	2	ピット	38	25	25
316	2	ピット	45	23	42	385	2	ピット	30	(21)	17
317	2	ピット	25	24	6	386	2	ピット	(23)	28	8
318	2	ピット	36	33	45	387	2	ピット	(54)	19	22
319	2	ピット	33	28	17	388	2	ピット	32	30	34
320	2	ピット	22	21	7	389	2	ピット	26	(17)	41
321	2	ピット	26	24	47	390	欠番				
322	2	ピット	(27)	(15)	14	391	2	土坑	57	(37)	9
323	2	ピット	(28)	26	24	392	2	ピット	21	15	8
324	2	ピット	39	(26)	26	393	2	ピット	26	22	18
325	欠番					394	2	ピット	32	(17)	24
326	2	ピット	33	31	17	395	2	ピット	(23)	(22)	7
327	欠番					396	2	ピット	36	28	7
328	2	土坑	49	(25)	6	397	2	ピット	35	25	3
329	2	ピット	32	30	56	398	2	ピット	(35)	28	11
330	2	ピット	37	25	27	399	2	ピット	40	27	11
331	1b	ピット	31	(26)	38	400	2	ピット	25	20	18
332	2	ピット	18	15	4	401	2	ピット	30	29	19
333	2	ピット	20	19	8	402	2	ピット	(50)	(19)	8
334	2	ピット	34	32	6	403	2	ピット	25	(11)	27
335	2	ピット	13	12	4	404	2	ピット	29	25	22
336	2	ピット	30	28	32	405	2	ピット	(28)	32	11
337	2	土坑	(36)	(32)	10	406	2	ピット	15	14	22
338	2	ピット	30	(21)	24	407	2	ピット	28	24	20
339	2	ピット	27	26	21	408	2	ピット	25	24	5
340	2	ピット	31	26	8	409	2	ピット	28	27	16
341	2	ピット	(38)	(7)	26	410	2	ピット	38	31	5
342	2	ピット	35	32	32	411	2	ピット	25	18	22
343	2	ピット	(50)	43	60	412	2	ピット	(28)	20	8

単位:cm

遺構計測表

遺構No.	面		長軸	短軸	深さ	遺構No.	面		長軸	短軸	深さ
413	1a	土坑	(80)	(67)	133	448	2	ピット	14	13	19
414	1b	ピット	30	(21)	10	449	2	ピット	38	28	40
415	1b	ピット	34	(19)	8	450	2	ピット	17	12	52
416	1b	ピット	31	(25)	48	451	2	ピット	35	24	64
417	1b	土坑	(120)	67	9	452	2	ピット	(43)	(15)	30
418	1b	土坑	(57)	(41)	11	453	2	ピット	(36)	(17)	24
419	1b	ピット	31	28	86	454	2	ピット	(43)	(18)	37
420	1b	ピット	33	25	11	455	2	ピット	(18)	(10)	76
421	1b	ピット	41	32	52	456	2	ピット	(22)	(18)	15
422	1b	ピット	25	21	29	457	2	ピット	(24)	(14)	36
423	1b	ピット	15	15	65	458	2	ピット	27	18	10
424	1b	ピット	39	(7)	15	459	2	ピット	32	(8)	23
425	1b	ピット	(29)	(11)	4	460	2	ピット	14	(12)	18
426	1b	ピット	48	41	28	461	2	ピット	26	17	46
427	1b	ピット	(17)	(14)	5	462	2	ピット	(25)	(25)	32
428	1b	ピット	35	25	74	463	2	ピット	(28)	(20)	30
429	1b	ピット	(25)	(12)	22	464	2	ピット	(18)	(12)	31
430	1b	ピット	(30)	(28)	20	465	2	ピット	43	(18)	26
431	1b	ピット	37	(26)	57	466	2	ピット	47	(19)	54
432	1b	ピット	35	33	31	467	2	ピット	26	18	23
433	1b	ピット	26	20	36	468	2	ピット	25	24	10
434	1b	土坑	(65)	(26)	21	469	欠番				
435	1b	土坑	(76)	(36)	16	470	2	ピット	27	18	18
436	1b	ピット	12	12	9	471	2	ピット	36	(24)	22
437	1b	ピット	13	12	8	472	1b	ピット	28	24	18
438	1b	ピット	9	8	7	473	1b	ピット	22	(18)	42
439	1b	ピット	15	15	39	474	1b	ピット	31	(14)	47
440	1b	ピット	28	16	41	475	1b	土坑	(68)	53	45
441	1b	ピット	(40)	(35)	11	476	1b	ピット	(18)	(17)	16
442	1b	土坑	(68)	(13)	13	477	1b	土坑	(54)	(27)	11
443	1b	ピット	18	15	34	478	2	ピット	54	52	11
444	2	ピット	22	21	7	479	2	ピット	19	15	21
445	2	ピット	23	21	8	480	2	ピット	40	30	60
446	2	ピット	19	(15)	40	481	2	ピット	24	(12)	7
447	2	ピット	46	(24)	4	482	2	ピット	21	(10)	9

単位:cm

表1 出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
7	1	1a面	遺構1 6層	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	(19.2)	[5.7]	a:輪積み b:黒褐色 白色粒・黒色粒・砂粒・小石粒 c:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6a型式
7	2	1a面	遺構1 11層	かわらけ	7.6	5.5	1.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形
7	3	1a面	遺構1 11層	かわらけ	(8.0)	(5.6)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/4 g:内底面薄く黒色に変色
7	4	1a面	遺構1 12層	かわらけ	(8.3)	(5.7)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/3
7	5	1a面	遺構1 12層	かわらけ	(12.1)	8.0	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3
7	6	1a面	遺構1 13層	かわらけ	12.2	8.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
7	7	1a面	遺構1 13層	かわらけ	12.4	8.0	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形 g:口唇部1箇所打ち欠き痕か
7	8	1a面	遺構1 11層・12層−58	かわらけ	4.0	3.5	0.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:赤橙色 e:やや甘い f:完形
7	9	1a面	遺構1 11層・12層	かわらけ	7.8	5.8	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:ほぼ完形
7	10	1a面	遺構1 11層・12層−40	かわらけ	7.3	5.4	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形 g:歪み大
7	11	1a面	遺構1 11層・12層−9	かわらけ	7.6	5.0	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:完形
7	12	1a面	遺構1 11層・12層−10	かわらけ	(8.2)	5.6	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:3/4 g:歪み大
7	13	1a面	遺構1 11層・12層−11	かわらけ	(7.9)	(5.8)	1.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:1/2
7	14	1a面	遺構1 11層・12層−15	かわらけ	7.7	5.3	1.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
7	15	1a面	遺構1 11層・12層−39	かわらけ	7.8	5.6	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5
7	16	1a面	遺構1 11層・12層−41	かわらけ	7.9	5.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5
7	17	1a面	遺構1 11層・12層−13	かわらけ	7.8	5.8	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:完形 g:歪み大
7	18	1a面	遺構1 11層・12層−2	かわらけ	7.85	5.5	1.95	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:ほぼ完形
7	19	1a面	遺構1 11層・12層−30	かわらけ	8.2	6.0	1.75	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:ほぼ完形
7	20	1a面	遺構1 11層・12層−32	かわらけ	8.15	6.05	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:ほぼ完形
7	21	1a面	遺構1 11層・12層−8	かわらけ	7.9	5.4	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:完形
7	22	1a面	遺構1 11層・12層	かわらけ	8.0	6.1	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:橙色 e:やや甘い f:4/5
7	23	1a面	遺構1 11層・12層−42	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
7	24	1a面	遺構1 11層・12層−4	かわらけ	7.8	5.6	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:4/5
7	25	1a面	遺構1 11層・12層−12	かわらけ	7.8	6.1	2.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:3/5 g:歪み大
7	26	1a面	遺構1 11層・12層−53	かわらけ	10.1	6.6	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土 c:橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深系
7	27	1a面	遺構1 11層・12−44層	かわらけ	11.3	6.0	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3 g:薄手丸深
7	28	1a面	遺構1 11層・12層−3	かわらけ	10.3	5.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深
7	29	1a面	遺構1 11層・12層−27	かわらけ	10.9	6.5	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深・糸切り痕の方向が一定でないため拓本を採集している
7	30	1a面	遺構1 11層・12層−50	かわらけ	11.0	6.3	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
7	31	1a面	遺構1 11層・12層−56	かわらけ	10.8	5.8	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深・内面に櫛状工具の痕跡がある。意図的に青磁の櫛掻文をまねたか
7	32	1a面	遺構1 11層・12層−54	かわらけ	(11.8)	(7.6)	2.8.	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:3/5
7	33	1a面	遺構1 11層・12層−25	かわらけ	12.25	7.9	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:完形
7	34	1a面	遺構1 11層・12層−7	かわらけ	12.5	8.0	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形
7	35	1a面	遺構1 11層・12層−20	かわらけ	(12.0)	(8.6)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2
7	36	1a面	遺構1 11層・12層−48	かわらけ	12.5	7.6	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:完形
7	37	1a面	遺構1 11層・12層−19	かわらけ	(12.2)	(7.8)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2 g:口唇部油煤痕

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
7	38	1a面	遺構1 11層・12層 −16	かわらけ	12.0	7.7	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:完形　g:口唇部油煤痕
7	39	1a面	遺構1 11層・12層 −14	かわらけ	(11.8)	(8.0)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5
7	40	1a面	遺構1 11層・12層 −29	かわらけ	12.6	9.3	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
7	41	1a面	遺構1 11層・12層 −38	かわらけ	12.0	8.0	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ　b:微砂・雲母・白色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
7	42	1a面	遺構1 11層・12層 −24	かわらけ	(12.4)	(9.6)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
7	43	1a面	遺構1 11層・12層 −6	かわらけ	12.3	8.0	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形
7	44	1a面	遺構1 11層・12層 −36	かわらけ	(12.1)	(7.0)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:赤橙色　e:良好　f:2/3
7	45	1a面	遺構1 11層・12層 −26	かわらけ	12.2	7.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:完形
7	46	1a面	遺構1 11層・12層 −34	かわらけ	12.1	8.4	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
8	47	1a面	遺構1 11層・12層 −1	かわらけ	(12.4)	(8.2)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/2
8	48	1a面	遺構1 11層・12層 −51	かわらけ	(11.6)	(8.2)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
8	49	1a面	遺構1 11層・12層 −37	かわらけ	12.9	7.4	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・良土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5　g:薄手丸深
8	50	1a面	遺構1 11層・12層 −22	かわらけ	(12.4)	(8.8)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
8	51	1a面	遺構1 11層・12層 −5	かわらけ	13.0	7.5	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形
8	52	1a面	遺構1 11層・12層 −45	かわらけ	13.3	8.0	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・良土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5　g:薄手丸深
8	53	1a面	遺構1 11層・12層 −47	かわらけ	(13.2)	(7.2)	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2　g:薄手丸深
8	54	1a面	遺構1 11層・12層 −28	かわらけ	13.1	7.4	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
8	55	1a面	遺構1 12層	かわらけ	8.0	6.0	1.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:完形
8	56	1a面	遺構1 12層	かわらけ	(8.0)	(5.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/3
8	57	1a面	遺構1 12層	かわらけ	7.7	4.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:完形
8	58	1a面	遺構1 12層	かわらけ	7.8	6.0	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2
8	59	1a面	遺構1 12層	かわらけ	(7.8)	4.6	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
8	60	1a面	遺構1 12層	かわらけ	12.3	7.1	3.75	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:3/5　g:口唇部1か所油煤痕
8	61	1a面	遺構1 12層	かわらけ	(12.0)	7.7	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
8	62	1a面	遺構1 12層	かわらけ	12.7	8.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
8	63	1a面	遺構1 12層	かわらけ	12.1	8.6	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
8	64	1a面	遺構1 13層	かわらけ	8.0	5.5	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
8	65	1a面	遺構1 13層	かわらけ	12.9	8.0	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:完形
8	66	1a面	遺構1 16層	かわらけ	7.4	5.9	1.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:赤橙色　e:良好　f:完形　g:歪み大
8	67	1a面	遺構1 16層	かわらけ	7.4	5.3	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
8	68	1a面	遺構1 16層	かわらけ	7.9	6.2	1.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:完形
8	69	1a面	遺構1 16層	かわらけ	7.6	5.7	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・白色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:4/5
8	70	1a面	遺構1 16層	かわらけ	(11.0)	5.7	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・良土　c:灰黄色　e:良好　f:4/6　g:薄手丸深
8	71	1a面	遺構1 16層	かわらけ	10.7	5.7	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5　g:薄手丸深
8	72	1a面	遺構1 16層	かわらけ	10.6	5.7	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・良土　c:灰黄色　e:良好　f:完形　g:薄手丸深
8	73	1a面	遺構1 16層	かわらけ	11.0	5.4	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・良土　c:灰黄色　e:良好　f:4/5　g:薄手丸深
8	74	1a面	遺構1 16層	かわらけ	12.1	8.6	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
8	75	1a面	遺構1 16層	かわらけ	12.1	8.0	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:良好　f:完形
8	76	1a面	遺構1 16層	かわらけ	12.0	7.2	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
8	77	1a面	遺構1 16層	かわらけ	12.1	7.8	3.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:完形
8	78	1a面	遺構1 16層	かわらけ	12.5	7.8	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:内面黒色に変色
8	79	1a面	遺構1 16層	かわらけ	12.1	8.7	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:完形　g:内面黒色に変色・外面薄く黒色に変色
8	80	1a面	遺構1 16層	かわらけ	(11.8)	(7.6)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/3

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
8	81	1a面	遺構1 16層	かわらけ	12.5	9.0	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
8	82	1a面	遺構1 16層	かわらけ	(12.6)	9.0	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
8	83	1a面	遺構1 17層	かわらけ	(7.8)	(5.6)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
8	84	1a面	遺構1 17層	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/2
8	85	1a面	遺構1 17層	かわらけ	(7.5)	(5.0)	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:4/5
8	86	1a面	遺構1 17層	かわらけ	(11.0)	(6.0)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3
8	87	1a面	遺構1 17層	かわらけ	10.5	6.0	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・良土　c:灰黄色　e:良好　f:5/6　g:薄手丸深
8	88	1a面	遺構1 17層	かわらけ	12.2	7.5	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:5/6
8	89	1a面	遺構1 17層	かわらけ	(11.8)	(6.8)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:2/3
8	90	1a面	遺構1 17層	かわらけ	(11.8)	(8.0)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5
8	91	1a面	遺構1 17層	かわらけ	(13.2)	(7.0)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・良土　c:灰黄色　e:良好　f:2/3　g:薄手丸深
9	92	1a面	遺構1 18層	てづくね	(8.8)	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/4　g:口唇部油煤痕
9	93	1a面	遺構1 18層	かわらけ	(7.7)	5.5	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:2/3
9	94	1a面	遺構1 17層～19	てづくね	(7.8)	—	1.2	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・板状圧痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/5
9	95	1a面	遺構1 17層～19	てづくね	[7.6]	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/2
9	96	1a面	遺構1 17層～19	てづくね	(9.6)	—	1.6	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:1/3
9	97	1a面	遺構1 17層～19	てづくね	(9.8)	—	2.7	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/4
9	98	1a面	遺構1 17層～19	てづくね	(13.0)	—	3.5	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:良好　f:1/5
9	99	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	—	4.6	[1.6]	a:ロクロ・外底回転糸切　b:微砂・良土　c:白色　e:良好　f:底部片　白かわらけ
9	100	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	5.7	4.7	0.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2　g:口唇部内折れ
9	101	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	5.7	4.6	1.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4　g:口唇部内折れ
9	102	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(8.4)	(5.0)	1.0	a:ロクロ・外底回転糸切　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/5　g:口唇部内折れ
9	103	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	5.2	4.4	1.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:4/5　g:口唇部内折れ
9	104	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.0	5.7	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:完形
9	105	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	6.0	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:内外面薄く黒色に変色
9	106	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.5	6.0	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
9	107	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.1	5.4	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
9	108	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	6.1	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
9	109	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.1	6.4	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
9	110	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.1	6.8	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:ほぼ完形
9	111	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	6.5	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:ほぼ完形
9	112	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(8.4)	(6.8)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:3/4
9	113	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	6.0	1.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:完形
9	114	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.6)	(6.0)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2
9	115	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.6)	(6.2)	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4
9	116	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.7	5.9	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:4/5
9	117	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.7)	(5.6)	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/2
9	118	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.8)	(5.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/2
9	119	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.7	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
9	120	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(8.2)	(6.8)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2
9	121	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(8.0)	(6.6)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/3
9	122	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/2
9	123	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.4)	(5.4)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/3
9	124	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.6)	(5.8)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:2/3
9	125	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.4	5.9	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形
9	126	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.8	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
9	127	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	5.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
9	128	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	6.2	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
9	129	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	6.0	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:ほぼ完形
9	130	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.8)	(5.6)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:良好　f:1/3
9	131	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.2)	(5.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
9	132	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.5	5.9	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:完形

単位(cm)

表1 出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
9	133	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	5.8	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
9	134	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	6.0	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形 g:内面器壁剥離
9	135	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.4	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5
9	136	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.4	5.4	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
9	137	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.3	1.45	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
9	138	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	5.2	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:4/5
9	139	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.0	5.7	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:橙色 e:良好 f:4/5 g:精良な胎土
9	140	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.4	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:3/5
9	141	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	4.8	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・良土 c:橙色 e:良好 f:4/5
9	142	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:完形
9	143	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.6	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:完形
9	144	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.4	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:ほぼ完形
9	145	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.7	6.0	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5
9	146	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.8)	(4.8)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:3/5
9	147	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	5.0	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土 c:橙色 e:やや甘い f:5/6 g:内面器壁剥離
9	148	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.5	5.1	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:4/5
9	149	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.7	5.1	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:4/5
9	150	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	5.4	1.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:4/5
9	151	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	4.7	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:完形
9	152	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.7	4.9	1.85	a:ロクロ・外底回転糸切・すだれ状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:ほぼ完形
9	153	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.0	4.7	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:完形
9	154	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(6.8)	(5.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:3/4 g:内外面黒色に変色
9	155	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.2)	(5.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5
9	156	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5
9	157	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.8)	(5.4)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
9	158	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(8.2)	(5.6)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
9	159	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.4)	(4.8)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
9	160	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.1	5.8	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:完形
9	161	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.6	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5
9	162	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	5.4	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形
9	163	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.8)	(6.2)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
9	164	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.5	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・小石粒・粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:完形
9	165	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.6	5.7	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:ほぼ完形
9	166	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.5	5.8	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:やや甘い f:完形
9	167	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.4	5.9	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形
9	168	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.1	6.1	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:4/5
9	169	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(8.0)	(5.6)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土 c:黄灰色 e:良好 f:1/2
9	170	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(8.2)	(6.2)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
9	171	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.5	6.0	1.75	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:完形
9	172	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.7	5.5	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形
9	173	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	8.1	5.0	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形 g:器壁の立ち上がりが浅く、コースター型に近似
9	174	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.0	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
9	175	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.5	5.0	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
9	176	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.2)	(5.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
9	177	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(7.6)	(5.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/6 g:薄手丸深
9	178	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.7	5.2	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/7 g:薄手丸深
9	179	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.7	4.8	1.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/8 g:薄手丸深
9	180	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.0	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・やや良土 c:橙色 e:良好 f:4/9 g:薄手丸深
9	181	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	4.9	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:3/4 g:薄手丸深
9	182	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.3	4.1	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
9	183	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.65	5.0	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
9	184	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	4.6	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形

単位(cm)

表1 出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
9	185	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.4	4.4	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:4/5 g:器形は薄手丸深タイプに近似するが、胎土は粗土で器壁は厚い
9	186	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.9	5.1	2.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:器形は薄手丸深タイプに近似するが、胎土は粗土で器壁は厚い
9	187	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	7.8	5.0	2.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深
9	188	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	6.6	4.0	2.1	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
9	189	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(10.8)	6.4	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/3 g:薄手丸深系
9	190	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	9.9	5.1	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・良土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深
9	191	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	10.8	5.8	3.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・良土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深
9	192	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	10.6	6.5	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:3/4 g:薄手丸深
9	193	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(10.8)	(6.1)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3 g:薄手丸深
9	194	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(10.6)	(6.0)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・やや良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/2 g:薄手丸深
9	195	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	10.6	6.5	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4 g:口唇部に油煤痕・薄手丸深
9	196	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	10.5	6.5	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/4 g:薄手丸深
10	197	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	11.2	7.3	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
10	198	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	11.6	8.0	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:淡橙色 e:良好 f:完形
10	199	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	11.7	8.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕強・内底ナデ(範囲広い) b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:歪み大
10	200	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.4	9.4	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
10	201	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.6	9.4	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
10	202	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.2	8.8	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
10	203	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.5	9.0	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:歪み大
10	204	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.3	8.5	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
10	205	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.7	8.8	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
10	206	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.0	8.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:歪み大
10	207	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.3	8.2	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:橙色 e:良好 f:5/6
10	208	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.0	8.0	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデの後回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形
10	209	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.4	8.2	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
10	210	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.6	8.4	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
10	211	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.5	8.2	3.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
10	212	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.3	8.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:7/8
10	213	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.1	7.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:3/4
10	214	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.4	8.0	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:3/4
10	215	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.0	7.6	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:ほぼ完形
10	216	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.2	7.6	3.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:3/4
10	217	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.2	7.6	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母多・黒色粒多・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
10	218	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.2	7.6	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
10	219	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.3	7.6	3.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒小石粒・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:2/3
10	220	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.4	7.6	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:3/4
10	221	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.6	7.8	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:3/4
10	222	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.3	7.5	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:3/4
10	223	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.6	7.6	3.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
10	224	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(10.8)	6.0	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:黄灰色 e:良好 f:1/2 g:薄手丸深
10	225	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(10.8)	5.7	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3 g:薄手丸深
10	226	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(10.7)	5.4	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/3 g:口唇部油煤痕・薄手丸深
10	227	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(10.9)	5.5	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色色・海綿骨針・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3 g:薄手丸深・内面一部黒く変色
10	228	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	10.9	5.6	3.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨針・粉質良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
10	229	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	11.0	5.8	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・やや良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:2/3 g:薄手丸深
10	230	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	11.2	6.5	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深
10	231	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	11.4	5.6	3.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深
10	232	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.7	7.8	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切(細い・回転速度早い)・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:3/4 、薄手丸深系
10	233	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.7	7.3	3.95	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形 g:薄手丸深系
10	234	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(12.6)	7.2	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3 g:薄手丸深系
10	235	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.6	6.9	3.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:3/5 、薄手丸深系
10	236	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(12.6)	6.6	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・泥岩粒・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4 g:薄手丸深

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
10	237	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	12.5	6.2	3.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:淡黄橙色　e:良好　f:1/2　g:体部外面に布目痕1か所あり　薄手丸深系
10	238	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	13.0	7.6	3.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨・泥岩粒・やや良土　c:淡黄橙色　e:良好　f:4/5　g:薄手丸深系
10	239	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	13.3	8.0	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:良好　f:5/6　、薄手丸深系
10	240	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	13.4	8.0	3.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/2　g:薄手丸深系
10	241	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	13.4	7.9	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・粉質気味良土　c:橙色　e:良好　f:2/3　g:薄手丸深系
10	242	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	13.3	7.8	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕強・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3　g:薄手丸深系
10	243	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	(13.2)	7.0	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・赤色粒・泥岩粒　良土　c:淡黄橙色　e:良好　f:1/3　g:薄手丸深系
10	244	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	13.7	7.8	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・粉質良土　c:橙色　e:良好　f:4/5　、薄手丸深系
11	245	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	13.0	8.4	3.75	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3　g:薄手丸深系
11	246	1a面	遺構1 17層～19	かわらけ	13.4	8.0	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・良土　c:灰黄色　e:良好　f:1/2
11	247	1a面	遺構1 17層～19	青磁 碗	(15.2)	—	[5.5]	a:ロクロ　外面鎬蓮弁文・蓮弁の幅が狭い・内面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅲ類
11	248	1a面	遺構1 17層～19	青磁 碗	—	—	[3.5]	a:ロクロ　外面鎬蓮弁文・内面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
11	249	1a面	遺構1 17層～19	青磁 坏	—	—	[3.2]	a:ロクロ　外面蓮弁文・内面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
11	250	1a面	遺構1 17層～19	山茶碗	—	—	[3.0]	a:ロクロ　b:灰色・精緻　g:尾張型8型式か
11	251	1a面	遺構1 17層～19	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[2.3]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:6a型式
11	252	1a面	遺構1 17層～19	常滑 甕	—	—	[5.0]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:5型式
11	253	1a面	遺構1 17層～19	常滑 甕	—	—	[3.5]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:6a型式
11	254	1a面	遺構1 17層～19	常滑 甕	—	—	[12.4]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:胴部片　g:格子文に×の押印
11	255	1a面	遺構1 17層～19 層	かわらけ 加工品	6.5	6.4	1.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:底部片　g:ロクロかわらけ底部を円盤状に加工
11	256	1a面	遺構1 17層～19 層	かわらけ 加工品	3.9	6.2	0.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:底部片　g:ロクロかわらけ底部を円盤状に加工
11	257	1a面	遺構1 17層～19 層	かわらけ 加工品	3.4	5.6	1.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:底部片　g:ロクロかわらけ底部を円盤状に加工・底部中央に穿孔あり
11	258	1a面	遺構1 17層～19 層	かわらけ 加工品	3.7	7.2	0.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:底部片　g:ロクロかわらけ底部を円盤状に加工
11	259	1a面	遺構1 17層～19	須恵器 坏	—	—	[2.6]	b:灰黒色・微砂・白色粒　f:口縁部片
11	260	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.2)	(8.0)	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:1/2
11	261	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.4)	(7.9)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:1/2
11	262	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.8)	(8.4)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒多・粗土　c:黄灰色　e:甘い　f:1/2
11	263	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.7	7.2	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:4/5
11	264	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.0)	(6.4)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
11	265	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.4	8.6	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:4/5
11	266	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.2	8.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒多・粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:4/5
11	267	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.5)	(8.0)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
11	268	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(11.3)	(8.4)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
11	269	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.8)	(8.4)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
11	270	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.4	7.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
11	271	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.6	8.6	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
11	272	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.5)	(8.9)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・やや粗土　c:赤橙色　e:良好　f:1/2
11	273	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.4	7.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
11	274	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.6	7.8	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4
11	275	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.6)	(8.0)	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4
11	276	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.1)	(6.8)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:3/4
11	277	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.0)	7.2	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:赤橙色　e:良好　f:3/5
11	278	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.2)	(7.0)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:1/2
11	279	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.0)	(7.7)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:3/4
11	280	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.3)	(8.0)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3
11	281	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.6)	(6.6)	3.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2
11	282	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.5	7.6	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒多・粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:口唇部一部黒色に変色
11	283	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.6)	(8.0)	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:3/4
11	284	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.1	8.4	3.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒多・小石粒・粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:4/5
11	285	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.5	8.3	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒多・小石粒・粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:完形
11	286	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.0	8.9	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:完形　g:歪みあり

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
12	287	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.4	6.4	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
12	288	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.2	8.9	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
12	289	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.8	7.8	3.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
12	290	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.6	7.4	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
12	291	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.4)	(7.9)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/2
12	292	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(13.3)	(8.8)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:赤橙色　e:良好　f:3/5
12	293	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.0	7.3	3.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底弱くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:3/5
12	294	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.0	7.0	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・良土　c:赤橙色　e:良好　f:4/5
12	295	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(13.2)	(7.8)	3.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/2
12	296	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.5)	(7.4)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/2
12	297	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(12.1)	(6.6)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2
12	298	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(10.8)	(6.5)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・泥岩粒・小石粒・海綿骨針・やや粗土　c:赤橙色　e:良好　f:1/2
12	299	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.1	7.9	3.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:完形
12	300	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.5	7.9	3.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・泥岩粒・海綿骨針・良土　c:黄灰色　e:良好　f:ほぼ完形
12	301	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.3	7.9	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・泥岩粒・小石粒・海綿骨針・粗土　c:黄灰色　e:良好　f:5/6　g:歪み大
12	302	1a面	遺構1 20層	かわらけ	11.7	8.2	2.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・泥岩粒・小石粒・海綿骨針・粗土　c:赤橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:歪み大
12	303	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.4	7.5	3.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・泥岩粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
12	304	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.9	8.2	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:完形
12	305	1a面	遺構1 20層	かわらけ	(13.4)	(8.4)	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
12	306	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.3	8.4	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
12	307	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.1	7.2	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・良土　c:黄橙色　e:良好　f:5/6　g:内底一部黒色の付着物
12	308	1a面	遺構1 20層	かわらけ	13.5	8.1	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:ほぼ完形　g:内底1箇所穿孔あり・口唇部一か所打撮け・灘手丸器
12	309	1a面	遺構1 20層	かわらけ	12.4	7.9	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:良好　f:ほぼ完形
12	310	1a面	遺構1 20層	黄釉 盤	—	—	[2.45]	b:微砂・白色粒・黒色粒・やや良土　c:灰色　d:緑塊色　e:良好　f:口縁部片
12	311	1a面	遺構1 20層	漆器 椀	—	—	[6.0]	g:内外面ともに黒色漆梨漆・無文・総高台・外側面中位に2条の沈線が廻る
12	312	1a面	遺構1 20層	漆器 蓋	最大径3.6			g:蓋の摘み部分・黒色漆梨漆・無文
12	313	1a面	遺構1 20層	漆器 刷毛	7.4	1.4	1.0	g:化粧刷毛の軸・刷毛は遺存していなかった・黒色漆梨漆・水の文様は針掻きで施文・花文と水の文様の市松で意匠は構成されている。文様によって梨漆方法を変えている。
12	314	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	[21.2]	0.7	0.4	g:断面方形・端部鋭角に整形
12	315	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	20.5	0.5	0.6	g:断面円形・丁寧な整形・端部鋭角に整形
12	316	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	[20.7]	0.9	0.5	g:断面楕円形・端部鋭角に整形
12	317	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	[24.2]	0.5	0.5	g:断面円形・端部鋭角に整形・遺存状態悪い
12	318	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	21.8	0.7	0.7	g:断面円形・端部鋭角に整形・遺存状態悪い
12	319	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	22.0	0.7	0.5	g:断面不正円形・端部鋭角に整形
12	320	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	23.0	0.9	0.5	g:断面方形・片端鋭角に整形・片端断ち切り
12	321	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	22.9	0.6	0.5	g:断面方形・片端鋭角に整形・片端断ち切り
12	322	1a面	遺構1 20層	木製品 箸	23.7	0.9	0.4	g:断面方形・端部断ち切り
13	323	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[9.7]	0.3	0.3	g:断面方形・板折敷の枠部材か
13	324	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[13.0]	0.3	0.2	g:断面方形・板折敷の枠部材か
13	325	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[12.4]	0.4	0.2	g:断面方形・板折敷の枠部材か
13	326	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[14.6]	0.3	0.2	g:断面方形・板折敷の枠部材か
13	327	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[14.0]	0.4	0.2	g:断面方形・板折敷の枠部材か
13	328	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[14.8]	0.3	0.2	g:断面方形・板折敷の枠部材か
23	329	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[20.1]	0.3	0.3	g:断面方形・板折敷の枠部材か
13	330	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[29.4]	0.5	0.4	g:断面方形・板折敷の枠部分
13	331	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[29.3]	0.3	0.2	g:断面方形・板折敷の枠部分
13	332	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	[18.0]	0.4	0.3	g:断面方形・板折敷の枠部分
13	333	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	17.1	[4.2]	0.1	g:角を丸く整形・木釘痕残る
13	334	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	19.2	[3.1]	0.2	g:木釘痕あり
13	335	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	18.9	[4.4]	0.15	g:木釘痕あり
13	336	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	18.9	[3.7]	0.2	
13	337	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	18.3	[3.4]	0.1	
13	338	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	22.8	[2.2]	0.2	

単位(cm)

表1 出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
13	339	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	22.8	[2.8]	0.2	
13	340	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	22.9	[3.7]	0.2	
13	341	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	22.8	[1.9]	0.1	
13	342	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	22.7	[2.5]	0.1	g:刃物痕残る
13	343	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	22.7	[1.9]	0.15	
13	344	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	22.7	[1.5]	0.1	
13	345	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	22.9	[2.9]	0.1	
13	346	1a面	遺構1 20層	木製品 板折敷	23.5	[1.3]	0.3	g:火切板として使用か 円形の小痕が残る
13	347	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	23.6	[2.1]	0.1	
13	348	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	23.4	[1.6]	0.1	
13	349	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	23.2	[3.0]	0.2	
13	350	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	23.2	[2.3]	0.2	
13	351	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	23.2	[2.8]	0.2	
14	352	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	23.7	[5.2]	0.2	
14	353	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	24.3	[3.9]	0.2	
14	354	1a面	遺構1 20層	木製品 経木折敷	23.4	[4.3]	0.1	g:刃物痕が残る
14	355	1a面	遺構1 20層	木製品 箆状製品	[14.3]	0.6	0.3	g:断面かまぼこ型・端部斜めに切断
14	356	1a面	遺構1 20層	木製品 箆状製品	[9.8]	0.9	0.5	g:断面かまぼこ型・端部扁平に整形
14	357	1a面	遺構1 20層	木製品 箆状製品	[10.2]	[0.9]	[0.4]	g:断面方形・遺存状態が悪い
14	358	1a面	遺構1 20層	木製品 箆状製品	11.2	0.6	0.3	g:断面方形・端部扁平に整形
14	359	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[9.3]	0.7	0.9	g:雑な整形・焼痕あり
14	360	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[9.7]	1.0	0.7	g:雑な整形・端部焼痕
14	361	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[11.6]	0.9	0.8	g:断面方形・丁寧な整形
14	362	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[10.6]	0.6	0.4	g:断面方形
14	363	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[15.7]	0.6	0.5	g:雑な整形
14	364	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[20.9]	0.5	0.4	g:断面方形
14	365	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[30.4]	[0.9]	0.5	g:端部方形・用途不明
14	366	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	30.4	1.1	0.5	g:断面方形・丁寧な整形・端部焼痕・火きり棒か
14	367	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[29.7]	0.7	0.5	g:雑な整形・端部焼痕
14	368	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	[20.0]	1.3	0.7	g:断面楕円形・丁寧な整形・端部に焼痕・火きり棒か
14	369	1a面	遺構1 20層	木製品 棒状製品	21.9	1.3	0.7	g:断面楕円形・丁寧な整形・端部焼痕・火きり棒か
14	370	1a面	遺構1 20層	木製品 形代	14.2	[4.2]	0.9	g:端部に切りこみが入る。
14	371	1a面	遺構1 20層	木製品 用途不明	[5.2]	[2.2]	[0.9]	g:半月状の製品か
14	372	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(4.9)	(3.4)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:器壁摩耗
14	373	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(5.4)	(4.4)	0.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄灰色 e:良好 f:1/4 g:底部2箇所穿孔が遺存
14	374	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(7.1)	(5.0)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3 g:器壁摩耗・歪み大・口唇部やや内湾する
14	375	1a面	遺構1 一括	かわらけ	7.3	3.9	1.55	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形 g:均質でやや硬質な胎土
14	376	1a面	遺構1 一括	かわらけ	7.3	5.4	1.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/4 g:薄手丸深と呼ばれる器形が持つ均質な胎土に近似している。
14	377	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(7.4)	(5.2)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭 b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
14	378	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(6.8)	(4.8)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:3/4
14	379	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(7.2)	(4.0)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5
14	380	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(7.4)	(4.4)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:2/3
14	381	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(7.4)	(5.4)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:1/4
14	382	1a面	遺構1 一括	かわらけ	7.7	6.0	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:完形
14	383	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(7.4)	(5.2)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
14	384	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(7.4)	(5.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/3
14	385	1a面	遺構1 一括	かわらけ	7.5	5.6	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:ほぼ完形
14	386	1a面	遺構1 一括	かわらけ	7.5	5.1	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
14	387	1a面	遺構1 一括	かわらけ	7.4	5.1	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2
14	388	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土 c:赤橙色 e:やや甘い f:1/2
14	389	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
14	390	1a面	遺構1 一括	かわらけ	7.8	5.3	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・良土 c:灰黄色 e:良好 f:完形

単位(cm)

表1 出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
14	391	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(5.6)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
14	392	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.0)	(6.2)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
14	393	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(5.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
14	394	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/2
14	395	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.8	5.7	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形
14	396	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(5.6)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4 g:内面黒色に変色
14	397	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5 g:内底面に銭が付着していた痕跡有
14	398	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.0)	(5.8)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/5
14	399	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/2
14	400	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.2	5.8	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:完形
14	401	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.0	5.9	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:4/5
14	402	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.2)	(5.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:3/4
14	403	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.0)	(5.2)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:2/3
14	404	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.9	4.5	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・良土 c:灰黄色 e:良好 f:完形 g:均質でやや硬質な胎土
14	405	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.9	6.1	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:橙色 e:良好 f:3/4
14	406	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.2	5.7	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:歪み大
14	407	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.1)	(5.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/2
14	408	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.2	6.0	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形
14	409	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.2)	(5.2)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/2
15	410	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.8	4.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形 g:均質でやや硬質な胎土
15	411	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.1	5.9	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:ほぼ完形・内外面黒色に変色
15	412	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(5.8)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
15	413	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.8	6.0	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:完形
15	414	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.8	5.6	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:完形
15	415	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.4	6.0	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:完形
15	416	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/2
15	417	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.8	5.0	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:完形
15	418	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.7)	5.8	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/2
15	419	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5
15	420	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.3	5.9	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:歪み大
15	421	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.7	5.2	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:完形
15	422	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.9	6.0	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:ほぼ完形
15	423	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.2	6.3	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:ほぼ完形
15	424	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.7	5.8	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:2/3
15	425	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.9)	(6.0)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
15	426	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.9	6.2	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
15	427	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3 g:口唇部1箇所滑く黒色に変色
15	428	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
15	429	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.7	6.1	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
15	430	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.1)	(6.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/3
15	431	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:3/4
15	432	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.1	6.2	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:ほぼ完形
15	433	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.8	5.6	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:ほぼ完形
15	434	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.9	5.7	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形
15	435	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・糸切り痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:4/5
15	436	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.2	6.7	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
15	437	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.1	6.2	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5
15	438	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.1	5.8	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:ほぼ完形
15	439	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.0)	(5.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土 c:橙色 e:良好 f:3/4
15	440	1a面	遺構1一括	かわらけ	7.9	6.7	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:完形
15	441	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.1	6.0	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形
15	442	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.4)	(6.2)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土 c:黄灰色 e:良好 f:1/4

単位(cm)

表1 出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
15	443	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.4)	(6.4)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/2
15	444	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.3)	(6.6)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3
15	445	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.4)	(6.2)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
15	446	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.3)	(6.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/2
15	447	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.4)	(6.0)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/3
15	448	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.2)	(4.8)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3
15	449	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.6)	(6.0)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/3 g:歪み大・内外面一部黒色に変色
15	450	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.4)	(6.0)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/2
15	451	1a面	遺構1一括	かわらけ	8.9	5.4	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土 c:黄灰色 e:良好 f:完形
15	452	1a面	遺構1一括	かわらけ	(7.7)	(4.4)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切 b:微砂・雲母・良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/5 g:薄手丸深
15	453	1a面	遺構1一括	かわらけ	(8.4)	(6.0)	2.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
15	454	1a面	遺構1一括	かわらけ	(9.9)	(5.4)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4 g:薄手丸深
15	455	1a面	遺構1一括	かわらけ	10.6	5.1	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒多・良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/5 g:薄手丸深 g:内外面口唇部に厚く油煤痕
15	456	1a面	遺構1一括	かわらけ	(10.6)	(6.2)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2 g:薄手丸深
15	457	1a面	遺構1一括	かわらけ	10.9	5.6	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・良土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:薄手丸深
15	458	1a面	遺構1一括	かわらけ	(10.8)	(5.6)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・小石粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/4 g:薄手丸深
15	459	1a面	遺構1一括	かわらけ	(10.8)	(5.2)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/5 g:薄手丸深
15	460	1a面	遺構1一括	かわらけ	10.4	5.5	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深・口唇部油煤痕
15	461	1a面	遺構1一括	かわらけ	10.6	5.8	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深・口唇部油煤痕
15	462	1a面	遺構1一括	かわらけ	(11.0)	(6.0)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5 g:薄手丸深
15	463	1a面	遺構1一括	かわらけ	(11.0)	(6.0)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/5 g:薄手丸深
15	464	1a面	遺構1一括	かわらけ	11.4	5.9	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形 g:薄手丸深
15	465	1a面	遺構1一括	かわらけ	(11.8)	(8.4)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
15	466	1a面	遺構1一括	かわらけ	11.9	7.4	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5 g:歪み大・口唇部油煤痕
15	467	1a面	遺構1一括	かわらけ	(11.8)	(7.2)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/3
15	468	1a面	遺構1一括	かわらけ	(11.8)	(7.2)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/4
15	469	1a面	遺構1一括	かわらけ	(11.8)	(7.2)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:3/5 g:口唇部油煤痕
15	470	1a面	遺構1一括	かわらけ	(11.8)	(8.0)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/5 g:口唇部油煤痕
15	471	1a面	遺構1一括	かわらけ	11.8	8.3	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:完形
15	472	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.1	8.1	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:ほぼ完形
15	473	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.7	8.8	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形
15	474	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.4	7.9	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/4
15	475	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.1	8.9	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:赤橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形
15	476	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.8)	(8.4)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土 c:橙色 e:良好 f:3/4
15	477	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.3	6.8	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:完形
15	478	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.4)	(7.8)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:赤橙色 e:やや甘い f:1/2
15	479	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.2	8.2	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:赤橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形 g:外側面に糸切り痕の糸痕が残る
15	480	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.1	8.0	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:4/5
15	481	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.0	7.6	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:完形 g:口唇部油煤痕
15	482	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.9	8.0	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:やや良好 f:1/3 g:薄手丸深系
15	483	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.1	8.3	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5
16	484	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.0)	(8.2)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5
16	485	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.8	8.0	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
16	486	1a面	遺構1一括	かわらけ	12.6	8.5	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
16	487	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.4)	(8.6)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
16	488	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.2)	(8.2)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5
16	489	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.4)	(8.0)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4
16	490	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.6)	(8.8)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/4
16	491	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.0)	(8.8)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:2/3
16	492	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.2)	(8.6)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/3 g:内底器壁剥離
16	493	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.6)	(8.4)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄灰色 e:良好 f:4/5
16	494	1a面	遺構1一括	かわらけ	(12.2)	(7.4)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
16	495	1a面	遺構1 一括	かわらけ	12.3	8.4	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:完形
16	496	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.9)	(7.8)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・良土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
16	497	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.4)	(7.4)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:4/5
16	498	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.8)	(7.6)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:5/6
16	499	1a面	遺構1 一括	かわらけ	12.9	7.0	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形
16	500	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.9)	(8.0)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:5/6
16	501	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.6)	(7.6)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/3
16	502	1a面	遺構1 一括	かわらけ	12.0	7.4	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3　g:口唇部油煤痕
16	503	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.4)	(8.0)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
16	504	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.0)	(8.2)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
16	505	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.4)	(6.6)	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/4　g:内外面黒色一部に変色
16	506	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(12.6)	(8.0)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:2/3
16	507	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(13.0)	(7.0)	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・やや良土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
16	508	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(13.2)	(7.9)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
16	509	1a面	遺構1 一括	かわらけ	(13.7)	(8.2)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:灰黄色　e:良好　f:2/4
16	510	1a面	遺構1 一括	かわらけ	13.2	8.8	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
16	511	1a面	遺構1 一括	青磁 碗	(14.0)	—	[3.9]	a:ロクロ　外面鎬蓮弁文・蓮弁の幅は狭い・内面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅲ類
16	512	1a面	遺構1 一括	青磁 碗	—	(5.0)	[2.3]	a:ロクロ　外面鎬蓮弁文・蓮弁の整形は雑・内面無文・高台底部露胎　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:底部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類　内面釉剥離、使用痕か
16	513	1a面	遺構1 一括	白磁 皿	(14.0)	—	[3.5]	a:ロクロ　口縁部外反・口唇部露胎・内面中位に沈線が廻る　b:灰白色　精良堅緻　d:灰白色 e:堅緻　f:口縁部片　g:皿XI類
16	514	1a面	遺構1 一括	白磁 皿	(10.0)	(5.8)	3.1	a:ロクロ　口唇部露胎　b:灰白色　精良堅緻　d:灰白色 e:堅緻　f:胴部片　g:皿IX類
16	515	1a面	遺構1 一括	山茶碗	—	(4.0)	[1.9]	a:ロクロ・底部糸切り痕・高台部貼り付け　b:砂粒・長石・小石粒・石英　c:灰色　e:良好・軟質　f:底部片　g:尾張型5型式
16	516	1a面	遺構1 一括	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[4.5]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
16	517	1a面	遺構1 一括	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[5.0]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
16	518	1a面	遺構1 一括	土製品 土鍋	—	—	[2.8]	a.輪積み技法　口縁部折り返し　b.黄灰色　粗砂・黒色粒　c.黄灰色　e.良好　やや軟質　f.口縁部片　g.外面器壁、黒色に変色・南伊勢系・Ⅲ型式
16	519	1a面	遺構1 一括	金属製品 鉄釘	[5.3]	0.7	0.8	g:断面方形・錆付着
16	520	1a面	遺構1 一括	金属製品 用途不明	4.6	3.2	1.1	g:刀子片か・錆付着
17	1	1a面	遺構6	てづくね	(9.2)	—	1.4	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3　g:内面一部黒色に変色
17	2	1a面	遺構6	てづくね	(9.2)	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
17	3	1a面	遺構6	てづくね	(13.0)	—	(3.6)	a:手づくね・底部板状圧痕・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4　g:外面口唇部薄く黒色に変色
17	4	1a面	遺構6	てづくね	(12.4)	—	(2.9)	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
17	5	1a面	遺構6	かわらけ	(9.6)	(7.6)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3
17	6	1a面	遺構8	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[2.45]	a:輪積み成形　b:灰褐色　白色粒・黒色粒・砂粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
17	7	1a面	遺構12	てづくね	(15.0)	—	3.2	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3
17	8	1a面	遺構15	てづくね	(8.6)	—	(1.8)	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/4
17	9	1a面	遺構27	てづくね	8.7	—	1.8	a:手づくね・外底指頭ナデ消し・板状圧痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/2
17	10	1a面	遺構27	てづくね	(8.6)	—	1.2	a:手づくね・外底指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/5
17	11	1a面	遺構27	かわらけ	7.6	6.0	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:5/6
17	12	1a面	遺構27	かわらけ	8.6	6.2	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:赤橙色　e:甘い　f:2/3　g:内外面口唇部一部に油煤痕
17	13	1a面	遺構27	かわらけ	(9.0)	(7.0)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3　g:体部鉄分付着
17	14	1a面	遺構27	かわらけ	(8.4)	(7.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土c　:黄灰色　e:やや甘い　f:2/3　g:歪み大
17	15	1a面	遺構27	青磁 碗	—	—	[2.8]	a:ロクロ　内面片彫り蓮華文と櫛目文　b:灰白色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　Ⅰ類
17	16	1a面	遺構27	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	(9.1)	a:輪積み成形　b:灰色　白色粒・黒色粒・砂粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:体部片　1/6　g:6a型式　体部下部箆による整形痕・内面摩耗
17	17	1a面	遺構200	かわらけ	8.2	6.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:2/3
17	18	1a面	遺構200	かわらけ	8.8	7.0	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの痕見込み周囲をナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
17	19	1a面	遺構200	青磁 坏	—	—	[2.1]	a:ロクロ　内外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
17	20	1a面	遺構200	常滑 甕	—	—	[7.2]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:3型式
17	21	1a面	遺構201	かわらけ	(8.0)	(6.4)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/5
17	22	1a面	遺構201	青磁 坏	—	—	[2.7]	a:ロクロ　内外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
18	1	1a面	遺構195 上層-23	かわらけ	7.2	5.4	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:完形
18	2	1a面	遺構195 上層	かわらけ	(7.6)	5.0	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒多・粗土　c:灰黄色　e:甘い　f:3/4　g:内外面器壁剥離
18	3	1a面	遺構195 上層	かわらけ	7.6	5.4	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:甘い　f:4/5　g:内外面器壁剥離
18	4	1a面	遺構195 上層-1	かわらけ	7.6	5.4	1.85	a:ロクロ・外底回転糸切底不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:完形

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
18	5	1a面	遺構195 上層-12	かわらけ	7.6	6.4	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:完形
18	6	1a面	遺構195 上層-10	かわらけ	7.4	6.4	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:完形　g:底部粘土版貼り付けの可能性あり
18	7	1a面	遺構195 上層-13	かわらけ	7.9	5.2	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
18	8	1a面	遺構195 上層-17	かわらけ	7.2	6.0	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:完形
18	9	1a面	遺構195 上層	かわらけ	7.6	5.6	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:2/3
18	10	1a面	遺構195 上層	かわらけ	7.9	2.8	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:3/4
18	11	1a面	遺構195 上層-18	かわらけ	7.9	6.0	1.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:完形
18	12	1a面	遺構195 上層	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
18	13	1a面	遺構195 上層-11	かわらけ	7.8	5.2	1.95	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:完形
18	14	1a面	遺構195 上層-24	かわらけ	7.8	4.8	2.35	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5　g:内外面薄く黒色に変色
18	15	1a面	遺構195 上層	かわらけ	(10.4)	5.8	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:2/3　g:薄手丸深タイプの器形を呈しているが、胎土は異なり粗土である
18	16	1a面	遺構195 上層-25	かわらけ	(11.6)	(8.0)	2.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
18	17	1a面	遺構195 上層-8	かわらけ	11.8	8.0	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母多・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
18	18	1a面	遺構195 上層-14	かわらけ	12.5	8.4	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/2　g:口唇部油煤痕
18	19	1a面	遺構195 上層-9	かわらけ	12.2	8.6	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:完形
18	20	1a面	遺構195 上層-22	かわらけ	12.2	8.0	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
18	21	1a面	遺構195 上層-26	かわらけ	12.3	8.8	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
18	22	1a面	遺構195 上層-4	かわらけ	(12.2)	8.6	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:口唇部一部指頭により内に押し込められる
18	23	1a面	遺構195 上層-20	かわらけ	12.0	8.4	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:完形
18	24	1a面	遺構195 上層-7	かわらけ	(12.6)	7.4	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・白色粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4　g:薄手丸深
18	25	1a面	遺構195 上層-19	かわらけ	12.0	9.0	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:歪み大
18	26	1a面	遺構195 上層-2	かわらけ	(12.0)	9.0	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:歪み大
18	27	1a面	遺構195 上層-27	かわらけ	12.2	8.2	3.05	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
18	28	1a面	遺構195 上層-5	かわらけ	12.4	9.0	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:3/4　g:内面器壁剥離
18	29	1a面	遺構195 上層-15	かわらけ	12.2	9.0	3.05	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
18	30	1a面	遺構195 上層-21	かわらけ	12.0	7.2	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
18	31	1a面	遺構195 上層-3	かわらけ	(12.0)	6.2	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・白色粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4　g:薄手丸深
18	32	1a面	遺構195 上層-16	かわらけ	(13.2)	(7.0)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・やや良土　c:灰黄色　e:やや良好　f:1/5
18	33	1a面	遺構195 上層-6	かわらけ	12.8	6.6	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:薄手丸深
18	34	1a面	遺構195 上層-28	かわらけ	12.4	6.0	3.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・泥岩粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:薄手丸深
18	35	1a面	遺構195 上層	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[4.4]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰緑色　e:硬質　f:口縁部片　g:6型式
18	36	1a面	遺構195 下層	てづくね	(12.2)	—	[3.1	a:手づくね・体部外面下位不明瞭な指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/5
18	37	1a面	遺構195 下層	てづくね	(13.0)	—	3.2	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/4
18	38	1a面	遺構195 下層	かわらけ	(9.2)	(7.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/5
18	39	1a面	遺構195 下層	かわらけ	7.8	5.6	1.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:5/6
18	40	1a面	遺構195 下層	常滑 壺	—	—	[3.9]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:4型式
18	41	1a面	遺構195 下層	金属製品 銅銭	外径2.2・内径1.9・孔径0.7×0.7・厚0.1			f:完形　g:開元通寶　初鋳年:唐845年　背文「益」
19	42	1a面	遺構196	てづくね	(8.2)	—	1.5	a:手づくね・体部外面下位不明瞭な指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・白色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3　g:口唇部一部黒色に変色
19	43	1a面	遺構196	かわらけ	4.6	3.8	0.8	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:完形　g:小型・口唇部内折れ
19	44	1a面	遺構196	かわらけ	(5.6)	(4.8)	1.1	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/4　g:小型・口唇部内折れ
19	45	1a面	遺構196 -27	かわらけ	7.4	6.0	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:完形　g:歪み大
19	46	1a面	遺構196 -32	かわらけ	7.6	6.0	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:歪み大
19	47	1a面	遺構196 -25	かわらけ	(7.8)	(6.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/3
19	48	1a面	遺構196	かわらけ	(7.8)	(6.2)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2　g:内外面器壁剥離
19	49	1a面	遺構196 -11	かわらけ	7.8	5.0	1.95	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:内外面器壁剥離
19	50	1a面	遺構196	かわらけ	(7.8)	5.8	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:歪み大
19	51	1a面	遺構196	かわらけ	7.9	6.0	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
19	52	1a面	遺構196 -14	かわらけ	7.8	5.8	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:内外面器壁剥離
19	53	1a面	遺構196 -26	かわらけ	7.8	6.2	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
19	54	1a面	遺構196 -29	かわらけ	7.8	5.8	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
19	55	1a面	遺構196 -28	かわらけ	7.8	5.8	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:完形
19	56	1a面	遺構196	かわらけ	(8.0)	(6.4)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:1/4

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
19	57	1a面	遺構196−12	かわらけ	8.4	6.0	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:完形
19	58	1a面	遺構196−8	かわらけ	11.6	7.6	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:完形
19	59	1a面	遺構196−19	かわらけ	11.6	8.4	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:5/6
19	60	1a面	遺構196	かわらけ	(12.0)	7.6	3.05	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:5/6
19	61	1a面	遺構196−3	かわらけ	12.0	8.4	2.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
19	62	1a面	遺構196	かわらけ	(12.0)	9.0	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
19	63	1a面	遺構196	かわらけ	(11.4)	(8.2)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
19	64	1a面	遺構196−4	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
19	65	1a面	遺構196−5	かわらけ	12.0	8.4	2.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:完形
19	66	1a面	遺構196−6	かわらけ	(11.8)	8.0	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3
19	67	1a面	遺構196−18	かわらけ	12.2	8.4	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:橙色　e:やや良好　f:完形
19	68	1a面	遺構196−9	かわらけ	12.4	8.4	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:3/4
19	69	1a面	遺構196	かわらけ	(12.4)	(8.8)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/2
19	70	1a面	遺構196	かわらけ	(12.4)	(8.6)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/3
19	71	1a面	遺構196−10	かわらけ	(12.4)	(9.4)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
19	72	1a面	遺構196−17	かわらけ	12.4	9.2	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや良好　f:ほぼ完形
19	73	1a面	遺構196−2	かわらけ	12.2	7.8	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒多・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:4/5
19	74	1a面	遺構196−16	かわらけ	12.2	7.0	3.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒多・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:外側面黒色に変色
19	75	1a面	遺構196−13	かわらけ	(12.4)	8.4	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3
19	76	1a面	遺構196−1	かわらけ	13.0	7.2	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:薄手丸深系
19	77	1a面	遺構196−15	かわらけ	13.0	7.8	3.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:薄手丸深
19	78	1a面	遺構196−31	かわらけ	(13.6)	(8.2)	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2　g:内外面一部黒色に変色
19	79	1a面	遺構196−7	かわらけ	(13.2)	(7.2)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
19	80	1a面	遺構196	金属製品 鉄釘	[6.4]	1.5	0.9	a:断面方形状に鋳造　錆付着
19	81	1a面	遺構196	金属製品 鉄釘	[5.3]	1.1	1.2	a:断面方形状に鋳造　錆付着
20	1	1a面	遺構197	てづくね	(13.2)	—	3.2	a:手づくね・体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・良土・硬質　c:白色　e:良好　f:2/3　g:均質な胎土・白かわらけ
20	2	1a面	遺構197	てづくね	(8.4)	—	1.6	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/5　g:内外面黒色に変色
20	3	1a面	遺構197	てづくね	(8.6)	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/4
20	4	1a面	遺構197	かわらけ	8.0	5.4	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2
20	5	1a面	遺構197	かわらけ	8.5	6.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:3/4
20	6	1a面	遺構197	かわらけ	(8.6)	(6.0)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明・内底ナデ不明　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4　g:内外面薄く黒色に変色
20	7	1a面	遺構197	かわらけ	8.1	6.6	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:外面一部黒色に変色
20	8	1a面	遺構197	かわらけ	(8.2)	(6.6)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
20	9	1a面	遺構197	かわらけ	(12.2)	(8.0)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/5
20	10	1a面	遺構197	かわらけ	(13.0)	(8.6)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明・内底ナデ不明　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/5
20	11	1a面	遺構197	かわらけ	12.6	7.8	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:3/4
20	12	1a面	遺構197	かわらけ	(12.0)	(8.4)	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
20	13	1a面	遺構197	かわらけ	(12.0)	8.6	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
20	14	1a面	遺構197	かわらけ	(12.0)	8.4	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:2/3
20	15	1a面	遺構197	青磁 碗	—	—	[4.0]	a:ロクロ　外面蓮弁文・内面無文　b:灰色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系 小碗Ⅲ類・蓮弁の幅は狭い
20	16	1a面	遺構197	青磁 碗	—	(5.8)	[3.1]	a:ロクロ　内面片彫蓮華文・外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:底部片　g:龍泉窯系 碗Ⅰ類
20	17	1a面	遺構197	青磁 坏	—	—	[2.4]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文　b:灰色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系 坏Ⅲ類
20	18	1a面	遺構197	青磁 坏	—	(6.8)	[2.0]	a:ロクロ　内外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:底部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
20	19	1a面	遺構197	青磁 坏	—	—	[3.2]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文　b:灰色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類　内外面火熱を受け釉剥離
20	20	1a面	遺構197	青磁 鉢	—	—	[2.7]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文　b:灰色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:口縁部折縁・龍泉窯系
20	21	1a面	遺構197	白磁 壺	—	9.4	[5.3]	a:ロクロ　体部下部露胎・角高台・高台底部露胎・内面施釉あり　b:灰白色　精良堅緻　d:白色 e:堅緻　f:底部片　g:壺Ⅲ類
20	22	1a面	遺構197	青白磁 皿	—	—	[1.0]	a:型打ち・内面に花弁状の文様　b:灰白色　精良堅緻　d:水色 e:堅緻　f:口縁部片
20	23	1a面	遺構197	青白磁 皿	—	—	[1.5]	b:灰白色　精良堅緻　d:水色 e:堅緻　f:口縁部片
20	24	1a面	遺構197	青白磁 碗	—	—	[1.2]	b:灰白色　精良堅緻　d:水色 e:堅緻　f:口縁部片
20	25	1a面	遺構197	黄釉 盤	—	—	[3.7]	b:微砂・白色粒・黒色粒・やや良土　c:灰色　d:緑塊色　e:良好　f:口縁部片
20	26	1a面	遺構197	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[4.0]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:底部片　g:6a型式
20	27	1a面	遺構197	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[2.1]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
20	28	1a面	遺構197	常滑 甕	—	—	—	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:硬質　f:胴部片　g:縦線文の押印
20	29	1a面	遺構197	常滑 甕	—	—	—	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:明褐色　e:硬質　f:胴部片　g:格子文と菊花文の押印
20	30	1a面	遺構197	常滑 甕	—	—	—	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:明褐色　e:硬質　f:胴部片　g:複合斜線文の押印
20	31	1a面	遺構197	常滑 甕	—	—	—	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:明褐色　e:硬質　f:胴部片　g:縦長格子文と斜線文の押印
20	32	1a面	遺構197	産地不明 鉢	—	—	[4.5]	a:輪積み成形　b:茶褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:明褐色　e:軟質　f:口縁部片　g:胎土は常滑に似るがやや軟質・口縁部粘土折り返し・口縁下部は篦による横ナデ整形
20	33	1a面	遺構197	土製品 壺	—	(5.0)	[4.0]	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/2(口縁部欠損)　g:胎土はかわらけに近似
20	34	1a面	遺構197	金属製品 鉄釘	[8.5]	1.0	0.7	a:断面方形状に鋳造　錆付着
20	35	1a面	遺構197	金属製品 鉄釘	[4.9]	0.5	0.3	a:断面方形状に鋳造　錆付着
20	36	1a面	遺構197	石製品 鍋	—	—	[3.8]	g:滑石製　鍋破損の痕転用を試みたか・内面に数ヵ所のみ痕が残る
21	1	1a面	遺構198	かわらけ	(8.1)	(6.2)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや良好　f:1/5
21	2	1a面	遺構198	かわらけ	(12.2)	(8.0)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3　器壁薄い
21	3	1a面	遺構198	かわらけ	11.45	7.4	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:完形
21	4	1a面	遺構198	かわらけ	(11.6)	(7.6)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2　g:内底穿孔あり
21	5	1a面	遺構198	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[3.2]	a:輪積み　b:暗茶褐色　砂粒・長石多・石英・黒色粒・小石粒　c:暗茶褐色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:6a型式
21	6	1a面	遺構199	土器 器種不明	—	—	[2.3]	a:輪積み→ナデ調整　b:黄灰色　微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針　c:灰橙色　e:良好　f:口縁部片　g:古墳後期か？土師器坏の口縁部に似ているが、胎土の感じが異なる
21	7	1a面	遺構202	かわらけ	7.5	6.1	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・白色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:完形　g:歪み大
21	8	1a面	遺構202	かわらけ	7.6	5.4	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:3/5
21	9	1a面	遺構202	かわらけ	(7.8)	(6.1)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2
21	10	1a面	遺構202	かわらけ	(7.4)	(5.4)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:4/5
21	11	1a面	遺構202	かわらけ	(8.4)	(6.8)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:4/5
21	12	1a面	遺構202	かわらけ	7.4	5.4	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3　外面口唇部に油煙痕
21	13	1a面	遺構202	かわらけ	(7.6)	(5.4)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/2　g:歪み大
21	14	1a面	遺構202	かわらけ	8.0	6.1	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
21	15	1a面	遺構202	かわらけ	8.6	5.9	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:4/5
21	16	1a面	遺構202	かわらけ	(9.2)	5.8	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・赤色粒・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄灰色　e:良好　f:3/5
21	17	1a面	遺構202	かわらけ	(10.8)	(7.4)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:4/5
21	18	1a面	遺構202	かわらけ	11.5	7.8	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形
21	19	1a面	遺構202	かわらけ	11.8	8.6	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:4/5
21	20	1a面	遺構202	かわらけ	(11.2)	(7.4)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
21	21	1a面	遺構202	かわらけ	(11.4)	(9.4)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
21	22	1a面	遺構202	かわらけ	11.9	8.3	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:5/6
21	23	1a面	遺構202	かわらけ	11.1	7.8	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
21	24	1a面	遺構202	かわらけ	(11.8)	(7.4)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
21	25	1a面	遺構202	かわらけ	(11.8)	(8.6)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2
21	26	1a面	遺構202	かわらけ	12.4	5.6	4.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・良土　c:淡橙色　e:良好　f:3/4　g:薄手丸深
21	27	1a面	遺構202	かわらけ	(12.2)	(7.4)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂多・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
21	28	1a面	遺構202	かわらけ	12.7	9.2	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:4/5　g:歪み大
21	29	1a面	遺構202	かわらけ	(12.4)	(8.0)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
21	30	1a面	遺構202	かわらけ	(12.2)	(7.4)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
21	31	1a面	遺構202	かわらけ	(12.0)	(7.0)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/3
21	32	1a面	遺構202	かわらけ	(12.8)	(7.8)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3
21	33	1a面	遺構202	かわらけ	(12.8)	(7.4)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:3/5
22	34	1a面	遺構202	かわらけ	12.2	8.8	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:口唇部油煙痕
22	35	1a面	遺構202	かわらけ	(12.2)	(9.2)	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:4/5
22	36	1a面	遺構202	かわらけ	(12.2)	(8.0)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
22	37	1a面	遺構202	かわらけ	12.0	7.8	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5
22	38	1a面	遺構202	かわらけ	12.2	8.4	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4
22	39	1a面	遺構202	かわらけ	(12.4)	(8.0)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:淡橙色　e:良好　f:1/3
22	40	1a面	遺構202	かわらけ	12.2	9.0	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:2/3
22	41	1a面	遺構202	かわらけ	12.6	7.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/3
22	42	1a面	遺構202	かわらけ	12.5	8.0	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:4/5

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
22	43	1a面	遺構202	かわらけ	(12.2)	(7.2)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:4/5
22	44	1a面	遺構202	かわらけ	(12.0)	(8.0)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
22	45	1a面	遺構202	かわらけ	12.6	8.9	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:4/5
22	46	1a面	遺構202	かわらけ	12.5	8.8	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:良好　f:完形　g:歪み大・口唇部油煤痕
22	47	1a面	遺構202	かわらけ	(12.2)	(8.4)	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
22	48	1a面	遺構202	かわらけ	(12.0)	(7.8)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4
22	49	1a面	遺構202	かわらけ	(12.8)	(8.8)	3.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5
22	50	1a面	遺構202	かわらけ	14.4	7.7	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂少・雲母・赤色粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5　g:歪み大　薄手の器壁を持つ・大型の器形
22	51	1a面	遺構202	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[2.8]	a:輪積み　b:灰色　微砂・長石・石英・黒色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:6a型式
22	52	1a面	遺構202	土器 器種不明	(8.6)	(6.6)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・小石粒・やや粗土　c:灰黄色～灰色　e:やや甘い　f:2/3　g:かわらけ質の胎土・全体的に黒く変色・台状の底部を持つ・12世紀初に比定か
22	53	1a面	遺構202	金属製品 銅銭	外径2.45・内径2.08・孔径0.7×0.7			f:完形　g:判読不明　□□□寶　行書
26	1	1b面	遺構2	てづくね	(12.4)	—	3.3	a:手づくね・底部板状圧痕・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2　内外面黒色に変色
26	2	1b面	遺構2	かわらけ	(8.2)	(6.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3
26	3	1b面	遺構2	かわらけ	(7.4)	(5.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
26	4	1b面	遺構2	かわらけ	8.4	6.2	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:口唇部1箇所油煤痕
26	5	1b面	遺構2	かわらけ	(8.4)	(6.8)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/3
26	6	1b面	遺構2	かわらけ	(7.4)	(5.6)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:2/3
26	7	1b面	遺構2	かわらけ	(8.0)	(5.8)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:2/3
26	8	1b面	遺構2	かわらけ	8.4	6.4	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
26	9	1b面	遺構2	かわらけ	(8.2)	(6.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
26	10	1b面	遺構2	かわらけ	(13.0)	(7.6)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒多・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
26	11	1b面	遺構2	かわらけ	12.6	9.0	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒・泥岩粒・小石粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:内外面黒色に変色
26	12	1b面	遺構2	常滑 甕	—	(17.6)	—	a:輪積み成形　b:黒灰褐色　長石・白色粒・黒色粒・砂粒　c:灰褐色　e:硬質　f:底部部片　g:胴部下位、箆状工具による整形痕
26	13	1b面	遺構20	てづくね	(13.4)	—	3.0	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・板状圧痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/3
26	14	1b面	遺構24	かわらけ	(7.6)	(5.8)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:赤橙色　e:良好　f:1/3
26	15	1b面	遺構25	てづくね	13.6	—	3.8	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
26	16	1b面	遺構25	かわらけ	(8.4)	(6.8)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
26	17	1b面	遺構25	かわらけ	(8.8)	(6.6)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒多・小石粒・粗土c:橙色　e:良好　f:1/3
26	18	1b面	遺構25	かわらけ	10.8	8.2	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒多・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒多・小石粒・粗土c:橙色　e:良好　f:3/4
26	19	1b面	遺構25	かわらけ	(12.6)	(8.2)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒多・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒多・小石粒・粗土c:橙色　e:良好　f:3/4
26	20	1b面	遺構25	かわらけ	—	(8.6)	[1.6]	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土c:黄橙色　e:良好　f:底部片　g:内底に焼成後に孔を穿っている。
26	21	1b面	遺構25	青磁 碗	—	—	[2.1]	a:ロクロ　外面鎬蓮弁文　b:灰白色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
26	22	1b面	遺構25	金属製品 鉄釘	(6.5)	0.6	0.5	a:断面方形状に鋳造
26	23	1b面	遺構25	金属製品 銅銭	外径2.5・内径1.69・孔径0.8×0.8・厚0.12			f:完形　g:元豊通寶　篆書　初鋳年:北宋1078
26	24	1b面	遺構25	金属製品 銅銭	外径2.5・内径1.98・孔径0.9×0.9・厚0.10			f:完形　g:明道元寶　真書　初鋳年:北宋1032　全体に磨滅している
26	25	1b面	遺構32	渥美 壺	(12.4)	—	[4.1]	a:輪積み成形　b:灰黒色・微砂・白色粒　c:黒褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:2b型式
26	26	1b面	遺構34	かわらけ	(8.4)	(6.8)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/5
26	27	1b面	遺構35	てづくね	(8.4)	—	1.9	a:手づくね・外底指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
26	28	1b面	遺構36	常滑 甕	—	—	[2.3]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒　c:暗褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
26	29	1b面	遺構40	てづくね	8.8	—	2.0	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2
26	30	1b面	遺構40	てづくね	(8.8)	—	1.6	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/5
26	31	1b面	遺構40	てづくね	9.4	—	2.0	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・良土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4
26	32	1b面	遺構40	てづくね	(12.8)	—	3.3	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・板状圧痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
26	33	1b面	遺構40	てづくね	13.4	—	3.2	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形
26	34	1b面	遺構40	黄釉 盤	—	—	[6.5]	b:微砂・白色粒・黒色粒・やや良土　c:灰色　d:緑塊色　e:良好　f:口縁部片
26	35	1b面	遺構41	てづくね	(9.6)	—	(1.6)	a:手づくね・外底指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・硬質・良土　c:黄灰色　e:良好　f:1/5　薄手の器壁
26	36	1b面	遺構42	てづくね	(8.4)	—	1.9	a:手づくね・外底指頭痕・不明瞭な板状圧痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3　g:口唇部油煤痕・器壁剥離
26	37	1b面	遺構61	かわらけ	(9.0)	(7.2)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4　g:器壁剥離
26	38	1b面	遺構66	石製品 砥石	[6.4]	[2.4]	[0.5]	g:仕上砥・鳴滝産・砥面一面残存・側面切り出し痕
26	39	1b面	遺構75	かわらけ	(12.6)	8.0	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:3/4

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
26	40	1b面	遺構75	かわらけ	12.8	9.4	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土c:黄橙色　e:やや甘い　f:完形
26	41	1b面	遺構79	常滑 甕	—	—	—	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒　c:暗褐色　e:硬質　f:胴部片　g:斜格子の押印
27	42	1b面	遺構81	須恵器 蓋	—	—	[1.2]	b:灰黒色・微砂・白色粒・雲母・貝状骨芯　g:残存値－摘み部径[4.8]・武蔵産
27	43	1b面	遺構87	かわらけ	(8.8)	(6.1)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
27	44	1b面	遺構88	かわらけ	(8.3)	(6.5)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
27	45	1b面	遺構89	かわらけ	(8.6)	(7.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
27	46	1b面	遺構95	かわらけ	(8.2)	(6.2)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土c:橙色　e:やや甘い　f:1/2
27	47	1b面	遺構95	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[3.9]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒　c:灰色　e:硬質　f:口縁部片　g:5型式
27	48	1b面	遺構97	てづくね	(13.2)	—	(3.7)	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
27	49	1b面	遺構102	てづくね	(7.7)	—	1.6	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:良好　f:1/4
27	50	1b面	遺構102	てづくね	(9.3)	—	1.7	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
27	51	1b面	遺構102	てづくね	12.8	—	3.3	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:完形　g:歪み大
27	52	1b面	遺構102	かわらけ	(8.5)	(7.1)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/3
27	53	1b面	遺構102	かわらけ	(8.8)	(7.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3　g:歪み大
27	54	1b面	遺構102	かわらけ	(9.2)	7.4	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・白色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:5/6
27	55	1b面	遺構102	かわらけ	(13.7)	(9.2)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・　やや良土　c:橙色　e:良好　f:2/3
27	56	1b面	遺構102	青磁 碗	—	—	[3.1]	a:ロクロ　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰緑色半透明釉を薄く施釉　気泡・キズあり　e:堅緻　f:口縁部片　g:内面に片彫りの花文　龍泉窯系　碗Ⅰ類
27	57	1b面	遺構102	青磁 碗	—	—	[3.9]	a:ロクロ　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰緑色透明釉を薄く施釉　貫入・気泡・キズあり　e:堅緻　f:口縁部片　g:内面片彫りの蓮華文　龍泉窯系　碗Ⅰ類
27	58	1b面	遺構102	青磁 碗	—	(6.2)	[2.0]	a:ロクロ・外面無文・内面不明　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰緑色透明釉を高台内まで施釉　貫入・キズあり　e:堅緻　f:底部片　g:見込みに片彫りの花文か　龍泉窯系　碗Ⅰ類
27	59	1b面	遺構204	かわらけ	(11.6)	(7.4)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/4　g:口唇部灰色の付着物有
27	60	1b面	遺構205	かわらけ	8.4	7.1	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:4/5
27	61	1b面	遺構205	かわらけ	(11.8)	(7.4)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:雑な整形
27	62	1b面	遺構205	青磁 碗	—	—	[4.0]	a:ロクロ　外面鎬蓮弁文・内面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰青色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
27	63	1b面	遺構205	白磁 壺	(11.0)	—	[5.2]	a:ロクロ　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:壺Ⅲ-3類
27	64	1b面	遺構206	てづくね	(9.2)	—	1.8	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/2
27	65	1b面	遺構207	青磁 碗	—	—	[4.0]	a:ロクロ　内面片彫華文・外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
27	66	1b面	遺構208	かわらけ	(9..8)	(7.8)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・糸切痕不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/4
27	67	1b面	遺構208	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[5.0]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:5型式
27	68	1b面	遺構209	てづくね	(9.8)	—	2.2	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/4
27	69	1b面	遺構213	山茶碗	—	(6.2)	[2.4]	a:ロクロ・底部糸切り・高台貼り付け・高台部モミガラ痕　b:灰色・精緻　g:東濃型5型式
27	70	1b面	遺構214	かわらけ	(12.2)	(8.8)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
27	71	1b面	遺構214	かわらけ	(13.8)	(9.4)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
27	72	1b面	遺構215	てづくね	10.1	—	1.6	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5
27	73	1b面	遺構219	かわらけ	(8.2)	(7.0)	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・良土　c:橙色　e:良好　f:1/3
27	74	1b面	遺構225	かわらけ	(12.4)	(8.8)	2.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5
27	75	1b面	遺構229	てづくね	(12.8)	—	2.7	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:やや良好　f:1/5
27	76	1b面	遺構229	てづくね	(12.4)	—	2.95	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/2
27	77	1b面	遺構229	かわらけ	8.6	7.0	1.95	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:歪み大
27	78	1b面	遺構229	かわらけ	(8.3)	(5.8)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/2
27	79	1b面	遺構229	かわらけ	(8.2)	(6.4)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:3/4　g:歪み大
27	80	1b面	遺構229	かわらけ	(8.2)	(6.4)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/2　g:歪み大
27	81	1b面	遺構229	かわらけ	(8.6)	(6.4)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・糸切り痕ナデ消しか・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:1/2　g:歪み大・回転糸切、糸の引き抜き痕が外側面に残る。
27	82	1b面	遺構229	かわらけ	(12.2)	(9.4)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3
27	83	1b面	遺構229	青磁 皿	(10.4)	(4.4)	2.2	a:ロクロ　内面に箆による文様とジグザグ状の櫛点描文・外面無文・底部および体部下部は箆による整形のため露胎　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:同安窯　皿Ⅰ類
27	84	1b面	遺構229	青磁 碗	—	—	[4.3]	a:ロクロ　外面鎬蓮華文・蓮華の幅広く、鎬は不明瞭・内面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
27	85	1b面	遺構229	渥美 甕	—	—	[11.5]	a:輪積み　b:灰黒色　微砂・白色粒　c:灰黒色　e:良好・硬質　f:胴部片　g:縦線文の押印
27	86	1b面	遺構229	常滑 甕	—	—	[9.6]	a:輪積み成形　b:明茶褐色　微砂・白色粒　c:明茶褐色　e:軟質　f:胴部片　g:長方形の格子文の中に正方形凹部の押印
27	87	1b面	遺構229	産地不明 鉢	—	—	[8.0]	a:輪積み　b:黒褐色　微砂・白色粒　c:茶褐色　e:良好・硬質　f:胴部片　g:外面箆による整形痕・浅型の鉢か・産地、年代不明
27	88	1b面	遺構229	産地不明 甕	—	—	[4.4]	a:輪積み　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰褐色　e:良好　f:口縁部片　g:東海系の甕か
28	89	1b面	遺構233	てづくね	(9.2)	—	1.9	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・良土　c:橙色　e:良好　f:1/3
28	90	1b面	遺構236	山茶碗	—	—	[5.0]	a:ロクロ・内外面に厚く漆付着　b:灰色・精緻　f:口縁部片　g:尾張型8型式か

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
28	91	1b面	遺構240	瓦器碗	(12.0)	(6.6)	3.3	a:内型作り・口唇部輪花型・内外面黒色処理・内面平行状に暗文・外面磨き痕　b:灰色　均質　c:黒色　e:良好　f:1/5
28	92	1b面	遺構246	てづくね	9.2	—	1.8	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:完形
28	93	1b面	遺構252	須恵器 坏	(8.2)	—	[2.6]	a:ロクロ　b:砂粒・白色粒・海綿骨針　d:灰色　硬質　e:良好　g:湖西産・7世紀後半・蓋受けが付く坏
28	94	1b面	遺構257	かわらけ	(8.9)	(7.4)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
28	95	1b面	遺構257	かわらけ	(12.0)	(8.2)	2.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:1/4　g:内面黒色に変色・墨痕か
28	96	1b面	遺構258	かわらけ	(13.2)	(9.4)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:3/4　g:器壁摩耗
28	97	1b面	遺構265	てづくね	(7.2)	—	1.5	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・板状圧痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/5
28	98	1b面	遺構265	青磁 皿	(11.2)	(6.6)	2.7	a:ロクロ　内面ジグザグ状の櫛点描文・外面無文・底部および体部下部は篦による整形のため露胎　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色　e:堅緻　f:口縁部片　g:同安窯　Ⅲ Ⅰ類
28	99	1b面	遺構265	石製品 砥石	[4.9]	3.1	(1.2)	g:産地不明・中砥・砥面2面残存・側面切り出し痕
28	100	1b面	遺構268	かわらけ	12.6	8.8	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:完形
28	101	1b面	遺構272	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:赤橙色　e:良好　f:4/5
28	102	1b面	遺構272	かわらけ	(11.8)	(7.6)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切ナデ消し・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
28	103	1b面	遺構272	青磁 碗	—	—	[4.0]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
28	104	1b面	遺構272	青磁 碗	—	—	[3.4]	a:ロクロ　内面片彫蓮華文・外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
28	105	1b面	遺構272	青磁 鉢	—	(9.6)	[2.8]	a:ロクロ　内外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色　e:堅緻　f:口縁部片　g:高台断面三角形・龍泉窯系
28	106	1b面	遺構272	青磁 鉢	—	—	[1.6]	a:ロクロ　内外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色　e:堅緻　f:口縁部片　g:口縁部折縁・龍泉窯系
28	107	1b面	遺構272	常滑片口鉢 Ⅱ類	—	—	[2.5]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:6a型式
28	108	1b面	遺構272	常滑 壺	—	—	[8.7]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:6a型式
28	109	1b面	遺構273	てづくね	9.2	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・やや良土　c:橙色　e:良好　f:完形　g:口唇部油煤痕
28	110	1b面	遺構273	てづくね	13.1	—	3.3	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・体部ヨコナデ時の指抜き痕残る・内底ナデ　b:微砂・雲母・良土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形
28	111	1b面	遺構273	かわらけ	8.9	5.9	2.1	a:ロクロ・外底回転糸切・糸切り痕ナデ消しか・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:完形
28	112	1b面	遺構278	かわらけ	(9.0)	(6.2)	2.1	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
28	113	1b面	遺構286	てづくね	(7.4)	—	1.0	a:手づくね・体部・内面指頭ナデ消し　b:微砂・雲母・黒色粒多・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/5
28	114	1b面	遺構284	瓦 平瓦	長[20.3]幅[14.6]・厚2.0			a:凸面側面に平行した縄叩き痕・離れ砂付着・凹面布目痕不明瞭・ナデ整形・離れ砂付着・側縁篦削り整形　b:灰色・微砂・軟質・やや良土　e:軟質　g:Ⅰ期A類
28	115	1b面	遺構284	瓦 平瓦	長[8.7]幅[14.8]・厚2.6			a:凸面側面に平行した縄叩き痕・離れ砂付着・凹面布目痕不明瞭・ナデ整形・離れ砂付着・側縁篦削り整形　b:灰色・微砂・軟質・やや良土　e:軟質　g:Ⅰ期A類
29	1	1b面	遺構99	てづくね	(9.2)	—	1.9	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
29	2	1b面	遺構99	てづくね	9.1	—	1.9	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/2
29	3	1b面	遺構99	てづくね	9.4	—	1.85	a:手づくね・体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:良好　f:3/4
29	4	1b面	遺構99	てづくね	9.3	—	1.9	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4
29	5	1b面	遺構99	てづくね	9.3	—	1.9	a:手づくね・体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:歪み大　口唇部近くに刃物状の刺みあり
29	6	1b面	遺構99	てづくね	(9.2)	—	1.9	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3　g:内外面一部薄く黒くに変色
29	7	1b面	遺構99	てづくね	(8.0)	—	1.7	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/4
29	8	1b面	遺構99	てづくね	(9.0)	—	2.0	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・小石粒・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
29	9	1b面	遺構99	てづくね	(9.0)	—	1.2	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・やや良土　c:赤橙色　e:良好　f:1/4
29	10	1b面	遺構99	てづくね	(9.2)	—	1.6	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/4
29	11	1b面	遺構99	てづくね	(8.5)	—	1.6	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
29	12	1b面	遺構99	てづくね	9.6	—	1.9	a:手づくね・体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4　g:歪み大
29	13	1b面	遺構99	てづくね	(9.0)	—	2.0	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
29	14	1b面	遺構99	てづくね	8.8	—	1.8	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・・海綿骨針・やや良土　c:淡橙色　e:良好　f:2/3　g:歪み大
29	15	1b面	遺構99	てづくね	(13.0)	—	3.1	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
29	16	1b面	遺構99	てづくね	12.6	—	3.35	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:完形
29	17	1b面	遺構99	てづくね	(14.7)	—	3.4	a:手づくね　体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/2　歪み大　雑な整形
29	18	1b面	遺構99	てづくね	(13.8)	—	3.2	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:2/3　g:歪み大
29	19	1b面	遺構99	てづくね	(14.2)	—	3.0	a:手づくね　体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・白色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
29	20	1b面	遺構99	かわらけ	(8.0)	(6.4)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2　g:歪み大　全体的に黒く変色
29	21	1b面	遺構99	かわらけ	(8.0)	(6.2)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰色　e:やや甘い　f:1/3
29	22	1b面	遺構99	かわらけ	8.4	7.3	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:良好　f:2/3
29	23	1b面	遺構99	かわらけ	(8.2)	(7.0)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2　g:器表面剥離
29	24	1b面	遺構99	かわらけ	(8.4)	(6.5)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂多・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
29	25	1b面	遺構99	かわらけ	(8.3)	(6.4)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
29	26	1b面	遺構99	かわらけ	(8.7)	(6.2)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/2

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
29	27	1b面	遺構99	かわらけ	(8.8)	(7.2)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
29	28	1b面	遺構99	かわらけ	(9.0)	(6.5)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母多・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
29	29	1b面	遺構99	かわらけ	(8.5)	(6.2)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂多・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4　g:口唇部厚く油煤痕
29	30	1b面	遺構99	かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・赤色粒・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/2
29	31	1b面	遺構99	かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3　g:歪み大
29	32	1b面	遺構99	かわらけ	(9.4)	(7.4)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
29	33	1b面	遺構99	かわらけ	9.4	7.0	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒多・赤色粒・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:3/4　g:歪み大
29	34	1b面	遺構99	かわらけ	9.8	7.2	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:3/4　g:歪み大
30	35	1b面	遺構99	かわらけ	7.6	6.0	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:歪み大
30	36	1b面	遺構99	かわらけ	(8.5)	(7.0)	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:2/3
30	37	1b面	遺構99	かわらけ	8.5	6.8	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:暗黄色　e:良好　f:2/3
30	38	1b面	遺構99	かわらけ	8.7	6.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
30	39	1b面	遺構99	かわらけ	(9.1)	(7.6)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
30	40	1b面	遺構99	かわらけ	(9.3)	(8.0)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
30	41	1b面	遺構99	かわらけ	(11.9)	(8.3)	2.6	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:暗灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
30	42	1b面	遺構99	かわらけ	(12.3)	(9.0)	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
30	43	1b面	遺構99	かわらけ	(12.6)	(8.7)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
30	44	1b面	遺構99	かわらけ	(13.6)	(9.2)	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
30	45	1b面	遺構99	かわらけ	13.1	9.0	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒多・赤色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
30	46	1b面	遺構99	かわらけ	12.8	8.4	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒多・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:3/4
30	47	1b面	遺構99	かわらけ	13.4	9.8	2.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒・赤色粒・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:4/5　g:内外面部分的に黒く変色
30	48	1b面	遺構99	かわらけ	(12.8)	(8.8)	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母多・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
30	49	1b面	遺構99	かわらけ	(12.8)	(9.0)	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:灰黄色　e:甘い　f:1/3
30	50	1b面	遺構99	かわらけ	13.0	9.0	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5　g:歪み大
30	51	1b面	遺構99	かわらけ	(13.6)	(9.4)	2.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後貼込み周囲をナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
30	52	1b面	遺構99	かわらけ	(13.4)	8.8	2.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
30	53	1b面	遺構99	かわらけ	(13.2)	(8.9)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
30	54	1b面	遺構99	かわらけ	(13.3)	(8.2)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
30	55	1b面	遺構99	かわらけ	(13.2)	(8.5)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:3/4　g:内面薄く黒く変色
30	56	1b面	遺構99	かわらけ	(12.5)	(8.3)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒多・小石粒・粗土　c:橙色　e:良好　f:2/3　g:内外面部分的に黒く変色　歪み大
30	57	1b面	遺構99	かわらけ	(12.7)	(9.3)	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底指頭による強いナデ(拓本あり)　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
30	58	1b面	遺構99	青磁 碗	—	—	[3.0]	a:ロクロ　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:灰緑色半透明釉をやや薄く施釉・高台内底部は露胎　e:堅緻　f:口縁部片　g:内面に片彫りで草花状の文様と楕目文　龍泉窯系　碗Ⅰ類
30	59	1b面	遺構99	青磁 碗	—	—	[3.1]	a:ロクロ　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰青色透明釉を薄く施釉　気泡多　e:堅緻　f:口縁部片　g:内面片彫りによる施文・外面上位に沈線が廻る　龍泉窯系　碗Ⅰ類
30	60	1b面	遺構99	青磁 碗	—	—	[2.7]	a:ロクロ　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰緑色透明釉を薄く施釉・気泡多・　e:堅緻　f:口縁部片　g:内面片彫りによる蓮華文・外面上位に沈線が廻る　龍泉窯系　碗Ⅰ類
30	61	1b面	遺構99	青磁 碗	(15.0)	—	[3.1]	a:ロクロ　b:灰白色　精良緻密土　d:淡青緑色不透明釉をやや厚く施釉　気泡あり　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　椀Ⅱ類
30	62	1b面	遺構99	青磁 碗	—	—	[2.35]	a:ロクロ　b:灰白色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰緑色不透明釉を薄く施釉　失透　e:堅緻　f:口縁部片　g:口縁部輪花に整形・体部内面に線の白堆線を施す・外面無文　龍泉窯系　碗Ⅰ類
30	63	1b面	遺構99	青磁 碗	—	—	[2.8]	a:ロクロ・外面無文・内面片彫りによる花文　b:黄味がかった灰色　精良緻密土　d:灰緑色透明釉を薄く施釉　気泡あり　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
30	64	1b面	遺構99	青磁 碗	(11.3)	(4.4)	4.9	a:ロクロ　b:灰白色　黒色微砂含む精良緻密土　d:淡灰緑色半透明釉をやや厚く施釉　気泡あり　e:堅緻　f:1/6　g:内面に白堆線による区分けを行う・口縁部輪花に整形　龍泉窯系　小椀Ⅰ-3類
30	65	1b面	遺構99	白磁 碗	—	(7.2)	[4.15]	a:ロクロ　b:白色　黒色微砂含む精良緻密土　d:灰白色不透明釉をやや厚く施釉・削り出し高台は露胎　気泡多　e:堅緻　f:底部片　g:内面劃花文・外面無文・　白磁椀Ⅶ-b類
30	66	1b面	遺構99	青白磁 合子	内径(5.0) 外径(6.2)	3.6	2.2	a:型つくり　b:白色　黒色微砂を僅かに含む精良緻密土　d:淡青水色半透明釉を施釉・口唇部＋受け部＋体部外面下位～底面は露胎　e:堅緻　f:1/2　g:外面蓮弁文・身部分・釉ツケ掛け
30	67	1b面	遺構99	黄釉 盤	—	—	[5.9]	b:微砂・白色粒・黒色粒・やや良土　c:灰色　d:緑塊色　e:良好　f:口縁部片
30	68	1b面	遺構99	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[11.4]	a:輪積み　内外面口縁部～体部上位はヨコナデ、外面体部下位はヘラ削り　内面体部下位は磨滅痕　b:灰色　微砂・長石多・石英・黒色粒・小石粒　c:黄灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:6a型式
30	69	1b面	遺構99	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[3.65]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・長石・石英・小石粒　c:灰色　d:口唇部に自然釉　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:4型式か
30	70	1b面	遺構99	かわらけ 転用品	径約7.0	—	1.4～1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:底部のみ　g:底部を円盤状にするため、故意に割り、そのまま未整形・加工途中か・かわらけ転用品
30	71	1b面	遺構99	金属製品 鉄釘	7.0	0.4	0.4	a:断面方形状に鋳造　g:錆の付着激しい
31	1	1b面	遺構216	てづくね	(7.0)	—	1.4	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・口唇部ヨコナデ・内底ナデ不明　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4　g:口唇部内折れ・内外面黒色に変色
31	2	1b面	遺構216	てづくね	(8.4)	—	1.8	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/4
31	3	1b面	遺構216	てづくね	(8.4)	—	1.8	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:2/3
31	4	1b面	遺構216	てづくね	(9.8)	—	1.4	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/4
31	5	1b面	遺構216	てづくね	(9.0)	—	1.5	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:灰色　e:良好　f:1/3　内外面黒色に変色
31	6	1b面	遺構216	てづくね	(9.0)	—	1.4	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明　b:微砂・雲母・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/5

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
31	7	1b面	遺構216	てづくね	(9.4)	—	1.8	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/4
31	8	1b面	遺構216	てづくね	(13.0)	—	2.8	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/3　外面一部薄く黒色に変色
31	9	1b面	遺構216	てづくね	(13.6)	—	3.3	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:2/3
31	10	1b面	遺構216	かわらけ	7.6	5.0	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/2
31	11	1b面	遺構216	かわらけ	(8.6)	(7.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
31	12	1b面	遺構216	かわらけ	(8.6)	(7.2)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/4　g:歪み大
31	13	1b面	遺構216	かわらけ	(9.0)	(6.8)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/4　g:糸切りの回転が緩い
31	14	1b面	遺構216	かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:3/4
31	15	1b面	遺構216	かわらけ	(11.4)	(7.2)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/2
31	16	1b面	遺構216	かわらけ	(11.6)	(7.2)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3　g:体部外面中位に強く稜が入る
31	17	1b面	遺構216	かわらけ	(13.0)	9.0	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:2/3　g:内外面部分的に黒色に変色
31	18	1b面	遺構216	かわらけ	12.3	8.0	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
31	19	1b面	遺構216	かわらけ	12.3	8.6	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:3/4
31	20	1b面	遺構216	かわらけ	(13.4)	8.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:3/4
32	21	1b面	遺構216	かわらけ	(13.2)	9.4	3.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:4/5
32	22	1b面	遺構216	かわらけ	(14.0)	(9.0)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3
32	23	1b面	遺構216	青磁 碗	—	—	[3.4]	a:ロクロ　内面無文・外面片彫り蓮弁文　b:灰白色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
32	24	1b面	遺構216	青磁 碗	—	—	[3.45]	a:ロクロ　内面片彫蓮華文・外面無文　b:灰白色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
32	25	1b面	遺構216	青磁 坏	—	(6.8)	[2.8]	a:ロクロ　内外面無文　b:灰白色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:底部片(1/3)　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
32	26	1b面	遺構216	青白磁 碗	—	—	[4.4]	a:ロクロ　内面櫛刀による草花文様・外面無文　b:灰白色　精良堅緻　d:淡青色 e:堅緻　f:胴部片
32	27	1b面	遺構216	青白磁 梅瓶	—	—	[2.1]	a:ロクロ　外面渦巻き文　b:灰白色　精良堅緻　d:淡青色 e:堅緻　f:胴部片
32	28	1b面	遺構216	白磁 碗	—	—	[4.1]	a:ロクロ　b:乳白色　精良堅緻　c:灰黄色　e:堅緻　f:口縁部片　g:碗Ⅷ類　内面上位に沈線が廻る
32	29	1b面	遺構216	山皿	8.0	4.0	1.75	a:ロクロ・回転糸切り　b:灰褐色　微砂・白色粒　c:灰黒色　e:硬質　f:1/2　g:内面黒色に変色　東遺-7型式か
32	30	1b面	遺構216	渥美 甕	—	—	[2.4]	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒　c:灰黒色　e:硬質　f:口縁部片　g:2b型式
32	31	1b面	遺構216	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[7.1]	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:5型式
32	32	1b面	遺構216	常滑 壺	—	—	[2.7]	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:短頸壷　1a型式
32	33	1b面	遺構216	常滑 壺	—	—	[8.0]	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰緑色　e:硬質　f:胴部片　g:唐草文の押印
32	34	1b面	遺構216	常滑 甕	—	—	[5.8]	a:輪積み成形　b:灰黒色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰褐色　e:硬質　f:胴部片　g:縦線文の押印
32	35	1b面	遺構216	石製品 砥石	[6.5]	5.6	5.4	g:砥面2面・側面切り出し痕・中砥・産地不明・白色
32	36	1b面	遺構216	漆器 碗	15.4	8.2	5.4	g:内外面ともに黒色漆塗漆・無文・総高台・外面下部に刃物による荒型痕が残る
32	37	1b面	遺構216	木製品 櫛	[2.7]	[2.7]	0.65	g:梳き櫛・漆が塗漆された痕跡不明・木地のままか
32	38	1b面	遺構216	木製品 用途不明	12.3	2.2～3.9	1.5	g:孔径約1.8　大倉幕府周辺遺跡(雪ノ下三丁目693番1地点)で、用途不明製品として同様の遺物が孔の部分に段面丸く整形した棒状木製品を嵌めこんだ状況で出土している。また、同じ形で二周り大きい製品を、「観音寺廃寺跡(秋田県埋蔵文化財調査報告書321週・平成13年)」では自在の部品として報告されている
32	39	1b面	遺構216	木製品 礎板	26.0	5.0	2.0	g:手斧痕が残る
32	40	1b面	遺構216	木製品 礎板	25.5	8.3	1.5	g:建材の転用品
32	41	1b面	遺構216	木製品 杭	[47.1]	3.9	3.5	g:断面方形
33	1	1面	面上	かわらけ	(8.3)	(6.2)	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	2	1面	面上	かわらけ	(7.8)	(6.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	3	1面	面上	かわらけ	(7.4)	(6.0)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:4/5　g:歪み大
33	4	1面	面上	かわらけ	(7.9)	(5.6)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
33	5	1面	面上	かわらけ	(7.8)	(5.0)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	6	1面	面上	かわらけ	8.0	5.8	1.95	a:ロクロ・外底回転糸切・糸切り痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形
33	7	1面	面上	かわらけ	(8.1)	(6.0)	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
33	8	1面	面上	かわらけ	(8.4)	(7.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
33	9	1面	面上	かわらけ	7.9	5.6	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:完形　g:歪み大
33	10	1面	面上	かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
33	11	1面	面上	かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/2
33	12	1面	面上	かわらけ	8.6	6.6	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5
33	13	1面	面上	かわらけ	(8.4)	(6.4)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	14	1面	面上	かわらけ	(8.0)	(6.4)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	15	1面	面上	かわらけ	(9.1)	(7.6)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切ナデ消し・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	16	1面	面上	かわらけ	(12.6)	(9.6)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナ強くデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/3

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
33	17	1面	面上	かわらけ	(11.8)	7.4	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:4/5　g:口唇部1箇所に指頭によって器壁を押し込んだ痕跡あり
33	18	1面	面上	かわらけ	(11.6)	(7.4)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	19	1面	面上	かわらけ	(12.0)	(8.6)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	20	1面	面上	かわらけ	12.0	7.8	3.05	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5
33	21	1面	面上	かわらけ	(12.0)	(9.6)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや良好　f:1/3
33	22	1面	面上	かわらけ	(12.7)	(8.8)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/4
33	23	1面	面上	かわらけ	(12.8)	(9.0)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3
33	24	1面	面上	かわらけ	(11.6)	(8.4)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:4/5
33	25	1面	面上	かわらけ	(12.8)	(9.0)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/2
33	26	1面	面上	かわらけ	(12.2)	(9.0)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・・小石粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3
33	27	1面	面上	かわらけ	(13.4)	(10.0)	2.5	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
33	28	1面	面上	かわらけ	(13.8)	(10.2)	3.05	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
33	29	1面	面上	青磁 碗	—	—	[3.4]	a:ロクロ　内面上位に沈線・内面箆による文様と串状工具による点描文・外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:同安窯　碗Ⅰ類
33	30	1面	面上	青磁 碗	—	—	[4.0	a:ロクロ　外面無文・内面劃花文　b:灰白色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
33	31	1面	面上	青磁 碗	—	—	[2.45]	a:ロクロ　外面広弁の蓮弁文　b:灰白色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
33	32	1面	面上	青磁 坏	—	(5.8)	[1.6]	a:ロクロ　外面鎬蓮弁文・内面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:底部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類　内面釉剥離、使用痕か　内外面共に貫入が入る
33	33	1面	面上	青磁 坏	—	—	[3.15]	a:ロクロ　外面無文・内面蓮弁文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
33	34	1面	面上	白磁 口兀皿	—	—	[1.1]	a:ロクロ　口縁端部口兀　b:灰白色　精良堅緻　d:灰白色 e:堅緻　f:口縁部片　g:皿Ⅸ類
33	35	1面	面上	黄釉 盤	—	—	[4.4]	b:微砂・白色粒・黒色粒・やや良土　c:灰色　d:緑塊色　e:良好　f:口縁部片
33	36	1面	面上	瀬戸 入子	(7.0)	—	[1.9]	a:ロクロ　b:微砂・良土　c:灰色　e:良好　f:口縁部片1/5　g:前期後半～中期
33	37	1面	面上	山皿	(8.2)	(5.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切　b:微砂・白色粒・やや粗土　c:灰色　e:やや甘い　f:1/2　g:尾張型7型式
33	38	1面	面上	山茶碗	—	—	[3.4]	a:ロクロ　b:灰色・精緻　f:口縁部片　g:東濃型7型式
33	39	1面	面上	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[5.4]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰緑色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
33	40	1面	面上	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[4.4]	a:輪積み　b:灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:3型式
33	41	1面	面上	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[2.9]	a:輪積み　b:暗灰色　砂粒・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:6a型式
33	42	1面	面上	産地不明 鉢	—	—	[5.8]	a:輪積み成形　b:橙色　微砂・白色粒・黒色粒・小石粒　c:明茶色　e:硬質　f:口縁部片　g:外面箆状工具による縦位の整形、口縁部辺は横位の整形痕・胎土は常滑に近似するが粘性のある土・内面摩耗痕なし・近世か
33	43	1面	面上	常滑 甕	—	—	[5.0]	a:輪積み成形　b:黒褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:黒褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
33	44	1面	面上	常滑 甕	—	—	[8.3]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
33	45	1面	面上	常滑 甕	—	—	[3.2]	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:茶褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
33	46	1面	面上	常滑 甕	—	—	[11.1]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
33	47	1面	面上	常滑 甕	—	—	[6.8]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:硬質　f:底部片　g:外側面下位に篦状工具による斜位の整形痕
33	48	1面	面上	火鉢 瓦器質	—	—	—	a:外面宝相華文　b:灰赤色・微砂・雲母多・貝片・小石粒・軟質　c:灰黒色　e:良好　f:胴部片　g:産地不明・器種不明・火鉢か・内面鉄分付着・外面文様部分摩耗・近世の製品か
33	49	1面	面上	火鉢 瓦器質	—	—	[4.1]	a:輪積み・内面横位の整形痕　b:灰赤色・小石粒・微砂・軟質　c:灰色　e:良好　f:口縁部片　g:ⅡE類・内面黒色に変色・口縁部に穿孔あり・外面器壁剥離
33	50	1面	面上	瓦器碗	—	—	[2.7]	a:内型作り・内外面黒色処理・内面平行状に暗文があるが不明瞭・外面磨き痕・外面下部指頭痕　b:灰色　c:黒色　e:良好　f:口縁部片
33	51	1面	面上	金属製品 鉄釘	[5.7]	0.6	0.4	a:断面方形状に鋳造　錆付着
33	52	1面	面上	金属製品 鉄釘	[3.4]	0.5	0.5	a:断面方形状に鋳造　錆付着
33	53	1面	面上	金属製品 鉄釘	[7.7]	[4.0]	[4.0]	g:断面方形・錆付着
33	54	1面	面上	瓦 平瓦	長[7.5]・幅[10.5]・厚2.6			a:凸面側面に平行した縄叩き痕・離れ砂付着・凹面布目痕不明瞭・ナデ整形・離れ砂付着・側縁箆削り整形　b:灰色・微砂・軟質・やや良土　e:軟質　g:Ⅰ期A類
34	55	1面	面上	瓦 丸瓦	径[17.6]・厚2.9			a:凸面離れ砂付着・黒色処理・凹面布目痕・筒部側縁箆削り整形・面取りの幅が広い　b:灰色・微砂・軟質・やや良土　e:軟質　g:Ⅱ期B類
34	56	1面	面上	かわらけ 転用品	—	(7.0)	[1.6]	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:底部片　g:円盤状に加工か・断面摩耗痕
35	1	1面	構成土	てづくね	(4.2)	—	1.0	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:白色・微砂・良土　c:白色　e:良好　f:1/4　g:口唇部内折れ・白かわらけ
35	2	1面	構成土	てづくね	—	—	[2.3]	a:手づくね・内外面体部ヨコナデ　b:白色・微砂・良土　c:白色　e:良好　f:口縁部片　g:白かわらけ
35	3	1面	構成土	てづくね	(8.9)	—	1.5	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:2/3
35	4	1面	構成土	てづくね	(8.4)	—	1.7	a:手づくね　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/5
35	5	1面	構成土	てづくね	(8.4)	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/4
35	6	1面	構成土	てづくね	(8.6)	—	1.9	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・やや良土　c:赤橙色　e:良好　f:2/3
35	7	1面	構成土	てづくね	(9.0)	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・良土　c:橙色　e:良好　f:1/3
35	8	1面	構成土	てづくね	(8.8)	—	1.5	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/5　図35-9のてづくねと同一個体の可能性あり
35	9	1面	構成土	てづくね	(8.4)	—	2.0	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/3　図35-8のてづくねと同一個体の可能性あり
35	10	1面	構成土	てづくね	(9.5)	—	1.5	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/6
35	11	1面	構成土	てづくね	(9.3)	—	1.4	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:2/3

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
35	12	1面	構成土	てづくね	(9.6)	—	1.5	a:手づくね　b:微砂・雲母・・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4　g:口唇部に油厚煤痕あり、内底面に無数のキズのような線刻あり
35	13	1面	構成土	てづくね	(10.8)	—	2.3	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3　g:内外面黒色に変色・口唇部外側に油煤痕付着
35	14	1面	構成土	てづくね	(11.5)	—	3.1	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:1/4　g:歪み大
35	15	1面	構成土	てづくね	(12.2)	—	3.1	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:1/4
35	16	1面	構成土	てづくね	(12.4)	—	3.2	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
35	17	1面	構成土	てづくね	(13.4)	—	2.9	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
35	18	1面	構成土	てづくね	(13.6)	—	2.8	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
35	19	1面	構成土	てづくね	(13.6)	—	3.3	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/3
35	20	1面	構成土	かわらけ	(8.6)	(4.0)	2.6	a:ロクロ・外底回転糸切・底部箆による整形・内底ナデ　b:白色・微砂・良土　c:白色　e:良好　f:底部片　g:白かわらけ
35	21	1面	構成土	かわらけ	(7.3)	(5.6)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄灰色　e:良好　f:1/3　g:口唇部薄く黒色に変色
35	22	1面	構成土	かわらけ	7.3	5.0	1.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・良土　c:暗黄橙色　e:良好　f:4/5　g:内外面一部黒く変色　薄手の器壁、硬質な胎土を持つ
35	23	1面	構成土	かわらけ	7.6	5.6	1.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:4/5
35	24	1面	構成土	かわらけ	7.7	5.2	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・良土　c:黄橙色　e:良好　f:3/4　g:内外面一部黒く変色　硬質な胎土を持つ
35	25	1面	構成土	かわらけ	(7.7)	(6.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4　g:口唇部油煤痕・内外面器壁剥離
35	26	1面	構成土	かわらけ	(7.6)	(5.5)	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:2/3
35	27	1面	構成土	かわらけ	(7.8)	(6.4)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデの後見込み周囲をナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3
35	28	1面	構成土	かわらけ	8.3	6.6	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:歪み大
35	29	1面	構成土	かわらけ	(8.6)	(6.8)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデの後見込み周囲をナデ・雑な整形　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/3
35	30	1面	構成土	かわらけ	8.0	6.1	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:4/5
35	31	1面	構成土	かわらけ	8.0	6.4	1.45	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:完形　g:歪み大
35	32	1面	構成土	かわらけ	(8.3)	(5.9)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2
35	33	1面	構成土	かわらけ	(8.1)	(6.0)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/2
35	34	1面	構成土	かわらけ	8.6	6.2	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:3/4　g:口唇部に油煤痕
35	35	1面	構成土	かわらけ	8.2	6.3	1.55	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:完形　g:口唇部一部打ち欠き痕
35	36	1面	構成土	かわらけ	8.2	6.2	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
35	37	1面	構成土	かわらけ	(8.1)	(6.4)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
35	38	1面	構成土	かわらけ	8.8	6.2	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:外面部分的に油煤痕
35	39	1面	構成土	かわらけ	8.5	7.2	1.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂多・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:3/4
35	40	1面	構成土	かわらけ	(8.7)	(6.6)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
35	41	1面	構成土	かわらけ	(8.8)	(6.3)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂多・雲母・黒色粒・赤色粒・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
35	42	1面	構成土	かわらけ	(8.9)	(6.6)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:1/2
35	43	1面	構成土	かわらけ	9.3	6.3	1.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:完形　g:内外面一部黒く変色・口唇部打ち欠き痕
35	44	1面	構成土	かわらけ	(8.8)	(7.3)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
35	45	1面	構成土	かわらけ	9.1	7.6	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/6　g:全体的に黒く変色
35	46	1面	構成土	かわらけ	(9.1)	(7.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/2
35	47	1面	構成土	かわらけ	(9.2)	(8.0)	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/2
35	48	1面	構成土	かわらけ	8.0	6.6	1.85	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・赤色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:完形
35	49	1面	構成土	かわらけ	(8.4)	(6.7)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土　c:灰黄色　e:良好　f:1/3
35	50	1面	構成土	かわらけ	(9.0)	(5.4)	2.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4　g:薄手丸深
35	51	1面	構成土	かわらけ	(9.1)	(7.0)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:完形　g:底部回転糸切りの糸切り痕が体部まで上がっている・雑な整形
35	52	1面	構成土	かわらけ	11.1	7.6	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形
35	53	1面	構成土	かわらけ	11.5	7.8	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・粗土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:内面器壁剥離
35	54	1面	構成土	かわらけ	(11.0)	(8.2)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
35	55	1面	構成土	かわらけ	(11.6)	8.4	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:3/4　g:内外面薄く黒色に変色
35	56	1面	構成土	かわらけ	(11.5)	(7.4)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/2
35	57	1面	構成土	かわらけ	(11.6)	(8.8)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:良好　f:1/4
35	58	1面	構成土	かわらけ	(11.8)	(9.0)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:灰黄色　e:良好　f:1/3　g:内外面薄く黒色に変色
35	59	1面	構成土	かわらけ	(11.3)	(8.2)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3
35	60	1面	構成土	かわらけ	11.5	8.1	3.15	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:5/6
35	61	1面	構成土	かわらけ	(11.5)	(8.8)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
35	62	1面	構成土	かわらけ	(11.6)	(8.3)	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/3

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
35	63	1面	構成土	かわらけ	12.2	7.7	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形
35	64	1面	構成土	かわらけ	12.1	7.9	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5
35	65	1面	構成土	かわらけ	12.3	8.1	3.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:4/5
35	66	1面	構成土	かわらけ	12.0	7.6	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土　c:橙色　e:良好　f:4/5　g:内面器壁剥離
35	67	1面	構成土	かわらけ	12.3	7.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切痕不明瞭・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:2/3　g:内外面薄く黒色に変色
35	68	1面	構成土	かわらけ	12.5	7.8	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:4/5
35	69	1面	構成土	かわらけ	(12.1)	(8.8)	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒多・泥岩粒・やや粗土　c:明橙色　e:良好　f:1/3
35	70	1面	構成土	かわらけ	(12.4)	(8.6)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:2/4
35	71	1面	構成土	かわらけ	(12.2)	(9.2)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:3/4
35	72	1面	構成土	かわらけ	(12.7)	(9.8)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/4
35	73	1面	構成土	かわらけ	12.9	8.9	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:5/6　g:内面薄く黒色に変色・歪み大
35	74	1面	構成土	かわらけ	(12.2)	(8.8)	2.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:1/3
35	75	1面	構成土	かわらけ	(13.1)	(9.1)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:1/4
35	76	1面	構成土	かわらけ	(13.1)	(8.8)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:2/3
35	77	1面	構成土	かわらけ	(12.5)	(5.8)	4.3	a:ロクロ・外底回転糸切　b:微砂・雲母・良土　c灰黄色　e:良好　f:1/4　g:薄手丸深・口唇部油煤痕
36	78	1面	構成土	青磁 皿	—	—	2.4	a:ロクロ　外面無文・内面箆による文様と櫛点描文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:胴部片(約1/8)　g:同安窯系　皿Ⅰ類
36	79	1面	構成土	青磁 皿	—	(4.9)	[1.6]	a:ロクロ　外面無文・内底面に箆による文様と櫛点描文　b:灰色　黒色微砂を含む精良堅緻　d:淡灰緑色半透明釉をやや厚く施釉・全面施釉後に底部外面の釉を掻き取り　e:堅緻　f:底部片　g:　同安窯系　皿Ⅰ類
36	80	1面	構成土	青磁 皿	(11.1)	—	[1.7]	a:ロクロ　b:黄色味がかった灰白色　黒色微砂を含む精良堅緻　d:灰色がかった乳白色透明釉を施釉　気泡あり　e:堅緻　f:口縁部片　g:同安窯系　皿Ⅰ類
36	81	1面	構成土	青磁 碗	—	—	[2.6]	a:ロクロ　体部やや内湾気味に立ち上がる・内面上位に沈線が廻る・外面細かい縦の櫛目文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:胴部片(約1/9)　g:同安窯系　碗Ⅰ類
36	82	1面	構成土	青磁 碗	—	—	[3.3]	a:ロクロ　外面無文・内面片彫蓮華文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
36	83	1面	構成土	青磁 碗	—	—	[4.0]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文・内外面共に貫入が多く入る　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
36	84	1面	構成土	青磁 碗	(16.5)	—	[2.6]	a:ロクロ　内面に劃花文　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰緑色不透明釉をやや厚く施釉　気泡　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　椀Ⅰ類
36	85	1面	構成土	青磁 碗	—	—	[3.8]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文・蓮弁文に横方向の整形痕・高台部露胎　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
36	86	1面	構成土	青磁 碗	—	—	[2.8]	a:ロクロ　外面片彫りによる蓮弁文・蓮弁文には細かい縦方向の櫛目文が入る・内面片彫り草花文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:胴部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
36	87	1面	構成土	青磁 碗	—	—	[2.3]	・a:ロクロ　内面に片刃による線刻・口縁部形は輪花になる形か　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰緑色不透明釉をやや厚く施釉　気泡　e:堅緻　f:口縁部片　g:　龍泉窯系　碗Ⅰ類
36	88	1面	構成土	青磁 碗	—	—	[2.3]	a:ロクロ　外面無文・内面に劃花文　b:灰色　黒色微砂を含む精良緻密土　d:淡灰緑色不透明釉をやや厚く施釉　気泡　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　椀Ⅰ類
36	89	1面	構成土	青磁 碗	—	(3.8)	[1.7]	a:ロクロ　内面無文・外面蓮弁文・高台部露胎　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:底部片　g:龍泉窯系　碗Ⅲ類
36	90	1面	構成土	青磁 坏	—	—	[2.8]	a:ロクロ　内面無文・外面蓮弁文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
36	91	1面	構成土	白磁 口兀碗	—	—	[2.9]	a:ロクロ　口唇部露胎・全面施釉　b:白色　黒色微砂含む精良緻密土　d:水色味の灰白色半透明釉を薄く施釉　e:堅緻　f:口縁部片　g:白磁椀Ⅸ類
36	92	1面	構成土	白磁 口兀皿	—	—	1.8	a:ロクロ　口唇部露胎・全面施釉　b:灰白色　精良堅緻　d:灰白色 e:堅緻　f:胴部片　g:皿Ⅸ類
36	93	1面	構成土	白磁 合子	—	—	1.9	a:型作り　内面施釉・蓋受け部、外面下位、底部露胎　b:精良堅緻　c:白色　d:白色　e:良好　f:胴部片
36	94	1面	構成土	青白磁 皿	—	—	[1.9]	a:ロクロ・型押し　口唇部露胎・全面施釉　内面型押しで雷文等の印画文を施す　b:白色　精良緻密土　d:水色　e:堅緻　f:口縁部片　g:皿Ⅹ類
36	95	1面	構成土	青白磁 合子	外径(8.2) 内径(6.0)	—	[0.9]	a:型作り　b:白色　黒色微砂含む精良緻密土　d:水青色透明釉を薄く施釉・蓋かえし部は露胎　e:堅緻　f:小片　g:天頂部に花文・蓋部分
36	96	1面	構成土	青白磁 合子	—	—	厚さ0.3	a:型作り　b:白色　黒色微砂含む精良緻密土　d:灰味水青色透明釉を薄く施釉・端部露胎　e:堅緻　f:蓋の頂部片　g:天頂部に草文、魚文(双魚？)
36	97	1面	構成土	青白磁 香炉	(8.2)	—	[4.1]	a:蓋受け部露胎・外面上位に珠文が廻る・体部には蓮弁文が施文されていた様子だが、厚く釉がかかり不鮮明になっている・外面下位露胎・内面施釉　b:白色　精良堅緻　d:水色 e:堅緻　f:胴部片
36	98	1面	構成土	青白磁 梅瓶	—	—	[4.3]	a:ロクロ　外面渦巻き文　b:灰色　精良堅緻　d:灰青色 e:堅緻　f:胴部片
36	99	1面	構成土	瀬戸 入子	—	(4.4)	[1.4]	a:底部回転糸切り・内底ナデ痕　b:灰色・微砂・硬質　e:良好　f:1/5　g:中期
36	100	1面	構成土	瀬戸 洗	(16.8)	(13.3)	5.0	a:外面体部下位箆による横位の整形痕　b:灰色・微砂・白色粒・硬質　e:良好　f:1/4　g:前Ⅰ期
36	101	1面	構成土	山茶碗	—	—	[3.7]	a:ロクロ　b:灰色　砂粒・黒色粒・白色粒・長石　c:灰色　d:口唇部に淡灰緑色の自然釉　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:尾張型・5型式か
36	102	1面	構成土	山茶碗	—	—	[2.0]	a:ロクロ　底部回転糸切り・高台部貼り付け　b:灰赤色・小石粒・白色粒・軟質　d:灰色 e:良好　f:底部片　g:渥美・湖西型か
36	103	1面	構成土	山皿	(7.9)	—	[1.4]	a:ロクロ　　b:灰色・微砂・白色粒・雲母・硬質　e:良好　f:口縁部片　g:尾張型・8型式か
36	104	1面	構成土	渥美 壺	—	—	[5.0]	a:輪積み　b:灰白色・微砂・白色粒　c:灰色　e:良好　f:胴部片　g:外面縦線文の押印
36	105	1面	構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[5.9]	a:輪積み　b:灰白色・微砂・黒色粒・白色粒　c:灰色　e:良好　f:胴部片(片口部分)　g:5型式
36	106	1面	構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[5.4]	a:輪積み・高台粘土貼り付け・底部指頭によるナデ痕・外面体部下位箆による整形痕　b:灰白色・微砂・白色粒　c:灰色　e:良好　f:底部片　g:6a型式 g:内面摩耗
36	107	1面	構成土	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	10.1	a:輪積み・外面体部箆による縦位のナデ・内面体部箆による横位のナデ・見込み摩耗・口縁端部外側に折り返して形成　b:橙色・微砂・白色粒　c:茶褐色　e:良好　f:底部片　g:型式不明
36	108	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[7.4]	a:輪積み　b:灰褐色・微砂・白色粒　c:暗褐色　e:良好　f:口縁部片　g:5型式
36	109	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[7.4]	a:輪積み　b:暗褐色・微砂・白色粒　c:暗褐色　e:良好　f:口縁部片　g:6a型式
36	110	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[9.9]	a:輪積み　b:暗褐色・微砂・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:良好　f:口縁部片　g:6a型式
36	111	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[14.2]	a:輪積み　b:灰褐色・微砂　c:褐色　e:良好　f:胴部片　g:四角入子と斜格子の組み合わせ文の押印
36	112	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[10.2]	a:輪積み　b:灰褐色・微砂・白色粒・小石粒　c:明茶褐色　e:良好　f:胴部片　g:格子の市松文の押印
36	113	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[6.3]	a:輪積み　b:灰褐色・微砂・白色粒・小石粒　c:明茶褐色　e:良好　f:胴部片　g:格子の市松文の押印

単位(cm)

表1 出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
36	114	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[7.2]	a:輪積み・外面体部縦位のヘラナデ b:灰褐色・微砂・白色粒・小石粒 c:暗灰色 e:良好 f:胴部片 g:線文の押印(羊歯文か)
36	115	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[4.5]	a:輪積み b:灰褐色・微砂 c:明褐色 e:良好 f:胴部片 g:三角入子の組み合わせ文の押印
36	116	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[7.0]	a:輪積み b:灰褐色・微砂・白色粒 c:暗緑色 e:良好 f:胴部片 g:格子文の押印
36	117	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[4.5]	a:輪積み b:灰褐色・微砂 c:暗褐色 e:良好 f:胴部片 g:葉文の押印
36	118	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[7.8]	a:輪積み b:灰褐色・微砂 c:暗緑色 e:良好 f:胴部片 g:葉文の押印
37	119	1面	構成土	常滑 壺	—	—	[16.8]	a:輪積み b:暗褐色 砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:褐色 e:良好・硬質 f:胴部片 g:草花文(蕨か)の押印
37	120	1面	構成土	瓦器碗	—	—	[2.1]	a:ロクロ b:微砂 堅緻 c:灰色 d:灰黒色 e:良好 f:口縁部片 g:内外面黒色処理と横位のヘラ磨き・内面暗文が廻る
37	121	1面	構成土	土師器 甕	—	(5.1)	[1.4]	b:灰褐色・微砂・黒色粒・白色粒 e:良好 f:高台部片 g:内黒土器か・12世紀代
37	122	1面	構成土	金属製品 鉄釘	(5.0)	0.4	0.4	g:断面方形・錆付着
37	123	1面	構成土	金属製品 刀子	[11.5]	1.2	0.3	g:鏑付着
37	124	1面	構成土	石製品 鍋			[3.4]	f:鍔部分 g:滑石製鍋
37	125	1面	構成土	石製品 砥石	[6.3]	3.0	[0.6]	g:鳴滝産・仕上砥 砥面1面残存・側面切り出し痕
37	126	1面	構成土	石製品 砥石	[9.1]	3.3	0.9～2.3	g:鳴滝産・仕上砥 砥面2面残存・側面切り出し痕
37	127	1面	構成土	石製品 碁石	2.2	2.0	0.4	g:黒色
37	128	1面	構成土	金属製品 銅銭	外径2.47・内径2.08・ 孔径0.6×0.6・厚0.12			f:完形 g:元祐通寶 篆書 初鋳年:北宋1086
37	129	1面	構成土	金属製品 銅銭	外径2.0・孔径0.6×0.6・厚0.04			g:磨り銭・判読不可・銭端部に小孔あり
42	1	2面	遺構110	かわらけ	(8.2)	(6.4)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
42	2	2面	遺構110	かわらけ	(9.2)	(7.2)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:橙色 e:良好 f:2/3 g:歪み大
42	3	2面	遺構110	かわらけ	(9.6)	(7.8)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
42	4	2面	遺構110	かわらけ	(13.0)	(8.4)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明 b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:橙色 e:良好 f:2/5 g:歪み大
42	5	2面	遺構119	てづくね	(8.4)	—	1.7	a:手づくね 体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3
42	6	2面	遺構119	てづくね	(9.8)	—	1.8	a:手づくね 体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:口縁部片 f:1/4
42	7	2面	遺構119	てづくね	(13.8)	—	3.4	a:手づくね 体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/2 g:内外面全体的に黒く変色
42	8	2面	遺構119	てづくね	(14.0)	—	3.5	a:手づくね 体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
42	9	2面	遺構119	てづくね	(13.4)	—	3.0	a:手づくね 体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:良好 f:口縁部片 f:1/5
42	10	2面	遺構119	かわらけ	(9.6)	(8.0)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕強・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/2 g:口縁部内外面の一部に薄く油煤痕
42	11	2面	遺構137	石製品 火打石	[2.2]	[1.7]	[1.6]	a:チャート b:石英 c:乳白色
42	12	2面	遺構137	石製品 碁石	2.0	1.3	0.45	a:円盤状に削りを施す b:伊豆石 c:黒色
42	13	2面	遺構150	てづくね	(9.0)	—	1.5	a:手づくね 体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・やや良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
42	14	2面	遺構150	てづくね	(9.4)	—	1.8	a:手づくね 体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
42	15	2面	遺構150	てづくね	(14.0)	—	3.2	a:手づくね 体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母多・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:やや甘い f:2/3
42	16	2面	遺構150	てづくね	13.8	—	3.0	a:手づくね 体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/2
42	17	2面	遺構150	かわらけ	8.6	7.4	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂多・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2
42	18	2面	遺構150	かわらけ	(9.0)	(6.8)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂多・雲母多・赤色粒・白色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
42	19	2面	遺構150	かわらけ	(9.0)	(7.8)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂多・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/4
42	20	2面	遺構150	かわらけ	9.0	6.8	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂多・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨針・やや良土 c:灰黄色 e:やや甘い f:完形
42	21	2面	遺構155	かわらけ	(9.2)	(7.8)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・良土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4
42	22	2面	遺構155	青磁 皿	—	(4.4)	[1.7]	a:ロクロ 内面に箆による文様とジグザグ状の櫛点描文 b:淡黄灰色 黒色砂粒含む精良緻密土 d:灰緑色透明釉を薄く施釉(光沢・貫入あり) →底部外面の釉は掻き取り e:堅緻 f:底部1/3 g:同安窯系皿Ⅰ類
42	23	2面	遺構157	常滑 壺	—	—	[8.1]	a:輪積み成形 b:明灰褐色 長石・白色粒・黒色粒・砂粒 c:暗褐色 d:内面口唇部・外面肩部に白濁した自然降灰あり e:硬質 f:口縁部片 g:5型式
42	24	2面	遺構191	瓦 丸瓦	—	—	1.8	a:凹面は布目叩き 凸面は弱い縦位ナデ 側縁をヘラケズリで2面の面取り b:東海系陶器質 淡黄褐色 砂粒・長石多・小石粒を含む粗土 c:淡黄褐色 e:硬質 f:側縁部小片 g:Ⅰ期C類(東海系)・破片のため径は不明
42	25	2面	遺構301	かわらけ	(8.4)	(6.5)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/4
42	26	2面	遺構301	渥美 壺	—	—	[12.0]	a:輪積み b:灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色 e:良好・硬質 f:胴部片 g:斜格子の押印
42	27	2面	遺構346	てづくね	9.4	—	1.9	a:手づくね・底部板状圧痕・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土 c:橙色 e:良好 f:2/3
42	28	2面	面上	金属製品 鉄釘	[7.5]	1.1	1.0	a:断面方形状に鋳造 f:先端部欠損 g:鏑の付着激しい
43	1		表土	てづくね	8.0	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭不明瞭・内外面体部ヨコナデ b:微砂・雲母多・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:完形 g:口唇部2か所油煤痕
43	2		表土	てづくね	(8.6)	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位不明瞭な指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/2 g:内外面一部黒色に変色
43	3		表土	てづくね	(9.0)	—	1.7	a:手づくね・体部外面下位不明瞭な指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
43	4		表土	てづくね	(9.0)	—	1.3	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
43	5		表土	てづくね	9.0		1.65	a:手づくね・体部外面下位指頭ナデ消し・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・良土 c:橙色 e:良好 f:完形
43	6		表土	てづくね	9.0		2.0	a:手づくね・体部外面下位不明瞭な指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:ほぼ完形 g:内外面油煤痕・歪み大
43	7		表土	てづくね	(9.4)		1.7	a:手づくね・体部外面下位指頭痕ナデ消し・内外面体部ヨコナデ b:微砂・雲母・良土 c:黄灰色 e:良好 f:1/3

単位(cm)

表1 出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
43	8		表土	てづくね	(9.6)		1.8	a:手づくね・体部外面下位不明瞭な指頭痕・内外面体部ヨコナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄灰色 e:良好 f:1/2 g:口唇部油煤痕・内面器壁剥離
43	9		表土	かわらけ	4.8	3.6	1.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形 g:口唇部内折れ
43	10		表土	かわらけ	6.8	3.8	1.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
43	11		表土	かわらけ	(7.4)	(5.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/2
43	12		表土	かわらけ	7.3	5.4	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母多・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
43	13		表土	かわらけ	7.4	6.0	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母多・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:橙色 e:良好 f:完形
43	14		表土	かわらけ	(7.6)	(5.6)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:2/3
43	15		表土	かわらけ	(7.4)	(5.8)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2
43	16		表土	かわらけ	7.8	5.8	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
43	17		表土	かわらけ	(7.4)	4.6	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:5/6
43	18		表土	かわらけ	(7.2)	(5.6)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/3
43	19		表土	かわらけ	7.8	5.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形
43	20		表土	かわらけ	(7.0)	(4.8)	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
43	21		表土	かわらけ	7.2	4.8	1.95	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒多・黒色粒多・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/4
43	22		表土	かわらけ	7.6	5.8	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形
43	23		表土	かわらけ	(8.4)	(6.4)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:1/3
43	24		表土	かわらけ	8.1	5.8	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:完形 g:歪み大
43	25		表土	かわらけ	8.0	6.0	1.75	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込みナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形 g:口唇部3箇所打ち欠けか
43	26		表土	かわらけ	7.6	5.8	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・白色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:ほぼ完形 g:内面器壁剥離
43	27		表土	かわらけ	8.0	6.0	1.85	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:赤橙色 e:良好 f:5/6
43	28		表土	かわらけ	(8.0)	(5.2)	2.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3 g:口唇部摩耗
43	29		表土	かわらけ	8.0	6.4	1.75	a:ロクロ・外底回転糸切・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:完形 g:歪み大
43	30		表土	かわらけ	(8.2)	(6.6)	2.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母多・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:2/3
43	31		表土	かわらけ	8.2	6.0	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:3/4
43	32		表土	かわらけ	8.3	7.2	1.65	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込みナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:3/4
43	33		表土	かわらけ	(8.0)	(7.0)	1.6	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2
43	34		表土	かわらけ	(7.8)	(6.8)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨針・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
43	35		表土	かわらけ	(8.2)	(6.8)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:赤橙色 e:良好 f:1/2
43	36		表土	かわらけ	(8.4)	(6.6)	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/4
43	37		表土	かわらけ	(8.4)	(6.8)	1.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4
43	38		表土	かわらけ	(8.4)	(7.2)	2.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:2/3
43	39		表土	かわらけ	(8.4)	(6.8)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:1/2
43	40		表土	かわらけ	(8.4)	(6.2)	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/3
43	41		表土	かわらけ	(8.4)	(5.4)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3
43	42		表土	かわらけ	(8.4)	(6.4)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:3/4 g:内面器壁剥離・歪み大
43	43		表土	かわらけ	8.4	7.6	1.7	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:橙色 e:やや甘い f:5/6
43	44		表土	かわらけ	8.8	5.0	2.0	a:ロクロ・外底回転糸切・内底回転ナデ b:微砂・雲母多・黒色粒多・海綿骨針・良土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5
43	45		表土	かわらけ	(8.4)	(6.8)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母多・黒色粒多・海綿骨針・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
43	46		表土	かわらけ	8.4	6.0	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:ほぼ完形
43	47		表土	かわらけ	8.5	5.6	1.75	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄灰色 e:良好 f:ほぼ完形
43	48		表土	かわらけ	(9.0)	(6.4)	1.8	a:ロクロ・外底回転糸切不明瞭・板状圧痕不明瞭 b:微砂・雲母多・黒色粒多・海綿骨針・小石粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:2/3
43	49		表土	かわらけ	(9.4)	(8.0)	1.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
43	50		表土	かわらけ	9.4	6.8	1.95	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:完形 g:内外面黒色に変色
43	51		表土	かわらけ	(9.2)	(7.4)	1.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3 g:歪み大
43	52		表土	かわらけ	(10.0)	(7.6)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3 g:内外面一部黒色に変色
43	53		表土	かわらけ	(11.8)	8.4	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・小石粒・粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:3/4 g:内外面器壁剥離
43	54		表土	かわらけ	(12.0)	6.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:2/3
43	55		表土	かわらけ	12.4	8.0	2.75	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底強くナデ b:微砂・雲母・黒色粒・やや良土 c:橙色 e:良好 f:ほぼ完形
43	56		表土	かわらけ	12.2	8.0	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや良土 c:黄灰色 e:良好 f:完形 g:内外面口唇部厚く油煤痕
43	57		表土	かわらけ	12.4	8.6	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭 b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:やや甘い f:4/5 g:内面器壁剥離
43	58		表土	かわらけ	12.2	8.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:ほぼ完形 g:内外面一部黒色に変色・口唇部油煤痕
43	59		表土	かわらけ	(12.6)	(8.8)	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂多・雲母・赤色粒多・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:ほぼ完形

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
43	60		表土	かわらけ	12.4	8.2	3.1	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底弱くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:ほぼ完形　g:口唇部片側のみ油煤痕
43	61		表土	かわらけ	12.6	8.6	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:口唇部油煤痕
43	62		表土	かわらけ	12.6	8.2	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
43	63		表土	かわらけ	(12.6)	(9.0)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:2/3
43	64		表土	かわらけ	12.2	8.0	3.25	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:灰黄色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:外面黒色に変色・内面薄く黒色に変色
43	65		表土	かわらけ	(12.2)	(8.0)	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/2
43	66		表土	かわらけ	12.6	7.8	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:ほぼ完形　g:口唇部2箇所薄く油煤痕
43	67		表土	かわらけ	(13.0)	(8.8)	3.4	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:3/4
43	68		表土	かわらけ	13.3	8.8	2.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・やや粗土　c:黄灰色　e:やや甘い　f:4/5
43	69		表土	かわらけ	(13.4)	(10.0)	3.0	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母多・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/3　g:底部粘土版貼り付けか？
43	70		表土	かわらけ	(13.2)	(10.4)	2.7	a:ロクロ・外底回転糸切・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒多・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:やや甘い　f:1/3　g:口唇部1か所油煤痕
43	71		表土	かわらけ	(14.0)	(9.0)	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:やや甘い　f:1/2
43	72		表土	かわらけ	(14.2)	7.6	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:4/5
43	73		表土	かわらけ	11.0	6.2	3.2	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強くナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・良土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5　g:薄手丸深
43	74		表土	かわらけ	11.2	7.0	2.9	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・良土　c:黄橙色　e:良好　f:4/5
43	75		表土	かわらけ	(13.2)	7.8	3.3	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや良土　c:橙色　e:良好　f:3/4　g:薄手丸深
43	76		表土	青磁 碗	—	—	[4.3]	a:ロクロ　内面劃花文・外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
43	77		表土	青磁 碗	—	—	[5.1]	a:ロクロ　内面劃花文・外面無文　b:灰色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅰ類
43	78		表土	青磁 碗	—	—	[4.4]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文　b:灰白色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
43	79		表土	青磁 碗	—	—	[3.4]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文　b:灰白色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　碗Ⅱ類
44	80		表土	青磁 坏	(12.4)	—	[2.9]	a:ロクロ　内面無文・外面鎬蓮弁文　b:灰白色　精良堅緻　d:青緑色(外面火熱の影響か、釉剥離)　e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
44	81		表土	青磁 坏	—	—	(1.9)	a:ロクロ　内面蓮弁文(細弁)・外面無文　b:灰白色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
44	82		表土	青磁 坏	—	—	[2.9]	a:ロクロ　内外面無文　b:灰白色　精良堅緻　d:青緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
44	83		表土	青磁 坏	—	—	[2.5]	a:ロクロ　内外面無文　b:灰白色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片　g:龍泉窯系　坏Ⅲ類
44	84		表土	白磁 碗	—	—	[4.1]	a:ロクロ　内面櫛刀や篦による文様　b:灰白色　精良堅緻　d:灰白色 e:堅緻　f:口縁部片　g:椀Ⅶ類？
44	85		表土	白磁 口兀皿	—	—	[1.7]	a:ロクロ　口唇部露胎・全面施釉　b:灰白色　精良堅緻　d:灰青色 e:堅緻　f:口縁部片　g:皿Ⅸ類
44	86		表土	白磁 口兀皿	—	(6.2)	[1.8]	a:ロクロ　口唇部露胎・全面施釉　b:灰白色　精良堅緻　d:灰白色 e:堅緻　f:底部片　g:皿Ⅸ類
44	87		表土	青白磁 碗	—	(5.6)	[1.7]	a:ロクロ　内面見込み櫛刀による文様・外面無文・高台底部露胎　b:灰白色　精良堅緻　d:淡青色　e:堅緻　f:底部片　g:椀Ⅶ類？
44	88		表土	青白磁 碗	—	—	[2.8]	a:ロクロ　内面櫛刀や篦による文様・外面無文　b:灰白色　精良堅緻　d:淡青色　e:堅緻　f:口縁部片　g:椀Ⅶ類？
44	89		表土	青白磁 合子	(5.6)	—	[1.5]	a:形押し　外面蓮弁文　b:灰白色　精良堅緻　d:青灰色 e:堅緻　f:身一胴部片
44	90		表土	山茶碗	(15.2)	(7.2)	5.2	a:ロクロ・底部糸切り痕・高台部貼り付け・高台部モミガラ痕・内底面摩耗　b:砂粒・長石・小石粒・石英　c:灰色　e:良好・軟質　f:1/4　g:尾張型・6-7型式
44	91		表土	山茶碗	—	—	[3.6]	a:ロクロ　b:微砂・白色粒　c:灰色　e:良好・硬質　f:口縁部片　g:東濃型・5型式
44	92		表土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[5.1]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰緑色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
44	93		表土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	[4.85]	a:輪積み成形　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
44	94		表土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	[14.0]	[7.8]	a:輪積み成形・高台部貼り付け痕　b:茶褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:茶褐色　e:硬質　f:底部片　g:6a型式　高台部欠損・内底面摩耗・外面下位篦による整形痕・整形、胎土ともにⅡ類の様相を呈しているが、高台部の痕跡が残っていたためにⅠ類として報告
44	95		表土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	(14.0)	[4.1]	a:輪積み成形・高台部貼り付け　b:灰色　微砂・白色粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:底部片　g:6a型式　内面摩耗・内底面器壁剥離
44	96		表土	常滑 甕	—	—	[2.7]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒　c:灰褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:4型式
44	97		表土	常滑 甕	—	—	[4.5]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒　c:灰褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:4型式
44	98		表土	常滑 甕	—	—	[7.1]	a:輪積み成形　b:茶褐色　微砂・白色粒　c:明褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:5型式
44	99		表土	常滑 甕			[7.5]	a:輪積み成形　b:灰褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:暗褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
44	100		表土	常滑 甕	—	—	[6.8]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:茶褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
44	101		表土	常滑 甕	—	—	[11.1]	a:輪積み成形　b:暗褐色　微砂・白色粒・小石粒　c:茶褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式
44	102		表土	瓦 平瓦	[8.2]	[15.5]	2.1	a:凸面縄目痕・離れ砂付着・凹面布目痕・ナデ消し・離れ砂付着・側面箆ケズリ整形・挟端面箆削り整形　b:灰黒色・微砂・白色粒・硬質・良土　e:硬質　g:Ⅰ期A類
44	103		表土	瓦 平瓦	[8.0]	[9.2]	1.9	a:凸面縄目痕・離れ砂付着・凹面布目痕・離れ砂付着・側面箆ケズリ整形　b:灰黒色・微砂・白色粒・硬質・良土　e:硬質　g:Ⅰ期A類
44	104		表土	金属製品 鉄釘	(6.8)	1.3	0.9	a:断面方形状に鋳造　錆付着
44	105		表土	金属製品 鉄釘	(7.1)	1.4	1.1	a:断面方形状に鋳造　錆付着
44	106		表土	金属製品 鉄釘	(11.0)	1.4	1.0	a:断面方形状に鋳造　錆付着
44	107		表土	金属製品 用途不明	[6.4]	[5.2]	[0.8]	a:片面緩やかにカーブする・碗型か
44	108		表土	金属製品 用途不明	3.8	2.1	0.1	a:銅製品　g:半円形を呈する　1ヶ所孔があく、釘隠しか
44	109		表土	石製品 用途不明	[5.4]	2.6	2.1	g:滑石を加工　2箇所平坦に磨耗している箇所あり、使用痕か

単位(cm)

表1　出土遺物観察表

図版番号	枝番	面	遺構名	種別	口径／長さ	底径／幅	器高／厚さ	観察内容 a:成形・調整　b:胎土・素地・材質　c:色調　d:釉調　e:焼成　f:遺存値　g:備考
44	110		表土	金属製品 印刷版	9.3	4.7	0.4	中央に小孔二か所あり。版の裏は平らになっているため棒状の板に打ちつけて使用したものか・一回で一種類のデザインが二枚押印される・牛乳瓶封緘紙を印刷する版・中央に「全乳」の陰刻。陰刻を挟んで上下は陽刻・「全乳」下部右「北鎌倉」・中央「清光舎　鎌倉　販賣所」・左「建長寺前一四五」ー「全乳」上部右「北鎌倉」・中央「品質本位・精撰牛乳」・左「建長寺前一四五」・ピンク色の不明付着物が全面に遺存する
44	111		表土	石製品 数珠玉	直径2.2	穿孔部径0.25×0.3		a:水晶製　f:完形品
44	112		表土	金属製品 銅銭	径2.0×厚さ0.16			g:菊五銭白銅貨・明治二十四年・(初年明治二十二年～三十年まで発行)
44	113		表土	金属製品 銅銭	外径2.4・内径2.1・孔径0.6×0.6・厚0.1			f:ほぼ完形　g:天聖元寶　初鋳年:北宋1023年　真書
45	1		廃土山	てづくね	(13.2)	—	(3.3)	a:手づくね・体部外面下位指頭痕・内外面体部ヨコナデ・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:赤橙色　e:やや甘い　f:1/3
45	2		廃土山	かわらけ	7.4	5.8	1.45	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・やや粗　土　c:橙色　e:良好　f:完形　g:歪み大
45	3		廃土山	かわらけ	(8.1)	(5.4)	1.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:橙色　e:良好　f:4/5
45	4		廃土山	かわらけ	(11.2)	(7.2)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
45	5		廃土山	かわらけ	(13.1)	(7.8)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ　b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨針・泥岩粒・やや粗土　c:黄橙色　e:良好　f:1/3
45	6		廃土山	かわらけ	(13.2)	(6.8)	3.5	a:ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕不明瞭・内底ナデ不明瞭　b:微砂・雲母黒色粒・良土　c:黄橙色　e:良好　f:1/4
45	7		廃土山	青磁 碗	—	—	[1.6]	a:ロクロ　外面鎬蓮弁文　b:灰白色　精良堅緻　d:灰緑色 e:堅緻　f:口縁部片
45	8		廃土山	黄釉 盤	—	—	[3.4]	b:微砂・白色粒・黒色粒・やや良土　c:灰色　d:緑塊色　e:良好　f:口縁部片
45	9		廃土山	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	8.6	a:輪積み成形　b:灰色　白色粒・黒色粒・砂粒・小石粒　c:灰色　e:硬質　f:体部片　g:5型式
45	10		廃土山	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	[3.8]	a:輪積み成形　b:黒褐色　白色粒・黒色粒・砂粒・小石粒　c:暗褐色　e:硬質　f:口縁部片　g:6a型式

単位(cm)

遺物破片数表

				1面				2面			表土採集	合計	%
				面上	1a面遺構	1b面遺構	構成土	面上	遺構	構成土			
かわらけ	手づくね		大	45	169	405	290	2	113	1	80	1105	8.37
			小	17	48	213	169		55		20	522	3.95
			極小		1							1	0.01
	糸切り		大	700	3341	1433	1414		301		1125	8314	62.98
			中	1	42							43	0.33
			小	134	828	483	288		73		277	2083	15.78
	白かわらけ	手づくね			1		1					2	0.02
		糸切り			9	6	2		1		1	19	0.14
	内折				12	3	2				1	18	0.14
	転用円盤			1	7	1						9	0.07
舶載陶磁器	青磁	同安窯系	碗	1			6					7	0.05
			皿			3	3		1			7	0.05
		龍泉窯系Ⅰ類	無文碗	2	2	2	2		1		2	11	0.08
			劃花文碗	1	1	16	5		2		4	29	0.22
			皿		1							1	0.01
		龍泉窯系Ⅱ類	蓮弁文碗	8	16	9	7				12	52	0.39
		龍泉窯系Ⅲ類	蓮弁文碗		2		1					3	0.02
			坏	3	3	1	3				9	19	0.14
			鉢		1	2						3	0.02
	白磁		端反碗				1				1	2	0.02
			口冗碗・皿	4	4		2				3	13	0.10
			碗・皿		2	4	2					8	0.06
			四耳壺	1	1	4	3				2	11	0.08
	青白磁		梅瓶		2	2	1					5	0.04
			香炉				1					1	0.01
			合子	1		1	4				1	7	0.05
			碗・皿		3	1						4	0.03
	泉州窯系黄釉		盤	1	9	1					1	12	0.09
	緑釉					1						1	0.01
	褐釉				1							1	0.01
	器種不明					1		1				2	0.02
国産陶器	瀬戸		碗		2							2	0.02
			入子	1								1	0.01
			洗				1					1	0.01
			壺								1	1	0.01
	常滑		壺	2	1	2	1				4	10	0.08
			甕	27	90	109	33		12		121	392	2.97
			片口鉢Ⅰ類	10	28	23	10		1		16	88	0.67
			片口鉢Ⅱ類	3	8	4	3		1		1	20	0.15
	山茶碗		山茶碗	1	4	4	2				2	13	0.10
			山皿	1		1	2					4	0.03
	渥美		壺			1						1	0.01
			甕			1	4		1		3	9	0.07
	器種不明										1	1	0.01
土器・土製品	瓦器		碗	2	1	1	3				1	8	0.06
	瓦質土器		香炉？			1						1	0.01
			火鉢	1	1						5	7	0.05
	土器質		火鉢									0	0.00
			伊勢系土鍋		4	1	1					6	0.05
			灯明台		1							1	0.01
			壺		1							1	0.01
			不明品		2	2	2					6	0.05
	瓦		平瓦	2	2	3	2				2	11	0.08
			丸瓦	1			3		1			5	0.04
			軒丸瓦			1						1	0.01
金属製品	鉄製品		釘	3	7	8	3	1			4	26	0.20
			刀子			1	1		1			3	0.02
			不明品	1	6	2			2		2	13	0.10
	銅製品		銭		3	2	2				1	8	0.06
			不明品								1	1	0.01
石製品	滑石		鍋		1		1					2	0.02
			転用不明品								1	1	0.01
	硯					2					1	3	0.02
	砥石				2	3	5					10	0.08
	碁石						1		1			2	0.02
	火打石					2			1			3	0.02
	転用不明品								1			1	0.01
木製品	木製品				90							90	0.68
漆器	漆器				3							3	0.02
自然遺物	獣骨・魚骨類			3	20	15	4		2		7	51	0.39
	貝				1						1	2	0.02
	種子			5	16	4	11		2		1	39	0.30
中世以前	土師器		壺甕類		1		1					2	0.02
			器種不明			2						2	0.02
	須恵器		甕	1			1					2	0.02
			坏蓋			1						1	0.01
			坏身		1	1	1					3	0.02
近世	陶磁器			5	1	1					10	17	0.13
	平瓦			1			1				4	6	0.05
	軒丸瓦										1	1	0.01
	水晶（数珠）										1	1	0.01
	銭										1	1	0.01
	器種不明品			1							2	3	0.02
合計				991	4803	2790	2306	4	573	1	1734	13202	100.00
%				7.51	36.38	21.13	17.47	0.03	4.34	0.01	13.13	100.00	



▲　Ⅰ区　第１面全景（第1a面・第1b面）・東から

Ⅱ区　第１面全景（東から）　▶





◀　Ⅱ区　第1b面全景（西から）



▲　Ⅰ区　第２面全景（西から）



▲　Ⅱ区　第２面全景（東から）



▲　Ⅰ区　最終トレンチ（北から）



◀ 第1a面　遺構1（東から）

遺構1　かわらけ出土状況（拡大）▶





◀ 第1a面　遺構1・完掘状況（東から）

第1a面　遺構195・遺構196（北から）▶





◀ 第1b面 遺構216（北から）



▲ 遺構216・掘り方検出状況



◀ 遺構216　側板・杭出土状況

遺構216　側板・杭出土状況 ▶





▲　第1b面　遺構258・遺構267（東から）



▲　第1b面　遺構270（西から）



▲　第1b面　遺構281（北から）



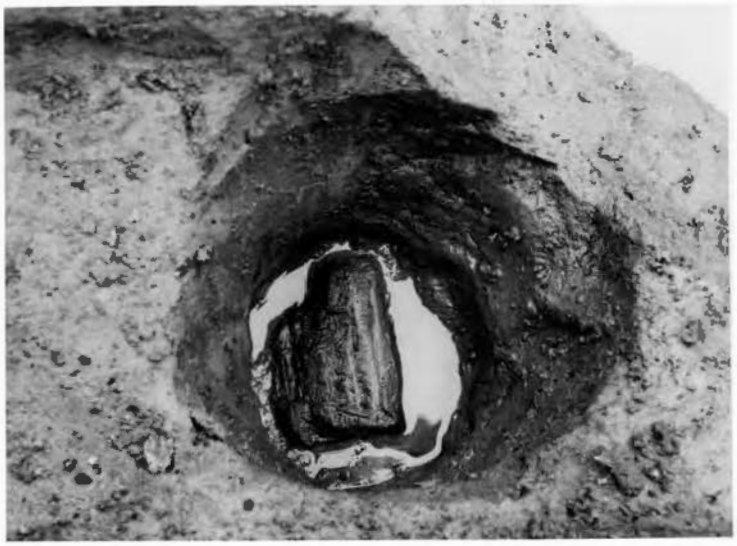
▲ 第2面　遺構119（北から）



▲ 第2面　遺構119東西Section（北から）



▲ 第2面　遺構150南北Section（東から）



▲ 第2面　遺構154



▲ 第2面　遺構312周辺検出状況

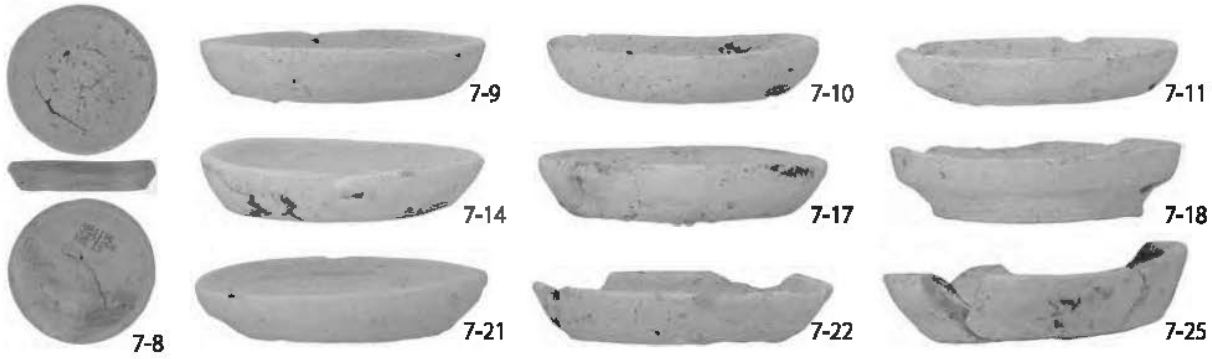


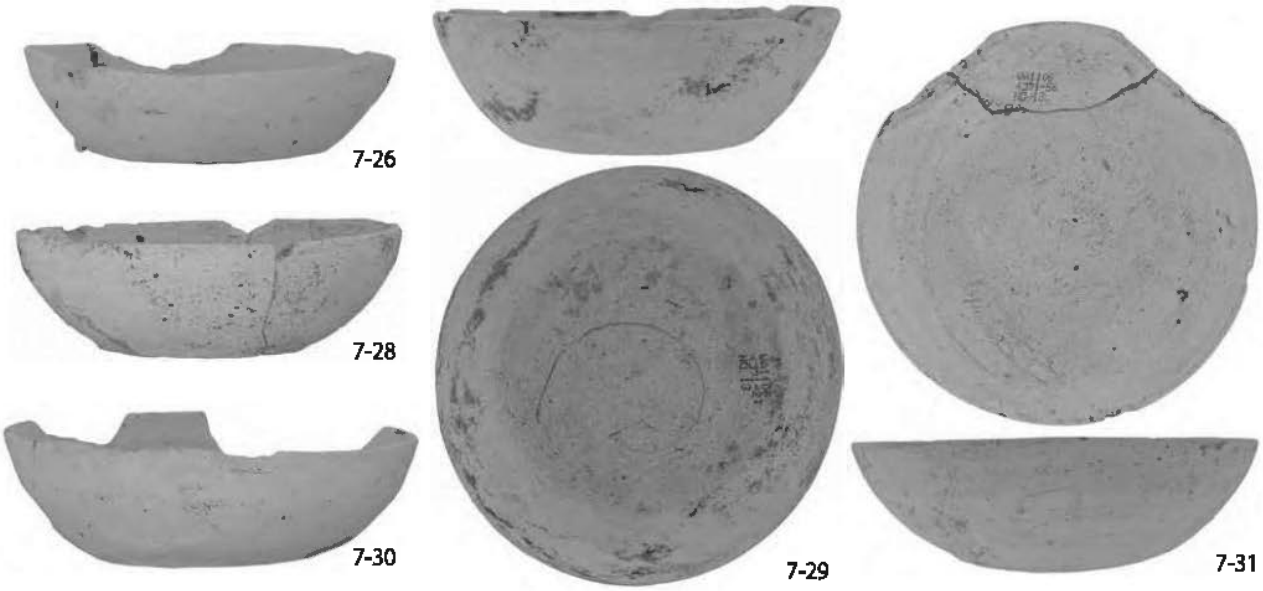
▲ 第2面　遺構342・遺構343（北から）

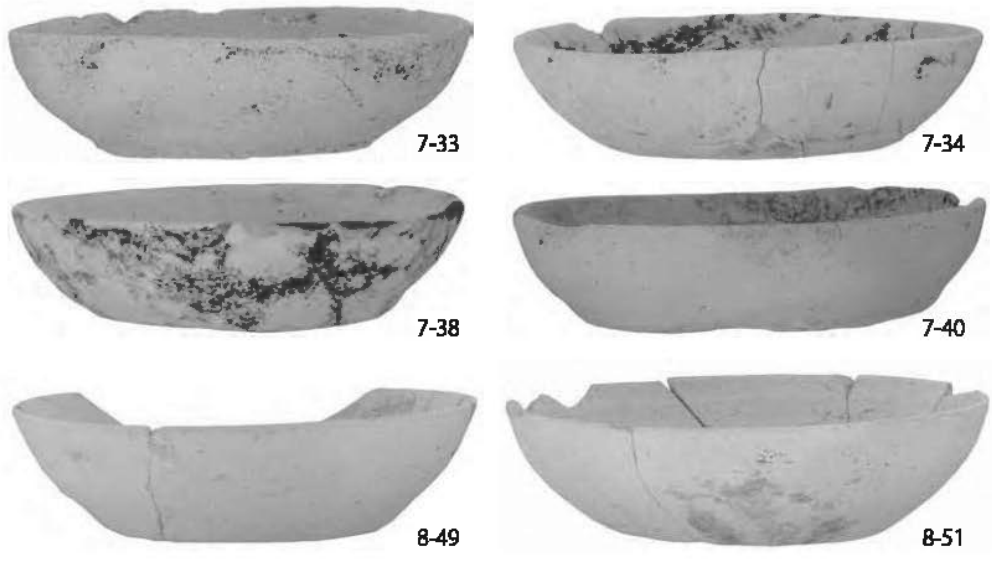
▼第 1a 面



△遺構 1-11 層



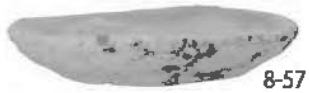




△遺構 1-11・12 層

▼第 1a 面


8-55


8-57


8-60

△遺構 1-12 層

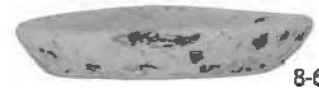

8-64


8-65

△遺構 1-13 層


8-66

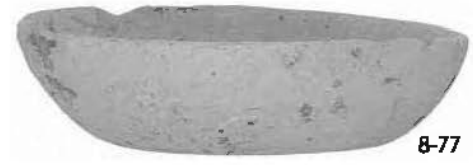

8-67


8-68


8-72


8-75


8-76


8-77


8-78


8-79

△遺構 1-16 層


8-85


8-87

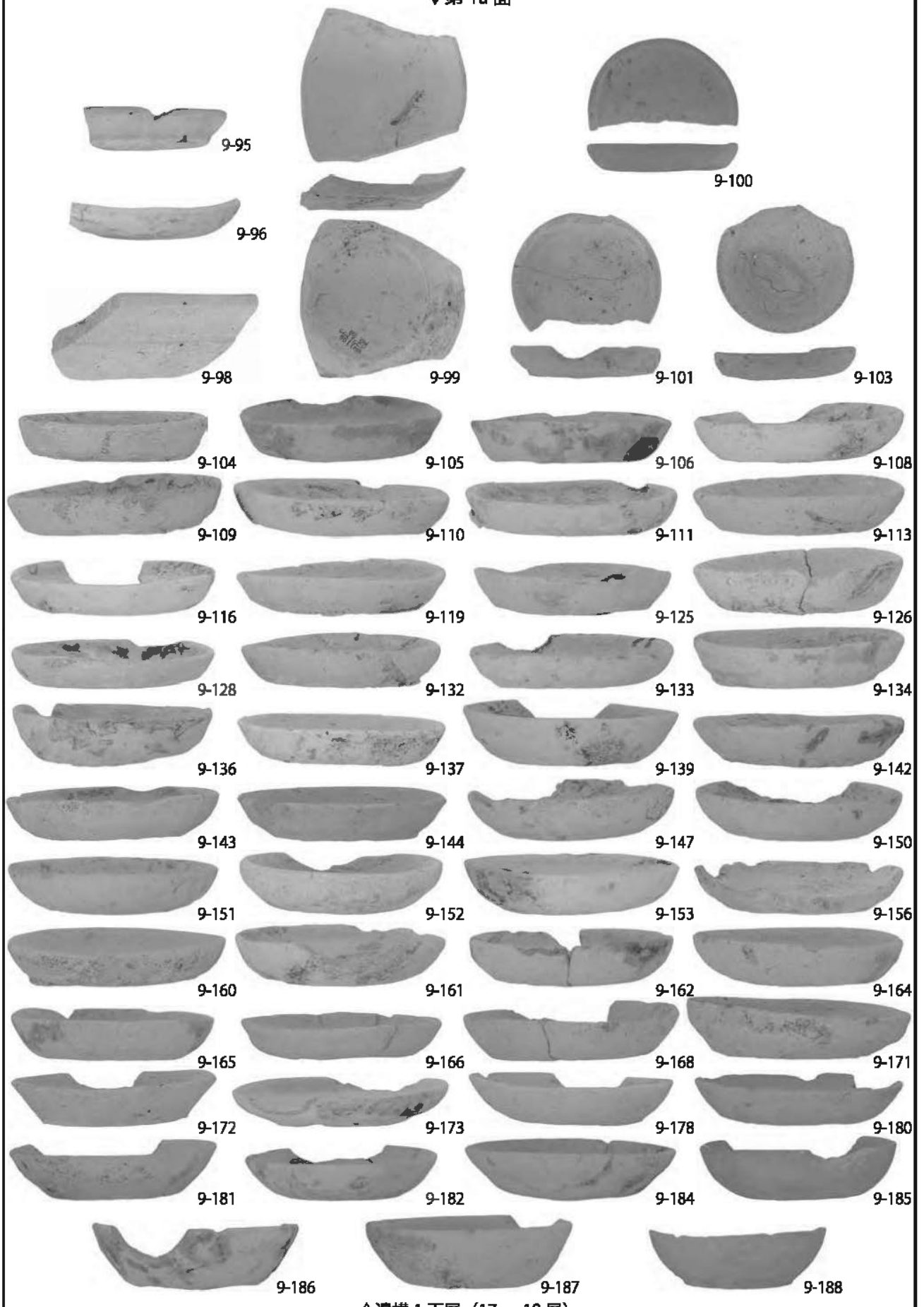

8-88

△遺構 1-17 層


9-93

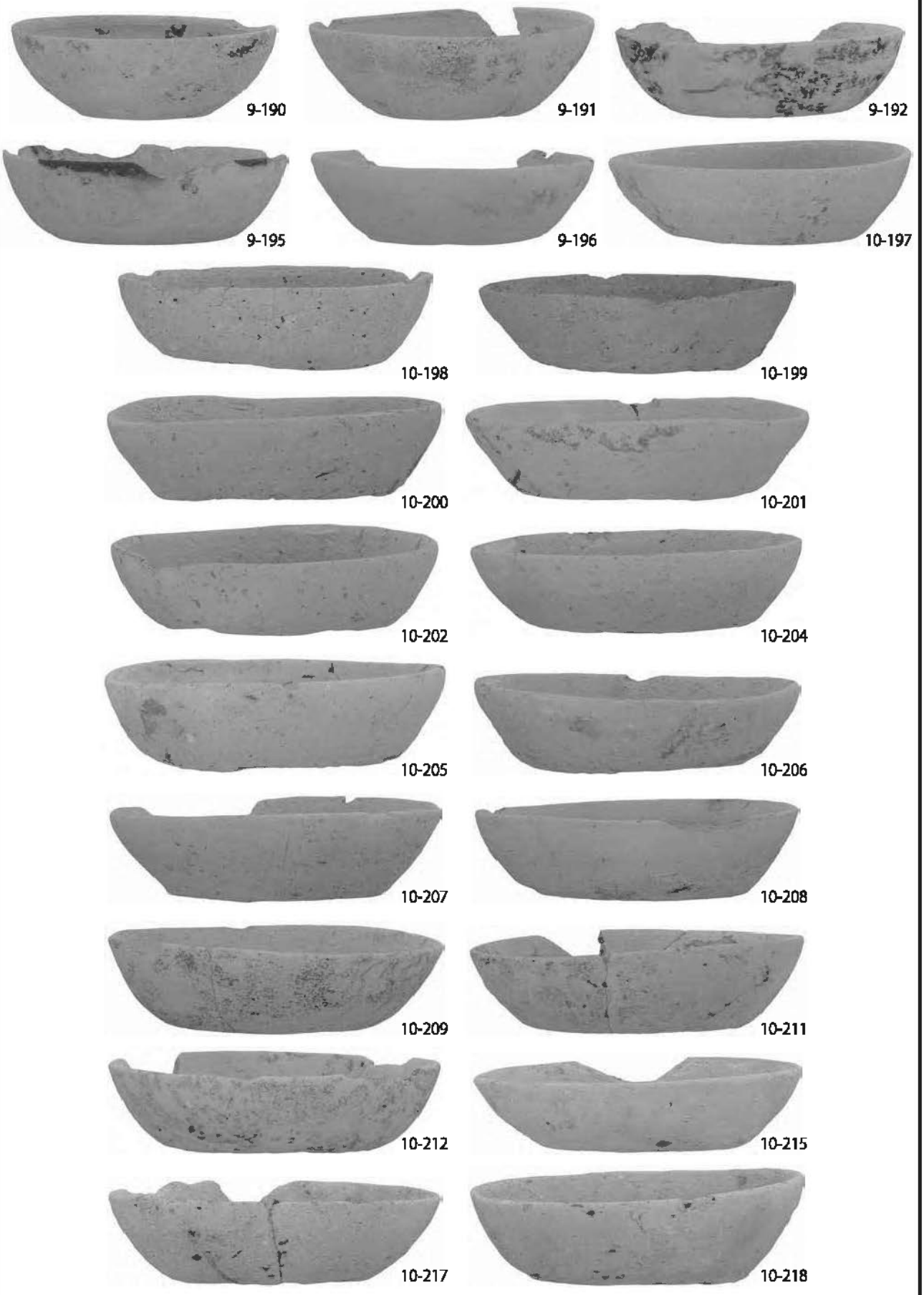
△遺構 1-18 層

▼第 1a 面



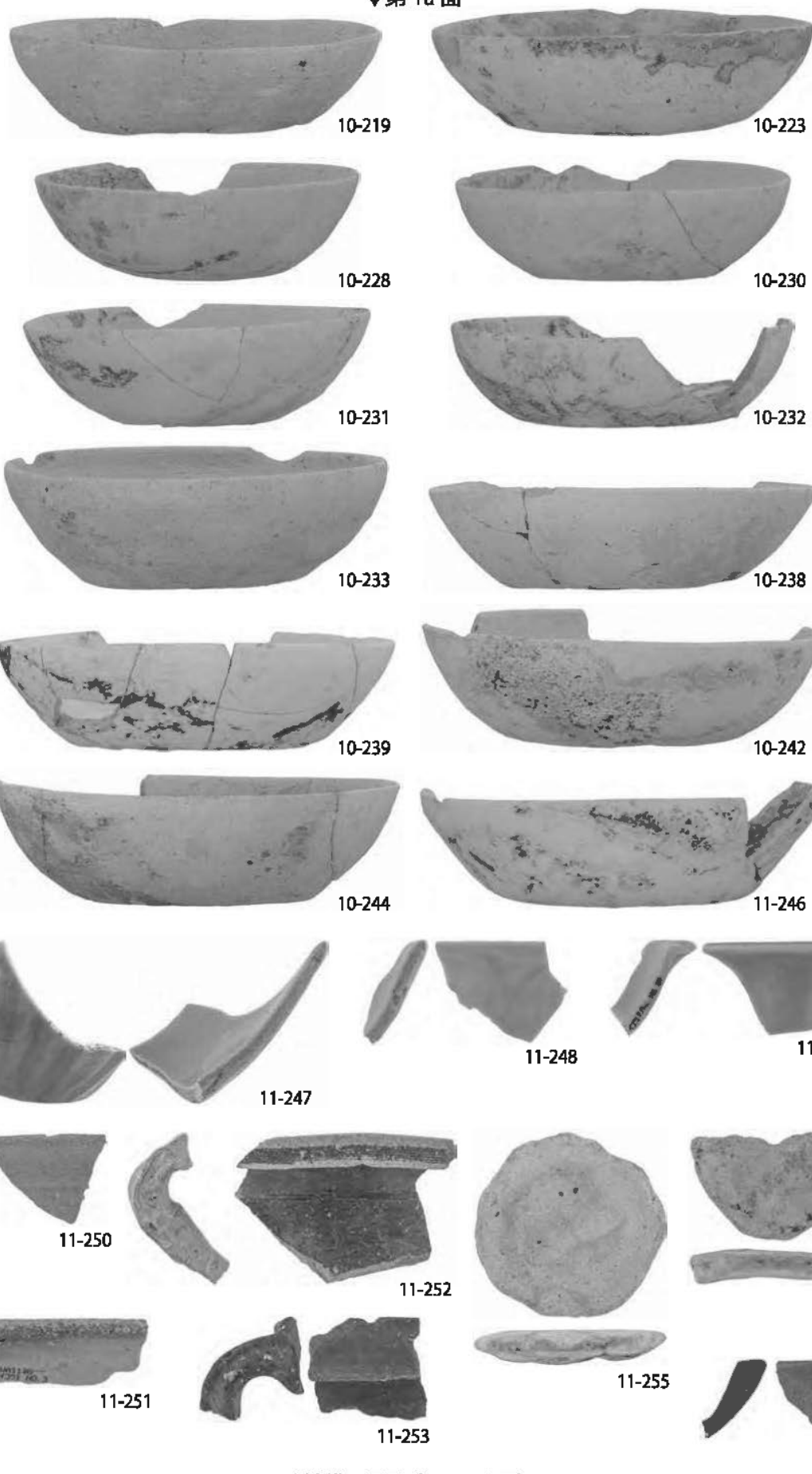
△遺構 1 下層（17 ～ 19 層）

▼第 1a 面



△遺構 1 下層（17～19 層）

▼第 1a 面

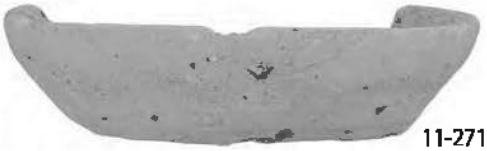


△遺構 1 下層（17 ～ 19 層）

▼第 1a 面


11-263


11-270


11-271


11-274


11-283


11-286

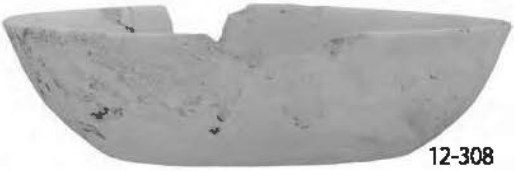

12-287


12-289


12-299


12-300




12-308


12-304


12-306


12-310


12-311

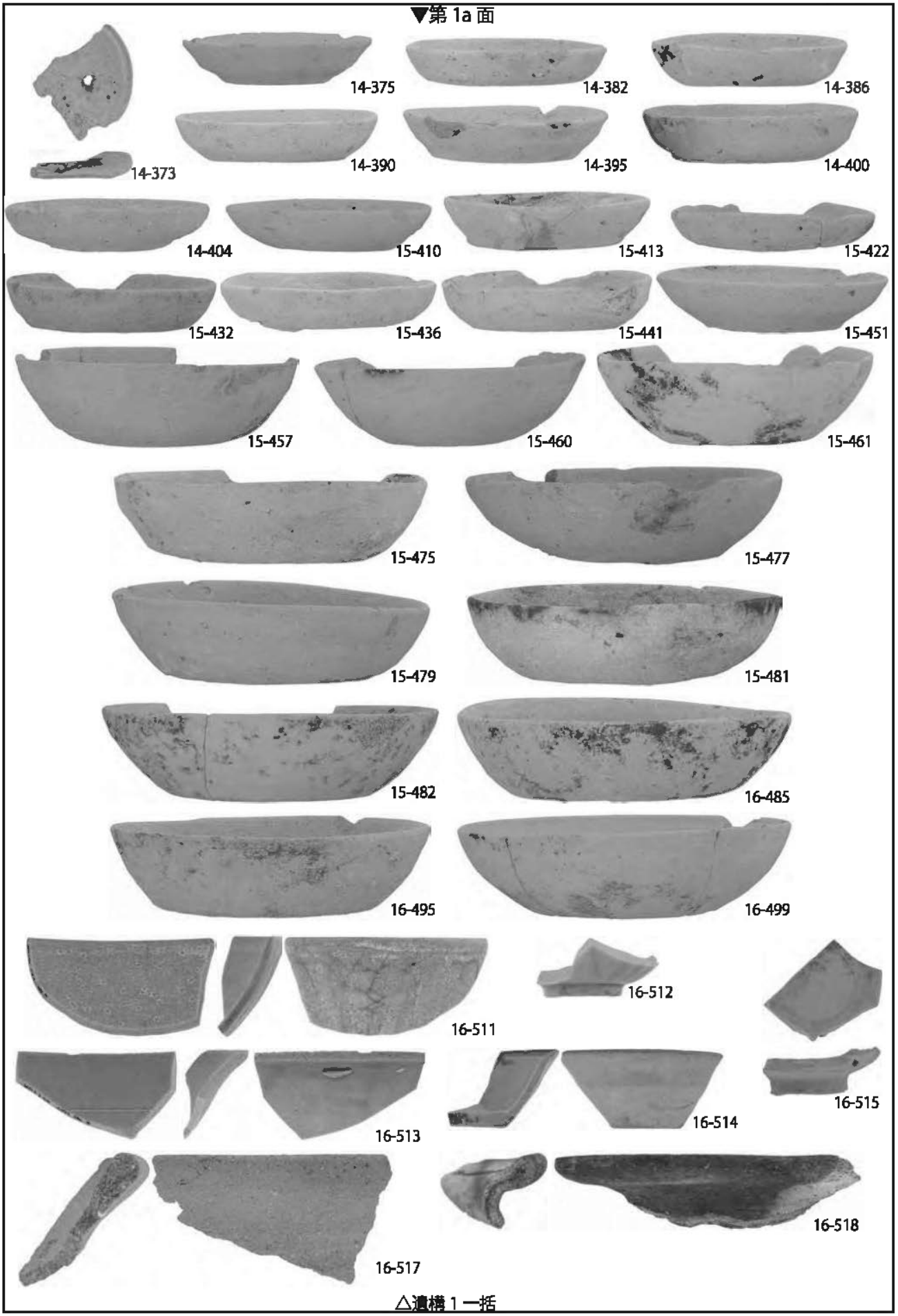

12-312


12-313

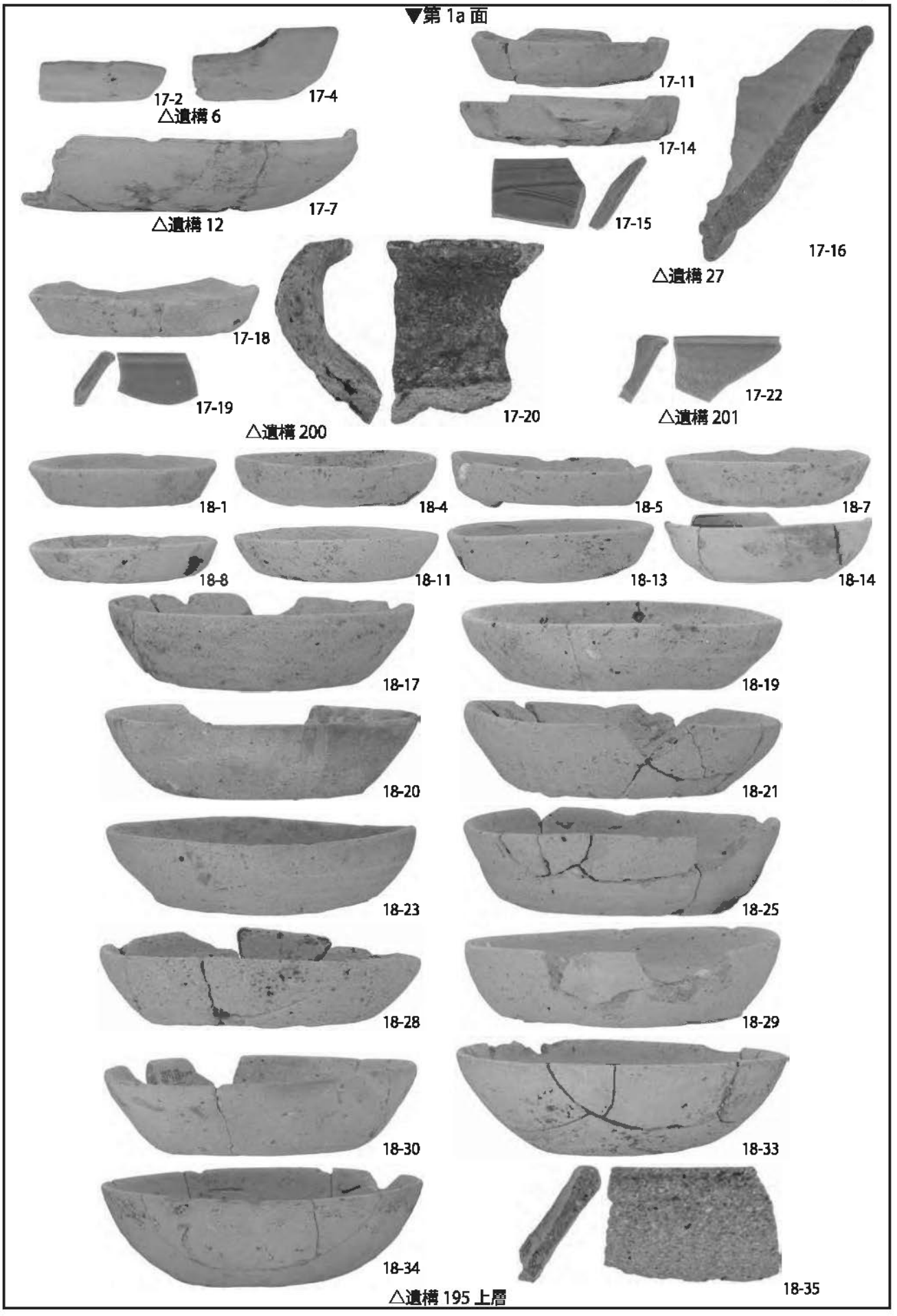

14-370

△遺構 1-20 層

▼第 1a 面


14-373
14-375
14-382
14-386
14-390
14-395
14-400
14-404
15-410
15-413
15-422
15-432
15-436
15-441
15-451
15-457
15-460
15-461
15-475
15-477
15-479
15-481
15-482
16-485
16-495
16-499
16-511
16-512
16-513
16-514
16-515
16-517
16-518

△遺構 1 一括


▼第 1a 面
17-2
17-4
△遺構 6
17-7
△遺構 12
17-11
17-14
17-15
17-16
△遺構 27
17-18
17-19
17-20
△遺構 200
17-22
△遺構 201
18-1
18-4
18-5
18-7
18-8
18-11
18-13
18-14
18-17
18-19
18-20
18-21
18-23
18-25
18-28
18-29
18-30
18-33
18-34
18-35
△遺構 195 上層

▼第 1a 面


18-37


18-39


18-40


18-41

（銭は原寸）

△遺構 195 下層


19-43


19-44


19-45


19-46


19-49


19-51


19-53

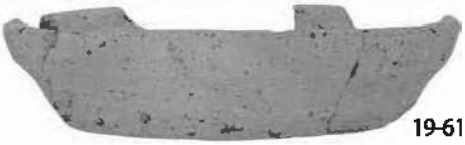

19-54


19-55

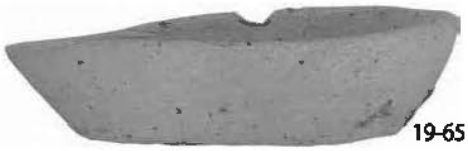

19-57


19-58


19-59


19-61


19-62


19-65


19-67


19-72


19-73


19-74

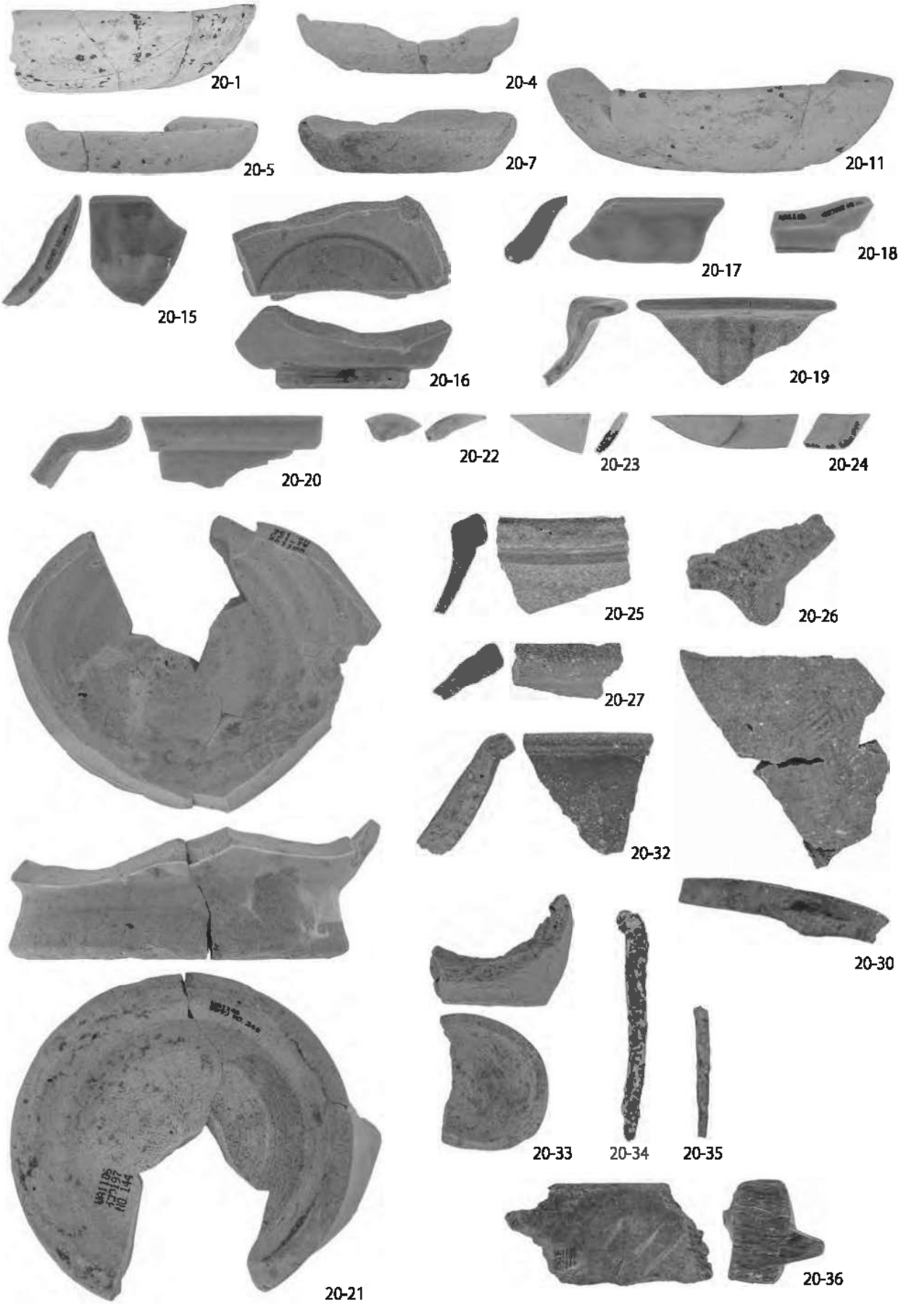

19-76


19-77


19-78

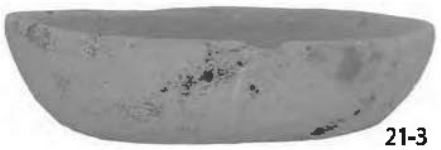
△遺構 196

▼第 1a 面


20-1
20-4
20-5
20-7
20-11
20-15
20-16
20-17
20-18
20-19
20-20
20-22
20-23
20-24
20-25
20-26
20-27
20-32
20-30
20-21
20-33
20-34
20-35
20-36

△遺構 197

▼第 1a 面


21-3
△遺構 198


21-5


21-6
△遺構 199


21-7


21-8


21-11


21-15

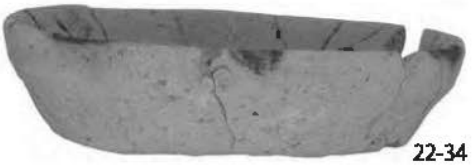

21-17


21-18


21-19


21-21


21-22

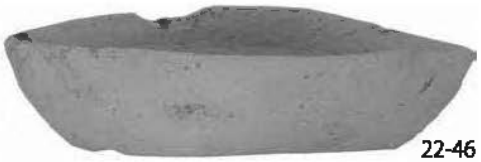

22-34


22-41

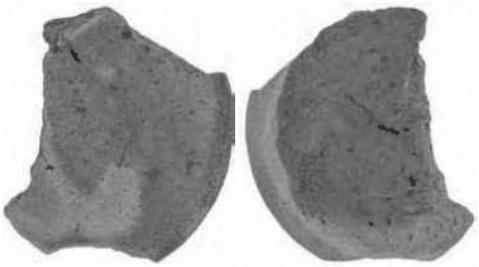

22-42


22-43


22-45


22-46


22-50

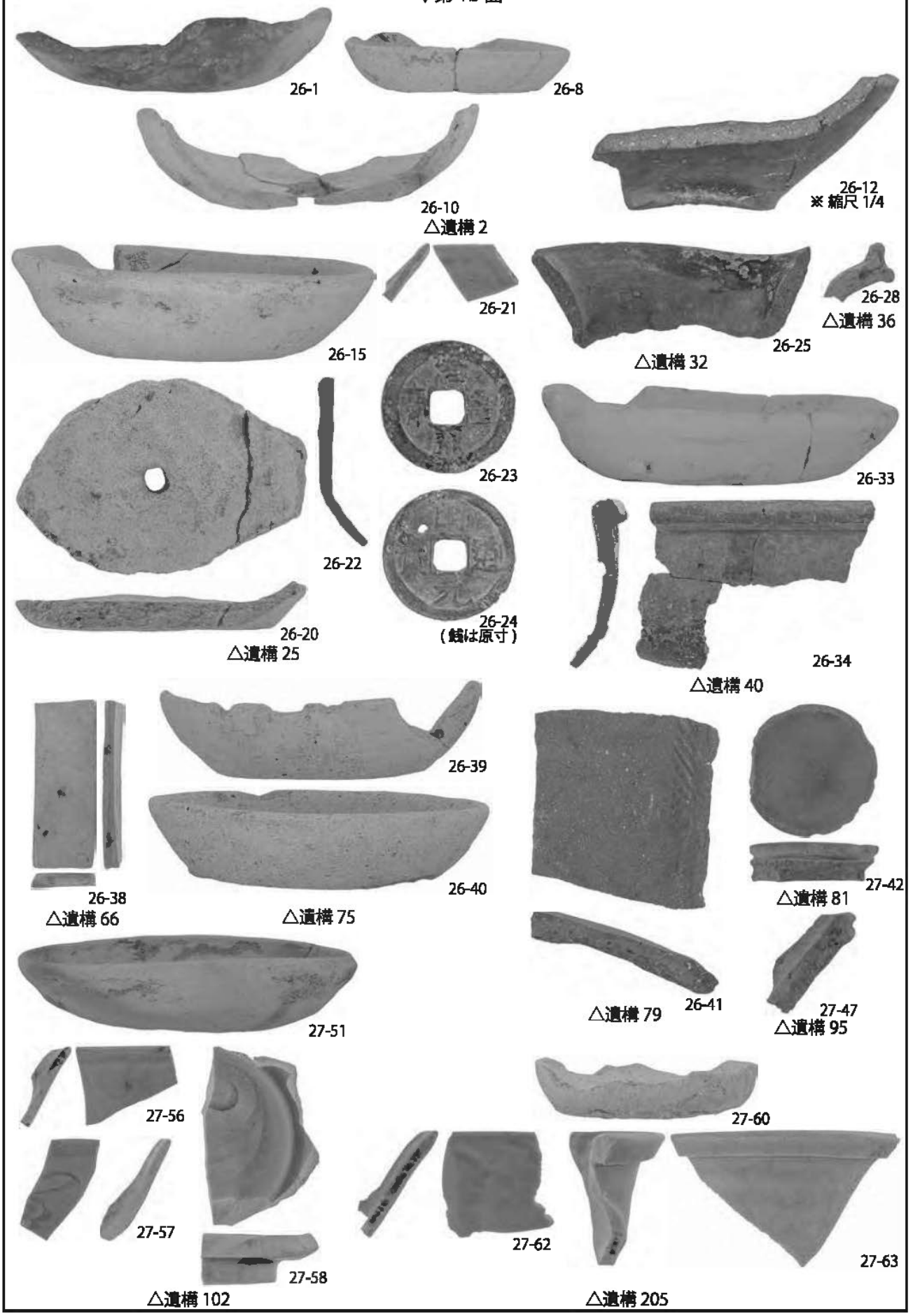

22-52


22-51

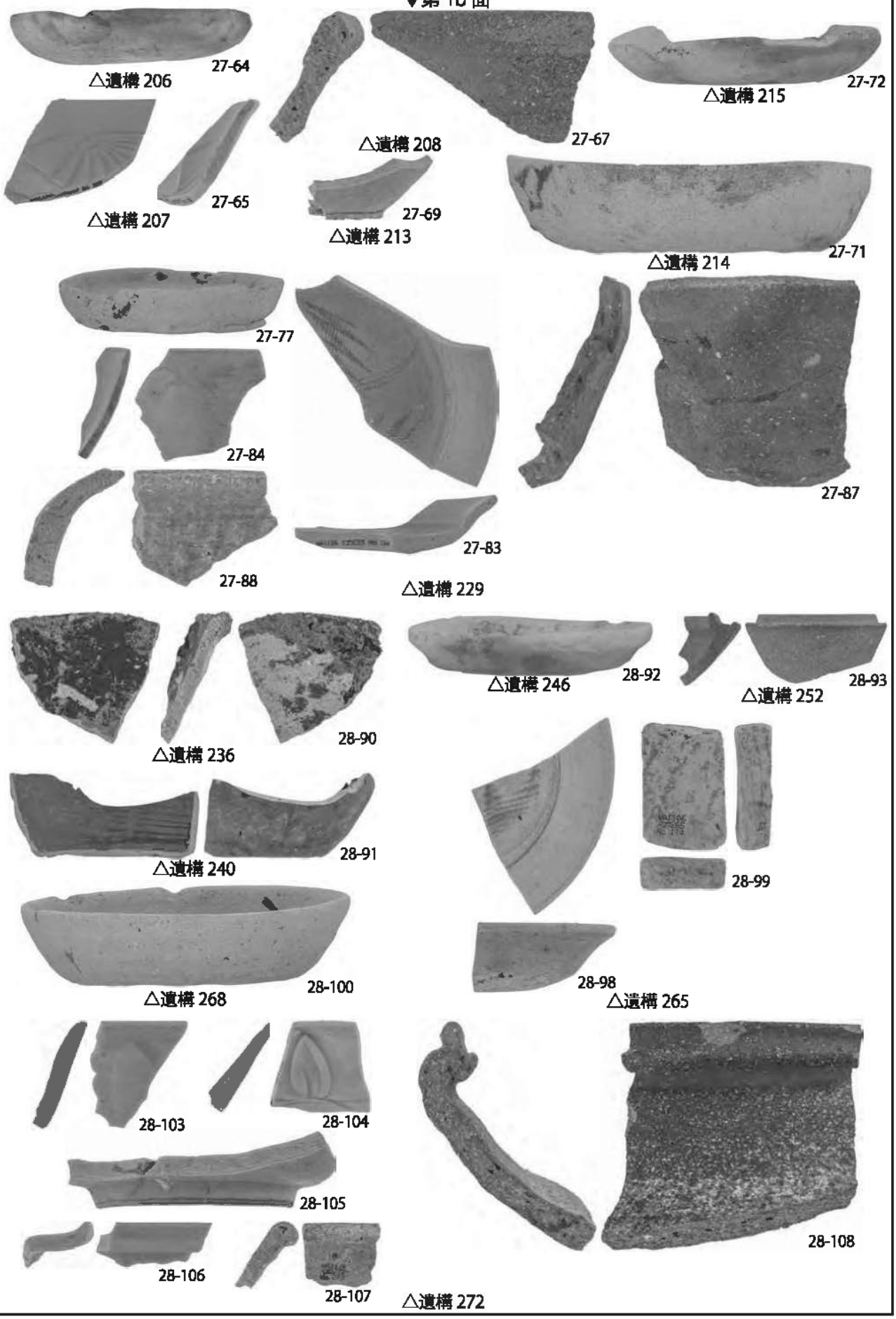

22-53
（銭は原寸）

△遺構 202

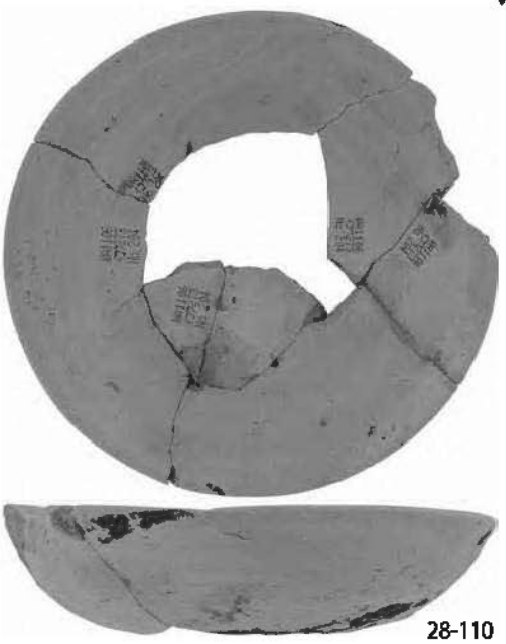
▼第 1b 面


26-1
26-8
26-10
△遺構 2
26-12
※縮尺 1/4
26-15
26-21
26-25
△遺構 32
26-28
△遺構 36
26-23
26-22
26-33
26-24
(銭は原寸)
26-20
△遺構 25
26-34
△遺構 40
26-38
△遺構 66
26-39
26-40
△遺構 75
27-42
△遺構 81
26-41
△遺構 79
27-47
△遺構 95
27-51
27-56
27-57
27-58
△遺構 102
27-60
27-62
27-63
△遺構 205

▼第 1b 面


27-64
△遺構 206
27-65
△遺構 207
△遺構 208
27-67
27-69
△遺構 213
△遺構 215
27-72
27-71
△遺構 214
27-77
27-84
27-88
27-83
△遺構 229
27-87
△遺構 246
28-92
△遺構 252
28-93
28-90
△遺構 236
28-91
△遺構 240
28-99
28-98
△遺構 265
28-100
△遺構 268
28-103
28-104
28-105
28-106
28-107
△遺構 272
28-108

▼第 1b 面



28-110

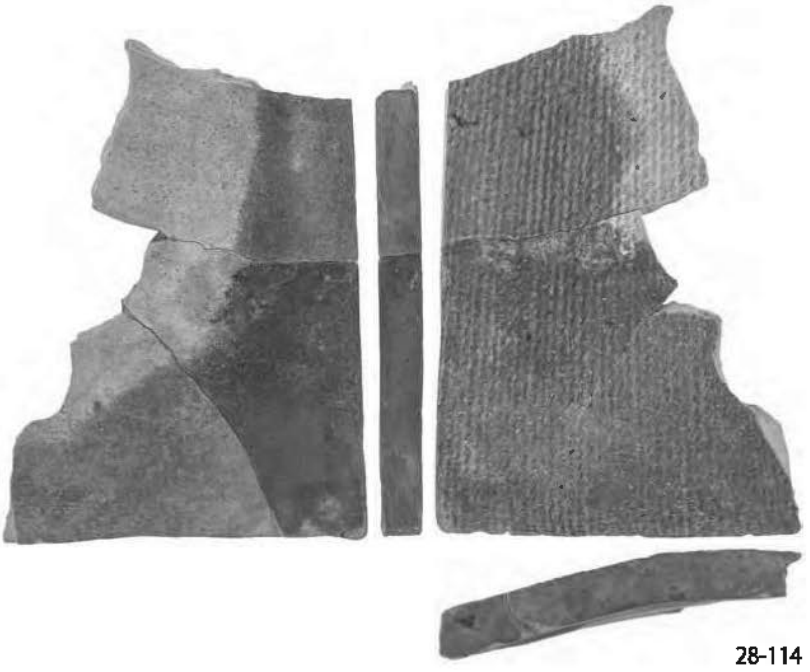
△遺構 273



28-109



28-111



28-114

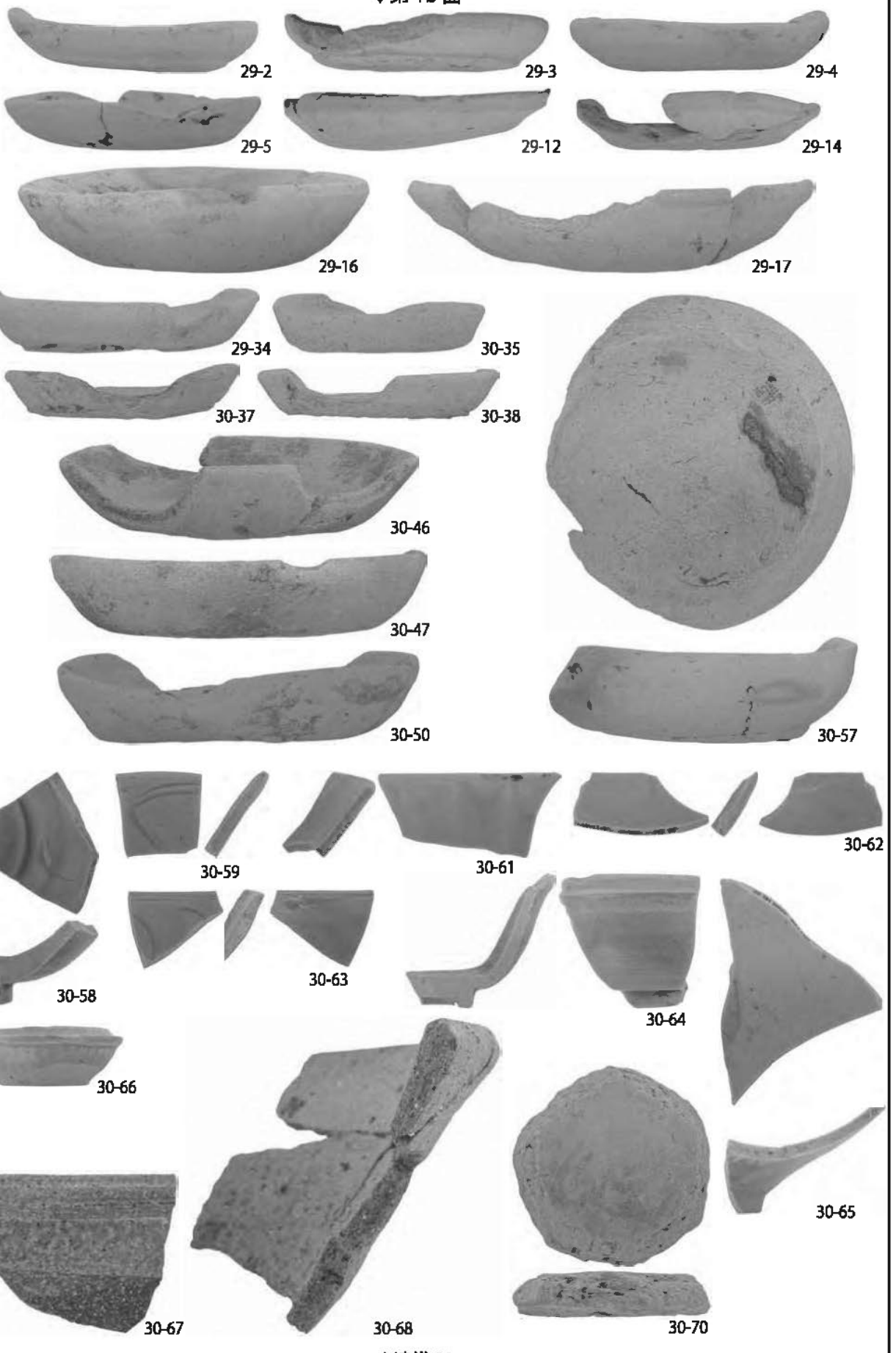


28-115

(※28-114,115 は、縮尺 1/3)

△遺構 284

▼第 1b 面


29-2
29-3
29-4
29-5
29-12
29-14
29-16
29-17
29-34
30-35
30-37
30-38
30-46
30-47
30-50
30-57
30-59
30-61
30-62
30-58
30-63
30-64
30-66
30-65
30-67
30-68
30-70

△遺構 99

▼第 1b 面


31-1


31-3


31-16


31-5

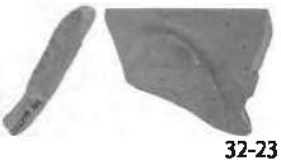

31-17

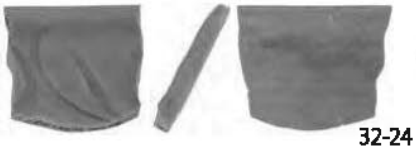

31-10


31-18


31-19


32-21


32-23


32-24


32-25


32-26

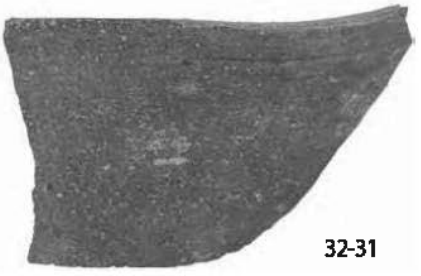

32-28


32-29


32-30


32-32




32-31






32-33

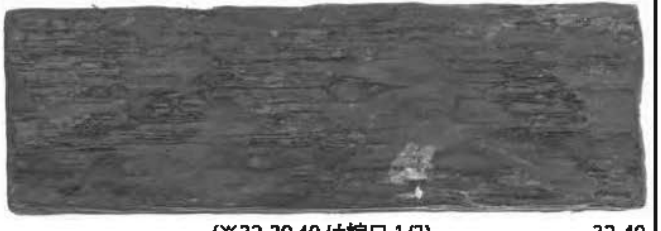

32-35


32-36


32-39


32-37

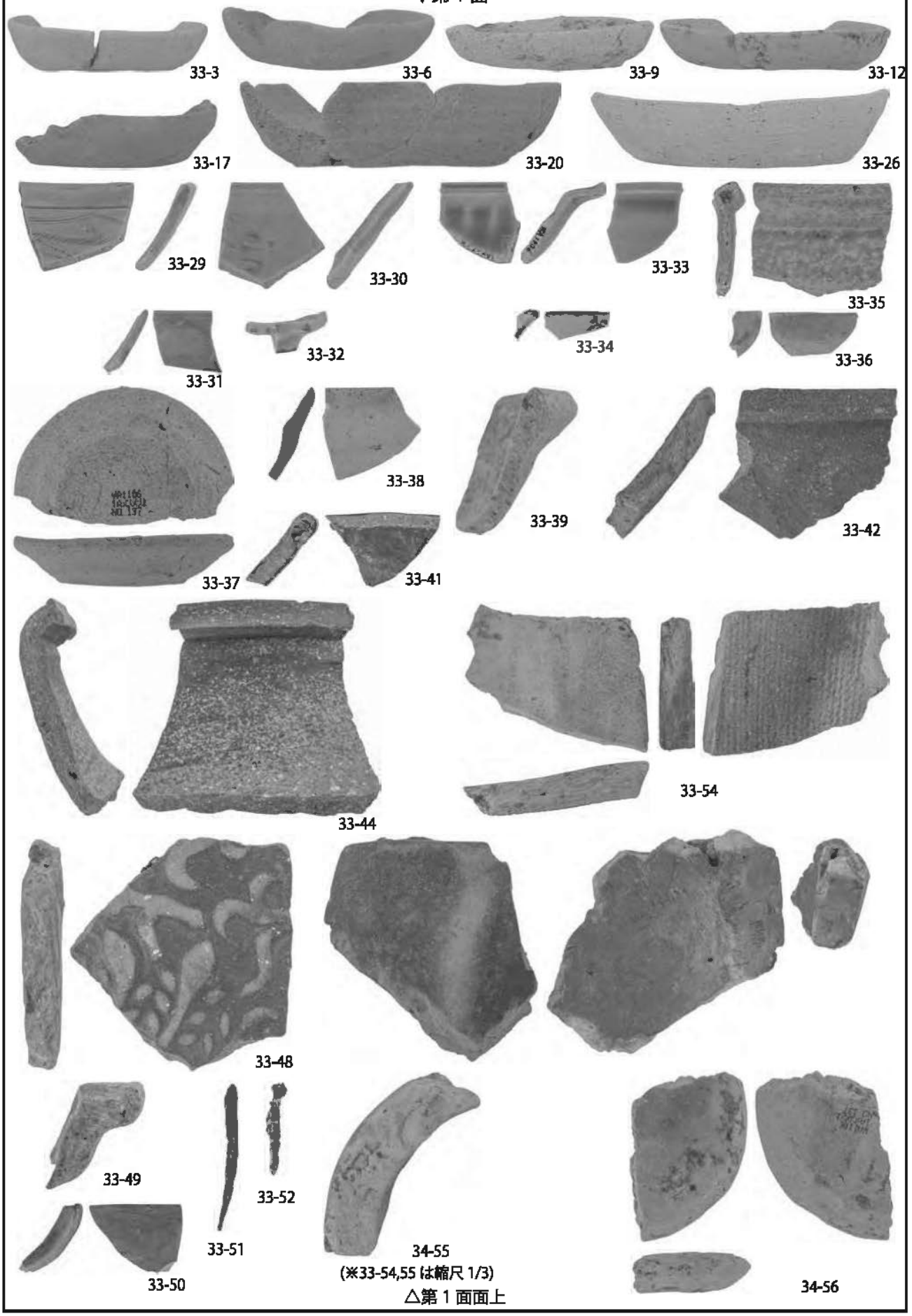

32-38


32-40

(※32-39,40 は縮尺 1/3)

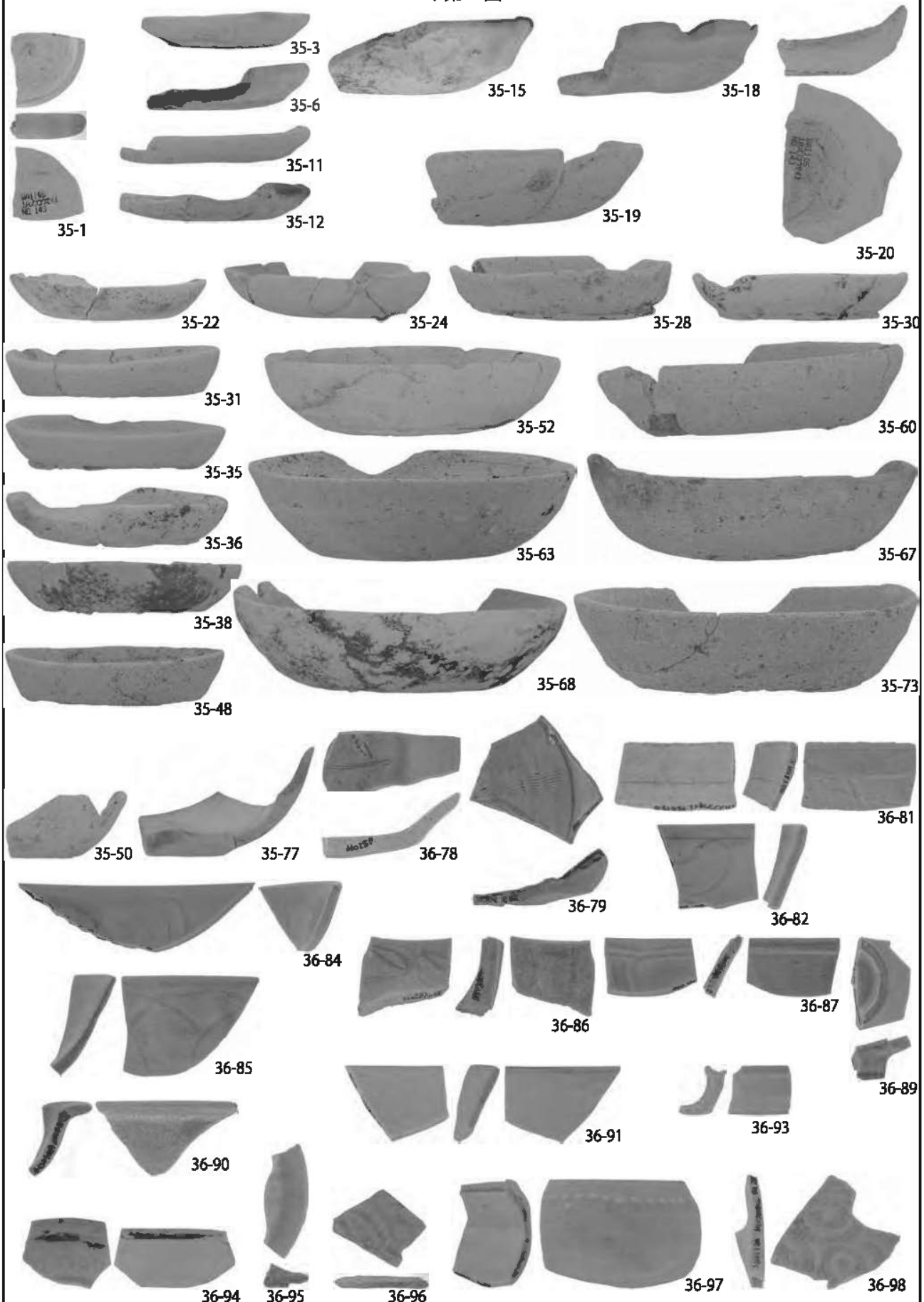
△遺構 216

▼第 1 面

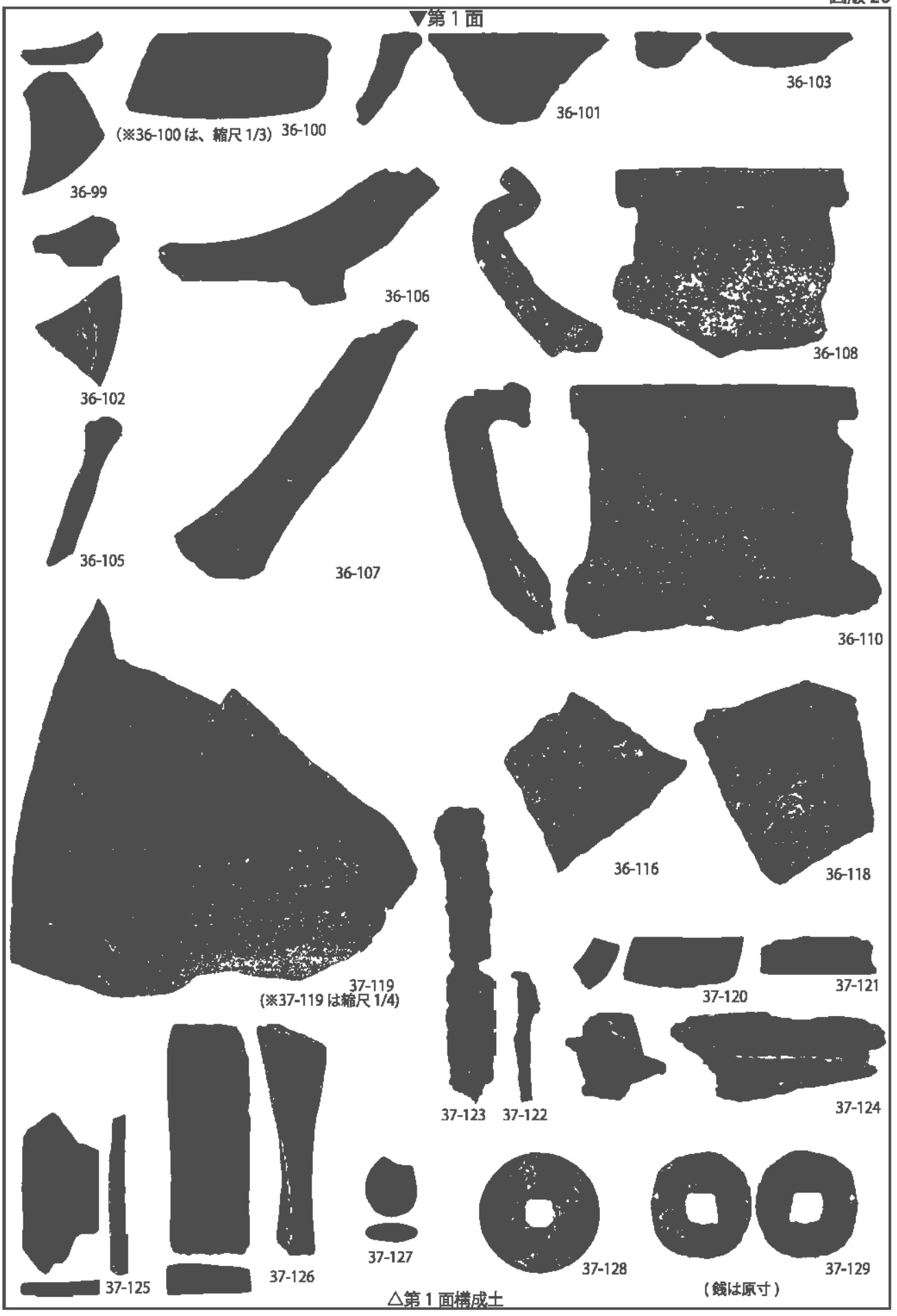

33-3
33-6
33-9
33-12
33-17
33-20
33-26
33-29
33-30
33-33
33-35
33-31
33-32
33-34
33-36
33-38
33-39
33-42
33-37
33-41
33-44
33-54
33-48
33-49
33-52
33-51
33-50
34-55
(※33-54,55 は縮尺 1/3)
34-56

△第 1 面面上

▼第 1 面


35-3
35-6
35-15
35-18
35-1
35-11
35-12
35-19
35-20
35-22
35-24
35-28
35-30
35-31
35-52
35-60
35-35
35-36
35-63
35-67
35-38
35-68
35-73
35-48
35-50
35-77
36-78
36-81
36-79
36-82
36-84
36-86
36-87
36-85
36-89
36-90
36-91
36-93
36-94
36-95
36-96
36-97
36-98

△第 1 面構成土


▼第 1 面
36-103
36-101
(※36-100 は、縮尺 1/3) 36-100
36-99
36-106
36-108
36-102
36-105
36-107
36-110
36-116
36-118
37-119
(※37-119 は縮尺 1/4)
37-120
37-121
37-123
37-122
37-124
37-125
37-126
37-127
37-128
37-129
△第 1 面構成土
(銭は原寸)

▼第 2 面


42-2


42-7


42-5


42-4

△遺構 110


42-8


42-10

△遺構 119



42-11


42-12

△遺構 137


42-13


42-14


42-17


42-15

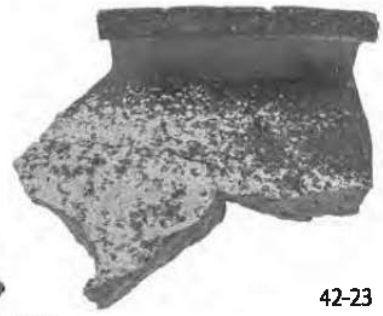

42-20

△遺構 150


42-22

△遺構 155




42-23

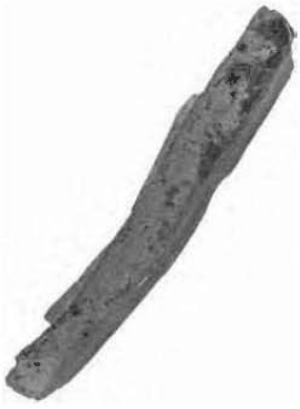
△遺構 157

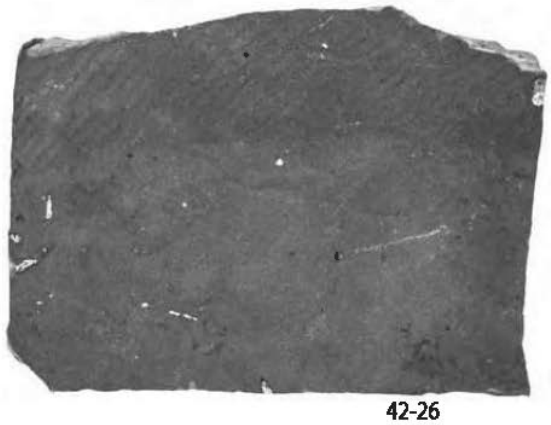


42-24
(※42-24 は縮尺 1/3)



△遺構 191




42-26

△遺構 301


42-27

△遺構 346


42-28

△面上


43-1


43-5


43-6

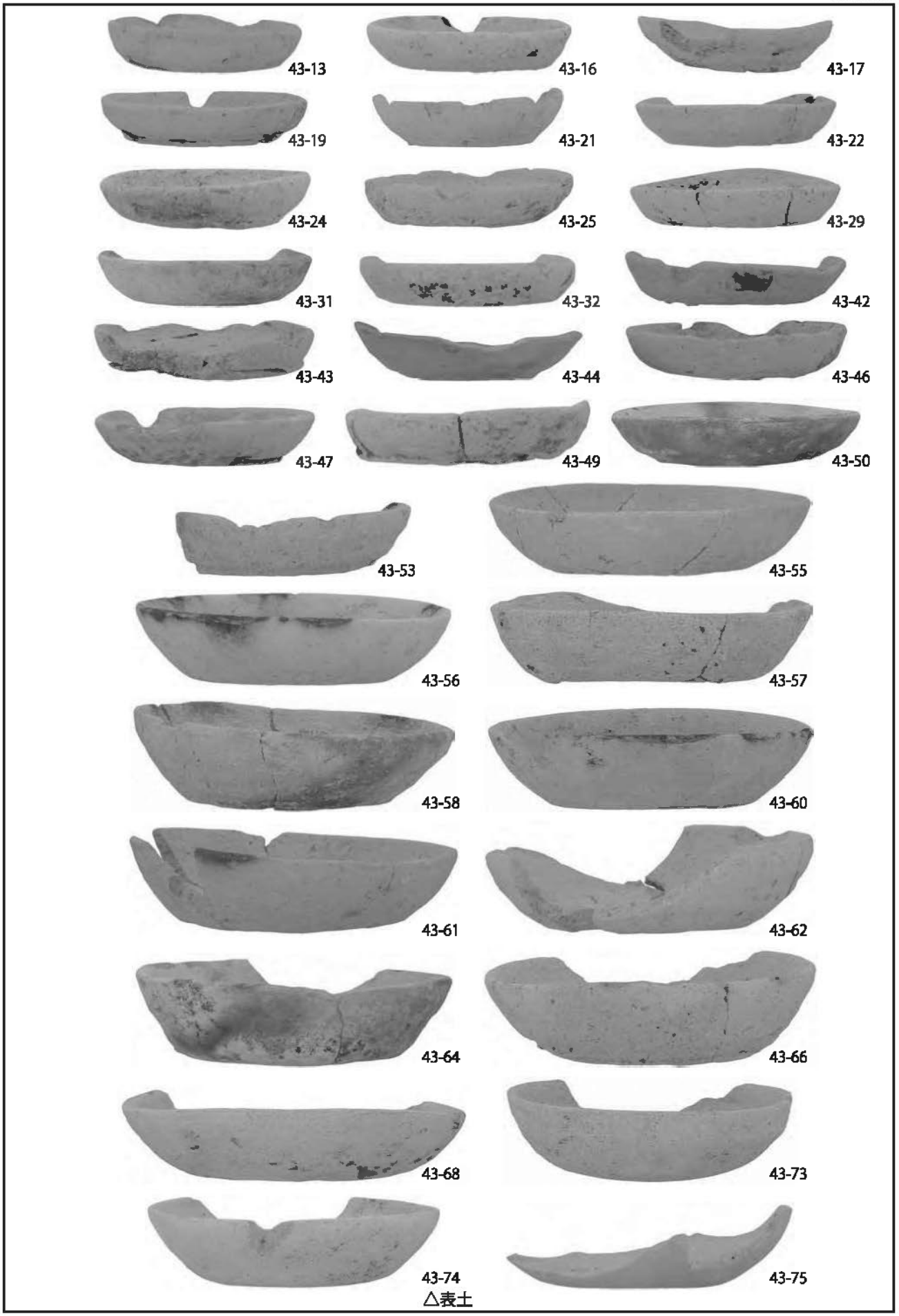

43-8

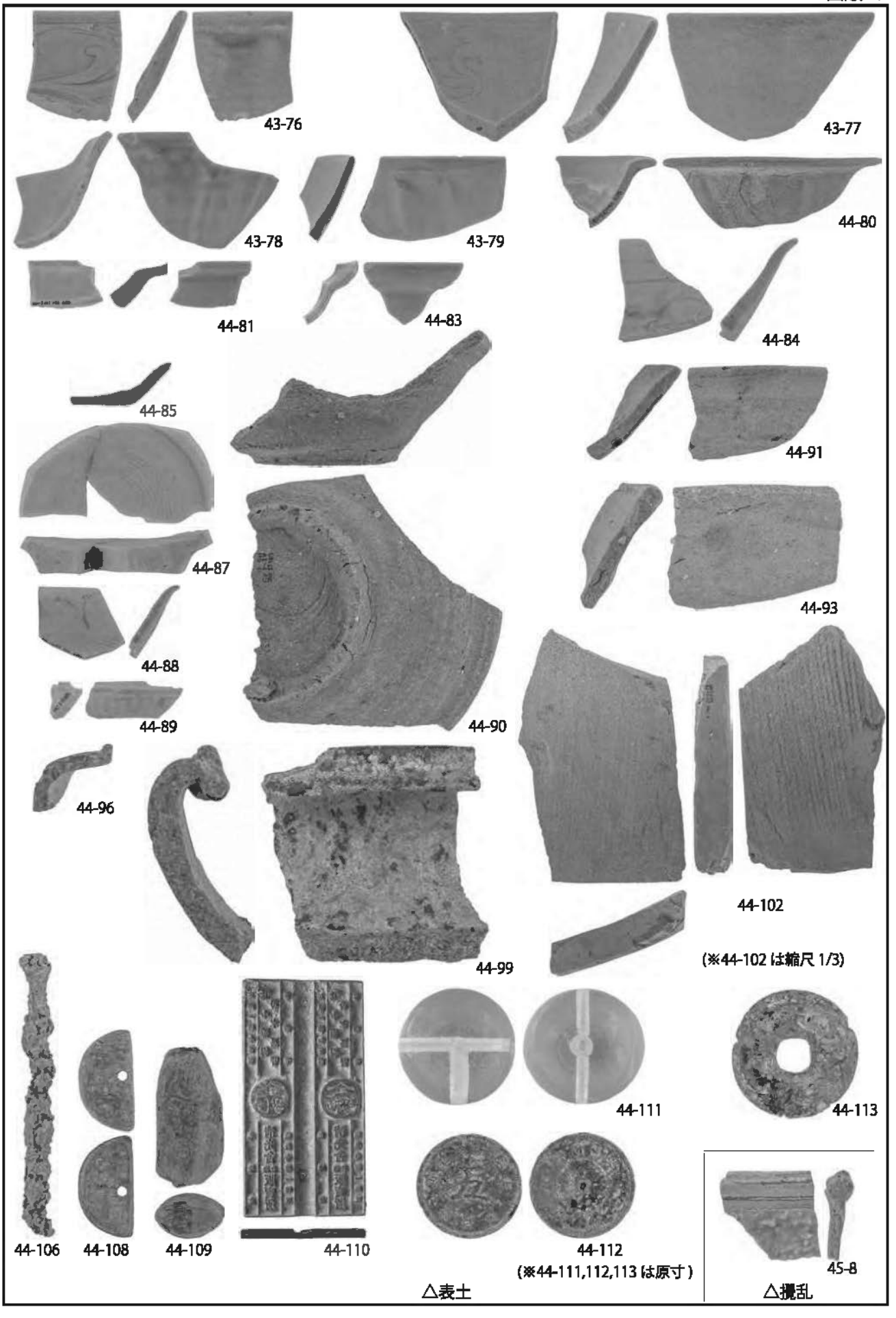

43-9


43-10


43-12

△表土


43-13
43-16
43-17
43-19
43-21
43-22
43-24
43-25
43-29
43-31
43-32
43-42
43-43
43-44
43-46
43-47
43-49
43-50
43-53
43-55
43-56
43-57
43-58
43-60
43-61
43-62
43-64
43-66
43-68
43-73
43-74
43-75
△表土


43-76
43-77
43-78
43-79
44-80
44-81
44-83
44-84
44-85
44-91
44-87
44-93
44-88
44-89
44-90
44-96
44-102
(※44-102 は縮尺 1/3)
44-99
44-106
44-108
44-109
44-110
44-111
44-113
44-112
(※44-111,112,113 は原寸)
△表土
45-8
△攪乱

報 告 書 抄 録

ふりがな	かまくらしまいぞうぶんかざいきんきゅうちょうさほうこくしょ
書名	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書
副書名	令和元年度発掘調査報告
巻次	３６　（第１分冊）
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者	押木弘己／伊丹まどか
編集機関	鎌倉市教育委員会
所在地	〒２４８－８６８６　鎌倉市御成町１８番１０号
発行年月日	西暦２０２０年3月３１日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
わかみやおおじしゅうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	神奈川県鎌倉市 小町一丁目 333番２	14204	242	３５° １９’ ０４″	１３９° ３３’ １０″	20070201 ～ 20070629	180.00	個人専用住宅 (柱状改良工事)
わかみやおおじしゅうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	神奈川県鎌倉市 小町二丁目 281番２	14204	242	３５° ２０’ ２８″	１３９° ３２’ ０８″	20120123 ～ 20120420	104.00	個人専用住宅 (柱状改良工事)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
わかみやおおじしゅうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	都市	中世	土坑、溝、柱穴、竪穴建物	かわらけ、国産陶器、舶載磁器、瓦、金属製品、石製品、木製品	13世紀中～14世紀前葉の竪穴建物群を確認。うち一棟の壁板下から、未使用の青磁碗が出土。
わかみやおおじしゅうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	都市	中世	土坑、溝、柱穴、柱穴列、掘立柱建物、竪穴建物、かわらけ廃棄土坑	土師器、かわらけ、国産陶器、舶載磁器、瓦、金属製品、石製品	13世紀第２四半期～14世紀前半にかけてのかわらけが出土。